

# 新潟医療福祉大学

## 年 報

2022（令和4）年度

Annual Report 2022

Niigata University of Health and Welfare

## はじめに

学長 西澤 正豊

2022年度の年報が完成しました。作成にご尽力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

年報は、この1年間の活動を振り返り、さまざまな課題を整理して、進捗状況を評価し、対応策を立案して、課題の解決を目指す上で、極めて重要な基礎資料となります。学内の皆様は、本年報を大学ホームページからダウンロードし、ぜひ有効に活用してください。

皆様の自己点検と評価の結果は、そのまま教員業績評価の基礎資料ともなります。現在、教員の人事考課のあり方を検討していますので、本年報を皆様のエンゲージメントを高めるための資料としても活用したいと思います。

本学は、2030年に向けて持続可能な発展を遂げるために、2021年度から新たな10年間の長期目標、その前半5年間の中期目標・計画、さらにその前半3年間のアクションプランを策定し、実行してきました。2022年度はこのアクションプランの2年目が終了したところです。続く2023年度はアクションプラン3年目の進捗状況を評価するとともに、前期中期計画の後半部分にあたる次の2年間のアクションプランを策定する必要がありますので、ご準備を宜しくお願いいたします。

アクションプランを計画通り達成するためには、皆様一人一人の活動に加えて、学内外の同僚とのチームとしての連携・協働が不可欠です。皆様一人一人と、チームによる活発な教育・研究・社会連携・地域貢献・国際交流の活動により、本学の将来計画が着実に実行されますよう、何卒宜しくお願いいたします。

# 目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	2
3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」	2
2. 沿革	3
3. 組織	
1) 組織図	9
2) 役職者	10
3) 教員数	12
4. 学年暦	13
5. 管理運営	
1) 総務会	26
2) 大学院委員会	29
3) 合同教授会	32
4) 研究科委員会	33
5) 各種委員会活動	34
(1) 学長直轄委員会	34
ア 将来計画機構	34
イ 危機管理委員会	34
ウ 教員選考委員会	34
エ 人権委員会	35
オ 個人情報保護委員会	35
カ 安全衛生委員会	36
キ 自己点検・評価委員会	36
ク 外部評価準備委員会	37
ケ PCR検査センター運営委員会	37
① 事業戦略推進部	37
ア 入試委員会	37
イ 広報委員会	38
ウ 大学院入試広報委員会	39
エ IR戦略委員会	39
② 国際交流推進部	39
オ 国際交流センター運営委員会	39
(2) 教育・学生支援機構運営委員会	42

① 学生支援推進部	43
ア 健康管理センター運営委員会	43
イ 図書館・学習支援センター運営委員会	43
ウ 就職センター運営委員会	44
エ 教職支援センター運営委員会	45
オ 学生委員会	46
カ 交通安全委員会	46
② 教育開発推進部	47
ア 教務委員会	47
イ FD・SD推進委員会	49
ウ 国家試験・資格試験対策委員会	50
エ 新潟連携教育研究センター運営委員会	50
オ 高等教育推進センター運営委員会	52
(3) 研究・産官学連携推進機構運営委員会	53
① 研究・産学官連携推進部	53
ア 科研費対策委員会	53
イ プロジェクト研究センター運営委員会	53
② 研究・産学官連携支援部	53
ア 学術委員会	53
イ 倫理審査委員会	54
ウ 遺伝子組換え実験安全委員会	54
エ 動物実験委員会	54
オ 毒物・劇物管理委員会	55
カ 利益相反マネジメント委員会	55
キ 知的財産委員会	55
ク URA推進室会議	56
③ 大学院教育研究支援部	56
ア 大学院教務委員会	56
イ 大学院教育研究環境委員会	57
(4) 社会連携・同窓会推進機構委員会	57
① 社会連携推進部	57
ア 社会連携推進センター運営委員会	57
② 同窓会・生涯学習推進部	58
イ 同窓会・生涯学習連携推進委員会	58
(5) アスレティックデパートメント推進機構運営委員会	58
① 強化指定クラブ運営部	59

ア	強化指定クラブ運営委員会	59
②	アスレティックデパートメント推進部	59
イ	アスレティックデパートメント推進委員会	59
6.	大学情報の公開と広報	
1)	公開講座等	61
2)	広報活動	61
7.	研究活動	
1)	学長	63
2)	リハビリテーション学部	64
(1)	理学療法学科	64
(2)	作業療法学科	132
(3)	言語聴覚学科	144
(4)	義肢装具自立支援学科	155
(5)	新設学科設置準備室	175
3)	医療技術学部	181
(1)	臨床技術学科	181
(2)	視機能科学科	195
(3)	救急救命学科	205
(4)	診療放射線学科	210
4)	健康科学部	223
(1)	健康栄養学科	223
(2)	健康スポーツ学科	238
5)	看護学部	298
(1)	看護学科	298
6)	社会福祉学部	314
(1)	社会福祉学科	314
7)	医療経営管理学部	328
(1)	医療情報管理学科	328
8)	プロジェクト研究センター	338
(1)	言語発達支援センター	338
(2)	医療経済・QOL研究センター	339
(3)	ロコモティブ症候群予防研究センター	341
(4)	シティズンシップ教育実践研究センター	345
(5)	スポーツカウンセリング研究センター	349
(6)	アスリートサポート研究センター	350
(7)	身体教育研究センター	359

(8) 栄養科学研究センター	366
(9) 脳卒中リハビリテーション研究センター	369
(10) 次世代デジタルリハビリテーション研究センター	370
(11) 3D技術研究開発センター	372
9) 運動機能医科学研究所	374
10) 自然人類学研究所	404
11) 学内における研究助成金の採択状況	407
(1) 研究奨励金 採択一覧表	407
(2) 学長裁量研究費 採択一覧表	409
(3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表	409
(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表	409
12) 外部資金の獲得状況	413
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表	413
(2) 厚生労働省科学研究費補助金 採択一覧表	418
(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧	418
13) 新潟医療福祉学会	420
8. 図書館	
1) 蔵書数	421
2) 年間受入冊数	421
3) 利用状況	421
4) データ推移	421
9. 学生関係	
1) 収容定員	422
2) 入試広報活動	423
3) 入学者選抜方法	425
4) 入学者選抜試験結果	426
5) 在籍学生数	427
6) 異動学生数	428
7) 学生生活	430
(1) 学生生活に関する指導	430
(2) オリエンテーション	430
(3) 健康診断	430
(4) 心理相談	430
(5) 奨学金制度	430
(6) 学生寮	431
(7) 学友会	431

(8) 大学祭 .....	432
(9) クラブ活動 .....	432
(10) 学生表彰 .....	434
(11) 海外研修 .....	438
(12) 学習支援センター .....	438
8) 強化指定クラブ成績 .....	440
9) 国家試験・資格試験結果 .....	443
10) 就職状況 .....	443
10. その他	
1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 .....	445
2) 新型コロナウイルスワクチン職域接種 .....	445

# 1. 大学の基本理念

## 1) 基本理念

開設時の学則で示された建学の精神は「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」である（2001年）。

この学則に基づき、大学の基本理念を次の3項目とする。なお2005年に健康スポーツ学科が開設されたので、以下の文章では「保健医療福祉スポーツ」と表記する。

### (1) 優れたQOLサポーターを育成する大学

- ①保健医療福祉スポーツ分野の高度専門職者を育成する。
- ②保健医療福祉スポーツ分野の諸専門領域を横断的、融合的に理解する人材を育成する。
- ③対象者を全人的に理解し、支援する人材を育成する。

本学では全学科における人材育成の教育理念・目標の核心を、「対象者のQOL向上を考え、QOL向上のため支援を実践する人材育成」と設定し、上記①～③を実践する。教育課程の最初には専門分化でなく、保健医療福祉スポーツの分野を広く統合して考えられる人材育成を基本的目標とし、その上で高度に分化した専門職育成を行う。以上をまとめて、“優れたQOLサポーターの育成”としている。

### (2) 地域社会のニーズに応える大学

- ①大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ②地域の関連専門職団体や関係機関と連携して行う研究会の開催、研究会への協力
- ③情報通信ネットワークによる保健医療福祉スポーツ施設、在宅介護支援機関等への支援
- ④社会人等特別入学試験、科目等履修生制、聴講生制度
- ⑤公開講座（エクステンションプログラム）開講

- ア. 保健医療福祉スポーツ専門職・小中高教員向けのセミナー・研究会の開催
- イ. 高校生など対象の夏季特別プログラムの実施
- ウ. 市民公開講座、市民参加交流講座の開催

### ⑥社会的貢献－教職員・学生のボランティア活動の積極的推進

保健医療福祉スポーツサービスは、行政機関や各種施設の職員、家族・親族、ボランティア団体、住民など多様な人々によって担われる。保健医療福祉スポーツ分野の大学である本学が、専門的学術情報を中心として地域の連携拠点として機能することにより、多様な活動を有機的に結び付け、より一層地域全体としてサービス水準の向上を図れるものと考ええる。

また、本学学生のみならず、広く社会人に対して門戸を開き、更に地域の保健医療福祉スポーツ水準向上のため、関係機関や行政と密接に連携をとりつつ可能な限り地域住民の保健医療福祉スポーツ活動に寄与するよう努める。

### (3) 国際社会に貢献する大学

- ①人的交流－教員の交流・留学生の受入れや学生の派遣
- ②日本周辺諸国との保健医療福祉スポーツ分野における交流のシンポジウム・ワークショップなどの開催

保健医療福祉スポーツ分野でも「発信」型の国際交流が望まれる。中国、韓国、台湾、東南アジア諸国では、程度の差はあれ、工業化、都市化、核家族化、長寿化、伝統的な家族意識の崩壊などの諸要因によって、一人暮らしや老夫婦だけの高齢者世帯が増え、健康問題、保健医療問題、介護問題などの生活問題を抱えはじめている。このような変化はまさしく我が国が辿った過程であり、その先には保健医療福祉制度の見直しや、高度専門職者育成など諸課題が生じることが予測される。

我が国が周辺諸国から期待されている役割を果たす意味からも、これらの課題に取り組み、我々の高齢社会に於ける経験に基づく有用な情報を積極的に発信し、国際的に貢献するよう努める。



## 2) 教育内容の特色等

本学は教育理念と教育目標を基本理念とは別に定めているのが特徴であるが、基本理念（1）の具体概念と考えられる（再出）。教育理念（目的）は「医療福祉分野に対する社会的要請に応えるべく、豊かな人間性と高潔な倫理性に立脚し、高度な専門性に加えて他の専門領域をも横断的・融合的に理解し、研究し、実践し、教育する人材を養成する」、教育目標は「保健医療福祉スポーツの4分野を統合的に考え、他のスタッフと協力しながらQOL（＝いかによく生きるか）を総合的に考え、豊かなコミュニケーションで対象者のQOLを支える「優れたQOLサポーター」を育成する」である。

上記の目的・目標を達成するため、それぞれの学科におけるカリキュラムは、その名称が示す内容の国家資格等の受験資格を取得することができるように設定し、育成する“人材像”は次の通りである。

- ①対象者のQOL（生活の質、生きる質、健康の質）を自ら考え、その向上を実践する人材
- ②多様な価値観に寛容であり、対話ができる人材
- ③保健医療福祉スポーツ分野の複数の職種の人たちとチームアプローチができる人材
- ④教養的知識と専門的知識・技能をバランス良く身につけている人材
- ⑤保健医療福祉スポーツおよび一般社会における情報化に対応できる人材
- ⑥異文化理解・コミュニケーションの手段として外国語を使い、自ら発信できる人材

## 3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」

「優れたQOLサポーター」とは、保健医療福祉スポーツ分野を総合的に捉え、他分野のスタッフと協力しながら、対象者のQOL（＝いかによく生きるか）をいつも考え、その人を全人的に支える人材を意味する（再出）。

本学では「優れた」を満たす要件として、次の5項目を設定した（2010年）。

- ①科学的知識と技術を活用する力（Science & Art）
- ②チームワークとリーダーシップ（Teamwork & Leadership）
- ③対象者を支援する力（Empowerment）
- ④問題を解決する力（Problem-solving）
- ⑤自己実現意欲（Self-realization）

「5つの要件」を表す英語の頭文字を取ってSTEPSとまとめている。なお保健医療福祉スポーツ分野でエンパワメント（Empowerment）は、「対象者自身が自分らしく生きる力（自己決断力）および権利（自己決定権）」を意味するので、上記③を厳密に表現すれば「対象者のエンパワメントを支援する力」となることを付記する。

## 2. 沿革

年	月	事 項
1996年 (平成8年)	4月	大学設立構想検討開始
1997年 (平成9年)	1月	大学設置準備室設置
1999年 (平成11年)	6月	財団法人新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可(文部省)
2000年 (平成12年)	12月	新潟医療福祉大学 設置認可(文部省)
	12月	学校法人新潟総合学園 設立認可(文部省)
	12月	理学療法学科 理学療法士学校の指定
	12月	作業療法学科 作業療法士学校の指定
	12月	言語聴覚学科 言語聴覚士学校の指定
2001年 (平成13年)	2月	校地・校舎 竣工
	3月	健康栄養学科 管理栄養士養成施設・栄養士養成施設の指定
	4月	新潟医療福祉大学開学(2学部5学科設置) ・医療技術学部 理学療法学科(入学定員40名), 作業療法学科(入学定員40名), 言語聴覚学科(入学定員40名), 健康栄養学科(入学定員40名) ・社会福祉学部 社会福祉学科(入学定員100名)
	4月	新潟医療福祉大学竣工・開学式典
	4月	新潟医療福祉大学 第1回入学式
	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
2002年 (平成14年)	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
	9月	第2厚生棟 竣工
2003年 (平成15年)	4月	新潟医療福祉大学 第3回入学式
2004年 (平成16年)	4月	新潟医療福祉大学 第4回入学式
	11月	新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科(修士課程:保健学専攻・社会福祉学専攻)の設置認可
2005年 (平成17年)	1月	第3研究棟, 体育棟, 第2実験実習棟 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第1回卒業式
	3月	健康栄養学科(栄養教諭一種免許) 教員免許課程の認定 健康スポーツ学科(中・高教諭一種免許(保健体育)) 教員免許課程の認定
	4月	大学院医療福祉学研究科設置 保健学専攻, 社会福祉学専攻開設(入学定員40名)
	4月	医療技術学部健康スポーツ学科開設(入学定員60名)
	4月	医療技術学部理学療法学科入学定員増(入学定員80名)
	4月	新潟医療福祉大学 第5回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第1回入学式
	4月	ハルビン医科大学第一臨床医学院(中国)との学術交流協定の締結
	9月	看護学科 保健師学校・助産師学校・看護師学校の指定

<p>2006年 (平成18年)</p>	<p>2月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 6月 9月 9月</p>	<p>サザンクイーンズランド大学（オーストラリア）との研究協力についての覚書の締結 新潟医療福祉大学 第2回卒業式 看護学科（養護教諭一種免許）教員免許課程の認定 社会福祉学部社会福祉学科 介護福祉士学校の指定 第4研究棟 竣工 医療技術学部看護学科開設（入学定員80名） 社会福祉学部社会福祉学科介護福祉コース開設 入学定員増（入学定員120名） 新潟医療福祉大学 第6回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第2回入学式 ハッサン大学（アメリカ）との学術交流協定の締結 義肢装具自立支援学科 義肢装具士学校の指定 ハバロフスク極東総合医科大学（ロシア）との学術交流協定の締結</p>
<p>2007年 (平成19年)</p>	<p>3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 5月 5月 12月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第3回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第1回修了式（学位記授与式） 第5研究棟 竣工 財団法人日本高等教育評価機構から大学評価基準適合認定を受ける ※認定期間 平成18年4月1日～平成24年3月31日 第3厚生棟 竣工 大学院医療福祉学専攻（博士後期課程）開設（入学定員3名） 大学院健康科学専攻（修士課程）開設（入学定員10名） ※入学定員の変更 保健学専攻20名，社会福祉学専攻10名 2学部より3学部（医療技術学部・健康科学部・社会福祉学部）へ改組 健康科学部健康栄養学科（入学定員40名），健康スポーツ学科（入学定員100名）， 看護学科（入学定員80名）開設 ※医療技術学部健康栄養学科，健康スポーツ学科，看護学科 募集停止 医療技術学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設 東京キャンパス（東京都千代田区丸の内）の開設 新潟医療福祉大学 第7回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第3回入学式 カリフォルニア州立大学フレズノ校（アメリカ）との学術交流協定の締結 大学院健康科学専攻健康スポーツ学分野（中・高教諭専修免許（保健体育）） 教員免許課程の認定</p>
<p>2008年 (平成20年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第4回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第2回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第8回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第4回入学式</p>
<p>2009年 (平成21年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月 5月 7月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第5回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第3回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第9回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第5回入学式 第3体育館棟 竣工 「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発の実践」が，文部科学省平成21年度戦略的大学連携支援事業として採択</p>

	7月	国立シリントン・リハビリテーションセンター（タイ）との学術交流協定の締結（義肢装具自立支援学科）
	9月	キングストン大学（イギリス）およびロンドン大学セントジョージ校（イギリス）の健康社会福祉科学学部との国際交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国の4カ国から8名の参加
2010年 (平成22年)	3月	新潟医療福祉大学 第6回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第4回修了式（学位記授与式）
	3月	第3厚生棟改修 竣工
	3月	新潟市北区との包括連携協定の締結
	4月	医療経営管理学部医療情報管理学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第10回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第6回入学式
	8月	弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結
	8月	アンヘレス大学財団（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の4カ国から5名の参加
	11月	運動機能医科学研究所 開設
2011年 (平成23年)	3月	新潟医療福祉大学 第7回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第5回修了式（学位記授与式）
	3月	第6研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部臨床技術学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第11回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第7回入学式
	8月	ハワイ大学マノア校ジョンAバーズ医学部臨床技術学科（アメリカ）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）
	10月	サント・トーマス大学（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の5カ国から10名の参加
	10月	『新潟医療福祉大学』開学10周年記念式典開催
	12月	イーストアングリア大学看護・助産学校（イギリス）との学術交流協定の締結
2012年 (平成24年)	3月	新潟医療福祉大学 第8回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第6回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第12回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第8回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・マーシャル諸島共和国・キリバス共和国・ツバル・パラオ共和国の6カ国から7名の参加
2013年 (平成25年)	3月	新潟医療福祉大学 第9回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第7回修了式（学位記授与式）
	3月	第7研究・実習棟 竣工
	3月	硬式野球グラウンド 竣工
	3月	五泉市との包括連携協定の締結

	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員160名）
	4月	新潟医療福祉大学 第13回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第9回入学式
	5月	陸上競技グラウンド, テニスコート 竣工
	8月	台北榮民總醫院（台湾）との学術交流締結
	9月	視機能科学科 視能訓練士学校の指定
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2014年 (平成26年)	1月	2013年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	3月	新潟医療福祉大学 第10回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第8回修了式（学位記授与式）
	3月	第8研究・実習棟 竣工
	3月	屋内走路, 屋内野球練習場 竣工
	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成25年4月1日～平成32年3月31日
	4月	医療技術学部視機能科学科（入学定員50名）開設
	4月	大学院修士課程医療情報・経営管理学専攻（入学定員4名）開設 ※入学定員の変更 保健学専攻18名, 社会福祉学専攻8名
	4月	新潟医療福祉大学 第14回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第10回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修【フェーズⅡ】の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2015年 (平成27年)	1月	クラブハウス 竣工
	1月	2014年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	2月	マヒドン大学（タイ）との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第11回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第9回修了式（学位記授与式）
	3月	新潟県社会福祉協議会との包括連携協定の締結
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員200名）
	4月	新潟医療福祉大学 第15回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第11回入学式
	4月	クイーンズ大学（カナダ）との学術交流協定の締結（作業療法学科）
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防コース研修の実施 タイから14名の参加
	10月	新潟市社会福祉協議会との包括連携協定の締結
2016年 (平成28年)	3月	新潟医療福祉大学 第12回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第10回修了式（学位記授与式）
	3月	第2講義棟, 第4体育館棟 竣工
	4月	医療技術学部理学療法学科 入学定員増（入学定員120名）
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員8名）
	4月	新潟医療福祉大学 第16回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第12回入学式
2017年 (平成29年)	3月	新潟医療福祉大学 第13回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第11回修了式（学位記授与式）
	4月	第9研究・実習棟 竣工

	4月	医療技術学部救急救命学科（入学定員55名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第17回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第13回入学式
	11月	「リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点－Sports & Health for All in Niigata－」が文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業として採択
2018年 (平成30年)	3月	新潟医療福祉大学 第14回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第12回修了式（学位記授与式）
	3月	第4研究・実習棟増築改修 竣工
	3月	新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 竣工
	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第1期工事（13棟311室，共用棟）竣工
	4月	リハビリテーション学部理学療法学科（入学定員120名）開設
	4月	リハビリテーション学部作業療法学科（入学定員50名）開設
	4月	リハビリテーション学部言語聴覚学科（入学定員40名）開設
	4月	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設
	4月	医療技術学部臨床技術学科 入学定員増（入学定員100名）
	4月	医療技術学部診療放射線学科（入学定員90名）開設
	4月	看護学部看護学科（入学定員107名）開設
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員10名）
	4月	新潟医療福祉大学 第18回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第14回入学式
	6月	スポーツ庁「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」に採択
2019年 (平成31年)	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第2期工事（13棟295室）竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第15回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第13回修了式（学位記授与式）
	3月	2019年度スポーツ庁大学スポーツ振興推進事業に採択
	4月	新潟医療福祉大学 第19回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第15回入学式
2020年 (令和2年)	3月	新潟医療福祉大学 第16回卒業式（コロナウイルス感染拡大により学位記授与のみ）
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第14回修了式（同上）
	3月	2020年度スポーツ庁大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業に採択
	4月	新潟医療福祉大学 第20回入学式（オンライン）
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第16回入学式（オンライン）
	5月	2020年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択
2021年 (令和3年)	3月	新潟医療福祉大学 第17回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第15回修了式（学位記授与式）
	3月	福井県鯖江市との包括連携協定の締結
	4月	健康科学部健康スポーツ学科入学定員増（入学定員250名）
	4月	新潟医療福祉大学 第21回入学式（オンライン）
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第17回入学式（オンライン）
	5月	2021年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択
	10月	北側トレーニングセンター 竣工
	10月	屋内投てき場 竣工

2022年 (令和4年)	1月	自然人類学研究所 開設
	3月	新潟医療福祉大学 第18回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第16回修了式(学位記授与式)
	4月	新潟医療福祉大学 第22回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第18回入学式
	8月	令和4年度スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」採択
2023年 (令和5年)	3月	文部科学省 令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ2「特色ある高度な研究の展開」、タイプ3「地域社会への貢献(地域連携型)」選定
	3月	新潟医療福祉大学 第19回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第17回修了式(学位記授与式)

### 3. 組織

#### 1) 組織図





## 2) 役職者

### (1) 新潟医療福祉大学

学 長	西澤正豊
副学長	大山峰生
副学長	大西秀明
副学長	西原康行
リハビリテーション学部長	大西秀明
医療技術学部長	笠原敏文
健康科学部長	西原康行
看護学部長	宇田優子
社会福祉学部長	渡邊敏文
医療経営管理学部長	柴山純一
リハビリテーション学部	
理学療法学科長	椿 淳裕
作業療法学科長	大山峰生
言語聴覚学科長	大石如香
義肢装具自立支援学科長	東江由起夫
医療技術学部	
臨床技術学科長	中村藤夫
視機能科学科長	前田史篤
救急救命学科長	竹井 豊
臨床放射線学科	児玉直樹
健康科学部	
健康栄養学科長	永井 徹
健康スポーツ学科長	佐藤敏郎
看護学部	
看護学科長	宇田優子
社会福祉学部	
社会福祉学科長	渡邊敏文
医療経営管理学部	
医療情報管理学科長	柴山純一
教育・学生支援機構長	大山峰生
研究・産官学連携推進機構長	大西秀明
社会連携・同窓会生涯学習推進機構長	西原康行
アスレティックデパートメント推進機構長	西原康行
学生部長	相馬俊雄
図書館長	竹井 豊
大学事務局長	小野哲之
大学事務局次長	中原英伸

(2) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

研究科長

佐藤大輔

修士課程

保健学専攻長

阿部 薫

健康科学専攻長

佐藤大輔

社会福祉学専攻長

寺田貴美代

医療情報・経営管理学専攻長

木下直彦

保健学専攻

理学療法学分野長

久保雅義

作業療法学分野長

能登真一

言語聴覚学分野長

吉岡 豊

義肢装具自立支援学分野長

阿部 薫

医療技術安全管理学分野長

藤井 豊

視覚科学分野長

増田 修

救急救命学分野

竹井 豊

放射線情報学分野

笠井 聡

健康科学専攻

健康栄養学分野長

稲葉洋美

健康スポーツ学分野長

山代幸哉

看護学分野長

杉本 洋

社会福祉学専攻

保健医療福祉政策・計画・運営分野長

寺田貴美代

保健医療福祉マネジメント学分野長

松本京介

医療情報・経営管理学専攻

医療情報・経営管理学分野長

木下直彦

博士後期課程

医療福祉学専攻長

兎玉直樹

3) 教員数 (2022年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 275名

(注1) 学長・副学長を含む。

(注2) 大学院担当者142名を含む。

(2) 学部別教員数 (注3)

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
リハビリテーション学部	(1)	24	8	18	16	1	67
医療技術学部		24	10	15	15	2	66
健康科学部		17	12	20	14	2	65
看護学部		7	4	7	10	8	36
社会福祉学部		8	2	6	5	1	22
医療経営管理学部		8	3	1	6	0	18
合計		(1)	88	39	67	66	14

(注3) 理学療法学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部、医療技術学部任教員数を分けて計上

(3) 学科別教員数 (注4, 注5)

学科	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	
理学療法学科	(1)	11	2	11	10	0	34	
作業療法学科		5	2	2	2	0	11	
言語聴覚学科		5	4	1	2	1	13	
義肢装具自立支援学科		4	0	5	2	0	11	
臨床技術学科		8	5	4	4	2	23	
視機能科学科		6	0	2	3	0	11	
救急救命学科		4	1	3	3	0	11	
診療放射線学科		5	4	5	5	0	19	
健康栄養学科		5	4	5	4	1	19	
健康スポーツ学科		12	8	15	10	1	46	
看護学科		7	4	7	10	8	36	
社会福祉学科		8	2	6	5	1	22	
医療情報管理学科		8	3	1	6	0	18	
計		(1)	86	39	67	66	14	274

(注4) リハビリテーション学部：理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科  
 医療技術学部：臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科 診療放射線学科  
 健康科学部：健康栄養学科 健康スポーツ学科  
 看護学部：看護学科  
 社会福祉学部：社会福祉学科  
 医療経営管理学部：医療情報管理学科

(注5) 理学療法学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部、医療技術学部を合算した数で計上

## 4. 学年暦

- 4月 1日(金) ・ 新任教員辞令交付式(対面形式)実施 交付者/新任教員30名  
※管理職教員12名, 昇任教員23名は, 別日に個別面談形式で実施  
・ 新任教職員事務局オリエンテーション(WEB形式)実施  
対象/新任教職員47名  
内容/大学概要説明, 各種事務手続き説明, 学会への入会案内など
- 3日(日) ・ 学生寮「N-Village 伍桃」入寮式・オリエンテーション(WEB形式)実施
- 4日(月) ・ 新入生オリエンテーション<全体>①(WEB形式)実施  
対象/全新生と3年次編入生  
内容/授業開始に向けたパソコン設定や大学での修学および学生生活に関する動画視聴  
・ 新任教員FD研修(WEB形式)  
対象/計33名  
内容/「本学の教育理念及び教育特徴の理解」のためのセミナー開催
- 4日(月)～10日(日)  
・ 履修登録期間(前期・後期)
- 5日(火) ・ 新入生オリエンテーション<学科別>②(WEB形式)実施  
対象/全新生と3年次編入生  
内容/Teamsによる学科からの説明
- 6日(水) ・ 入学式(対面形式)挙行 会場: 朱鷺メッセ  
学生のみ参加 学部生 1,233名 うち会場参加 1,173名  
大学院生 70名 うち会場参加 27名  
※保護者, 並びに, 当日参加のできない学生は当日のライブ配信・アーカイブ動画にて  
視聴
- 7日(木) ・ 自然人類学研究所開所式(報道: TV 3社, 新聞 2社)
- 9日(土) ・ 新入生歓迎会「桃迎会」(WEB形式)開催  
内容/学友会主催のクラブ・サークル活動を紹介
- 11日(月) ・ 前期授業開始【メディア授業開始】  
授業形式/原則, 講義系科目はメディア形式, 実習・演習系は対面式
- 15日(金)～17日(日)  
・ 2022日本学生陸上競技個人選手権大会  
結果/入賞2名  
エパサカテレサ(健康スポーツ学科4年)女子ハンマー投3位  
中町真澄(健康スポーツ学科3年)男子円盤投3位
- 16日(土) ・ 新入生オリエンテーション<学科別>③(対面形式)実施  
対象/全新生と3年次編入生  
内容/大学生生活の案内, 学生証の交付, 提出資料の回収等
- 20日(水) ・ 新任教員歓迎会(中止)
- 23日(土) ・ 医療機関業界・職種研究会(WEB形式)開催  
参加者/臨床技術学科, 診療放射線学科 129名  
参加企業/3病院, 1施設, 1企業
- 28日(木)～5月1日(日)  
・ 第98回日本選手権水泳競技大会  
結果/表彰台3名 入賞6名(7種目)  
田中優弥(職員)男子50m バタフライ優勝

※第19回アジア競技大会 日本代表選出

水沼尚輝（職員）男子100mバタフライ優勝（2連覇）

松井浩亮（職員）男子50m自由形3位

- 29日（金） ・授業実施日
- 29日（金）～5月5日（木）
- ・5月オープンキャンパス（WEB形式）開催  
内容／申込者限定のサイトを公開 新規動画6本含む全50本と連携教育に関するライブ配信1本を公開  
参加者／受付者実数658名（前年734名）
- 5月 8日（土） ・第102回全日本サッカー選手権大会（天皇杯）新潟県代表決定戦出場  
結果／新潟医療福祉大学 4－0 新潟医療福祉大学FC  
※新潟医療福祉大学が優勝し、県代表として天皇杯への出場が決定  
（新潟医療福祉大学としては7年連続の出場）
- 13日（金） ・春の職員会（WEB形式）開催  
内容／2022年度方針と目標の発表
- 21日（土） ・義肢装具自立支援学科企業説明会（WEB形式）  
参加者／義肢装具自立支援学科 77名  
参加企業／53企業
- 22日（日） ・第102回全日本サッカー選手権大会（天皇杯）出場  
結果／1回戦勝利  
新潟医療福祉大学 1－0 ヴァンラーレ八戸（J3・青森県代表）
- 25日（水） ・第47回危機管理対策委員会（WEB形式）開催  
内容／5月27日から7月28日までの大学方針を決定  
行動制限レベルは原則レベル1（注意）を維持  
・学長メッセージ27を発信  
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（7月28日まで）
- 28日（土） ・福祉施設・医療機関等求人説明会（対面形式）実施  
参加企業／21社（前年／19社）  
参加者 / 83名（前年／87名）
- 6月 1日（水） ・第102回天皇杯全日本サッカー選手権大会出場  
結果／2回戦敗退 NUHW 1－2 鹿島アントラーズ（J1）  
・NHK大学セミナー開催  
対象／1年生（基礎ゼミ）約360名  
開催目的／当セミナーを通じて、コミュニケーションの取り方を学び、有意義な大学生を送る一助となることを期待する  
講師／パットンマックン（お笑いコンビ）  
テーマ／「パットンマックンの笑劇的国際コミュニケーション力」
- 8日（水） ・「夢を語る会」（1年生）実施
- 11日（土） ・日本語表現法プレイスメントテスト（1年生）実施
- 11日（土）、12日（日）、18日（土）、19日（日）
- ・6月オープンキャンパス（WEB形式）※19日（日）来場形式同時開催  
参加者／1,765名（前年／2,114名）
- 12日（日）～15日（水）
- ・第106回日本陸上競技選手権大会出場  
結果／入賞2種目2名

- 男子円盤投 7位 北原博企 (健康スポーツ学科2年)  
女子やり投げ 5位 木村玲奈 (理学療法学科3年)
- ・第38回U20日本陸上競技選手権大会出場  
結果/入賞1種目1名  
女子3000mSC 5位 星 美月 (健康スポーツ学科1年)
  - 15日(水) ・2022年度名誉教授称号授与式挙行
  - 17日(金) ・創立記念日  
・高等学校教諭対象2023年度入試説明会(来場形式)開催  
参加高校/18校※前年開催なし
  - 18日(土)～7月3日(日)  
・第19回FINA世界水泳選手権出場(ハンガリー・ブダペスト)  
結果/水沼尚輝(100mバタフライ 銀メダル)  
※同大会同種目での日本人選手のメダル獲得は初  
※準決勝で自身がつもつ日本新記録を更新  
※同大会には日本代表コーチとして, 下山 好充(水泳部監督・健康スポーツ学科教授),  
日本代表トレーナーとして, 松浦 由生子(健康スポーツ学科 講師)が帯同
  - 20日(月) ・新潟県人会佐渡支部開催 参加者/11名
  - 21日(火) ・沖縄県人会開催 参加者/7名
  - 22日(水) ・防災・避難訓練 実施  
参加者数/学生・教職員 約1,100名
  - 24日(金) ・宮城県人会開催 参加者/10名  
・第1回グローバルキャリア支援Meeting開催  
講師/一色史章先生(Global Doctor of Physical Therapy)  
題名/「理学療法の世界基準」を得るために  
特別対談/一色先生 vs 久保先生「理学療法の世界基準とは?」  
参加者/23名
  - 24日(金)～7月29日(金)  
・高等学校教諭対象2023年度入試説明会(WEB形式)開催
  - 27日(月) ・北陸圏人会開催 参加者/7名
  - 28日(火) ・第2回 教えて大学院開催  
参加者/12名(前年/8名)  
・福島県人会開催 参加者/18名
  - 29日(水) ・リハビリテーション学部 鍼灸健康学科(2023年4月開設, 定員40名)  
設置並びに収容定員増(1182名)認可(文部科学省)  
・秋田県人会開催 参加者/11名
  - 30日(木) ・群馬県人会開催 参加者/20名  
・学生表彰式実施  
内容/2021年度に顕著な活動があった学生23名を表彰(学術研究活動優秀賞:1名,  
社会活動優秀賞:3名, 課外活動優秀賞:19名)
  - 7月 1日(金) ・新潟医療福祉大学附属PCR検査センター開所式  
設置場所/学内第6駐車場旧バス停を改修  
運営/PCR検査センター運営委員会  
利用者(検査対象者)/新潟総合学園3大学の学生と教職員と関係者  
・長野県人会開催 参加者/20名  
・山形県人会開催 参加者/26名

- 3日(日) ・島見浜海岸清掃ボランティア活動(北区ライオンズクラブ主催)  
参加者/28名  
・第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会出場  
結果/優勝(4大会連続優勝) NUHW 1-0 新潟経営大学  
8月開催の第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに北信越地区代表として出場が決定
- 9日(土), 10日(日), 16日(土), 17日(日)  
・7月オープンキャンパス(WEB形式)
- 18日(月) ・授業実施日
- 20日(水) ・薬物乱用防止推進講演会実施(1年生)  
参加者/1,192名(前年/1,133名)  
・こころとからだの健康調査実施(1年生)
- 24日(日) ・大学院夏のオープンキャンパス開催  
参加者/32名(前年/28名)
- 26日(火) ・第49回危機管理対策委員会開催  
内容/7月29日(金)~9月22日(金)までの大学方針を決定  
行動制限レベルは原則レベル1(注意)  
・学長メッセージ28を発信  
内容/新潟コロナウイルス対策に係る大学方針(9月22日まで)
- 8月 1日(月)~5日(金)  
・学部・大学院前期定期試験実施  
8月3日から4日にかけて発生した豪雨により3日から5日の試験については、豪雨の影響を受けた一部の学生に対して特別配慮を実施
- 3日(水) ・令和5年度「科学研究費申請に向けた説明会」開催  
参加者/NUHW教職員139名, JIGYO教職員15名, NAFU教職員3名, 開志専門職  
大学教職員13名, 合計171名
- 4日(木) ・第3回教えて!大学院開催  
参加者/64名(前年11名)
- 6日(土)~14日(日)  
・8月オープンキャンパス(WEB形式)開催  
※個別見学18日(木)~31日(水)  
参加者/3,224名(前年/3,456名)
- 8日(月)~10日(水), 19日(金)  
・心電図検診実施(新入生対象)
- 10日(水) ・第2回グローバルキャリア支援Meeting開催  
講師/宮田祐介先生(BPO, M.Sc. Assistant Lecture, MahidolUniversity)  
題名/「途上国で働くこと, 学ぶこと」  
参加者/40名
- 10日(水)~9月30日(金)  
・医療福祉施設求人説明会開催※オンデマンド
- 11日(木)~16日(火)  
・大学休業期間
- 17日(水)~19日(金)  
・学部・大学院前期追試験, 再試験実施
- 18日(木)~9月4日(日) 第46回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント

- 結果／準々決勝 3回戦敗退（ベスト8）  
 （1回戦）本学 5対1 関西福祉大学（関西地区第4代表）  
 （2回戦）本学 3対0 中京大学（東海地区第1代表）  
 （準々決勝）本学 1対2 びわこ成蹊スポーツ大学（関西地区第3代表）
- 20日（土）・同窓会役員会・臨時総会開催 ※オンライン
- 24日（水）・新潟医療福祉大学・新潟食料農業大学共催SD開催※オンライン  
 概要／「URAの仕組みづくりと研究マネジメント人材養成」  
 講演テーマ／研究室と大学の研究推進  
 講演者／宮田等氏（新潟大学名誉教授，元新潟大学研究担当副学長）  
 参加者／95名
- 25日（木）・第4回教えて！大学院開催  
 参加者／38名（前年／18名）
- 25日（木），26日（金）  
 ・県北豪雨災害ボランティア活動参加（村上市）  
 参加者／学生132名，教職員12名 計144名
- 28日（日）～31日（水）  
 ・第98回日本学生選手権水泳競技大会出場  
 結果／表彰台3名 入賞13種目  
 女子100m背泳ぎ2位 山崎 光（健康スポーツ学科4年）  
 女子100mバタフライ2位 津田萌咲（健康スポーツ学科4年）  
 男子1500m自由形2位 本山 空（健康スポーツ学科2年）  
 学校対抗戦で女子が8位入賞し，来年のシード権を獲得
- 29日（月）・令和4年度スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト  
 「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」受託3団体（本学・立命館大学・日本体育大学）によるシンポジウム開催 ※オンライン  
 参加者／481名
- 29日（月）～9月2日（金）  
 ・連携総合ゼミ（4年生）実施 ※オンライン  
 参加者／本学，アンヘレス大学（フィリピン），サント・トマス大学（フィリピン），国立陽明交通大学（台湾），ハイズオン医療技術大学（ベトナム），新潟薬科大学，日本歯科大学新潟短期大学 計98名  
 内 容／他学科の学生，他大学の学生とチームを結成して，具体的な症例をもとにグループワークを通じて患者や対象者への支援策を検討し，発表を通して多職種への理解を深めることを目的とする．今年度は15例の仮想症例による支援策が発表された
- 31日（水）・学部9月卒業判定会議実施  
 結 果／8名の9月卒業を認定  
 （言語聴覚学科3名，診療放射線学科2名，健康スポーツ学科2名，医療情報管理学科1名）
- 9月 2日（金）・学部9月卒業発表
- 3日（土），4日（日），10日（土），11日（日）  
 ・9月オープンキャンパス（WEB形式）開催
- 7日（水）・大学院9月修了判定会議実施  
 結 果／3名の9月修了を認定（修士課程1名，博士後期課程2名）
- 9日（金）・大学院9月修了者発表



- 12日（月）～16日（金）
- ・連携基礎ゼミ（実践行動学Ⅱ）実施
- 15日（木）
- ・秋の職員会開催（SD研修）  
内容／「アサーティブコミュニケーション研修」  
講師／株式会社 インソース 川見敦子氏  
対象／全職員88名
- 16日（金）
- ・大学院オープンキャンパス開催（WEB形式）  
参加者／19名（前年／25名）
- 20日（火）
- ・第50回危機管理対策委員会開催  
内容／9月23日（金）～12月22日（木）までの大学方針を決定  
行動制限レベルは原則レベル1（注意）  
学長メッセージ29を発信  
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針
  - ・個人情報保護運用に関する教育プログラム（オンライン）実施（～11月22日）
- 21日（水）
- ・9月卒業式、修了式挙行（本学にて）  
卒業生／8名（言語聴覚学科3名・診療放射線学科2名・健康スポーツ学科2名・医療情報管理学科1名）  
修了生／3名（修士課程保健学専攻作業療法学分野1名，博士後期課程医療福祉学専攻2名）  
※保護者，教職員はLIVE配信による視聴
- 24日（土）
- ・総合型選抜入試A方式主体性（一次），B方式実施  
志願者数918名（前年／958名）
- 26日（月）
- ・後期授業開始  
授業形態／原則，講義系はメディア授業と対面授業の併用，実習・演習系科目は原則対面授業で実施  
感染対策／3つのガイドライン（対面授業実施ガイドライン，施設管理ガイドライン，学科ガイドライン）に基づく対応を実施
- 28日（水）
- ・はり師・きゅう師を養成する認定学校として文部科学省より受理・認可
- 10月 1日（土）
- ・第3回グローバルキャリア支援Meeting開催  
講師／田中智英巳（米国言語聴覚士協会認定オーディオロジスト）  
題名／「アメリカと日本の就職体験」  
参加者／33名
- 8日（土）
- ・拉致問題啓発セミナー（対面形式）開催  
内容／曾我ひとみ氏による講話，学生との意見交換等  
参加者／後期科目「新潟学」受講 1年生103名 ※オンデマンド視聴含
- 8日（土）～10日（月）・23日（日）
- ・10月オープンキャンパス（WEB形式）※23日（日）来場形式開催  
参加者／1,473名（前年／1,968名）
- 9日（日），10日（月）
- ・第22回大学祭「伍桃祭」（来場形式）開催  
※来場形式での開催は3年ぶり  
来場者／2,135名
- 10日（月）
- ・ハサヌディン大学（インドネシア）と本学看護学部の交流協定締結
- 14日（金）
- ・第4回グローバルキャリア支援Meeting開催  
講師／Midori Rahma Safitri（プムナン郡職業専門高校教員）

- 題名／「インドネシア・ロンボク島の死生観」  
参加者／20名
- 15日（土）・総合型選抜入試（A方式主体性二次）実施  
・看護学科3年次編入試験実施  
志願者数／258名（前年／333名）
- 16日（日）・2022全日本大学女子サッカー選手権大会北信越予選会出場  
結果／優勝（11年連続11回目のインカレ出場決定）  
・第98回日本選手権水泳競技大会オープンウォータースイミング競技出場  
本山空（健康スポーツ学科2年）男子 5km・10km 3位  
※本山選手は11月に開催されるワールドシリーズ日本代表に選出  
また、水泳部 馬場コーチも日本代表コーチに選出
- 19日（水）～20日（木）  
・第56回北信越大学女子バスケットボール選手権大会出場  
結果／3位（4年連続10回目のインカレ出場決定）
- 22日（土）・大学院第一次入学選考試験実施  
志願者数／39名（前年／37名）
- 23日（日）・第64回日本選手権（25m）水泳競技大会出場  
津田萌咲（健康スポーツ学科4年）女子50m バタフライ 優勝 ※学生新  
田中優弥（本学職員）男子100m バタフライ 優勝  
松井浩亮（本学職員）男子50m 自由形 優勝  
深澤舞（本学職員）女子100m 平泳ぎ 2位  
※4選手は12月に開催される世界選手権日本代表に選出  
また、水泳部 奈良コーチも日本代表コーチに選出
- 27日（木）・防災訓練実施  
内容／シェイクアウト訓練，自衛消防組織訓練，消火器・屋内消火栓操作訓練，防災備  
品紹介  
対象／学生，教職員
- 29日（土）・第22回新潟医療福祉学会学術集会（WEB形式）開催  
内容／タスク・シフト シェアに向けた多職種連携教育  
特別講演／田邊 晴山氏（一般財団法人救急振興財団救急救命東京研修所 教授）  
シンポジウム／江部 克也 先生（長岡赤十字病院 救急救命センター長）  
安田 康晴 先生（広島国際大学 救急救命学 学科長・教授）  
佐藤 理 先生（株式会社リーベン 代表取締役社長）  
渡邊 翔太 先生（株式会社エヌジェーシー 救急救命士）
- 29日（土）・30日（日）  
・第70回秋季北信越大学女子バレーボール選手権大会出場  
結果／優勝（9年連続9回目のインカレ出場決定）
- 29日（土）～11月6日（日）  
・保護者会（WEB形式）開催※11月5日（土）来場形式同時開催  
内容／後援会長挨拶，学長挨拶，大学運営報告，学科長メッセージ，学科の取り組みな  
などを動画にて紹介  
来場者／94名  
動画再生回数／4,051回（前年／3,356回）
- 30日（日）・全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場  
結果／23位（出場26校）

- 11月 3日(木) ・授業実施日
- 3日(木)～6日(日)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)
- ・11月オープンキャンパス(WEB形式)開催
- 5日(土) ・後援会役員会開催
- 内容/学長挨拶, 大学運営報告, 意見交換
- 参加者/役員9名
- ・北信越男子サッカーリーグ1部(後期)
- 結果/優勝(4年連続8回目のインカレ出場決定)
- 10日(木) ・第6回グローバルキャリア支援Meeting開催
- 講師/高山祐輔氏(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科)
- 題名/「国際的な視野を得るために!」
- 参加者/41名
- 12日(土) ・大学院オープンキャンパス(WEB形式)開催
- 参加者/17名(前年/19名)
- 13日(日) ・第15回JAIPE(日本保健医療福祉連携教育学会)学術集会(WEB形式)開催
- 19日(土) ・学校推薦型選抜入試(指定校)実施
- ・総合型選抜C方式入試(スポーツ前期)
  - ・社会人特別入試
- 志願者数/685名(前年/800名)
- 21日(月) ・女子バレーボール部Vリーグ入団内定
- 黒島南 健康スポーツ学科4年(V2 ルートインホテルズ)
- 本山晴佳 健康スポーツ学科4年(V2 大野石油広島)
- ・秋田県人会開催 ※参加者:12名
  - ・北陸圏人会開催 ※参加者:6名
- 22日(火) ・山形県人会開催 ※参加者:9名
- 23日(水) ・授業実施日
- 24日(木) ・宮城県人会開催 ※参加者:6名
- 26日(土) ・学校推薦型選抜入試(公募前期)実施
- 総合型選抜D方式入試(基礎学力重視型)実施
- 社会人特別選抜入試 実施
- 志願者数/695名(前年/800名)
- ・北信越大学テニス王座決定戦女子1部・2部入れ替え戦
- 結果/1部昇格 NUHW 3 - 1 金沢星稜大学
- 28日(月) ・福島県人会開催 ※参加者:5名
- 29日(火), 30日(水)
- ・第69回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学(女子)選手権大会
- 結果/2回戦敗退 NUHW 0 - 3 明海大学
- 30日(水) ・長野県人会開催 ※参加者:7名
- 12月 1日(木)～4日(日)
- ・ジャパンオープン2022(50m)(水泳部)出場
- 結果/水沼尚輝 職員 男子100mバタフライ 優勝
- 津田萌咲 健康スポーツ学科4年 女子50mバタフライ 2位
- 2日(金) ・男子サッカー部 Jリーグ加入内定選手合同記者会見開催
- オナイウ情滋 健康スポーツ学科4年(J2 ベガルタ仙台)
- 小森飛純 健康スポーツ学科4年(J2 ジェフユナイテッド千葉)

報道6社 (TV 2社/新聞4社)

4日 (日), 6日 (火)

- ・第74回全日本大学バスケットボール選手権大会 (女子) 出場  
結果/グループステージ敗退 (1勝1敗)

5日 (月) ・「挨拶・マナー向上活動優秀作品」授賞式開催

8日 (木) ~1月1日 (日)

- ・第71回全日本大学サッカー選手権大会 (男子) 出場  
結果/準優勝 (創部初)  
1回戦 NUHW 3-1 八戸学院大学 (東北2位)  
2回戦 NUHW 3-2 びわこ成蹊スポーツ大学 (関西2位)  
準々決勝 NUHW 1-1 (PK 5-4) 中京大学 (東海3位)  
準決勝 NUHW 1-0 国士館大学 (関東6位)  
決勝 NUHW 2-3 桐蔭横浜大学 (関東4位)

9日 (金)

- ・新潟市北区との連携協議会開催  
出席者/(北区) 副区長, 健康福祉課長, 産業振興課長, 地域総務課課長補佐, 地域総務課係長  
(本学) 学長, 副学長 (社会連携担当), 社会連携推進センター長, 大学事務局長, 社会連携推進課長

内容/包括連携協定に基づく今後の事業連携に関する意見交換

- ・天皇杯・皇后杯全日本バレーボール大会 (女子) 出場  
結果/ファイナルラウンド1回戦敗退  
NUHW 0-2 ヴィクトリーナ姫路 (V1)

10日 (土)

- ・大学院第二次入学選考試験実施  
志願者数/36名 (前年/20名)  
・業界, 職種研修会 (対面形式) 実施  
参加企業/27社 (前年/8社)  
参加者/170名 (前年/150名)

10日 (土), 11日 (日)

- ・第41回秋田全国舞踊祭モダンダンスコンクール出場  
結果/群舞部門第3位, アンコール作品賞「あきたこまち賞」受賞

10日 (土), 11日 (日), 17日 (土), 18日 (日), 24日 (土), 25日 (日) ※10日 (土) 来場形式開催

- ・12月オープンキャンパス (WEB形式) 開催  
参加者/1,177名 (前年/1,649名)

13日 (火)

- ・第7回グローバルキャリア支援Meeting開催  
講師/原 大樹 先生 (視能訓練士) (日本アルコン株式会社 プロダクトマネージャー)  
題名/「私が海外の眼科で働こうと思った本当の理由」  
参加者/35名

13日 (火) ~18日 (日)

- ・第16回世界短水路 (25m) 選手権出場 (オーストラリア)  
結果/日本代表選手4名と代表コーチ1名が参加し, 3種目で入賞  
松井浩亮 職員 男子4×50mフリーリレー4位  
田中優弥 職員 男子4×50mメドレーリレー4位  
深澤舞 職員 女子100m 平泳ぎ7位  
津田萌咲 健康スポーツ学科4年 女子4×50mメドレーリレー7位  
奈良梨央 健康スポーツ学科講師・水泳部コーチ 代表コーチとして帯同

- 17日(土) ・学校推薦型選抜入試(公募後期)実施  
 総合型選抜C方式入試(スポーツ後期)実施  
 3年次編入学試験実施  
 志願者数/18名(前年/32名)
- 19日(月)～26日(月)  
 ・学内職域接種の実施  
 合計663名(内訳:本学学生488名,教職員70名,新潟食料農業大学学生・教職員91名,  
 事業創造大学院大学学生・教職員7名,NSGグループ・外部取引企業7名)
- 20日(火) ・第51回危機管理対策委員会開催  
 内容/12月23日から2月23日までの大学方針を決定  
 行動制限レベル1(注意)を維持 ※一部レベル0
- 21日(水) ・実験動物慰霊祭実施
- 24日(土) ・第31回全日本大学女子サッカー選手権大会(女子)出場  
 結果/1回戦敗退 NUHW 0-3 日本体育大学
- 26日(月) ・年内授業最終日
- 27日(火)～1月4日(水)  
 ・大学休業日
- 1月 1日(日)～9日(月),16日(月)～22日(日)  
 ・1月オープンキャンパス(WEB形式)開催
- 5日(木) ・授業再開
- 7日(土) ・スクーリング(入学予定者対象)開催
- 13日(金) ・大学閉鎖日
- 14日(土),15日(日)  
 ・大学入学共通テスト(試験会場)
- 19日(木) ・大学休業日
- 24日(火)～30日(月)  
 ・学部/大学院後期定期試験実施
- 29日(日) ・介護福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 31日(火) ・科学研究費採択結果発表(文部科学省)

59.スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野

順位	機関種別名	機関名	新規採択累計数(件)	配分額(直接経費)(千円)	応募件数累計数(件)
1	国立大学	筑波大学	176.0	414,400	563.0
2	私立大学	順天堂大学	149.0	265,500	373.0
3	国立大学	東京大学	112.0	334,300	218.0
4	私立大学	新潟医療福祉大学	100.0	216,900	255.0
5	私立大学	早稲田大学	96.0	213,600	227.0
6	国立大学	京都大学	77.0	226,900	146.0
7	国立大学	東北大学	75.0	170,000	154.0
8	国立大学	広島大学	74.0	156,200	195.0
9	国立大学	名古屋大学	73.0	207,500	148.0
10	国立大学	大阪大学	63.0	178,900	146.0

- 2月 1日(水),2日(木)  
 ・一般選抜試験(前期)実施  
 志願数/1,148件(前年/1,489件)  
 ・大学入学共通テスト利用選抜(前期)実施  
 志願数/912件(前年/1,025件)

- 4日(土) ・大学院第三次入学選考試験実施  
志願数/4件(前年/7件)
- 4日(土), 5日(日)  
・精神保健福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 5日(日) ・社会福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 6日(月)~8日(水)  
・学部/大学院後期追試験, 再試験
- 7日(火) 新潟市北区「ひと・まち」づくり推進事業報告会開催(本学にて)  
参加者/新潟市北区長, 北区内小中学校長, 地域住民の方, 西澤学長, 西原副学長, 教職員等 計180名
- 9日(木) ・助産師国家試験受験(看護学科)
- 10日(金) ・文部科学省 私立大学改革総合支援事業  
タイプ2(特色ある高度な研究の展開)選定(特別補助交付約2,500万)  
タイプ3(地域社会の発展への貢献)選定(特別補助交付約1,000万)  
・保健師国家試験受験(看護学科)
- 11日(土)~19日(日), 23日(木)~26日(日)  
・2月オープンキャンパス(WEB形式)開催  
内容/申込者限定のサイトを公開  
大学紹介, 入試対策, メタバース学生寮見学等  
参加者/受付178名(前年/191名)
- 12日(日) ・看護師国家試験受験(看護学科)  
・診療情報管理士試験受験(医療情報管理学科)
- 15日(水) ・臨床検査技師国家試験受験(臨床技術学科)
- 16日(木) ・視能訓練士国家試験受験(視機能科学科)  
・診療放射線技師国家試験受験(診療放射線学科)
- 17日(金) ・転部転科選考試験実施  
結果/受験者11名 合格者10名  
内訳/健康スポーツ学科 受験者1名/合格者1名  
社会福祉学科 受験者2名/合格者2名  
医療情報管理学科 受験者8名/合格者7名  
・新潟市スポーツ協会「スポーツグランプリ」受賞  
内容/水沼尚輝さん(本学職員, 水泳部)が新潟市のスポーツ振興に寄与したとしてスポーツグランプリを受賞
- 18日(土) ・言語聴覚士国家試験受験(言語聴覚学科)
- 19日(日) ・理学療法士国家試験受験(理学療法学科)  
・作業療法士国家試験受験(作業療法学科)
- 20日(月) ・学部卒業判定会議実施  
結果/卒業対象者1,100名のうち1,052名の卒業者を認定  
内訳/理学療法学科 120名  
作業療法学科 37名  
言語聴覚学科 38名  
義肢装具自立支援学科 36名  
臨床技術学科 96名  
視機能科学科 39名  
救急救命学科 52名

- |  |          |      |
|--|----------|------|
|  | 診療放射線学科  | 77名  |
|  | 健康栄養学科   | 40名  |
|  | 健康スポーツ学科 | 202名 |
|  | 看護学科     | 100名 |
|  | 社会福祉学科   | 126名 |
|  | 医療情報管理学科 | 89名  |
- 21日（火）
- ・大学院修了判定会議実施
  - 結果／修士課程 対象者44名のうち38名の修了を認定
  - 博士後期課程 対象者24名のうち15名の修了を認定
- 22日（水）
- ・学部卒業者発表
  - ・第52回危機管理対策委員会開催
  - 内容／2月24日以降の大学方針を決定。国・県の方針が変更された場合などは臨時委員会を開催し方針見直しを行う。
  - 原則行動制限レベル1（注意）を維持するが5月8日以降原則「レベル0」へ移行する。
  - 4月からの授業は原則対面で行う。
  - 卒業式、入学式の実施方式、マスク着用等感染防御対策の確認
- 23日（木）
- ・学長メッセージ32の発信
  - 内容／2月24日以降の新型コロナウイルス対策に係る大学方針
- 24日（金）
- ・義肢装具士国家試験受験（義肢装具自立支援学科）
- 26日（日）
- ・管理栄養士国家試験受験（健康栄養学科）
- 27日（月）
- ・新潟県スポーツ賞受賞
  - 内容／知野光希さん（医療情報管理学科3年）が、IWBF男子U23車いすバスケットボール世界選手権大会優勝を評価され、新潟県スポーツ賞を受賞
  - ・大学院修了者発表
  - ・新4年生オリエンテーション実施
- 28日（火）
- ・グローバルキャリア支援Meeting（オンライン）実施
  - 内容／海外生活から見える日本の価値観・世界観
  - 講師／豊田 典子氏（作業療法学科准教授）
  - 参加者／33名
  - ・福井県鯖江市より表彰（感謝状贈呈式）
  - 内容／本学と鯖江市による「眼育さばえプロジェクト」に貢献したとして、視機能科学科4年松井千洋さんが鯖江市より表彰された。
  - ※2021年3月本学と鯖江市は包括連携協定を締結
- 3月 2日（木）
- ・一般選抜入試（後期）実施
  - 志願数／44件（前年／134件）
  - ・大学入学共通テスト利用特別選抜（後期）実施
  - 志願数／49件（前年／79件）
  - ※2023年度学部入学者選抜試験出願結果
  - 総出願件数／3,782件（前年／4,514件）
- 6日（月）～9日（木）
- ・連携総合ゼミ（3年生）実施
- 11日（土）
- ・大学院第四次入学選考試験実施（志願数12件／昨年6件）
  - ※2023年度大学院入学者選抜試験出願結果
  - 総出願件数91件／昨年70件

- 14日（火） ・ 学内合同企業説明会実施  
参加企業／20社（前年／31社）  
参加者数／66名（前年／80名）
- 17日（金） ・ 2022年度卒業式・大学院修了式挙行  
会 場／朱鷺メッセ  
卒業生数／学部生1,056名，大学院生53名（博士15名，修士38名）  
来場者数／2,677名（卒業生・保護者・来賓・教職員）
- 18日（土） ・ 後援会役員会開催  
参加者／後援会役員8名，学長，大学事務局5名  
内容／ ・ 2022年度事業報告  
・ 2022年度後援会収支決算書（案）について  
・ 2023年度後援会収支予算書（案）について  
・ 2023年度後援会役員（案）について  
・ 後援会総会（案）について
- 18日（土）～26日（日）  
・ 3月オープンキャンパス（WEB形式）開催  
内容／申込者限定のサイトを公開（大学紹介，入試対策など）
- 22日（水） ・ 大学院オープンキャンパス開催  
内容／分野別概要説明，入試概要説明など  
参加者／23名（昨年度21名）
- 24日（金） ・ 第11研究・実習棟（U棟）竣工式挙行  
・ 強化指定クラブキャリアガイダンス実施  
テーマ／大学生アスリートのキャリアに対する考え方  
内容／第一部：株式会社スポーツフィールドによる講演会  
第二部：卒業生パネルトーク  
参加者数／180名
- 26日（日） ・ 春のオープンキャンパス（来場形式）開催  
参加者／来場形式＋WEB形式 779名（前年／552名）
- 27日（月） ・ 新3年生オリエンテーション実施
- 28日（火） ・ 新2年生オリエンテーション実施



## 5. 管理運営

### 1) 総務会

#### 総務会構成員

西澤正豊学長，大山峰生教育担当副学長兼作業療法学科長，大西秀明研究・産官学連携担当副学長兼リハビリテーション学部長，西原康行社会連携・同窓会・生涯学習担当副学長兼健康科学部長，佐藤大輔医療福祉学研究科長，笠原敏文医療技術学部長，宇田優子看護学部長兼看護学科長，渡邊敏文社会福祉学部長兼社会福祉学科長，柴山純一医療経営管理学部長兼医療情報管理学科長，椿 淳裕理学療法学科長，大石如香言語聴覚学科長，東江由起夫義肢装具自立支援学科長，中村藤夫臨床技術学科長，前田史篤視機能科学科長，竹井 豊救急救命学科長，児玉直樹診療放射線学科長，永井 徹健康栄養学科長，佐藤敏郎健康スポーツ学科長，粕谷大智鍼灸健康学科設置準備室長※小野哲之法人常務理事兼法人事務局長兼大学事務局長，森常不法人事務局次長，中原英伸大学事務局次長

(事務局) 牧浦秀紀法人企画部次長，片岡 昇総務部長，斎藤佳昭経理部長，本間智之人事部長，木原亨学務部長，樋山耕一入試広報部長，渋谷友之総務部総務課長，大竹 宏総務部社会・産官学連携課長兼研究支援課長，吉田俊雄学務部教務課長，佐々木俊太郎学務部学生課長，中田香織学務部キャリア開発室長，嵐田浩吉学務部大学院・国際交流課長，近藤 至入試広報部広報課長，山口和朗入試広報部入試課長，船山 諭人事部人事課長，船山澄子図書館・学習支援課長，稲田茂高スポーツ振興室長，笹川克己IR室長  
※新学科設置によるオブザーバーとしての参加

#### 主な審議事項および決定事項等

##### (1) 方針・計画について

- ・鍼灸健康学科養成学校認定について
- ・2023年度鍼灸健康学科設置に伴う定員増認可について
- ・心理健康学科設置の承認
- ・2023年度年間予定表について

##### (2) 学則・規程について

- ・特待生規程改正の承認
- ・自己点検・評価委員会規程改正の承認
- ・「新潟医療福祉大学の再任審査手続きの取り扱いについて」改正の承認
- ・新潟医療福祉大学における研究活動に係る不正行為の防止および対応に関する規程制定の承認
- ・研究関連規程等の制定および改正の承認
- ・図書館利用規程改定の承認
- ・2024年度心理健康学科設置に伴う学則変更の承認
- ・個人情報保護関係規程改正の承認

##### (3) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・リサーチ・アシスタントの採用の承認
- ・教員選考委員会設置の承認
- ・教員選考委員会審査結果の承認
- ・教員業績評価実施スケジュールについて
- ・臨床教授等候補者選考委員会設置の承認
- ・臨床教授等の選考結果の承認
- ・客員教授称号付与の承認
- ・名誉教授称号付与の承認
- ・再任審査スケジュールの承認
- ・再任審査結果の承認
- ・2023年度組織体制について

- ・2023年度管理職者について
  - ・2023年度各種委員会委員長について
  - ・アクションプラン変更等の見直しの承認
  - ・新潟医療福祉大学ガバナンスコード（案）の承認
  - ・後援会役員会について
  - ・保護者会について
  - ・最終講義について
  - ・名誉教授授与式について
  - ・2023年度辞令交付式等について
  - ・新任教職員事務局オリエンテーション（4月3日）について
  - ・新潟医療福祉学会・日本保健医療福祉連携教育学会について
  - ・日本保健医療福祉連携教育学会からのお願い
  - ・新潟医療福祉学会学術集会について
  - ・拉致問題啓発セミナーについて
  - ・6月1日（水）NHK大学セミナー（基礎ゼミ）開催について
  - ・6月22日（水）防災・避難訓練（基礎ゼミ）の実施について
  - ・後期防災訓練について
  - ・7月20日（水）3限基礎ゼミ時間帯の実施依頼（UPIと薬物乱用防止講演会実施）について
  - ・開志専門職大との人事交流協定締結について
  - ・非常勤講師給与支払業務に関するお願いについて
  - ・育児・介護休業法改正に伴う制度改正について
  - ・新潟医療福祉大学における内部質保証に関する方針の策定の承認
  - ・標的型攻撃メール訓練の結果および個人情報保護教育プログラム受講状況について
  - ・個人情報保護監査の結果と注意喚起について
  - ・ドラフトチャンバー等の安全衛生法に係る設備についてのおお願い
  - ・（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団受託事業作業施設の設置について
  - ・ハラスメント防止の徹底について
  - ・アスリート栄養相談室の開設について
  - ・インターナショナルこども園状況報告
  - ・教員海外出張報告
  - ・省エネ対策の協力依頼について
  - ・学内全体のストレスチェック結果について
  - ・アルコールチェックについて
  - ・2021年度年報の発刊について
  - ・火元責任者の更新について
  - ・「MyiD」の導入について
- （4）教育について
- ・教育・学生支援機構運営委員会報告
  - ・2023年度ティーチングアシスタント公募の承認
  - ・ティーチングアシスタント審査結果の承認
  - ・Advanced TA（ATA）制度新設の承認
  - ・2021年度教育の重要課題の結果分析と2022年度教育の重要課題について
  - ・教育重要課題（国家試験・退学抑止・卒業率・就職率）に関する対策について
  - ・カリキュラム改訂に関わる方針（2023）について
  - ・教養科目に関するカリキュラム変更の承認

- ・救急救命学科カリキュラム変更の承認
  - ・看護学科カリキュラム変更の承認
  - ・心理健康学科カリキュラムの承認
  - ・臨床技術学科カリキュラム変更の承認
  - ・前期定期試験の実施形態について
  - ・2023年度学事暦について
  - ・2023年度前期の授業実施について
  - ・後期授業形態等について
  - ・学部卒業判定・卒業発表・卒業式日程について
  - ・国家試験・資格試験報告
  - ・全13学科の国家試験対策状況について
  - ・就職活動報告
  - ・新潟医療福祉大学オープンアクセス方針の承認
  - ・視機能科学科「眼鏡作製技能士」の資格取得の報告
  - ・2021年度病院・施設および一般企業定着度調査結果報告について
- (5) 学生について
- ・9月卒業式・修了式について
  - ・卒業式・修了式報告および2023年度入学式について
  - ・2023年度新入生全体オリエンテーションについて
  - ・学籍異動状況報告
  - ・学生懲戒諮問委員会設置の承認
  - ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
  - ・学生表彰（卒業表彰）について
  - ・在学生表彰について
  - ・学生生活アンケートについて
  - ・学生による授業評価回答のご指導のお願いについて
  - ・2021年度卒業時（卒業生）アンケート学科別対応シートについて
  - ・2021年度授業評価アンケート学科別回答率について
  - ・2021年度卒業時アンケート結果について
  - ・新入生アンケート実施依頼について
  - ・人権委員会による学生アンケートの実施について
  - ・4月9日（土）桃迎会について
  - ・第22回伍桃祭について
- (6) 研究・産官学連携について
- ・研究・産官学連携機構運営委員会報告
  - ・研究奨励金・学長裁量研究費応募要項の承認
  - ・研究科長裁量研究費応募要項の承認
  - ・共同研究・共同利用募集要項の承認
  - ・新規プロジェクト研究センター設置の承認
  - ・研究費の概要の承認
  - ・Sports & Health先端科学研究費応募要領の承認
  - ・Sports & Health先端科学研究費審査結果の承認
  - ・外部資金獲得奨励金応募の承認
  - ・研究奨励金審査結果の承認
  - ・外部資金獲得奨励金審査結果の承認

- ・共同研究・共同利用研究費審査結果の承認
- ・令和5年度科学研究費採択状況について
- (7) 入学選考試験について
  - ・2022年度（2023年度入試）第2次合否判定会議開催日程について
  - ・2023年度入学者選抜試験概要案の承認
  - ・2023年度入試面接試験実施形式について
  - ・2022年度高等学校教諭対象入試説明会について
  - ・2023年度入学者選抜入学者目標数の承認
  - ・新潟医療福祉大学2025年度入学者選抜（予告案）の承認
  - ・2023年度入学者選抜試験結果報告（総合型選抜A方式・B方式・3年次編入学選抜）
  - ・2023年度入学者選抜試験結果報告（総合型C方式前期・D方式，学校推薦型等）
  - ・2023年度入学者選抜試験結果報告（総合型C方式後期・学校推薦型後期等）
  - ・2023年度入学者選抜試験出願結果報告（一般選抜・共通テスト利用選抜後期）
  - ・入試におけるインシデント（アクシデント）と再発防止の対応および措置
  - ・転部転科選考試験の承認
  - ・転部転科選考試験結果報告について
- (8) 国際交流について
  - ・国際交流推進部報告
- (9) 社会連携・同窓会連携推進について
  - ・社会連携・同窓会推進機構運営委員会報告
- (10) 強化スポーツについて
  - ・アスレティックデパートメント推進機構運営委員会報告
- (11) 事業戦略について
  - ・事業戦略推進部報告
  - ・IR戦略委員会報告
  - ・IR戦略委員会2021年度報告と2022年度課題
  - ・IR戦略委員会・IR室2022第四半期報告
  - ・国家試験・資格試験合否と成績データの関連性について
  - ・APとCP・DPとの関連性について
  - ・学籍異動と成績との関連性について
  - ・WEBオープンキャンパス動員報告
  - ・オープンキャンパス実施概要報告
  - ・パブリシティー掲載報告
- (12) 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・危機管理対策委員会報告
  - ・学内PCR検査センター設置について
  - ・PCR検査申請状況報告
  - ・対面授業実施ガイドラインについて
  - ・入構および施設利用ガイドライン変更について
  - ・新型コロナウイルスワクチン接種について
  - ・学生寮状況について

## 2) 大学院委員会

### 大学院委員会構成員

西澤正豊学長，佐藤大輔医療福祉学研究科長兼健康科学専攻長（議長），大山峰生教育担当副学長，大西

秀明研究・産官学連携担当副学長，西原社会連携担当兼同窓会・生涯学習担当副学長，児玉医療福祉学専攻長，阿部薫保健学専攻長兼義肢装具自立支援学分野長，寺田貴美代社会福祉学専攻長兼保健医療福祉政策・計画・運営分野長，木下直彦医療情報・経営管理学専攻長兼医療情報・経営管理学分野長，久保雅義理学療法学分野長，能登真一作業療法学分野長，吉岡豊言語聴覚学分野長，藤井豊医療技術安全管理学分野長，増田修視覚科学分野長，竹井豊救急救命学分野長，笠井聡放射線情報学分野長，稲葉洋美健康栄養学分野長，山代幸哉健康スポーツ学分野長，杉本洋看護学分野長，松本京介保健医療福祉マネジメント学分野長，小野哲之常務理事兼法人事務局長兼大学事務局長，中原英伸事務局次長

主な審議事項および報告事項等

(1) 方針，計画等について

- ・2022年度の課題と取組み・KPI目標値について
- ・内部質保証における大学院アセスメントプランの実施について
- ・医療福祉学研究科の3つの方針策定について
- ・2023年度大学院定員増について
- ・2022年度卒業式・修了式の実施方針について
- ・2023年度大学院学事暦について

(2) 学則，規程，内規等の改定について

- ・新潟医療福祉大学大学院学則の改正について
- ・新潟医療福祉大学大学院入学者選抜方法等に関する規程の改正について
- ・新潟医療福祉大学における研究活動に係る不正行為の防止および対応に関する規程の制定について
- ・新潟医療福祉大学研究奨励金規程の改正について
- ・新潟医療福祉大学学長裁量研究費規程の改正について
- ・新潟医療福祉大学大学院研究科長裁量研究費規程の制定について
- ・研究奨励金の審査及び評価に関する取扱内規の改正について
- ・研究成果の報告及び公表等に関する取扱内規の改正について
- ・新潟医療福祉大学共同研究・共同利用研究費規程の制定について
- ・共同研究・共同利用研究費の審査及び評価に関する取扱内規の制定について
- ・第1段審査（書面審査）の手引きの改正について
- ・新潟医療福祉大学研究員受入規程の制定について
- ・修士課程学費減免特待生規程ならびに選考に係る取扱い内規の改正について
- ・JASSO 修士課程返還免除内定制度学内選考に関する規程の改訂について

(3) 組織・人事等について

- ・大学院担当教員資格審査委員会設置について
- ・大学院担当教員資格審査結果について
- ・臨床教授等候補者選考委員会設置について
- ・臨床教授等の称号付与審査結果について
- ・2023年度大学院組織体制案について
- ・2023年度大学院辞令交付式について

(4) 研究について

- ・大学院生の研究活動による個人研究費の使用について
- ・研究科長裁量研究費，研究奨励金，学長裁量研究費の募集と採択結果の承認について
- ・外部資金獲得奨励金の募集と採択結果の承認について
- ・Sports&Health 先端科学研究費の募集と採択結果の承認について
- ・科研費申請件数，採択件数，獲得状況について

(5) 国際交流，留学生について

- ・私費外国人留学生授業料減免申請について

- ・国費外国人留学生（研究留学生）の推薦と採用結果報告について
- (6) 学生について
  - ・大学院学生表彰者の選出について
  - ・学籍異動報告について
  - ・JASSO 修士課程返還免除内定制度の開始について
  - ・ティーチング・アシスタントの募集と採用について
  - ・リサーチ・アシスタントの募集と採用について
  - ・ティーチング・アシスタント授業計画について
  - ・ティーチング・アシスタントの役割拡大とアドバンスド・ティーチング・アシスタント制度について
  - ・2022年度対面授業ガイドラインについて
- (7) カリキュラム・論文審査・教育について
  - ・大学院FD・SD「ティーチング・アシスタントFD研修」の開催について
  - ・大学院FD・SD「複数教員での指導体制と学位審査までのプロセス」の開催について
  - ・大学院教職課程理念および3つの方針策定と自己評価について
  - ・論文審査スケジュールの確認について
  - ・修士課程，博士後期課程の中間発表会・研究報告会の開催について
  - ・修士，博士後期課程の学位論文審査委員会の設置，審査日程，副審査委員の推薦について
  - ・学位論文ループリックによる研究会報告について
  - ・2022年度大学院修了判定会議について
- (8) 学生募集，入学者選抜試験について
  - ・2022年度修士課程・博士後期課程入試結果について
  - ・修士課程保健学専攻自然人類学分野説明会の開催について
  - ・修士課程保健学専攻理学療法学分野リハビリテーション栄養分野説明会の開催について
  - ・修士課程健康科学専攻スポーツ栄養学コース説明会の開催について
  - ・学内推薦入試学科長推薦書の様式変更について
  - ・2023年度大学院入試日程について
  - ・2023年度大学院入学者選抜試験に係る変更点について
  - ・2023年度大学院入学者選抜試験博士後期課程追加募集の実施について
  - ・大学院オープンキャンパスおよび「教えて！大学院」の開催について
  - ・大学院オープンキャンパスおよび「教えて！大学院」の実施報告について
  - ・大学院出願状況について
- (9) その他
  - ・新型コロナウイルスに係わる大学の方針について
  - ・大学院生の新型コロナウイルスワクチン接種状況について
  - ・PCR検査センターの開所について
  - ・新型コロナウイルス感染・接種報告書の改定について
  - ・新潟医療福祉学会学術集会の開催について
  - ・新入生オリエンテーションについて
  - ・2022年度修了判定会議，修了発表について
  - ・2022年度修了式，2023年度入学式について
  - ・危機管理対策委員会報告について
  - ・名誉教授称号授与式の開催について
  - ・防災・避難訓練の実施について
  - ・非常勤講師給与支払い業務の段階的見直しについて

### 3) 合同教授会

#### 合同教授会構成員

学長, 副学長, 学部長, 学科長, 教授, 准教授, 講師, その他陪席: 助教, 助手, 事務局

#### 主な審議事項および報告事項等

- ・学長直轄委員会報告
- ・教育・学生支援機構内委員会報告
- ・研究・産官学連携推進機構内委員会報告
- ・社会連携・同窓会生涯学習推進機構内委員会報告
- ・アスレティックデパートメント推進機構報告
- ・前期入学研究生志願者について
- ・後期研究生入学志願者について
- ・入学式実施報告
- ・入学者確定報告
- ・学籍異動状況報告
- ・新型コロナウイルス感染・接触報告書(確認事項) ヒアリングシート改訂について
- ・オミクロン株対応ワクチン接種状況について
- ・ミサイル発射の際の対応について
- ・アルコールチェックの変更について
- ・個人情報保護監査の結果と注意喚起について
- ・懲戒諮問委員会について
- ・学生懲戒諮問委員会答申について
- ・2023年度学事歴について
- ・前期前半 学生の入構数について
- ・後期授業形態等について
- ・入構および施設利用ガイドライン変更について
- ・2023年度授業実施方針(学生周知)について
- ・2023年度学部の便覧・履修の手引きについて
- ・カリキュラム改定に関わる指針について
- ・臨床技術学科のカリキュラム変更について
- ・教養科目に関するカリキュラム変更について
- ・救急救命学科のカリキュラム変更について
- ・看護学科のカリキュラム変更について
- ・新潟県健康づくり功労者選出のご報告
- ・第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会について
- ・第22回新潟医療福祉学会学術集会について
- ・最終講義の実施について
- ・卒業判定会議について
- ・卒業時(卒業生)アンケートの対応について
- ・9月卒業判定会議報告
- ・新潟医療福祉大学転部転科選考試験について
- ・2023年度総合型A・B方式・看護3年次編入第2次合否判定会議結果報告
- ・2023年度総合型選抜C・D方式・学校推薦型等選抜結果報告
- ・2023年度総合型選抜C方式・学校推薦型(公募制)後期等選抜結果報告
- ・2023年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜前期日程選抜結果報告
- ・2023年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜後期日程選抜結果報告

- ・後期研究生入学志願者について
- ・9月卒業式・修了式実施報告
- ・卒業式・修了式について
- ・2023年度入学式について
- ・6月22日（水）防災・避難訓練（基礎ゼミ）の実施について
- ・後期防災訓練について
- ・強化指定クラブ戦績等報告
- ・2021年度年報刊行について
- ・開学20周年記念誌の刊行について
- ・節電について
- ・ガバナンス・コードの制定について
- ・経理業務における電子申請システムの導入について
- ・U棟の竣工について

#### 4) 研究科委員会

##### 研究科委員会構成員

西澤正豊学長，佐藤大輔研究科長，小野哲之事務局長，大学院担当専任教員，その他陪席：事務局  
 主な審議事項および報告事項等

- ・2021年度の総括と2022年度の課題と目標について
- ・2022年度大学院学生募集結果・入学者数について
- ・大学院修士課程・博士後期課程収容定員増の正式受理について
- ・自然人類学分野ならびにリハビリテーション栄養コース，スポーツ栄養学コースの新設について
- ・新設分野ならびに新設コースの説明会開催について
- ・危機管理対策委員会報告について
- ・学籍異動について
- ・大学院研究生入学志願について
- ・長期履修申請について
- ・長期履修期間短縮申請について
- ・在学期間短縮申請について
- ・2022年度科研費等各種研究費の採択状況報告
- ・大学院のオープンキャンパス（夏・秋・冬・春）について
- ・学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」について
- ・大学院出願希望者情報について
- ・共通科目を中心としたカリキュラムの改定について
- ・2022年度9月修了判定会議結果報告
- ・大学院学生表彰審査委員会の設置，審査スケジュールについて
- ・2022年度大学院学生表彰について
- ・2022年度3月修了判定会議結果報告
- ・2023年度学生便覧・履修の手引き（大学院）のデータ化について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種状況について
- ・2022年度大学院修了式・2023年度入学式について
- ・2023年度大学院学事暦について



## 5) 各種委員会活動

### (1) 学長直轄委員会

#### ア 将来計画機構

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（副学長，委員長，機構長），西澤正豊（学長），大山峰生（OT，副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），宇田優子（NR），渡邊敏文（SW），柴山純一（HI），椿 淳裕・古西 勇（PT），大石如香（ST），東江由起夫（AT），中村藤夫（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），笠原敏文・児玉直樹（RT），永井 徹（HN），佐藤敏郎（HS），小野哲之（法人事務局），中原英伸（大学事務局），片岡 昇（事務局）

##### ②会議開催回数 1回（専門委員会・メール開催）

##### ③特記事項

1) アクションプラン2021の自己点検評価結果を受けてアクションプランの見直しを実施

#### イ 危機管理委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西澤正豊（学長，委員長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），相馬俊雄・古西 勇（PT），埴 晴雄（HS），小野哲之（大学事務局）

##### ②会議開催回数 6回

##### ③特記事項（必要に応じて実施した事項）

- 1) 新型コロナウイルスに対応する大学方針について
- 2) 行動制限レベルについて
- 3) 新型コロナ陽性者発生に伴う対応について
- 4) 卒業式・修了式実施案について
- 5) 移動禁止対象地域の見直しについて

#### ウ 教員選考委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大山峰生（OT，副学長，委員長），大西秀明（PT，副学長，委員長），椿 淳裕（PT），大石如香（ST），東江由起夫（AT），中村藤夫（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），児玉直樹（RT），永井 徹（HN），佐藤敏郎（HS），宇田優子（NR），渡邊敏文（SW），柴山純一（HI），船山 諭（事務局）

##### ②会議開催回数 75回（採用57回，昇任18回）

##### ③審議事項および決定事項

- 1) 各学科長等の内申のつど総務会にて教員選考委員会の設置を決定した。
- 2) 教員選考委員会は，委員長に加え，該当学科長ならびに他学科の学科長の3名で構成した。
- 3) 教員選考委員に人事課長がオブザーバーとして加わり教員選考委員会を開催した。
- 4) 教員選考委員会では履歴書，教育研究業績書，抱負を記載した書類をもとに審査した。
- 5) 審査にあたっては学科における面接結果や模擬授業ならびに法人による面接結果を参考にした。
- 6) 審査にあたっては教育，研究，大学運営に関する意欲と実績を特に参照した。
- 7) 委員会出席者全員の合意で評価を決定し，報告書を作成，総務会に報告した。

##### ④特記事項

- ・助教以上の職位の採用ならびに昇任については，法人職員同席のもとで学科における模擬授業（ミニレクチャー）を課し，助手についてはプレゼンテーションを課した。
- ・新型コロナウイルス感染症対応のため，全てWEB開催とした。
- ・心理健康学科（仮称）の教員選考委員会は，委員長に加え，副学長ならびに他学科の学科長の3名で構成した。

## エ 人権委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

河野聖夫（SW，委員長），奈良貴史（PT，副委員長），澤田純明（PT），北上守俊（OT），石本 豪（ST），田山文子（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），大松健太郎（EM），櫻井典子（RT），川上心也（HN），上田純平（HS），外間直樹（NR），寺島和浩（HI），佐々木俊太郎（学生課），渋谷友之（総務課），波間早苗（医務室），船山 諭（人事課，事務担当），中村 泉（人事課，事務担当）

ハラスメント調査委員会委員候補者：犬飼康人（PT），五十嵐紀子（OT），大石如香（ST），神田 賢（AT），齊藤大造（CT），生方北斗（CO），長谷川恵（EM），関本道治（RT），中村純子（HN），佐近慎平（HS），下山博子（NR），渡辺 恵（SW），川口規子（HI），船山澄子（事務局）

### ②会議開催 委員会13回（定例12回，臨時1回），案件対応会議14回，ハラスメント調査委員会1件

### ③審議事項および決定事項等

#### 1) 教職員のためのハラスメント相談対応マニュアルの作成と周知

2023年2月～2023年3月の期間，ハラスメント防止に関する規則およびガイドラインの理解度確認テストを実施した。

#### 2) ハラスメント防止のための意識向上FDの実施

2023年2月15日に全教職員を対象として「ハラスメントの当事者にならないために ―裁判例に基づく事例の検討―」をテーマにセミナーを実施した。

#### 3) 1年生に対するDate DV防止セミナーの実施

Date DV防止セミナーをオンラインで計画し実施した（6月から7月）。

#### 4) ハラスメント防止に向けた対策の点検と強化

学生向けアンケート（悩み事アンケート）を実施し，学科等の課題把握と改善に向けた取り組みを進めた。

#### 5) ハラスメント等相談案件19件に対応した。

## オ 個人情報保護委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

寺島和浩（HI，副委員長），佐伯史子（PT），北上守俊（OT），石本 豪（ST），田山文子（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），大松健太郎（EM），橋本 薫（RT），川上心也（HN），上田純平（HS），外間直樹（NR），河野聖夫（SW），野口正信（事務局），船山 諭（事務局）

### ②会議開催回数 12回

### ③審議事項および決定事項等

#### 1) 新入生に対して，個人情報保護取扱文書の回収を行った。

#### 2) 以下4事業の計画に従いワーキング・グループ（WG）を設けて実施した。

- ・個人情報保護監査の実施と是正の対応
- ・教育プログラムの立案と実施（規程とマニュアルの改定を含む）
- ・情報セキュリティ対策のためのFD
- ・トラブル発生時における個人情報の取扱い検討（規程の改定を含む）

#### 3) 外部監査を含む個人情報保護監査3カ年計画の2年目として，個人情報保護監査を実施した。

#### 4) 前年度に引き続きe-Campus版個人情報保護教育プログラムを行った。設問方法や問題等の検討を行い2022年度版として実施した。教職員全体の受講率93.7%であった。

#### 5) 情報セキュリティ・コンサルティング会社に依頼し，標的型攻撃メール訓練（2回）およびこの訓練を踏まえたFDを実施した。

#### 6) 個人情報保護関連規程と個人情報保護マニュアルを改定し，個人情報保護組織体制などについて

見直しを行った。

#### カ 安全衛生委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

下山博子（議長，NR），遠藤和男（学校医/HN），萩原康雄（PT），藤目智博（OT），今村徹（ST），佐藤未希（AT），齋藤幸・森田邦恵（CT），石井雅子（CO），長谷川恵（EM），吉田秀義（RT），大森豪・埜晴雄（HS），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），小野哲之（事務局），波間早苗（事務局），駒沢猛（事務局），村山絢亮（事務局）

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度推進体制が異議なく合意された。
- 2) 2022年度心の健康づくり推進計画（案）が承認された。
- 3) 学内の全教職員を対象にして，2022年度心の健康問題に係る教職員研修会を開催することが承認された。
- 4) 相談窓口・相談体制について，引き続き私学事業団健康相談ダイヤルを活用することとし，学内教職員への案内・情報提供を行うことが確認された。
- 5) 「学校法人新潟総合学園 2022年度ストレスチェック実施計画」（案）が承認された。
- 6) 来年度よりドラフトチャンバーの自主点検を実施することが承認された。

##### ④特記事項

- 1) 実施計画に基づき，9月～3月にストレスチェックならびに面接指導が実施された。
- 2) ストレスチェックの実施に伴う確認ならびに課題の共有を適宜に実施された。
- 3) 2022年度教職員研修会を実施した。  
日程：2022年12月22日～2023年1月31日（オンデマンド）  
テーマ：「職場ストレスとその対処法，セルフケア，復職サポートについて」  
講師：医療法人崇徳会「こころのクリニック ウィズ」院長 後藤 雅博 先生  
参加者数：233名  
アンケート回収：233名分（96%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答）
- 4) 学内の個別巡視と合わせて，安全衛生委員による学内一斉巡視が22年9月に実施された。巡視の結果内容は，事務局（総務課）へ提出の上でさらなる安全確保を要請し，安全確認の実施および改善ならびに検討がなされた旨が報告された。

#### キ 自己点検・評価委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

古西 勇（PT，委員長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），相馬俊雄（PT），吉田重和（HS），寺田貴美代（SW），片岡 昇（法人総務部），渋谷友之・真藤高明・駒沢 猛（事務局）

##### ②会議開催回数 6回

##### ③特記事項

- 1) 2021年度から継続した委員により将来計画アクションプラン（2021年度）変更等の見直しを実施
- 2) 内部質保証に関する方針の決定に伴い，新たな委員にて委員会運営を実施
- 3) 「心理健康学科（仮）カリキュラム審議」に先立ち，大学として考慮すべき事項を委員会として提案し，教務委員長に通知
- 4) 将来計画アクションプラン（2022年度）評価者の決定

- 5) 将来計画アクションプラン（2022年度）の自己点検・評価を実施
- 6) 将来計画アクションプラン（2023年度）変更等の見直しを実施

ク 外部評価準備委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）  
大山峰生（OT，委員長），大西秀明・古西 勇・相馬俊雄（PT），小野哲之（大学事務局），  
片岡 昇（事務局）
- ②会議開催回数 なし

ケ PCR検査センター運営委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）  
高野 操（CT，委員長），川村宏樹（CT，副委員長），埴 晴雄（HS），吉田香織（CT），片岡 昇（事務局），  
渋谷友之（事務局），野口正信（事務局）
- ②会議開催回数 4回（メール審議を含む）
- ③審議事項および決定事項等
  - 1) 以下について審議し，承認した。  
附属PCR検査センター利用ガイドライン，陰性通知書，陽性通知書
  - 2) 検査体制，陽性検体検出時の対応，情報共有について協議し，承認した。
  - 3) PCR検査センター設備の愛宕商事株式会社への貸出について協議し，承認した。
- ④特記事項
  - 1) 新潟医療福祉大学附属PCR検査センター開所式を7月1日に実施した。
  - 2) 新型コロナウイルスPCR検査の外部精度管理調査について，良好な結果であったことが報告された。
  - 3) 年度内検査結果は下記の通りであった。  
検査数：2642件  
陰性数：2592件  
陽性数：50件（陽性率 1.89%）

① 事業戦略推進部

ア 入試委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）  
椿 淳裕（PT，委員長），能村友紀（OT，副委員長），江玉陸明・太田大樹（PT），圓純一郎（OT），  
今村 徹・榎原 桂（ST），前田 雄・田山文子（AT），粕谷大智（AP），小野 等・仙波妙子（CT），  
戸田春男・志賀木綿子（CO），川上一岳・大松健太郎（EM），笠井 聡・前島 偉（RT），星野美美・  
寺尾幸子（HN），佐藤裕紀・馬場康博（HS），下山博子・丸山幸恵（NR），中井良育・國兼明嗣  
（SW），井上弘樹・波多野誠（HI），山口和朗・渡辺一朋・二見ミラノ・小杉春花・近藤 道・  
遠山 龍・伊藤芹菜（事務局）
- ②会議開催回数 11回
- ③審議事項および決定事項等
  - 1) 入試委員会副委員長を選出し，承認した。
  - 2) 入試委員会年間計画を審議し，決定した。
  - 3) 入試問題作問部会，入試問題検討部会の担当者を決定した。
  - 4) 学校推薦型選抜（指定校制）における各学科の指定高等学校について審議し，承認した。
  - 5) 入学者選抜における県外試験会場の外部委託について審議し，決定した。
  - 6) 学生募集要項および出願書類の書式等について審議し，決定した。

- 7) 入試に必要となる学科教員の必要見込教員数について決定した。
- 8) 2022年度総合型選抜・学校推薦型選抜等と学力の3要素の整合性について審議し、決定した。
- 9) 総合型選抜A方式・B方式および3年次編入学選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 10) 総合型選抜C方式・D方式・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 11) 総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜・3年次編入学選抜の合否判定配点について審議し決定した。
- 12) 試験問題印刷工程・採点業務立会担当者の選出について審議し、決定した。
- 13) 大学入学共通テスト 新潟医療福祉大学試験場の実施概要について審議し、決定した。
- 14) 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の合否判定における優先科目設定を審議し、決定した。
- 15) 一般選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 16) 総合型選抜A方式・B方式に対する委員会総括を行い、入試問題作問部会総括会議へ意見・要望等を提案した。
- 17) 2024年度入学者選抜試験日程について審議し、決定した。
- 18) 2024年度入試概要について審議し、決定した。(その後、総務会承認を以って最終決定した。)

#### ④特記事項

- 1) 高校教諭対象入試説明会の開催について審議し、決定した。
- 2) 新設学科の追加に伴い特待生規程の改正について審議し、決定した。
- 3) 書類評価における評価支援システム(J-Bridge System)の総合型選抜C方式(スポーツ重視型)後期日程および学校推薦型選抜(公募制)後期日程への導入について審議し、決定した。
- 4) 2024年度入学者選抜における英語外部検定試験結果の利用導入について審議し、決定した。
- 5) 2025年度入試概要(予告)の公表について審議し、決定した。

#### イ 広報委員会

##### ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

杉崎弘周(HS, 委員長), 稲葉洋美(HN, 副委員長), 犬飼康人・平林 怜(PT), 藤目智博・北上守俊(OT), 吉岡 豊・田村俊暁(ST), 前田 雄・佐藤未希(AT), 佐々木一真・涌井杏奈(CT), 金子 弘・生方北斗(CO), 竹井 豊・安達哲浩(EM), 櫻井典子・甲斐千遥(RT), 宮本真菜(HN), 熊崎 昌・藤本知臣(HS), 井澤玲奈・佐藤郁美(NR), 渡邊恵司・荒川大靖(SW), 柴山純一・築取 萌(HI), 近藤 至・鈴木亜弥・曾我洸樹・齋藤大将(事務局)

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 杉崎委員長より、健康栄養学科稲葉教授が副委員長に指名され、決定した。
- 2) 2022年度も引き続き、オープンキャンパスをWEB型で実施することについて審議し、決定した。
- 3) 各月のWEBオープンキャンパスの内容について審議し、決定した。
- 4) 新入生アンケートの実施について審議し、決定した。
- 5) 8/18~31に、来場型での個別見学・相談会を実施することについて審議し、決定した。
- 6) 大学ホームページにおける脳卒中リハビリテーション研究センターへのリンク申請について審議し、決定した。
- 7) 広報誌「QOLサポーター新潟」の制作内容について審議し、決定した。
- 8) 2023年度大学パンフレットのコンセプト・デザイン・ページ構成等について審議し、決定した。
- 9) 2023年度オープンキャンパス開催日程について審議し、決定した。
- 10) 大学ホームページにおける教員紹介ページの新システム導入と、教員紹介冊子の廃止について審議し、決定した。

## ウ 大学院入試広報委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

前田史篤（CO，委員長），木下直彦（HI，副委員長），久保雅義（PT），能登真一（OT），阿部 薫（AT），吉岡 豊（ST），藤井 豊（CT），竹井 豊（EM），笠井 聡（RT），稲葉洋美（HN），藤本知臣（HS），天賀谷隆（NR），國兼明嗣（SW），嵐田浩吉・権瓶一葉（事務局）

### ②会議開催回数 12回

### ③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院入試広報委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 大学院入試広報委員会年間計画を審議し，決定した。
- 3) 大学院入学者選抜方法に関する規程の改正を審議し，承認した。
- 4) 2023年度大学院入学者選抜試験に係る変更案について審議し，決定した。
- 5) アドミッション・ポリシーに基づく学位プログラム別評価表を審議し，作成した。
- 6) 学内推薦入試学科長推薦書の様式を審議し，決定した。
- 7) 出願希望者情報フォームの運用について審議し，決定した。
- 8) 大学院入学者選抜試験後期日程追加募集の実施について審議し，決定した。

### ④特記事項

- 1) 学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」を計5回開催した。
- 2) 大学院オープンキャンパスを計4回開催した。
- 3) 大学院入学者選抜試験実施のための事前採点説明会を計4回開催した。
- 4) 本学主催イベントを記録した動画を大学院ホームページに公開した。

## エ IR戦略委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤大輔（HS，委員長），笹川克己・真藤高明・風間篤史・村山萌子（事務局）

### ②会議開催回数 12回

### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度に収集するIRデータについて決定し，収集を実施した。
- 2) IRデータベースに収集データの取り込みを実施した。
- 3) 学籍異動と成績データとの関連性について検証を行い，報告した。
- 4) 国家試験・資格試験合否と成績データとの関連性について検証を行い，報告した。
- 5) 入試データと成績データとの関連性について検証を行い，報告した。
- 6) ファクトブックとして公開する項目について検討した。
- 7) FD・SD推進委員会のランチョンセミナーにて，IRの紹介を実施した。

## ② 国際交流推進部

### オ 国際交流センター運営委員会

#### <国際交流専門委員会>

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），阿久澤弘（PT），今西里佳（OT），圓純一郎（OT），乗原 桂（ST），神田 賢（AT），高橋良光（CT），大和田均（EM），鷺見和幸（RT），田村典子（HN），濱野礼奈（HS），佐藤真由美（NR），佐久間由紀（SW），高野晃輔（HI），石上和男（HI；オブザーバー），嵐田浩吉・田沢未生（事務局）

### ②会議開催回数 11回

### ③審議事項および決定事項等

- 1) 国際交流提携

すべての学科が何らかの形で海外の大学や機関と提携することを目標に国際交流活動を支援し、2021年度においては10カ国・地域の18大学3機関と提携を結んでいる。

番号	提携先	国名	都市	開始年	終了年
1	国立極東医科大学	ロシア	ハバロフスク市	2006	2026
2	カリフォルニア州立大学フレズノ校	アメリカ	フレズノ市	2007	2023
3	アンヘレス大学財団	フィリピン	アンヘレス市	2010	2025
4	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部 臨床技術学科	アメリカ	ホノルル市	2011	2026
5	サント・トーマス大学<教育>	フィリピン	マニラ市	2011	2027
	サント・トーマス大学<研究>	フィリピン	マニラ市	2017	2027
6	イーストアングリア大学看護・助産学校	イギリス	ノーリッジ市	2011	2022
7	マヒドン大学（義肢）	タイ	バンコク	2015	2024
	マヒドン大学（放射線）	タイ	バンコク	2018	2024
8	京畿大学校	韓国	水原市	2015	2026
9	ホンバン国際大学	ベトナム	ホーチミン市	2016	2024
10	国立陽明交通大学	台湾	台北市	2016	2026
11	ハイズオン医療技術大学	ベトナム	ハイズオン市	2017	2027
12	中山医学大学	台湾	台中市	2017	2027
13	釜山カトリック大学校	韓国	釜山市	2018	2024
14	サイバージャヤ医学大学	マレーシア	セラランゴール州	2019	2024
15	太平洋国立大学	ロシア	ハバロフスク市	2019	2024
16	弘光科技大学	台湾	台中市	2019	2024
17	輔英科技大学	台湾	高雄市	2019	2024
18	ペラデニア大学	スリランカ	キャンディ市	2021	2026
19	ハサヌディン大学	インドネシア	マカッサル市	2022	2027
20	国立シリントン・リハビリテーションセンター	タイ	バンコク	2012	2025
21	台北榮民総医院	台湾	台北市	2013	2023
22	フィリピン脳性麻痺のための法人（PCPI）	フィリピン	マカティ市	2018	2023

## 2) 部会活動

- ・国際交流活動部会（増田，今西，大和田，鷺見）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、国外との直接的な往来を伴う国際交流活動を展開することは基本的にできなかった。次年度の本格的な国際交流活動の再開に向け、準備をしているところである。

- ・海外研修および留学支援部会（高橋，久保，田村，濱野，高野）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、学生の海外研修を本格的に再開することはできなかった。しかし、「9. 学生関係 7) 学生生活 (11) 海外研修」に記載の通り、2023年度における海外研修の本格的な再開に向けて、2月と3月に1プログラムずつパイロット版として海外研修を実施した。さらに、文部科学省主催の「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」に採用された奨学生3名が留学を開始し、それぞれ1年ほどの留学を終え、無事帰国した。

- ・オンライン企画部会（久保，神田，阿久澤，大和田，鷺見）

コロナ禍により、海外との直接的な往来はできなかったため、オンラインで実施できる「グローバルキャリア支援Meeting」を実施した。3年目の開催となる今年度は、これまでで最も多い年間10回実施することができた。本企画は海外で就業あるいは修学の経験を有する専門職の方を講師に招いて、学生とオンラインでミーティングを行っていただくことで、学生のグローバル意識の向上を目指したものである。参加者は合計で326名にのぼり、また講師料については英語等短期研修助成制度を利用し、合計105,000円を執行した。

回	実施日	講師（敬称略）	参加者数	講師料
1	6月24日（金）	一色史章（米国在住理学療法士，診療所を経営）	30	15,000
2	8月10日（水）	宮田祐介（タイ・マヒドン大学講師，本学卒業生）	41	15,000
3	9月21日（水）	齊藤公二（新潟市立小学校栄養教諭，本学卒業生）	32	15,000
4	10月1日（土）	田中智英巳（米国言語聴覚士協会認定オーディオロジスト）	33	15,000

回	実施日	講師（敬称略）	参加者数	講師料
5	10月14日（金）	Midori Rahma Safitri （インドネシア・プムナン郡職業専門高校教員）	21	15,000
6	11月10日（木）	高山祐輔（帝京大学講師）	43	15,000
7	12月13日（水）	原 大樹（日本アルコン（株）プロダクトマネージャー）	35	辞退
8	1月13日（金）	甲谷洋祐（オーストラリア在住アスレティックトレーナー）	44	15,000
9	2月28日（火）	豊田典子（作業療法学科准教授）	33	—
10	3月9日（木）	玉田千歳（看護学科助手）	14	—

- ・国際貢献部会（久保，神田，田村，佐藤）  
初めて応募した「さくらサイエンス招へいプログラム」（国立研究開発法人科学技術振興機構）が採択され，ベトナム・ハイズオン医療技術大学の教員4名を本学に招へいできたことは特筆に値する．また，ハイズオン医療技術大学をカウンターパートとするJICA草の根技術協力事業が3年目を迎えたが，今年はプロジェクト開始以来初めて2名の教員が現地を訪れ，指導にあたった．
- ・広報部会（今西，阿久澤，栞原，佐久間）  
在学生の国際交流活動への参加を促進する目的で，本学学生が出演する英語動画を作成した．また，英語版ホームページの改修作業を行った．
- ・国際交流締結部会プロジェクトチーム（久保，増田，高橋）  
既存の学術交流協定締結校との締結内容を点検し，協定の更新を行った．また，新たにインドネシア・ハサヌディン大学との交流協定を締結した．

### 3) その他の活動

- ・JASSO「2023年度海外留学支援制度」協定派遣に1件申請し，採択された．
- ・海外の交流協定締結校（アメリカ・ハワイ大学，タイ・マヒドン大学）とオンラインによる学生交流を行った．
- ・新潟日米協会のイベントへの学生の参加を促進した．
- ・FD委員会との共催で英語FD: Presentationの部およびSmall Talkの部を実施した．

### <留学生専門委員会>

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO），神田 賢（AT），田村典子（HN），佐藤真由美（NR），高野晃輔（HI），嵐田浩吉（事務局，副委員長），田沢末生（事務局）

#### ②会議開催回数 11回

#### ③審議事項および決定事項等（活動内容を含む）

- ・留学生募集のための活動と調査

アクセス日本留学フェア外国人学生のための進学説明会（東京，6月・9月）へのオンライン参加，アクセス日本留学フェア外国人学生のための進学説明会（東京，9月・11月）への対面参加，アクセス日本語学校教員対象進学説明会（東京，5月）へのオンライン参加，JASSO日本留学オンラインフェア（9月）への参加，ライセンスアカデミー外国人のための進学説明会（東京，6月・7月9月・11月）へのオンライン参加，Japan Study Support（JPSS）での日本語・英語による大学紹介ページの公開，JPSSでのインフォグラフィックス動画の作成，留学生募集リーフレットの作成，進研アドによる留学生募集の個別セミナー受講，等を行った．

- ・留学生募集および受入れのための海外提携校との連携

2023年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）として，協定校のスリランカ・ペラデニア大学から1名，インドネシア・ハサヌディン大学から1名，を文部科学省に推薦した．

- ・留学生の受入れ体制の整備と留学生支援



- 外国人留学生サポーター制度を運用し、また留学生のための日本語講座を実施した。
- ・留学生のためのイベント開催
- 4月に留学生新入生履修登録説明会と留学生親睦会を開催した。さらに、6月には新潟市内のバスツアーを、1月には福島県会津地方へのバスツアーを実施し、留学生の本学に対する満足度向上を図った。

## (2) 教育・学生支援機構運営委員会

### ①委員名簿

大山峰生 (OT, 機構長), 相馬俊雄 (PT), 吉田重和 (HS), 木原 亨 (事務局), 吉田俊雄 (事務局)

### ②会議開催回数 12回

### ③審議事項及び決定事項等

- 1) 教育・学生支援機構運営委員会の役割について審議し、承認した。
- 2) 国家試験・資格試験対策のプロジェクトチームWGを立ち上げた。
- 3) 進級制度(学年進行の捉え方)・転部転科制度設計のプロジェクトチームWGを立ち上げた。
- 4) 2022年度前期定期試験の実施形態について審議し、承認した。
- 5) 2022年度後期授業形態について審議し、承認した。
- 6) 2023年度より、保健医療福祉教養科目群の選択科目に「自然人類学概論(1年次 後期)」を配置することを承認した。
- 7) 学内における緊急時(救急搬送等)の初動対応について審議し、承認された。
- 8) 2023年度以降の全学・学部・学科ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーについて審議し、承認した。
- 9) 心理健康学科(仮称)の文部科学省への認可申請について審議し、承認した。
- 10) レポート作成、オンライン試験に係わる規程の整備について審議し、承認した。
- 11) 2022年度学生生活アンケート実施について審議し、承認した。
- 12) 2022年度授業評価アンケートの実施および活用方策について審議し、承認した。
- 13) 臨床工学技士の法改正に伴うカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 14) 鍼灸健康学科のアルファベット表記について審議し、承認した。
- 15) 大学院自然人類学分野のアルファベット表記について審議し、承認した。
- 16) 2022年度メディア授業と対面授業のアンケート実施について審議し、承認した。
- 17) 教養科目に関するカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 18) 救急救命学科・看護学科に関するカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 19) 図書館利用規定の改定について審議し、承認した。
- 20) 災害時等に伴う休講措置に関する取扱要項の改定について審議し、承認した。
- 21) 学年進行の捉え方について審議し、承認した。
- 22) 国家試験・資格試験対策委員会で扱う国家試験・資格試験について審議し、承認した。
- 23) 機構内各種委員会規程等の変更について審議し、承認した。
- 24) HI学科の主要資格科目の変更について審議し、承認した。
- 25) 2023年度各種委員会体制について審議し、承認した。
- 26) 2024年度以降のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 27) 学生の活動に関連するアンケート実施の在り方について審議し、承認した。
- 28) 2023年度の医務体制を医務室に加え医務室分室を設定して対応することについて審議し、承認した。
- 29) 教職課程自己点検評価報告書について審議し、承認した。
- 30) 2024年度入試に向け、全学・学部・学科アドミッション・ポリシーについて審議し、承認した。
- 31) 2023年度の授業形態と方針について審議し、承認した。

## ① 学生支援推進部

### ア 健康管理センター運営委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

埴 晴雄（HS，委員長），遠藤和男（HN，副委員長），萩原康雄（PT），藤目智博（OT），今村 徹（ST），佐藤未希（AT），齋藤 幸（CT），森田邦恵（CT），石井雅子（CO），長谷川恵（EM），吉田秀義（RT），大森 豪（HS），寺尾幸子（HN），和田直子（NR），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），波間早苗（医務室）・笠原陽子（医務室），中山あかね（事務局）・本間 葵（事務局）

#### ②会議開催回数 12回

#### ③審議事項および決定事項等

- 1) 新生生の健康状況の把握については，個人情報保護に留意し，学生記録票の身体状況記入欄を用いて各学科および体育教員と情報共有を行った．場合によっては健康状況の詳細を把握する必要があるため，学生記録票に病歴の記載がある場合には，中学・高校の学生生活管理指導表の写しなどの提出を求めた．
- 2) インフルエンザ流行防止のための予防喚起と，ワクチン予防接種を行い，発生状況の把握を行った．接種人数は学生，教職員で911名であり，前年度より少なかった．今期の感染は学生教職員合わせて51名だった．
- 3) インフルエンザ感染後の文部科学省による登校基準改訂により「発熱後5日間は自宅で休養，安静」から「発症した後5日を経過し，かつ，解熱した後2日を経過するまで」であることを再度周知した．
- 4) 卒業式において救護体制を整備した．
- 5) 熱中症の予防について学生へ呼びかけ，各棟にポスター掲示を行った．対策として医務室にスポーツ飲料を準備した．学生の熱中症の発生がなかったことを確認した．
- 6) ノロウイルス予防対策として各棟のトイレに手洗い奨励のポスターを掲示した．ノロウイルスの発生がごく一部にみられたことを確認した．
- 7) 学生委員会と共催で薬物乱用防止講演会を開催した．
- 8) 学生心理相談は臨床心理士と精神科医で行っている．COVID-19の感染予防のため対面相談の他遠隔相談（電話相談やZoomでの相談）を実施した．
- 9) 健康診断担当者の選出を各学科長あてに依頼し，担当者には説明会を実施した．
- 10) 医療技術学部救急救命学科と共催で心肺蘇生講習プログラムをオンデマンドで実施した．
- 11) COVID-19対策として新潟リハビリテーション病院でのPCR検査について，運用ガイドラインが示された．
- 12) メンタルヘルス支援室が新生生を対象にUPI・PHQ-9検査を実施した．

### イ 図書館・学習支援センター運営委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

竹井 豊（EM，委員長，図書館長），小澤口治樹（CT，副委員長），小島 翔・高林知也（PT），北上守俊（OT），伊藤さゆり（ST），神田 賢（AT），金子 弘・生方北斗（CO），神藏貴久（EM），橋本 薫（RT），田村典子（HN），三瀬貴生・松浦由生子（HS），中澤紀代子（NR），佐久間由紀・渡辺 恵（SW），坂井さなえ（HI），船山澄子・中村委代・佐藤真由子（事務局）

#### ②会議開催回数 11回

#### ③審議事項および決定事項等

- 1) オープンアクセス方針を策定し，2022年4月1日から施行された．
- 2) オープンアクセス方針の実施要領を作成し，学内に向けた説明会を実施した．
- 3) オープンアクセス方針推進を目的に，「研究活動入力フォーマット」で報告する論文について機関リポジトリでの公開可否を回答する項目を追加した．

- 4) 障がいがある学生の利便性向上を目的とした環境整備の一環として、筆談器を設置し、館内呼び出しシステム「LINEコール」を導入した。
- 5) 学科図書費の1割以上を電子書籍の購入に充てることを承認した。
- 6) 資格試験問題集の保存期間について審議し、保存期間を原則10年とした。
- 7) 電子書籍配信サービス「医書.jp eBookアラカルト」の導入を審議し承認した。
- 8) 将来構想部会を立ち上げ、図書館・学習支援センターのビジョンを検討した。
- 9) 臨床教員・退職教員の利用条件変更と、平日の開館時間および学部生・学外者の貸出条件変更について審議し承認した。
- 10) 急激な円安による価格高騰の影響で、学科図書費の8分の1を雑誌購入費用に転用した。パッケージ系電子ジャーナルは継続6種中止2誌、データベースは継続12種中止2種、洋雑誌は継続32誌中止12誌、和雑誌は継続288誌中止3誌を審議し承認した。
- 11) 重複で保存対象外の書籍663冊、資格試験問題集の保存期間10年を超過した書籍373冊、不明本108冊、2021年度退任教員不明本151冊を除籍した。
- 12) 2021年度退任教員の科研費で購入された書籍のうち、転任地に移管する202冊を除籍した。
- 13) 2022年度新入生を対象に4月5日と6日の2日間、履修登録サポートデスクを実施した。在学生88名がボランティアスタッフとして参加し、新入生405名が利用した。
- 14) 学習支援ピアサポーター13学科52名に研修を行い、5件の学習支援活動を実施した。延べ156名の1・2年生が利用した。
- 15) 学習支援センター利用推奨制度を、希望する学科のみ対象に運用することに変更した。2023年度はPT・OT・ST・CT・CO・RT・HNが利用する。
- 16) 2023年度入学生を対象に、3月24日から4月7日までWEB入学前セミナーを実施した。Remedial Coursesで11種21本の学習動画を公開し、在学生と新入生の座談会を行った。
- 17) 学習支援センターのホームページを改修した。

#### ウ 就職センター運営委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

永井 徹（HN，委員長），高橋英明（PT，副委員長），藤目智博（OT），大石如香・佐藤卓也（ST），前田 雄（AT），齋藤大造（CT），戸田春男（CO），田村一好・安達哲浩（EM），安達登志樹（RT），小林志郎・山本悦史（HS），佐藤真由美（NR），大屋未輝（SW），川口規子（HI），中田香織（事務局）伊藤 求（事務局）

##### ②会議開催回数

就職センター運営委員会会議12回，クラウド型ポートフォリオのワーキンググループ会議12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 副委員長の選出。
- 2) 就職対策年間スケジュール（各学科と全体）の確定。
- 3) 将来計画・アクションプラン（2022年度）の振り返り。
- 4) 実践行動学パート3の企画，実施。
- 5) 医療機関業界・職種研究会（4月23日）の企画・オンライン形式での実施。  
（臨床技術学科，診療放射線学科が担当）医療関連6施設，学生129名の参加。
- 6) 医療福祉施設求人説明会の案内先および実施方法検討，オンデマンド形式による期間限定で資料の配信を実施（理学療法学科を主幹に作業療法学科，言語聴覚学科が担当）。  
医療関連71施設の協力により実施。学生53名がアンケート回答。
- 7) 保護者会（11月5日）における就職関係資料の準備・提供。
- 8) 業界・職種研究会（12月10日）の案内先および実施方法検討，対面形式での準備・実施（健康スポーツ学科を主幹に義肢装具自立支援学科，健康栄養学科，医療情報管理学科が担当）。企業

27社, 学生170名の参加.

- 9) 学内企業求人説明会(3月14日)の案内先および実施方法検討, 対面形式による準備・実施(医療情報管理学科を主幹に義肢装具自立支援学科, 健康スポーツ学科, 健康栄養学科が担当), 企業20社, 学生66名の参加.
- 10) 教育基盤の確立と学生支援体制の強化のもと, 学生のモチベーション維持・向上のため国家試験前の就職内定を重視, 国試前後については時期に応じた未内定学生への支援を実施.
- 11) 各学科就職指導状況の情報交換による効果的な就職対策の検討・協議.
- 12) 2023年度の医療機関業界・職種研究会, 学内合同企業説明会, 医療福祉施設求人説明会および業界・職種研究会の日程を決定し, 学事歴に掲載.

#### ④特記事項

キャリア支援中期計画実行について

- ・キャリア教育の一環として医療情報管理学科授業科目「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ」企画, 実施.
- ・卒業生の定着度調査の回答率を上げ, 分析結果を各学科と共有, 総務会で報告.
- ・理学療法学科2019年度卒業生を対象に卒業生対象アンケートを初実施.
- ・スポーツ振興室と連携し, 強化部所属学生を対象としたキャリア・ガイダンスを初開催.

#### エ 教職支援センター運営委員会

##### ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

吉田重和(HS, 委員長, センター長), 森泉哲也(HN, 副委員長)・渡辺優奈(~8月)(HN), 脇野哲郎・佐藤裕紀・杵渕洋美・高田大輔・針谷美智子・上田純平(HS), 丸山幸恵・和田直子(NR), 菅原直実・阿部つばさ(事務局)

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 教職支援センター運営委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) 教職支援センター運営委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 3) 教職支援センター指導體制について審議し, 承認した.
- 4) 2021年度卒業生アンケート結果について検討した.
- 5) 教員採用試験合格者目標値を設定し, 決定した.
- 6) 学内教員による教員採用試験対策学内講座について審議し, 決定した.
- 7) 外部業者による教員採用試験対策学内講座について審議し, 決定した.
- 8) 外部業者による教員採用試験対策学内模試について審議し, 決定した.
- 9) 教職支援センター利用ガイドラインについて審議し, 決定した.
- 10) 教員採用試験人物評価試験対策について審議し, 決定した.
- 11) 次年度予算案を審議し, 決定した.
- 12) 教職課程自己点検・自己評価作業を実施し, 「教職課程自己点検評価報告書」を刊行した.
- 13) 新潟医療福祉大学将来計画について, 教職支援センター運営委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した.

##### ④特記事項

- 1) 2021年度教職支援センター年報第6号を刊行した. また, 新潟医療福祉大学・事業創造大学院大学機関リポジトリに登録した.
- 2) 教職支援センターニューズレター第10号(記念号)を刊行した.
- 3) 教員採用試験対策オリエンテーションを実施した.
- 4) 教員採用試験「合格者の声を聴く会」を実施した.
- 5) 「現職教員の声を聴く会」を実施した.
- 6) 「新潟県・新潟市教員採用選考検査説明会」ならびに「教員採用試験結団式」を実施した.

- 7) 講師登録希望者説明会を実施した。
- 8) 新潟県教育委員会・新潟県内私立大学との「教員養成連絡協議会」を実施した。(参加機関：新潟県教育委員会・敬和学園大学・新潟青陵大学・新潟薬科大学・新潟工科大学・新潟医療福祉大学)
- 9) 「学習ボランティア体験を語る会」を実施した。
- 10) 3学科連携「教職実践演習」を実施した。
- 11) 教員採用試験出願書類作成指導会を実施した。

#### オ 学生委員会

##### ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

相馬俊雄 (PT, 委員長), 岩森 大 (HN, 副委員長), 関根千恵 (PT), 北上守俊 (OT), 今井信行 (ST), 郷 貴博 (AT), 阿部拓也 (CT), 生方北斗 (CO), 大和田均・岩崎 隆 (EM), 大野 健 (RT), 針谷美智子・森下義隆 (HS), 小林千穂 (NR), 渡辺洋子・青木 茂 (SW), 川口規子 (HI), 佐々木俊太郎・風間篤史・中山あかね (事務局)

##### ②会議開催回数 11回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 挨拶の励行, 敷地内禁煙の遵守および地域生活におけるマナーの改善に向けた取り組みについて, 学生部長から WEB形式による学年別オリエンテーション等を通して全学生を対象に指導を行った。また, 学生委員による構内の巡視を兼ね美化運動を実施した。さらに地域からの苦情等については, 全学生への注意喚起および該当学生に対する個別指導等を行い再発防止に努めた。
- 2) 日本学生支援機構奨学金の利用者数について情報共有を行った。
- 3) 保護者会について全体会を WEB形式, 個別相談を対面形式により企画・運営を実施した。
- 4) 薬物乱用防止に関する学生への指導として, 講演会等を実施した。
- 5) 学生生活アンケートを実施し, 集計結果を関係各署に情報共有することで学生生活の向上に努めた。
- 6) 学生の挨拶, マナー向上の啓発を目的に, 挨拶・マナー標語の公募を行い, 優秀作品3作品に対し, 表彰を実施した。
- 7) 学長表彰, 学生表彰に係る学生委員会の推薦候補者について審議した。
- 8) 学友会の学生と共同でクラブ・サークル紹介(冊子)の作成, 全県人会の開催促進に取り組んだ。また WEB形式による桃迎会(クラブ・サークルの勧誘会)や伍桃祭(大学祭)などコロナ禍における学友会活動の継続と活性化に取り組んだ。

#### カ 交通安全委員会

##### ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

青木 茂 (SW, 委員長), 岩森 大 (HN, 副委員長), 関根千恵 (PT), 北上守俊 (OT), 今井信行 (ST), 郷 貴博 (AT), 阿部拓也 (CT), 生方北斗 (CO), 大和田均・岩崎 隆 (EM), 大野 健 (RT), 針谷美智子・森下義隆 (HS), 小林千穂 (NR), 渡辺洋子 (SW), 川口規子 (HI), 佐々木俊太郎・倉部崇史・中山あかね (事務局)・瀬戸川純一 (事務局)

##### ②会議開催回数 11回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 過去の本学交通事故件数や危険個所を集約し, 全学生を対象に交通安全講習会を実施した。
- 2) 教職員対象の交通安全講習会の企画と実施運営を行い, 教職員には雪道運転の注意点をテーマとし, 交通安全の意識向上に努めた。
- 3) 学生の車両登録を促進することで, 学内駐車場の安全管理に努めた。
- 4) 学内周辺の危険個所を調査し, 検討および改善に努めた。

## ② 教育開発推進部

### ア 教務委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

古西 勇（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），山崎貴子（HN，副委員長），齊藤 慧・北谷亮輔（PT），今西里佳・間宮靖幸（OT），佐藤卓也・内山 信（ST），村山 稔・神田 賢（AT），高橋良光・大山富三（CT），志賀木綿子（CO），大和田均・長谷川恵・神藏貴久（EM），吉田皓文・関本道治（RT），竹内瑞希（HN），佐藤晶子・奈良梨央・下門洋文（HS），杉本 洋・渡邊千春（NR），原口彩子・渡辺 恵・林 修巳（SW），谷賢太朗・高野晃輔（HI），本間美雪・村山萌子・前田 充（事務局）

#### ②会議開催回数 13回（うち1回メール審議）

#### ③審議事項および決定事項等

- 1) 委員会規程第6条第3項に基づき，副委員長の指名を承認した。
- 2) 委員会規程第9条に基づき，教育の質マネジメント・学内授業推進専門部会，単位認定・編入学・転部転科等専門部会，学外実習専門部会を置き，部会員の選任および部会長の委嘱を承認した。
- 3) 履修登録願に関する特例措置を継続することについて審議し，承認した。
- 4) 非常勤教育職員選考細則の改正案について審議し，承認した。
- 5) 第1年次入学者3名の既修得単位認定について審議し，承認した。
- 6) 転部転科者2名の既修得単位認定について審議し，承認した。
- 7) 出欠状況確認指標科目を学科ごとに決定した。
- 8) 研究プロジェクト演習（UROP）の履修登録（追加および削除）を各前半期まで認めることを承認した。
- 9) 定期試験実施要綱とその付録資料について審議し，承認した。
- 10) 定期試験における不正行為防止に関するポスターの改定案を審議し，承認した。
- 11) 追試験のオンライン申請の流れについて審議し，承認した。
- 12) 保健医療福祉教養科目群に2科目を新設することについて審議し，承認した。
- 13) 保健医療福祉教養科目群の次年度開講計画（クラスサイズ等）について審議し，承認した。
- 14) 臨床技術学科のカリキュラム変更（科目名変更）について審議し，承認した。
- 15) 看護学科のカリキュラム変更（科目追加）について審議し，承認した。
- 16) 救急救命学科のカリキュラム変更（科目統廃合等）について審議し，承認した。
- 17) 健康スポーツ学科のカリキュラム変更（科目名変更）について審議し，承認した。
- 18) 心理健康学科（仮称）のカリキュラム案について審議し，承認した。
- 19) 非常勤講師の新規任用について審議し，承認した（計18名）。
- 20) 定期試験における不正行為の疑いについて審議し，不正行為を認定した（計5件）。
- 21) 他学科科目履修願いについて審議し，承認した（計4名）。
- 22) シラバス作成マニュアルについて審議し，承認した。
- 23) 学外実習に係る後援会援助金の分配について審議し，承認した。
- 24) 救急救命学科の科目開講時期変更（2件）について審議し，承認した。
- 25) 理学療法学科の科目開講時期変更（1件）について審議し，承認した。
- 26) 義肢装具自立支授学科の科目開講時期変更（1件）について審議し，承認した。
- 27) 臨床技術学科の科目開講時期変更（2件）について審議し，承認した。
- 28) 卒業時アンケート実施要綱について審議し，承認した。
- 29) アクションプランの自己点検結果について審議し，承認した。
- 30) 2023年度研究生・科目等履修生・聴講生募集概要について審議し，承認した。

- 31) 履修の手引き掲載「学外実習で起こりうる個人情報の漏洩の防止」の改訂について審議し、承認した。
- 32) 履修登録願に関する特例措置を次年度は継続しないことについて審議し、承認した。
- 33) 研究プロジェクト演習（UROP）の履修登録期間を次年度は各前半期までの延長を行わず、所定の履修登録期間どおりとすることについて審議し、承認した。
- 34) 3年次編入学生2名の既修得単位認定について審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 卒業生アンケート結果について確認した。
- 2) 保健医療福祉教養科目群の抽選の結果について確認した。
- 3) 保健医療福祉教養科目群および連携科目群単位の学生の履修・修得状況について確認した。
- 4) 9月卒業申請者について確認した。
- 5) 文部科学省への実習施設変更承認申請について対応した。
- 6) 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）からの依頼に基づく授業目的公衆送信の利用報告について対応した（リハビリテーション学部）。
- 7) カリキュラム改定に関わる指針に基づき、各学科のカリキュラム改定予定の調査を実施した。
- 8) 各学科の学外実習実施状況を共有した。
- 9) 学外実習中の事故報告について共有した。
- 10) 学外実習のためのPCR検査受検手順について確認した。
- 11) 実習用通学証明書の発行方法について確認した。
- 12) 定期試験実施本部体制を構築し、不正行為発生時の対応等をした。
- 13) 新型コロナウイルス感染やワクチン接種による体調不良者への授業・試験対応方針について確認した。
- 14) 「自然災害時等に伴う休講措置に関する取扱要項」について確認した。
- 15) 選択科目履修率について確認した。
- 16) 成績不合格者、成績未確定科目について確認した。
- 17) 次年度カリキュラム表を作成した。
- 18) 次年度カリキュラムにおけるメディア授業単位数を管理した。
- 19) 次年度シラバス点検を行った。
- 20) 時間割を作成した。
- 21) 教科書販売に係る対応をした。
- 22) 非常勤講師の次年度担当内諾確認作業を実施した。
- 23) 心理健康学科（仮称）設置認可申請に係る科目概要作成に協力した。
- 24) 次年度学事暦案を確認した。
- 25) 学外実習費の次年度予算案を作成した。
- 26) 学外実習に係る後援会援助金使途報告を作成した。
- 27) 授業用 Teams 作成の対応をした。
- 28) 修学支援制度に係る「実務経験のある教員が担当する科目」を確認した。
- 29) 卒業判定会議に委員（各学科1名）を派遣した。
- 30) 卒業見込判定結果および卒業判定結果について確認した。
- 31) 学業成績優秀者の学生表彰推薦を行った。
- 32) 第2回全国学生調査の結果について確認した。
- 33) 次年度の「履修の手引き」はデータ配布のみとなることを確認した。
- 34) 骨髄バンク登録に関するランチョンセミナーをFD・SD推進委員会と共催した。
- 35) 「連携総合ゼミの履修登録及び取消に関する内規」の改正について確認した。
- 36) 研究プロジェクト演習（UROP）を運営した。

37) 研究プロジェクト演習 (UROP) 専用サイトを開設した.

#### イ FD・SD推進委員会

##### ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

五十嵐紀子 (SW, 委員長), 寺田貴美代 (SW, 副委員長), 中原英伸 (事務局次長, 副委員長), 菊元孝則 (PT), 谷 麻美 (ST), 村山 稔 (AT), 中山憲司 (CT), 石井雅子 (CO), 神藏貴久 (EM), 吉田皓文 (RT), 徳永亮太 (HN), 秋山隆之 (HS), 石綿啓子 (NR), 塚本徹雄 (HI), 前田進也, 中村 泉, 児玉祐哉, 佐藤真由子, 小杉春花, 今野元稀, 渡邊宰子, 本間美雪, 阿部つばさ, 駒形高広 (事務局)

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項及び決定事項等

- 1) FD・SD推進委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) FD・SD推進委員会規程について審議し, 承認した.
- 3) FD・SD推進委員会部会構成および部会担当者を決定した.
- 4) FD・SD推進委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 5) 学生による授業評価要綱について審議し, 承認した.
- 6) 外部研修会等の参加費用の補助に関する内規について審議し, 承認した.

##### ④特記事項

- 1) 新任教職員セミナーをオンライン実施した.
- 2) 新任職員SD研修会を実施した.
- 3) 大学院教育研究環境委員会との共催でランチョンセミナー「大学院における複数教員での指導体制と学位審査までのプロセス」を実施した.
- 4) 大学院教育研究環境委員会との共催でランチョンセミナー「ティーチング・アシスタント」を実施した.
- 5) 春の職員会をオンライン実施した.
- 6) メンタルヘルス支援室および図書館・学習支援委員会との共催でランチョンセミナー「メンタル面に関する合理的配慮」を実施した.
- 7) 研究・産官学連携推進部との共催でランチョンセミナー「本学での英語論文作成支援制度について」を実施した.
- 8) TOEIC IPテスト (オンライン) を計4回実施した.
- 9) ランチョンセミナー「NUHWの目指すSDGsについて」を実施した.
- 10) 新潟連携教育推進センター運営委員会との共催でランチョンセミナー「本学の連携教育の位置づけ～連携基礎ゼミの目的と実例～」を実施した.
- 11) 秋の職員会をオンライン実施し, アーカイブコンテンツとして共有した.
- 12) 社会連携教育推進センター運営委員会との共催でランチョンセミナー「社会連携実践演習の現況」を実施した.
- 13) ランチョンセミナー「オンライン授業のためのオンライン研修会～PC関連のスキルアップも目指して～」を実施した.
- 14) 社会連携教育推進センター運営委員会および教務委員会との共催でランチョンセミナー「学生の社会貢献活動を支える仕組みづくり～骨髄提供を例に～」を実施した.
- 15) ランチョンセミナー「「座りすぎ」がもたらす負の連鎖」を実施した.
- 16) 職員交流会 (新任職員 施設見学ツアー) を実施した.
- 17) 高等教育推進センター運営委員会との共催でランチョンセミナー「2025年度 新課程世代に向けた「学修者本位の入学前教育」とは～イマドキの学生の傾向と入学後の支援に向けて～」を実施した.



- 18) IR戦略委員会・IR室との共催でランチョンセミナー「IR室が描く未来予想図」を実施した。
- 19) 大学院教育研究環境委員会との共催でランチョンセミナー「空間の枠を超えた大学院メディア授業の提案」を実施した。
- 20) 大学院教育研究環境委員会との共催でランチョンセミナー「内部質保証におけるアセスメントプランについて」を実施した。
- 21) ランチョンセミナー「強化指定クラブの取り組み～男子バスケットボール部が実践する学生主体の組織改革～」を実施した。
- 22) ランチョンセミナー「合理的配慮のための仕組みづくり」を実施した。
- 23) IR戦略委員会・IR室および図書館・学習支援委員会との共催でランチョンセミナー「オンデマンド配信授業を欠席する学生の傾向」を実施した。
- 24) ランチョンセミナー「見えにくさを感じる人に役立つIT活用～仕事効率化を目指して～」を実施した。
- 25) 国際交流委員会との共催で「2022年度教員英語研修ふりかえりセッション」を実施した。
- 26) ランチョンセミナー「トビタテ！留学JAPANから始まるキャリア形成」を実施した。
- 27) 「春の教員英語研修」を実施した。
- 28) 外部研修会の案内および参加者の募集を実施し、研修参加費の助成を行った。
- 29) 昨今のコロナ禍を鑑み、2022年度バストティーチャー選考が中止となったため、バストティーチャーと語る会は実施しなかった。
- 30) 各種セミナーはアーカイブコンテンツとしてFD・SD推進委員会Webサイトで公開した。

#### ウ 国家試験・資格試験対策委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

川村宏樹（CT，委員長），山口典子（NR，副委員長），相馬俊雄・玉越敬悟（PT），藤目智博（OT），内山 信・佐藤卓也・田村俊暁（ST），須田裕紀（AT），渡邊博昭（CT），村田憲章・多々良俊哉（CO），大松健太郎（EM），長谷川晃（RT），鈴木一恵・中村純子・増田紘之（HN），脇野哲郎・松浦由生子（HS），佐藤 洋（SW），坂井さなえ（HI），吉田俊雄（事務局），滝沢美希（事務局）

##### ②会議開催回数 11回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 国家試験・資格試験対策委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 前年度の分析と今年度目標について，確認した。
- 3) 試験対策費予算案分について審議し，決定した。
- 4) 前年度卒業生アンケート結果と改善について，確認した。
- 5) 各学科の模擬試験実施予定を取り纏め，実施教室を決定した。
- 6) 保護者会で配布する国家試験・資格試験対策概要（冊子）の発行について審議し，決定した。
- 7) 卒業時アンケートについて審議し，決定した。
- 8) 大学閉鎖期間（年末年始）の対策予定および自習室開放について，確認した。
- 9) 毎月の指導状況および強化メンバー対策状況について，確認した。
- 10) 毎月の国家試験・資格試験同等基準の模試の結果について，確認した。
- 11) 抗原検査キットを確保し，必要に応じて配布した。
- 12) 国家試験・資格試験結果の取り纏めについて，確認した。

##### ④特記事項

5つの国家試験（救急救命士・看護師・助産師・精神保健福祉士・介護福祉士），および1つの資格試験（アスレティックトレーナー）において合格率100%を達成した。

#### エ 新潟連携教育研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

藤井 豊（CT，委員長），松井由美子（NR，副委員長），田宮 創・井上達朗（PT），間宮靖幸（OT），伊藤さゆり・栗原 桂（ST），佐藤未希・東江由紀夫（AT），森田邦恵（CT），村田憲章・岸 哲志（CO），神藏貴久（EM），櫻井典子・甲斐千遥（RT），遠藤和男・中村純子（HN），若月弘久・下窪拓也（HS），小栗妙子（NR），大屋未輝・渡邊 豊（SW），谷賢太郎（HI），本間美雪・滝沢美希（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 連携総合ゼミ実行部会，連携基礎ゼミ実行部会，連携学対応部会，連携教育研究部会の部員を選出し，承認した。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大抑止のための連携総合ゼミの実施形態について審議し，承認した。
- 3) 連携総合ゼミの企画・準備スケジュールおよび各担当の割り振りについて審議し，決定した。
- 4) 連携総合ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し，承認した。
- 5) 連携総合ゼミの履修登録締切後の取消申請1件（法事のため）について審議し，承認した。
- 6) 連携総合ゼミの各事例への学生・教員配置について審議し，承認した。
- 7) 連携総合ゼミ開会式，発表会，修了式の内容について審議し，承認した。
- 8) 連携総合ゼミの大学院留学生による海外学生サポート謝礼の導入について審議し，承認した。
- 9) 連携総合ゼミの履修登録および取消しに関する内規の改訂について審議し，承認した。
- 10) 新潟医療福祉大学新潟連携教育研究センター規程の改正について審議し，承認した。
- 11) 2023年度連携総合ゼミの日程について審議し，前期開講日程を8月28日（月）～9月1日（金），後期開講日程を3月4日（月）～3月8日（金）に決定した。
- 12) 連携総合ゼミの教員向けゼミ見学について審議し，承認した。
- 13) 連携基礎ゼミをオンラインで実施することについて審議し，承認した。
- 14) 連携基礎ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し，承認した。
- 15) 連携基礎ゼミのゼミ分けについて審議し，承認した。
- 16) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートについて審議し，承認した。
- 17) 連携基礎ゼミにおける実践行動学 part II の取扱いについて審議した。
- 18) 2023年度連携教育科目の授業計画について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) 連携教育協力教員の募集を行った。
- 2) 連携総合ゼミ期間中の開会式，発表会，修了式等の運営（オンライン）を行った。
- 3) 連携総合ゼミについて新潟日報社の取材があり，紙面掲載された。
- 4) 連携総合ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 5) 連携総合ゼミの実施報告書を作成した。
- 6) 連携基礎ゼミ初回オリエンテーション，最終発表会の実施方法についてとりまとめを行った。
- 7) 連携基礎ゼミグループワークテーマについてとりまとめを行った。
- 8) 連携基礎ゼミに向けたFDとしてFD・SD推進委員会とセミナーを共同開催した。
- 9) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 10) 連携基礎ゼミの発表スライドデータを収集した。
- 11) 保健医療福祉連携学をオンデマンド型で実施した。
- 12) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部必修）をオンデマンド型で実施した。
- 13) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部を除き選択）をオンデマンド型で実施した。
- 14) 地域連携学をライブ配信形式に切り替え，オンライン授業で実施した。
- 15) 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（松井由美子大会長）の運営に携わった。加えて，一般演題として2演題（発表者：栗原委員，村田委員）提出した。

- 16) 新3年生・新4年生オリエンテーションで2023年度連携総合ゼミの周知活動を行った。
- 17) チーム医療教育に関して新潟日報社の取材があり、紙面掲載された。
- 18) 連携教育に関連する勉強会やシンポジウムなどについて参加情報発信を行った。

オ 高等教育推進センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

吉田重和（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），奈良貴史・宮口翔太・長坂和明（PT），馬場広子（OT，アドバイザー），今西里佳・五十嵐紀子（OT），吉岡 豊（ST），田山文子（AT），牧口智夫・仙波妙子（CT），戸田春男（CO），安達哲浩（EM），橋本 薫（RT），佐近慎平（HS），石塚敏子・桶谷涼子（NR），渡邊 豊・森田裕之（SW），石浦章一（HI，アドバイザー），寺島和浩・木下直彦（HI），吉田俊雄・村山萌子・駒形高広（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 高等教育推進センター運営委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 高等教育推進センター運営委員会各専門部会（教育システム改革部会，共通科目部会，ICT教育推進部会，初年次教育推進部会）の担当者と部会長を決定した。
- 3) 委員会規定について承認した。
- 4) アクションプランに基づき，委員会の担当業務について確認した。
- 5) 各部会の工程表を作成し，確認した。
- 6) 「教育の質保証」強化に向け，3ポリシーの見直しについて検討し，修正・集約・確認した。
- 7) 少人数指導教育の実施状況調査を実施し，調査結果を報告した。
- 8) 習熟度試験の実施状況調査を実施し，調査結果を報告した。
- 9) アセスメントプラン&アセスメントチェックリストについて検討した。
- 10) 共通科目の現状を調査し，提言をした。
- 11) 日本語表現法Ⅰ・Ⅱに関する現状を調査し，調査結果を報告した。
- 12) 保健医療福祉教養科目群に関する課題点，改善案について検討した。
- 13) 英語教育の在り方について学科別に調査し，検討した。
- 14) 英語教育に関するDPを検討し，提案した。
- 15) ICTを活用した教育基盤の在り方について検討した。
- 16) 情報基盤センターの構想について検討し，提案した。
- 17) データサイエンス教育に関するWGにて，認定制度の申請を見据えた取組みを検討・確認した。
- 18) 入学前教育（入学前課題，Webスクーリング）について検討，審議，実施した。
- 19) 入学前課題「BasicStudy Camp」「Remedial Courses」「学問サキドリプログラム」「学科独自の課題」について検討，審議，実施した。
- 20) Webスクーリングのプログラムについての検討，審議，実施した。
- 21) 初年次教育に関する見直し，改善に向けた検討，審議をした。
- 22) 基礎ゼミの実施内容について報告した。
- 23) 基礎ゼミ改善について検討，審議，実施した。
- 24) 実践行動学担当者についての確認と，新規担当者のための講習会について確認した。
- 25) 理数系プレテストの実施について検討，審議，実施した。
- 26) 補習教育「Remedial Courses」の運営方法を検討，審議，実施した。
- 27) 日本語検定の実施について検討，審議した。
- 28) NHK大学セミナーを基礎ゼミにて実施した。
- 29) 防災・避難訓練を基礎ゼミにて実施した。

(3) 研究・産官学連携推進機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（PT，委員長），佐藤大輔（HS），椿 淳裕（PT），児玉直樹（RT），江玉陸明（PT），  
大竹 宏（事務局），大森由理（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 私立大学等総合改革支援事業タイプ2選定に向けた取り組み
- 2) 研究ホームページの開設
- 3) URA推進に向けたFD/SDの実施について
- 4) バイアウト制度の確立について
- 5) 外部研究員受入規程の整備
- 6) 英語論文作成支援体制の構築と公募について
- 7) 研究奨励金等関連規程・内規の改定
- 8) 研究ホームページの開設

① 研究・産学官連携推進部

ア 科研費対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大鶴直史（PT，委員長），能登真一（OT），田村俊暁（ST），須田裕紀（AT），高橋良光（CT），  
村田憲章（CO），神藏貴久（EM），児玉直樹（RT），渡辺優奈（HN），越中敬一（HS），  
小山千加代（NR），松本京介（SW），平井克之（HI）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度科研費対策の結果と評価
- 2) 2023年度科研費申請率および採択率の目標設定
- 3) 2022年度研究奨励金申請状況について
- 4) 科研費サポートデスクについて
- 5) 科研費学内説明会の実施について

イ プロジェクト研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），吉岡 豊（ST），能登真一（OT），佐藤成登志（PT），西原康行（HS），  
山崎史恵（HS），大森 豪（HS），犬飼康人（PT），稲葉洋美（HN），大鶴直史（PT），東江由起夫  
（AT）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1) プロジェクト研究センターの定期活動報告について
- 2) 生物医科学分析研究センター設置について

② 研究・産学官連携支援部

ア 学術委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

委員長：竹井 豊（EM，委員長），澁谷顕一（HN，副委員長），能登真一（OT），佐藤卓也（ST），  
須田裕紀（AT），追手 巍（CT），稲葉英夫（EM），前島 偉（RT），池田祐介（HS），佐宗亜衣子  
（PT），金子 弘（CO），越智元太（HS），山口典子（NR），瀧口 徹（HI），渡辺洋子（SW），

大森由理（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学術委員会副委員長を指名した。
- 2) 新潟医療福祉学会役員（会計1名、会計監事2名、和文誌編集委員長・和文誌編集委員、英文誌編集委員長・英文誌編集委員）を選出し、決定した。
- 3) 評議員開催日程およびオンライン形式で開催について審議し、決定した。
- 4) 評議員会議案について審議し、決定した。
- 5) 第22回新潟医療福祉学会学術集会の大会長、実行委員長について審議し、承認した。
- 6) 第22回新潟医療福祉学会学術集会の日程を審議し、決定した。
- 7) 英文誌 Editorial Board と編集体制、担当分野の振り分けについて審議し、決定した。
- 8) 6月1日より論文投稿受付を Editorial Manager に移行を開始したい旨を審議し、決定した。
- 9) アトラス社 SMOOSY の導入を審議し、決定した。
- 10) 英文誌編集体制の強化と Editorial Board 創設を審議し、決定した。
- 11) 投稿査読システム Editorial Manager の利用について審議し、決定した。
- 12) 第22回新潟医療福祉学会総会議案を審議し、決定した。
- 13) 第22回新潟医療福祉学会総会の委員の役割分担を審議し、決定した。
- 14) 2022年度新潟医療福祉学会賞選定基準（案）の選考について審議し、決定した。
- 15) メールでの投稿受付廃止について審議し、決定した。
- 16) 新潟医療福祉学会特定商取引法に基づく表記（案）について審議し、決定した。
- 17) 2023年度の外部評議員について審議し、決定した。
- 18) 新潟医療福祉学会誌編集内規（案）について審議し、決定した。

#### イ 倫理審査委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

山崎史恵（HS, 委員長）、芝田純也（PT）、笠井 聡（RT）、渡邊 豊（SW）、高野義隆（新潟リハビリテーション病院）、立石 学（新発田リハビリテーション病院）、本間 葵（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度の申請件数は197件（受付番号18819～19016）であった。
- 2) 2022年度の学外学識経験者について、新潟リハビリテーション病院は高野義隆先生に、新発田リハビリテーション病院は前年度に引き続き立石学先生に委嘱した。

#### ウ 遺伝子組換え実験安全委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

田口 徹（PT, 委員長）、川村宏樹（CT, 副委員長）、太田大樹（PT）、八坂敏一（PT）、田村典子（HN）、埴 晴雄（HS）、大森由理（事務局）

②会議開催回数 5回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 1件の遺伝子組換え実験計画書について審議し、1件を承認した。
- 2) 学内オートクレーブの年次自主点検を実施した。
- 3) アデノ随伴ウイルス（AAV）バクターを用いた局所遺伝子改変実験の学内実施に向けた環境整備について審議した。

#### エ 動物実験委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

八坂敏一（PT，委員長），越中敬一（HS，副委員長），田口 徹（PT），池上 諒（PT），徳永亮太（PT），藤井 豊（CT），増田紘之（HN），越智元太（HS），渋谷友之（事務局）

②会議開催回数 12回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 14件の動物実験計画書について審議し，14件を承認した。
- 2) 本学施設にて飼育中のラットおよびマウスの微生物モニタリングを2回実施し，結果全て陰性であったことを報告した。
- 3) 動物実験実施者（教員および学生）を対象に，2022年度動物実験教育訓練講習会について検討し，実施した。
- 4) 2022年度（第12回）実験動物慰霊祭について検討し，執り行った。動物実験に関わる教職員および学生が参加した。
- 5) G401設置のラット用ラック撤去し，G402設置のラット用ラックのG401移設を実施した。

オ 毒物・劇物管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田口 徹（PT，委員長），八坂敏一（PT，副委員長），太田大樹（PT），齋藤大造（CT），山崎貴子（HN），越中敬一（HS），中山憲司（CT，委員長特命補佐），瀬戸川純一（事務局）

②会議開催回数 12回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 全教員を対象に，毒物・劇物等所有実態調査を実施し，使用届の提出を求め，認定証の配布を行った。
- 2) 全学的な化学物質一元管理システムの導入に向けて検討した。
- 3) 毒物・劇物等保管庫設置状況の現地確認を行い，その種類や数を確認した。  
また，転倒・飛散防止措置を必要とする化学物質保管棚・庫を抽出した。
- 4) 化学物質管理上の教育訓練の実施について検討した。
- 5) 毒物・劇物の管理について，新潟食糧農業大学と新潟薬科大学を訪問し，情報交換を行った。
- 6) 職場環境（空気と排水）測定の実施に向けて検討を行った。
- 7) 化学物質の廃棄体制について検討を行った。
- 8) 毒物・劇物使用者の特殊健康診断実施に向けて検討を行った。
- 9) 学内における化学物質の不適切使用防止のための注意喚起を行った。

カ 利益相反マネジメント委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），越智元太（HS），前田進也（事務局）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2022年度利益相反自己申告書の審査について

キ 知的財産委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），越智元太（HS），前田進也（事務局）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

- 1) 職務発明届を1件受理し，審議を行った。

2) 知的財産ポリシーについて審議を行った。

ク URA推進室会議

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

江玉睦明（PT，室長），藤井 豊（CT），山代幸哉（HS），佐藤郁美（NR），大竹 宏（事務局），大森由理（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 他大学のURAの実態調査
- 2) 令和3年科研費申請者の分析
- 3) URA等の研究マネジメント人材育成に係るFD/SDの実施
- 4) 次年度URA等の研究マネジメント人材育成に係るFD/SDの計画・検討
- 5) 研究者のマッチングを目的とした「ケン活サイト」活性化検討

③ 大学院教育研究支援部

ア 大学院教務委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

能村友紀（OT，委員長），佐藤克郎（ST，副委員長），澁谷顕一（HN），中井良育（SW），木下直彦（HI），嵐田浩吉・佐藤雅士・五十嵐香（事務局）

②会議開催回数 13回（うち1回メール審議）

③審議事項および決定事項等

- 1) 9月修了に係る論文審査スケジュール，提出書類，公開審査期間について審議し，決定した。
  - 2) 9月修了者の論文審査会をオンラインと対面形式の選択制で開催することについて審議し，承認した。
  - 3) 大学院論文中間発表会開催要領について審議し，承認した。
  - 4) オンライン授業の情報一元化と院生への共有について審議した。
  - 5) 大学院論文中間発表会アンケートについて審議し，承認した。
  - 6) 博士後期課程・共通科目のカリキュラム変更について審議し，承認した。
  - 7) 修士課程・共通科目のカリキュラム変更について審議し，承認した。
  - 8) 論文作成マニュアルおよび大学院進学ガイドラインの改訂について審議し，承認した。
  - 9) 3月修了申請者の論文提出前のテスト提出の実施について審議し，承認した。
  - 10) 学位プログラムごとのカリキュラムマップ，カリキュラムツリー作成について審議した。
  - 11) 研究報告会Ⅰの開催要領について審議し，承認した。
  - 12) 3月修了者の論文審査会アンケートの一部修正について審議し，承認した。
  - 13) 研究報告会Ⅰの報告書について審議し，学位論文到達度評価のループリック回答を以て報告書とすることが決定した。
  - 14) 修士課程共通科目「データサイエンス入門」，博士後期課程共通科目「アカデミックキャリア特論Ⅰ・Ⅱ」の新規開設について審議し，承認した。
  - 15) 学位論文採用証明書の提出について審議した。
  - 16) 授業振り返りシートについて審議した。
- ④特記事項
- 1) 中間発表会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し，評価を行った。
  - 2) 3月修了申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し，評価を行った。
  - 3) 2023年度カリキュラム見直しに係わる意向調査を実施した。

- 4) 研究報告会 I 実施後の学位論文到達度評価のルーブリックを実施した。
- 5) 大学院教育研究環境委員会と共同で修了生アンケートを実施した。

#### イ 大学院教育研究環境委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山代幸哉（HS，委員長），寺田貴美代（SW，副委員長），江玉睦明（PT），阿部 薫（AT），杉本 洋（NR），木下直彦（HI），嵐田浩吉・田沢美生（事務局）

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院教育研究環境委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) アセスメントプランの内容ならびにアセスメントの実施時期等について審議し，決定した。
- 3) 学籍異動対策としてのネットワーク型支援モデルについて審議し，決定した。
- 4) 大学院ポートフォリオについて審議し，決定した。
- 5) 新たなTA制度となるATA制度について審議し，決定した。
- 6) 各種アンケートの内容や実施方法等について審議し，決定した。

##### ④特記事項

- 1) アセスメントプランについてのFDセミナーを実施した。
- 2) メディア授業をより良くするために，ICTに関するFDセミナーを実施した。
- 3) 学籍異動対策アンケートのトライアルを実施した
- 4) TA・ATAハンドブック改訂版を作成し，大学院生に配布した。
- 5) ディプロマポリシー達成度シートを作成し，修了生に配布した。

#### (4) 社会連携・同窓会推進機構委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS，委員長），佐藤成登志（PT），大竹 宏（事務局），佐々木俊太郎（事務局），オブザーバー丸田秋男（SW），東江由起夫（AT），前山美優（事務局）

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 私立大学改革総合支援事業タイプ3維持のための現状評価
- 2) 社会連携・地域貢献に関するガバナンスの整備
- 3) 新潟市北区との連携強化に向けた検討
- 4) 同窓会ネットワーク強化策の検討

#### ① 社会連携推進部

##### ア 社会連携推進センター運営委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤成登志（PT，委員長），東江由起夫（AT，副委員長），能村友紀（OT），佐藤克郎（ST），小澤口治樹（CT），石井雅子（CO），神藏貴久（EM），大徳尚司（RT），鈴木一恵（HN），杵渕洋美（HS），井澤玲奈（NR），佐藤 洋（SW），波多野誠（HI）大竹 宏（事務局）

##### ②会議開催回数 10回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 社会連携実践演習 I・IIの単位化
- 2) 地域連携プラットフォームの構築
- 3) 新潟医療福祉大学オンラインセミナーの拡充
- 4) スプレッドシートを活用した社会連携・地域貢献活動報告



5) 2022年度とよさか中高年教養大学のカリキュラム科目「健康長寿学」開催

6) 将来計画の自己点検

② 同窓会・生涯学習推進部

イ 同窓会・生涯学習連携推進委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS，委員長），横田裕丈（PT），能村友紀（OT），吉岡 豊・大湊 麗（ST），郷 貴博（AT），阿部拓也（CT），多々良俊哉（CO），安達哲浩（EM），大野 健（RT），星野美美（HN），鵜瀬亮一（HS），石塚敏子（NR），荒川大靖（SW），柴山純一（HI），佐々木俊太郎・前山美優・倉部崇史・中山あかね（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 同窓会・生涯学習の推進に関する使命（ミッション）および同窓会ネットワークを拡げる具体的方策および実施のスケジュールについて検討した。
- 2) 同窓会本部の活動・事業について情報共有を行った。
- 3) 大学と同窓会員のネットワークを強化するために，同窓会サポーターを中心に，同窓会員へ情報登録依頼を行った。
- 4) 連携総合ゼミへ同窓生を派遣し，各テーマに即したアドバイスを行うことで在学生支援に努めた。
- 5) 同窓会委員による今年度卒業生の中から同窓会新役員選出を行った。
- 6) 同窓会役員と共同で，同窓会役員人事の再構成に取り組んだ。

(5) アスレティックデパートメント推進機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（副学長，機構長），佐藤敏郎（HS学科長），伊藤篤司（HS，アスレティックデパートメント推進部長），小野哲之（大学事務局長），西海幸頼・南 俊之・梨本理沙・漆原大夢（スポーツ振興室）

②会議開催回数 14回（メール審議含）

③審議事項及び承認事項等

- 1) 2023年度募集の高校生練習参加受け入れルール案について審議し，承認した。
- 2) 強化指定クラブの部費について統一した管理を行うことを目的とした部費通帳を作成し管理を行うことについて審議し，承認した。
- 3) 学内施設を使用する際は個人練習であっても事前申請（許可制）を行う事について審議し，承認した。
- 4) 強化指定クラブ部費会計ガイドラインの内容について審議し，承認した。
- 5) 世界選手権に伴う水泳部の海外渡航について審議し，承認した。
- 6) OWS世界ジュニア選手権に伴う水泳部の海外渡航について審議し，承認した。
- 7) IWBF 男子 U23車いすバスケットボール世界選手権大会に伴う HI 学生の海外渡航について審議し，承認した。
- 8) サッカー全日本大学選抜海外遠征に伴う男子サッカー部の海外渡航について審議し，承認した。
- 9) 強化指定クラブ新3年生を対象としたキャリアガイダンスの内容について審議し，承認した。
- 10) 強化指定クラブ監督コーチ研修会の内容について審議し，承認した。
- 11) 2023年度強化指定クラブスカウティング目標数について審議し，承認した。
- 12) OWS日本代表候補選手の強化遠征に伴う水泳部の海外渡航について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) アルビレックス新潟・新潟リハビリテーション病院・本学で連携し，アルビレックス新潟U18の選手に対する栄養・睡眠調査，セミナーを実施したことを報告した。
- 2) 新入生オリエンテーションを5月18日（水）・5月19日（木）に開催し，12クラブ201名が参加した。

ことを報告した。

- 3) 「UNIVAS AWARDS2022-2023」で7部門入賞し、サポーター・オブ・ザ・イヤーで優秀賞を獲得したことを報告した。
- 4) 2024年4月新設の女子硬式野球部スカウティング活動の早期実施にむけて2022年度内から動き出すことを報告した。

## ① 強化指定クラブ運営部

### ア 強化指定クラブ運営委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS 学科長，委員長），下山好充（HS，水泳部監督），小林志郎（HS，陸上競技部監督），佐熊裕和（男子サッカー部監督），前田信弘（女子サッカー部監督），若月弘久（HS，男子バスケットボール部監督），小林真里奈（HS，女子バスケットボール部監督），濱野礼奈（HS，女子バレーボール部監督），鶴瀬亮一（HS，硬式野球部監督），若井由梨（HS，ダンス部監督），品田松寿（卓球部監督），久保 晃（HS，男子バレーボール部監督），西海幸頼（スポーツ振興室，テニス部監督），南 俊之・梨本梨沙・漆原大夢（スポーツ振興室）

#### ②会議開催回数 6回

#### ③審議事項及び決定事項等

- 1) 強化指定クラブの新体制について説明した。
- 2) 2021年度強化指定クラブ所属学生就職状況について報告した。
- 3) 2021年度総括・2022年度目標，各部の取組等について共有した。
- 4) 学業とスポーツ両立の重要性について再確認を行い，共有した。
- 5) AD推進機構にて承認された，PCR運用一部改正について実施方法を周知した。
- 6) 学生募集（スカウティング）の目標達成について，現状報告と進捗確認を実施した。
- 7) 強化指定クラブ部費会計ガイドラインについて説明した。
- 8) 強化指定クラブ新型コロナワクチン接種状況調査とワクチン接種推進を依頼した。
- 9) 新型コロナウイルス感染対策 体調不良者対応フローの再確認と徹底依頼した。

#### ④特記事項

- 1) 新入生オリエンテーションを5月18日（水）・19日（木）に実施した。
- 2) UNIVAS AWARDSに7部門入賞（①マン・オブ・ザ・イヤー・②ウーマン・オブ・ザ・イヤー・③パラ・アスリート・オブ・ザ・イヤー④サポーター・オブ・ザ・イヤー⑤ルーキー・オブ・ザ・イヤー⑥コーチ・オブ・ザ・イヤー⑦MS&AD賞「安全確保に関する優秀組賞」）し，サポーター・オブ・ザ・イヤーで優秀賞を獲得したことを報告した。
- 3) 強化指定クラブ監督コーチ研修会を3月31日（金）に実施した。

## ② アスレティックデパートメント推進部

### イ アスレティックデパートメント推進委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

伊藤篤司（HS，委員長），鶴瀬亮一（HS，選手強化支援部会長），馬場康博（HS，修学・生活支援部会長），秋山隆之（HS，社会・地域活動推進部会長），小林志郎（HS，スカウト部会長），中原英伸（事務局次長，ブランド力向上部会長），西海幸頼・南 俊之・梨本梨沙・漆原大夢（スポーツ振興室）

#### ②会議開催回数 12回

#### ③審議事項及び決定事項等

- 1) 選手強化支援部会において2021年度の個人研究・共同研究と各強化指定クラブの関わりについてヒアリングを実施した。

- 2) 選手強化支援部会においてテニス部, 男子バレーボール部と視機能科学科による共同研究を実施した。
- 3) 選手強化支援部会において強化指定クラブの選手・学生スタッフを募集することを目的とした新入生部活相談会を企画した。
- 4) 修学・生活支援部会においてHS学科のカリキュラム改編について, カリキュラム検討部会とHS学科で連携し検討した。
- 5) 修学・学修支援部会においてUNIVAS AWARDS2022-2023に推薦する学内候補者選考を実施した。
- 6) 修学・生活支援部会において学業とスポーツを両立するための学科連携によるカリキュラム改編の検討をした。
- 7) 修学・生活支援部会において強化指定クラブ3年生を対象としたキャリア支援ガイダンスをスポーツ振興室と連携して実施した。
- 8) 社会・地域活動推進部会において各クラブの地域活動について, 2019年度から2021年度の社会・地域活動調査一覧をもとに説明した。
- 9) 社会・地域活動推進部会において地域住民・企業などとの応援体制や近隣商店街との連携促進に向けた検討をした。
- 10) 社会・地域活動推進部会において2022年度に実施した各強化指定クラブの地域・社会貢献活動を報告した。
- 11) スカウト部会においてスカウティング活動における方針・特待生・留学生の獲得について各強化指定クラブからの意見の集約を実施した。
- 12) スカウト部会において留学生の受け入れを行っている県内高校に受け入れ体制や入試制度についてヒアリングをした。
- 13) スカウト部会においてスカウティングで成果をあげている監督, コーチへヒアリングを実施し情報共有した。
- 14) ブランド力向上部会において監督へのヒアリングを基に, カラー選定とエンブレム作成のベースとなるキーワード抽出を実施した。
- 15) ブランド力向上部会において抽出したキーワードを基に, 外部業者と連携をしてカラー選定, エンブレム制作を開始した。

#### ④特記事項

- 1) UNIVAS AWARDSに7部門入賞(①マン・オブ・ザ・イヤー・②ウーマン・オブ・ザ・イヤー③パラ・アスリート・オブ・ザ・イヤー④サポーター・オブ・ザ・イヤー⑤ルーキー・オブ・ザ・イヤー⑥コーチ・オブ・ザ・イヤー⑦MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」)し, サポーター・オブ・ザ・イヤーで優秀賞を獲得したことを報告した。
- 2) 第71回全日本大学サッカー選手権大会決勝(2023年1月1日 国立競技場)の応援ツアーを企画し, 約350名が参加したことを報告した。

## 6. 大学情報の公開と広報

### 1) 公開講座等

全て中止

### 2) 広報活動

#### (1) オープンキャンパス・個別相談会の実施

- ・WEBオープンキャンパス年間35回開催
- ・メタバースオープンキャンパス年間11回開催
- ・来場型オープンキャンパス年間1回開催
- ・個別相談会年間6回開催

#### (2) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット, 入試ガイド, 募集強化学科リーフレット, 教員紹介, 出張講義・講演一覧, 学費等支援制度案内リーフレット, WEBオープンキャンパス告知DM, 選抜区分別出願案内DM等

#### (3) ホームページの管理・運営

- ・学部学科情報, 強化指定クラブ情報, WEBオープンキャンパス等の大学情報の発信
- ・アドミッションポリシー, 入学者選抜試験概要等の入試情報の発信
- ・「研究力サイト」による, 私立大学研究ブランディング事業をはじめとする本学の研究についての情報発信
- ・教育研究上の目的, 授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス&ニュース掲載 年間610本
- ・受験生応援サイトのリニューアル
- ・レスポンス化の推進およびUIUX改善によるユーザビリティ向上, SEO施策の実施
- ・WEB広告出稿 (Google, Yahoo, Instagram, Facebook, YouTube, LINE)
- ・大学公式アプリ, Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE, TikTok, Voicyによる情報発信
- ・ブログ (学科・強化指定クラブ) による情報発信

#### (4) メディア広報

- ・パブリシティ掲載 TV, 新聞等 年間1,517件掲載 (内, 全国1,279件)

#### (5) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス 106会場
- ・高校内ガイダンス 310校
- ・資料参加 (会場・高校) 543件
- ・高校出張講義 講座 113講座
- ・大学見学 23団体

#### (6) 高校教諭対象説明会の実施

##### 来場型

- ・開催日 2022年6月17日 (金)
- 参加者数 18校18名

##### WEB型

- ・開催期間 2022年6月24日 (金) ~7月29日 (金)
- 参加者数 61校70名

#### (7) 大学広報誌の発行 (QOLサポーター新潟)

- ・2022年4月6日 第58号 発行
- ・2022年9月30日 第59号 発行

(8) その他

- ・ 高校訪問活動, コンソーシアム新潟への参加

## 7. 研究活動

### 1) 学長

氏名：西澤 正豊

1 研究題目 地域包括ケアシステム，地域共生社会

2 著書

1. 西澤正豊. 脊髄小脳変性症 (SCD)・多系統萎縮症 (MSA), 筋萎縮性側索硬化症 (ALS), 脊髄性筋萎縮症 (SMA), 球脊髄性筋萎縮症 (SBMA). In Year Note Topics 2022-2023 内科・外科疾患, 12th ed. 東京: Medic Media; 2022: J-21-22, J23-24, J25-26.

3 論文

1. Sato T, Oda K, Sakai S, Kato R, Yamamori M, Itakura M, Kodera Y, Nishizawa M, Sasaoka T, Onodera O, Yokoyama M: Importance of the Q/N-rich segment for protein stability of endogenous mouse TDP-43. Scientific Reports 2022 doi10.1038/s41598-022-19153-0 (査読あり)

4 学会等研究発表

1. 西澤正豊. 「ウィズコロナ時代の連携教育と地域包括ケア・地域共生社会」, 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会教育講演 (新潟市, 新潟医療福祉大学), 2022.11.13.
2. 西澤正豊. 「難病医療の理念～ノーマライゼーション～」, 第10回日本難病医療ネットワーク学会学術集会特別講演 (東京都, 国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス), 2022.11.19.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経学会 (名誉会員, 専門医, 指導医), 内科学会 (名誉会員, 認定内科医, 指導医), 神経免疫学会 (名誉会員), 認知症学会 (代議員, 指導医), 神経化学学会 (功労会員), 神経感染症学会 (功労会員), 日本小脳学会 (顧問), 日本難病ネットワーク学会 (顧問), 日本難病センター研究会 (副会長), 新潟医療福祉学会 (会頭), American Academy of Neurology (Active Corresponding Member)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. NPO法人新潟難病支援ネットワーク総会記念講演, 「NPO法人新潟難病支援ネットワークと新潟県・新潟市難病相談支援センターの15年～これまでの歩みと未来に向けて～」, NPO法人新潟難病支援ネットワーク主催, NPO会員・新潟県民, 新潟市西新潟中央病院, 2022.6.18.
2. 2022年新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 「認知症は予防できるか」, 新潟医療福祉大学主催, 新潟市北区民, 新潟医療福祉大学オンライン, 2022.8.10.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会 (委員), 日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業 (プログラム・オフィサー, 課題評価委員会委員), 同産学医療連携イノベーション創出プログラム (課題評価委員), 同研究企画課FORCE (評価委員), 新潟市難病対策地域協議会 (会長), 新潟県難病医療連絡協議会 (会長)

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

NPO法人新潟難病医療ネットワーク (理事長), 日本多発性硬化症協会 (顧問), 日本脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会 (顧問)

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 医学入門2022「新潟水俣病の50年」, 2022.10.17.
2. 新潟大学医学部, 医学入門2022「自己決定権・医師幫助自死」, 2022.10.24.

8 学内委員会活動 総務会 (議長), 大学院委員会, 合同教授会, 大学院研究科委員会, 危機管理対策委員会 (委員長)

## 2) リハビリテーション学部

### (1) 理学療法学科

氏名：大西 秀明

1 研究題目 知覚学習・運動学習に関する研究

#### 2 論文

1. [Onishi H](#), Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cerebral Cortex (JCR)*. 2023, 33(5), 2001-2010.
2. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, [Onishi H](#). Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. *Journal of Clinical Neuroscience (JCR)*. 2022, 100, 59-65.
3. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, [Onishi H](#). Effect of transcranial electrical stimulation over the posterior parietal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Neuroscience (JCR)*. 2022, 494, 94-103.
4. Sasaki R, Watanabe H, [Onishi H](#). Therapeutic benefits of noninvasive somatosensory cortex stimulation on cortical plasticity and somatosensory function: A systematic review. *The European Journal of Neuroscience (JCR)*. 2022, 56(5), 4669-4698.
5. Kamii Y, Kojima S, [Onishi H](#). Transcranial direct current stimulation over the posterior parietal cortex improves visuomotor performance and proprioception in the lower extremities. *Frontiers in Human Neuroscience (JCR)*. 2022, 16, 876083.
6. Van Pham M, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, [Onishi H](#). Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Frontiers in Neuroscience (JCR)*. 2022, 16, 794173.
7. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, [Onishi H](#). Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2022, 437(114110), 114110.
8. Shibata S, Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Horinouchi T, Kirimoto H, Zhang J, Wang H, Wu J, [Onishi H](#), Mima T. Triple tSMS system ("SHIN jiba") for non-invasive deep brain stimulation: a validation study in healthy subjects. *Journal of Neuroengineering and Rehabilitation (JCR)*. 2022, 19(1), 129.
9. Kitatani R, Furukawa K, Sakaue D, Otsuru N, [Onishi H](#). Influences of different cognitive loads on central common neural drives to the ankle muscles during dual-task walking. *Neuroscience Letters (JCR)*. 2022, 804(137214), 137214.
10. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Kojima S, Qin W, Sato D, Shirayama A, Ito Y, [Onishi H](#). Perceived exertion correlates with multiple physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *Advances in Experimental Medicine and Biology (JCR)*. 2022, 1395, 423-427.
11. Shibata S, Watanabe T, Otsuru N, [Onishi H](#), Mima T. Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans. *Brain Stimulation (JCR)*. 2023, 16(2), 442-444.
12. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, [Onishi H](#). Effects of stimulus frequency, intensity, and sex on the autonomic response to transcutaneous vagus nerve stimulation. *Brain Sciences (JCR)*. 2022, 12(8), 1038.
13. Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, Kasai S, [Onishi H](#), Kodama N. Brain function effects of

autonomous sensory meridian response (ASMR) video viewing. *Front Neurosci (JCR)*. 2023, 17: 1025745.

14. 中尾真理, 大西秀明, 浅川育世, 田上未来, 出江紳一. 支援機器開発における多分野多職種連携の課題と専門医がリハビリテーション科医師に求める能力—リハビリテーション科専門医に施行したアンケート結果から—. *The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine* (協力学術団体). 59(12): 1248-1258.

### 3 学会等研究発表

1. Shibata S, Mima T, Onishi H. A brand-new transcranial static magnetic field stimulation (triple tSMS) of human motor cortex. 第45回日本神経科学大会 (沖縄), 2022.6.30-7.3.
2. Suzuki T, Nagasaka K, Otsuki T, Otsuru N, Onishi H. The effects of tonic locus coeruleus output on forepaw-evoked response of the primary somatosensory cortex in anesthetized rats. 第45回日本神経科学大会 (沖縄), 2022.6.30-7.3.
3. 芝田純也, 大西秀明, 美馬達哉. シン磁場刺激 (triple tSMS) がもたらす皮質内興奮性調節機構への影響. 第16回Motor Control研究会 (東京), 2022.8.25-8.27.
4. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 1.0Hzのラット青斑核電気刺激は一次体性感覚野の活動を増大させる. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
5. 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 刺激様式の異なる触圧覚刺激介入が触圧覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
6. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流による鎮痛効果の検討第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
7. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
8. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂皮質に対する経頭蓋電流刺激が下肢の視覚追従課題および固有受容覚に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
9. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体外側基底核の電気刺激によって誘発される後部島皮質の神経活動応答—脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした計測. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
10. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いがActive Touch介入効果に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
11. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2022.9.1-9.23.
12. 横田裕丈, 江玉陸明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
13. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果—電界シミュレーションによる検討—. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
14. 三木陽菜乃, 齊藤慧, 平賀大河, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 脳由来神経栄養因子が抹消電気刺激の刺激効果にもたらす影響—触覚方位弁別課題を用いた検証—. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
15. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 課題難易度の異なる運動練習が下肢の皮質脊髓路興奮性および抑制性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
16. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習および脳活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.



17. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 横田裕丈, 関根千恵, 大西秀明. 咬合圧バランスによる遠隔促進効果が青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
18. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核への電気刺激が一次体性感覚野の神経活動へ与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
19. 齊藤慧, 大鶴直史, 小池康太郎, 竹内皓太, 大西秀明. 背外側前頭前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
20. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な1.0Hz電気刺激は一次体性感覚野の活動を増大させる－麻酔下動物実験による検証－. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.29.
21. 芝田純也, 大鶴直史, 大西秀明, 美馬達哉. 運動関連脳電位と随意運動との因果関係－運動関連脳電位を模した経頭蓋電気刺激は随意運動を誘発できるか?－. 第52回日本臨床神経生理学会学術大会 (京都), 2022.11.24-11.26.
22. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. Neural response in the posterior insular cortex evoked by stimulation of the basolateral amygdala in central post-stroke pain model rats. 第100回日本生理学会 (京都), 2023.3.14.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 全国大学理学療法学会 (理事長), 日本基礎理学療法学会 (副理事長), 日本生体磁気学会 (評議員), 日本臨床神経生理学会 (代議員), 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県理学療法士会, 新潟スポーツ傷害フォーラム (幹事)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本理学療法士協会 (協力学術団体), 「理学療法学」査読員
  2. 日本理学療法士協会 (協力学術団体) Physical Therapy Research, 査読員
  3. 日本基礎理学療法学会 (協力学術団体). 理学療法と非侵襲的脳刺激に関する委員会・委員 (活動機関: 2022.4.1-2023.3.31)

#### 5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 令和4年度日本理学療法士教員協議会, 主催 (企画・運営, 報告書作成). Web開催. 2022.2.18 (活動期間: 2022.9-2023.3.31)

#### 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 2022年度, 科研費・基盤研究 (B), 慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略 (分担), 代表: 大鶴直史
  2. 2022年度, 科研費・基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発 (分担), 代表: 平林怜
  3. 2022年度, 科研費・基盤研究 (C), 触圧覚刺激による一次運動野興奮性変動の神経基盤の解明 (分担), 代表: 山本智章
  4. 2021年度, 科研費・基盤研究 (B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発 (分担), 代表: 佐藤大輔
  5. 2021年度, 科研費・基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開 (分担), 代表: 小島翔
  6. 2021年度, 科研費・基盤研究 (C), マイクロオンライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案 (分担), 代表: 宮口翔太
  7. 2020年度, 科研費・挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化 (代表)

8. 2020年度, 科研費・挑戦的研究(萌芽), 新しいニューロリハビリテーションを可能にするMEG対応ハプティック技術の創成(分担), 代表: 原正之
  9. 2020年度, 科研費・基盤研究(B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証(分担), 代表: 椿淳裕
  10. 2020年度, 科研費・基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発(分担), 代表: 齊藤慧
  11. 2019年度, 科研費・基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-(代表)
  12. 2020年度, 厚生労働科学研究費(障害者政策総合研究事業)「障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究」(分担), 代表: 出江紳一
- 7 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構(機構長), 将来計画機構(機構長), 自己点検・評価委員会(委員), 学部評価準備委員会(委員), 利益相反マネジメント委員会(委員), 知的財産委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員, 運営委員)

**氏名: 椿 淳裕**

- 1 研究題目 運動時の脳活動と循環反応に関する研究, 大脳皮質の微小循環の非侵襲的測定, 急性期のリスク管理
- 2 著書
  1. 椿淳裕, 身体機能の評価. 曾根博仁(編集). すべての診療科で役立つ身体運動学と運動療法. 初版. 東京: 羊土社: 2022: 61-68.
- 3 論文
  1. 関川清一, 瀬崎学, 馬屋原康高, 椿淳裕, 對東俊介, 沖侑太郎, 高橋祐介, 阿部夏音, 岩崎円, 寺澤知哲, 佐々木康介. 呼吸障害に対する理学療法アウトカム評価法の文献調査—日本版理学療法ガイドライン第2版の検証—呼吸理学療法学. 2022; 1: 33-47 (review)
  2. Shirai N, Inoue T, Ogawa M, Okamura M, Morishita S, Yamamoto S, Tsubaki A. Relationship between nutrition-related problems and accidental falls and in hemodialysis patients: A narrative review. *Nutrients*. 2022; 14: 3225 (review)
  3. Oyanagi H, Usui N, Tsubaki A, Ando S, Saitho M, Kojima S, Nakata J, Suzuki Y, Inatsu A, Hisadome H, Uehata A. An equation to predict peak heart rate for prescribing exercise intensity in middle-aged to older patients requiring hemodialysis. *European Journal of Applied Physiology*. 2022; 122(10): 2233-2241 (review)
  4. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Narita I. Dysfunction in dynamic, but not static balance is associated with risk of accidental falls in hemodialysis patients: A prospective cohort study. *BMC Nephrology*. 2022; 23: 237 (review)
  5. Kojima S, Morishita S, Hotta K, Weixiang Qin, Usui N, Tsubaki A. Temporal changes in cortical oxygenation in the motor-related area and bilateral prefrontal cortex based on exercise intensity and respiratory metabolism during incremental exercise in male subjects: a near-infrared spectroscopy study. *Frontiers in Physiology*. 2022; 13: 794473 (review)
  6. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Narita I. Dynamic and static balance functions in hemodialysis patients and non-dialysis dependent CKD patients. *Therapeutic Apheresis and Dialysis*. 2022; 27(3): 412-418 (review)
  7. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Kojima S, Weixiang Qin, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Perceived Exertion Correlates with Multiple Physiological Parameters During Cardiopulmonary Exercise Testing. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 2022; 1395: 423-427 (review)

8. Morishita S, Kasahara R, Yamamoto Y, Jinbo R, Takano A, Yasuda M, Tsubaki A, Aoki O, Jack B. Fu, Tsuji T. Differences in the Relationships Between Muscle Strength, Muscle Mass, Balance Function, and Quality of Life for Middle-Aged and Older Breast Cancer Survivors. *Integrative Cancer Therapies*. 2022; 21: 15347354221138574 (review)
9. Takeda T, Tsubaki A, Ikeda Y, Kato R, Hotta K, Inoue T, Kojima S, Kanai R, Terazaki Y, Uchida R, Makita S. The impacts of preoperative frailty on readmission after cardiac implantable electrical device implantation. *PLoS One*. 2022; 17(11): e0277115 (review)
10. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Narita I. Dysfunction in dynamic, but not static balance is associated with risk of accidental falls in hemodialysis patients: A prospective cohort study. *BMC Nephrology*. 2022; 23: 237 (review)
11. Tsubaki A, Danni Qu, Weixiang Qin, Tokunaga Y, Kojima S, Matsunashi H, Morishita S, Hotta K, Tamiya H, Inoue T, Ikegami R. Acute Hypotension Induced by Thigh Cuff Release and Cerebral Oxygenation Alternations. *SPIE proceeding*. 2023; 12375: 1237503.

#### 4 学会等研究発表

1. 武田智徳, 椿淳裕, 鈴木真弓, 水村翔, 国府田剛, 森まゆか, 金井利沙, 寺崎義貴, 池田礼史, 加藤律史, 内田龍制, 牧田茂. 心臓デバイス術後早期からの肩関節可動域練習の安全性. 第68回日本不整脈心電学会学術大会(横浜市), 2022.6.8-6.11.
2. 武田智徳, 椿淳裕, 内田龍制, 牧田茂植込型補助人工心臓装着患者の6ヵ月以内に復職を果たした患者の特徴. 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(浦添市), 2022.6.11-6.12.
3. 椿淳裕, クタンニ, 松橋日和, 秦偉翔, 徳永由太, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 高見澤怜, 一杉直樹. 両大腿部の駆血-解放によって生じる血圧低下と脳酸素化ヘモグロビンの変化. 第6回日本循環器理学療法学会学術大会(港区), 2022.9.3-9.4.
4. 白井直人, 小島将, 椿淳裕, 齊藤正和, 中田純一郎, 上畑昭美, 小林諒哉, 稲津昭仁, 久留秀樹, 太田茂之, 鈴木祐介. 血液透析患者の運動耐容能に対する2年間の長期運動療法の効果:後ろ向きコホート研究. 第6回日本循環器理学療法学会学術大会(港区), 2022.9.3-9.4.
5. 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 成田一衛. 血液透析患者と保存期慢性腎臓病患者における動的小および静的バランス機能. 第8回日本糖尿病理学療法学会学術大会(港区), 2022.9.3-9.4.
6. 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤怜, 椿淳裕. ラットの敗血症が骨格筋酸素動態と筋発揮張力に与える影響. 第77回日本体力医学会大会(宇都宮市), 2022.9.21-9.23.
7. 高見澤怜, 堀田一樹, 池上諒, 一杉直樹, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性糖尿病が骨格筋収縮・弛緩特性に与える影響. 第77回日本体力医学会大会(宇都宮市), 2022.9.21-9.23.
8. 平田萌々花, 大山由廉, 鈴木勇佑, 齋藤寛代, 小澤哲也, 佐藤隆一, 霜田直史, 井上達朗, 堀田一樹, 椿淳裕, 野寄浩司. 変形性股関節症患者における人工股関節全置換術術前の骨盤アライメントが術前の股関節機能と身体機能に及ぼす影響. 第10回日本運動器理学療法学会学術大会(Web開催), 2022.9.24-9.25.
9. 佐藤健, 堀田一樹, 橋田浩一, 神谷健太郎, 井上達郎, 池上諒, 田宮創, 椿淳裕, 窪田杏奈, 宮田裕章. スマートフォンを用いた快適歩行速度計測の精度. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪市), 2022.10.1-10.2.
10. 高見澤怜, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 一杉直樹, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性の糖尿病がラット骨格筋収縮時における酸素圧勾配と筋張力に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪市), 2022.10.1-10.2.
11. 池上諒, 中村雅俊, 堀田一樹, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. ヒトにおける運動誘発性筋損傷に対する寒冷療法および温熱療法の有用性の検討. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪市), 2022.10.1-10.2.
12. 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. 体外式膜型人工肺はラット骨格筋の弛緩速度を減少する. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪市), 2022.10.1-10.2.
13. 松橋日和, クタンニ, 秦偉翔, 堀田一樹, 井上達郎, 田宮創, 池上諒, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 繰

り返し起こる血圧低下による脳酸素化ヘモグロビンの変化. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪市), 2022.10.1-10.2.

14. 齋藤寛代, 新山祐貴, 小澤祐治, 平田萌々花, 小澤哲也, 佐藤隆一, 井上達朗, 堀田一樹, 椿淳裕, 霜田直史, 鈴木良介. 急性期脳卒中患者の麻痺側上肢の亜脱臼と筋厚の変化. 第20回日本神経理学療法学術大会(大阪市), 2022.10.15-10.16.
15. 椿淳裕. 運動時の脳計測とリハビリテーション領域での利用の可能性. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(鹿児島市), 2022.10.1-10.2.
16. 宮嶋大貴, 松橋日和, 馬場啓貴, 中田舞絢. 井上達郎, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 急性の血圧低下を繰り返すことによる平均血圧と脳の酸素化動態の変化. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(鹿児島市), 2022.10.1-10.2.
17. 今井遼太, 椿淳裕, 阿部貴文, 山口征吾. 集中治療室入室患者における離床時の脳酸素化反応とバイタルサインの経時的変化の比較～敗血症患者と心不全患者での比較～. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(鹿児島市), 2022.10.1-10.2.
18. 鷺澤玲央, 岩田健太郎, 滝本龍矢, 稲垣優太, 前川侑宏, 佐藤大地, 生田智也, 椿淳裕. 冠動脈バイパス術後患者における心肺運動負荷試験中の前頭前野での脳酸素飽和度変化の一例. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(鹿児島市), 2022.10.1-10.2.
19. 齋藤寛代, 内山祈, 小澤祐治, 新山祐貴, 平田萌々花, 小澤哲也, 佐藤隆一, 堀田一樹, 椿淳裕, 鈴木良介, 霜田直史, 井上達朗. 近赤外線分光法を用いたSTA-MCAバイパス術後離床時の過灌流評価. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会合同研究会(鹿児島市), 2022.10.1-10.2.
20. Tsubaki A, Danni Qu, Weixiang Qin, Tokunaga Y, Kojima S, Matsubashi H, Morishita S, Hotta K, Tamiya H, Inoue T, Ikegami R. Acute Hypotension Induced by Thigh Cuff Release and Cerebral Oxygenation Changes. SPIE 2023 West (San Francisco), 2023.1.27-2.2.
21. 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 成田一衛. 血液透析患者の転倒頻度は骨格筋量より筋力と身体機能が関連する. 第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(さいたま市), 2023.3.18-3.19.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(代議員), 日本心臓リハビリテーション学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 日本糖尿病学会, 日本基礎理学療法学会(評議員), 日本呼吸理学療法学会(評議員), 日本循環器理学療法学会(評議員), 日本糖尿病理学療法学会, 日本生理学会, 日本運動生理学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本臨床生理学学会, 日本心不全学会, 日本高血圧学会, 日本睡眠学会, 日本抗加齢医学会, 日本微小循環学会, 新潟医療福祉学会, The European College of Sport Science, International Society on Oxygen Transport to Tissue, International Society of Physical Medicine and Rehabilitation, International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism, European Respiratory Society, European Association for the Study of Diabetes, European Association of Preventive Cardiology, The Physiological Society, American Physiological Society, American Heart Association
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 理学療法学, 査読委員
  2. Physical Therapy Research, 査読委員
  3. Frontier in Human Neuroscience, Review board
  4. Frontier in Physiology, Review board
  5. International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor
  6. Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer
  7. 日本基礎理学療法学会, 評議員
  8. 日本循環器理学療法学会, 評議員

9. 日本呼吸理学療法学会, 評議員
  10. 医用近赤外線分光法研究会, 世話人
  11. 日本循環器理学療法学会, 機関誌編集委員会委員
  12. 日本循環器理学療法学会, 教育委員会委員
  13. 日本循環器理学療法学会誌, 査読員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 第3回領域別研修会(心血管理学療法)「循環器疾患における病期別理学療法の展開」, 循環器理学療法を取り巻く環境, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 長岡市, 2023.2.23.
  - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市健康づくり推進委員会(委員)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2020-2023年度, 基盤研究B: 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 研究代表者
    2. 2021-2023年度, 基盤研究C: 血液がん患者の免疫活性に特化した運動療法プログラムの開発と検証, 研究分担者
    3. 2022-2023年度, 株式会社ベネクス, 共同研究, 遠赤外線素材(DPV576)を含有する繊維製衣類の使用における安静時組織血流量, 血圧および体温変化に関する研究, 研究代表
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
腎臓リハビリテーション指導士(2022.10.14)
- 8 学内委員会活動 入試委員会(委員長), 研究・産官学連携推進機構, 研究・産官学連携推進部(部長), プロジェクト研究センター運営委員会(委員長), 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

**氏名: 江玉 睦明**

- 1 研究題目 機能解剖学に関する研究(機能解剖学), スポーツ傷害に関する研究(スポーツ科学)
- 2 著書
  1. 熊井司(編集), 江玉睦明(分担). 足の保存療法 理学療法士が目「理学療法士が考えるアキレス腱障害」: 文光堂; 2023年: 216-218.
  2. 江玉睦明(分担). アスレティックトレーナー専門科目テキスト4リコンディショニング「第4章リコンディショニングに必要な組織修復, 治療過程の知識」: 文光堂; 2022年: 50-57.
- 3 論文
  1. Edama M, Otsuki T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. *Sci Rep (JCR)*. 2022 May 27; 12(1): 8923. (review)
  2. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. *Int J Environ Res Public Health (JCR)*. 2022 Dec 28; 20(1): 509. (review)
  3. Uchiyama I, Edama M\*, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical study of sites and surface area of the attachment region of tibial posterior tendon attachment. *Int J Environ Res Public Health (JCR)*. 2022 Dec 8; 19(24): 16510. (review)
  4. Togashi R, Edama M\*, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between joint and ligament structures

of the subtalar joint and degeneration of the subtalar articular facet. *Int J Environ Res Public Health* (JCR). 2023 Feb 9; 20(4): 3075. (review)

5. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M\*. Menstrual cycle Changes joint laxity in females -differences between eumenorrhea and oligomenorrhea-. *Journal of Clinical Medicine*. (JCR). 2022 Jun, 11(11), 3222. (review)
6. Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M\*. Immediate effects of stabilization exercises on trunk muscle activity during jump header shooting: a pilot study. *Healthcare (Basel)* (JCR). 2022 Jul 9; 10(7): 1272. (review)
7. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. *Brain Sci* (JCR). 2022 Aug 4;12(8):1038. (review)
8. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo K. Differences in the coordination and its variability among foot joints during running in neutral foot and flatfoot. *Scand J Med Sci Sports* (JCR). 2023 Mar; 33(3): 235-245. (review)
9. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Tokunaga Y, Kubo M. Influence of sex and knee joint rotation on patellofemoral joint stress. *Acta of Bioengineering and Biomechanics* (JCR). 2022.11 [accepted]. (review)
10. Yamada Y, Hirabayashi R, Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: focusing on occlusal strength and balance. *Health Sci Rep* (JCR). 2023 Feb 4; 6(2): e1098. (review)
11. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee laxity in the menstrual cycle after anterior cruciate ligament reconstruction: a case series. *Int. J Environ Res Public Health*. 2023 Jan 27; 20(3): 2277. (review)
12. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 江玉睦明. 陸上トラック競技選手の体幹筋筋厚と筋輝度 -腰痛既往の有無による比較-. *理学療法科学 (協力学術研究団体)*. 2022 ; 37 (5) : 495-499. (査読あり)
13. 江玉睦明, 大森豪. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの課題解決型実践プログラム)」2022年度研究成果報告書.

#### 4 報告書

1. 江玉睦明. 挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発 研究成果課題, 2021-2022, 研究代表者.
2. 久保雅義, 高林知也, 須田裕紀, 江玉睦明, 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究分担者.
3. 東江由起夫, 花房昭彦, 須田裕紀, 江玉睦明, 山本紳一郎. 基盤研究C, 3Dスキャナ・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究, 2021-2022, 研究分担者.
4. 平林怜, 小島翔, 江玉睦明, 宮口翔太, 大西秀明. 基盤研究C, 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 2021-2022, 研究分担者.

#### 5 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 高林知也. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. *JOSKAS-JOSSM2022* (札幌), 2022.6.16-6.18.
2. 江玉睦明, 高林知也. 後脛骨筋腱の付着部位及び領域の検討. *JOSKAS-JOSSM2022* (札幌), 2022.6.16-6.18.
3. 江玉睦明, 高林知也. 後脛骨筋腱の付着部位及び領域の検討. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-11.4.
4. 江玉睦明. 「アキレス腱断裂を機能解剖学から見る」. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-

#### 11.4. 【シンポジウム】

5. 江玉睦明, 舍川真侑, 大矢多恵, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 高林知也, 大森豪. 月経周期における足部形状の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
6. 江玉睦明. 「臨床における理学療法士の超音波画像装置の使用について」. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. (大阪), 2022.10.1-10.2. 【シンポジウム】
7. 高林知也, 江玉睦明. 男女における膝関節回旋肢位の違いが膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. JOSKAS-JOSSM2022 (札幌), 2021.6.16-6.18.
8. 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexとランニング中の足底腱膜張力の関連性. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-11.4.
9. 河野健太, 山口智志, 木村青児, 三上行雄, 中嶋啓文, 吉本夕里子, 渡邊翔太郎, 佐粧孝久, 江玉睦明, 大鳥精司. 3DMRIを用いた, 前距腓靭帯フットプリントの定量評価. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-11.4.
10. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足者におけるランニング中の足部内キネマティクスとキネティクス. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム (静岡), 2022.8.30-9.1.
11. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes. 2022 アジア栄養士会議 (横浜), 2022.8.19-8.21.
12. 杉本柚華, 横田裕丈, 高杉梨紗, 殿広亜未, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が月経周期における自律神経活動変化に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
13. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
14. 阿部明日香, 平林怜, 岡田芳幸, 山田勇輝, 中島早紀, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 咬合強度・左右の咬合圧バランスが着地動作に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
15. 大河内偉琉, 平林怜, 中島早紀, 阿部明日香, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 反復他動運動の視覚的運動感覚錯覚による脊髄興奮性への影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
16. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 横田裕丈, 関根千恵, 大西秀明. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
17. 中島早紀, 平林怜, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 足関節底屈筋群に対する動的ストレッチングの効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
18. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 江玉睦明, 藤本知臣, 越智元太, 山代幸哉. 月経周期によって微細運動機能は変化しない. 第77回日本体力医学会大会 (栃木), 2022.9.21-9.23.
19. 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舍川真侑, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
20. 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
21. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.

幌), 2022.11.12-11.13.

22. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舍川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
23. 石垣智恒, 山中正紀, 江玉睦明, 大森豪. 健常大学野球選手における肩後方タイトネスと下肢柔軟性との関連. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
24. 舍川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
25. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. 内側広筋の出力低下が膝蓋大腿関節ストレスに与える影響—数理モデルを用いたシミュレーションによる検討—. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
26. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. ユース年代男子サッカー選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
27. 鈴木千花子, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
28. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
29. 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
30. 三瀬貴生, 松浦由生子, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 熊崎昌, 江玉睦明, 大森豪. 成長期競泳選手におけるScapular Dyskinesis保有者の特性—身体成熟度による比較—. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
31. 山本真由, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 難易度の異なるStabilization Exerciseにおける体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
32. 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 江玉睦明, 菊元孝則, 平林怜, 大森豪. 大学運動部活動を対象とした脳振盪ベースライン測定の一取り組み. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
33. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Arch height flexibilityとランニング中の足底腱膜張力の関連性. 第35回ランニング学会 (東京), 2023.3.4-3.5.
34. 山本智章, 菊池達哉, 土方啓生, 島倉剛俊, 高橋栄明, 田邊春美, 川島寛之, 奥村剛, 大森豪, 埜晴雄, 江玉睦明. 各世代におけるビタミンD充足状況の検討. 第41回 東北骨代謝・骨粗鬆症研究会 (仙台), 2023.2.1.
35. 富樫亮弥, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 鳥海拓, 影山幾男. 距骨下関節の関節・靭帯構造と距骨下関節の変性との関係. 第128回日本解剖学会全国学術集会 (仙台), 2023.3.17-3.19.

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会 (会員), 日本臨床スポーツ医学会 (会員), JOSKAS (会員), 日本足の外科学会 (会員), 日本解剖学会 (会員), 新潟スポーツ傷害フォーラム (理事), 新潟スポーツ理学療法研究会 (副代表), 足の構造と機能研究会 (会長), 体表解剖学研究会 (講師)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. [Journal of Clinical Medicine], review, jcm-1656451.
  2. [Nutrients], review, nutrients-1764180.



3. [Biomedicines], review, biomedicines-1557638.
4. [Biomedicines], review, biomolecules-1769963.
5. [Journal of Biomechanics], review, BM-D-22-00624.
6. [Anatomical science international], review, ANSI-D-22-00260.
7. [JPTA-Journal], review, Manuscript ID: Manuscript ID: 12386.
8. 新潟医療福祉学会誌, review
9. 第9回日本スポーツ理学療法学会, 一般演題, 査読, 東京, 2022.12.10-12.11.
10. 第61回日本生体医工学学会大会, 一般演題, 座長, 新潟, 2022.6.28-6.30.
11. 第9回日本スポーツ理学療法学会, シンポジウム, 座長, 東京, 2022.12.10-12.11.
12. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, シンポジウム, 座長, 大阪, 2022.10.1-10.2.

## 7 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 第12回足の病気の専門家webセミナー「扁平足って本当に悪なの?」. 司会, 医師, 理学療法士, WEB開催, 2022.4.13.
2. 副島整形外科病院・クリニック勉強会, 「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2022.4.27.
3. encounter オンラインセミナー「下腿三頭筋の肉離れ～解剖～」, 講師, WEB開催, 2022.5.13.
4. 第13回名古屋ATミーティング, 『アスレティックトレーナーに必要な足部・足関節の基礎知識』, 講師, アスレティックトレーナー・理学療法士, WEB開催, 2022.5.15.
5. 副島整形外科病院・クリニック勉強会, 「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学」, 講師, WEB開催, 2022.5.25.
6. 副島整形外科病院・クリニック勉強会, 「肘関節の可動域制限に対する機能解剖学」, 講師, WEB開催, 2022.6.29.
7. 第1回体表解剖学研究会 オンライン講演会「足関節の背屈可動域制限の追求 ～解剖学・体表解剖学の知識・技術の応用～」, 一般社団法人体表解剖学研究会, 講師, WEB開催, 2022.7.13.
8. encounter オンラインセミナー「下腿三頭筋の肉離れ～リハビリテーション～」講師 2022.7.29.
9. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー「新潟市中体連部活動指導者研修会」, 新潟スポーツ傷害フォーラム, 新潟中学校校部活動指導者, 地域スポーツ団体指導者, 新潟県健康づくり・スポーツ医学センター, 2022.7.29.
10. 「セラピストが知っておくべきシンスプリントの診方・考え方～解剖学的視点から～」, 講師, WoW Factor & Co, 理学療法士・医師, Web開催, 2022.8.29.
11. 令和4年度スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」合同キックオフシンポジウム, 講師, 立命館大学, 医師・理学療法士・監督・コーチ・選手, Web開催, 2022.8.29.
12. 一般社団法人日本スポーツ外傷障害予防協会研修会「機能解剖学から考える筋・腱障害の予防」, 講師, 理学療法士, 福島県, 2022.9.4.
13. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 シンポジウム「臨床における理学療法士の超音波画像装置の使用について」, 座長, 理学療法士, 大阪府, 2022.10.1-10.2.
14. セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学①」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2022.9.18.
15. セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学②」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2022.9.25.
16. セラピストフォーライフ研修会「肘関節の可動域制限に対する機能解剖学」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2022.10.9.
17. セラピストフォーライフ研修会「足関節の可動域制限に対する機能解剖学」, 講師, 理学療法士,

WEB開催, 2022.12.4.

18. 第3回スポーツ外傷・障害予防研究研修会, 企画・運営, 医師・理学療法士・管理栄養士・選手・コーチ, 新潟県, 2022.12.18.
  19. 第一三共株式会社主催Sports medicine web seminar基調講演「足部・足関節の解剖学～後足部の謎～」, 講師, 理学療法士・医師, WEB開催, 2022.12.20.
  20. 山梨県理学療法士会主催第75回スポーツ理学療法勉強会「足関節の機能解剖とリハビリテーションの実際」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.2.18.
  21. 日本スポーツPT学会 第1回研究推進セミナー「『足関節のスポーツ理学療法に関連した研究』」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.2.19.
  22. 第20回足の病気の専門家Webセミナー「扁平足ってホントに悪なの? part II～しつこく深ぼりしてみます!～」パネリスト, 2023.2.22.
  23. Aruck lab研修会「膝関節における急性期理学療法を考える」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.2.25.
  24. 運動器リハ部主催「第26回ナイトセミナーシリーズ企画『腱障害』第一弾「腱障害の発生メカニズムについて～解剖学的・運動力学的観点から～」」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.3.2.
  25. リハテックリンクス株式会社主催研修会「足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション」, 司会, 理学療法士, WEB開催, 2023.3.14.
  26. リハテックリンクス株式会社主催研修会「足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.3.29.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. Webサイト, PRTIME, 「【新潟医療福祉大学だから成し得た, 女性アスリートへの支援体制】アスリートサポート研究センター大森豪教授と江玉睦明教授が, 令和4年度スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」に採択!」2022.8.5.
  2. Webサイト, 新潟日報, 「女性アスリートの健康, 新潟医療福祉大学がサポート 学外でも検診実施, 提携病院に専門外来開設」2023.2.14.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 第67回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会, 東京都, メディカルサポート, 2022.11.29-12.2.
  2. 第53回春季北信越大学バレーボール選手権大会, 福井県, メディカルサポート, 2022.5.21-5.22.
  3. 第70回春季北信越大学バレーボール選手権大会, 福井県, メディカルサポート, 2022.10.29-10.30.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- (一社)日本スポーツ理学療法学会(評議員), (一社)日本スポーツ理学療法学会「情報戦略・IR委員会」(委員), (一社)日本基礎理学療法学会(評議員), (一社)日本基礎理学療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会」(委員長), (一社)日本基礎理学療法学会「人体解剖学実習検討委員会」(委員), (一社)日本基礎理学療法学会・(一社)日本スポーツ理学療法学会・(一社)日本運動器理学療法学会・(一社)日本物理療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置の使用についての合同委員会」(委員), (公社)日本理学療法士協会「運動器分野問題作成部会」(部員), (一社)体表解剖学研究会(講師), 新潟スポーツ理学療法研究会(副代表), (一社)新潟県サッカー協会(医科学委員), 新潟スポーツ傷害フォーラム(理事), 足の構造と機能研究会(会長), (一社)日本理学療法士協会連合(機関紙査読委員), 新潟リハビリテーション病院スポーツ医学総合診療センター拡大運営委員会(委員)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2022年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト(女性アスリートの課題解決型実践プログラム)」, 産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成, 研究代表者.
  2. 2022年度, 科学研究費 挑戦的研究(萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動

療法の開発, 研究代表者.

3. 2022年度, 科学研究費 基盤研究C, 3Dスキャナ・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢器具の実用化研究, 研究分担者.
4. 2022年度, 科学研究費 基盤研究C, 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究分担者.
5. 2022年度, 共同研究, 株式会社GSIクレオス, 研究代表者.

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

(一社) 日本足の外科学会最多論文賞 (受賞・2022.11.4)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター非常勤勤務 (スポーツ外来), 2022.4-2023.3.
2. 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第一講座 聴講生, 2022.4-2023.3.
3. 新潟大学医学部解剖学第一講座 客員研究員, 2022.4-2023.3.

- 9 学内委員会活動 URA推進室 (室長), 入試委員会 (委員), 研究・産官学連携推進機構 (運営委員), 大学院研究環境員 (委員), 運動機能医科学研究所 (所員), アスリートサポート研究センター (副センター長), 科研費対策委員会 (サポートディスク担当), アルビレックス新潟・アルビレックス新潟レディース・新潟リハビリテーション病院連携協定事業 (メンバー)

**氏名 : 大鶴 直史**

- 1 研究題目 痛み, 内受容感覚の脳内情報処理に関する研究

2 論文

1. Kitatani R, Furukawa K, Sakaue D, Otsuru N, Onishi H. Influences of different cognitive loads on central common neural drives to the ankle muscles during dual-task walking. *Neurosci Lett.* 2023; 804(137214): 137214. (査読有)
2. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. *Behav Brain Res.* 2023; 437(114110): 114110. (査読有)
3. Van Pham M, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Front Neurosci.* 2022; 16: 794173. (査読有)
4. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of transcranial electrical stimulation over the posterior parietal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Neuroscience.* 2022; 494: 94-103. (査読有)
5. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cereb Cortex.* 2023; 33(5): 2001-10. (査読有)
6. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. *J Clin Neurosci.* 2022; 100: 59-65. (査読有)
7. Yoshino A, Otsuru N, Doi M, Maekawa T, Sasaoka T, Yamawaki S. Interoceptive accuracy is related to the psychological mechanisms of the burning mouth syndrome: a cross-sectional study. *BMC Oral Health.* 2022; 22(1): 297. (査読有)
8. Hara M, Sugata H, Otsuru N, Takasaki M, Ishino Y, Mizuno T, Miki M, Kanayama N. Effect of a body part action on body perception of the other inactive body part. *IEEE Trans Cogn Dev Syst.* 2022; 1-1. (査読有)

9. Shibata S, Watanabe T, Otsuru N, Onishi H, Mima T. Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans. *Brain Stimul.* 2023; 16(2): 442-4. (査読有)
10. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of stimulus frequency, intensity, and sex on the autonomic response to transcutaneous vagus nerve stimulation. *Brain Sci.* 2022; 12(8): 1038. (査読有)

### 3 学会等研究発表

1. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激による脳活動と運動学習の関連性. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
2. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習および脳活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
3. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流による鎮痛効果の検討. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
4. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果－電界シミュレーションによる検討－. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
5. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. The effects of tonic locus coeruleus output on forepaw-evoked response of the primary somatosensory cortex in anesthetized rats. 第45回日本神経科学大会, 2022.6.30-7.3.
6. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 1.0Hzのラット青斑核電気刺激は一次体性感覚野の活動を増大させる. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会, 2022.9.1-9.23.
7. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核への電気刺激が一次体性感覚野の神経活動へ与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
8. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
9. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
10. 齊藤慧, 大鶴直史, 小池康太郎, 竹内皓太, 大西秀明. 背外側前頭前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
11. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法学会 (庶務), 日本運動器疼痛学会 (代議員), 日本ペインリハビリテーション学会 (代議員), 日本生体磁気学会 (理事)
- 2) 学術集会の主催
  1. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, プログラム編成委員, 2022.10.1-10.2.
  2. 日本理学療法士教員協議会, 運営, ウェビナー, 2023.2.18.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. *Frontiers in human neuroscience* 誌, review editor
  2. *Frontiers in Physiology* 誌, review editor

3. Frontiers in Pain Research 誌, review editor
  4. 日本理学療法士協会, 「理学療法学」査読委員
  5. 日本基礎理学療法学会雑誌, 査読委員
  6. 新潟医療福祉学会誌, 査読
  7. 日本運動器疼痛学会誌, 査読
  8. 第15回日本運動器疼痛学会, 演題査読
  9. 第27回ペインリハビリテーション学会, 演題査読
  10. 第37回日本生体磁気学会, 奨励賞審査
  11. Brain stimulation 誌, 査読
  12. Brain stimulation 誌, 査読
  13. Cortex 誌, 査読
  14. Experimental Neurology 誌, 査読
  15. Nature Communication 誌, 査読
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 第15回日本運動器疼痛学会, いきいきリハビリノート講習会, 講師, 日本運動器疼痛学会, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, 栃木県, 2022.11.19.
    2. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会, 運動器慢性疼痛に対するリハビリテーション医療の問題点と今後の展望, 講師, 日本リハビリテーション医学会, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, 岡山市, 2022.11.4.
    3. 第20回日本神経理学療法学会学術大会, 中枢性疼痛の脳内メカニズムとリハビリテーション, オーガナイザー, 日本神経理学療法学会, PT, 大阪市, 2022.10.15.
    4. 厚生労働省慢性疼痛体制構築モデル事業 新潟県慢性疼痛診療研修会, 痛みの多面的評価 (ICD-11を含む) を知ろう, 講師, 新潟大学, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2022.7.31.
    5. 日本物理療法合同学術大会2023, 疼痛の評価と治療, 講師, 一般社団法人 日本物理療法学会, 医療従事者, 東京都, 2023.2.18-2.19.
    6. 日本ペインクリニック学会第3回北関東・甲信越支部学術集会, 疼痛治療と多職種連携, 講師, 日本ペインクリニック学会, 医療従事者, 千葉市, 2023.2.25.
    7. 日本線維筋痛症学会第12回学術集会, 線維筋痛症に対する治療に関わるトピックス, 講師, 日本線維筋痛症学会, 医療従事者, 2022.11.12.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟地方裁判所委員会, 裁判員制度に対する議論, 委員, 新潟地方裁判所, 2023.3.3.
    2. 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業キックオフミーティング, 委員, web, 2022.5.31.
    3. 第1回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, web, 2022.7.31.
  - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員  
厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデルワーキンググループ委員
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略, 研究代表者
    2. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦, 研究代表者
    3. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (A), 内受容感覚を利用した身体感覚の自然な“脱着”, 研究分担者
    4. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), Realizing Human Brain Stimulation of Deep

Regions Based on Novel Personalized Electrical Computational Modelling, 研究分担者

5. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (開拓), 運動感覚変化による着身体・脱身体現象の誘発とリハビリ応用, 研究分担者
6. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 慢性疼痛に対する簡易型オンライン集団CBTの開発ならびに治療同盟に関する検証, 研究分担者
7. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 情動触に影響する生理・神経科学的個人差の検討, 研究分担者
8. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 脳内ネットワークモジュールの相互作用を標的とした新たな神経リハビリテーション戦略, 研究分担者
9. 2021年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 内受容感覚のリアルタイムフィードバックによる新たな運動学習システムの開発, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

新潟大学医歯学総合病院非常勤理学療法士

- 7 学内委員会活動 科研費対策委員会 (委員長), 利益相反マネジメント委員会, 知的財産委員会, 運動機能医科学研究所 (副所長), 次世代デジタルリハビリテーション研究センター (センター長)

**氏名 : 久保 雅義**

1 研究題目 身体運動解析

2 論文

1. Ishiyama H, Takabayashi T, Hiratsuka S, Ito W, Kikumoto T, Kubo M. Effect of arch height flexibility in individuals with flatfoot on abductor hallucis muscle activity and medial longitudinal arch angle during short foot exercises. *Journal of foot ankle surgery*2023621168-172 (査読あり)
2. Kikuchi Y, Ito Wataru, Takabayashi T, Kikumoto T, Watanabe T, Kubo M. Relationship between hip and foot kinematics with the center of pressure during crossover cuttingJapanese Journal of Biomechanics in Sports and Exercise20232708-Jan (査読あり)
3. Watanabe T, Takabayashi T, Watabe T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Kubo M. Coper has altered foot joint coordination pattern compared to individuals with chronic ankle instability during runningGait & Posture2022OCT98173-179 (査読あり)
4. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Watanabe T, Kubo M. "Copers exhibit altered ankle and trunk kinematics compared to the individuals with chronic ankle instability during single-leg landing" Sports Biomech2022APR1613-Jan (査読あり)
5. Ma Roxanne Fernandez a b, Josie Athens c, Carlos Balsalobre-Fernandez d, Kubo M e, Kim Hébert-Losier a Concurrent validity and reliability of a mobile iOS application used to assess calf raise test kinematicsMusculoskeletal Science and Practice2023FEB63 (査読あり)
6. Jeong Ah Kim, Sungwoo Park, Linda Fetters, Sandrah P. Eckel, Kubo M, and Barbara Sargent Infants Born Preterm Demonstrate Reduced Task-Specific Exploration During the Scaffolded Kick-Activated Mobile Task, *Journal of Motor Learning and Development*Journal of Motor Learning and Development2022NOV11429-448 (査読あり)

3 学会等研究発表

1. B. Sargent, K. Havens, M. Kubo, T. Wu Developmental trajectory of selective leg joint control of infants at high risk of cerebral palsy. APTA-CSM (San Antonio, Texas USA), 2022.2.2-2.5.
2. N. Almoadi, K Havens, M Kubo, T Wu, B Sargent. Supported treadmill stepping motivates selective motor control of infants at high risk of cerebral palsy. APTA-CSM (San Antonio, Texas USA), 2022.2.2-2.5.

4 学会活動

- 1) 所属学会 バイオメカニズム学会, 日本臨床スポーツ医学会, グローバル人材育成教育学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Physical Therapy in Sports 査読
  2. Gait & Posture 査読
  3. Journal of Biomechanics 査読

**氏名：古西 勇**

- 1 研究題目 地域在住の中高齢者の健康増進に関する研究, 低中所得国の地域における障害のある人たちへのリハビリテーション支援に関する研究
- 2 論文
  1. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化 腰痛の有無での比較. Journal of Spine Research (協力学術研究団体). 2022; 13 (6) : 860-867. (査読あり)
  2. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. The intramuscular circulation is affected by neck and shoulder pain. In: Advances in Experimental Medicine and Biology, 1395. London: Springer Nature, 2022: 399-403. (review)
  3. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular Circulation of the Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions on Standing. In: Advances in Experimental Medicine and Biology, 1395. London: Springer Nature, 2022: 405-409. (review)
- 3 学会等研究発表
  1. 神田賢, 高野晃輔, 石上和夫, 古西勇, 木下直彦, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 内山渉, 佐藤成登志. 通いの場に参加する女性高齢者の身体的特徴および身体機能の比較および関連性 異なる年齢層による特徴に着目して. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.
  2. 神田賢, 須田裕紀, 前田雄, 北村拓也, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.
  3. 古西勇. 指定規則の改定に向けて. 2022年度日本理学療法士教員協議会 (新潟市), 2023.2.18. 【ワークショップ】
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 全国大学理学療法教育学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本国際保健医療学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 2022年度日本理学療法士教員協議会, 事務局, 新潟市オンライン開催, 2023.2.18.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 新潟医療福祉学会誌 (和文誌), 査読.
- 5 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 新潟県理学療法士会, 令和4年度新潟県臨床実習指導者講習会, 演習ファシリテーター, 新潟市オンライン開催, 2022.5.7-5.8.
    2. 新潟県理学療法士会, 令和4年度新潟県臨床実習指導者講習会, 講師・演習ファシリテーター, 新潟医療福祉大学, 2022.9.17-9.18.
    3. 公益社団法人日本理学療法士協会, 指定規則等検証部会会議教育関連団体意見交換会, 有識者として出席, オンライン開催, 2022.10.4.
    4. 全国リハビリテーション学校協会, 第2回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会, 講師, 東京都オンライン開催, 2023.1.11.

- 6 学内委員会活動 教務委員会（委員長），自己点検・評価委員会（委員長），危機管理対策委員会，ロコモ予防研究センター

**氏名：佐藤 成登志**

- 1 研究題目 腰痛・肩こりの理学療法に関する研究，ロコモ・フレイル予防に関する研究，慢性腰痛および脊柱変形のある対象者に対する研究，痛み・しびれ・麻痺に対する徒手治療の研究，通いの場の現状および介入プログラムに関する研究，職業性腰痛に関する研究
- 2 論文
  1. 北村拓也，神田賢，佐藤成登志，脊柱後弯変形を有する慢性腰痛患者の労作性腰痛の病態. *Medical Science Digest*. 48(5), 157-159, 2022（査読あり）
  2. 北村拓也，神田賢，佐藤成登志，山本智章，渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法を中心とした理学療法効果と改善が期待できる患者特性. *Journal of Spine Research*. vol13(6), 881-889, 2022（査読あり）
  3. 神田賢，北村拓也，古西勇，鈴木祐介，渡辺慶，佐藤成登志，直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. *Journal of Spine Research*. 2022；13：860-867（査読あり）
  4. Naritoshi S, Masaru K, Kosuke T, Isamu K, et al. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese) Classifying into Different Age Groups. *Journal of Community Medicine & Public Health*. vol6(3), 1-7, 2022（review）
  5. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. The Intramuscular Circulation Is Affected by Neck and Shoulder Pain. *Oxygen Transport to Tissue XLIII*: 399-403, 2022（review）
  6. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular Circulation of the Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions on Standing. *Oxygen Transport to Tissue XLIII*: 405-9, 2022（review）
- 3 報告書
  1. 神田賢，佐藤成登志，北村拓也. 基盤研究（C），骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，研究成果報告書，2019-2022，研究分担者
  2. 佐藤成登志，神田賢，北村拓也. 基盤研究（C），看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証，研究成果報告書，2020-2022，研究代表者
  3. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，小林量作，稲葉洋美，岩森大，永井徹，澁谷顕一，田村典子，増田紘之，海和美咲，能村友紀，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書，2022，研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 神田賢，古西勇，佐藤成登志，他. 通いの場に参加する女性高齢者の身体的特徴および身体機能の関連および比較－異なる年齢層による特徴に着目して－. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン）（新潟），2022.10.29.
  2. 神田賢，北村拓也，古西勇，佐藤成登志，他. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会（栃木），2022.11.19.
  3. 神田賢，北村拓也，古西勇，佐藤成登志，他. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－第30回日本腰痛学会（岩手），2022.10.21.
  4. 佐藤成登志，神田賢，古西勇，他. 介護予防における大学との連携事業～新潟版介護予防支援プラットフォーム～. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟），2022.12.10-12.11.
  5. 神田賢，古西勇，佐藤成登志，他. 地域在住高齢者の身体的特徴および身体機能の比較－通いの場の女性参加者に着目して－. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟），2022.12.10-12.11.



6. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on standing-Comparison between subjects with and without LBP-8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
7. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Yamamoto N, Watanabe K. Effect of Exercise Therapy with Education for Elderly Patients with Adult Spinal Deformity -Pain and numbness improve. 8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
8. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 重度成人脊柱変形患者における自覚症状別の運動療法効果-教育・管理から自己ケアへ-. 第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
9. 北村拓也, 金子巧, 若菜翔哉, 湊屋卓望, 神田賢, 佐藤成登志. 6分間歩行テストにおけるコース長の違い-30mと10m比較-. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学会 (新潟), 2022.12.11.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士学会, 新潟県理学療法士学会 (理事・会長), 日本腰痛学会, 日本運動器疼痛学会, 理学療法科学学会, 日本MTA学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本介護予防・健康づくり学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 新潟県リハビリテーション専門職協議会, 第2回新潟県リハビリテーション専門職学会大会, 準備委員 (PT士会代表), 新潟, 2022.12.10-12.11.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 新潟医療福祉学会誌査読委員 (英文雑誌)

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学会大会, シンポジウム: 地域共生社会実現に向けた新潟県のリハビリテーション~高齢者の介護予防活動を通して~, シンポジスト, 新潟県リハビリテーション専門職協議会, 協議会会員, 新潟市, 2022.12.10-12.11.
2. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2022.9.17-9.18.
3. とよさか中高年教養大学 (健康長寿学), 腰痛と上手く付き合う方法, 講師, 葛塚コミュニティー協議会, 北区住民, 新潟市北区, 2022.5.8.
4. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 新発田労働基準協会, 新発田労働基準協会の企業, 新発田市, 2022.6.17.
5. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための腰痛の方法と実践, 講師, BSNアイネット, 社員, 新潟市, 2022.7.22.
6. 三重県理学療法士会研修会, 職業性腰痛の特徴と教育・管理, 講師, 三重県理学療法士会, 理学療法士, Web, 2022.7.31.
7. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 黒崎白土工業, 社員, 新発田市, 2022.8.30.
8. 介護予防講演会, 膝痛の予防, 講師, 新発田市, 住民, 新発田市, 2022.9.13.
9. 腰痛予防のセルフマネジメント講座, 講師, 日本曹達株式会社, 社員, 上越市, 2022.10.24.
10. 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 十日町シルバー人材センター, 会員, 十日町市, 2022.11.2.
11. 肩・腰・膝の痛み予防・改善研修会, 講師, 五泉市, 住民, 十日町市総合会館, 2022.11.13.
12. 柏崎シルバー人材センターセミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, 柏崎シルバー人材センター, 会員, 柏崎ワークプラザ, 2022.11.15.
13. 新潟整形外科研究会, 腰曲がりの慢性腰痛に対する運動療法, 講師, 新潟県整形外科医師会, 会員, Web, 2022.11.20.
14. 三条地域振興局セミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, 三和運輸, 社員,

燕市中央公民館, 2022.11.19.

15. 豪雨災害支援：不活発病予防, 講師, 村上市, 住民, 荒川公民館, 2022.11.25.
16. 非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2022.12.3-12.4.
17. スポーツ指導者講習会, 非特異的腰痛について, 講師, 新潟市開発公社スポーツプロモーション課, スポーツ指導者, 新潟市, 2022.12.16.
18. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, Web, 2022.12.17-12.18.
19. 安全管理研修会, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 長岡労働基準協会, 長岡市, 2023.1.12.
20. たんぽぽの会（変形性股関節症）講演会, いつまでも元気で過ごせる予防法～転倒・関節痛予防～, 講師, たんぽぽの会, 新発田市, 2023.3.19.
21. 高齢者労働支援講習会, 職業性腰痛について, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2023.3.25.
22. 三重県介護予防従事者確保事業, 高齢者の就労・社会参加に向けた安全と体力づくり支援－職業性腰痛について－, 講師, 三重県理学療法士会, リハビリ関係者, Web, 2023.2.19.

## 2) 社会活動への参加協力

1. (公社) 日本理学療法士協会・組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2022.4-2023.3. (3回)
2. (公社) 日本理学療法士協会・士会支援事業, 協会選出, web, 2022.4-2023.3. (6回)
3. (公社) 日本理学療法士協会・懲戒委員会, 協会選出, Web, 2022.4-2023.3. (2回)
4. (公社) 新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2022.6.19.
5. (公社) 新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (6回)
6. (公社) 新潟県理学療法士会・関連会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (22回)
7. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 準備委員 (PT士会代表), 新潟・朱鷺メッセ, 2022.12.10-12.11.
8. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2022.4-2023.3. (2回)
9. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (8回)
10. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (6回)

## 3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新潟県高齢者保健福祉推進協議会（委員）, 新潟市北区自治協議会（委員）

## 4) 職能団体（協会、士会等）の委員

(公社) 日本理学療法士協会（士会支援委員）, (公社) 日本理学療法士協会（懲戒委員）, (公社) 新潟県理学療法士会（会長・理事）, 新潟県リハビリテーション専門職協議会（副会長）, 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（会長）, 日本マイチューニングアプローチ学会（理事・北陸支部長）

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度（継続）, 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究分担者
2. 2022年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究代表者
3. 2020年度（継続）, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究代表者

### 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本理学療法士会協会賞（2022.6）, 新潟県知事賞（記念受賞）（2022.6）

- 8 学内委員会活動 ロコモティブ症候群予防研究センター（センター長）, 社会連携推進センター（センター長）, 社会連携推進センター運営委員会（委員長）

**氏名：芝田 純也**

1 研究題目 非侵襲的脳刺激, 経頭蓋静磁場刺激, 経頭蓋磁気刺激, 経頭蓋電気刺激, 脳可塑性, 脳卒中リハビリテーション

2 論文

1. 【総説・解説】芝田純也. 経頭蓋静磁場刺激による脳機能調節. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (リハビリテーション医学). 2022; 59(5): 478-483. 査読なし
2. Yamao Y, Sawamoto N, Kunieda T, Inano R, Shibata S, Kikuchi T, Arakawa Y, Yoshida K, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Fukuyama H, Miyamoto S. Changes in distributed motor network connectivity correlates with functional outcome after surgical resection of brain tumors. Neurosurgery open. 2022; 4(1). 査読あり
3. 【総説・解説】美馬達哉, 小金丸聡子, 芝田純也, 佐藤岳史. N-of-1 研究をどう行うか. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (リハビリテーション医学). 2022; 59(11): 1111-1117. 査読なし
4. Shibata S, Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Horinouchi T, Kirimoto H, Jianxu Zhang, Hen Wang, Jinglong Wu, Onishi H, Mima T. Triple tSMS system (“SHIN jiba”) for non-invasive deep brain stimulation: a validation study in healthy subjects. Journal of NeuroEngineering and Rehabilitation. 2022; 19(129). 査読あり
5. Shibata S, Watanabe T, Otsuru N, Onishi H, Mima T. Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans. Brain Stimulation. 2022; 16(2). 査読あり

3 学会等研究発表

1. 芝田純也, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激 (tSMS, transcranial static magnetic field stimulation) の基礎とその可能性. 第61回日本生体医工学会大会 (新潟), 2022.6.28-6.30, 【招待講演】
2. Shibata S, Mima T, Onishi H. A brand-new transcranial static magnetic field stimulation (triple tSMS) of human motor cortex. 第45回日本神経科学大会 (オンライン), 2022.6.30-7.30.
3. 芝田純也, 大西秀明, 美馬達哉. シン磁場刺激 (triple tSMS) がもたらす皮質内興奮性調節機構への影響. 第16回Motor Control 研究会 (東京), 2022.8.25-8.27.
4. 芝田純也, 大鶴直史, 大西秀明, 美馬達哉. 運動関連脳電位と随意運動との因果関係 - 運動関連脳電位を模した経頭蓋電気刺激は随意運動を誘発できるか? -. 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会 (京都), 2022.11.24-11.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本脳神経外科学会, 日本脳神経外科コンgres, 日本脳卒中学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本神経科学学会, 日本基礎理学療法学会, 日本脳神経血管内治療学会, Motor Control 研究会, 日本リハビリテーション医学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員  
京都大学臨床研究審査委員会技術専門員, 岡山大学博士課程学生外部審査委員

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 2021年度, 若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 研究代表者
  2. 2022年度, 基盤B, 静磁場刺激を在宅ニューロリハに応用するために必要な基礎データの構築, 分担研究者

7 学内委員会活動 倫理審査委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所員), 次世代デジタルリハビリテーション研究センター (副センター長)

**氏名：相馬 俊雄**

1 研究題目 身体運動およびバランス機能に関するバイオメカニクス研究, 中枢神経疾患の下肢装具歩行に関する研究

2 論文

1. 相馬俊雄. :歩行補助具の機能と効果. Precision Medicine. 2022;5 (7), 60 (648) -64 (652). (総説)
2. 相馬俊雄. :脳卒中片麻痺者に対する歩行能力向上のための下肢装具. Precision Medicine. 2022;5 (7), 83 (671) -85 (673). (総説)
3. 相馬俊雄. :脳卒中片麻痺者の歩行能力改善のための体幹ベルト付下肢装具. Precision Medicine. 2022;5 (9), 67 (843) -69 (845). (総説)
4. 相馬俊雄. :歩行補助具の種類の違いが立位・歩行時の身体に与える効果. Precision Medicine. 2022;5 (9), 74 (850) -78 (854). (総説)
5. 相馬俊雄. :歩行能力向上のための杖の機能と効果. BIO Clinica. 2022;37 (11), 46 (1024) -50 (1028). (総説)
6. 相馬俊雄. :身体機能向上のための効果的なトレーニング. Precision Medicine. 2022;5 (11), 81 (1057) -85 (1061). (総説)
7. 相馬俊雄. :リハビリテーションおよび介護分野における支援ロボットの進歩. Precision Medicine. 2022;5 (12), 50 (1128) -54 (1132). (総説)
8. 相馬俊雄. :歩行補助具が歩行および立位バランスに与える効果. Precision Medicine. 2022;5 (12), 64 (1142) -68 (1146). (総説)
9. 相馬俊雄. :障害予防のための身体機能トレーニング. Precision Medicine. 2022;5 (12), 77 (1155) -81 (1159). (総説)
10. 相馬俊雄. :リハビリテーションにおける支援ロボットの展開. BIO Clinica. 2022;37 (13), 53 (1213) -57 (1217). (総説)
11. 相馬俊雄. :支援ロボットがリハビリテーションにもたらす効果. BIO Clinica. 2022;37 (14), 72 (1332) -76 (1336). (総説)
12. 相馬俊雄. :支援ロボットの今後の期待. Precision Medicine. 2023;6 (1), 72 (72) -76 (76). (総説)

3 学会活動

1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本運動器理学療法学会, 日本神経理学療法学会, 日本支援工学理学療法学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本義肢装具学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本生体磁気学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本リハビリテーション工学会, 日本運動療法学会, 臨床歩行分析研究会, 日本肘関節研究会, 新潟県理学療法士会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本基礎理学療法学会, 基礎理学療法学会誌, 論文査読委員
2. 日本生理人類学会誌 (英文誌・邦文誌), 論文査読委員
3. 日本リハビリテーション工学雑誌, 論文査読委員
4. 第10回日本運動器理学療法学会学術大会, 演題査読委員
5. 第12回日本支援工学理学療法学会, 演題査読委員
6. 新潟県理学療法士会, 理学療法新潟, 論文査読委員
7. 新潟医療福祉学会誌 (英文誌・邦文誌), 論文査読委員

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 鳥見町自治会神事 (鳥見町自治会, 神事・意見交換会, 社会連携, 鳥見町自治会館, 8.21)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中片麻痺者における歩行支援ロボットの立脚支持と遊脚制動

機構の解明, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校, リハビリテーション医学, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 国際メディカル専門学校, 運動学, 2022.4.1-2023.3.31.

6 学内委員会活動 学生部長, 学生委員会 (委員長), 学生支援推進部 (部長), 教育・学生支援機構, 懲戒諮問委員会 (委員長), 国家試験・資格試験対策委員会, 開学20周年事業 (20周年誌部会長), 運動機能医科学研究所

**氏名 : 田口 徹**

1 研究題目 遅発性筋痛の神経・分子機構解明, 線維筋痛症の病態機構解明, 筋・筋膜性疼痛の病態機構解明, 不活動性疼痛の病態機構解明, 触覚の神経生理学的研究, 痛みと免疫に関する研究, 筋痛・筋損傷に対する理学療法効果の実証, 気圧変動による慢性痛増悪機構

2 論文

1. Ejiri Y, Uta D, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Nociceptive chemical hypersensitivity in the spinal cord of a rat reserpine-induced fibromyalgia model. *Neuroscience Research (JCR)*. 2022; 181: 87-94. (査読あり)
2. Hanada K, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Pressure pain threshold map of thoracolumbar paraspinal muscles after lengthening contractions in young male asymptomatic volunteers. *Scientific Reports (JCR)*. 2022; 12: 15825. (査読あり)
3. 宮原謙一郎, 若月康次, 坪島功幸, 太田大樹, 片野坂公明, 水村和枝, 西条寿夫, 田口徹. レセルピン投与による線維筋痛症モデルラットにおける骨格筋の組織学的変化. *理学療法学 (協力学術研究団体)*. 2022; 49 (4): 306-312. (査読あり)
4. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットでは侵害刺激に対する脊髄後角表層ニューロンの興奮性が増大する. *基礎理学療法学 (協力学術研究団体)*. 2022; 25 (1): 35-42. (査読あり)
5. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋におけるTACAN発現変化の部位差. *Pain Research (協力学術研究団体)*. 2022; 37 (3): 153-156. (招待記事) (査読あり)
6. 田口徹. 筋・筋膜性疼痛の特徴とメカニズム. *ペインクリニック (協力学術研究団体)*. 2022; 43 (5): 505-513. (総説, 招待記事) (査読あり)
7. 田口徹, 太田大樹, 水村和枝. 遅発性筋痛の機構をめぐる最新知見. 特集:「疼痛基礎科学アップデート」*日本運動器疼痛学会誌 (協力学術研究団体)*. 2022; 14 (3): 194-202. (総説, 招待記事) (査読あり)
8. 田口徹. ストレス誘発性疼痛の末梢神経・脊髄機構. 特集「痛覚変調性疼痛」*ペインクリニック (協力学術研究団体)*. 2022; 43 (12): 1319-1327. (総説, 招待記事) (査読あり)
9. 田口徹. ファイザー製薬グラント報告書. 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 2019-2023, 研究代表者 (査読なし)

3 報告書

1. 田口徹. 基盤研究 (B), ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証, 研究成果報告書, 2022-2024 研究代表者
2. 田口徹. 挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究成果報告書, 2022-2024, 研究分担者
3. 田口徹. 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者
4. 田口徹. AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開 (事後評価報告書), 2016-2021, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. Inoue S, Kainuma R, Ota H, Taguchi T. Nociceptive hypersensitivity in the formalin pain test in rats exposed to persistent stress. 45th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Okinawa), 2022.6.30-7.3.
2. Ota H, Oi R, Katanosaka K, Taguchi T. Expression of Tmem120a and Tmem120b mRNA in rat skeletal muscle after exercise and inflammation. 45th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Okinawa), 2022.6.30-7.3.
3. 太田大樹, 坪島功幸, 片野坂公明, 金川基, 田口徹. 運動の繰り返し効果における糖鎖ヒアルロン酸の役割. 第8回日本筋学会 (東京), 2022.8.5-8.6.
4. 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 伸張性収縮後の筋力低下に対する細胞外マトリクス糖鎖の予防効果. 第77回日本体力医学会 (宇都宮), 2022.9.21-9.23.
5. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋・筋膜におけるTACAN mRNAの発現変化. 第77回日本体力医学会 (宇都宮), 2022.9.21-9.23.
6. 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. ラット足関節背屈筋群の収縮力発生における下腿筋膜の役割. 第77回日本体力医学会 (宇都宮), 2022.9.21-9.23.
7. 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 胸腰部への伸張性収縮負荷による筋圧痛閾値ヒートマップの作製. 第27回日本基礎理学療法学会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
8. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および末梢神経におけるTmem120A, Bの発現定量. 第27回日本基礎理学療法学会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
9. 田口徹, 太田大樹. 遅発性筋痛の発症予防における細胞外マトリクス糖鎖の役割: 筋侵害受容体の単一神経記録による電気生理学的解析. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
10. 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 細胞外マトリクス糖鎖の筋内投与による遅発性筋痛の軽減効果. 第22回新潟医療福祉学会 (2022.10.29, 新潟) (オンデマンド, 日本語)
11. 田口徹, 貝沼利矩, 太田大樹. 繰り返し寒冷ストレスモデルラットにおける脊髄後角ニューロンの興奮性増大. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
12. 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧変化にともなうヒトの自覚的感覚強度. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
13. 山本陸央, 田口徹. 異なる筋長による伸張性収縮は腰背部の遅発性筋痛の発症強度に影響するか? 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
14. 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. 細胞外マトリクス糖鎖による運動後の筋力低下の発症予防効果. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
15. 笹木来亜, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧刺激にともなう心拍数の変化. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
16. 太田大樹, 大井理人, 田口徹. 炎症性および非炎症性筋痛モデルラットの筋においてTACANの発現は増大する. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
17. 太田大樹, 田口徹. カラゲニン誘発性筋炎モデルの筋におけるTmem120Bの発現増大. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
18. 太田大樹, 田口徹. 伸張性収縮による細胞外マトリクス糖鎖の増大: 免疫組織化学による定量化. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
19. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける神経成長因子の発現増大に対する細胞外マトリクス糖鎖の効果検証. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
20. 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 水村和枝, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角ニューロンの機械的刺激に対する反応の増強. 第96回日本薬理学会年会 (横浜), 2022.11.30-12.3.
21. 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 糖鎖ヒアルロン酸による遅発性筋痛の発症予防効果. 第44回日本疼痛学会 (岐阜), 2022.12.2-12.3.
22. 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 伸張性収縮負荷による実験的ヒト腰痛モデルの作製. 第44回日本疼痛学

- 会 (岐阜), 2022.12.2-12.3.
23. 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける糖鎖ヒアルロン酸による筋痛予防効果. 生理学研究所痛み研究会2022「痛みの統合的理解とその制御に向けて」(岡崎), 2023.1.19-1.20.
  24. Taguchi T, Kainuma R, Ota H. Increased pain-related behaviors and neuronal activation of the spinal dorsal horn in a rat repeated cold stress-induced pain model. 第100回日本生理学会 (京都), 2023.3.14-3.16.
  25. Ota H, Tsuboshima K, Taguchi T. Preventive effects of hyaluronic acid upregulated in the muscle after exercise on the development of delayed onset muscle soreness. 第100回日本生理学会 (京都), 2023.3.14-3.16.
  26. Taguchi T, Katanosaka Y, Ota H, Katanosaka K. TRPV2-deficient mice exhibit decreased mechanical sensitivity of nociceptors in the skin. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology (Tokyo), 2023.3.22-3.23.
  27. Ota H, Tsuboshima K, Yokota I, Okada K, Hanamatsu H, Furukawa JI, Kanagawa M, Taguchi T. Intramuscular injection of hyaluronic acid prevents the development of muscle pain after exercise. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology (Tokyo), 2023.3.22-3.23.
  28. 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 松田康佑, 澤幡雅仁, 久米利明, 水村和枝, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角表層細胞の機械感受性増大. 日本薬学会第143年会 (札幌), 2023.3.25-3.28.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本生理学会 (評議員), 日本疼痛学会 (代議員), 日本基礎理学療法学会 (評議員), 日本神経科学学会 (会員), 日本線維筋痛症学会 (会員), 日本筋学会 (会員), 日本体力医学会 (会員), 若手による骨格筋細胞研究会 (会員), 日本理学療法士協会 (会員), 新潟県理学療法士会 (会員), 日本運動器疼痛学会 (会員), 国際疼痛学会 (会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Journal of Pain Research (ID: 366378), 査読, 2022.4.2.
  2. Applied Sciences (appls-ci-1675503), 査読, 2022.4.3.
  3. Current Rheumatology Reviews (BMS-CRR-2021-103), 査読, 2022.4.6.
  4. Scientific Reports (5fb147f4-cf2c-4197-aa84-7ec51f657971), 査読, 2022.4.15.
  5. Current Alzheimer Research (BMS-CAR-2021-113), 査読, 2022.4.24.
  6. International Journal of Molecular Sciences (ijms-1721440), 査読, 2022.5.3.
  7. Recent Advances in Inflammation & Allergy Drug Discovery (BMS-RAIAD-2022-14), 査読, 2022.5.9.
  8. Current Stem Cell Research & Therapy (CSCRT-MS), 査読, 2022.5.20.
  9. International Journal of Environmental Research and Public Health (ijerph-1775719), 査読, 2022.6.2.
  10. Frontiers in Bioengineering and Biotechnology (ID: 926675), 査読, 2022.6.3.
  11. Frontiers in Pharmacology (ID: 950314), 査読, 2022.6.17.
  12. Biomedicines (biomedicines-1771309), 査読, 2022.6.20.
  13. The Open Pain Journal (BMS-TOPAINJ-2022-3), 査読, 2022.6.28.
  14. Frontiers in Pain Research (ID: 979038), 査読, 2022.7.6.
  15. Current Diabetes Reviews (BMS-CDR-2022-39), 査読, 2022.7.15.
  16. Cells (ID: 1863192), 査読, 2022.8.3.
  17. New Emirates Medical Journal (BMS-NEMJ-2022-57), 査読, 2022.8.3.
  18. Frontiers in Bioscience-Scholar (ID: FBS14807), 査読, 2022.8.5.
  19. Animals (ID: 1875699), 査読, 2022.8.10.
  20. The Open Dentistry Journal (BMS-TODENTJ-2022-65), 査読, 2022.8.21.

21. Current Pharmaceutical Biotechnology (BMS-CPB-2022-77), 査読, 2022.9.5.
22. Journal of Clinical Medicine (jcm-1943776), 査読, 2022.9.20.
23. Reviews on Recent Clinical Trials (n.a.), 査読, 2022.9.30.
24. Current Pharmaceutical Design (BMS-CPD-2022-HT213-4330-2), 査読, 2022.10.17.
25. Journal of Novel Physiotherapy and Rehabilitation (JNPR0054), 査読, 2022.10.22.
26. Life (life-1888517), 査読, 2022.10.31.
27. CNS & Neurological Disorders-Drug Targets (BMS-CNSNDDT-2022-200), 査読, 2022.11.1.
28. Open Journal of Pain Medicine (OJPM-22-RA-133), 査読, 2022.11.11.
29. European Jopurnal of Pharmacology (EJP-63400), 査読, 2022.11.25.
30. The Korean Journal of Pain (KJP-22-402), 査読, 2022.12.9.
31. Bioengineering (bioengineering-2036492), 査読, 2022.12.14.
32. Pain Reports (PAINREPORTS-D-22-0147), 査読, 2022.12.15.
33. Journal of Rehabilitation Therapy (JRT-22-1132), 査読, 2023.1.8.
34. Medical Science Monitor (ID: 939398), 査読, 2023.1.11.
35. Current Drug Therapy (BMS-CDTH-2022-100), 査読, 2023.2.8.
36. Annals of Translational Medicine (ATM-22-6363-CL), 査読, 2023.2.23.
37. European Jopurnal of Pharmacology (EJP-64517), 査読, 2023.3.14.
38. Frontiers in Pain Research (ID: 1177544), 査読, 2023.3.14.
39. Pharmaceutics (pharmaceutics-2273904), 査読, 2023.3.23.
40. 日本基礎理学療法学会, 第27回学術大会, 座長, 2022.10.1.
41. 日本基礎理学療法学会, 第27回学術大会, 査読委員, 2022.
42. Frontiers in Pain Research, Review Editor, 2022.6.4-2023.3.31.

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 2022年度とよさか中高年教養大学・健康長寿学講座, 「ガマンは禁物?! 知っておきたいカラダの痛みとココロの痛み」, 講演者, 新潟医療福祉大学社会連携推進センター運営委員会, 新潟市北区住民(36名), 新潟市北区葛塚コミュニティセンター, 2023.2.9.

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022, 基盤研究(B), ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証, 研究代表者
2. 2022, 小林製薬との共同研究費, 電気生理学的手法を用いた筋痙攣モデルの作製と漢方薬の評価, 研究代表者
3. 2019, ファイザー製薬グラント, 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 研究代表者
4. 2022, 挑戦的研究(萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究分担者
5. 2020, 基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者

### 2) 学外兼務講師等

1. 小林製薬株式会社, 研究コンサルティング, 2023.1.1-3.31.

## 8 学内委員会活動 遺伝子組換え実験安全委員会(委員長), 毒劇物管理委員会(委員長), 動物実験委員会(委員), 運動機能医科学研究所(メンバー)

## 氏名: 奈良 貴史

### 1 研究題目 人類進化学 骨考古学



## 2 論文

1. Nara T. The negative legacy of human evolution, Niigata Journal of Health and Welfare, 2023.
2. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史, 「出土焼骨分析／植栗山根A遺跡から出土した縄文時代の動物骨」『植栗山根A遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023: 153-160.
3. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史, 「本郷満行原遺跡から出土した骨の人類学的報告」『本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・本郷大カサ遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷萱原遺跡・本郷鳴上遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023: 840-841.
4. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史, 「本郷鶴楽遺跡出土人骨分析」『本郷鶴楽遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023: 796-797.
5. 佐伯史子, 奈良貴史, 「1号中世墓出土人骨の人類学的研究」『明神下遺跡発掘調査報告書』「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター」2023: 132-133.
6. 奈良貴史, 萩原康雄, 佐伯史子, 「長谷堂貝塚群出土人骨の人類学的検討」『岩手県大船渡市長谷堂貝塚群中貝塚平成30・令和元年度緊急発掘調査報告書』「大船渡市教育委員会」2023: 82-84, 166.
7. 佐伯史子, 平慶子, 辰巳晃司, 波田野悠夏, 鈴木敏彦, 奈良貴史, 「西原大塚遺跡出土人骨の人類学的研究」『西原大塚遺跡第234地点埋蔵文化財発掘調査報告書』「埼玉県志木市教育委員会」2022: 80-85, 図版15.
8. 新倉明彦, 奈良貴史, 佐伯史子, 辰巳晃司, 2022. 安中市吉ヶ谷津遺跡近世墓出土人骨の人類学的検討. (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要, 40: 129-140.
9. 石守晃, 佐伯史子, 奈良貴史, 「松谷松下2遺跡の土壌墓と出土人骨の人類学的検討」『研究紀要』41「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023: 215-220.

## 3 学会等研究発表

1. 萩原康雄, 村山保, 辰巳晃司, 奈良貴史, 「側弯症を呈した江戸時代人骨の一例」『第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会』(京都大学) 2022.9.16-9.19.
2. 永野汐音, 萩原康雄, 奈良貴史, 「神奈川県長谷小路周辺遺跡から出土した古代幼小児人骨」『第22回新潟医療福祉学会学術集会』(新潟医療福祉大学) 2022.10.28.
3. 澤田純明, 青野友哉, 「続縄文時代の人々のエナメル質減形成」『第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会』(京都大学) 2022.9.16-9.19.
4. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 安達登, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一, 「愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した縄文早期人骨」『第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会』(京都大学) 2022.9.16-9.19.

## 4 社会活動

### 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大が研究所設置 人骨鑑定を強みに, 2022.4.8.
2. テレビ, NST新潟総合テレビ, 新潟医療福祉大学 研究推進へ“人骨鑑定の研究所”新設 一般への開放も検討, 2022.4.8.
3. Webサイト, NIKKEI, 新潟医療福祉大学(新潟市北区)が遺跡出土人骨や白骨死体の法医鑑定を受託する「自然人類学研究所」を開所, 2022.4.9.
4. Webサイト, 大学ジャーナルONLINE, 新潟医療福祉大学に自然人類学研究所, 法医鑑定受託へ, 2022.4.15.
5. 新聞, 朝日新聞, 長岡の殿様, こんな顔でした 新潟医療福祉大, 出土人骨から復顔, 2022.7.13.
6. テレビ, TeNYテレビ新潟, 【殿様はどんな顔立ち?】最新技術を駆使して長岡藩主や正室の顔を再現, 2022.7.14.
7. 新聞, 新潟日報, 長岡藩主らの顔復元 4代忠寿, 9代忠精, 8代と10代の正室 新潟医福大など模型公開 細く面長「貴族的形質」, 2022.7.15.
8. 新聞, 読売新聞, 細くて小さい顎・面長・高い鼻, 藩主と正室は「殿様顔」…頭蓋骨から復元,

2022.8.4.

9. テレビ, NST新潟総合テレビ, 縄文時代の遺跡から火葬された人骨…土葬が一般的な時代になぜ?, 2022.10.28.
10. 新聞, 新潟日報, 縄文後期村上の上野遺跡 焼けた人骨あす公開 県「習俗知る貴重な資料」新潟医福大, 2022.10.29.
11. テレビ, CBCテレビ, 健康カプセル! ゲンキの時間, ~お尻が健康寿命を左右する!?~シリ筋を鍛えて老化防止, 2023.3.12.

#### 5 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022 科研費基盤B(代表)長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討
2. 2022 科研費基盤B(分担)生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式に関する研究
3. 受託研究 2022 新潟県埋蔵文化財調査事業団 上野遺跡出土人骨分析 研究代表者
4. 受託研究 2022 返子市教育委員会 大墓遺跡出土人骨分析 研究代表者
5. 受託研究 2022 群馬県埋蔵文化財調査事業団 西上之宮遺跡出土人骨分析 研究代表者
6. 受託研究 2022 群馬県埋蔵文化財調査事業団 樋越薬師遺跡出土人骨分析 研究代表者
7. 受託研究 2022 群馬県埋蔵文化財調査事業団 植栗山根A遺跡出土人骨分析 研究代表者

##### 6 学内委員会活動 自然人類学研究所(所長), 人権委員会, 高等教育推進センター委員会

#### 氏名: 八坂 敏一

##### 1 研究題目 痛み・痒みに関わる脊髄後角局所神経回路に関する研究

##### 2 論文

1. Kambe Y, Nguyen TT, Yasaka T, Nguyen TT, Sameshima Y, Hashiguchi K, Shintani N, Hashimoto H, Kurihara T, Sato T, Miyata A. The pivotal role of neuropeptide crosstalk from ventromedial-PACAP to dorsomedial-galanin in the appetite regulation in the mouse hypothalamus. *Molecular Neurobiology*. 2023; 60(1):171-182. doi:10.1007/s12035-022-03084-y

##### 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本生理学会(評議員), 日本神経科学会, 日本疼痛学会(代議員), 日本運動器疼痛学会, 日本薬理学会, Society for Neuroscience, International Association for the Study of Pain
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Scientific Reports (Nature 姉妹紙) Editorial Board Member
  2. Frontiers in Neuroanatomy Editorial Board Member
  3. Frontiers in Pain Research / Pain Research Methods Editorial Board Member

##### 4 社会活動

##### 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. WEB, TECH+, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. (11月総務会資料参照) <https://news.mynavi.jp/techplus/article/20221024-2490987/>
2. WEB, グノシー, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. (11月総務会資料参照)
3. WEB, BIGLOBE, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. (11月総務会資料参照)
4. WEB, Mapionニュース, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. <https://www.mapion.co.jp/news/column/cobs2500610-1-all/>
5. WEB, NewsPicks, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. <https://newspicks.com/news/7713931/>

6. WEB, exciteニュース, 新潟医療福祉大, 神経ペプチド「ガラニン」が食欲を制御することを発見, 2022.10.24. [https://www.excite.co.jp/news/article/Cobs\\_2500610/](https://www.excite.co.jp/news/article/Cobs_2500610/)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), ミクログリアはニューロンに接触して何をしているのか?—疼痛モデルによる解析—, 研究代表者 (延長)
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (S), 神経障害性疼痛に直結する神経回路動作異常メカニズムの解明と創薬への応用, 研究分担者
3. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 神経節マクロファージとニューロンとのコンタクトは神経因性疼痛のスイッチとなるか?, 研究分担者
4. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定, 研究代表者
5. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた, 活動筋—交感神経フィードバック神経回路, 研究分担者

6 学内委員会活動 動物実験委員会 (委員長), 毒物・劇物管理委員会 (副委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会, 科研費対策委員会, 運動機能医科学研究所研究員

**氏名：犬飼 康人**

1 研究題目 非侵襲的脳刺激法を用いたリハビリテーション介入手法の開発, 脳卒中リハビリテーションに関する研究

2 著書

1. 阿部浩明, 信迫悟志, 石田和人, 松尾篤, 犬飼康人, 生野公貴, 森岡周, 山口智史, 松木明好, 高村優作, 関口雄介, 脇田正徳, 大住倫弘, 野添匡史, 中村潤二, 石垣智也, 岡田洋平, 板東杏太, 寄本恵輔, 岩田健太郎, 佐藤剛介, 長谷川隆史, 有地祐人. 標準理学療法学神経理学療法学第3版. 医学書院; 2022: 98-110.
2. 阿部浩明, 信迫悟志, 石田和人, 松尾篤, 犬飼康人, 生野公貴, 森岡周, 山口智史, 松木明好, 高村優作, 関口雄介, 脇田正徳, 大住倫弘, 野添匡史, 中村潤二, 石垣智也, 岡田洋平, 板東杏太, 寄本恵輔, 岩田健太郎, 佐藤剛介, 長谷川隆史, 有地祐人. 標準理学療法学神経理学療法学第3版. 医学書院; 2022: 220-224.

3 論文

1. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. J Clin Neurosci. 2022 Jun; 100: 59-65. (査読あり)
2. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of Transcranial Electrical Stimulation over the Posterior Parietal Cortex on Tactile Spatial Discrimination Performance. Neuroscience. 2022 Jul 1; 494: 94-103. (査読あり)
3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. Behav Brain Res. 2023 Feb 2; 437: 114110. (査読あり)
4. Pham MV, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. Front Neurosci. 2022 Sep 20; 16: 794173. (査読あり)
5. 犬飼康人. ニューロモデュレーション技術を用いた姿勢制御アプローチ (解説). 理学療法ジャーナル 57 (3) : 313-318.

#### 4 学会等研究発表

1. 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第20回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.15-10.16. 【教育講演】

#### 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法教育学会 (総務), 日本基礎理学療法学会, 日本神経理学療法学会 (代議員)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本理学療法士協会, 理学療法学, 査読
  2. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読, 2022.7.1.
  3. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読, 2022.8.8.
  4. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読, 2022.10.28.
  5. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読, 2022.12.6.
  6. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読, 2023.1.26.
  7. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 座長
  8. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 演題査読

#### 6 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用, 主催・講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.7.9.
2. 福井神経理学療法研究会 特別研修会, 脳卒中患者のバランス機能と理学療法, 講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.11.19.
3. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 脳卒中患者の運動麻痺の病態理解と非侵襲的脳刺激法の基礎と臨床応用, 主催・講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.12.17.
4. 認定理学療法士臨床認定カリキュラム研修, ニューロモデュレーションの実践, 枚方市理学療法士会, 理学療法士, オンデマンド開催, 2023.2.1-2.28.

##### 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本理学療法士協会 (「理学療法学」査読委員), 日本理学療法士協会 (「Physical Therapy Research」査読委員), 全国理学療法教育学会 (事務局), 日本神経理学療法学会 (代議員), 日本神経理学療法学会 (「神経理学療法学」副編集委員長)

#### 7 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020-2022年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響 (研究代表者)
2. 2022年度, Panasonic 共同研究, 末梢神経刺激とバランス能力に関する研究 (研究代表者)

##### 2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科, リハビリテーション医学, 2022.9.27-10.25.

#### 8 学内委員会活動 広報委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, 脳卒中リハビリテーション研究センター (センター長)

#### 氏名: 澤田 純明

- 1 研究題目 東アジアの狩猟採集集団および初期農耕集団に関する人類学的研究, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応を解明する人類学および動物考古学的研究, 日本列島の土器出現期人類集団に関する人類学的研究, 日本列島の更新世洞窟遺跡から出土した動物化石の動物考古学的研究, 考古遺跡から出土した微細骨片の骨組織形態学的研究
- 2 著書

1. 澤田純明, 佐伯史子. 西原大塚遺跡 第234地点. 1版. 志木市: 埼玉県志木市教育委員会; 2022: 86-89.
  2. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 植栗山根A遺跡. 1版. 前橋市: 群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2023: 153-160.
- 3 学会等研究発表
1. Sawada J, Uzawa K, Yoneda M, Itahashi Y, Gakuhari T, Kubota S, Liu Bin, Wang Ningyuan, Chen Minghui, Wang Yonglei, Song Shu, Okazaki K, Takamuku H, Tomita H, Hagihara Y, Saeki F, Nara T, Nakamura S. Human bone artifacts from the late Neolithic Liangzhu site complex. SEAA9 (Ninth Worldwide Conference of the Society for East Asian Archaeology) (大邱・韓国), 2022.6.29-7.3.
  2. 澤田純明. 文明形成期の良渚に出現した人骨の加工品. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都・日本), 2022.9.16-9.19. 【シンポジウム】
  3. 澤田純明, 青野友哉. 続縄文時代の人々のエナメル質減形成. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都・日本), 2022.9.16-9.19.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本人類学会 (代議員), 日本解剖学会, 日本動物考古学会 (編集委員), 東南アジア考古学会 (運営委員), 形態科学研究会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 第8回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 事務局長 (役割), 自然人類学研究所, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2022.8.19-8.23.
    2. 第8回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 脊柱と胸郭, 講師 (役割), 自然人類学研究所, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2022.8.19.
    3. 縄文人から「エミシ」, アイヌへ (公開シンポジウム), 「エミシ」の実体はどこまで明らかになったか?, 基調講演講師, 秋田産業サポータークラブ, 一般市民, オンライン, 2022.11.12.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 大阪府警, 法医鑑定, 新潟市, 2022.5.24.
    2. 山梨県警, 法医鑑定, 新潟市・東京都, 2022.7.18-11.30.
    3. 北海道警, 人骨調査, 北海道松前町, 2022.9.22-10.12.
    4. 広島県警, 鑑定結果に対する第三者所見提出, 新潟市, 2022.12.21.
    5. 群馬県埋蔵文化財調査事業団, 遺跡出土骨の鑑定, 新潟, 2022.12.26-2023.1.10.
    6. 埼玉県志木市教育委員会, 遺跡出土骨の鑑定, 新潟, 2023.2.1.
    7. 群馬県埋蔵文化財調査事業団, 遺跡出土骨の鑑定, 新潟, 2023.2.28.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する, 研究代表者
    2. 2020年度, 国際共同研究加速基金, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明, 研究代表者
    3. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式に関する学際的研究, 研究分担者
    4. 2019年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), 歯牙フッ素分析を用いた人の移動と婚姻システムの解明, 研究分担者
    5. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), エミシとは誰だったのか: 全ゲノム解析で明らかにする東北古代人の遺伝的変遷, 研究分担者
    6. 2020年度, 学術変革領域研究 (A), 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 研究分担者

7. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究, 研究分担者
  8. 2022年度, 科研費基盤研究 (B), 受傷人骨の骨科学分析による縄文終末期の埋葬原理と社会変容の解明, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. 慶應義塾大学文学部非常勤講師, 民族学考古学特殊, 2022.4.1-2023.3.31.

**氏名：井上 達朗**

1 研究題目 高齢者のサルコペニア, フレイル, 栄養障害に関する臨床研究

2 著書

1. Inoue T. Nutrition and Daily Activities in Older Patients After Gastrectomy. 2022. In: Morishita, S., Inoue, J., Nakano, J. (eds) Physical Therapy and Research in Patients with Cancer. Springer, Singapore. 397-416.
2. Nishioka S, Inoue T, Onizuka S. Body Mass as a Biomarker and Femoral Fracture. 2022; Biomarkers in Trauma, Injury and Critical Care. Biomarkers in Disease: Methods, Discoveries and Applications. Rajendram, R., Preedy, V.R., Patel, V.B. (eds). Springer, Cham. pp. 1-16.
3. 井上達朗. 関節リウマチ. 2022年. リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第3版 医歯薬出版 p. 171-174.
4. 井上達朗. サルコペニア. 2022年. リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第3版 医歯薬出版 p. 115-123.

3 論文

1. Inoue T, Shimizu A, Murotani K, Satake S, Matsui Y, Arai H, Maeda K. Exploring biomarkers of osteosarcopenia in older adults attending a frailty clinic. *Exp Gerontol.* 2023; 172: 1120472023. 査読あり
2. Inoue T, Ueshima J, Kawase F, Kobayashi H, Nagano A, Murotani K, Saino Y, Maeda K. Trajectories of the Prevalence of Sarcopenia in the Pre- and Post-Stroke Periods: A Systematic Review *Nutrients.* 2022; 26: 15(1): 113. 査読あり
3. Inoue T, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Nagano A, Ishida Y, Kinoshita K, Iizuka Y, Satake S, Matsui Y, Arai H, Maeda K. Diet-induced inflammation is associated with sarcopenia and muscle strength in older adults who visit a frailty clinic *Aging Clin Exp Res.* 2022; 34: 34(10): 2525-2532. 査読あり
4. Shimizu A, Inoue T, Maeda K. Impact of sarcopenic obesity on functional outcomes. *Aging.* 2023; 23: 15(4): 882-883. 査読あり
5. Kondo S, Inoue T, Saito T, Fujikawa T, Kamada M, Inoue S, Fujiwara S, Goto M, Sato N, Ono R, Akisue T, Katoh S, Takizawa H, Matsuura T. Impact of postoperative physical activity on the development of pneumonia in the subacute phase after esophagectomy in patients with esophageal cancer: A retrospective cohort study. *Eur J Oncol Nurs.*; 62: 102270. 査読あり
6. Nozoe M, Inoue T, Ishida M, Yamamoto K, Kanai M. Malnutrition on admission is associated with trunk function recovery but not with lower limb muscle strength recovery in patients with acute stroke: an observational cohort study. *Nutrition.* 2023; 109: 111971. 査読あり
7. Nagano A, Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, Inoue T, Murotani K, Ishida Y, Mori N. Predictive Value of Temporal Muscle Thickness for Sarcopenia after Acute Stroke in Older Patients. *Nutrients.* 2022 Nov 27; 14(23): 5048. 査読あり
8. Shimizu A, Maeda K, Inoue T, Mori N, Momosaki R. Early physical rehabilitation effectiveness in frail older patients hospitalized for community-acquired pneumonia: analysis of a nationwide

- database in Japan. *Aging Clin Exp Res*. 2023 Feb; 35(2): 341-348. 査読あり
9. Okamura M, [Inoue T](#), Ogawa M, Shirado K, Shirai N, Yagi T, Momosaki R, Kokura Y. Rehabilitation Nutrition in Patients with Chronic Kidney Disease and Cachexia. *Nutrients*. 2022 Nov 9; 14(22): 4722. 査読あり
  10. Takeda T, Tsubaki A, Ikeda Y, Kato R, Hotta K, [Inoue T](#), Kojima S, Kanai R, Terazaki Y, Uchida R, Makita S. The impacts of preoperative frailty on readmission after cardiac implantable electrical device implantation. *PLoS One*. 2022 Nov 3; 17(11): e0277115. 査読あり
  11. Fujikawa T, Kondo S, Saito T, [Inoue T](#), Otake K, Misu S, Sakai H, Ono R, Tomioka H. Impact of sarcopenia defined by carina-level skeletal muscle mass on the long-term prognosis of patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *Respir Med Res*. 2022 Nov; 82: 100965. 査読あり
  12. Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, [Inoue T](#), Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagano A, Kayashita J, Mori N, Fujishima I. Prevalence of sarcopenic obesity based on newly proposed diagnostic criteria and functional outcomes in older adults undergoing rehabilitation. *Mech Ageing Dev*. 2022 Dec; 208: 111728. 査読あり
  13. Shirai N, [Inoue T](#), Ogawa M, Okamura M, Morishita S, Suguru Y, Tsubaki A. Relationship between Nutrition-Related Problems and Falls in Hemodialysis Patients: A Narrative Review. *Nutrients*. 2022 Aug 6; 14(15): 3225. doi: 10.3390/nu14153225. 査読あり
  14. Kobayashi H, [Inoue T](#), Ogawa M, Abe T, Tanaka T, Kakiuchi M. Malnutrition diagnosed by the Global Leadership Initiative on Malnutrition criteria as a predictor of gait ability in patients with hip fracture. *Injury*. 2022 Oct; 53(10): 3394-3400. 査読あり
  15. Nagano A, Ueshima J, Tsutsumiuchi K, [Inoue T](#), Shimizu A, Mori N, Maeda K. Effect of tongue strength on clinical outcomes of patients: A systematic review. *Arch Gerontol Geriatr*. 2022 Sep-Oct; 102: 104749. 査読あり
  16. Kondo S, [Inoue T](#), Saito T, Kawamura Y, Katayama A, Nakamura M, Sumitani R, Takahashi M, Oura M, Sogabe K, Harada T, Fujii S, Nakamura S, Miki H, Kagawa K, Sato N, Ono R, Abe M, Katoh S. Allogeneic haematopoietic stem cell transplantation and patient falls: impact of lower extremity muscle strength. *BMJ Support Palliat Care*. 2022 May 9; bmjspcare-2022-003582. 査読あり
  17. Ishida Y, Maeda K, [Inoue T](#), Satake S, Mori N. Decreased Diversity of Gut Microbiota Is Associated with Decreased Muscle Mass and Function in Older Adults Residing in a Nursing Home. *J Nutr Health Aging*. 2022; 26(5): 537-538. 査読あり
  18. Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, [Inoue T](#), Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Association between food texture levels consumed and the prevalence of malnutrition and sarcopenia in older patients after stroke. *Eur J Clin Nutr*. 2022 Nov; 76(11): 1576-1582. 査読あり
  19. Nashimoto S, [Inoue T](#), Hotta K, Sugito Y, Iida S, Tsubaki A. The safety of exercise for older patients with severe aortic stenosis undergoing conservative management: A narrative review. *Physiol Rep*. 2022 Apr; 10(8): e15272. 査読あり
  20. Okamura M, [Inoue T](#), Ogawa M, Shirado K, Shirai N, Yagi T, Erin Stella Sullivan, et al. 2023. "Combined Nutritional and Exercise Interventions for Cachexia in Chronic Diseases: Protocol for a Systematic Review and Meta-Analysis." OSF. 13 Apr. 2023. Web.
  21. 垣内優芳, [井上達朗](#). 高齢肺炎入院患者の自己排痰可否を判断する咳嗽力のカットオフ値の算出, 呼吸理学療法学, 2022-2023, 2巻, 1号, p.11-19. 査読あり
  22. 八木拓磨, [井上達朗](#), 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. サルコペニアは回復期リハビリテーション病棟での実績指数に影響する, 理学療法学, 2022, 49巻, 3号, p.204-211. 査読あり

23. 井上達朗. 栄養と理学療法オーバービュー, 理学療法学, 2023, 50巻, 1号, p.17-23.
24. 井上達朗. リハビリテーション診療における体組成評価. 臨床栄養. 医歯薬出版. 2022. 1002-1008.
25. 井上達朗. 回復期リハビリテーション医療最前線－エビデンスと未来展望－「大腿骨近位部骨折」. CLINICAL REHABILITATION 医歯薬出版. 2022. 31巻13号. p.1270-1276.
26. 井上達朗. 運動と栄養のコンビネーション. 臨床雑誌 内科. 南江堂. 2022. 130巻2号. p.279-282.
27. 井上達朗. 回復期リハビリテーション病棟におけるサルコペニア・フレイル. 2022. 理学療法ジャーナル. 医学書院. 56巻6号. p.683-689.

#### 4 学会等研究発表

1. Inoue T. Sarcopenia and Physical rehabilitation: Nutritional physical therapy for sarcopenia. 教育講演, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学術集会, 熊本, 2023.1.22.
2. 井上達朗. 臨床研究のスマールスタート. 教育講演, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学術集会, 熊本, 2023.1.22.
3. 井上達朗. オステオサルコペニアの基礎と研究の動向. 教育講演, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学術集会, 熊本, 2023.1.22.
4. 井上達朗. オステオサルコペニアのバイオマーカーの探索. 第1回日本老年療法学会学術大会 (一般演題) (沖縄), 2022.10.1.
5. 井上達朗. 医療機関でのサルコペニアに対するエビデンスと栄養理学療法の役割. 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 教育講演, 東京, 2022.9.9.
6. Inoue T, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Nagano A, Ishida Y, Kinoshita K, Iizuka Y, Satake S, Matsui Y, Arai H, Maeda K. Diet-induced inflammation increases the likelihood of sarcopenia in older adults, The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (Web), 2022.6.12.
7. Inoue T, Maeda K, Satake S, Matsui Y, Arai H. Osteosarcopenia increases the likelihood of cognitive frailty compared to osteoporosis and sarcopenia in older outpatients visiting a frailty clinic, The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (Web), 2022.6.12.
8. 井上達朗. 運動機能と認知機能の測定会－トキメキ会活動報告－. 令和3年度新潟県フレイル克服プロジェクト 事業実施報告会, 新潟市, 2022.6.10.
9. 井上達朗, 清水昭雄, 佐竹昭介, 松井康素, 上島順子, 室谷健太, 荒井秀典, 前田圭介. オステオサルコペニアと認知的フレイルは関連する. 第64回日本老年医学会学術集会 (一般演題) (大阪), 2022.6.4.
10. Tsubaki A, Danni Qu, Weixiang Qin, Tokunaga Y, Kojima S, Matsubashi H, Morishita S, Hotta K, Tamiya H, Inoue T, Ikegami R. Acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation alternations, Biophotonics in Exercise Science, Sports Medicine, Health Monitoring Technologies, and Wearables IV, 2023.3.6.
11. 内山祈, 齋藤寛代, 小澤祐治, 平田萌々花, 長田きらら, 小澤哲也, 佐藤隆一, 椿淳裕, 井上達朗, 鈴木良介, 霜田直史. 特発性正常圧水頭症における髄液排除試験前後およびシャント術後の脳内酸素動態の変化. 第130回理学療法科学学会学術大会 (一般演題) (神奈川), 2023.1.8.
12. Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Inoue T, Murotani K, Kawase F, Mori N, Maeda K. Predictive value of temporal muscle thickness for sarcopenia in convalescent stroke patients. The 7th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia (Web). 2022.11.2.
13. 平田萌々花, 大山由廉, 鈴木勇佑, 齋藤寛代, 小澤哲也, 佐藤隆一, 霜田直史, 井上達朗, 堀田一樹, 椿淳裕, 野寄浩司. 変形性股関節症患者における人工股関節置換術前の骨盤アライメントが股関節機能と身体機能に及ぼす影響. 第10回日本運動器理学療法学会学術大会 (Web), 2022.9.25.
14. Shimizu A, Inoue T, Satake S, Matsui Y, Ueshima J, Murotani K, Arai H, Maeda K. Sarcopenia by SDOC criteria is associated with ADL decline and depression in Japanese. The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (Web), 2022.6.12.
15. Nagano A, Ueshima J, Tsutsumiuchi K, Inoue T, Shimizu A, Mori N, Maeda K. Correlation between



tongue strength and clinical outcomes in medical patients: A systematic review. The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (Web), 2022.6.12.

16. Ueshima J, Maeda K, Shimizu A, Nagano A, Ishida Y, Takeuchi T, Nonogaki T, Matsuyama R, Inoue T, Mori N. Cancer Cachexia and Clinical Outcomes in Palliative Care Older Patients according to CSS Classification. The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (Web), 2022.6.12.
17. 清水昭雄, 井上達朗, 佐竹昭介, 松井康素, 上島順子, 室谷健太, 荒井秀典. SDOC基準のサルコペニアは低ADLおよび抑うつ状態と関連する. 第64回日本老年医学会学術集会(一般演題)(大阪), 2022.6.4.
18. 清水昭雄, 井上達朗, 佐竹昭介, 松井康素, 上島順子, 室谷健太, 荒井秀典. SDOC基準のサルコペニアは低ADLおよび抑うつ状態と関連する. 第64回日本老年医学会学術集会(一般演題)(大阪), 2022.6.4.
19. 佐藤健, 堀田一樹, 橋田浩一, 神谷健太郎, 井上達朗, 池上諒, 田宮創, 椿淳裕, 窪田杏奈, 宮田裕章, スマートフォンを用いた快適歩行速度計測の精度, 第22回基礎理学療法(一般演題)(大阪), 2022.10.1.
20. 松橋日和, 秦偉翔, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 繰り返し起こる血圧低下による脳酸素化ヘモグロビンの変化, 第22回基礎理学療法(一般演題)(大阪), 2022.10.1.
21. 高見澤怜, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 一杉直樹, 井上達朗, 田宮創, 椿淳裕, ストレプトゾシン誘発性の糖尿病がラット骨格筋収縮時における酸素圧勾配と筋張力に与える影響, 第22回基礎理学療法(一般演題)(大阪), 2022.10.1.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養・嚥下理学療法学会(理事), 日本老年療学会(理事, 広報委員長), 日本臨床栄養代謝学会(学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人), 日本リハビリテーション栄養学会(学術雑誌編集委員, 教育委員会委員, 論文賞選考委員会委員, 国際委員会委員, 理学療法士部会役員), 日本骨粗鬆学会(骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員), 日本転倒予防学会(学術委員), 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本老年医学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 第8回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会, 準備委員長, 岡山, 2023.3.4-3.5.
  2. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会 大会長, 新潟, 2022.4.1-活動
  3. 第13回日本リハビリテーション栄養学会 準備委員, 三重, 2022.4.1-活動
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本栄養・嚥下理学療法学会 理事
  2. 日本理学療法学会連合 国際委員会委員
  3. 日本老年療学会 理事, 広報委員長
  4. 日本臨床栄養代謝学会 学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人
  5. 日本リハビリテーション栄養学会 代議員, 学術雑誌編集委員, 教育委員会 委員, 論文賞選考委員会 委員, 国際委員会 委員, 理学療法士部会 役員
  6. 日本骨粗鬆学会 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
  7. 日本転倒予防学会(学術委員)
  8. サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン ガイドライン作成委員
  9. 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドライン ガイドライン作成委員
  10. サルコペニア・フレイル栄養管理ガイドライン ガイドライン作成委員
  11. リハビリテーション栄養ガイドライン2024 ガイドライン作成委員
  12. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会 準備委員長
  13. 日本理学療法士協会 理学療法にかかわる研究助成 審査委員
  14. The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 査読
  15. The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 査読

16. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
17. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
18. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
19. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
20. Journal of General and Family Medicine 査読
21. Geriatrics & Gerontology International 査読
22. 学会誌JSPEN 査読
23. リハビリテーション栄養, 査読
24. リハビリテーション栄養, 査読
25. リハビリテーション栄養, 査読
26. 第8回栄養・嚥下理学療法学会学術大会 演題査読
27. 第8回栄養・嚥下理学療法学会学術大会 多職種シンポジウム 座長
28. 第1回日本老年療法学会学術集会 教育講演 座長
29. 第1回日本老年療法学会学術集会 演題査読
30. 第9回日本予防理学療法学会学術大会 演題査読
31. 第9回日本予防理学療法学会学術大会 座長

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 井上達朗. 新潟県理学療法士会主催技術研修会 第3回領域別研修会（心管理理学療法）「循環器疾患における病期別理学療法の展開」. 栄養からみた循環器理学療法. 講師, 専門職対象, 長岡市, 2023.2.23.
2. 井上達朗. 信州訪問リハビリテーションネットワーク「在宅で必要な栄養問題の知識とリハビリテーション栄養」. 講師, 専門職対象, 長野県, 2022.11.10.
3. 井上達朗. 第8回新潟高齢者の栄養と摂食を支える会研究会「サルコペニアの摂食・嚥下障害の予防・治療・ケアについて」. 講師, 専門職対象, 新潟市, 2022.10.22.
4. 井上達朗. リハ栄養フォーラム2022「リハ栄養の運動機能評価と運動介入」. 講師, 専門職対象, 東京, 2022.8.28.
5. 井上達朗. 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会「サルコペニア・フレイル予防のための運動指導の実際～指導方法及び留意点～」. 講師, 専門職対象, 新潟市, 2022.6.26.
6. 井上達朗. 総合リハビリテーションセンターみどり病院研修会「回復期リハ病棟でのリハ栄養の実践」. 講師, 専門職対象, Web, 2022.6.13.
7. 井上達朗. 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会「サルコペニア・フレイル予防のための運動指導の実際～指導方法及び留意点～」. 講師, 専門職対象, 新潟市, 2022.6.26.
8. 井上達朗. Ostukaセミナーin三条「理学療法と栄養管理」. 講師, 専門職対象, 三条市, 2022.11.16.
9. 井上達朗. 2022年度 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 第1回講演会「全身性のサルコペニアからみた嚥下障害と身体的リハビリテーション」. 講師, 専門職対象, 新潟市, 2022.5.14.
10. 井上達朗. 大塚製薬工場 社内研修会「栄養と理学療法」. 講師, 専門職対象, Web, 2022.4.28.
11. 井上達朗. 日本老年療法学会 2021年度第5回研修会「高齢入院患者に対する栄養サポートチームにおける療法士（PT）の役割」. 講師, 専門職対象, Web, 2022.4.23.

### 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, トキめき会（地域住民の身体機能・認知機能の測定）. 佐渡市総合体育館, 2022.9.10-9.11.
2. 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, トキめき会（地域住民の身体機能・認知機能の測定）. 佐渡市総合体育館, 2022.10.28-10.29.
3. 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, トキめき会（地域住民の身体

機能・認知機能の測定)。佐渡市総合体育館, 2023.2.17-2.18.

4. 新潟医療福祉大学理学療法学科学生2名, 大学院生1名, 古町どんでのサルコペニア予防啓発, 古町商店街, 2022.9.19.
5. 新潟医療福祉大学理学療法学科学生2名, 健康栄養学科10名, 村上市介護予防事業, 村上公民館, 2022.8.12.
6. 井上達朗, 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 粟生津地区協議会講演会「フレイルとは」, 粟生津公民館, 2022.10.7.
7. 井上達朗, 新潟市社会福祉協議会「運動と栄養で伸ばそう健康寿命」, 新潟市社会福祉協議会, 2022.11.8.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

魚沼市におけるデータを活用したフレイル予防モデル事業 ワーキンググループ委員, 新潟県フレイル克服プロジェクト 委員

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本栄養・嚥下理学療法学会（理事）, 日本老年療学会（理事, 広報委員長）, 日本臨床栄養代謝学会（学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人）, 日本リハビリテーション栄養学会（学術雑誌編集委員, 教育委員会委員, 論文賞選考委員会委員, 国際委員会委員, 理学療法士部会役員）, 日本骨粗鬆学会（骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員）, 日本転倒予防学会（学術委員）, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本老年医学会

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度, 日本學術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発と疾患予後を予測する指標への応用, 研究代表者
2. 2022年度, 日本老年医学会 高齢者栄養研究助成, 筋と骨の同時測定によるオステオサルコペニアの革新的評価法の開発と栄養学的バイオマーカーの解明による予防・介入戦略の検討, 研究代表者
3. 2022年度, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）令和4年度予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業ヘルスケア社会実装基盤整備事業, サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン開発研究, 研究分担者
4. 2022年度, 厚生労働省老健局 厚生労働科学研究費補助金（長寿政策研究事業）, 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究, 研究分担者
5. 2022年度, 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）, 人々を軸にあらゆる情報をオープンに活用する基盤「PeOPLE」によるライフイノベーションの創出, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院 骨粗鬆リエゾン委員会 オブザーバー
2. 国立長寿医療研究センター 老年内科 外来研究員
3. 神戸大学大学院 保健学研究員

8 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会（委員）, 運動機能医科学研究所（研究員）, 互助会（委員）

**氏名：菊元 孝則**

- 1 研究題目 膝前十字靭帯損傷予防への科学的基礎, バスケットボール選手の運動機能に関する研究, 慢性足関節不安定症が膝関節のバイオメカニクスに与える影響
- 2 著書
  1. 菊元孝則, 金岡恒治, 小林匠, 蒲田和芳. オーバーヘッドスポーツの肩関節疾患治療の科学的基礎. 第1

版. 愛知県：株式会社ともあ；2023年：178-185.

### 3 論文

1. Watanabe T, Takabayashi T, Watabe T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Kubo M. Coper has altered foot joint coordination pattern compared to individuals with chronic ankle instability during running. *Gait & Posture (JCR)*. 2022; Oct(98): 173-179.
2. Kikumoto T, Suzuki S, Takabayashi T, Kubo M. Center of Pressure Deviation during Posture Transition in Athletes with Chronic Ankle Instability. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023; 20(8): 5506.
3. Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. *Clinical Biomechanics (JCR)*. 2023; 104: 105942.
4. Ishiyama H, Takabayashi T, Hiratsuka S, Ito W, Kikumoto T, Kubo M. Effect of Arch Height Flexibility in Individuals With Flatfoot on Abductor Hallucis Muscle Activity and Medial Longitudinal Arch Angle During Short Foot Exercises. *The Journal of Foot and Ankle Surgery. (JCR)*. 2023; 62(1): 168-172.

### 4 報告書

1. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 大森豪. 科研費 研究基盤 (C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 報告書, 2022-2025, 研究代表者

### 5 学会等研究発表

1. Kikumoto T, Takabayashi T, Kubo M. COP deviation during double leg stance to single leg stance in athletes with chronic ankle instability. *International Ankle Symposium 2022 (Osaka)*, 2022.10.29-10.30.
2. 菊元孝則, 小林真里奈, 高林知也, 久保雅義. 片脚着地における慢性足関節不安定症例とcoper例との膝関節運動戦略の相違. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京都), 2022.12.10-12.11.
3. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 小林真里奈, 若月弘久, 大森豪. バスケットボール選手の片脚着地時における足長に対するCOP軌跡の検証. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
4. 菊元孝則, 水谷準, 松田孝史, 八子元気, 宮坂大, 岡田洋和, 近良明. バスケットボール選手に対する大規模アンケートによる慢性足関節不安定症の実態調査. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン開催), 2022.9.21-9.23.

### 6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本スポーツ理学療法学会 (国際委員会 国際資格検討部会 部会長), 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本バスケットボール学会, 日本体育学会, 日本アスレティックトレーニング学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本保健医療福祉連携教育学会, 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 運営委員, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2022.11.13・2022.4.8-11.13.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本生体医工学会, 第61回学術集会一般演題, 座長, 新潟市, 2022.6.28-6.30.
  2. *Journal of Foot and Ankle Research*, 査読 (JFAR-D-23-00006)
  3. *Frontiers in Surgery*, 査読 (1043822)

### 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 新潟市中体連部活動指導者研修会, 講師, 新潟市体育連盟, 中学生部活動指導者, 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター, 2020.7.29.

2. Sports Science Workshop, Sports Biomechanics, 講師, University of Santo Tomas, University of Santo Tomas College of Rehabilitation Sciences students, オンライン開催, 2022.7.13.
3. 新潟県バスケットボール協会セミナー, スポーツ医科学委員会オンライン研修会, 講師, 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, バスケットボール指導者, オンライン開催, 2022.4.6.

## 2) 社会活動への参加協力

1. 日本スポーツ理学療法学会国際委員会 国際認定資格検討部会, 部会長, 新潟市など, 2022.7.12-2023.3.31.
2. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市など, 2022.4.1-2023.3.31.
3. 新潟県高等学校体育連盟, 全国高校総体バスケットボール大会メディカルサポート, 新発田市・新発田市カルチャーセンター, 2022.6.2-6.5.
4. 新潟県高等学校体育連盟, 北信越総体バスケットボールメディカルサポート, 金沢市・いしかわ総合スポーツセンター, 2022.6.18-6.19.
5. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, 第75回新潟県高等学校総合体育大会総体バスケットボールメディカルサポート, 香川県・高松市総合体育館, 2022.7.27-8.1.
6. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会 SoftBank ウインターカップ2022, メディカルサポート, 東京体育館, 2022.12.24-12.29.
7. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, 第54回北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会メディカルサポート, 長野県・松本市総合体育館, 2023.2.11-2.12.
8. 新潟県バスケットボール協会, 第51回BSN杯新潟県高等学校バスケットボール大会メディカルサポート, 新潟市・新潟市東総合スポーツセンター, 2023.1.27-1.29.
9. 新潟県バスケットボール協会, 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 長岡市・長岡市市民体育館, 2022.11.4-11.6.
10. J Sports, スプリングマッチ2023 メディカルサポート, 新発田市・新発田市カルチャーセンター, 2023.3.29-3.30.
11. 胎内市バスケットボール連盟, 第2回胎内カップバスケットボールフェスティバルメディカルサポート, 胎内市・ぶれすぽ胎内, 2022.10.9-10.10.
12. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, 新潟県成年国体男子チーム メディカルサポート, 福井県・鯖江市総合体育館, 2022.8.19-8.21.

## 3) 職能団体（協会、士会等）の委員

一般財団法人新潟県バスケットボール協会（スポーツ医科学委員会 副委員長）

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費 研究基盤 (C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 菊元孝則, 研究代表者
2. 2022年度, 公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 膝関節伸展位固定を用いた運動連鎖の遮断による慢性足関節不安定症の新たな評価手法の開発, 菊元孝則, 研究代表者

### 2) 学内部活動の実績

1. 男子バスケットボール部, 全日本大学バスケットボール新人戦プレ大会, バスケットボール, ベスト8, 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場, 2022.7.4-7.9. (メディカルサポート)
2. 女子バスケットボール部, 第74回全日本大学バスケットボール選手権大会, バスケットボール, 予選敗退, 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場, 2022.12.3-12.11. (メディカルサポート)

### 3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, 健康スポーツ科学講義, 毎週月曜日, 2022.10.3-2023.2.13.
2. 開志国際高等学校, 男子バスケットボール部メディカルサポート, 2022.4.1-2023.3.31.

- 9 学内委員会活動 FD・SD推進委員会 (FD・SD研修部会部会長／授業評価部会部会長)・アスリートサポート研究センター (研究員)

**氏名：小島 翔**

- 1 研究題目 触覚刺激の刺激効果に関する研究, 脳卒中患者に対する脳刺激介入の個人差に関する研究
- 2 論文
  1. Pham MV, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Front Neurosci (JCR)*. 2022; 1679417310.3389/fnins.2022.794173. (review)
  2. Kamii Y, Kojima S, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the posterior parietal cortex improves visuomotor performance and proprioception in the lower extremities. *Front Hum Neurosci (JCR)*. 2022; 1687608310.3389/fnhum.2022.876083. (review)
  3. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. *Brain Science (JCR)*. 2022; 128103810.3390/brainsci12081038. (review)
  4. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of Transcranial Electrical Stimulation over the Posterior Parietal Cortex on Tactile Spatial Discrimination Performance. *Neuroscience (JCR)*. 2022; 49494-10310.1016/j.neuroscience.2022.05.010. (review)
  5. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cereb Cortex (JCR)*. 2023; 3352001-201010.1093/cercor/bhac188. (review)
- 3 学会等研究発表
  1. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いがActive Touch介入効果に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (WEB開催), 2022.9.1-9.23.
  2. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂皮質に対する経頭蓋電流刺激が下肢の視覚追従課題および固有受容覚に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (WEB開催), 2022.9.1-9.23.
  3. 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 刺激様式の異なる触圧覚刺激介入が触圧覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (WEB開催), 2022.9.1-9.23.
  4. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
  5. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 課題難易度の異なる運動練習が下肢の皮質脊髄路興奮性および抑制性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床神経生理学会, 日本生体磁気学会, 全国大学理学療法学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 令和3年度理学療法教員協議会, 運営, WEB開催, 2022.2.18.
    2. 基礎理学療法学, 査読
    3. Sensors, reviewer
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリ

リテーションへの展開, 研究代表者

2. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

## 氏名: 齊藤 慧

- 1 研究題目 体性感覚機能に関する研究 (神経生理学)
- 2 論文
  1. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of Transcranial Electrical Stimulation over the Posterior Parietal Cortex on Tactile Spatial Discrimination Performance. *Neuroscience*. 2022; 494: 94-103 (査読あり)
  2. Pham MV, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Front Neurosci*. 2022; 16: 794173 (査読あり)
  3. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. *Brain Sci*. 2022; 12(8): 1038 (査読あり)
- 3 報告書
  1. 齊藤慧, 基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究実施状況報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 齊藤慧, 大鶴直史, 小池康太郎, 竹内皓太, 大西秀明. 背外側前頭前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
  2. 三木陽菜乃, 齊藤慧, 平賀大河, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 脳由来神経栄養因子が抹消電気刺激の刺激効果にもたらす影響~触覚方位弁別課題を用いた検証~. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
  3. 齊藤慧, 非侵襲脳刺激の理学療法使用に関するシンポジウム, 理学療法と非侵襲脳刺激に関する検討委員会 (東京), 2023.2.18.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 日本物理療法学会, 全国大学理学療法教育学会, 日本神経科学学会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 全国大学理学療法教育学会, 2022年度日本理学療法士教員協議会, 準備委員 (講師・司会者との連絡業務), 2022.3.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 日本物理療法合同学術大会2023, 一般演題4 神経・筋制御, 座長, 東京, 2023.2.18-2.19.
    2. 日本物理療法合同学術大会2023, 査読
- 6 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, オンライン, 2022.5.7-5.8.
    2. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基

準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, 講師・ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, 新潟医療福祉大学, 2022.9.17-9.18.

3. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, オンライン, 2022.12.17-12.18.
4. 新潟脳外科病院内講習会, 低周波治療器IVESについて, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.2.3.
5. 新潟脳外科病院内講習会, 低周波治療器IVESについて～センサートリガーモード～, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.2.10.
6. 新潟脳外科病院内講習会, 手指装着型電極(FEE)の使い方, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.2.24.
7. 新潟脳外科病院内講習会, FEE:肩関節周囲筋群, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.3.3.
8. 新潟脳外科病院内講習会, FEE:手内在筋・手外在筋, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.3.10.
9. 新潟脳外科病院内講習会, FEE:前腕回内外筋・肘関節屈曲伸展筋, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院, 2023.3.24.

## 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県理学療法士会, 学術局会議, 委員, WEB開催, 2023.1.27.
2. 全国大学理学療法教育学会, 令和3年度第3回理事会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.6.7.
3. 全国大学理学療法教育学会, 令和4年度第1回理事会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.9.16.
4. 全国大学理学療法教育学会, 令和4年度第2回理事会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.10.13.
5. 全国大学理学療法教育学会, 令和4年度定時総会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.11.29.

## 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県理学療法士会(学術部員), 全国大学理学療法教育学会(事務局員, 庶務)

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究代表者
2. 2021年度, パナソニック共同研究, 末梢神経刺激とバランス能力に関する研究, 研究分担者

## 8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

## 氏名: 高橋 英明

- 1 研究題目 腱-骨移行部(Enthesis)に関する研究, 変性性膝関節症に関する研究, 骨格筋に関する研究, 糖尿病の骨脆弱性に関する研究
- 2 著書
  1. 越中敬一, 佐藤晶子, 高橋英明, 藤本知臣, 山代幸哉, 越智元太. 運動生理学. 1版. 岐阜県: 株式会社みらい; 2023: 93-108.
- 3 報告書



1. 高橋英明. 若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 研究成果報告書, 2018-2022.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本骨代謝学会, 日本物理療学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会, 理学療法士, 長岡市・晴陵リハビリテーション学院, 2022.11.19.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), Spring-8を利用したアキレス腱付着部の3次元構造変化とその力学的特性の解明
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科, リハビリテーション医学, 2022.4.12-9.13.
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会 (副委員長), 運動機能医学研究所

**氏名：高林 知也**

- 1 研究題目 ランニング障害に関する研究, 足部バイオメカニクスに関する研究
- 2 著書
  1. 小林匠, 高林知也. 根拠ある治療の選択肢が増える！ 運動器障害の多角的アプローチ. 東京：メジカルビュー社. 2022. 1-464.
- 3 論文
  1. Ishiyama H, Takabayashi T (責任著者), Hiratsuka S, Ito W, Kikumoto T, Kubo M. Effect of Arch Height Flexibility in Individuals with Flatfoot on Abductor Hallucis Muscle Activity and Medial Longitudinal Arch Angle During Short Foot Exercises. *Journal of Foot Ankle Surgery (JCR)*. 2022. 62(1): 168-172. (review)
  2. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Differences in the coordination and its variability among foot joints during running in neutral foot and flatfoot. *Scandinavian Journal of Medicine & Science in Sports (JCR)*. 2022. 33(3): 235-245. (review)
  3. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Influence of sex and knee joint rotation on patellofemoral joint stress. *Acta of Bioneengineering and Biomechanics (JCR)*. (in-press). (review)
  4. Kikuchi Y, Ito Wataru, Takabayashi T, Kikumoto T, Watanabe T, Antnony L, Kubo M. Relationship between hip and foot kinematics with the center of pressure during crossover cutting. *Japanese Journal of Biomechanics in Sports and Exercise*. (In-press). (review)
  5. Inai T, Takabayashi T. Estimation of lower-limb sagittal joint moments during gait using vertical ground reaction force. *Journal of Biomechanics (JCR)*. 2022. 145. (review)
  6. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2022. 20(1). (review)
  7. Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate Effects of Stabilization Exercises on Trunk Muscle Activity during Jump Header Shooting: A Pilot Study. *Healthcare (JCR)*. 2022 10(7). (review)
  8. Watanabe T, Takabayashi T, Watabe T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Kubo M. Coper has altered foot joint

coordination pattern compared to individuals with chronic ankle instability during running. *Gait & Posture (JCR)*. 2022 98: 173-179. (review)

#### 4 報告書

1. 高林知也. 若手, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 科学研究費助成事業 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者

#### 5 学会等研究発表

1. Takabayashi T. Biomechanical topics for CAI. 9th International Ankle Symposium (Web) (シンポジウム). 2022.10.29.
2. 高林知也, 江玉睦明. 男女における膝関節回旋肢位の違いが膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. 第14回JOSKAS-JOSSM (札幌), 2022.6.16-6.18.
3. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足者におけるランニング中の足部内キネマティクスとキネティクス. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム (静岡), 2022.8.30-9.1.
4. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の足部内モーメントに与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
5. 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexとランニング中の足底腱膜張力の関連性. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-11.4.
6. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. 内側広筋の出力低下が膝蓋大腿関節ストレスに与える影響—数値モデルを用いたシミュレーションによる検討—. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌), 2022.11.19-11.20.
7. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Foot posture indexとランニング中の足部内モーメントの関連性. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京), 2022.12.10-12.11.
8. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Arch height flexibilityとランニング中の足底腱膜張力は関連する. 第35回ランニング学会 (東京), 2023.3.4-3.5.
9. 江玉睦明, 高林知也. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. JOSKAS-JOSSM2022. 第14回JOSKAS-JOSSM (札幌), 2022.6.16-6.18.
10. 鈴木駿祐, 菊元孝則, 高林知也, 久保雅義. 足関節捻挫を繰り返さないCoperにおける着地前下肢筋活動の同時収縮指数の検証. アスレティックトレーニング学会 (Web), 2022.7.17-8.7.
11. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperにおける歩行中の前・中・後足部間の協調性パターン. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム (静岡), 2022.8.30-9.1.
12. 菊地雄大, 高林知也, 菊元孝則, 渡邊貴博, 久保雅義. 股関節内旋可動域はクロスオーバーカッピング時の足圧中心を予測する因子になり得るか. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム
13. 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症を有する者とcoperにおけるランニング立脚期の後足部と中足部間, 中足部と前足部間の協調性パターンの違い. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
14. 平塚栞, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. 正常足者と扁平足者におけるランニング時における足関節内がえし外がえしと膝関節内反/外反の運動連鎖. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
15. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperにおける歩行立脚期の後・中・前足部間のcoordination variability. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京), 2022.12.10-12.11.
16. 平塚栞, 高林知也, 渡邊貴博, 菊元孝則, 久保雅義. 階層的クラスタリングを用いたランニング中の下肢関節間の運動連鎖パターンの分類. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京), 2022.12.10-12.11.
17. 高橋萌々香, 高林知也, 上條肇, 菊元孝則, 久保雅義. 5kmランニングにおける繰り返しの負荷が足圧に与える影響. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京), 2022.12.10-12.11.

18. Le V T, Kubo M, Ito W, Takabayashi T. Lower extremity muscle contributions to horizontal and vertical acceleration of the center of mass during the first stance phase in sprinting of soccer player. World Physiotherapy Asia Western Pacific Regional Congress (Web). 2022.6.18-6.20.
19. Watanabe T, Takabayashi T, Kikumoto T, Anthony Alexis santos Laigo, Watabe T, Kikuchi Y, Kubo M. Coordination among rearfoot, midfoot, and forefoot in individuals with chronic ankle instability and coper during running. 9th International Ankle Symposium (Web). 2022.10.29.
20. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperのランニングおよび歩行時の後足部と中足部間, 中足部と前足部間のcoordination variability. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2022.10.29.
21. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 鈴木駿佑, 平塚栞, 久保雅義. 慢性足関節不安定症を有する者とcoperにおけるmodified Star Excursion Balance Test中の母趾外転筋筋活動量の違い. 第2回リハビリテーション専門職学術大会. 2022.12.10-12.11.
22. 菊地雄大, 高林知也, 菊元孝則, 渡邊貴博, 大森豪, 久保雅義. クロスオーバーカッティング動作時における足角, 動作速度および足圧中心の関連性. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会(札幌), 2022.11.19-11.20.
23. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 平塚栞, 鈴木駿佑, 久保雅義. ランニング時の母趾外転筋筋活動量と足部内協調性パターンとの関連性. 第35回ランニング学会(東京), 2023.3.4-3.5.
24. 平塚栞, 高林知也, 渡邊貴博, 菊元孝則, 久保雅義. 正常足者と扁平足者におけるランニング中の股関節運動の違い. 第35回ランニング学会(東京), 2023.3.4-3.5.
25. 西口ほのか, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いがアキレス腱張力に与える影響. 第35回ランニング学会(東京), 2023.3.4-3.5.

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 足の構造と機能研究会(理事), 日本スポーツ理学療法学会(機関紙編集委員), 日本スポーツ理学療法学会(国際認定資格検討委員), 日本スポーツ理学療法学会(学術庶務委員), 日本基礎理学療法学会(超音波画像診断装置使用に関する検討委員), 日本臨床スポーツ医学会, 日本足の外科学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 新潟スポーツ理学療法研究会, 全国大学理学療法学会, 新潟県士会
- 2) 学術集会の主催
  1. 第4回足の構造と機能研究会学術集会, 大会実行委員長, 新潟, 2022.12-2023.5.
  2. 新潟県理学療法士会議会, 議長, 新潟, 2022.6.19.
  3. 日本理学療法士教員協議会, 運営委員, オンライン, 2023.2.18.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. Diagnostics, 査読
  2. 第27回日本基礎理学療法学会, 査読
  3. International Journal of Sports and Exercise Medicine, 査読
  4. Journal of Biomechanics, 査読
  5. Foot, 査読
  6. Journal of Biomechanics, 査読
  7. PeerJ, 査読
  8. Journal of Biomechanics, 査読
  9. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 大学院広報・展示担当, 大阪, 2022.10.1-10.2.
  10. Gait&Posture, 査読

## 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. セミナー, 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション～足関節捻挫～, 司会, リハテックリン

- クス, 理学療法士, Web, 2023.2.28.
2. セミナー, 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション～足関節の構造と機能～, 講師, リハテッククリニック, 理学療法士, Web, 2023.2.28.
  3. セミナー, 第20回足の病気の専門家Webセミナー 扁平足って本当に悪なの?～しつこく深ぼりしてみます!～Part II, 講師, 日本足の外科学会, 医師・理学療法士, Web, 2023.2.22.
  4. 研修会, バイオメカニクスを用いてスポーツ外傷・障害を考える会, 講師, 北里大学, 理学療法士, Web, 2023.1.18.
  5. 社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 足部変形とランニング障害の関係, 講師, 新潟医療福祉大学, 地域住民, Web, 2022.10.6.
  6. セミナー, ランニング障害UPDATE, 講師, 副島整形外科クリニック, 理学療法士, Web, 2022.7.27.
  7. 研修会, 足部バイオメカニクス, 講師, 城東整形外科, 理学療法士, 城東整形外科, 秋田, 2022.7.8.
  8. セミナー, 第12回足の病気の専門家webセミナー 扁平足って本当に悪なの?, パネリスト, 日本足の外科学会, 医師, 理学療法士 Web, 2022.4.13.
  9. 実技講習, 講師, 二王子とっさか, 介護士, 新潟, 2022.5.24.
  10. セミナー, 第2回プログラミングによるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラブ, 理学療法士・スポーツトレーナー, Web, 2022.5.14.
  11. セミナー, 第1回プログラミングによるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラブ, 理学療法士・スポーツトレーナー, Web, 2022.4.23.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 日本足の外科学会, SNS記事作成, 作成者, 医師・理学療法士, 2022.11.16.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 全国大学理学療法教育学会(理事選挙管理委員長), 新潟県士会東ブロックネットワーク(事務局委員)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究分担者
    2. 2022年度, 科研費基盤研究C, 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 研究分担者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第35回ランニング学会優秀賞(筆頭演者)(2023.3.4-3.5)
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟リハビリテーション病院(非常勤勤務), 理学療法士, 2016.6-(現在)
    2. 二王子とっさか(非常勤勤務), 理学療法士, 2019.1-(現在)
- 9 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員), SHAINプロジェクト(研究メンバー)

**氏名: 玉越 敬悟**

- 1 研究題目 脳卒中後の運動療法による運動機能の回復機序および脳内改善メカニズムに関する研究
- 2 論文
  1. Tamakoshi K, Maeda M, Murohashi N, Saito A. Effect of exercise from a very early stage after intracerebral hemorrhage on microglial and macrophage reactivity states in rats. Neuroreport (JCR). 2023; 33(7) 304-311. (review)
- 3 学会等研究発表
  1. Tamakoshi K, Saito A, Watanabe A, Motoyama M, Arioka W. Alteration of inflammatory factor

expression by very early exercise in rats with cortical infarction. The 100th Anniversary Annual Meeting of The Physiological Society of Japan (Kyoto), 2023.3.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経科学会, 日本神経化学会, 日本生理学会, 日本脳循環代謝学会, Society for neuroscience
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Brain Research, reviewer
  2. Journal of Integrative Neuroscience, reviewer

#### 5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 新聞, 新潟日報, 脳梗塞リハビリ研究 医福大・玉越講師に助成金70万円贈る, 2022.11.29.
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 日本理学療法士協会・第854回臨床実習指導者講習会, 講師, 新潟・新潟医療福祉大学, 2022.9.17-9.18.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
一般社団法人日本基礎理学療法学会・教育部会(部会員)

#### 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
  1. 2022年度, 日本理学療法学会連合 令和4年度 理学療法に関わる助成金(特別研究), 脳卒中超早期リハビリテーションの開始時点を決定する血液バイオマーカーの開発, 研究代表者
  2. 2022年度, 公益財団法人臨床研究奨励基金 令和4年度 コメディカル臨床研究助成, 脳出血超早期リハビリテーションによる機能障害悪化機構の解明, 研究代表者
  3. 2022年度, 公益社団法人大和証券ヘルス財団 2022年度(第49回)調査研究助成, 脳梗塞超早期リハビリテーションによる梗塞巣拡大機構の解明, 研究代表者

#### 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所(研究員), SHAINプロジェクト(神経・筋・骨組織研究メンバー)

### 氏名: 徳永 亮太

- 1 研究題目 慢性腰痛による下行性疼痛制御系の変調機構の解明
- 2 論文
  1. Tokunaga R, Takahashi Y, Touj S, Hotta H, Leblond H, Kato F, Piché M. Attenuation of widespread hypersensitivity to noxious mechanical stimuli by inhibition of GABAergic neurons of the right amygdala in a rat model of chronic back pain. European Journal of Pain (JCR). 2022 Apr; 26(4): 911-928. (review)
- 3 報告書
  1. 徳永亮太. 研究活動スタート支援, 慢性腰痛の増悪と維持に関わる脳内ネットワークの同定と治療介入法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本神経科学学会, 日本理学療法士協会, 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等
    1. Université du Québec à Trois-Rivières, 兼任教授, 2022.9-2024.8.
- 6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, FD・SD推進委員会, 動物実験委員会

### 氏名: 長坂 和明

- 1 研究題目 神経損傷後の可塑性に関する研究, 病的疼痛に対する治療法研究

## 2 論文

1. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cerebral cortex (JCR)*. 2022; 33(5): 2001-2010. (査読あり)
2. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of Transcranial Electrical Stimulation over the Posterior Parietal Cortex on Tactile Spatial Discrimination Performance. *Neuroscience (JCR)*. 2022; 494: 94-103. (査読あり)
3. Nagasaka K, Takashima I, Matsuda K, Higo N. Pharmacological inactivation of the primate posterior insular/secondary somatosensory cortices attenuates thermal hyperalgesia. *European Journal of Pain (JCR)*. 2022; 26(8): 1723-1731. (査読あり)
4. Kobayashi R, Sakurai N, Nagasaka K, Kasai S, Kodama N. Relationship between Tactile Sensation, Motor Activity, and Differential Brain Activity in Young Individuals. *Brain Sciences (JCR)*. 2022; 12(7): 924. (査読あり)
5. Pham M, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Frontiers in Neuroscience (JCR)*. 2022; 16: 794173. (査読あり)
6. Matsuda K, Nagasaka K, Kato J, Takashima I, Higo N. Structural plasticity of motor cortices assessed by voxel-based morphometry and immunohistochemical analysis following internal capsular infarcts in macaque monkeys. *Cerebral Cortex Communications*. 2022; 3(4): 1-14. (査読あり)
7. Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. Brain function effects of autonomous sensory meridian response (ASMR) video viewing. *Frontiers in Neuroscience (JCR)*. 2023; 17: 1025745. (査読あり)
8. Watanabe Y, Dezawa S, Takei H, Nagasaka K, Takashima I. Hippocampal-prefrontal long-term potentiation-like plasticity with transcranial direct current stimulation in rats. *Neurobiology of Learning and Memory (JCR)*. In press (査読あり)

## 3 学会等研究発表

1. 長坂和明, 高島一郎, 松田圭司, 肥後範行. 後部島皮質・二次体性感覚野の薬理的抑制は温熱刺激に対する痛覚過敏を減弱させる - 脳卒中後疼痛サルモデルを対象とした検証 - . 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
2. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体外側基底核の電気刺激によって誘発される後部島皮質の神経活動応答 - 脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした計測, 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
3. 松田滉平, 長坂和明, 加藤隼平, 高島一郎, 肥後範行. マカクサル内包梗塞後における脳灰白質の可塑的構造変化. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
4. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流による鎮痛効果の検討. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
5. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. The effects of tonic locus coeruleus output on forepaw-evoked response of the primary somatosensory cortex in anesthetized rats. 第45回日本神経科学大会 (沖縄), 2022.6.30-7.3.
6. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核への電気刺激が一次体性感覚野の神経活動へ与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.1-10.2.
7. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な1.0Hz電気刺激は一次体性感

覚野の活動を増大させる－麻酔下動物実験による検証－。第22回新潟医療福祉学会学術集会，2022.10.29.

8. 五十嵐眸実，大鶴直史，長坂和明，宮口翔太，Jose Gomez-Tames，平田晃正，大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果－電界シミュレーションによる検討－。第27回日本基礎理学療法学会学術大会（大阪），2022.10.1-10.2.
9. 大槻智史，長坂和明，大鶴直史，大西秀明. Neural response in the posterior insular cortex evoked by stimulation of the basolateral amygdala in central post-stroke pain model rats. 第100回日本生理学会（京都），2023.3.14.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本生理学会，日本神経科学学会，日本疼痛学会，日本理学療法士協会，日本基礎理学療法学会，脳機能とリハビリテーション研究会（理事）
- 2) 学術集会の主催
  1. 脳機能とリハビリテーション研究会，第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，大会実行委員長，Web開催（2022.9.1-9.23）
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 脳機能とリハビリテーション研究会，第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，学術大会企画部副部長，千葉県，2023.10.21・2022.9.23-2023.3.31.
  2. 脳機能とリハビリテーション研究会，講演公開収録「大脳基底核関連疾患の臨床像とその治療」，世話人・座長，Web開催，2022.8.5.
  3. 脳機能とリハビリテーション研究会，講演公開収録「認知機能のドーパミン神経回路基盤」，世話人・座長，Web開催，2022.8.8.
  4. 第28回 脳機能とリハビリテーション研究会学術集会シンポジウム，コメディカルスタッフの多様なキャリア形成，世話人・座長，Web開催，2022.9.23.
  5. 第28回 脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，一般演題抄録査読，Web開催，2022.9.23.
  6. 脳機能とリハビリテーション研究会，Journal of Rehabilitation Neurosciences，編集委員
  7. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読委員
  8. 日本理学療法士協会，理学療法学，編集委員会査読委員
  9. Frontiers in Pain Research，Reviewer
  10. Scientific Reports，Reviewer

#### 5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 脳機能とリハビリテーション研究会WEB勉強会，視床感覚核の基礎研究と視床痛，講師，脳機能とリハビリテーション研究会，医療関係者，Web開催，2022.5.25.
  2. 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用，脳卒中リハビリテーションに必要な画像評価の基礎知識，講師，新潟医療福祉大学脳卒中リハビリテーション研究センター，医療関係者，Web開催，2022.7.9.
  3. Pain scienceセミナー，脳と痛み 基礎研究によって根拠に基づく体系化された評価・治療技術確立に挑む，講師，水戸スポーツ医科学研究会，医療従事者，Web開催，2022.8.25.
  4. 中枢性疼痛の脳内メカニズムとリハビリテーション，脳卒中後疼痛の発症メカニズムと神経モジュレーションによる除痛機序の解明－動物モデルを用いた研究－，講師，日本神経理学療法学会，医療従事者，大阪，2022.10.15.
  5. 日本神経理学療法学会 第27回サテライトカンファレンス，中枢性疼痛の病態メカニズム－脳卒中後疼痛を中心に－，講師，日本神経理学療法学会，医療従事者，奈良，2023.2.11.
  6. 人間情報インタラクション研究部門シンポジウム 2022 ～脳の変化～，脳卒中後の病的な痛みのメカニズム解明とその克服に向けて，講師，産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門，医

療従事者および研究者, Web開催, 2023.2.18.

2) 社会活動への参加協力

1. 脳機能とリハビリテーション研究会, 脳画像読影の実践Web研修会, ファシリテーターおよび広報, Web開催, 2022.12.11.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 基盤研究A, 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
2. 2020年度, 若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立, 研究代表者
3. 2021年度, 基盤研究B, 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 研究分担者

7 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会, 運動機能医科学研究所

**氏名: 萩原 康雄**

1 研究題目 先史時代集団の生活様式に関する研究, 遺跡出土人骨の古病理学的研究

2 著書

1. 奈良貴史, 萩原康雄, 佐伯史子. 長谷堂貝塚群出土人骨の人類学的検討. 岩手県大船渡市長谷堂貝塚群中井貝塚平成30・令和元年度緊急発掘調査報告書. 大船渡市:大船渡市教育委員会; 2023: 82-84, 166.

3 学会等研究発表

1. 萩原康雄, 村山保, 辰巳晃司, 奈良貴史. 側弯症を呈した江戸時代人骨の一例. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会』(京都大学), 2022.9.16-9.19.
2. 永野汐音, 萩原康雄, 奈良貴史. 神奈川県長谷小路周辺遺跡から出土した古代幼小児人骨. 第22回新潟医療福祉学会学術集会(新潟医療福祉大学, 2022.10.28.
3. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 安達登, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した縄文早期人骨. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会(京都大学), 2022.9.16-9.19.
4. 萩原康雄. 骨形態からみる都市化とヒトの行動. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会・自由集会(京都大学), 2022.9.16-9.19. 【公開シンポジウム】

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本人類学会, 日本解剖学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 萩原康雄. 人骨の形態解析に基づく中国文明形跡集団の行動様式の復元. 中国文明起源 公募研究成果発表会(駒澤大学), 2023.2.19. 【シンポジウム】
2. 萩原康雄. 上肢骨. 骨学セミナー(新潟医療福祉大学), 8.19-8.23.
3. 萩原康雄. 下肢骨. 骨学セミナー(新潟医療福祉大学), 8.19-8.23.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本人類学会(広報幹事)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費若手研究. 骨形態から読み解く狩猟採集から農耕への生業転換に伴う日本列島集団の行動様式の変化. 研究代表者
2. 2021年度, 科研費学術変革領域(A)公募研究. 人骨の形態解析に基づく中国文明形成期集団の行動様式の復元. 研究代表者

7 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 自然人類学研究所



## 氏名：平林 怜

1 研究題目 脊髄相反性抑制増強法の開発, 咬合が運動機能に及ぼす影響に関する研究

### 2 論文

1. Yamada Y, [Hirabayashi R](#), Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: Focusing on occlusal strength and balance. Health Sci Rep (JCR). 2023 Feb 4; 6(2): e1098. (review)
2. Uchiyama I, Edama M, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical Study of Sites and Surface Area of the Attachment Region of Tibial Posterior Tendon Attachment. Int J Environ Res Public Health (JCR). 2022 Dec 8; 19(24): 16510. (review)
3. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual Cycle Changes Joint Laxity in Females-Differences between Eumenorrhea and Oligomenorrhea. J Clin Med (JCR). 2022 Jun 5; 11(11): 3222. (review)
4. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee Laxity in the Menstrual Cycle after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: A Case Series. Int J Environ Res Public Health (JCR). 2023 Jan 27; 20(3): 2277. (review)
5. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet. Int J Environ Res Public Health (JCR). 2023 Feb 9; 20(4): 3075. (review)
6. Yokota H, Edama M, [Hirabayashi R](#), Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. Brain Sci (JCR). 2022 Aug 4; 12(8): 1038. (review)
7. Sekine C, Saisu K, [Hirabayashi R](#), Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate Effects of Stabilization Exercises on Trunk Muscle Activity during Jump Header Shooting: A Pilot Study. Healthcare (Basel) (JCR). 2022 Jul 9; 10(7): 1272. (review)
8. Edama M, Otsuki T, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. Sci Rep (JCR). 2022 May 27; 12(1): 8923. (review)
9. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, [Hirabayashi R](#), Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. Int J Environ Res Public Health (JCR). 2022 Dec 28; 20(1): 509. (review)
10. 平林怜, 江玉睦明, 大西秀明. 脳刺激と末梢刺激のニューロモデュレーション: 高齢者の脊髄機能と関節運動による検討. 大和ヘルス財団研究誌 (印刷中)
11. 平林怜, 江玉睦明, 大西秀明. 噛みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証. デサントスポーツ科学 Vol. 43 (印刷中)

### 3 報告書

1. 平林怜. 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者

### 4 学会等研究発表

1. 平林怜. 痙縮と脊髄反射機構, 日本物理療法研究会第5回 SIGカンファレンス (Web), 2023.1.14.
2. 平林怜, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 江玉睦明. 咬合による三叉神経入力が中枢機能に及ぼす影響: 瞳孔径と脊髄機能で検討. 第77回日本体力医学会大会 (Web), 2022.9.21-9.23.

3. 平林愴, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舍川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会(Web), 2022.11.19-11.20.
4. 平林愴, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右の咬合圧バランスが青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本スポーツ歯科医学会学術大会(東京都), 2022.12.3-12.4.
5. 平林愴, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 横田裕丈, 関根千恵, 大西秀明. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪府), 2022.10.1-10.2.
6. 中島早紀, 平林愴, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 足関節底屈筋群に対する動的ストレッチングの効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. 2022.10.1-10.2.
7. 大河内偉琉, 平林愴, 中島早紀, 阿部明日香, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 反復他動運動の視覚的運動感覚錯覚による脊髄興奮性への影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. 2022.10.1-10.2.
8. 阿部明日香, 平林愴, 岡田芳幸, 山田勇輝, 中島早紀, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 咬合強度・左右の咬合圧バランスが着地動作に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. 2022.10.1-10.2.
9. 杉本柚華, 横田裕丈, 高杉梨紗, 殿広亜未, 山内勇平, 平林愴, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激(tVNS)が月経周期における自律神経活動変化に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. 2022.10.1-10.3.
10. 山本真由, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 難易度の異なるStabilization Exerciseにおける体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2022.11.12-12.23.
11. 鈴木千花子, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2022.11.12-12.23.
12. 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2022.11.19-11.21.
13. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会. 2022.10.1-10.2.
14. 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林愴, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2022.11.13.
15. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2022.11.19-11.20.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会, 日本スポーツ歯科医学会, 日本物理療法学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Experimental Brain Research, 査読
  2. Scientific Reports, 査読

3. European Journal of Neuroscience, 査読
4. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- 6 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2022.9.17.
    2. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント 北信越大会, 新潟市, 2022.7.3.
    3. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント, 宮城県, 2022.6.13-6.25.
    4. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第71回全日本大学サッカー選手権大会, 東京都. 2022.12.8-2023.1.1.
    5. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 天皇杯JFA第102会全日本サッカー選手権大会, 茨城県, 2022.6.1.
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022-2024年度, 基盤研究（C）, 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 

日本スポーツ歯科医学会第33回学術大会研究奨励賞（2022.12.3）
  - 3) 学内部活動の実績
    1. 第50回北信越大学サッカーリーグ1部優勝（トレーナー）
    2. 第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会優勝（トレーナー）
    3. 2022年度第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントベスト8（トレーナー）
    4. 2022年度第71回全日本大学サッカー選手権大会準優勝（トレーナー）
- 8 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, 広報委員会

**氏名：宮口 翔太**

- 1 研究題目 経頭蓋電流刺激法が運動学習に与える効果に関する研究
- 2 論文
  1. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of transcranial electrical stimulation over the posterior parietal cortex on tactile spatial discrimination performance. Neuroscience. 494: 94-103. 2022. (査読あり)
  2. Manh V P, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. Frontiers in Neuroscience. 2022. (査読あり)
  3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. Behavioural Brain Research. Vol.437. 114110. 2023. (査読あり)
- 3 報告書
  1. 宮口翔太. 基盤研究C, マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習および脳活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会（大阪府）

2022.10.1-10.2.

2. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果と模擬電界個人差との関係. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪府) 2022.10.1-10.2.
3. 三木陽菜乃, 齊藤慧, 平賀大河, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 脳由来神経栄養因子が末梢電気刺激の刺激効果にもたらす影響～触覚方位弁別課題を用いた検証～. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪府) 2022.10.1-10.2.
4. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会(大阪府) 2022.10.1-10.2.
5. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(Web開催) 2022.9.1-9.23.
6. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果の検討. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(Web開催) 2022.9.1-9.23.
7. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激による脳活動と運動学習の関連性. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(Web開催) 2022.9.1-9.23.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法士学会, 日本臨床神経生理学会, 日本理学療法教育学会

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 第27回日本基礎理学療法学会学術集会, シンポジウム「臨床で用いる運動学習理論を基礎研究から紐解く」, 講師, 大阪府, 2022.10.2.

### 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県理学療法士会・県士会会議, 活動計画の検討, 学術委員, Web実施, 2022.6.15.
2. 新潟県理学療法士会・県士会会議, 生涯学習制度の説明, 学術委員, Web実施, 2022.10.5.
3. 全国大学理学療法教育学会・定時総会, 議事録署名人, Web実施, 2022.11.29.
4. 新潟県理学療法士会・県士会会議, 活動計画の検討, 学術委員, Web実施, 2023.1.27.

### 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県理学療法士会(学術部員), 日本理学療法士協会 認定・専門理学療法士制度委員会(班員)

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), マイクロフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 研究代表者
2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
3. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究分担者

- 8 学内委員会活動 高等教育推進センター(初年次教育推進部会), 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト(基礎的研究メンバー)

## 氏名: 阿久澤 弘

- 1 研究題目 足部内在筋, 外在筋の筋活動に関する研究, Jones骨折のリスクファクター検証に関する研究

## 2 著書

1. 阿久澤弘；小林匠編. 運動器障害の多角的アプローチ. 動かさない1 踵を挙げられない（足関節自動底屈制限）アキレス腱断裂. 1版. 東京：メジカルビュー社；2023：408-410.

## 3 論文

1. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I, Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet, International Journal of Environment Research and Public Health, 2023; 20(4). (review)
2. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T, Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle, International Journal of Environmental Research and Public Health, 2022; 20 (1). (review)
3. Oshikawa T, Adachi G, Akuzawa H, Okubo Y, Kaneoka K, The Influence of Anticipation of Movement Starting Time on Feedforward Activation of Trunk Muscles During Rapid Shoulder Joint Movements, Journal of Human Kinetics, 2022; 84(1): 43-52. (review)
4. Murofushi K, Oshikawa T, Kaneoka K, Akuzawa H, Yamaguchi D, Mitomo S, Furuya H, Hirohata K, Yagishita K, Differences in trunk and lower extremity muscle activity during squatting exercise with and without hammer swing, Scientific Reports, 2022; 12 (1). (review)
5. Matsuura Y, Matsunaga N, Akuzawa H, Kojima T, Oshikawa T, Iizuka S, Okuno K, Kaneoka K, Difference in muscle synergies of the butterfly technique with and without swimmer's shoulder, Scientific Reports, 2022; 12. (review)
6. Morito T, Akuzawa H, Okubo Y, Adachi G, Oshikawa T, Kaneoka K, Comparison of abdominal muscle activity with various verbal instructions and onset activity analysis during draw-in maneuver, Journal of Exercise Rehabilitation, 2022; 18(4): 264-271. (review)
7. Murofushi K, Oshikawa T, Akuzawa H, Yamaguchi D, Hirohata K, Furuya H, Mitomo S, Kaneoka K, Yagishita K, Trunk muscle activation in side plank exercises with and without external-focus instruction, Isokinetics and Exercise Science, 2023; 31(1): 29-36. (review)

## 4 報告書

1. 阿久澤弘. 科研費若手研究, 新しい視点の動作解析によるシンスプリントのリスクファクター検証, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究代表者

## 5 学会等研究発表

1. 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 大久保雄, 金岡恒治. 局所振動刺激による運動錯覚性の重心位置変化に対する筋反応. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会（大阪）, 2022.10.1-10.2.
2. 阿久澤弘, 熊井司, 金岡恒治. 歩行動作における足部内在筋の機能検証, 第47回日本足の外科学会（松山）, 2022.11.3-11.4.
3. 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 金岡恒治. Short Foot Exerciseと足趾運動時の足部内在筋, 外在筋筋活動比較, 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会（札幌）, 2022.11.12-11.13.

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 足の構造と機能研究会（理事）, 日本理学療法士協会, 運動器理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本筋骨格系徒手理学療法研究会, 日本足の外科学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本整形外科スポーツ医学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本筋骨格系徒手理学療法研究会, 第10回日本筋骨格系徒手理学療法研究会学術大会, 実行委員, 東京, 2022.10.22-10.23・2022.3-10.
- 3) 学会等でのその他の活動

1. 日本スポーツ理学療法学会 機関紙学術編集委員会, 編集・査読委員, 査読依頼, 2022.7-現在
  2. 日本スポーツ理学療法学会 協力学術研究団体申請検討委員会, 日本学術会議協力学術団体申請, 機関紙の発刊状況報告, 2022.9-現在
  3. 運動器理学療法学会 標準化検討委員会, ガイドライン部会委員, 運動器理学療法のエビデンスに基づく標準化, 2022.8-現在
  4. PLOS ONE, 査読
  5. 徒手理学療法, 査読
- 7 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
    1. 理学療法科学優秀論文選考委員会, 理学療法科学と Journal of Physical Therapy Science の年間優秀論文選考, 選考委員, 2023.1-3.
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2019年度, 科研費若手研究, 新しい視点の動作解析によるシンスプリントのリスクファクター検証, 研究代表者
- 9 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, 女性アスリート育成・支援プロジェクト

**氏名：池上 諒**

報告事項なし

**氏名：石垣 智恒**

- 1 研究題目 腱の温度上昇に着目した腱障害発症メカニズムの解明, 機能的役割の異なる腱における運動後の腱特性の変化とそのメカニズムの同定
- 2 著書
  1. 石垣智恒, 越野裕太; 三木貴弘編. 卒後5年までにマスターすべき運動器障害理学療法. 1版. 日本: メジカルビュー社; 2022年: 150-155.
- 3 論文
  1. Ishigaki T, Hirokawa M, Ezawa Y, Yamanaka M. Relationship Between Posterior Shoulder Tightness and Lower-Limb Flexibility in College Baseball Players. Journal of Sport Rehabilitation (JCR). (review) (印刷中)
  2. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet. International journal of environmental research and public health (JCR). 2023; 20(4) (review)
  3. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. International journal of environmental research and public health (JCR). 2022; 20(1) (review)
  4. 石垣智恒, 松本尚, 山中正紀. 肩関節疾患患者の理学療法におけるエビデンスの作り方 (株式会社メディカルプレス). 2022年; 39(9): 802-809 (解説)
- 4 学会等研究発表
  1. 石垣智恒, 山中正紀, 江玉睦明, 大森豪. 健常大学野球選手における肩後方タイトネスと下肢柔軟性との関連, 日本臨床スポーツ医学会・第33回学術集会 (札幌市), 2022.11.11-11.12.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 臨床スポーツ医学会, 日本体力医学会

- 2) 学会等でのその他の活動
  1. Journal of Athletic Training, 査読
  2. The Physician and Sportsmedicine, 査読
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 若手研究, 腱の温度上昇に着目した腱障害発症メカニズムの解明, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

**氏名：太田 大樹**

- 1 研究題目 骨格筋新規侵害受容器の形態分布の解析, 遅発性筋痛における機械受容チャンネルの関与
- 2 論文
  1. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットでは侵害刺激に対する脊髄後角表層ニューロンの興奮性が増大する. 基礎理学療法学. 2022年; 25(1): 35-42. (review)
  2. 宮原謙一郎, 若月康次, 坪島功幸, 太田大樹, 片野坂公明, 水村和枝, 西条寿夫, 田口徹. レセルピン投与による線維筋痛症モデルラットにおける骨格筋の組織学的変化. 理学療法学. 2022年; 49(4): 306-312. (review)
  3. Hanada K, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Pressure pain threshold map of thoracolumbar paraspinal muscles after lengthening contractions in young male asymptomatic volunteers. Scientific Reports. 2022年; 12: 15825. (review)
  4. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋におけるTACAN発現変化の部位差. PAIN RESEARCH. 2022年; 37(3): 153-156. (review)
  5. 田口徹, 太田大樹, 水村和枝. 遅発性筋痛の最新メカニズム. 日本運動器疼痛学会学会誌. 2022年; 14(3): 194-202. (review)
  6. 阿部弘之, 丹羽孝仁, 溝口佳宏, 大塚博史, 太田大樹. 栃木県内市町における介護予防・日常生活支援総合事業への柔道整復師参入の現状とその背景—栃木県柔道整復師会への訪問面接調査から—. 社会医療研究. 2023年; 21. (review)
- 3 学会等研究発表
  1. 井上創太, 貝沼利矩, 太田大樹, 田口徹. 持続ストレス負荷モデルラットのホルマリンテストにおける侵害受容感作. NEURO2022 (Web), 2022.7.
  2. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 運動および炎症後の骨格筋におけるTmem120aおよびTmem120bmRNAの発現. NEURO2022 (Web), 2022.7.
  3. 太田大樹, 坪島功幸, 片野坂公明, 金川基, 田口徹. 運動の繰り返し効果における糖鎖ヒアルロン酸の役割. 第8回日本筋学会学術大会 (東京), 2022.8.
  4. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋・筋膜におけるTACAN mRNAの発現変化. 第77回日本体力医学会大会 (Web), 2022.9.
  5. 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 伸張性収縮後の筋力低下に対する細胞外マトリクス糖鎖の予防効果. 第77回日本体力医学会大会 (Web), 2022.9.
  6. 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. ラット足関節背屈筋群の収縮力発生における下腿筋膜の役割. 第77回日本体力医学会大会 (Web), 2022.9.
  7. 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 胸腰部への伸張性収縮負荷による筋圧痛閾値ヒートマップの作製. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.
  8. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および末梢神経におけるTmem120A, Bの発現定量. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.
  9. 田口徹, 太田大樹. 遅発性筋痛の発症予防における細胞外マトリクス糖鎖の役割: 筋侵害受容器の単一神経記録による電気生理学的解析. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.

10. 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 細胞外マトリクス糖鎖の筋内投与による遅発性筋痛の軽減効果. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  11. 田口徹, 貝沼利矩, 太田大樹. 繰り返し寒冷ストレスモデルラットにおける脊髄後角ニューロンの興奮性増大. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  12. 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧変化にともなうヒトの自覚的感覚強度. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  13. 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. 細胞外マトリクス糖鎖による運動後の筋力低下の発症予防効果. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  14. 笹木来亜, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧刺激にともなう心拍数の変化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  15. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 炎症性および非炎症性筋痛モデルラットの筋においてTACANの発現は増大する. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  16. 太田大樹, 田口徹. カラゲニン誘発性筋炎モデルの筋におけるTmem120Bの発現増大. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  17. 太田大樹, 田口徹. 伸張性収縮による細胞外マトリクス糖鎖の増大: 免疫組織化学による定量化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  18. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける神経成長因子の発現増大に対する細胞外マトリクス糖鎖の効果検証. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (Web), 2022.10.
  19. 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 糖鎖ヒアルロン酸による遅発性筋痛の発症予防効果. 第44回日本疼痛学会 (岐阜), 2022.12.
  20. 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 伸張性収縮負荷による実験的ヒト腰痛モデルの作製. 第44回日本疼痛学会 (岐阜), 2022.12.
  21. 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける糖鎖ヒアルロン酸による筋痛予防効果. 2022年度生理学研究所研究会 (岡崎), 2023.1.
  22. Ota H, Tsuboshima K, Taguchi T. Preventive effects of hyaluronic acid upregulated in the muscle after exercise on the development of delayed onset muscle soreness. 日本生理学会第100回記念大会 (京都), 2023.3.
  23. 田口徹, 貝沼利矩, 太田大樹. 繰り返し寒冷ストレス誘発性疼痛モデルラットにおける痛み関連行動と脊髄ニューロンの活性化亢進. 日本生理学会第100回記念大会 (京都), 2023.3.
  24. Ota H, Tsuboshima K, Yokota I, Okada K, Hanamatsu H, Furukawa J, Kanagawa M, Taguchi T. Intramuscular injection of hyaluronic acid prevents the development of muscle pain after exercise. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology (東京), 2023.3.
  25. Taguchi T, Katanosaka Y, Ota H, Katanosaka K. TRPV2-deficient mice exhibit decreased mechanical sensitivity of nociceptors in the skin. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology (東京), 2023.3.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本筋学会, 国際疼痛学会, 日本運動器疼痛学会, 日本理学療法士協会, 日本疼痛学会, 日本神経科学会, 日本生理学会, 日本体力医学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第27回日本基礎理学療法学会大会, 演題査読 (3演題)
    2. 国際雑誌「Scientific Reports」, 論文査読, 2022.5.30.
    3. 国際雑誌「Pain」, 論文査読, 2022.9.10.
    4. 第27回日本基礎理学療法学会大会, ポスターセッション座長, 2022.10.2.
- 5 社会活動



- 1) 職能団体（協会，士会等）の委員  
全国大学理学療法学会 経理課
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，科研費基盤研究（C），遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明，研究代表者
    2. 2019年9月～2024年3月（継続），ファイザー製薬 学習と変革のための独立助成金：日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム，慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築，プロジェクトメンバー
  - 2) 受賞，学位取得，資格取得  
井上創太，太田大樹，田口徹．一般社団法人日本基礎理学療法学会2022年度最優秀論文賞（2023.3.3.連絡）
- 7 学内委員会活動 入試委員会，毒物・劇物管理委員会，遺伝子組換え実験安全委員会，運動機能医科学研究所

**氏名：北谷 亮輔**

- 1 研究題目 健常者や脳卒中後患者を対象とした歩行の神経制御に関する研究，姿勢制御時における注意機能に関する研究
- 2 論文
  1. Kitatani R, Umehara J, Hirono T, Yamada S. Rhythmic auditory stimulation during gait adaptation enhances learning aftereffects and savings by reducing common neural drives to lower limb muscles. *Journal of Neurophysiology (JCR)*. 2022; 128(5): 1324-1336 (review)
  2. Kitatani R, Furukawa K, Sakaue D, Otsuru N, Onishi H. Influences of different cognitive loads on central common neural drives to the ankle muscles during dual-task walking. *Neuroscience Letters (JCR)*. 2023; 804: 137214 (review)
  3. 北谷亮輔. 脳卒中後患者における異常歩行と下肢筋活動の変化. *バイオメカニズム学会誌（協力学術団体）*. 2022; 46巻4号: 228-234（総説・解説）
- 3 学会等研究発表
  1. Kitatani R, Umehara J, Hirono T, Yamada S. Rhythmic auditory stimulation enhances adaptation and retention effects by reducing common neural drives to lower limb muscles during gait adaptation. *International Society for Posture & Gait Research World Congress 2022 (Canada (Web))*, 2022.7.3-7.7.
  2. 北谷亮輔，本田快和，犬飼康人，大鶴直史，大西秀明. バランスディスク上での左プリズム適応が立位重心の左右変位に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会（大阪），2022.10.1-10.2.
  3. 北谷亮輔，古川晃希，坂上大樹，大鶴直史，大西秀明. 二重課題中の認知課題負荷量の違いによる歩行中の筋活動への神経性入力の変化. 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会（京都），2022.11.24-11.26.
  4. 坂上大樹，北谷亮輔，古川晃希，大西秀明. スマートフォン操作能力と依存傾向が歩きスマホに与える影響. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟（Web）），2022.10.29.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本理学療法士協会，日本基礎理学療法学会，日本神経理学療法学会，日本臨床神経生理学学会，International Society of Posture and Gait Research
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読，2022.6.6.
    2. 第20回日本神経理学療法学会学術大会，演題査読，2022.6.20.
    3. 第61回日本生体医工学学会，一般演題・筋骨格系1，座長，新潟，2022.6.28-6.30.（6.28）
    4. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会，一般演題・神経生理学7，座長，大阪，2022.10.1-

## 10.2. (10.2)

5. 第20回日本神経理学療法学会学術大会, 一般演題・脳損傷・歩行3, 座長, 大阪, 2022.10.15-10.16. (10.15)
6. 日本神経理学療法学会, 学術誌編集委員会総務, 2022.12.1から2024年定時社員総会

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 第854回臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会主催, 理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2022.9.17-9.18.
2. いきいきセミナー・正しい歩き方講座, 講師, 新潟市社会教育事業・新潟市横越地区公民館主催, 地域住民, 新潟市横越地区公民館, 2022.10.7.

## 6 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費若手研究, 視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案, 研究代表者

## 7 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所

## 氏名: 佐伯 史子

- 1 研究題目 古人骨の生活誌に関する研究(骨考古学), 古人骨に観察される病変に関する研究(古病理学), 古人骨の形態に関する研究(形質人類学)

## 2 論文

1. 石守晃, 佐伯史子, 奈良貴史. 松谷松下2遺跡の土壙墓と出土人骨の人類学的検討. (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要. 2023; 41: 215-220. (査読あり)
2. 佐伯史子, 澤田純明. 下里見天神前遺跡から出土した中近世のウマについて. 下里見天神前遺跡 西毛広域幹線道路(高崎西工区)社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023: 211-214.
3. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 出土焼骨分析. 植栗山根A遺跡 一般県道植栗伊勢線道路改築(地方道・連携)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023: 153-159.
4. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 本郷満行原遺跡から出土した骨の人類学的報告. 本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・本郷大カサ遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷萱原遺跡・本郷鳴上遺跡 西毛広域幹線道路(高崎西土区)社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 - 第2分冊・本文編2 -. 2023: 840-841.
5. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 本郷鶴楽遺跡出土人骨分析. 本郷鶴楽遺跡 西毛広域幹線道路(高崎西工区)社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 - 第2分冊・本文編2 -. 2023: 796-797.
6. 佐伯史子, 奈良貴史. 1号中世墓出土人骨の人類学的研究. 明神下遺跡発掘調査報告書 経営体育成基盤整備事業(若柳中部地区)関連遺跡発掘調査 第二分冊. 2023: 132-133.
7. 奈良貴史, 萩原康雄, 佐伯史子. 長谷堂貝塚群出土人骨の人類学的検討. 岩手県大船渡市長谷堂貝塚群中井貝塚平成30・令和元年度緊急発掘調査報告書. 2023: 82-84, 166.
8. 澤田純明・佐伯史子. 西原大塚遺跡出土の動物骨. 西原大塚遺跡第234地点埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023: 86, 図版16.
9. 佐伯史子, 平慶子, 辰巳晃司, 波田野悠夏, 鈴木敏彦, 奈良貴史. 西原大塚遺跡出土人骨の人類学的研究. 西原大塚遺跡第234地点埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023: 80-85, 図版14, 図版15.

## 3 学会等研究発表

1. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 安達登, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した縄文早期人骨. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会(京都市), 2022.9.16-9.19.

## 4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本人類学会, 日本解剖学会

## 5 社会活動

### 1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨の整理作業, 2022.4- (継続中)
2. 新潟県村上市上野遺跡出土人骨の整理作業, 2022.4- (継続中)
3. 群馬県西上之宮遺跡出土人骨の整理作業, 2022.8- (継続中)
4. 群馬県樋越薬師遺跡出土人骨の整理作業, 2022.8- (継続中)
5. 群馬県南蛇井北原田遺跡出土人骨の整理作業, 2022.6- (継続中)
6. 群馬県植栗山根A遺跡出土動物骨の整理作業および鑑定業務, 2022.6-12.
7. 神奈川県逗子の大墓遺跡出土人骨の整理作業および鑑定業務, 2022.6-12.
8. 新潟県村上市上野遺跡出土人骨一般公開, 事務・展示・解説スタッフ, 新潟医療福祉大学, 2022.10.20.
9. 第8回夏期骨学セミナー, 事務局, 新潟医療福祉大学, 2022.8.19-8.23.

## 氏名: 佐宗 亜衣子

1 研究題目 古人骨の口腔内古病理・健康指標に関する研究, 遺跡出土人骨群の血縁関係に関する形態学的研究, 関東地方の縄文から弥生時代の人骨の形態的变化に関する研究, 理化学分析と連携した古病理学的研究, 集積人骨のタフノミー分析

### 2 著書

1. 近藤修, 佐宗亜衣子. 縄文晩期の人類学—晩期縄文人の形質的特徴—. 設楽博己, 根岸洋編. 季刊考古学別冊40 縄文時代の終焉. 東京: 雄山閣出版; 2023: 148-152.

### 3 学会等研究発表

1. 佐宗亜衣子. 縄文人のストレスマーカーにおける時期変化. 日本考古学協会第88回総会 (東京), 2022.5.28-5.29.
2. 佐宗亜衣子, 青野友哉, 米田穰. タフノミー観察と年代測定からみる廃屋墓人骨の埋葬状況. 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会 (京都), 2022.9.16-9.19. 【シンポジウム】
3. 水嶋崇一郎, 佐宗亜衣子. 廃屋墓事例の再考: 神奈川県三ツ澤貝塚A地点. 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会 (京都), 2022.9.16-9.19. 【シンポジウム】
4. 佐宗亜衣子, 佐々木智彦, 中村凱, 松浦秀治, 諏訪元. 「牛川人骨」について. 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会 (京都), 2022.9.16-9.19.
5. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 安達登, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した縄文早期人骨. 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会 (京都), 2022.9.16-9.19.
6. 須藤毅顕, 芝多圭彦, 駒津匡治, 澤藤りかい, 佐宗亜衣子, 植田信太郎, 渡辺孝康, 根本昂, 加納千博, 長井貴彦, 大杉勇人, 片桐さやか, 竹内康雄, 小林宏明, 岩田隆紀. 古代人の歯石DNAを用いた江戸時代と現代の網羅的口内細菌叢解析. 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会 (京都), 2022.9.16-9.19.

### 4 学会活動

1) 所属学会 日本人類学会, 日本解剖学会, 日本考古学協会, 日本考古学研究会, 日本古病理学研究会, 新潟医療福祉大学 (理事)

#### 2) 学術集会の主催

1. シンポジウム「廃屋墓出土人骨から見える縄文人骨」, 第76回日本人類学会大会・第39回日本霊長類学会大会連合大会, 主催, 京都府, 2022.9.16.

#### 3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会 (Niigata Journal of Health and Welfare), 編集委員

2. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会, 座長, 京都府, 2022.9.16-9.19.

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 骨学セミナー, 運営, 自然人類学研究所, 一般市民, 新潟医療福祉大学, 2022.8.19-8.23.

### 2) 社会活動への参加協力

1. 公益法人福島県文化振興財団, 川俣町前田遺跡古環境調査に関する指導・助言, 福島県, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 国立大学法人総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター, 「三浦半島における先史時代人類の生業活動と古環境」プロジェクト, 間口洞穴人骨の調査, 神奈川県, 2022.7.26-2023.3.31.

## 6 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科学研究費 基盤研究B, 縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明, 研究代表者
2. 2020年度, 科学研究費 基盤研究B, 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者

### 2) 学外兼務講師等

1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校看護学科, 解剖生理学I・II, 2022.4.1-9.30.
2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 解剖・生理学, 2022.4.1-9.30.
3. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 発生組織学, 2022.10.1-12.31.
4. 慶應義塾大学通信教育学部, 人類学, 2022.8.14-8.20.

## 7 学内委員会活動 学術委員会, 英文誌編集委員, 自然人類学研究所

## 氏名：関根 千恵

### 1 研究題目 腰部障害に関する研究, 体幹筋機能に関する研究

### 2 論文

1. Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate Effects of Stabilization Exercises on Trunk Muscle Activity during Jump Header Shooting: A Pilot Study. *Healthcare (JCR)*. 2022; 10(7). (review)
2. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual Cycle Changes Joint Laxity in Females-Differences between Eumenorrhea and Oligomenorrhea. *Journal of Clinical Medicine (JCR)*. 2022, 11(11). (review)
3. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee Laxity in the Menstrual Cycle after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: A Case Series. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023, 20(3). (review)
4. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023, 20(1). (review)
5. Yamada Y, Hirabayashi R, Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: Focusing on occlusal strength and balance. *Health science reports (JCR)*. 2023, 6(2), e1098. (review)
6. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023, 20(4). (review)

7. Edama M, Otsuki T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. *Scientific Reports (JCR)*. 2022, 12(1). (review)
  8. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. *Brain Sciences (JCR)*. 2022, 12(8). (review)
  9. Inori U, Edama M, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical Study of Sites and Surface Area of the Attachment Region of Tibial Posterior Tendon Attachment. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2022, 19(24). (review)
  10. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 江玉睦明. 陸上トラック競技選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. *理学療法科学 (協力学術団体)*. 2022 ; 37(5) : 495-499. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
1. 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  2. 山本真由, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 難易度の異なる Stabilization Exerciseにおける体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  3. 鈴木千花子, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  4. 舍川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  5. 江玉睦明, 舍川真侑, 大矢多恵, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 高林知也, 大森豪. 月経周期における足部形状の変化について. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  6. 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舍川真侑, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  7. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  8. 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  9. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舍川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  10. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齋藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
  11. 杉本柚華, 横田裕丈, 高杉梨紗, 殿広亜未, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が月経周期における自律神経活動変化に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.

12. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 横田裕丈, 関根千恵, 大西秀明. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
13. 中島早紀, 平林怜, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 足関節底屈筋群に対する動的ストレッチングの効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
14. 大河内偉琉, 平林怜, 中島早紀, 阿部明日香, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 反復他動運動の視覚的運動感覚錯覚による脊髄興奮性への影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
15. 阿部明日香, 平林怜, 岡田芳幸, 山田勇輝, 中島早紀, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 咬合強度・左右の咬合圧バランスが着地動作に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 第27回日本基礎理学療法学会 一般演題, 座長, 大阪市, 2022.10.1.
  2. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 一般演題, 座長, 新潟市, 2022.12.10.
  3. 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読

#### 5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 研究代表者
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2022.4-2023.3.
    2. 陸上競技部, 第40回全日本大学女子駅伝対校選手権, 宮城, トレーナー, 2022.10.30.
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟リハビリテーション病院 (非常勤勤務), 2022.4-2023.3.
- 6 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, メンタルヘルス支援委員, 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター

#### 氏名 : 田宮 創

- 1 研究題目 糖尿病性腎症の重症化予防に益する研究, 座位行動の有害性を解明する基礎研究, 地域在住高齢者におけるフレイル・サルコペニアの予防研究
- 2 論文
  1. Tsurumi T, Tamura Y, Nakatani Y, Furuya T, Tamiya H, Terashima M, Tomoe T, Ueno A, Shimoyama M, Yasu T. J Clin Med. 2022 ; 11(21) : 6239-6250. (review)
  2. Tamura Y, Takahashi H, Saka D, Tsurumi T, Tamiya H, Ueno A, Kawamoto S, Shimoyama M and Yasu T. Tamura Y. J Clin Med. 2023 ; 12(1) : 135-145. (review)
  3. Tamiya H, Tamura Y, Nagashima Y, Tsurumi T, Terashima M, Ochiai K, Ehara K, Furuya T, Banba N, Nakatani Y, Hoshiai M, Ueno A, Tomoe T, Kawabe A, Sugiyama T, Kawamoto S, Yasu T. Long-term tailor-made exercise intervention reduces the risk of developing cardiovascular diseases and all-cause mortality in patients with diabetic kidney disease. J Clin Med. 2023 ; 12(2) : 691-705. (review)
- 3 学会等研究発表
  1. 田村由馬, 田宮創, 安隆則. 心腎リスクに配慮した運動療法の実践. 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (沖縄), 2022.6.11-6.12. 【シンポジウム】

2. 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 伴場信之, 中谷祐己, 星合愛, 安隆則. 3長期的な運動指導介入は, 糖尿病性腎臓病患者における心大血管疾患の発症および全死亡リスクを抑制する. 第一回日本老年療法学会学術集会 (沖縄市), 2022.10.1-10.2.
  3. 田宮創. 多職種で協働し“見える化”を取り入れた糖尿病性腎臓病患者への重症化予防. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (Web), 2022.11.13.
  4. 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤怜, 田宮創, 井上達朗, 椿淳裕. アスコルビン酸が敗血症ラットの骨格筋酸素動態と筋発揮張力に与える影響. 第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (千葉県), 2022.11.11-11.12.
  5. 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 椿淳裕. 体外式膜型人工肺はラット骨格筋の弛緩速度を減少する. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪府), 2022.10.1-10.2.
  6. 池上諒, 中村雅俊, 堀田一樹, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. ヒトにおける運動誘発性筋損傷に対する寒冷療法および温熱療法の有用性の検討. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪府), 2022.10.1-10.2.
  7. 高見澤怜, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 一杉直樹, 井上達朗, 田宮創, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性の糖尿病がラット骨格筋収縮時における酸素圧勾配と筋張力に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪府), 2022.10.1-10.2.
  8. 松橋日和, 秦偉翔, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 繰り返し起こる血圧低下による脳酸素化ヘモグロビンの変化. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪府), 2022.10.1-10.2.
  9. 佐藤健, 堀田一樹, 橋田浩一, 神谷健太郎, 井上達朗, 池上諒, 田宮創, 椿淳裕, 窪田杏奈, 宮田裕章. スマートフォンを用いた快適歩行速度計測の精度. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪府), 2022.10.1-10.2.
  10. 安隆則, 上野明日香, 川本進也, 鶴見知己, 高橋もも, 高橋治憲, 田宮創, 田村由馬. 循環器合併症を考慮したリハビリテーション. 第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (埼玉県), 2023.3.18-3.19. 【シンポジウム】
  11. 宮嶋大貴, 松橋日和, 馬場啓貴, 中田舞絢, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 急性の血圧低下を繰り返すことによる平均血圧と脳の酸素化動態の変化. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 (鹿児島県), 2022.10.1-10.2.
  12. 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕. 反復する急性の血圧低下がもたらす内頸動脈の血流量の変化. 日本心臓リハビリテーション学会第7回関東甲信越支部地方会 (神奈川県), 2022.10.8.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本老年療法学会 (評議員), 日本糖尿病理学療法学会 (評議員), 日本微小循環学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 日本糖尿病理学療法学会, ガイドラインの作成及び学会の運営, ガイドライン作成委員, 2022.4.1-現在まで.
    2. 日本老年療法学会, 学会の運営・広報・ニュースレターの作成, 広報委員, 2022.4.1-現在まで.
    3. 第10回日本呼吸理学療法学会学術大会準備委員, 学術大会の企画, 準備委員, 2022.4.1-現在まで.
    4. 新潟内部障害リサーチミーティング研究会, 教育講演の企画, 企画運営委員, 2022.4.1-現在まで.
    5. 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会, 研修会企画, 研修会企画班班長, 2022.4.1-現在まで.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. にいがた在宅診療所・教育講演, 「多職種で取り組む在宅医療とは」, 講演者, 主催: にいがた在宅診療所, 対象: 医療従事者, 教育講演, WEB, 2022.12.16.
    2. 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会・教育講演, 「糖尿病性腎臓病患者に対する理学療法士

による運動指導介入の効果」, 講演者, 主催者: 齋藤正和, 対象者: 医療従事者, Web開催, 2022.9.27.

2) 社会活動への参加協力

1. トキめき会, 企画・運営・測定, フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック (佐渡市民 60名), 佐渡市, 2022.9.10-9.11.
2. 全国リハビリテーション学校協会, 日本理学療法士協会, 日本作業療法士協会・臨床実習指導者講習会, 講習会参加者のグループディスカッションを円滑に進めるファシリテーター (理学療法士・作業療法士 60名), 新潟市・新潟医療福祉大学, 2022.9.17-9.18.
3. 日本糖尿病理学療法学雑誌, 査読, 2023.1.10.

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本老年療法学会 (評議員・広報委員), 日本糖尿病理学療法学会 (評議員・ガイドライン作成委員), 新潟県心臓リハビリテーション研究会 (世話人), 日本呼吸理学療法学会 (第10回日本呼吸理学療法学会学術大会準備委員), 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会 (研修会企画班班長), 新潟内部障害リサーチミーティング研究会 (企画運営委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費研究活動スタート支援, 座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明, 研究代表者 (継続)
2. 2022年度, 科研費若手研究, 長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動とその機序の解明, 研究代表者 (新規)

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第一回日本老年療法学会学術集会 奨励賞受賞 (2022.10.2), 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 特別賞受賞 (2022.11.13)

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員

**氏名: 横田 裕文**

1 研究題目 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動, 痛み知覚, および運動機能に及ぼす影響の解明

2 論文

1. Manh Van Pham, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Frontiers in neuroscience* 16 794173-794173 2022. (査読あり)
2. Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space with differences in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. *Journal of shoulder and elbow surgery* 31(10) 2011-2016 2022. (査読あり)
3. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cerebral cortex (New York, N.Y.: 1991)* 2022. (査読あり)
4. Edama M, Otsuki T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. *Scientific reports* 12(1) 8923-8923 2022. (査読あり)
5. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual Cycle Changes Joint Laxity in Females-Differences between Eumenorrhea and Oligomenorrhea. *Journal of clinical medicine* 11(11) 2022. (査読あり)



6. Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate Effects of Stabilization Exercises on Trunk Muscle Activity during Jump Header Shooting: A Pilot Study. *Healthcare (Basel, Switzerland)* 10(7) 2022. (査読あり)
  7. Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Stimulus Frequency, Intensity, and Sex on the Autonomic Response to Transcutaneous Vagus Nerve Stimulation. *Brain sciences* 12(8) 2022. (査読あり)
  8. Uchiyama I, Edama M, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical Study of Sites and Surface Area of the Attachment Region of Tibial Posterior Tendon Attachment. *International journal of environmental research and public health* 19(24) 2022. (査読あり)
  9. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. *International journal of environmental research and public health* 20(1) 2022. (査読あり)
  10. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee Laxity in the Menstrual Cycle after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: A Case Series. *International journal of environmental research and public health* 20(3) 2023. (査読あり)
  11. Yamada Y, Hirabayashi R, Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: Focusing on occlusal strength and balance. *Health science reports* 6(2) e1098 2023. (査読あり)
  12. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet. *International journal of environmental research and public health* 20(4) 2023. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
1. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  2. 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  3. 舍川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  4. 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舍川真侑, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  5. 江玉睦明, 舍川真侑, 大矢多恵, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 高林知也, 大森豪. 月経周期における足部形状の変化について. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  6. 平林怜, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舍川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髓興奮性に及ぼす影響. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  7. 山本真由, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 難易度の異なる Stabilization Exercise における体幹筋活動の比較. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.

8. 鈴木千花子, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
9. 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
10. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (大阪), 2022.
11. 杉本柚華, 横田裕丈, 高杉梨紗, 殿広亜未, 山内勇平, 平林怜, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が月経周期における自律神経活動変化に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (大阪), 2022.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学会, 日本徒手理学療法学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 基礎理学療法学, 査読

#### 5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 徒手療法と運動学習についてのセミナー, 講師, 小田原市立病院, 理学療法士, 2022.7.22.
  2. 迷走神経刺激による自律神経活動変化と臨床への応用, 講師, 一般社団法人 日本アレルギーリハビリテーション協会, 医療従事者, オンライン, 2023.1.23.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
NPO 法人 IPA JAPAN (副代表)

#### 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 2022年度, 武田科学振興財団 医学系研究助成, 経頭蓋直流電流刺激 (tDCS) と経皮的迷走神経刺激 (tVNS) の同時適用による革新的な慢性疼痛治療法の開発, 横田裕丈, 研究代表者.
- 2) 学内部活動の実績
  1. 陸上競技部, 2022日本学生陸上競技個人選手権大会, メディカルトレーナー, 神奈川, 2022.4.14-4.17.
  2. 陸上競技部, 天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会, メディカルトレーナー, 埼玉, 2022.8.8-8.11.
- 3) 学外兼務講師等
  1. 特別養護老人ホーム, つきおかの里, 2018.4-
  2. 国際メディカル専門学校, 非常勤講師, 運動学, 2020.4-
  3. PhysioSquare Ginza
  4. 医療法人社団 KOSMI こん整形外科, 2023.3-

**氏名 : 星 春輝**

報告事項なし

(2) 作業療法学科

氏名：大山 峰生

- 1 研究題目 手外科のリハビリテーションに関する研究と開発（手外科学），手および手指筋群の機能解析（運動学）
- 2 著書
  1. 濱口豊太，澤田辰徳，鈴木誠，下田信明，松尾崇史，田中寛之，白倉京子，今西里佳，熊谷のぞみ，山鹿隆義，大山峰生，曾根稔雅，稲富宏之，倉澤茂樹，金谷匡紘，関優樹，中村裕美，岩永竜一郎，藤田さよ，桂雅俊，笹尾久美子，岩上さやか，山田隆人；濱口豊太編．第2章日常生活活動の支援Ⅰ－2身体機能のADL1運動器障害・整形外科疾患のADL．標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学．第2版．東京：医学書院；2022:143-155.
- 3 論文
  1. Nonaka N, Oyama M, Okano A, Fujime C, Odagiri M, Koizumi H, Shioda N. Usefulness of the lasso procedure in contractile property of the flexor digitorum superficialis during MP joint movement. Niigata journal of Health and Welfare. 2022; 22(1): 41-50. (査読あり)
  2. 野中信宏，大山峰生．筋腱移行術後の筋再教育訓練による運動再学習の臨床実践とその課題．日本ハンドセラピー学会誌．2022; 15(1): 7-12. (査読なし)
  3. 塩田紀之，大山峰生，小泉裕昭，小田桐正博．手指伸展再建術における術前筋再教育訓練効果の検討．日本ハンドセラピー学会誌．2022; 15(3): 101-106. (査読あり)
- 4 学会等研究発表
  1. 野中信宏，大山峰生，田崎和幸，山田玄太．筋腱移行術後の筋再教育訓練による運動再学習の臨床実践とその課題．第34回日本ハンドセラピー学会学術集会（北九州市），2022.4.16-4.17.
  2. 塩田紀之，大山峰生，小泉裕昭，小田桐正博，森谷浩治．筋再教育訓練が筋活動に及ぼす影響．第34回日本ハンドセラピー学会学術集会（北九州市），2022.4.16-4.17.
  3. 大山峰生．ハンドセラピーの将来展望．第34回日本ハンドセラピー学会学術集会（北九州市），2022.4.16-4.17. 【基調講演】
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事長）（将来計画委員会委員長），日本手外科学会，日本肘関節学会，日本体力医学会，日本生体磁気学会，日本臨床神経生理学学会，日本作業療法士協会，日本保健医療福祉連携教育学会，新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 日本ハンドセラピー学会，機関誌査読委員
    2. 日本ハンドセラピー学会，学会査読委員
    3. 日本作業療法士学会，学会査読委員
- 6 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，講演，オンデイマンド，2022.10.17-10.31.
    2. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，事例検討講師，オンライン，2022.11.5.
  - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員  
日本ハンドセラピー学会（理事長），日本ハンドセラピー学会（将来計画委員会委員長），日本ハンドセラピー学会（認定資格審査委員長）
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等
    1. 福島県立医科大学保健科学部，身体障害作業療法学演習Ⅰ，2022.11.11，11.18.
- 8 学内委員会活動 総務会，教育・学生支援機構（機構長）外部評価準備委員会（委員長），教員選考委員会（委員長），危機管理委員会，将来計画機構，自己点検・評価委員会

## 氏名：今西 里佳

- 1 研究題目 要介護高齢者の排尿実態研究（泌尿器科学），要介護高齢者の蓄尿障害に対する下部尿路リハビリテーション効果検証研究（泌尿器科学，リハビリテーション科学）
- 2 著書
  1. 濱口豊太，今西里佳，間宮靖幸，鈴木誠，鈴木貴子，小池祐士，石岡俊之，笹尾久美子，小泉浩平，滝澤宏和，薄木健吾，高橋里奈，久保匡史，天野良文，浅見正人，成田大地，田坂翔太，山本禎，水村翔，坂本大悟；濱口豊太編．第Ⅲ部日常生活評価第1章生活機能D排泄．OTポケット手帳．第2版．神奈川：HUMAN PRESS；2022：312-321.
  2. 濱口豊太，澤田辰徳，鈴木誠，下田信明，松尾崇史，田中寛之，白倉京子，今西里佳，熊谷のぞみ，山鹿隆義，大山峰生，曾根稔雅，稲富宏之，倉澤茂樹，金谷匡紘，関優樹，中村裕美，岩永竜一郎，藤田さより，桂雅俊，笹尾久美子，岩上さやか，山田隆人；濱口豊太編．第2章日常生活活動の支援Ⅰ－1身体機能のADL－脳血管障害5排泄．標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学．第2版．東京：医学書院；2022：111-124.
- 3 学会等研究発表
  1. 今西里佳，中村真悠，松本香好美，中島ともみ，大内みふか．排尿自立支援加算算定施設の療法士の実状．第35回日本老年泌尿器科学会．2022.6.10-6.11．（WEB）
  2. 今西里佳．訪問リハビリテーションに関わる役割と多職種連携，今後の課題．第35回日本老年泌尿器科学会．2022.6.10-6.11．（WEB）【シンポジウム】
  3. 今西里佳．下部尿路機能障害に対する行動療法．第29回日本排尿機能学会．2022.9.1．札幌市．【専門医セミナー講演】
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本老年泌尿器科学会（理事），日本老年泌尿器科学会（評議員），日本老年泌尿器科学会（教育委員会委員），日本排尿機能学会（ダイバーシティ推進委員会委員），新潟医療福祉学会，International Continence Society，日本排尿機能学会，日本睡眠学会，日本作業療法士協会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，日本転倒予防学会，日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会，日本心臓リハビリテーション学会，日本公衆衛生学会，日本サルコペニア・フレイル学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第57回日本作業療法学会演題査読，演題査読委員
    2. 第29回日本排尿機能学会 シンポジウム座長
    3. 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ委員
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 大塚製薬工場主催新潟排尿ケアセミナー，下部尿路機能障害に関わる作業療法士の役割，医師・看護師・理学療法士・作業療法士，2022.5.13.
    2. 日本コンチネンス協会主催第5回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路症状評価法，理学療法士・作業療法士，2023.2.25.
    3. 日本コンチネンス協会主催第5回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路リハビリテーション，理学療法士・作業療法士，2023.2.25.
    4. 日本コンチネンス協会主催第5回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，排泄環境整備・排泄動作訓練，理学療法士・作業療法士，2023.2.26.
    5. 日本コンチネンス協会主催第5回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，事例演習，理学療法士・作業療法士，2023.2.26.
    6. 新潟市公民館事業．関屋地区公民館ほがらかサロン講演「中高年のお悩みごと解消～排泄・睡眠・転倒予防について～」，地域在住高齢者，2023.3.9.
  - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本コンチネンス協会（執行理事），日本コンチネンス協会（理事），日本コンチネンス協会（教育委員会委員），日本コンチネンス協会（広報委員会委員），日本コンチネンス協会（セラピストのための排泄リハビリテーションセミナー実行委員長），宮城排尿障害研究会（世話人）

#### 6 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 令和4年度，科研費基盤（C），地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証—介護予防・転倒予防を目指して—，研究代表者

##### 2) 受賞，学位取得，資格取得

排尿機能検査士資格更新（2022.4.1）

##### 3) 学外兼務講師等

1. 長野保健医療大学非常勤講師（日常生活活動学Ⅰ・演習），2022.10.5.
2. 長野保健医療大学非常勤講師（作業療法評価学総論），2022.10.6.
3. 群馬大学医学部非常勤講師（基礎作業療法学），2022.11.30.

#### 7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会（広報部会長），教務委員会，高等教育推進センター運営委員会

### 氏名：能登 真一

#### 1 研究題目 健康関連QOL（効用値）の評価方法についての研究，高次脳機能障害についての研究，作業療法のアウトカム研究

#### 2 著書

1. 能登真一. 右半球障害によるコミュニケーション障害へのアプローチ，視覚走査練習の手段として木琴療法を活用した事例．臨床で使える半側空間無視への実践的アプローチ．東京．医学書院：2022：281-285，304-312.

#### 3 論文

1. Noto S, Wake M, Mishiro I, Hammer-Helmich L, Ren H, Moriguchi Y, Fujikawa K, Fernandez J. Health-Related Quality of Life Over 6 Months in Patients With Major Depressive Disorder Who Started Antidepressant Monotherapy. *Value Health Reg Issues*. 2022; 30: 127-133. (review)
2. Watanabe T, Noto S, Natsumeda M, Kimura S, Tabata S, Ikarashi F, Takano M, Tsukamoto Y, Oishi M. Characteristics of health-related quality of life and related factors in patients with brain tumors treated with rehabilitation therapy. *J Patient Rep Outcomes*. 2022 Sep 6; 6(1): 94. (review)
3. Izumi S, Hagiwara Y, Matsuyama Y, Shirowa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Impacts of the preceding cancer-specific health-related quality of life instruments on the responses to the subsequent EQ-5D-5L. *Health Qual Life Outcomes*. 2023 Jan 17; 21(1): 3. (review)
4. Hagiwara Y, Shirowa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Gradient Boosted Tree Approaches for Mapping European Organization for Research and Treatment of Cancer Quality of Life Questionnaire Core 30 Onto 5-Level Version of EQ-5D Index for Patients With Cancer. *Value Health*. 2023 Feb; 26(2): 269-279. (review)
5. Koto Y, Narita A, Noto S, Ono M, Hamada AL, Sakai N. Qualitative analysis of patient interviews on the burden of neuronopathic Gaucher disease in Japan. *Orphanet J Rare Dis*. 2022 Jul 19; 17(1): 280. (review)
6. Ito T, Kamei K, Yuasa A, Matsumoto F, Hoshi Y, Okada M, Noto S. Health-related quality of life in patients with alopecia areata: Results of a Japanese survey with norm-based comparisons. *J Dermatol*. 2022; 49(6): 584-593. (review)
7. 能登真一. 作業療法とQOL. 石川県作業療法学会誌. 2022；31：1-5.

#### 4 報告書

1. 能登真一. 科研費基盤研究 (B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究【代表】
2. 能登真一. 科研費挑戦的研究 (萌芽), AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発【代表】
3. 能登真一. 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究【分担 (主任研究者: 福田敬)】

#### 5 学会等研究発表

1. Noto S, Murata T, Saito S, Kobayashi M. Patient preferences for stroke rehabilitation: a discrete choice experiment. ISPOR EUROPE (ウィーン). 7-9 Nov 2022.
2. Noto S, Ono M, Koto Y, Narita A, Hamada AL, Sakai N. Qualitative Analysis of Patient Characters, Interviews on the Burden of Neuronopathic Gaucher Disease in Japan. ISPOR EUROPE (ウィーン). 7-9 Nov 2022.
3. Ono M, Noto S, Koto Y, Narita A, Okada M, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of Gaucher disease-specific patient-reported outcome measurement in Japan. ISPOR EUROPE (ウィーン). 7-9 Nov 2022.
4. Koto Y, Narita A, Noto S, Hamada AL, Sakai N. Qualitative analysis of patient burden with neuronopathic Gaucher disease collected via interviews. JSIMD 2022. (熊本) 2022.11.24.
5. Ono M, Noto S, Koto Y, Narita A, Okada M, Sagara R, Sakai N. Assessing the burden on caregivers of patients with Gaucher disease in Japan. WORLD Symposium 2023 (オランダ). 13 Feb 2023.
6. 能登真一. 分析ガイドラインを考える. 第17回 ISPOR 日本部会学術集会. バーチャル, 2022.10.21.【シンポジウム】
7. 能登真一. 未来の健康に対する価値づけ: Worse than Deathの解釈を中心に. 第18回 QOL/PRO 研究会研究セミナー (東京), 2023.3.19.【シンポジウム】
8. 能登真一. 希少疾患領域における PRO 活用の意義. 第63回日本先天代謝異常学会学術集会 (熊本) 2022.11.24.【教育講演】
9. 能登真一. 作業療法と QOL. 第30回石川県作業療法学会 (金沢), 2022.7.1.【教育講演】
10. 能登真一. 分析ガイドラインにおける QOL 値評価. ISPOR 日本部会賛助会員企画. (バーチャル) 2023.1.31.【教育講演】
11. 能登真一, 岸本康希. 高齢者の運転免許返納による QOL 低下の要因の検討. 第56回日本作業療法学会 (京都), 2022.9.16.
12. 麦井直樹, 能登真一, 加藤仁志, 濱口儒人, 松下貴史. 全身性強皮症の QOL 低下と関係する障害像—筋力低下を含めた臨床所見の再考—. 第56回日本作業療法学会 (京都), 2022.9.16.
13. 渡邊貴博, 能登真一, 五十嵐文枝, 田畑智, 高野真優子. 脳腫瘍患者の健康関連 QOL と ADL の調査—健康関連 QOL の経時的変化と退院時 ADL との関連—. 第56回日本作業療法学会 (京都), 2022.9.16.
14. 泉良太, 佐野哲也, 能登真一, 山田祐花子, 塚越大智. 作業療法前後での健康関連 QOL の変化と MCID の解明. 第56回日本作業療法学会 (京都), 2022.9.16.
15. 古藤雄大, 成田綾, 能登真一, 小野みどり, Anna Lissa Hamada, 酒井規夫. 日本人神経型ゴーシェ病の疾病負担に関する定性分析. 第63回日本先天代謝異常学会学術集会 (熊本) 2022.11.24.
16. 岸本美和, 秀道広, 小寺一平, 黄章徳, 井上陽一, 明山武嗣, 山本ベバリーアン, 能登真一. 日本人遺伝性血管性浮腫患者における疾患負担と健康状態の定量化—患者報告アウトカム研究—. 第121回日本皮膚科学会総会 (京都), 2022.6.2-6.5.

#### 6 学会活動

- 1) 所属学会 国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR) 日本部会 (会長), 日本作業療法士協会, QOL-PRO 研究会 (理事), 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 医療経済学会, 日本公衆衛生学会, 作業療法教育研究会, 医療経済研究機構, 新潟県作業療法士会, 日本衛生学会, 日本医療情報学会, 高次

神経障害作業療法研究会, International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research, International Society for Quality of Life Research, 日本生命倫理学会, 日本医療・病院管理学会, 日本バスケットボール学会, 日本脊髄障害医学会, 日本リハビリテーション医学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会

## 2) 学術集会の主催

1. 第17回ISPOR日本部会学術集会, 会長, バーチャル, 2022.10.21.

## 3) 学会等でのその他の活動

1. ISPOR Japan Chapter President
2. ISPOR Health Preference Research Special Interest Group member
3. ISPOR Patient Preferences Task Force, Reviewer
4. Healthcare, Guest Editor
5. Value in Health, Reviewer
6. Quality of Life Research, Reviewer
7. Asian Journal of Occupational Therapy, Reviewer
8. Journal of Patient-Reported Outcomes, Reviewer
9. Journal of Market Access & Health Policy, Reviewer
10. PharmacoEconomics, Reviewer
11. BMC Public Health, Reviewer
12. Health and Quality of Life Outcomes, Reviewer
13. ISPOR Europe 2022 Research Abstract Reviewer
14. ISPOR 2023 Research Abstract Reviewer
15. 日本作業療法士協会, 学術誌編集委員
16. 第56回日本作業療法学会, 査読
17. ISPOR日本部会, 第17回学術集会, 査読
18. Niigata Journal of Health and Welfare, 編集委員

## 7 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 全国リハビリテーション学校協会北陸ブロック研修会, 能登真一, 療法士に求められる人間力の涵養について, (バーチャル), 2023.1.21. 【教育講演】

### 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省・企画提案書審査委員会(委員)

### 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本作業療法士協会(学術誌編集委員, 学術部部員, 制度対策部部員)

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究(B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 研究代表者
2. 2021年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発, 研究代表者
3. 2020年度, 科研費基盤研究(A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 研究分担者
4. 2020年度, 科研費基盤研究(C), リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 研究分担者
5. 2021年度, 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究, 研究分担者

6. 2021年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金, 研究代表者  
9 学内委員会活動 医療経済・QOL研究センター (センター長)

**氏名：能村 友紀**

- 1 研究題目 認知機能低下抑制に関する研究
- 2 論文
  1. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Association between cognitive decline and activities of daily living decline in patients undergoing long-term oxygen therapy: A prospective observational pilot study. Disabil Rehabil, 2022; 28;1-7. (review)
  2. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Cognitive Function and the Ability to Operate Long-Term Oxygen Therapy Equipment: An Exploratory Study. Int J Environ Res Public Health, 2022; 19(17): 10708. (review)
  3. Tabata S, Nomura T. Improvement of upper limb coordination by upper limb target-tracking for patients with cerebellar ataxia: A case series study. Asian J Occup Ther, 2022; 18(1): 181-190. (review)
  4. Nomura T. Stimulation protocols for transcranial electrical stimulation to enhance declarative memory. Niigata Journal of Health and Welfare, 2022; 22(1): 2-6.
- 3 学会等研究発表
  1. 安中裕紀, 能村友紀, 森山寛史, 長谷川雄司, 大平徹郎. 在宅酸素療法患者の認知機能低下が日常生活動作低下に及ぼす影響：前向き観察研究 第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部学術集会 (新潟市), 2022.6.18.
  2. 安中裕紀, 能村友紀, 森山寛史. 慢性呼吸器疾患患者における在宅酸素療法機器の操作能力と認知機能の関連性：探索的研究 第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (千葉県), 2022.11.11-11.12.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本公衆衛生学会, 日本認知症予防学会, 日本臨床神経生理学学会, NPO法人日本コクランセンター, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第56回日本作業療法学会, 演題審査
    2. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 演題審査
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 市民大学講座, 脳をイキイキ健康に保つために, 講師, 中高年, 新潟市豊栄地区公民館 2022.10.19.
    2. シニアライフ講座, 脳をイキイキ健康に保つために, 講師, 中高年, 新潟市新津地区公民館 2022.10.26.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費, 研究基盤C, 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 大学院教務委員会 (委員長), 入試委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 社会連携推進センター運営委員会, 運動機能医科学研究所

**氏名：馬場 広子**

報告事項なし



**氏名：五十嵐 紀子**

- 1 研究題目 介護職の表象に関する研究，当事者活動の組織マネジメントに関する研究，死生学
- 2 学会等研究発表
  1. 杉本洋，五十嵐紀子．当事者活動における脆弱性の表現による組織の更新．第36回保健医療行動科学会（Web開催），2022.6.18-6.19.
  2. 五十嵐紀子，杉本洋．死者とのつながりを創る対話．日本仏教看護・ビハーラ学会第18回年次大会（オンライン），2022.6.19.
  3. 杉本洋，五十嵐紀子．当事者活動における死者とのつながり．第27回日本臨床死生学会年次大会（東京），2022.9.17-9.18.
  4. 杉本洋，五十嵐紀子．当事者活動における死者とのつながり．第27回日本臨床死生学会年次大会（東京），2022.9.17-9.18.
  5. 五十嵐紀子，杉本洋．当事者活動が脆弱であることの意味．第13回ヘルスコミュニケーション学会学術集会（広島市），2022.10.3.
  6. 五十嵐紀子，杉本洋．異なる文化背景を持つメンバーとの対話をもたらす連携の学び：コロナ禍での看取りについて考える．第15回日本保健医療福祉連携教育学会（新潟市），2022.11.13.
  7. Sugimoto H, Igarashi N. "Mitori" Amid the COVID-19 Pandemic: Cross-Cultural Perspective on Death and Dying Between Japanese and Chinese. Anthropology of Japan in Japan (AJJ) Annual Meeting 2022 (Kyoto), 2022.12.3-12.4.
  8. Sugimoto H, Igarashi N. Dialogue on Death in Tojisha Communities. The 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Tokyo), 2023.3.10-3.11.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本コミュニケーション学会東北支部（支部役員），ヘルスコミュニケーション学関連学会機構（代議員），日本介護福祉教育学会，仏教看護・ビハーラ学会，日本保健医療社会学会，Japan-US Communication Association，新潟医療福祉学会，日本保健医療行動科学会，日本臨床死生学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 第33回日教組栄養教職員研究集会記念講演，“わたしの”働き方改革，講師，日本教職員組合，栄養教諭，Zoom，2022.7.31.
    2. 特別講演，キャンサーギフトという生き方：乳がんになったコミュニケーション研究者にとっての“キャンサーギフト”とは①，講師，横浜商科大学・青森中央学院大学，学生・教職員，Zoom，2022.6.17.
    3. 特別講演，キャンサーギフトという生き方：乳がんになったコミュニケーション研究者にとっての“キャンサーギフト”とは②，講師，横浜商科大学・青森中央学院大学，学生・教職員，Zoom，2022.6.24.
    4. 介護福祉士ファーストステップ研修，コミュニケーション技術の応用的な展開①，講師，新潟県介護福祉士会，介護福祉士，新潟ユニゾンプラザ，2022.7.17.
    5. 介護福祉士ファーストステップ研修，コミュニケーション技術の応用的な展開②，講師，新潟県介護福祉士会，介護福祉士，新潟ユニゾンプラザ，2022.8.7.
    6. 令和4年度シニアカレッジ新潟基礎応用過程地域活動，生きがい探しと地域づくり，講師，新潟県社会福祉協議会，一般市民，新潟ユニゾンプラザ，2022.9.7.
    7. キャリア形成訪問指導派遣事業，コミュニケーション研修，講師，新潟県介護福祉士会，有限会社カエツ従業員，Zoom，2022.11.6.
    8. FDSOセミナー，新潟医療福祉大学のFDSO活動の取り組み，講師，新潟食料農業大学，新潟食料農業大学教職員，Teams，2022.11.30.
  - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 雑誌, 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2022-23, 介護専門科コラム・介護事業所レポート, 2022.9.30.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 日本対がん協会リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた, がん征圧がん患者支援活動, 副実行委員長, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
  2. 新潟はっぴー乳ライフ, 乳がん検診の啓発, 委員, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
  3. 新潟市動物愛護協会ねこ委員会, 猫の殺処分ゼロに向けた各種啓発活動, 委員, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員  
新潟市環境審議会（委員）, 新潟市国民健康保険運営協議会（委員）, 新潟県乳がん検討委員会（企画委員）
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等
    1. 長岡崇徳大学, コミュニケーション論, 2022.10.1-2023.3.31.
    2. 新潟食料農業大学, コミュニケーション論, 2022.9.1-2023.3.31.
- 6 学内委員会活動 FD・SD推進委員会（委員長）, 高等教育推進委員会（委員）, シティズンシップ教育実践研究センター（研究員）

**氏名：圓 純一郎**

- 1 ハンセン病神経障害への電気刺激による神経筋再生治療と評価システムの開発, ブルーリ潰瘍（M.ulcerans感染症）における無痛性病態メカニズムの解明
- 2 論文
  1. Kawashima A, Kiriya M, En J, Tanigawa K, Nakamura Y, Fujiwara Y, Luo Yuqian, Maruyama K, Watanabe S, Goto M, Suzuki K. Genome-wide screening identified SEC61A1 as an essential factor for mycolactone-dependent apoptosis in human premonocytic THP-1 cells. PLOS Neglected Tropical Diseases. 10.1371/journal.pntd.0010672 (review)
- 3 学会等研究発表
  1. Kawashima A, En J, Kiriya M, Fujiwara Y, Suzuki K. genome-wide screening identified sec61a1 as an essential factor for mycolactone-dependent apoptosis in human premonocytic thp-1 cells. First WHO Global Meeting on Skin NTDs: Buruli Ulcer Side Meeting. (WHO Headquarters Geneva, Switzerland), 27-31 March 2023.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本ハンセン病学会（理事, 事務局長）, 日本作業療法士協会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟市関屋地区公民館主催社会福祉事業「ほがらかサロン」公開講座講師, 「生活を支援する福祉機器～生活を快適にするためのお役立ちツール～」, 2023.3.16.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費基盤（C）, ハンセン病神経障害への電気刺激による神経筋再生治療と評価システムの開発, 研究代表者
    2. 2022年度, 科研費基盤（C）, ブルーリ潰瘍（M.ulcerans感染症）における無痛性病態メカニズムの解明, 研究分担者

**氏名：豊田 典子**

- 1 研究題目 第二言語習得理論, 認知言語学, プログラミング教育, JSL教育

## 2 著書

1. 中西千春編著, 中西千春, 本島亜佐子, 山村薫, 服部真子, Akiho-Toyoda N., 久保田早紀, 田中孝史, Lucien Ye, 川井一枝, Rontes Bento Reman, 内野佑弥子, 『音楽大学におけるワークショップ型英語授業の実践と考察』, 東京, 飛鳥井出版, 2023.2.12 発行, pp36-41

## 3 学会等研究発表

1. 豊田典子, 山上徹, Gaowa Bao. 複言語教育の3事例における教室媒介語の考察, The 5th J-CLIL Tohoku Chapter Online Conference (Online), 2022.7.16.
2. 豊田典子. 医療大学英語授業におけるプログラミング教育への考察 内容重視学習とPBLアプローチ, 日本情報科教育学会第15回全国大会(大阪), 2022.7.22. 優秀実績賞
3. Akiho-Toyoda N. Does L2 Hinder Learning? - Case study from English course teaching Robot Programming in L2, 20th Asia TEFL (Indonesia/online), 2022.8.5-8.7.
4. 豊田典子. 医療大学英語クラスにおけるロボットプログラミング演習を通じた医療従事者を目指す学生への教育デザインについての考察, 第47回教育システム情報学会全国大会(新潟), 2022.8.22.
5. 豊田典子. 日本人と異文化, 2022年度国際教育研究所年次大会(東京/オンライン), 2022.9.17.
6. Akiho-Toyoda N. Proposal for International Interprofessional Education (IPE) on Content-Language-Integrated Learning and PBL Approach, 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会(オンライン), 2022.11.13.

## 4 学会活動

- 1) 所属学会 Asia TEFL, The Japan Association of College English Teachers (JACET), 情報科教育学会, 教育システム情報学会, MHB学会, 国際教育研究所, J-CLIL

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学オンライン公開講座「英語と脳」(2022.7.)
2. English for Healthy Eyes (英語で眼育 YouTube 動画) 1 2022.8.
3. English for Healthy Eyes (英語で眼育 YouTube 動画) 2 2022.10.
4. 国立音楽大学, 国立音大国際ワークショップ, Global Education in the Context of Music College in Japan: From the Perspective of Communication, 講師, 主催者中西千春教授(国立音楽大学), 東京(国立音楽大学), 2022.6.
5. 佐藤誠悦氏主催「東日本大震災復活田11年をつなぐ2022稲刈りカップ特別講演10周年祈念」, 特別講演(宮城県気仙沼市), 2022.10.7-10.9.

### 2) 社会活動への参加協力

1. 一般社団法人Quality of Life Foundation (医科学研究者国際活動支援協議会), 医科学者国際交流普及活動(2022年11月チャリティガラ)企画運営通訳・翻訳, 2022.4-現在
2. 新潟国際アニメーション映画祭, 新潟国際アニメーション映画祭開催, 通訳・翻訳・海外リエゾン, 新潟市, 2023.3.1-現在
3. 佐藤誠悦氏主催「東日本大震災復活田11年をつなぐ2022稲刈りカップ特別講演10周年祈念」, 特別講演および運営協力(救急救命学科学生ボランティア), 宮城県気仙沼市, 2022.10.7-10.9.
4. Japan Association for Promotion Of Latin America and the Caribbean 国際交流活動と本学の連携リエゾン

### 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

一般社団法人Quality of Life Foundation (医科学研究者国際活動支援協議会) 委員

## 6 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得  
第15回日本情報科教育学会全国大会優秀実践賞(2022.1.11)
- 2) 学外兼務講師等

1. 合同会社S&N Information Limited, 主任研究員

7 学内委員会活動 連携総合ゼミ海外大学リエゾン, 通訳手配, 通訳

**氏名：今井 理恵**

- 1 研究題目 ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発 (英語教育学), 応用言語学の新しい成果を活かす学校英語教育の研究 (英語教育学および応用言語学), 内外の応用言語学研究で新しく提案される概念や枠組みを, 日本語を母語とする学習者に対する学校英語教育においてどのように活用できるかを探る研究 (英語教育学および第二言語習得理論), 日本人学習者のための批判的思考力測定テストの開発 (外国語教育)
- 2 著書
  1. 飯野厚, 田嶋美砂子, 稲垣善律, 今井理恵, 大畑甲太, 加藤淳, 将司敬子, 外山徹, 藤井彰子, 藤吉大介, 和田俊彦, Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication II. 東京:三省堂;2022:1-182.
- 3 論文
  1. 峯島道夫, 今井理恵. 「中学校教科書におけるテナーの扱いについての一考察:学習者の関係性をいかに高められるか」 Journal of Humanistic English Education in Japan, 2: 189-198. (原著論文) [査読有り]
  2. 今井理恵, 峯島道夫. 「新高校英語教科書の読みのための発問課題の改良—ジャンル準拠リーディング指導による指導改善のために—」. 中部英語教育学会紀要, 2023; 1: 251-258. (原著論文) [査読有り]
  3. 峯島道夫, 今井理恵. 「批判的思考力テストの妥当性についての一考察—久原他 (1983) に焦点をあてて—」. 国際地域研究論集, 2023; 14: 145-159. (原著論文) [査読有り]
- 4 学会等研究発表
  1. 今井理恵. 「ジャンル準拠リーディング指導による高校英語の読むことの指導の改善—教科書の既存の読解問題の改編をとおして」令和4年度新潟大学教育学部英語学会. 2022.7.30. 【特別講演】
  2. 今井理恵, 峯島道夫, 松沢伸二. 「新高校英語教科書の読みのための発問課題の改良—ジャンル準拠リーディング指導による指導改善のために」全国英語教育学会 第47回 北海道研究大会. 2022.8.6.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 中部英語教育学会, 関東甲信越英語学会, 全国英語教育学会, 日本教科教育学会, The Japan Association for Language Teaching (JALT), 新潟大学教育学部英語教育学会, Association of International Studies and Regional Development (AISRD), Humanistic English Education Study Group (HEESG), 新潟医療福祉学会
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2018年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発, 研究代表 (継続)
    2. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 英語コミュニケーション能力と人間性を高める英語授業の活動・タスク・授業モデル開発, 研究分担者 (継続)
    3. 2022年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 英語授業を改善する4技能5領域でのジャンル正対課題と教授・学習サイクルの開発, 研究代表者 (新規)
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 新潟県立大学, 教職実践演習特別講義, 10.31, 11.7.
- 7 学内委員会活動 AO入試問題作問部会 (アドミッション・オフィス, 入試検討英語部会)

**氏名：藤目 智博**

- 1 研究題目 母指CM関節の動的支持性について, 手指関節固有覚が運動に及ぼす影響について
- 2 論文

1. Nonaka N, Oyama M, Okano A, Fujime C, Odagiri M, Koizumi H, Shioda N. Usefulness of the lasso procedure in contractile property of the flexor digitorum superficialis during MP joint movement. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2022; 22: 41-50.
  2. 藤目智博, 大山峰生. 月状三角骨障害の後療法：作業療法. 2021; 64(8): 1001-1006.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事），日本手外科学会，日本肘関節外科学会，日本作業療法研究学会，新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第2回新潟リハビリテーション専門職学術大会，一般演題，査読，新潟，2022.10.1-10.17.
    2. 第34日本ハンドセラピー学会学術集会，学会長候補演題，座長，北九州，2022.4.16-4.17.
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 日本手外科学会教育研修会，手の変形性関節症に対する装具療法，講師，日本手外科学会，所属医師，WEB，2023.1.20-3.20.
    2. 公民館サイエンス，手の機能と役割，講師，新潟市東地区公民館，地域住民，新潟市東地区公民館，2022.12.3.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
    1. 新潟リハビリテーション大学，義肢装具学，2022.9-12.

**氏名：安中 裕紀**

- 1 研究題目 慢性呼吸器疾患の認知機能障害，てんかんの認知機能障害
- 2 論文
  1. 足立耕平，越本莉香，安中裕紀，長谷川直哉，本田涼子，小野智慧. 日本版EpiTrackの開発と信頼性と妥当性の検討. てんかん研究（協力学術研究団体）. 2023; 40(3): 519-529.
  2. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Association between cognitive decline and activities of daily living decline in patients undergoing long-term oxygen therapy: a prospective observational pilot study. *Disability and Rehabilitation (JCR)*. 2022; Published online.
  3. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Cognitive Function and the Ability to Operate Long-Term Oxygen Therapy Equipment: An Exploratory Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2022; 19(17): 10708.
  4. Hasegawa N, Annaka H. Cognitive features of adult focal epilepsy with unknown etiology revealed by the trail making test. *Epilepsy & Behavior (JCR)*. 2022; 129 108625-108625.
- 3 学会等研究発表
  1. Hasegawa N, Annaka H. Cognitive Dysfunction in Adult Patients with Focal Epilepsy Has Both Cumulative and Reversible Aspects Associated with Seizures. the 2022 AES Annual Meeting (USA), 2022 3 December.
  2. 安中裕紀，能村友紀，森山寛史. 慢性呼吸器疾患患者における在宅酸素療法機器の操作能力と認知機能の関連性：探索的研究. 第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会（千葉県），2022.11.12.
  3. Hasegawa N, Annaka H. Cognitive features of adult focal epilepsy with unknown etiology revealed by the Montreal Cognitive Assessment. 14th European Epilepsy Congress (Switzerland), 2022 9 July.
  4. 安中裕紀，能村友紀，森山寛史，長谷川雄司，大平徹郎. 在宅酸素療法患者の認知機能低下が日常生活動作低下に及ぼす影響：前向き観察研究. 第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部学術集会（新潟県），2022.6.18.
- 4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部学術集会, 口述発表, 座長, 新潟県, 2022.6.18.

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 博士 (2023.3.17), 新潟医療福祉大学博士後期課程優秀賞 (2023.3.17)

**氏名: 北上 守俊**

報告事項なし

**氏名: 間宮 靖幸**

1 研究題目 レビー小体型認知症 (神経心理学), 認知症性疾患 (神経心理学), 視覚性注意 (行動神経学)

2 報告書

1. 間宮靖幸. 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討, 研究実績報告書, 2022 (研究代表者)

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. とやの長寿学級, 認知症予防と日々の暮らし方について, 講師, 鳥屋野地区公民館, 地域住民, 新潟市, 2022.7.5.
2. シニア男性講座, 認知機能の測り方, 講師, 味方地区公民館, 地域住民, 新潟市, 2022.8.23.

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2018年度, 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討 (研究代表者)

5 学内委員会活動 教務委員会 (委員), 新潟連携教育研究センター運営委員会 (委員)

(3) 言語聴覚学科

**氏名：大石 如香**

- 1 研究題目 脳血管疾患による失語症および読み書き障害の研究, 脳血管疾患や変性性認知症における視覚認知障害および質感認知障害に関する研究
- 2 論文
  1. 大石如香, 菅井努, 田村俊暁. 心原性脳塞栓後に表記不能型ジャルゴンを呈し伝導失語に収束した1例. 日本音声言語医学 (協力学術団体), 63(2): 103-114, 2022. (査読あり)
  2. 大石如香, 有賀楓, 栗田幸平, 今村徹, 鈴木匡子. 若年健常者の相貌認知能力に関する検討—日本語版相貌失認尺度 (The 20-item prosopagnosia index) および標準高次視覚検査 熟知相貌検査第二版を用いた検討—. 神経心理学, 38(4): 265-275, 2022. (査読あり)
- 3 報告書
  1. 大石如香, 今村徹, 鈴木匡子. 研究基盤 (C), 認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明. 研究成果報告書, 2021-2024 (研究代表者)
- 4 学会等研究発表
  1. 大石如香, 小林葉月, 菅井努. クモ膜下出血後に反響言語を伴う超皮質性感覚失語を呈した一例. 第23回日本言語聴覚学会学術総会 (新潟), 2022.6.24-6.25.
  2. 大石如香. 言語聴覚士による地誌的障害へのアプローチ—街並失認・道順障害の評価とリハビリテーション. 第23回日本言語聴覚学会学術集会, シンポジウム講演, 新潟市. 2022.6.25. 【シンポジウム】
  3. 大石如香. 慢性呼吸器疾患患者に対するIPWによる摂食嚥下リハビリテーション. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術総会, シンポジウム講演, 新潟市 (オンライン), 2022.11.13. 【シンポジウム】
  4. 大石如香, 有賀楓, 栗田幸平. 若年健常者の相貌認知検査成績と不安傾向との関連. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会 (山形市), 2022.12.2-12.3.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本神経心理学会 (評議員), 新潟神経心理懇話会 (世話人), 日本言語聴覚学会 (学術誌編集委員会査読委員), 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本色彩学会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本認知神経心理研究会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第23回日本言語聴覚学会学術集会, シンポジウム座長, 新潟市. 2022.6.25.
    2. 第23回日本言語聴覚学会学術集会, 査読委員
    3. 第46回日本高次脳機能障害学会学術集会, 一般演題 (口演) 座長, 山形市. 2022.12.2.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2022年度 文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (C), 研究代表者
    2. 2022年度 文部科学省研究費補助金 新学術領域研究「深質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出」, 信号変調に基づく視聴触覚の質感認識機構, 研究協力者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
日本神経心理学会／一般社団法人日本高次脳機能障害学会認定 臨床神経心理士, 2022.7.12.
- 7 学内委員会活動 学長補佐, 将来計画機構, 教員選考委員会, 就職センター運営委員会, 人権委員会調査委員

**氏名：今井 信行**

- 1 研究題目 高齢者の口腔機能解析, 摂食嚥下障害における評価法・訓練法の開発
- 2 論文
  1. 石澤幸江, 小熊隆夫, 今井信行, 斎藤トシ子. 定期的な咀嚼練習により栄養状態に変化が認められた統合失調症患者の1症例. 日本栄養士会雑誌. 2022年; 65巻 (9号): 29-34頁

### 3 学会等研究発表

1. Takagi A, Imai N. Intervention for dysphagia patients using mMASA in southern Thailand and its practicality, 2022.9.23-9.24.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本口腔外科学会, 日本口腔科学会, 日本口蓋裂学会, 日本歯科麻酔学会, 日本小児口腔外科学会, 日本音声言語医学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本障害者歯科学会, 日本顎顔面補綴学会, 新潟歯学会, 新潟医療福祉学会

### 5 社会活動

#### 1) 社会活動への参加協力

1. 尾山愛広苑口腔機能維持管理会議, 入所者の口腔機能の問題解決のための助言・指導, 2022.4-2023.3. (月1回)

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院非常勤歯科医師, 歯科・歯科口腔外科, 2022.4-2023.3.

### 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

## 氏名：今村 徹

### 1 研究題目 認知症の臨床における総合的研究, 認知機能障害の臨床における総合的研究

### 2 著書

1. 今村徹; 松田実編著. 初学者のための神経心理学入門. 東京: 新興医学出版; 2022: 141-169.

### 3 論文

1. 今村徹. 神経心理学的検査とバイオマーカー: 認知症臨床における相互補完. 老年精神医学雑誌 (JCR協力学術研究団体). 2022; 33 (7): 696-701.
2. 今村徹. その認知症が血管性であることをどうやって臨床診断するのか. 老年精神医学雑誌 (JCR協力学術研究団体). 2022; 33 (9): 915-920.
3. 大石如香, 有賀楓, 栗田幸平, 今村徹, 鈴木匡子. 若年健常者の相貌認知能力に関する検討—日本語版相貌失認尺度 (The 20-item prosopagnosia index) および標準高次視知覚検査 熟知相貌検査第二版を用いた検討—. 神経心理学. 2022; 38 (4): 265-275. (査読あり)
4. 今村徹. 模倣行動, 使用行動, 環境依存症候群 (Lhermitte). 精神科. 2023; 42 (3): 375-379.

### 4 学会等研究発表

1. 今村徹. 臨床・発表に役立つ初歩講座2: 症例報告の組み立て方. 第46回日本神経心理学会学術集会 (札幌市), 2022.9.8-9.9. 【教育講演】
2. 今村徹. 認知症: もの忘れ外来での臨床. 第23回日本言語聴覚学会 (新潟市), 2022.6.24-6.25. 【特別講演】

### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経心理学会 (理事, 機関誌編集委員), 日本高次脳機能障害学会 (評議員), 日本神経学会, 日本内科学会, 日本認知症学会, 日本老年精神医学会, 日本神経精神医学会 (評議員), 東北神経心理懇話会 (世話人), 新潟神経心理懇話会 (世話人), 新潟医療福祉学会.

#### 2) 学会等でのその他の活動

1. 第46回日本神経心理学会学術集会, プログラム委員, 札幌市, 2022.9.8-9.9.
2. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会, プログラム委員, 山形市, 2022.12.2-12.3.

### 6 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県言語聴覚士会研修会, エンパワメントを志向した認知症の家族支援, 講師, 新潟県言語聴覚士会, 言語聴覚士, 新潟市, 2022.10.29.



2. 令和4年度佐渡圏域高次脳機能障害支援従事者研修会、『社会的行動障害』って何？，講師，新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部，医療，介護，保健，福祉関係職員，佐渡市，2022.8.26.
  3. 新潟県介護支援専門員協会令和4年度第3回全体研修会，前頭葉症候群と遂行機能障害，講師，新潟県介護支援専門員協会，介護支援専門員，新潟市，2022.10.21.
  4. 令和4年度7月専門職研修オンライン講座，エンパワメントを志向した認知症の家族支援，講師，千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター，医療，介護，保健，福祉関係職員，千葉市，2022.7.30.
  5. 令和4年度認知症介護支援ネットワーク事業・介護・相談従事者向け研修，認知症ケア研修，講演講師および事例検討助言者，新潟県村上地域振興局健康福祉部，医療，介護，保健，福祉関係職員，オンライン開催，2022.11.16.
  6. 野田市介護支援専門員協会講演会，認知症：エンパワメントを志向した家族支援に向けて，講師，野田市介護支援専門員協会，介護支援専門員，オンライン開催，2023.3.15.
  7. 令和4年度認知症福祉講座，認知症の患者さんご家族を支えるために講師，地域包括支援センター小新小針，地域住民，新潟市，2022.8.31.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 新潟県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会，高次脳機能障害リハビリテーション講習会，実行委員長，オンライン開催，2022.11.20.
  2. 独立行政法人高齢・障害者・求職者雇用支援機構新潟障害者職業センター，医療情報助言者，2022.4.1-2023.3.31.
  3. 日本神経学会専門医育成教育小委員会，第20回専門医育成教育セミナー，チューター，千葉市，2022.12.11.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員  
新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（委員長）

**氏名：佐藤 克郎**

- 1 研究題目 中耳における細菌感染症に関する基礎研究（耳鼻咽喉科学，細菌学，感染症学），頭頸部腫瘍に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，頭頸部外科学），音声障害に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，音声言語医学）
- 2 論文
  1. Tamura T, Tanaka Y, Watanabe Y, Sato K. Relationships between maximum tongue pressure and second formant transition in speakers with different types of Dysarthria. PLOS ONE. 2002; 1-15. (review)
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事・評議員），日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（認定専門医・認定補聴器相談医・新潟県地方部会評議員・新潟県地方部会医事問題委員），日本気管食道科学会（認定専門医），日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会
- 4 社会活動
  - 1) 職能団体（協会，士会等）の委員  
公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会賛助員（教授職）

**氏名：吉岡 豊**

- 1 研究題目 言語発達障害児の語彙獲得および語彙特徴に関する研究，機能性構音障害児における語彙能力に関する研究
- 2 著書
  1. 吉岡豊，大庭重治，吉利宗久，境原三津夫，葉石光一，八島猛，小林優子，池田吉史，佐藤将朗，第10章 言語障害児の理解と支援. 特別支援教育の探究，1版，京都，ミネルヴァ書房；2022年：178-196.

### 3 学会等研究発表

1. 谷麻美, 吉岡豊. 新潟医療福祉大学言語発達支援センターの利用児・者の統計的観察. 第22回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2022.10.29.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 発達障害支援システム学会, 音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本聴覚医学会, 高次脳機能障害学会, 日本神経心理学会,
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 第23回日本聴覚言語学会, 座長, 新潟市, 2022.6.24-6.25.

### 5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. 新聞, 新潟日報, にこにこ相談室, 2023.3.27.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 阿賀町 言葉の相談会, 言語指導者, 阿賀町役場, 3歳から就学前まで, 阿賀町, 2022年度に6回開催(2022.5.24, 7.2, 9.10, 11.12, 12.3, 2023.3.4)
- ### 6 学内委員会活動
- 広報委員会, 同窓会・社会連携推進委員会(学科サポーター), 大学院委員会, 大学院入試広報委員会(入試部会部会長), 言語発達支援センター長

## 氏名: 石本 豪

- 1 研究題目 児童・青年に対する心理的支援に関する研究, 障害児の親に対する心理的支援に関する研究, 発達障害の大学生に対する就労支援に関する研究
- 2 学会等研究発表
  1. 石本豪. 選択性緘黙を示す自閉症児への支援事例 刺激フェイディングおよび親子同席による面接構造の活用. 日本コミュニケーション障害学会・第47回学術講演会(松山市), 2022.5.28-5.29.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本学生相談学会, 日本教育心理学会, 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 中野小屋中学校区学校保健委員会講話, 育てようこころの健康, 講師, 中野小屋中学校区学校保健委員会, 児童・生徒および地域住民, 小瀬小学校, 2022.10.14.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業, スクールカウンセラー, 新潟市内小・中学校, 2022.4.1-2023.3.31.
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費基盤研究C, 自閉スペクトラム症の大学生に対する就労支援に関する仮説理論モデルの生成, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, メンタルヘルス支援室, 言語発達支援センター

## 氏名: 内山 信

- 1 研究題目 レビー小体型認知症の錯視・幻視に関する研究, レビー小体型認知症の記憶障害に関する研究, パーキンソン病の認知機能障害に関する研究, 認知症患者の難聴に関する研究
- 2 報告書
  1. 内山信. 基盤研究(c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究成果報告書, 研究代表者

### 3 学会等研究発表

1. 内山信, 認知症の鑑別 ノイズパレイドリアテストの開発. 第23回日本言語聴覚学会 (新潟), 2022.6.25. 【シンポジウム】
2. 内山信, 森下風香, 伊藤拓海, 佐藤卓也, 今村徹. 難聴がアルツハイマー病患者の臨床像に与える影響: 介護者への構造化インタビューを用いた検討. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会 (山形), 2022.12.3.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本神経心理学会 (評議員), 日本高次脳機能障害学会, 新潟神経心理懇話会 (役員)

### 5 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 市民大学講座, 認知症とは, 講演, 新潟市, 中高年, 新潟市, 2022.10.26.

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度. 基盤研究 (c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究代表者

### 7 学内委員会活動 教務委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

## 氏名: 栗原 桂

- 1 研究題目 新潟県の新生児聴覚スクリーニング事業について (聴覚障害学), 人工内耳装用児のコミュニケーションの発達 (聴覚障害学), 両側人工内耳装用児の療育支援について (聴覚障害学), 片耳難聴児の支援と教育 (聴覚障害学), 難聴児を取り巻く医療と教育の連携について (連携教育), 大学における連携教育の在り方について (連携教育), 医療現場における多職種連携について (連携教育), マイクロエスノグラフィ・ライフヒストリー (研究方法論)

### 2 学会等研究発表

1. 栗原桂, 成人言語習得後失聴者の人工内耳による聞こえの満足度調査. 第67回音声言語医学会総会・学術講演会, 京都市・日本, 2022.11.24-11.25.
2. 栗原桂, 松井由美子, 村井憲章, 藤井豊. 連携教育と国際交流: 新潟医療福祉大学の連携教育の取組を学生のリフレクションシートから振り返る. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.
3. 村田憲章, 藤井豊, 松井由美子, 栗原桂. リモート実施となった連携教育科目「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.

### 3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, American Audiology Society, American Cochlear Implant Alliance, The Qualitative Research, 日本言語聴覚士協会, 日本教育オーディオロジー研究協議会, きこえエール新潟, 北陸教育オーディオロジー研究協議会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会, 日本音声言語医学会, 日本発達障害学会, 日本コミュニケーション障害学会, ろう教育科学会, 新潟県難聴児をもつ親の会.

#### 2) 学会等でのその他の活動

1. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, ワークショップ1. IPE推進委員会企画プログラム「学内学習IPEコース・デザイナー-我々の集合知を發揮しよう」, グループワーク参加, 新潟市, 2022.11.13.

### 4 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. きこえエール新潟第2回相談支援研修会, サイトメガロウイルス感染症と難聴について, 講演者及び主催者, 聾教育の教員, 大学教員研究者, 医師, 言語聴覚士, 保健師, 助産師, 行政の子ども支援又は難聴支援担当者が対象, 新潟ふれ愛プラザ, 2023.3.18.
2. 教員研修会, 人工内耳のパラメーターについて, 講演者, 長岡聾学校主催, 2022.7.28.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報, 悩む家族に寄り添い続け, 2023.2.16.

3) 社会活動への参加協力

1. NPO法人きこえエール新潟・第65回事業運営委員会～第75回事業運営委員会(計11回)・ZOOM・2022.4.9・5.21・6.26・7.17・8.27・9.25・10.16・11.20・12.18・2023.1.21・2.23.
2. NPO法人きこえエール新潟・第1回理事会, 主催, 新潟市, 新潟ふれ愛プラザ, 2022.5.5.
3. NPO法人きこえエール新潟・第5回通常総会, 第1回勉強会「難聴児と共に歩む-難聴通級指導教室の立場から子どもたちを支えて-」, 主催, 勉強会閉会挨拶, 新潟市, 新潟ふれ愛プラザ, 2022.5.29.
4. NPO法人きこえエール新潟・第1回相談支援員研修会, 第2回勉強会「おおきくなあれ-聾学校乳幼児教室の活動-」, 主催, 勉強会閉会挨拶, 新潟市, 新潟ふれ愛プラザ(オンライン同時配信・オンデマンド配信1か月間), 2022.10.22.
5. NPO法人きこえエール新潟・第2回相談支援員研修会, 第3回勉強会「サイトメガロウイルス感染症と難聴について」, 主催, 勉強会講師, 新潟市, 新潟ふれ愛プラザ(オンライン同時配信, オンデマンド配信1か月間), 2023.3.18.
6. NPO法人きこえエール新潟・エールだより発行(計7号), 第22号(2022.4.27), 第23号(2022.6.22), 第24号(2022.8.19), 第25号(2022.9.26), 第26号(2022.11.11), 第27号(2023.2.3), 第28号(2023.3.24).

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本言語聴覚士協会(国際部員), 日本教育オーディオロジー研究協議会(北陸地区評議員), きこえエール新潟(理事)

5) その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度～2021年度(2023年度まで延長), 基盤研究(C), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査, 研究代表者: 栗原桂・研究分担者: 泉修司・廣田栄子・石上和男.
2. 2022年度～2024年度, 基盤研究(C), 両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を伸ばす取り組み-LENAシステムの活用, 研究代表者: 栗原桂.

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県医歯学総合研究科(医学系), 客員研究員(小児難聴・人工内耳), 2022.4.1-2023.3.31.
2. NPO法人きこえエール新潟, 理事, 2022.6.29-2023.6.29.

6) 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会(連携学対応部会長), 入試委員会, 国際交流センター運営委員会(広報部会), 言語発達支援センター

**氏名: 佐藤 卓也**

1) 研究題目 高次脳機能障害の自動車運転再開支援, 失語症者の自動車運転再開支援, 自動車運転再開支援の連携

2) 論文

1. 佐藤卓也. 自動車運転再開支援リハビリテーションの現状と実際: 新潟リハビリテーション病院の取り組みと新潟県の現状. 言語聴覚研究(協力学術団体). (印刷中)(査読なし)
2. 佐藤卓也. 高次脳機能障害者の自動車運転: 運転行動上の特徴「失語症者の運転上の特徴」. 高次脳機能研究(学術協力団体). (印刷中)(査読なし)

3) 学会等研究発表

1. 佐藤卓也. 自動車運転再開支援リハビリテーションの現状と実際: 新潟リハビリテーション病院の取り組みと新潟県の現状. 第23回日本言語聴覚学会(新潟市), 2022.6.24-6.25. 【シンポジウム】
2. 佐藤卓也. 高次脳機能障害者の自動車運転: 運転行動上の特徴「失語症者の運転上の特徴」. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会(山形市), 2022.12.2-12.3. 【シンポジウム】

3. 佐藤卓也, 大平弘樹, 崎村陽子. 臨時適性検査にて運転再開となった一例. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会(山形市), 2022.12.2-12.3.
4. 佐藤卓也. 運転再開支援講習改定後の運転支援講習の現状(アンケート調査). 第19回障害と自動車運転に関する研究会(聖籠町), 2022.10.22. 【一般講演】

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本神経心理学会, 日本安全運転医療学会(評議員), 日本言語聴覚士協会, 新潟神経心理懇話会(世話人), 障害と自動車運転に関する研究会(世話人・代表事務局)
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本言語聴覚士協会, 第23回日本言語聴覚学会, 実行委員長, 新潟市, 2022.6.24-6.25, 2020.12.5-2022.12.31.
  2. 障害と自動車運転に関する研究会, 第18回障害と自動車運転に関する研究会, 代表事務局(実行委員長), WEB, 2022.5.21, 2022.3.1-6.30.
  3. 障害と自動車運転に関する研究会, 第19回障害と自動車運転に関する研究会, 代表事務局(実行委員長), WEB, 2022.10.22, 2022.7.1-10.31.
  4. 新潟県リハビリテーション専門職協議会, 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 実行委員, 新潟市, 2022.12.10-12.11, 2021.9.15-2022.12.27.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本高次脳機能障害学会, Brain Function Test委員会 運転に関する神経心理学的評価法検討小委員会, 委員, 山形市, 2022.12.1, 2019.11.27-2022.12.3.
  2. 日本安全運転医療学会, 編集委員会, 委員
  3. 日本安全運転医療学会, 第6回日本安全運転医療学会 一般演題VI座長

#### 5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 令和4年度高次脳機能障害に係る医療・保健・福祉関係職員研修会, 運転再開支援の実際について新潟県の現状, 講師, 新潟県精神保健福祉センター, 医療関係者・保健福祉関係者・行政職員・ほか高次脳機能障害者の支援に携わる者, WEB, 2023.3.4, 2023.3.13-3.24. (オンデマンド)
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 新潟市・新潟医療福祉大学社会福祉学部, 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 助言者, 新潟市豊栄地区公民館, 2023.2.10.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 

新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会(委員), 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会(新潟県災害福祉支援チーム員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 

新潟県言語聴覚士会(理事・副会長・学術局長), 新潟県リハビリテーション専門職協議会(委員), 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会(委員)

#### 6 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 

臨床神経心理士(2022.7.12)

#### 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 教務委員会, 就職センター運営委員会

#### 氏名: 大湊 麗

- 1 研究題目 口唇口蓋裂の言語管理に関する研究
- 2 論文
  1. 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野要, 宮田昌

幸, 小林正治, 齋藤功, 高木律男, 富原圭. 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討－口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて－. 日本口蓋裂学会雑誌. 2022 ; 47 (2) : 20-29.

2. 結城龍太郎, 児玉泰光, Salazar ARE, 大湊麗, 永井孝宏, 山田茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男. 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の5 year olds' indexでの評価－軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響－. 日本口蓋裂学会雑誌, 2022 ; 47 (3) : 200-209.
3. Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Kobayashi R, Ichikawa K, Nihara J, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R. Occulusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: A comparison between three different surgical protocol. Cleft palate craniofac J, 2022.

### 3 学会等研究発表

1. 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 濃野要, 飯田明彦, 高木律男, 富原圭. 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と幼児期前期の言語機能の関連. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
2. 竹内涼子, 大湊麗, 新美奏恵, 丹原惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤功, 小林正治. 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と構音機能に及ぼす影響の検討. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
3. 児玉泰光, 結城龍太郎, 小林亮太, 山田茜, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原惇, 齋藤功, 富原圭. 三次元デジタル画像を用いた片側性唇顎口蓋裂児の咬合評価に関する予備的研究. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
4. Ominato R, Ono K, Nohno K, Kodama Y, Iida A, Takagi R, Tomihara K. The relationship between backed articulation and the posterior edge of the residual cleft in two-stage palatoplasty. CLEFT2022 (Edinburgh), 2022.7.11-7.15.
5. Takauchi R, Ominato R, Niimi K, Nihara J, Takeyama M, Saito I, Kobayashi T. Impact of orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. KAMPRS2022 (Seoul), 2022.10.28-10.29.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本口蓋裂学会 (認定師認定委員), 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本小児口腔外科学会, 新潟歯学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本口蓋裂学会 (口唇裂・口蓋裂認定師 (音声言語分野))

### 5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 2019年度, 科研費若手研究, 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討－長期言語成績による分析－, 大湊麗, 研究代表者.
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 優秀ポスター賞, 2022.6.30.
- 3) 学外兼務講師等
  1. 新潟大学歯学部, 非常勤講師, 「口腔外科学 I」「チームアプローチによる口唇口蓋裂治療 I」「摂食嚥下機能評価支援学特論」, 2022.4-2023.3.
  2. 新潟大学医歯学総合病院, 2022.4-2023.3.
  3. 新潟県立精神医療センター, 2022.4-2023.3.

**氏名：伊藤 さゆり**

- 1 研究題目 本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発，進行性失語の訪問リハビリテーション
- 2 学会等研究発表
  1. 伊藤さゆり，田村俊暁，佐藤厚，辰巳寛. 言語聴覚士における失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の受講効果. 第23回日本言語聴覚学会（新潟），2022.6.24-6.25.
  2. 伊藤さゆり，廣谷祐一，伊関千書，鈴木匡子. 進行性非流暢性失語の書字障害の特徴. 第46回日本高次脳機能障害学会学術総会（山形），2022.12.2-12.3.
- 3 学会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 2022年度第1回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション技法Ⅰ，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟市，2022.7.24.
    2. 2022年度第2回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟市，2022.8.14.
    3. 2022年度第3回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟市，2022.10.19.
    4. 2022年度第6回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟市，2022.12.18.
  - 2) 所属学会 日本言語聴覚士協会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本訪問リハビリテーション協会，新潟医療福祉学会，日本手話学会
- 4 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 東区失語症友の会つくしの会，失語症者支援と学生指導，はなみずきコミュニティハウス，2019.11-現在
    2. 新潟県失語症者向け意思疎通支援指導者養成研修，講習会の運営，推進委員，新潟市，2020.4.1-現在
    3. 山形県言語聴覚士学会 日本言語聴覚学会 in やまがた学会実行運営委員，2021.10-現在
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 令和3年度，若手研究，本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発，伊藤さゆり
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 手話部 顧問
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 国立民族学博物館文化資源共同研究員，2021.5.19-現在
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター委員会，図書館・学習支援委員会

**氏名：谷 麻美**

- 1 研究題目 回路個性の成長と機能の解析
- 2 学会等研究発表
  1. 谷麻美，吉岡豊. 新潟医療福祉大学言語発達支援センターの利用児・者の統計的観察. 第22回新潟医療福祉学会学術集会，2022.10.29.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本小児精神神経学会，新潟医療福祉学会，日本発達障害支援システム学会
- 4 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 言語発達支援センター，発達支援，研究員，新潟医療福祉大学，2022年から現在

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本語聴覚士協会、新潟県言語聴覚士会、子どもの発達支援を考えるSTの会

5 学内委員会活動 FD・SD推進委員

**氏名：田村 俊暁**

1 研究題目 神経筋疾患患者の発声発語障害に関する研究（成人発声発語障害学）、神経筋疾患患者の摂食嚥下障害に関する研究（嚥下障害学）

2 論文

1. 田中康博, 南都智紀, 辰巳寛, 田村俊暁. アカデミックボイコットと健康. 新潟医療福祉学会誌. 2022年; 22(2): 40-48.
2. 田中康博, 田中まゆ, 辰巳寛, 田村俊暁, 山本正彦. 言語聴覚士におけるアカデミックスパムの現状－認知度調査と事例検討－. 保健医療学雑誌. 2022年; 13(2): 81-91.
3. 大石如香, 菅井努, 田村俊暁. 心原性脳塞栓後に表記不能型ジャルゴンを呈し伝導失語に収束した1例. 音声言語医学. 2022年; 63(2): 103-114.

3 学会等研究発表

1. 今井滉太, 佐藤厚, 渡辺慶大, 田村俊暁, 丸山航輝, 大口陽子, 佐藤陽一, 大西康史, 米岡有一郎. 姿勢調整と干渉波刺激を併用した嚥下リハビリテーションを経て早期に常食摂取が可能となったWallenberg症候群による嚥下障害の1例. 第23回日本語聴覚学会（新潟）, 2022.6.24-6.25.
2. 丸山航輝, 田村俊暁, 渡辺慶大, 今井滉太, 加藤祐介, 寺島健史. 顎口腔ジストニア話者の感覚トリックによる発話変化の定量的解析. 第23回日本語聴覚学会（新潟）, 2022.6.24-6.25.
3. 渡辺慶大, 今井滉太, 丸山航輝, 今井滉太, 田村俊暁, 渡部達範. 大腿骨近位部骨折患者における身体的フレイルと術前嚥下障害の関連. 第23回日本語聴覚学会（新潟）, 2022.6.24-6.25.
4. 伊藤さゆり, 田村俊暁, 佐藤厚, 辰巳寛. 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会を言語聴覚士が受講した際の効果について. 第23回日本語聴覚学会（新潟）, 2022.6.24-6.25.
5. 田村俊暁. 重度神経難病に伴う発声発語障害に対するAACアプローチの幅を広げる. 第23回日本語聴覚学会（新潟）, 2022.6.24-6.25. 【シンポジウム】
6. 阿志賀大和, 田村俊暁, 倉智雅子. 発声時の舌突出によるnasalance scoreへの影響. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（千葉）, 2022.9.23-9.24.
7. 田村俊暁, 佐藤克郎. 若年日本語話者における音節の反復速度と音読時の話速度の関連性：pilot study. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2022.10.29.
8. 田村俊暁, 荻安誠. 話速度変化による接近音/y/の第2フォルマント移動率の違い. 第67回日本音声言語医学会総会・学術講演会（京都）, 2022.11.24-11.25.
9. 田村俊暁. 失語症者向け意思疎通支援者養成事業—失語症のある方が住みやすい街づくりに向けて—. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（新潟）, 2022.12.10. 【教育講演】

4 学会活動

1) 所属学会 日本音声言語医学会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本高次脳機能障害学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本語聴覚士協会, 第23回日本語聴覚学会, 実行委員会（共済企業担当）, 新潟市, 2022.6.24-6.25・2021.4-2022.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本語聴覚士協会, 第23回日本語聴覚学会, 座長（成人発声発語）, 新潟市, 2022.6.24.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, 失語症のある人の日常生活とニーズ等, 司会・実



- 行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.7.24.
2. 第2回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション技法Ⅰ等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.8.14.
  3. 第3回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，外出同行支援実習等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.10.19.
  4. 第4回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，派遣事業と意思疎通支援者の業務等，講師・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.11.13.
  5. 第5回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.12.4.
  6. 第6回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2022.12.18.
  7. 2022年度新潟県栄養士会生涯教育研修会，嚥下障害について，講師，（公社）新潟県栄養士会，新潟県栄養士会会員，オンデマンド配信，2022.10.13（木）-10.19（水）
  8. 新潟県言語聴覚士会研修会，研究方法論，講師，新潟県言語聴覚士会，言語聴覚士，新潟市，2022.11.19（土）
  9. 新潟県言語聴覚士会研修会，臨床マネジメントと職業倫理，講師，新潟県言語聴覚士会，言語聴覚士，新潟市，2022.11.19（土）
  10. 発声発語障害スペシャルセミナー，口腔構音器官の筋力をどう解釈する？，講師，Ziegler博士来日記念講演プロジェクト委員会，言語聴覚士，ウインクあいち，2023.1.28.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 厚生労働省，失語症者向け意思疎通支援者養成事業，講師および県庁との連絡係，新潟市，2022.4.1-2023.3.31.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 一般社団法人新潟県言語聴覚士会（理事），一般社団法人新潟県言語聴覚士会（財務部長），一般社団法人新潟県言語聴覚士会（失語症者向け意思疎通支援事業推進委員長），一般社団法人日本言語聴覚士協会（国際部協力員）
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞，学位取得，資格取得  
博士（保健学）（2023.3.17），高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラムMTPSSE認定士（2022.8.22）
  - 2) 学外兼務講師等  
1. かみやま親子歯科クリニック，言語聴覚士，2022.4-2023.3.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会，広報委員会，科研費対策委員会

(4) 義肢装具自立支援学科

氏名：東江 由起夫

- 1 研究題目 1) 3Dデジタル機器を活用した義肢装具士養成教育プログラムの構築および実用化に向けた研究, 2) 客観的機器を用いた義肢装具適合評価研究, 3) 3D Scanner/3D Printerを活用した脳卒中片麻痺者の短下肢装具ならびに下肢切断者の義足ソケットの実用化に向けた研究など.
- 2 著書
  1. 東江由起夫, 野坂利也, 須田裕紀. 「坐骨収納型ソケットの実技セミナー ライナー編 - 正確な知識と技術を習得するために-」セミナーテキスト. 公益社団法人 日本義肢装具士協会研修委員会 南日本支部. 2022.9.17.
- 3 論文
  1. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘. 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉学会誌. 2023.11; 第23巻第2号: 現在印刷中 (受理日 2023.2.20) (査読有)
  2. Go T, Agarie Y, Suda H, Maeda Y, Katsuhira J, Ehara Y. Effect of trim line on stiffness in dorsi- and plantarflexion of posterior leaf spring ankle-foot orthoses. Journal of physical therapy science. 2022; 34(4): 284-289. (review)
  3. 東江由起夫, 須田裕紀. 義肢装具の製作の進化. CLINICAL REHABILITATION臨時増刊号第31巻7号, 医歯薬出版株式会社; 2022.6: 718-724.
- 4 報告書
  1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2022 (研究代表者)
  2. 郷貴博, 東江由起夫, 勝平純司, 須田裕紀. 研究基盤 (C), アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響-ソケット内転角について-, 2018-2021, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
  1. 東江由起夫. 義肢に関するこれまでの知見・エビデンスについて. 日本リハビリテーション医学会・第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜市, 2022.6.25.
  2. 東江由起夫, 村山稔, 秋場周, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  3. 佐藤未希, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 東江由起夫, 他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み-第2報 スキャニングから身体適合についての報告-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  4. 前田雄, 中村隆, 須田裕紀, 郷貴博, 村山稔, 佐藤未希, 東江由起夫, 飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 1報 従来製法と3D製法におけるPO業務-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  5. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄, 村山稔, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  6. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 補装具製作における3次元デジタル造形技術に関する実態調査. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  7. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博. 3Dプリンタ製短下肢装具の実用化に向けた臨床評価. LIFE2022 (札幌), 2022.8.19-8.21.
  8. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 学生アンケートによる3D製作法の利点と課題-. 第38回日本義肢装具学会学術大会. 2022.10.8-10.9.
  9. 大久保美里, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 前田雄, 東江由起夫.

トポロジー最適化を適用した短下肢装具装着時の歩行評価. 第38回日本義肢装具学会学術大会(新潟市), 2022.10.8-10.9.

10. 橋本詩温, 角田綸, 松下祥大, 八代瑞歩, 佐藤楓恋, 郷貴博, 佐藤未希, 東江由起夫, 大徳尚司. 立位による弾性ストッキングの影響. 第38回日本義肢装具学会学術大会(新潟市), 2022.10.8-10.9.

11. 大徳尚司, 佐藤未希, 東江由起夫. 下肢切断者の義足装着時の歩行と脱着による大腿動脈血流機能の検討. 第63回日本脈管学会(横浜市), 2022.10.27-10.29.

## 6 学会活動

1) 所属学会 日本義肢装具士協会(副会長), 日本義肢装具学会(理事), 国際義肢装具協会(ISPO), 日本リハビリテーション工学協会, 臨床歩行分析研究会, 臨床バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県難病支援ネットワーク, 日本義肢装具教育者連絡協議会

### 2) 学術集会の主催

1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, 実行委員長, 新潟市, 2022.10.8-10.9.

### 3) 学会等でのその他の活動

1. 日本義肢装具学会, 用語委員会, 担当理事, WEB, 4回

2. 義肢装具士協会, 義肢装具士養成教育委員会, 委員, WEB, 3回

3. 日本義肢装具士協会, 専門義肢装具士認定制度(仮称)大腿義足WG, 委員長, WEB, 4回

4. 日本リハビリテーション医学会, 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会合同シンポジウム, 座長, 横浜市, 2022.6.25.

5. ライフサポート学会, LIFE2022オーガナイザーセッション【OS-20 義肢装具の適合性評価技術】, 座長, 札幌市, 2022.8.20.

## 7 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度南日本支部研修セミナー, 坐骨収納型ソケットの実技セミナー ライナー編 - 正確な知識と技術を習得するために-, 講師, 公益社団法人日本義肢装具士協会, 義肢装具士, 熊本総合医療リハビリテーション学院, 2022.9.19-9.21.

### 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

義肢装具士国家試験委員会(委員)(厚生労働省主管 テクノエイド協会管理運営), 新潟県更生相談所 更生相談判定(アドバイザー)

### 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本義肢装具士協会(副会長)

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費基盤研究(C), 3D・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究, 研究代表者

2. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究分担者

3. 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 研究代分担

4. 2022年度, ニッポー株式会社共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具の実用化に向けた研究, 研究代表者

### 2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院 自然科学研究科「人間支援科学特別講義Ⅱ」講師 2022.4-7.

9 学内委員会活動 総務会, 教員選考委員会, 表彰審査会, 地域連携推進センター運営委員会(副委員長), 新潟県連携教育推進研究センター運営委員会, 3D技術研究開発センター(代表)

**氏名：阿部 薫**

- 1 研究題目 靴医学を基礎とした一般靴の開発・改良に関する研究 一特に女性用靴・健康増進用靴・高齢者用靴に注目して一
- 2 著書
  1. 阿部薫, 子どもの足の解剖. 子どものスキンケア・ヘアケア・フットケア (高山かおる編). 学研メディカル秀潤社; 2022: 124-129.
- 3 論文
  1. 蓮野敢, 阿部薫, 岡部有純, 東海林藍. 3次元計測によるヒール高変化時の前足部に対する踏まず部の捻じれ変形の解析. 靴の医学. 2021; 35(2): 25-30. (査読あり)
  2. 東海林藍, 阿部薫, 中林功一, 岡部有純, 蓮野敢. 軽度変形性股関節症による脚長差と後脛骨筋腱機能不全に対するパッド調整. 靴の医学. 2021; 35(2): 54-57. (査読あり)
  3. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. フットプリントを用いた異なる扁平足評価基準の比較 ~各基準の効果的な活用方法の検討~. 靴の医学. 2021; 35(2): 102-108. (査読あり)
  4. 阿部薫. 大学における義肢装具士への靴教育. 靴の医学. 2021; 35(2): 119-123.
  5. Okabe A, Abe K, Hasuno K, Yasumatsu M, Shoji A. Differences in and characteristics of four criteria for assessment of flatfoot. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 22(1): 32-40. (査読あり)
  6. 蓮野敢, 阿部薫, 岡部有純, 安松美咲, 東海林藍. ヒール靴におけるヒール高変化時の踵幅の変化の検討 一3次元足形計測器を用いた検討一. 日本整形靴技術協会雑誌. 2022; 7: 1-4. (査読あり)
  7. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. 足型計測値からアーチインデックスを算出するための重回帰分析による検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2022; 7: 5-8. (査読あり)
  8. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 安松美咲, 東海林藍. 若年女性における靴の重量感覚に関する検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2022; 7: 13-16. (査読あり)
  9. 阿部薫. CARE: SOKU (ケウソク) の開発と機能. POアカデミージャーナル. 2023; 30(2): 136-138.
- 4 学会等研究発表
  1. 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 東海林藍. マルフアン症候群の手指変形に対する動的手関節装具の掌背屈角度調整機構の工夫. 第28回日本義肢装具士協会学会学術大会 (岡山県岡山市), 2022.7.9-7.10.
  2. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 東海林藍. 体格指標と足型寸法の関係性の検討. 第28回日本義肢装具士協会学会学術大会 (岡山県岡山市), 2022.7.9-7.10.
  3. 岡部咲樹, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 東海林藍. スポーツ傷害時の初期選択が復帰過程に与える影響 一装具治療の適応と効果一. 第28回日本義肢装具士協会学会学術大会 (岡山県岡山市), 2022.7.9-7.10.
  4. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 東海林藍. 若年男性と若年女性の足型形態の比較検討 一足囲・足幅に注目して一. 第28回日本義肢装具士協会学会学術大会 (岡山県岡山市), 2022.7.9-7.10.
  5. 阿部薫, 岡部有純, 木村克敏, 蓮野敢, 安松美咲, 東海林藍. リモート授業による上級シューフィッター養成講座の教育的効果 一インソール設計実習における講師と受講者の比較一. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.
  6. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲. 糖尿病の足に関する健康づくり講座の参加者におけるアンケート調査 一フットケアの観点から足爪と皮膚に関する分析一. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.
  7. 蓮野敢, 阿部薫, 岡部有純, 安松美咲, 東海林藍. ヒール高変化による靴の外側トプラインの位置変化の検討 ~3次元足型計測器を用いた解析~. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.
  8. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 安松美咲, 東海林藍. フットプリントを用いた異なる扁平足判断基準間における互換性の検討. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.
  9. 安松美咲, 阿部薫, 岡部有純, 蓮野敢, 東海林藍. 足型計測値からアーチインデックスを算出するための重回帰分析による検討. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.

10. 阿部遥花, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 東海林藍. 静止立位における異なるヒール高のハイヒール靴使用時の比較 — 前足部および後足部の荷重比・接触面積・COP軌跡長 —. 第36回日本靴医学会学術集会 (神奈川県鎌倉市), 2022.9.2-9.3.
11. 東海林藍, 阿部薫. 健常高齢者とグループホーム入居者における足爪状態の比較. 第30回日本介護福祉学会大会 (Web開催), 2022.10.9.
12. 谷川奈々, Huyen Tran Thi Thanh, 瀧口徹, 阿部薫, 神田賢, 鈴木健司. 装具使用者を対象とした患者立脚型アウトカム評価に関する文献研究. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県新潟市), 2022.10.29.
13. 阿部薫. 足病患者の靴とインソール. 第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 (奈良県奈良市), 2023.2.11-2.12. 【特別講演】
14. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢. 異なる足爪状態による爪剥離事故の2例 — 肥厚し爪表面が毛羽立った状態と伸びすぎた爪の例 —. 第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 (奈良県奈良市), 2023.2.11-2.12.
15. 蓮野敢, 阿部薫, 中林功一, 瀧澤茂秋, 藤田和夫, 小出和美, 岡部有純, 安松美咲, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. 地域における糖尿病の足病変予防に特化した講演会および関連活動の報告 — 多職種連携による展開 —. 第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 (奈良県奈良市), 2023.2.11-2.12.
16. 阿部薫. 白熱教室—ゼミ形式で現場の問題を解決—. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26. 【特別講演】
17. 阿部薫, 木村克敏, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. 上級シューフィッター養成講座のインソール設計実習におけるリモート式と対面式の教育効果の検討. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.
18. 阿部遥花, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 佐藤葵, 東海林藍. 静止立位時の靴ヒール高変化によるCOP軌跡長の検討. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.
19. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. ヒール高を変化させたときの踵形状の変化の検討 — ヒールパンプスの靴ラストに反映させるために —. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.
20. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 安松美咲, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. 若年女性における靴の重量感覚に関する検討. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.
21. 佐藤葵, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 阿部遥花, 東海林藍. 快適速度歩行時の靴ヒール高変化による時間因子と距離因子の変化. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.
22. 蓮野敢, 阿部薫, 岡部有純, 安松美咲, 阿部遥花, 佐藤葵, 東海林藍. ヒール高変化による靴の踵幅の変化の検討 ~ 3次元足型計測器を用いた解析 ~. 第18回日本整形靴技術協会学術集会 (静岡県静岡市), 2023.2.25-2.26.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形靴技術協会 (会長) (理事) (学会誌編集委員長), 日本靴医学会 (評議員) (AWARD 選考委員) (発展推進委員), 日本フットケア足病医学会 (教育・研修委員), 日本介護福祉学会 (評議員), 日本介護学会, バイオメカニズム学会, 臨床歩行分析研究会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本足育協会, 臨床フットケア研究会 (幹事), International Society for Prosthetics and Orthotics, American Academy of Orthotists and Prosthetists, Footwear Biomechanics Group: a technical group of the International Society of Biomechanics.
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, 実行委員, 2022.4.1-10.9.
  2. 日本整形靴技術協会, 第18回日本整形靴技術協会学術大会, 特別企画委員, 2022.12.14-2023.2.26.

3. 日本靴医学会, 第38回日本靴医学会学術集会, 大会長(準備活動), 2022.9.2-2023.3.31.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本靴医学会, 第36回日本靴医学会学術集会, パネルディスカッション座長, 神奈川県鎌倉市, 2022.9.2-9.3.
2. 日本靴医学会, 第36回日本靴医学会学術集会, 特別企画座談会座長, 神奈川県鎌倉市, 2022.9.2-9.3.
3. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, 共催特別講演(日本靴医学会合同セッション)座長, 新潟県新潟市, 2022.10.8-10.9.
4. 日本整形靴技術協会, 第18回日本整形靴技術協会学術大会, シンポジウム座長, 静岡県静岡市, 2023.2.25-2.26.
5. 日本整形靴技術協会, 第18回日本整形靴技術協会学術大会, 運営事務局, 静岡県静岡市, 2023.2.25-2.26.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術1, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2022.7.14.
2. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術2, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2022.11.17.
3. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術3, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2023.3.16.
4. 健康づくり講座(糖尿病と足), 講師, 新潟県加茂市健康福祉課, 新潟県加茂市民, 新潟県加茂市商工会議所, 2022.6.4.
5. 健康づくり講座(糖尿病と足), 講師, 新潟県加茂市健康福祉課, 新潟県加茂市民, 新潟県加茂市中央コミュニティセンター, 2022.9.24.
6. 健康づくり講座(糖尿病と足), 講師, 新潟県加茂市健康福祉課, 新潟県加茂市民, 新潟県加茂市中央コミュニティセンター, 2023.3.25.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(第1回), 2022.4.25.
2. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(第2回), 2022.4.26.
3. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(第3回), 2022.4.27.
4. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(第4回), 2022.4.28.
5. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(第5回), 2022.4.29.
6. (行政) 広報誌掲載, 広報加茂5月号, 新潟県加茂市役所, 講演「ほんとうは怖い糖尿病」, 2022.5.15.
7. (地方) 新聞掲載, 新潟日報, 加茂市健康づくり講座で糖尿病と足の健康について講演, 2022.5.25.
8. (全国) テレビ出演, NHKテレビ総合, あさいち, かかとの骨とサンダルの選び方, 2022.6.13.
9. (全国) テレビ出演, NHKテレビ総合, あさいち, グルカサンダルを疲れなくて履く方法, 2022.6.23.
10. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再放送第1回), 2022.8.1.
11. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再放送第2回), 2022.8.2.
12. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再放送第3回), 2022.8.3.
13. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再放送第4回), 2022.8.4.
14. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再放送第5回), 2022.8.5.
15. (行政) 広報誌掲載, 広報加茂おしらせ版978号, 新潟県加茂市役所, 講演「ほんとうは怖い糖尿病」, 2022.9.1.
16. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再々放送第1回),

2022.10.10.

17. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再々放送第2回), 2022.10.11.

18. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再々放送第3回), 2022.10.12.

19. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再々放送第4回), 2022.10.13.

20. (全国) ラジオ出演, NHKラジオ第1, マイあさ, 靴と足のトラブル(再々放送第5回), 2022.10.14.

21. (全国) テレビ出演, NHKテレビ教育, すイエんサー, 走っていると靴ひもがほどける(2009年再放送), 2022.11.27.

22. (全国) テレビ出演, NHKテレビ教育, すイエんサー, 走っていると靴ひもがほどける(再放送), 2022.12.3.

23. (行政) 広報誌掲載, 広報加茂おしらせ版983号, 新潟県加茂市役所, 講演「ほんとうは怖い糖尿病」, 2023.3.25.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

一般社団法人 足と靴と健康協議会(理事), 台湾足鞋健康協會(榮譽顧問)

7 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

第6回日本整形靴技術協会雑誌最優秀論文賞(共著)(2022.4.1), 第1回日本靴医学会論文賞(共著)(2022.9.2), 日本義肢装具学会認定士(2023.1.15), 第7回日本整形靴技術協会雑誌最優秀論文賞(共著)(2023.2.25), 第18回日本整形靴技術協会学術大会優秀発表賞①(共同)(2023.2.26), 第18回日本整形靴技術協会学術大会優秀発表賞②(共同)(2023.2.26), 第18回日本整形靴技術協会学術大会大会長賞(共同)(2023.2.26), 第18回日本整形靴技術協会学術大会審査委員長賞(共同)(2023.2.26), 第18回日本整形靴技術協会学術大会協会長賞(共同)(2023.2.26)

8 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院入試広報委員会, 大学院教育研究環境委員会

**氏名: 江原 義弘**

1 研究題目 身体運動における発生筋張力, 関節間力, 消費エネルギーの計算に関する研究

2 論文

1. Akouetevi Aduayom-Ahego, Arayama M, Ehara Y. Prosthetic and orthotic students' perceptions on online courses during the COVID-19 pandemic in Japan. *Prosthetics and Orthotics International*, 2022; 46(3). (査読あり)
2. 郷貴博, 勝平純司, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 江原義弘, 3D-Scannerを用いた下腿切断端およびソケットの形状分析—コンプレッション値と断端長の関係性について. *日本義肢装具学会誌*. 2022; 38(3): 226-233. (査読あり)
3. Sato M, Katsuhira J, Kanda M, Ehara Y. Comparison of changes in thigh circumference during the menstrual cycle between female transfemoral amputees and non-amputee women-Examination of reliability and comparison of diurnal and day-to-day fluctuations. *Journal of Physical Therapy Science*. 2023; 35(4). (査読あり)
4. Chien-Hung Lai, Hong-Ji Luo, Ehara Y., Kaoru Abe. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2023; 22(2): 80-88. (査読あり)
5. Chien-Hung Lai1, Wen-Chieh Yang, Ehara Y. Effects of anterior ankle-foot orthoses and modified custom-made hinged orthoses on the walking of patients with stroke. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2023; 23(2): (in press). (査読あり)

6. 江原義弘, 前田雄, 阿部薫, 須田裕紀. *Grade Point Average* 再考. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23(2). (印刷中) (査読あり)
- 3 学会等研究発表
    1. 鈴木啓太, 佐々木穂果, 江原義弘, 肥田野篤史. 車椅子バスケットボールと義肢装具士. 日本義肢装具学会学術大会 (新潟), 2022.10.9.
    2. 佐々木穂果, 江原義弘. 現在のパラスポーツにおける用具の購入先と活動費用の捻出方法について. 日本義肢装具学会学術大会 (新潟), 2022.10.9.
    3. 古田島隆之介, 江原義弘. 3Dスキャナーを用いた新たな脚長差計測法の開発. 第42回臨床歩行分析研究会定例会 (オンライン), 2023.3.5.
    4. 藤澤壮志, 佐々木穂果, 江原義弘. 抱っこ・おんぶ時の歩行における腰部負担の比較. 第42回臨床歩行分析研究会定例会 (オンライン), 2023.3.5.
  - 4 学会活動
    - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具学会 (評議委員), バイオメカニズム学会 (会長), 臨床歩行分析研究会 (副会長), ISPO 国際義肢装具士協会 (フェロー), 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本靴医学会
    - 2) 学会等でのその他の活動
      1. *Gait & Posture* 誌, 編集委員, 査読
      2. *Prosthetics & Orthotics International* 誌 査読
      3. バイオメカニズム学会, 歩行データベース構築部会
  - 5 社会活動
    - 1) 公開講座・講演会等
      1. 座談会「義肢装具のこれまで, そしてこれからを熱く語る!」, 江原義弘, 東江由起夫, 才藤栄一, 野坂利也, 浅見豊子, *CLINICAL REHABILITATION* 臨時増刊. 2022; 31(7): 612-620.
      2. 歩行解析の進化. 江原義弘. *CLINICAL REHABILITATION* 臨時増刊, 2022; 31(7): 711-717.
      3. 表面筋電計を活用するための動作分析セミナー, 江原義弘, 埜真太郎, インターリハ株式会社主催 (オンライン); 2022.7.9-7.10.
      4. 基礎バイオメカニクスセミナー (初級編) 講師, 江原義弘 他, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催 (オンライン); 2022.7.23-7.24.
      5. 基礎バイオメカニクスセミナー (中級編) 講師, 江原義弘 他, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催 (オンライン); 2022.8.6-8.7.
      6. 義肢装具の臨床に役立つ歩行分析の基礎, 江原義弘 他, 日本義肢装具学会学術大会教育講演, 新潟; 2022.10.9.
  - 6 その他の教育研究活動
    - 1) 学内部活動の実績
      1. VICON 部顧問, VICON 操作法指導

**氏名：真柄 彰**

- 1 研究題目 保健医療福祉連携教育, 仮想事例データベースの開発, 脊髄損傷データベースの分析, 脊髄損傷における深部静脈血栓症の発生要因, 脳卒中リハビリテーション
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会 (代議員, 専門医, 臨床認定医, 指導医), 日本整形外科学会 (専門医), 日本義肢装具学会 (社員, 功労会員, 専門医), 日本脊髄障害医学会, 日本運動器科学会 (代議員), 日本保健医療福祉連携教育学会 (監事), 新潟医療福祉学会, 新潟整形外科研究会, 新潟リハビリテーション研究会 (役員)
  - 2) 学会等でのその他の活動



1. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員, 横浜市, 2022.6.23-6.25.
  2. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般口演座長, 横浜市, 2022.6.24.
  3. 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 査読, 2023.2.
  4. 日本保健医療福祉連携教育学会査読委員
- 3 社会活動
- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟リハビリテーション研究会役員
- 4 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
    1. 新潟リハビリテーション大学非常勤講師, リハビリテーション医学, 2022年度
    2. 新潟県立燕労災病院非常勤医師, リハビリテーション科, 2022年度
- 5 学内委員会活動 新潟医療福祉大学診療所長

**氏名：神田 賢**

- 1 研究題目 腰痛・肩こりなど生活習慣病の予防に関する研究(予防医学), 脊椎後弯変形のある対象者への体幹筋持久力評価として独自のテストの考案および評価法としての確立(予防医学), 職業性腰痛・職業性頸肩腕愁訴など, 職業関連疾患の予防に関する研究(産業医学)
- 2 著書
  1. 畠昌史, 藤野雄次, 松田雅弘, 田屋雅信, 神田賢, PT臨床評価ガイド 第1版 東京:医学書院;2022年: 324-332
- 3 論文
  1. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 古西勇, 渡邊慶, 佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. Journal of Spine Research. 2022; 13: 860-867 (査読有)
  2. Kanda M, Kitamura T, Konish I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular Circulation of the Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions on Standing. Oxygen Transport to Tissue XLIII.: 405-9, 2022 (review)
  3. Kanda M, Kitamura T, Konish I, Watanabe K, Sato N. The Intramuscular Circulation Is Affected by Neck and Shoulder Pain. Oxygen Transport to Tissue XLIII.: 399-403, 2022 (review)
  4. 北村拓也, 神田賢, 渡邊慶, 佐藤成登志. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法を中心とした理学療法効果と症状改善が期待できる身体的特性. Journal of Spine Research. 2022; 13: 881-889 (査読有)
  5. Sato N, Kanda M, Konish I. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese) -Classifying into Different Age Group. J. Community Medicine and Public Health. 6(03): 1-7, 2022 (review)
  6. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 渡邊慶, 佐藤成登志. 腰痛の有無における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-体幹伸展動作とこれだけ体操での比較-. Journal of Spine Research. (印刷中) (査読有)
  7. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 脊柱後弯変形を有する慢性腰痛患者の労作性腰痛の病態. Medical Science Digest. 48(5), 157-159, 2022 (査読あり)
  8. Sato M, Katsuhira J, Kanda M, Ehara Y. Comparison of changes in thigh circumference during the menstrual cycle between female transfemoral amputees and non-amputee females:examination of the reliability and comparison of diurnal and day-to-day fluctuations. J Phy. Ther. Sci. 35: 276-280, 2023 (review)
  9. 須田裕紀, 神田賢, 前田雄, 東江由起夫. 発達障害に対する理解と義肢装具士【義肢装具士養成校における学生支援の取り組み. POアカデミージャーナル (0919-8776) 30巻3号 Page182-185 (2022.12) (査読有)

読あり)

#### 4 報告書

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者

#### 5 学会等研究発表

1. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 通いの場に参加する女性高齢者の身体的特徴および身体機能の関連および比較-異なる年齢層による特徴に着目して-. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン) (新潟), 2022.10.29.
2. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木), 2022.11.19.
3. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
4. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 地域在住高齢者の身体的特徴および身体機能の比較-通いの場の女性参加者に着目して-. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 2022.12.10-12.11.新潟 (新潟)
5. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on standing-Comparison between subjects with and without LBP-8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
6. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Yamamoto N, Watanabe K. Effect of Exercise Therapy with Education for Elderly Patients with Adult Spinal Deformity -Pain and numbness improve.8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
7. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 重度成人脊柱変形患者における自覚症状別の運動療法効果-教育・管理から自己ケアへ-. 第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
8. 北村拓也, 金子巧, 若菜翔哉, 湊屋卓望, 神田賢, 佐藤成登志. 6分間歩行テストにおけるコース長の違い-30mと10m比較-. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.11.

#### 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士学会, 日本運動器疼痛学会, 日本腰痛学会, 日本マイオチューニングアプローチ学会, 新潟医療福祉学会, APTA, CPTA, KEOMT

#### 7 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 厚生労働省慢性疼痛事業第1回新潟県慢性疼痛研修会. 講師, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2022.7.31.
2. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2023.1.29.
3. 新潟市秋葉区役所健康福祉課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市秋葉区, 2022.12.14.
4. 新潟市秋葉区役所健康福祉課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市秋葉区, 2022.12.14.
5. 北青年会議所11月例会事業「ココロとカラダの健康」, 新潟市北区, 2022.11.25.
6. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「肩こり解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2022.7.23.
7. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「腰痛解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2022.9.3.
8. 臨床実習指導者講習会, 世話人, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 看護リハビリ新潟保健医療専門学校 (新潟市), 2022.5.7-5.8.

##### 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

日本理学療法士協会, 臨床実習指導者講習会 世話人

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤C，骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，神田賢，研究代表者
2. 2020年度，科研費基盤C，看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証，佐藤成登志，研究分担者
3. 2022年度，県委託事業，介護予防における大学との連携事業，佐藤成登志，古西勇，神田賢，研究分担者

### 2) 受賞，学位取得，資格取得

日本腰痛学会優秀論文賞（2022.10.21）

## 9 学内委員会活動 教務委員会，国際交流委員会，学習支援委員会，メンタルサポート委員，ロコモ予防研究センター

## 氏名：郷 貴博

### 1 研究題目 大腿義足歩行に関する研究，3D機器を用いた下腿義足ソケット設計・評価に関する研究，3D機器を用いた短下肢装具開発に関する研究

### 2 論文

1. 佐藤未希，神田賢，東江由起夫，郷貴博，江原義弘，女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉学会誌. 2023年；23(2)：現在印刷中（受理日2023.2.20）（査読あり）
2. Go T, Agarie Y, Suda H, Maeda Y, Katsuhira J, Ehara Y. Effect of trim line on stiffness in dorsi- and plantarflexion of posterior leaf spring ankle-foot orthoses. Journal of physical therapy science. 2022; 34(4): 284-289. (review)
3. 郷貴博. 義肢装具士養成校の紹介 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部義肢装具自立学科. 日本義肢協会誌. 2022年；129：22-23.
4. 須田裕紀，中村隆，東江由起夫，飛松好子，村山稔，前田雄，郷貴博，佐藤未希. 令和4年度 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 -義肢装具製作における3D技術の応用，従来製法と3D技術を用いた製作方法の比較-. 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）報告書

### 3 報告書

1. 郷貴博，東江由起夫，勝平純司，須田裕紀. 研究基盤（C），アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響-ソケット内転角について-，2018-2021，研究代表者

### 4 学会等研究発表

1. 佐藤未希，郷貴博，前田雄，須田裕紀，村山稔，東江由起夫，他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み-第2報 スキャニングから身体適合についての報告-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
2. 東江由起夫，村山稔，秋場周，郷貴博，前田雄，須田裕紀，佐藤未希，他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
3. 前田雄，中村隆，須田裕紀，郷貴博，村山稔，佐藤未希，東江由起夫，飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 -1報 従来製法と3D製法におけるPO業務-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
4. 須田裕紀，中村隆，東江由起夫，飛松好子，前田雄，村山稔，郷貴博，佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 -2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
5. 郷貴博，東江由起夫，前田雄，須田裕紀，村山稔，佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み -学生アンケートによる3D製法法の利点と課題-. 第38回日本義肢装具学会学術大

- 会（新潟市），2022.10.8-10.9.
6. 橋本詩温，角田綸，松下祥大，八代瑞歩，佐藤楓恋，郷貴博，佐藤未希，東江由起夫，大徳尚司. 立位による弾性ストッキングの影響. 第38回日本義肢装具学会学術大会（新潟市），2022.10.8-10.9.
  7. 藤澤壮志，本間大誠，郷貴博，佐藤未希. 新潟医療福祉大学における障がい者陸上教室の活動報告. 第38回日本義肢装具学会学術大会（新潟市），2022.10.8-10.9.
  8. 前田雄，郷貴博. 義肢・装具のアウトカム評価におけるウェアラブルデバイスの可能性. 第38回日本義肢装具学会学術大会（新潟市），2022.10.8-10.9.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本義肢装具士協会，日本義肢装具学会，臨床歩行分析研究会，国際義肢装具協会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 日本義肢装具学会，第38回日本義肢装具学会学術大会，実行委員，新潟市，2022.10.8-10.9.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 日本義肢装具学会，第38回日本義肢装具学会学術大会シンポジウム，座長，新潟市，2022.10.8-10.9.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. ランニングイベント，講師補助，NPO法人ギソクの図書館，理学療法士・陸上競技トレーナー，新潟市・新潟医療福祉大学，2022.10.23.
    2. NPO法人ギソクの図書館，走行義足用足部のレンタルサービス，ギソクの図書館 認定義肢装具士，新潟医療福祉大学，2022.1-現在
  - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. TV，TeNYテレビ新潟，第23回新潟県障害者スポーツ大会の様子，2022.5.15.
    2. TV，TeNYテレビ新潟，本学で開催されたランニングイベントの様子，2022.10.23.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室，スポーツ用義足の調整，指導，新潟医療福祉大学，2017.9-現在
    2. NPO法人ギソクの図書館，走行義足用足部のレンタルサービス，ギソクの図書館 認定義肢装具士，新潟医療福祉大学，2022.1-現在
    3. Sport in Life，障がい者スポーツの普及，団員，新潟医療福祉大学，2021.7-現在
    4. 24時間テレビ愛は地球を救う 特別チャリティーブース出展 2022.8.27-8.28.
  - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
    1. 日本義肢装具教育者連絡協議会（国家試験全国統一模試検討WG幹事）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2021年度，科研費基盤研究（C），下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立，研究代表者
    2. 2019年度，科研費基盤研究（C），大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価，研究分担者
    3. 2021年度，ニッポー株式会社共同研究費，研究分担者
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 障害者陸上教室 ParaTFC，第23回新潟県障害者スポーツ大会，陸上競技，8位，新潟市・新潟市陸上競技場，2022.5.14.（選手権参加者補助）
- 8 学内委員会活動 学生委員会，交通安全委員会，同窓会・生涯学習連携推進委員会，3D技術研究開発センター

**氏名：須田 裕紀**

- 1 研究題目 下腿義足ソケットのアライメントとソケット内圧力の関係，能動義手のコントロールケーブルシステムの分析，3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発
- 2 著書
  1. 浅見豊子，江原義弘，才藤栄一，野坂利也，東江由起夫，須田裕紀 他. CLINICAL REHABILITATION 臨時増刊号第31巻7号 活動を支える義肢装具. 東京：医歯薬出版株式会社；2022年.
- 3 論文
  1. Go T, Agarie Y, Suda H, Maeda Y, Katsuhira J, Ehara Y. Effect of trim line on stiffness in dorsiflexion and plantarflexion of posterior leaf spring ankle-foot orthoses. Journal of physical therapy science. 2022; 34(4): 284-289. (review)
  2. 須田裕紀，中村隆，東江由起夫，飛松好子，村山稔，前田雄，郷貴博，佐藤未希. 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業），技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究，義肢装具製作における3D技術の応用 従来製法と3D技術を用いた製作方法の比較，（令和）4年度 総括・分担研究報告書，研究分担者
  3. 中村隆，須田裕紀，東江由起夫，飛松好子. 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業），技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究，補装具製作における3次元デジタル造形技術の運用に関する実態調査，（令和）4年度 総括・分担研究報告書，研究分担者
  4. 江原義弘，前田雄，阿部薫，須田裕紀. Grade Point Average再考. 新潟医療福祉学会誌. (査読あり) (in press)
  5. 須田裕紀，神田賢，前田雄，東江由起夫. 発達障害に対する理解と義肢装具士 義肢装具士養成校における学生支援の取り組み. POアカデミージャーナル. 2022；30（3）：182-185.
- 4 報告書
  1. 郷貴博，東江由起夫，勝平純司，須田裕紀. 研究基盤（C），アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響－ソケット内転角について－，2018-2021，研究分担者
- 5 学会等研究発表
  1. 須田裕紀，中村隆，東江由起夫，飛松好子，前田雄，村山稔，郷貴博，佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究－2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
  2. 前田雄，中村隆，須田裕紀，郷貴博，村山稔，佐藤未希，東江由起夫，飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究－1報 従来製法と3D製法におけるPO業務－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
  3. 佐藤未希，郷貴博，前田雄，須田裕紀，村山稔，東江由起夫，他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み－第2報 スキャニングから身体適合についての報告－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
  4. 東江由起夫，村山稔，秋場周，郷貴博，前田雄，須田裕紀，佐藤未希，他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
  5. 郷貴博，東江由起夫，前田雄，須田裕紀，村山稔，佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み－学生アンケートによる3D製作法の利点と課題－. 第38回日本義肢装具学会学術大会（新潟市），2022.10.8-10.9.
  6. 中村隆，須田裕紀，東江由起夫，飛松好子. 補装具製作における3次元デジタル造形技術に関する実態調査. 第28回日本義肢装具士協会学術大会（岡山市），2022.7.9-7.10.
  7. 東江由起夫，須田裕紀，前田雄，郷貴博. 3Dプリンタ製短下肢装具の実用化に向けた臨床評価. LIFE2022（札幌），2022.8.19-8.21.
  8. 郷貴博，東江由起夫，前田雄，須田裕紀，村山稔，佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み－学生アンケートによる3D製作法の利点と課題－. 第38回日本義肢装具学会学術大会

会, 2022.10.8-10.9.

9. 須田裕紀, 久保田健介, 中村隆, 徳井亜加根, 浅見豊子, 義肢装具業界における3D技術の導入の可能性と動向. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 2022.10.8-10.9. 【シンポジウム】
10. Maeda Y, Suda H, Go T, Sato M, Agarie Y, Kanda M. Efforts of online class for COVID 19 at Niigata University of Health and Welfare. ISPO Global educators meeting, 2022.6.8-6.10.
11. 神田賢, 須田裕紀, 前田雄, 佐藤未希, 北村拓也, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会(栃木県), 2022.11.19.
12. 陣内裕成, 高橋功次, 須田裕紀, 前田雄, 関健志. 一側上腕切断後の義手不使用下で非切断側の運動器痛により生活機能低下にあった症例: 地域における義手給付. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 2022.10.8-10.9.

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本義肢装具士協会(副編集委員長), 日本義肢装具学会(会員), 臨床歩行分析研究会(会員)
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, プログラム委員, 新潟市, 2022.10.8-10.9.
  2. 第30回日本義肢装具士協会学術大会(2024)実行委員
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本義肢装具士協会 副編集委員長
  2. 日本義肢装具学会 義手適合判定検討委員会
  3. 国際義肢装具学会 日本支部事務局長
  4. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会シンポジウム, 義肢装具業界における3D技術の導入の可能性と動向 座長, 新潟市, 2022.10.8-10.9.

## 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 義肢装具企業「大腿義足製作研修会」, 須田裕紀, 前田雄, 金沢義肢製作所, 義肢装具士5名, 石川県金沢市, 2022.8.3-8.4.
  2. 義肢装具企業「大腿義足製作研修会」, 須田裕紀, 前田雄, PO-LINKS, 義肢装具士1名, 新潟県新潟市, 2022.10.23.
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2022.3.31.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
国家検定義肢装具技能検定実技試験(検定委員)

## 8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
  1. 2022年度, 厚生労働行政推進調査事業(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, 研究分担者
  2. 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 研究代表者
  3. 2022年度, 科研費基盤研究(C), 3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究, 研究分担者
  4. R4年度 県民助け合い基金 研究分担者
  5. 2022年度, ナブテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 研究分担者
  6. 2022年度, 科研費基盤研究(C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2023.3.
2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2023.3.

**氏名：前田 雄**

- 1 研究題目 下腿義足ソケット後壁高さがソケット適合と歩行に与える効果 (工学), 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発 (義肢装具研究開発), 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 (ナブテスコ株式会社共同研究)
- 2 論文
  1. Go T, Agarie Y, Suda H, Maeda Y, Katsuhira J, Ehara Y. Effect of trim line on stiffness in dorsi- and plantarflexion of posterior leaf spring ankle-foot orthoses. Journal of physical therapy science. 2022; 34(4): 284-289 (review)
  2. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 村山稔, 前田雄, 郷貴博, 佐藤未希. 令和4年度 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 ―義肢装具製作における3D技術の応用, 従来製法と3D技術を用いた製作方法の比較―. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業) 報告書
  3. 江原義弘, 前田雄, 阿部薫, 須田裕紀. Grade Point Average再考. 新潟医療福祉学会誌. (査読あり) (in press)
  4. 須田裕紀, 神田賢, 前田雄, 東江由起夫. 義肢装具士養成校における学生支援の取り組み. POアカデミージャーナル, 30-3号, 182-186, 2022. 【解説】
- 3 学会等研究発表
  1. Maeda Y, Suda H, Go T, Sato M, Agarie Y, Kanda M. Efforts of online class for COVID 19 at Niigata University of Health and Welfare. ISPO Global educators meeting, 2022.6.8-6.10.
  2. 前田雄, 中村隆, 須田裕紀, 郷貴博, 村山稔, 佐藤未希, 東江由起夫, 飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 1報 従来製法と3D製法におけるPO業務-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  3. 東江由起夫, 村山稔, 秋場周, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  4. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄, 村山稔, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  5. 佐藤未希, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 東江由起夫, 他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 第2報 スキャニングから身体適合についての報告-. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  6. 岡部有純, 前田雄, 須田裕紀, 佐々木穂果, 岡部咲樹, 渡辺啓太. コロナ禍におけるサークル活動のあり方 新潟医療福祉大学「空飛ぶ車椅子サークル」の取り組み. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  7. 渡辺啓太, 前田雄, 須田裕紀, 岡部有純, 佐々木穂果, 岡部咲樹, 大竹美桜. 新潟医療福祉大学「空飛ぶ車椅子サークル」のオンラインによる車椅子修理技術伝達の試み第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  8. 横田有咲, 叶野愛羅, 前田雄. 健常者が持つ義足の印象調査 切断者が周囲を気にしない環境作り. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  9. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博. 3Dプリンタ製短下肢装具の実用化に向けた臨床評価. LIFE2022 (札幌), 2022.8.19-8.21.
  10. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演

習科目の取り組み - 学生アンケートによる3D製作法の利点と課題 - 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.

11. 大久保美里, 花房昭彦, 高基樹, Mohamaddan Shahrol, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 前田雄, 東江由起夫. トポロジー最適化を適用した短下肢装具装着時の歩行評価. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
12. 陣内裕成, 高橋功次, 須田裕紀, 前田雄, 関健志. 一側上腕切断後の義手不使用下で非切断側の運動器痛により生活機能低下にあった症例: 地域における義手給付. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
13. 鈴木啓太, 佐藤未希, 前田雄. 地域の訪問する義肢装具士としての活動報告. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
14. 前田雄, 郷貴博, 鈴木純也, 橋本寛, 大塚圭, 勝平純司. 義肢・装具のアウトカム評価におけるウェアラブルデバイスの可能性. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 新潟市. 2022.10.8-10.9. 【座長: シンポジウム】
15. 前田雄, 木之瀬隆, 青木成益, 小林裕子, 二村淳子, 山田吉称, 持吉孝郎. 介護保険のシーティングを知る. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 新潟市. 2022.10.8-10.9. 【座長: シンポジウム】
16. 神田賢, 須田裕紀, 前田雄, 佐藤未希, 北村拓也, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木県), 2022.11.19.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本義肢装具士協会 (学術編集委員, シーティングWG委員), 日本義肢装具学会 (編集委員長, 用語委員), 臨床歩行分析研究会 (会員), 臨床バイオメカニクス学会 (会員), 日本シーティング・コンサルタント協会 (会員), バイオメカニズム学会 (会員)
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, プログラム委員, 新潟市, 2022.10.8-10.9.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, 優秀論文表彰式 授与説明, 新潟市, 2022.10.8-10.9.

#### 5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
    1. 義肢装具企業「大腿義足製作研修会」, 前田雄, 須田裕紀, 金沢義肢製作所, 義肢装具士5名, 石川県金沢市, 2022.8.3-8.4.
    2. 義肢装具企業「大腿義足製作研修会」, 前田雄, 須田裕紀, PO-LINKS, 義肢装具士1名, 新潟県新潟市, 2022.10.23.
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編, 2022.10.3.
    2. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編 アンコール放送, 2022.12.19.
    3. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編 再放送, 2022.12.28.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2022.3.31.
    2. 24時間テレビ愛は地球を救うの特別チャリティーブース出展参加 2022.8.27-8.28.
  - 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員  
国家検定義肢装具技能検定実技試験 (検定委員)
  - 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
全国義肢装具連絡者協議会就職WG 委員長
- #### 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容



1. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究, 研究代表者
  2. R4年度 県民助け合い基金 研究代表者
  3. 2022年度, ナブテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 研究代表者
  4. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2023.3.
  2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2023.3.
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 広報委員会, 就職センター運営委員会

**氏名: 村山 稔**

- 1 研究題目 脳卒中歩行障害に対する練習機器の研究開発
- 2 論文
  1. 村山稔, 脳卒中患者の歩行練習に使用する下肢装具設定の工夫. 日本義肢装具学会誌. 2022; 38(3): 216-220.
- 3 学会等研究発表
  1. 村山稔, 脳卒中患者の歩行練習における膝継手を屈曲遊動に設定した長下肢装具の効果. 日本リハビリテーション医学会・第59回日本リハビリテーション医学会学術集会 (横浜市), 2022.6.24.
  2. 東江由起夫, 村山稔, 秋場周, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  3. 佐藤未希, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 東江由起夫, 他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 第2報 スキャニングから身体適合についての報告 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  4. 前田雄, 中村隆, 須田裕紀, 郷貴博, 村山稔, 佐藤未希, 東江由起夫, 飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 1報 従来製法と3D製法におけるPO業務 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  5. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄, 村山稔, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  6. 村山稔, 装具のあり方, 考え方. 日本支援工学理学療法学会. 第9回 効果をあげる理学療法技術としての装具療法を考えるフォーラム (WEB開催), 2022.9.11. 【教育講演】
  7. 村山稔, シンポジウム 脳卒中, 神経筋疾患. 日本支援工学理学療法学会. 第9回 効果をあげる理学療法技術としての装具療法を考えるフォーラム (WEB開催), 2022.9.11. 【シンポジウム】
  8. 村山稔, 大澤昂暉, 奥寺舜悟, 昆梨々子, 渡邊和真. Tストラップ付きシューホーン型短下肢装具の試作および評価. 日本義肢装具学会. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
  9. 千葉一生, 村山稔, シューホーン型短下肢装具の前額面アライメントが装具歩行の骨盤や体幹の動きに及ぼす影響. 日本義肢装具学会. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
  10. 村山稔, 脳卒中歩行障害に対する装具療法のエビデンス. 日本義肢装具学会. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.9. 【シンポジウム】
  11. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 学生アンケートによる3D製作法の利点と課題 -. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
  12. 村山稔, 装具の設定法から考える脳卒中の装具療法. 理学療法科学学会. 第130回理学療法科学学会学

術大会（小田原市），2022.10.9.【特別講演】

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本義肢装具士協会（専門義肢装具士WG長），日本義肢装具学会（編集委員），日本リハビリテーション医学会（正会員），新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本義肢装具学会，第38回日本義肢装具学会学術大会，実行委員，新潟市，2022.10.8-10.9.

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 講習会，「脳卒中歩行障害に対する装具療法」第59回日本リハビリテーション医学会学術大会ブース内プレゼンテーション1回目，講師，アライブワーク株式会社，医師・理学療法士・義肢装具士，横浜，2022.6.24.
2. 講習会，「脳卒中歩行障害に対する装具療法」第59回日本リハビリテーション医学会学術大会ブース内プレゼンテーション2回目，講師，アライブワーク株式会社，医師・理学療法士・義肢装具士，横浜，2022.6.25.
3. 講習会，脳卒中歩行障害に対する装具療法，講師，新潟リハビリテーション病院，医師・理学療法士・義肢装具士，新潟，2022.10.18.
4. 講習会，脳卒中歩行障害に対する装具療法，講師，桑名病院，医師・理学療法士・義肢装具士，新潟，2023.1.18.
5. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具療法 Part①下肢装具のエビデンス，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.1.27.
6. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具療法 Part②長下肢装具の介入効果1，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.2.3.
7. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具療法 Part③長下肢装具の介入効果2，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.2.3.
8. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具療法 Part④短下肢装具の介入効果，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.2.10.
9. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具選定 Part①装具選定に必要な共通言語，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.2.24.
10. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具選定 Part②主に使用する短下肢装具1，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.3.
11. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具選定 Part③主に使用する短下肢装具2，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.3.
12. WEBセミナーコンテンツ，脳卒中歩行障害に対する装具選定 Part④短下肢装具の適応，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.10.
13. WEBセミナーコンテンツ，下肢装具のチェックアウト Part①チェックアウト手順，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.24.
14. WEBセミナーコンテンツ，下肢装具のチェックアウト Part②実技1，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.24.
15. WEBセミナーコンテンツ，下肢装具のチェックアウト Part③実技2，講師，株式会社geen，理学療法士，名古屋，2023.3.24.

##### 2) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本義肢装具士協会（専門義肢装具士WG長），日本義肢装具教育者連絡協議会（国家試験全国統一模試検討WG長），日本義肢装具学会（編集委員）

#### 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 若手研究, 脳卒中片麻痺患者の歩行練習に使用する膝関節伸展補助具の効果 - 多施設研究 -, 村山稔

**氏名: 佐藤 未希**

- 1 研究題目 義足使用者の性差における断端周径変化の研究, スポーツ義足のソケット評価に関する研究, 大腿義足膝継手が歩行に及ぼす影響に関する研究

2 論文

1. Sato M, Katsuhira J, Kanda M, Ehara Y. Comparison of changes in thigh circumference during the menstrual cycle between female transfemoral amputees and non-amputee females: examination of the reliability and comparison of diurnal and day-to-day fluctuations. *Journal of Physical Therapy Science*. 2023; 35(4): 276-280. (review)
2. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘. 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. *新潟医療福祉学会誌*. 2023年; 23(2): 現在印刷中 (受理日2023.2.20) (査読有)

3 報告書

1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2022 (研究代表者)

4 学会等研究発表

1. 佐藤未希, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 東江由起夫, 他. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 第2報 スキャニングから身体適合についての報告 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
2. 東江由起夫, 村山稔, 秋場周, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
3. 前田雄, 中村隆, 須田裕紀, 郷貴博, 村山稔, 佐藤未希, 東江由起夫, 飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 1報 従来製法と3D製法におけるPO業務 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
4. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄, 村山稔, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 - 2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較 -. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
5. 佐藤未希, 三ツ本敦子. Living with Prosthetic Legs 第1弾 教科書では学べない義足ユーザーの生活. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.9.
6. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 佐藤未希. 3Dデジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み - 学生アンケートによる3D製作法の利点と課題 -. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
7. 大徳尚司, 佐藤未希, 東江由起夫. 下肢切断者の義足装着時の歩行と脱着による大腿動脈血流機能の検討. 第63回日本脈管学会 (横浜市), 2022.10.27-10.29.
8. 大徳尚司, 吉田秀義, 佐藤未希. 喫煙による手指及び四肢への影響. 第16回日本禁煙学会学術総会 (大阪市), 2022.10.29-10.30.
9. 橋本詩温, 角田倫, 松下祥大, 八代瑞歩, 佐藤楓恋, 郷貴博, 佐藤未希, 東江由起夫, 大徳尚司. 立位による弾性ストッキングの影響. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
10. 鈴木啓太, 佐藤未希, 前田雄. 地域の訪問する義肢装具士としての活動報告. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
11. 藤澤壮志, 本間大誠, 郷貴博, 佐藤未希. 新潟医療福祉大学における障害者陸上教室の活動報告. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
12. 神田賢, 須田裕紀, 前田雄, 佐藤未希, 北村拓也, 古西勇, 渡辺慶, 佐藤成登志. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木県), 2022.11.19.

## 5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会

2) 学術集会の主催

1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, 実行委員, 新潟市, 2022.10.8-10.9.

## 6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度障害者職業生活相談員資格認定講習, 医学的リハビリの立場から見た障害特性, 講師, 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構, 障害者職業生活相談員, 新潟市・新潟テルサ, 2022.11.10.

2. 健康長寿学 障害者陸上教室 ParaTFC, とよさか中高年教養大学講師, 新潟市北区在住者, 新潟市・葛塚コミュニティセンター, 2022.9.22.

3. ランニングイベント, 講師補助, NPO法人ギソクの図書館, 理学療法士・陸上競技トレーナー, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2022.10.23.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. TV, TeNYテレビ新潟, 第23回新潟県障害者スポーツ大会の様子, 2022.5.15.

2. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編, 2022.10.3.

3. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編 アンコール放送, 2022.12.19.

4. TV, NHK, フクチッチ義手・義足前編 再放送, 2022.12.28.

5. TV, TeNYテレビ新潟, 本学で開催されたランニングイベントの様子, 2022.10.23.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2017.9-現在

2. 株式会社ナブテスコ, 膝継手開発フィールドテスト, 被験者, 新潟医療福祉大学, 2016.12-現在

3. NPO法人ギソクの図書館, 走行義足用足部のレンタルサービス, ギソクの図書館 認定義肢装具士, 新潟医療福祉大学, 2022.1-現在

4. NPO法人ハイヒール・フラミング, 女性切断者コミュニティ, オブザーバー, パシフィックサプライ株式会社, 2019.1-現在

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

株式会社新潟テレビ21・放送番組審議委員

## 7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究代表者

2. 2022年度, 若手・女性研究者奨励金, 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量の解明と要因分析, 研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 障害者陸上教室 ParaTFC, 第23回新潟県障害者スポーツ大会, 陸上競技, 8位, 新潟市・新潟市陸上競技場, 2022.5.14. (選手権参加者補助)

8 学内委員会活動 入試委員・広報委員・新潟連携教育研究センター運営委員・3D技術研究開発センター

## 氏名: 田山 文子

1 研究題目 有限要素法を用いた大腿義足ソケット設計支援システムの開発

2 学会活動

1) 所属学会 日本義肢装具協会, 日本義肢装具士協会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第38回 日本義肢装具学術大会, 受付案内スタッフとして参加, 新潟市, 2022.10.8-10.9.

3 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会, 人権委員会, 個人情報委員会, 入試委員会

(5) 新設学科設置準備室

氏名：粕谷 大智

- 1 研究題目 腰痛の心理社会的要因と筋電図を用いた筋活動との関係, 腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸, バランス機能に及ぼすメカノレセプターへの温熱刺激, 頸部の後頭下筋に対する頭痛, めまい, バランス機能への影響と鍼治療, 脳卒中の後遺症(中枢性疼痛, 痙縮, 摂食・嚥下障害, 排尿障害)に対する鍼灸, プレゼンティズムに対する鍼灸
- 2 著書
  1. 粕谷大智, 飯島治, 江川雅人監修. 訪問鍼灸ガイドブック 分担 医歯薬出版3月 p32-40.
  2. 粕谷大智, 東洋療法学校協会編. 東洋医学臨床論(はりきゅう編) 南江堂3月 p90-98, p127-135, p181-186, p314-322, p432-438.
- 3 論文
  1. 粕谷大智. 麻痺の慢性期の後遺症に対する鍼灸 全日本鍼灸学会誌 2月 73巻1号 Page17-22 (査読有)
  2. 粕谷大智. 臨床における経絡・経穴の意義を改めて問う 現代鍼灸の立場からみた経絡経穴の意義と臨床の活用について. 全日本鍼灸学会誌 2月 72巻1号 Page17-19 (査読有)
  3. 粕谷大智. コロナ禍で考えたこと コロナ禍における鍼灸(師)の役割 東京大学医学部附属病院におけるCOVID-19の感染制御に携わる医療スタッフのための『鍼・灸ケア』から tehamo 2月) 2巻1号 Page10-11 (査読無)
- 4 学会等研究発表
  1. 粕谷大智. 腰部脊柱管狭窄症の間欠跛行に対する鍼灸治療の効果. 第22回日本抗加齢学会(大阪), 6.17. (シンポジウム)
  2. 粕谷大智. リハビリテーション領域における鍼灸の役割とエビデンス 脳卒中後遺症に対する鍼灸. 第59回日本リハビリテーション医学会(横浜), 6.25. (シンポジウム)
  3. 小糸康治, 粕谷大智. 難治性の四肢CRPSに対する鍼治療の一症例. 第71回全日本鍼灸学会 6.4.
  4. 林健太郎, 粕谷大智. 触診及びReal-Time Tissue Elastographyによる僧帽筋の硬さ評価(第2報) セット間の検者内信頼性の予備的研究. 第71回全日本鍼灸学会 6.4.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 全日本鍼灸学会(監事), 日本東洋医学会(評議員), 日本心身健康科学会(理事), 日本顔面神経学会(編集委員, ガイドライン作成委員), 日本腰痛学会, 日本温泉気候物理医学会, 現代医療鍼灸臨床研究会 副会長
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第59回日本リハビリテーション医学会, リハビリテーション領域における鍼灸の役割とエビデンス, 座長, 横浜, 6.25.
    2. 第71回全日本鍼灸学会・市民公開講座, 鍼灸のエビデンスとその発信力 東洋医学のホントのチカラ, 座長, 東京・東京有明医療大学 6.5.
    3. 第71回全日本鍼灸学会・基礎講座, 腰痛に対する鍼治療のエビデンスと評価に影響する要因, 座長, 東京・東京有明医療大学 6.4.
    4. 第71回全日本鍼灸学会・サテライトセッション, 美容鍼灸のエビデンスと今後の展望, 座長, 東京・東京有明医療大学 6.5.
- 6 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. セイリンセミナー 腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸, 講師, セイリン(株), 鍼灸師, WEB 1.23.
    2. 目黒区鍼灸師会研修会, 耳鳴り・難聴, 講師, 目黒区鍼灸師会, 鍼灸師, WEB 2.6.
    3. 愛知県鍼灸マッサージ師会研修会, 耳鳴り・難聴, 講師, 愛知県鍼灸マッサージ師会, 鍼灸師, WEB 2.27.
    4. 臨床実技研究会研修会, 不定愁訴, 講師, 臨床実技研究会, 鍼灸師, 仙台 6.26.

5. 特別講演, 関節リウマチに対する鍼灸, 講師, 日本理療専門学校, 鍼灸師, 東京 7.2.
  6. 大阪府鍼灸マッサージ師会研修会, 胃腸障害に対する鍼灸, 講師, 大阪府鍼灸マッサージ師会, 鍼灸師, WEB 8.28.
  7. 鹿児島鍼灸専門学校同窓会特別講演, 医療における鍼灸の役割, 講師, 鹿児島鍼灸専門学校, 鍼灸師, 鹿児島市 5.22.
  8. 全国鍼灸マッサージ協会特別講演, 腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸, 講師, 全国鍼灸マッサージ協会, 鍼灸師, 東京 5.29.
  9. 国際美容学会シンポジウム, 顔面神経麻痺に対する鍼灸, 講師, 国際美容鍼灸学会, 鍼灸師, 横浜 8.7.
  10. 岐阜県鍼灸師会研修会, 眼科疾患に対する鍼灸, 講師, 岐阜県鍼灸師会, 鍼灸師, WEB 9.11.
  11. 愛媛県鍼灸師会研修会, 顔面神経麻痺に対する鍼灸, 講師, 愛媛県鍼灸師会, 鍼灸師, WEB 9.25.
  12. 全日本鍼灸学会九州支部学術集会特別講演, 腰痛に対する鍼灸, 講師, 鍼灸師, 宮崎市 10.2.
  13. 東京医療専門学校特別講演, 頸腕痛に対する鍼灸, 講師, 東京医療専門学校, 鍼灸師, 東京 9.12.
  14. 関東鍼灸専門学校特別講演, めまいに対する鍼灸, 講師, 関東鍼灸専門学校, 鍼灸師, 千葉 9.16.
  15. 国際メディカル専門学校同窓会特別講演, 腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸, 講師, 国際メディカル専門学校, 鍼灸師, 新潟 11.13.
  16. 信州大学研修会, がんに対する治療, 講師, 長野県針灸師会, 医療従事者, WEB 11.20.
  17. 大分県鍼灸師会研修会, 脳卒中後の後遺症に対する鍼灸・手技療法, 講師, 大分県鍼灸師会, 鍼灸師, WEB 11.27.
  18. 東日本東洋医学会関東支部特別講演, 医療における鍼灸の役割, 講師, 東日本東洋医学会, 医療人, 東京 11.6.
  19. 大阪府鍼灸マッサージ協会研修会, 変形性膝関節症に対する鍼灸, 講師, 大阪府鍼灸マッサージ協会, 鍼灸師, 大阪 12.18.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 日本ピーアール 水と健康 6.13.
  2. ヘルス・グラフィックマガジン 膝ケア 6.23.
  3. 雑誌掲載 晋遊舎 ひざ痛を治す 痛みを緩和させるツボ刺激 5.1.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 全日本鍼灸学会・市民公開講座, 鍼灸のエビデンスとその発信力 東洋医学のホントのチカラ 腰部脊柱管狭窄症の痛みやしびれに対する鍼灸の効果 講師, 東京・東京有明医療大学 6.5.
  2. 新潟県鍼灸師会・県民公開講座, 関節痛に対する鍼灸 講師, 新潟市総合福祉会館 12.11.
  3. 全日本鍼灸学会・ランチョンセミナー, 電子カルテの導入 講師, 東京・東京有明医療大学 6.4.
  4. からだケアEPO 医療における鍼灸の役割 講師 医療関係者 東京・ビックサイト 3.11.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2020年度, AMED研究助成金, タキサン系抗癌剤治療による末梢神経障害に対する鍼灸治療の有効性に関するランダム化比較試験 (多施設共同研究), 研究分担者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 

日本顔面神経学会認定 リハビリテーション認定指導士 (T-0003), 2022.4.13.
- 8 学内委員会活動 入試委員, 将来計画機構

**氏名: 江川 雅人**

- 1 研究題目 鍼灸健康学科設置に向けての活動
- 2 著書
  1. 江川雅人; 飯島治, 江川雅人監修. 在宅医療のための訪問鍼灸ガイドブック. 超高齢社会における鍼灸師の社会的使命-求められる鍼灸師の力とは-. 第1版. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2022: 1-3.

2. 江川雅人；飯島治，江川雅人監修．在宅医療のための訪問鍼灸ガイドブック．頰椎症に対する東洋医学的な鍼灸治療．第1版．東京：医歯薬出版株式会社；2022：67.
  3. 江川雅人；飯島治，江川雅人監修．在宅医療のための訪問鍼灸ガイドブック．パーキンソン病．第1版．東京：医歯薬出版株式会社；2022：91-102.
  4. 江川雅人；飯島治，江川雅人監修．在宅医療のための訪問鍼灸ガイドブック．便秘．第1版．東京：医歯薬出版株式会社；2022：154-164.
  5. 江川雅人；飯島治，江川雅人監修．在宅医療のための訪問鍼灸ガイドブック．排尿障害．第1版．東京：医歯薬出版株式会社；2022：165-175.
- 3 論文
1. 江川雅人．がんサバイバーの睡眠障害と鍼灸治療．Tehamo. 2022；2（1）：76-81.
  2. 江川雅人．訪問鍼灸の臨床と実践－高齢社会に求められる訪問鍼灸の在り方－．Tehamo. 2023；3(1)：23-34.
- 4 学会等研究発表
1. 江川雅人．コロナ感染症による自粛生活で発症した高齢者うつ1例の鍼灸治療．第71回全日本鍼灸学会・東京大会，2022.6.4.
  2. 福田晋平，江川雅人．汎発型円形脱毛症に対する鍼灸治療の1症例．第71回全日本鍼灸学会・東京大会，2022.6.5.
  3. 江川雅人．コロナ感染症蔓延による自粛生活に伴い発症した高齢者うつの1例に対する鍼灸治療．第22回日本抗加齢医学会総会・大阪大会，2022.6.19.
  4. Egawa M. The effects of a single acupuncture treatment on frailty indices. 2022 International conference for global cooperation in traditional medicine・Korea, 2022.10.14. 【Symposium】
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 全日本鍼灸学会（認定鍼灸師），日本抗加齢医学会（認定抗加齢指導士），日本サルコペニア・フレイル学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 全日本鍼灸学会雑誌，査読，2022.4.
    2. 日本東洋医学系物理療法学会雑誌，査読，2022.8.
    3. 日本東洋医学系物理療法学会雑誌，査読，2022.9.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 第72回日本東洋医学会学術総会札幌大会，鍼灸実技セミナー3 理論と実際：西洋医学に連携する鍼灸治療「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療の理論と実際」，セミナー講師，日本東洋医学会，医師・鍼灸師，札幌市，2022.5.28.
    2. 病鍼連携連絡協議会講演会，認知症と鍼灸治療そして病鍼連携－認知症の臨床・知識と技法－，セミナー講師，病鍼連携連絡協議会，病鍼連携連絡協議会会員，新潟市からオンライン配信，2022.9.17.
    3. セイリンつながるカルテ開院セミナー，アトピー性皮膚炎に対する鍼灸臨床－病態把握と施術の実際－1（講義編），セミナー講師，株式会社セイリン，鍼灸師，新潟市からオンライン配信，2022.11.24.
    4. セイリンつながるカルテ開院セミナー，アトピー性皮膚炎に対する鍼灸臨床－病態把握と施術の実際－2（実技編），セミナー講師，株式会社セイリン，鍼灸師，新潟市からオンライン配信，2022.11.25.
    5. 静岡県鍼灸師会講習会，アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療の効果と診療の実際，セミナー講師，静岡県鍼灸師会，静岡県鍼灸師会会員鍼灸師，新潟市からオンライン配信，2023.2.2.
    6. 刹那塾ライブセミナー，アトピー性皮膚炎を撃て－病を知り，評価して，治療とセルフケアまで－（座学講座），セミナー講師，刹那塾，刹那塾会員鍼灸師，新潟市からオンライン配信，2023.3.28.



7. 刹那塾ライブセミナー，アトピー性皮膚炎を撃てー病を知り，評価して，治療とセルフケアまでー（実技講座），セミナー講師，刹那塾，刹那塾会員鍼灸師，新潟市からオンライン配信，2023.3.29.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
  1. サステイナ，新潟医療福祉大学附属鍼灸センター開院します！，2022.5.23.
  2. 新潟医療福祉大学健康ラジオ617，Voicy，アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療，2022.11.8.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 進路・個別相談会，Thank you！鍼灸！！鍼灸健康学科で学ぶこと，相談員，新潟医療福祉大学，2022.4.24.
  2. 社会連携地域貢献オンラインセミナー，健康維持は足作りからーひざの痛みのつぼ治療ー，セミナー講師，新潟医療福祉大学よりオンライン配信，2022.6.27.配信開始.
  3. 第13回夢ナビライブ，新潟医療福祉大学鍼灸健康学科で学ぶこと，ライブ講師，新潟市よりオンライン配信，2022.7.9-7.10.
  4. 進路・個別相談会，鍼灸健康学科での学びと将来，相談員，新潟医療福祉大学，2022.7.17.
  5. 高校生進路ガイダンス，ハイブ長岡，2022.7.26.
  6. 24時間テレビ，鍼灸つぼケアサービス実施，新潟市万代シティ，2022.8.27-8.28.
  7. メタバースオープンキャンパス，新学科「鍼灸健康学科」，新潟医療福祉大学，2022.8.
  8. メタバースオープンキャンパス，新学科「鍼灸健康学科」，新潟医療福祉大学，2022.11.
  9. メタバースオープンキャンパス，ようこそ新潟医療福祉大学「鍼灸健康学科」，新潟医療福祉大学，2022.12.
  10. 新潟医療福祉大学オープンキャンパス，展示パネル作成，鍼灸治療で健康長寿ー高齢者疾患・高齢者の健康維持に対する鍼灸治療ー，新潟医療福祉大学，2023.2.
  11. 新潟医療福祉大学オープンキャンパス，展示パネル作成，鍼灸治療とはー安全・安心な治療のためにー，新潟医療福祉大学，2023.3.
  12. はあとふるあたごにおける鍼灸事業の検討，鍼灸事業の検討，参加委員，新潟医療福祉大学でのオンライン参加，2022.4-2023.3.
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員  
病鍼連携協議会（顧問）
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等
    1. 上田東高等学校，高校内鍼灸模擬講義，鍼灸師という仕事ー新時代における鍼灸治療の役割ー，2022.7.8.
    2. 八海高等学校，高校内鍼灸模擬講義，鍼灸師という仕事ー新時代における鍼灸治療の役割ー，2022.7.8.
    3. 山形県南陽高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療の仕事ーさまざまな医療系の仕事と「鍼灸」ー，2022.7.12.
    4. 新潟西高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療の仕事さまざまな医療の仕事と「鍼灸」，2022.7.25.
    5. 加茂高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療の仕事さまざまな医療の仕事と「鍼灸」，2022.7.27.
    6. 小出高等学校，高校内鍼灸模擬講義，鍼灸健康学科での学びと将来，2022.8.22.
    7. 巻高等学校，高校内鍼灸模擬講義，SDGsと医療従事ー鍼灸師という仕事ー，2022.9.15.
    8. 長野西高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療従事者になるためにー鍼灸師という仕事ー，2022.9.28.
    9. 開志国際高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療従事者になるためにー鍼灸師という仕事ー，2022.9.28.
    10. 新潟東高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療系の仕事ー鍼灸医療とその可能性ー，2022.10.5.
    11. 日本文理高等学校，高校内鍼灸模擬講義，医療系の仕事ー鍼灸医療とその可能性ー，2022.10.6.
    12. 第一学院高等学校 秋田キャンパス，高校内鍼灸模擬講義，医療系の仕事ー医療・介護福祉・スポーツ・美容の分野で発展する鍼灸医療と活躍する鍼灸師ー，2023.2.21.

8 学内委員会活動 広報委員会, 高等教育推進センター運営委員会

**氏名：高野 道代**

1 研究題目 健美鍼灸, 美容鍼灸

2 学会等研究発表

1. 高野道代 (講師). 美容鍼灸の動向と今後の可能性. 全日本鍼灸学会近畿支部B講座講習会, 全日本鍼灸学会近畿支部, 神戸市産業振興センター, 2022.1.30.
2. 高野道代, 端場真美弥, 福田文彦, 谷口和彦 (一般演題). 全日本鍼灸学会学術大会 (東京大会), 2022.6.4.
3. 高野道代 (サテライトセッション美容・動画提供). 全日本鍼灸学会学術大会 (東京大会), 2022.6.5.
4. 柏谷大智, 高野道代 (サテライトセッション美容・司会). 全日本鍼灸学会学術大会 (東京大会), 2022.6.5.

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 全日本鍼灸学会, 抗加齢学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 全日本鍼灸学会雑誌, 査読

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 疏通経絡健美基礎セミナー, 伝統医学美容法, 美容とツボ, 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, WEB開催, 2022.7.3.
2. 疏通経絡健美基礎セミナー, 実技 (基本施術, ローリング, 押入法), 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, 明治東洋医学院専門学校, 2022.7.31.
3. 疏通経絡健美基礎セミナー, 皮膚美容, 体質分類概要, 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, WEB開催, 2022.9.4.
4. 疏通経絡健美基礎セミナー, カルテの書き方, リスクマネジメント, 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, 明治東洋医学院専門学校, 2022.9.18.
5. 北海道鍼灸師会学術講演会, これからの健美鍼灸／美容鍼灸～疏通経絡健美法の紹介～, 講師, (公社)北海道鍼灸師会, 会員, 研修員, 専科教員, 日本鍼灸師会, 全日本鍼灸師会, TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前 毎日札幌会館5階, 2022.10.2.
6. セイリンセミナー, 美容鍼灸における患者満足度, 講師 セイリン株式会社, 学生, 鍼灸師, WEB開催, 2022.10.27.
7. 疏通経絡健美基礎セミナー, 美容鍼灸の応用, 症例, 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, WEB開催, 2022.11.6.
8. セイリンセミナー, 女性疾患患者における患者満足度, 講師 セイリン株式会社, 学生, 鍼灸師, WEB開催, 2022.11.17.
9. 疏通経絡健美基礎セミナー, 総合実技, 主催・講師, 疏通経絡健美学会, 学生, 鍼灸師, 明治東洋医学院専門学校, 2022.11.27.
10. 新潟県鍼灸師会, 春期研修会「ツボ押しセルフケア」「健美鍼灸とは?」, 講師, 新潟県鍼灸師会, 県鍼灸師会会員・学生・あはき協議会・日鍼会準会員, 新潟市総合福祉会館4階, 2023.3.5.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. You Tube, You Tube鍼灸大学校, 心身の健康と美容を考える美容鍼灸・健美鍼灸～美容鍼灸を知る第3講「美容の基礎知識」, 2022.4.16.
2. You Tube, You Tube鍼灸大学校, 心身の健康と美容を考える美容鍼灸・健美鍼灸～美容鍼灸を知る第4講「美容の基礎知識2」, 2022.5.14.
3. You Tube, You Tube鍼灸大学校, 心身の健康と美容を考える美容鍼灸・健美鍼灸～美容鍼灸を知る

第5講「美容の基礎知識3」, 2022.9.17.

4. 大学雑誌, QOLサポーター新潟 (新潟医療福祉大学), “目ヂカラ”アップで“きれい”を引き出そう, 2022.9.30.

5. 社会連携・オンラインセミナーWEBサイト, 講座16 健美教室, 2022.9.

3) 社会活動への参加協力

1. 24時間テレビ, 鍼灸科ブースにて体験コーナー実施, 施術者, 新潟市・万代広場, 2022.8.27-8.28.

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人 全日本鍼灸学会 安全性委員会 (委員), 日本アロマコーディネーター協会, 日本エステティック協会, 日本化粧品検定協会

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 明治東洋医学院専門学校, 臨床鍼灸学応用 I (健美鍼灸論基礎), 2022.10.1-2023.3.31.

6 学内委員会活動 教務委員会

### 3) 医療技術学部

#### (1) 臨床技術学科

**氏名：中村 藤夫**

報告事項なし

**氏名：追手 嶺**

報告事項なし

**氏名：川村 宏樹**

1 研究題目 マクロファージにおけるNF- $\kappa$ B抑制因子による炎症反応の制御機構，悪性腫瘍治療患者における輸血検査偽陽性に対する新規回避法の確立

#### 2 報告書

1. 川村宏樹，基盤C，新規NF- $\kappa$ B抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構，研究成果報告書，2017～2021年度，研究代表者)
2. 川村宏樹，基盤C，多発性骨髄腫患者にて分子標的薬ダラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立，実施状況報告書，2021～2023年度，研究代表者)

#### 3 学会等研究発表

1. 川村宏樹，「不規則抗体検査における生理食塩液のpH変動と検査結果への影響」，第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2022.10.29.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 所属学会等 新潟医療福祉学会，日本免疫学会，日本寄生虫学会，日本生体防御学会，肝臓病研究会

#### 5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，科研費基盤研究（C），多発性骨髄腫患者にて分子標的薬ダラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立（研究代表者）

**氏名：小澤口 治樹**

報告事項なし

**氏名：齋藤 憲**

1 研究題目 がん浸潤転移メカニズムの研究，ペプチド創薬の開発研究，

#### 2 論文

1. Fujisaki T, Saito K\*, Kikuchi T, Kondo E. (2023), The prolyl hydroxylase OGFOD1 promotes cancer cell proliferation by regulating the expression of cell cycle regulators. FEBS Letters, (597), 1073-1085. (\*Correspondence) 査読あり

#### 3 報告書

1. 齋藤憲，基盤研究（C），PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制ペプチドの開発，実施状況報告書，2021-2023，研究代表

#### 4 学会等研究発表

1. 齋藤憲，近藤英作. OGFOD1-HuRシグナル経路によるCDK1 mRNA安定化の制御，日本病理学会総会（第111回），神戸，2022.4.14-4.16.
2. 齋藤憲，近藤英作. 水酸化酵素OGFOD1は肺腺癌細胞増殖のkey分子群mRNAの活性化を新規機構を介し制御している，日本がん分子標的治療学会（第26回），金沢，2022.6.29-7.1.
3. 齋藤憲，近藤英作. OGFOD1は非小細胞肺がんの細胞周期関連分子を調節する，日本癌学会学術総会（第

81回), 横浜, 2022.9.29-10.1.

## 5 学会活動

1) 所属学会 日本生化学学会, 日本癌学会, 日本病理学会, 日本がん分子標的治療学会

## 6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制ペプチドの開発, 研究代表
2. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), ホーミングペプチドを基盤にした新規膀胱癌バイオマーカー及び膀胱癌標的化抗体医薬の開発, 研究分担
3. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 難治性リンパ腫の免疫回避機構の解明と新しい治療法の開発, 研究分担

## 7 学内委員会活動 FD・SD委員会

### 氏名: 高野 操

1 研究題目 医療関連感染に関する薬剤耐性菌の疫学調査, 細菌のバイオフィーム形成後の生存性とそのメカニズム, 薬剤耐性菌の学生指導法の改善研究, 臨床工学技師教育に必要な微生物学教育の調査と開発, 医療関連感染を予防する採血手技の指導法の研究

## 2 学会活動

1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟県臨床検査技師会 (監事), 日本臨床微生物学会 (評議委員), 日本環境感染学会, 新潟化学療法研究会 (幹事), 新潟臨床微生物研究会 (副代表)

## 3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市医療安全セミナー (新潟市主催, 新潟市 zoom, 2022.10.26, タイトル: 今日求められる検査データの精度保証)

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県・新潟市合同精度管理専門委員

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県臨床検査技師会 (監事), 日本臨床微生物学会 (評議委員), 新潟化学療法研究会 (幹事), 新潟臨床微生物研究会 (副代表)

### 氏名: 丸野 透

報告事項なし

### 氏名: 高橋 良光

1 研究題目 血液浄化用バスキュラーアクセスの開発 (医用工学), 超音波診断装置を用いた穿刺成功率の評価 (医用工学), 透析用穿刺針の形状解析と定量的評価 (医用工学), 国際緊急援助活動に用いる医療機器に必要な点検および管理方法の検討 (災害医療), 携帯電話の電波が医療機器の動作に与える影響 (医用工学)

## 2 著書

1. 高橋良光ほか. カテーテル透析パーフェクトマネジメント.1.東京: 日本医事新報社; 2022: 168-172.
2. 高橋良光ほか. クエスチョン・バンク 臨床検査技師 2022.1.東京: 医療情報科学研究所; 2022: 16-26.
3. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第1回模試 1.東京: メジカルビュー; 2022: 1-10.
4. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第2回模試 1.東京: メジカルビュー; 2022: 1-10.
5. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第3回模試 1.東京: メジカルビュー; 2022: 1-10.
6. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第1回模試 1.東京: 日本臨床工学技士教育施設協議会; 2022: 1-10.

7. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第2回模試 1.東京：日本臨床工学技士教育施設協議会；2022：1-10.
  8. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第3回模試 1.東京：日本臨床工学技士教育施設協議会；2022：1-10.
- 3 論文
1. 坂西清, 久保野勝男, 杉山貴大, 山倉貴大, 柴田真由美, 増子弘明, 高橋良光, 森田邦恵, 長濱大輔, 藤井豊. SARS-CoV-2株の違いによるCOVID-19迅速抗原検出キットの検出感度の検証. 生物試料分析科学会. 2022; 45(5): 224-230. (査読あり)
  2. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. 超音波検査技術. 2022; 47(1): 13-21 (査読あり)
- 4 報告書
1. 高橋良光. 若手研究, 透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発, 科学研究費助成事業実施状況報告書, 令和3年～5年・研究代表者
- 5 学会等研究発表
1. 高橋良光, 山本卓, 成田一衛, 追手巍. サイドホール付き血液浄化用カテーテルの血栓状況の観察, 第67回日本透析医学会. 横浜, 2022.7.1-7.3.
- 6 学会活動
- 1) 所属学会 日本生体医工学会 (CEワーキンググループ世話人), 日本臨床工学技士会, 日本急性血液浄化学会, 日本呼吸療法医学会, 日本透析医学会, 日本アクセス学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会 (理事), 日本集中治療医学会, Niigata Blood Purification Conference (世話人), 新潟医療福祉学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. Niigata Blood Purification Conference, Niigata Blood Purification Conference2021, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2022.2.6.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 第61回日本生体医工学会大会, 座長, 新潟, 2022.6.28-6.30.
    2. 第67回日本透析医学会, 座長, 横浜, 2022.7.1-7.3.
    3. 第61回日本生体医工学会大会, CEセッション評価, 審査員, 新潟, 2022.6.28-6.30.
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟県ニーズ説明会, 新潟県医療機器ニーズ説明会, 企画・準備・運営, 新潟県, 一般企業, 新潟市, 2023.2.14.
    2. 特別講演, タスク・シフト/シェアで養成校が果たすべき役割と求められる付加価値, 講師, 静岡県臨床工学技士会, 静岡県, 2022.6.5.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. JAEFCE, 入試委員会 問題検討会議, 問題作成委員長, WEB会議, 2022.4.1-2023.3.31.
    2. JAEFCE, 入試委員会 模試作成, 試験委員, WEB会議, 2022.4.1-2023.3.31.
    3. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2022.7.14.
    4. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 電波管理のセミナー開催について, 有識者, 書面決議, 2022.10.21.
    5. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2023.3.15.
    6. 新潟県医師会, 健康長寿延伸フォーラム, 理事, WEB, 2023.3.12.
    7. 新潟県臨床工学技士会, 理事会会議, 理事, 新潟市・WEB, 2022.4.1-2023.3.31. (12回)
    8. 新潟県臨床工学技士会, 編集委員会会議, 編集委員, 長岡市・WEB, 2022.4.1-2023.3.31. (4回)
    9. 新潟県臨床工学技士会, 広報委員会会議, 広報委員, 新潟市・WEB, 2022.4.1-2023.3.31. (3回)
    10. 新潟県臨床工学技士会, 医工連携委員会会議, 医工連携委員, 新潟市・WEB, 2022.4.1-2023.3.31.

(3回)

11. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, WEB, 2022.4.1-2023.3.31. (10回)
  12. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 中級研修, 企画・運営, WEB, 2022.10.8-10.9.
  13. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム EMT 認証延長レビューパネル, 2022.4.1-2023.3.31. (1回)
  14. 独立行政法人国際協力機構, 臨時総合調整部会/EM, WEB, 2022.4.1-2023.3.31. (2回)
  15. 日本赤十字社, 病院ERUオンライン研修, オブザーバー, WEB, 2022.2.9-2.10.
  16. 独立行政法人国際協力機構, ARCHプロジェクト会議, WEB, 2022.4.1-2023.3.31 (2回)
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム隊員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チームメディカルサプライ班班員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム講師, 総務省信越総合通信局信越地域の医療機関における電波利用推進協議会構成員, ARCH2プロジェクト技術支援班
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟県臨床工学技士会(広報委員会委員), 新潟県臨床工学技士会(編集委員会委員), 新潟県臨床工学技士会(呼吸療法委員会委員), 新潟県臨床工学技士会(医工連携委員長), 新潟県臨床工学技士会(連盟委員長), 日本臨床工学技士教育施設協議会(試験委員会副委員長), 日本臨床工学技士教育施設協議会(教科書委員会委員), 日本臨床工学技士教育施設協議会(問題作成委員長), 関東甲信越臨床工学会(実行委員), 関東甲信越臨床工学会(広報委員長)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 令和3年度, 科研費助成事業 若手研究, 透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発, 高橋良光【継続中】
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 剣道部, 令和三年度第64回北信越学生剣道大会出場, 富山市, 2022.5.15. (コーチ)
- 9 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流センター運営委員会, 科研費対策委員会

**氏名: 中山 憲司**

- 1 研究題目 新しい質量分析法と解析法の開発とヒト疾患関連バイオマーカーの探索とその臨床応用に関する研究, qShot MALDI解析法の解析プラットフォームの構築, 揮発性有機化合物分析による乳がん新規分子マーカーの探索.
- 2 論文
  1. [Nakayama K](#), Li X, Shimizu K, Akamatsu S, Inoue T, Kobayashi T, Ogawa O, Goto T. qShot MALDI analysis: A rapid, simple, convenient, and reliable quantitative phospholipidomics approach using MALDI-TOF/MS. *Talanta*. 2023; 254: 124099. doi:10.1016/j.talanta.2022.124099. (査読有)
  2. Miyazaki Y, Goto T, Li X, [Nakayama K](#), Okasho K, Takeda M, Mizuno K, Kimura H, Uegaki M, Sumiyoshi T, Teramoto Y, Akamatsu S, Kobayashi T, Ogawa O, Inoue T. Up-regulation of secretory leukocyte protease inhibitor in human samples might have a potential role of predicting prostate cancer recurrence and progression after surgery and hormonal therapy. *Cancer Med*. 2023; 12: 3328-3342. doi:10.1002/cam4.5134. (査読有)
- 3 学会等研究発表
  1. [Nakayama K](#). qShot MALDI phospholipidomics and its Clinical Application. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS)とMass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 2nd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL (ハイブリッド開催・同志

社大学ブース] , Kyoto, Japan), 2022.9.9. 【二学会合同 国際シンポジウム・特別講演 (日本側代表)】

#### 4 学会活動

1) 所属学会 日本医用マススペクトル学会 (JSBMS: 評議員, 国際化委員会・委員長特命委員), 京都生体質量分析研究会 (世話人), 北海道実験動物研究会 (幹事), Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL: Asia Outreach Committee), International Lipidomics Society, 日本生化学会, 日本癌学会, 日本微量元素学会, 日本ヒトプロテオーム学会, 日本質量分析学会, 新潟医療福祉学会, ウイルソン病研究会.

#### 2) 学術集会の主催

1. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS) と Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 2nd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, Organizer, ハイブリッド開催・[同志社大学ブース], Kyoto, 2022.9.9・2021.8.1-2022.9.9. 【二学会合同 国際シンポジウム・実行委員長】.
2. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS) と Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 3rd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, Organizer, Kyoto, 2024.9.13-9.14・2023.2.1-活動中 【二学会合同 国際シンポジウム・実行委員長】.

#### 3) 学会等でのその他の活動

1. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS) と Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 2nd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, Chairperson, ハイブリッド開催・[同志社大学ブース], Kyoto, 2022.9.9. 【二学会合同 国際シンポジウム・座長】.
2. 日本医用マススペクトル学会, 第10回「医用質量分析認定士」講習会, 講師, 2022.9.10・2022.5.1-8.15.

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 中山医学大学・学術講演会, qShot MALDI Phospholipidomics and its Clinical Application: Our First Step towards Real-Time Molecular Diagnosis. 学術講演演者, 中山医学大学国際部, 全学研究者, 中山医学大学 (台湾・台中市), 2023.3.8.
2. 中山医学大学・国際交流事業, 日本教育及文化交流座談会. シンポジスト, 中山医学大学国際部, 全校学生, 中山医学大学 (台湾・台中市), 2023.3.8.

#### 6 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費・基盤研究 (C), MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用, 研究代表者
2. 2022年度, 株式会社ジーエルサイエンス・京都大学 産学間共同研究事業, 揮発性有機化合物分析による乳がん新規分子診断マーカーの探索, 研究分担者 (研究代表者: 京都大学大学院医学研究科乳腺外科教室: 戸井雅和教授)

##### 2) 学外兼務講師等

1. 京都大学大学院医学研究科 乳腺外科教室 客員研究員, プロジェクト研究「揮発性有機化合物分析による乳がん新規分子マーカーの探索」, 2022.9.1-2023.8.31.

7 学内委員会活動 毒物・劇物管理委員会 (委員長特命補佐), 生物医科学分析研究センター (センター長), 運動機能医科学研究所 (研究員)

#### 氏名: 藤井 豊

- 1 研究題目 体外循環中の生体反応評価, 体外循環デバイスの研究開発
- 2 論文



1. 森田邦恵, 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄. 血漿からのエクソソーム RNA 抽出試薬の比較・検討. 医学検査 (協力学術研究団体). 2022; 71(4): 644-650. (査読あり)
2. 坂西清, 久保野勝男, 杉山貴大, 山倉貴大, 柴田真由美, 増子弘明, 高橋良光, 森田邦恵, 長濱大輔, 藤井豊. SARS-CoV-2株の違いによる SARS-CoV-2 迅速抗原検出キットの検出感度の検証. 生物試料分析 (協力学術研究団体). 2022; 45(5): 224-230. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. 藤井豊. 人工心肺中の PO2 管理 基礎研究の立場から. 大分体外循環セミナー2022 (大分市), 2022.4.9. 【教育講演】
  2. 森彰平, 橋本浩平, 藤井豊, 加藤大喜, 柴崎隆正, 仲田健男, 矢部三男, 松平秀樹, 平野純, 大塚崇. 重症肺炎に対する VV-ECMO 体外循環回路にサイトカイン吸着カラムを組み込むラットでのプレクリニカルモデルの開発. 第39回 日本呼吸器外科学会学術集会 (東京), 2022.5.20-5.21.
  3. 藤井豊. 臨床工学技士の未来を設計する - 体外循環関連研究の未来 -. 第40回 日本体外循環技術医学会近畿地方大会 (吹田市), 2022.5.21-5.22. 【シンポジウム】
  4. 坂西清, 長濱大輔, 杉山貴大, 山倉貴大, 柴田真由美, 久保野勝男, 藤井豊. 臨床検体を用いた株の違いによる COVID-19 抗原検出キットの検出感度の検証. 第71回日本医学検査学会 (大阪市), 2022.5.21-5.22.
  5. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤投与1日後における主要臓器に及ぼす影響. 第71回日本医学検査学会 (大阪市), 2022.5.21-5.22.
  6. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. Sonazoid 投与により誘導される遺伝子マーカー発現の推移-小動物を用いた検討-. 第47回日本超音波検査学会学術集会 (東京), 2022.5.27-5.29.
  7. 田村典子, 阿部拓也, 藤井豊. ラットの動脈血および静脈血によるコラーゲン繊維上の血小板血栓の成長. 第45回日本バイオレオロジー学会年会 (平塚市), 2022.6.4-6.5.
  8. 藤井豊. 論文構造の解説と作成までの準備. 第30回千葉県臨床工学技士会 第2部 (Web開催) 2022.6.20-7.10. 【教育講演】
  9. 藤井豊. 実例を交えた論文作成のポイント. 第30回千葉県臨床工学技士会 第3部 (Web開催) 2022.6.20-7.10. 【教育講演】
  10. 阿部拓也, 埴晴雄, 藤井豊. 小動物体外循環における主要臓器での炎症評価 ~リアルタイム PCR による検討~. 生体医工学シンポジウム2022 (Web開催), 2022.9.9-9.10.
  11. 高見澤怜, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 一杉直樹, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性の糖尿病がラット骨格筋収縮時における酸素圧勾配と筋張力に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
  12. 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 井上達郎, 田宮創, 椿淳裕. 体外式膜型人工肺はラット骨格筋の弛緩速度を減少する. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会 (大阪市), 2022.10.1-10.2.
  13. 村田憲章, 藤井豊, 松井由美子, 栗原桂. リモート実施となった連携教育科目「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (Web開催), 2022.11.13.
  14. 栗原桂, 松井由美子, 村田憲章, 藤井豊. 連携教育と国際交流:新潟医療福祉大学の連携総合ゼミの取組を学生のリフレクションシートから振り返る. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (Web開催), 2022.11.13.
  15. 溝口貴之, 藤井豊, 荒倉真風, 源田卓郎, 加藤直道, 中田正悟, 小田款文, 宮本伸二, 穴井博文. 大動物モデルを用いた人工心肺中の DUF が酸化ストレスに与える影響についての検討. 第47回日本体外循環技術医学会大会 (福岡市), 2022.11.19-11.20.
  16. 藤井豊. 科学論文の読み解き方のポイント. 2022年度国立病院機構東海北陸グループセミナー (Web開催), 2022.12.6. 【教育講演】
  17. 藤井豊. 臨床工学技士と基礎研究. 岡山大学病院臨床工学センター主催セミナー (岡山市), 2022.12.16. 【教育講演】

18. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の腎傷害の推移 小動物造影超音波検査モデルを用いた検討. 第95回新潟県臨床検査学会(新潟市), 2022.12.18.
19. 坂西清, 山倉貴大, 杉山貴大, 柴田真由美, 久保野勝男, 長濱大輔, 藤井豊. 株の違いによるCOVID-19抗原検出キットにおける最小検出感度の検証. 第95回新潟県臨床検査学会(新潟市), 2022.12.18.
20. 小黒凌輔, 阿部拓也, 渡邊博昭, 藤井豊. 血漿中サイトカインと酸化ストレスとの相関性評価. 第95回新潟県臨床検査学会(新潟市), 2022.12.18.
21. 藤井豊. Perfusionistの研究. 第4回埼玉体外循環技術交流会(さいたま市), 2023.2.25. 【教育講演】

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本体外循環技術医学会(学術委員会 研究推進部会 副部会長), 日本人工臓器学会(評議員), 日本生理学会, 日本集中治療学会, 日本心不全学会, 米国人工臓器学会, IEEE, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 実行委員, 新潟市(新潟医療福祉大学), 2022.4-11.
  2. 第28回日本難病看護学会学術集会, 企画委員, 新潟市(新潟医療福祉大学), 2022.9-(継続中)
  3. Journal of Artificial Organs 論文No. JOAO-D-22-000XX 査読
  4. 日本臨床工学技士会 会誌 原著論文 論文No.2022-00XX 査読
  5. 新潟医療福祉学会誌(Niigata Journal of Health and Welfare) NSHW-D-22-000XX 査読

#### 5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 新聞, 新潟日報, 学校, 学部を超え課題解決 国内外学生が連携総合ゼミ, 2022.9.13.掲載
  2. 雑誌, ケアプラスパイロット版(アローコーポレーション), 企画ページ・新潟医療福祉大学・6学部14学科を有する医療系総合大学が目指すチーム医療・ケアの未来とは(2023.2.7.取材対応)
- 2) 社会活動への参加協力
  1. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 講師, 新潟市北区・葛塚コミュニティセンター, 2023.3.23.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会(委員長), 動物実験委員会(委員), URA推進室(委員), 大学院入試広報委員会(委員・イベント部会長)

#### 氏名: 牧口 智夫

- 1 研究題目 プロテオーム解析におけるフケ混入データの自動抽出・除去プログラムの開発(構造病理学), 4Gスマートフォンの医療機器への影響(臨床工学), 手のアルコール消毒を用いたルミテスターPD-30汚染度評価の検討(臨床工学), 知覚痛覚定量分析装置Pain Visionを用いた貼付用局所麻酔剤の比較検討(臨床工学)
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本臨床工学会, 日本再生医療学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
  - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
(公社)日本臨床工学技士会, (一社)新潟県臨床工学技士会
- 4 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会

#### 氏名: 横山 貴

報告事項なし

**氏名：渡邊 博昭**

1 研究題目 超音波検査法の精度管理

2 学会等研究発表

1. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤投与1日後における主要臓器に及ぼす影響. 第71回日本医学検査学会 (Web), 2022.5.
2. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. Sonazoid投与により誘導される遺伝子マーカー発現の推移 -小動物を用いた検討-. 第47回日本超音波検査学会学術集会 (Web), 2022.5.
3. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の炎症性サイトカイン遺伝子発現の推移 -小動物を用いた検討-. 第10回北日本支部医学検査学会 (北海道), 2022.11.
4. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の腎傷害の推移. 小動物を造影超音波検査モデルを用いた検討. 第95回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2022.12.
5. 小黒凌輔, 阿部拓也, 渡邊博昭, 藤井豊. 血漿中サイトカインと酸化ストレスとの相関性評価. 第95回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2022.12.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本不整脈心電学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査教育学会 (世話人)

2) 学術集会の主催

1. 第94回新潟県臨床検査学会, 学会長, 新潟市, 12.8.

3) 学会等でのその他の活動

1. にいがた乳腺エコー研究会第17回講習会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 6.26.
2. 生理検査基礎セミナー2022～心電図・呼吸機能編～, 統括責任者, 新潟県 (Web), 7.10.
3. 救急検査セミナー, 統括責任者, 新潟県 (Web), 7.16.
4. 超音波初級者セミナー2022～夏の全身動脈祭り～, 統括責任者, 新潟県 (Web), 9.17.
5. 超音波実技セミナー2022, 統括責任者, 新潟市, 10.15.
6. 令和4年度微生物部門研修会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 10.29.
7. 令和4年度染色体・遺伝子部門研修会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 11.5.
8. 令和4年度病理細胞部門研修会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 11.20.
9. 心電図・呼吸機能検査セミナー2022, 統括責任者, 新潟県 (Web), 12.3.
10. にいがた乳腺エコー研究会第18回講習会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 12.11.
11. 令和4年度臨床検査総合部門管理運営分野研修会, 統括責任者, 新潟県 (Web), 1.14.
12. 神経生理検査セミナー2023, 統括責任者, 新潟県 (Web), 2.18.
13. 令和4年度第2回微生物部門研修会, 統括責任者, 新潟市, 3.5.

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 評議委員, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 新潟県検診精度管理調査委員会, 副委員長, 2022.4.1-2023.3.31.
3. 新潟乳腺エコー研究会, 代表責任者, 2022.4.1-2023.3.31.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会委員, 新潟県民医療推進協議会委員

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県臨床検査技師会 (会長), 新潟県臨床検査技師会 (表彰委員長), 新潟県臨床検査技師会 (災害対策委員長), 新潟県臨床検査技師会 (精度保証施設認定委員長), 新潟県臨床検査技師会 (公益委員長), 新潟県臨床検査技師会 (施設運営管理者協議会長)

5 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員

**氏名：大山 富三**

- 1 研究題目 腎臓（糸球体）のポドサイトとPEC細胞の培養細胞の樹立
- 2 著書
  1. 白倉正典, 出淵靖志, 中島章夫, 福田誠, 大山富三, 生駒俊和. 臨床工学講座 関係法規 増補版. 2022. 第4章-2. 第6章
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床工学技士会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床工学技士会, 日本血液学会, 日本検査血液学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 教務委員会

**氏名：小野 等**

- 1 研究題目 人工心肺における送血流が血管に与える影響について, 送血カニューレからの送血流型の目視化モデルについて
- 2 著書
  1. 第2種ME技術実力検定試験 必勝ポイント帳 改訂第2版 小野等, 中村藤夫, 石田等, 畑中啓作, 丸野透, 佐藤秀幸, 他 メジカルビュー社 2022年 121-126.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 東京都臨床工学技士会, 体外循環技術医学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 職能団体（協会, 士会等）の委員  
日本臨床工学技士教育施設協議会（試験委員）
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得  
修士（保健学）2020.3.
- 6 学内委員会活動 入試委員会, 小論文部会（部長）2022.4-2023.3.

**氏名：齋藤 大造**

報告事項なし

**氏名：仙波 妙子**

- 1 研究題目 高濃度粒子分散ペーストのレオロジー特性予測のための粒子-分散媒親和性の影響の調査
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 応用物理学会, 日本レオロジー学会, 新潟医療福祉学会

**氏名：阿部 拓也**

- 1 研究題目 超音波診断用造影剤の生体への弊害, 共役リノール酸による非アルコール性脂肪肝炎の治療
- 2 著書
  1. 阿部拓也, ほか. 令和4年度第1回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2022: 1-3, 34-36.
  2. 阿部拓也, ほか. 令和4年度第2回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2022: 1-3, 34-36.
  3. 阿部拓也, ほか. 令和4年度第3回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2022: 1-3, 34-36.
- 3 論文
  1. 森田邦恵, 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄. 血漿からエクソソームRNA抽出試薬の比較・検討 CD9 RT-

qPCR法にて. 医学検査. 2022; 第71巻4号: 頁644-650 (査読あり)

#### 4 学会等研究発表

1. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤投与1日後における主要臓器に及ぼす影響. 第71回日本医学検査学会 (Web), 2022.5.
2. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. Sonazoid投与により誘導される遺伝子マーカー発現の推移 - 小動物を用いた検討 -. 第47回日本超音波検査学会学術集会 (Web), 2022.5.
3. 阿部拓也, 埴晴雄, 藤井豊. 小動物体外循環における主要臓器での炎症評価 ～リアルタイムPCRによる検討～. 生体医工学シンポジウム2022 (Web), 2022.10.
4. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の炎症性サイトカイン遺伝子発現の推移 - 小動物を用いた検討 -. 第10回北日本支部医学検査学会 (北海道), 2022.11.
5. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の腎傷害の推移. 小動物を造影超音波検査モデルを用いた検討. 第95回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2022.12.
6. 田村典子, 阿部拓也, 藤井豊. ラットの動脈血および静脈血によるコラーゲン繊維上の血小板血栓の成長. 日本バイオレオジー学会 (神奈川), 2022.6.
7. 小黒凌輔, 阿部拓也, 渡邊博昭, 藤井豊. 血漿中サイトカインと酸化ストレスとの相関性評価. 第95回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2022.12.

#### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟県臨床検査技師会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本生理学会, 日本心不全学会, 日本臨床化学会, 新潟医療福祉学会, 日本臨床工学技士会

#### 6 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 医療チームの病気の探偵! 高度医療を支えるメカニクス! ～臨床検査技師・臨床工学技士の魅力～. 新潟県立新潟西高等学校. 2023.2.

##### 2) 社会活動への参加協力

1. ホクリク総業株式会社, 新型コロナワクチンの職域接種 (3回目) におけるワクチン充填業務, 新潟県三条市, 2022.4.16.
2. 新潟県立西高等学校, 医療専攻発表会, 新潟県新潟市, 2023.3.22.

#### 7 その他の教育研究活動

##### 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本医学検査学会 北日本支部学術奨励賞 (2022.11.12), 生理学エデュケーター認定 (2023.1.1)

##### 2) 学外兼務講師等

1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 非常勤講師 (病態生理学), 2022.10-2023.3.
2. 関屋田町クリニック, 超音波検査, 2022.4-2023.3.
3. えきまえクリニック内科はやし医院, 超音波検査, 2022.4-2023.3.

#### 8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 同窓会・生涯学習推進委員会

#### 氏名: 佐々木 一真

##### 1 研究題目 血液透析患者のシャント音に関する研究

##### 2 論文

1. Sasaki K, Shin'e Y, Nakane N, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T, Agishi T. Evaluation of vascular access function by shunt murmur analysis of hemodialysis patients using a simulated vascular stenosis model. 2022年; 桐蔭論叢46号: 93-99.
2. Shin'e Y, Sasaki K, Nakane N, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T, Agishi T. Relationship between normalized cross-correlation coefficient obtained from shunt murmur and vascular resistance index. 2022年; 桐蔭論叢46号: 105-110.

### 3 報告書

1. 佐々木一真, 若手研究, 透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者

### 4 学会等研究発表

1. 佐々木一真, 新江義正, 中根紀章, 山内忍, 奥知子, 本橋由香, 佐藤敏夫, 阿岸鉄三. 狭窄長や狭窄数の異なるAVFモデルを用いた血液透析患者のシャント音の音響特性の変化に関する実験的検討. 第61回日本生体医工学学会大会(新潟市), 2022.6.28-6.30.
2. 佐藤敏夫, 新江義正, 佐々木一真, 中根紀章, 山内忍, 奥知子, 本橋由香. 分岐血管を有する自己血管内シャントモデルの試作と分岐血管が血管抵抗指数に及ぼす影響. 第61回日本生体医工学学会大会(新潟市), 2022.6.28-6.30.
3. 新江義正, 佐々木一真, 中根紀章, 奥知子, 本橋由香, 山内忍, 佐藤敏夫. 血管抵抗指数RI校正用自己血管内シャント(AVF)モデルの試作と性能評価. 第61回日本生体医工学学会大会(新潟市), 2022.6.28-6.30.
4. 佐々木一真, 新江義正, 中根紀章, 山内忍, 奥知子, 本橋由香, 佐藤敏夫, 阿岸鉄三. 流出路静脈に複数狭窄を模擬した血管モデルにおける擬似シャント音に対する実験的検討. 第67回日本透析医学会学術集会・総会(横浜市), 2022.7.1-7.3.
5. 佐々木一真, 本橋由香, 奥知子, 山内忍, 佐藤敏夫, 阿岸鉄三. 狭窄病変形状や狭窄数の異なるAVFモデルを用いた血液透析患者のシャント音と血管抵抗指数RIの関連性に関する実験的検討. 日本音響学会第148回(2022年秋季)研究発表会(札幌市), 2022.9.14-9.16.
6. Sasaki K, Nakane N, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T and Agishi T. Acoustic properties of shunt murmurs downstream from the stenosis in a simulated vascular stenosis model and their association with flow visualization. TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2022(横浜市), 2022.11.5.
7. Nakane N, Sasaki K, Oku T, Yamauchi S, Motohashi Y, Sato T and Agishi T. Examination of Numerical Calculation about Shunt Murmur Caused by Stenosis at Anastomosis of Simulated Blood Vessel. TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2022(横浜市), 2022.11.5.

### 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県臨床工学技士会, 日本臨床工学技士会, 日本透析医学会, 日本生体医工学学会, 日本人工臓器学会, 日本音響学会

### 6 社会活動

#### 1) 社会活動への参加協力

1. ホクリク総業 株式会社, 新型コロナウイルスワクチン職域接種, ワクチン充填, 三条市, 2022.4.16.

### 7 その他の教育研究活動

#### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 若手研究, 透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究, 研究代表者

#### 2) 学外兼務講師等

1. 群馬パース大学, 臨床工学研究セミナー, 2022.5.2.

### 8 学内委員会活動 広報委員会

## 氏名: 森田 邦恵

- 1 研究題目 血漿中のエクソソームRNAによるメラノーマ腫瘍マーカーの探索, ストレスマーカーの解析による採血実習の改善, エクソソーム抽出試薬の比較検討

### 2 論文

1. 森田邦恵, 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄. 血漿からのエクソソームRNA抽出試薬の比較・検討. 医学検査

- (JCR・協力学術団体). 2022; vol.71(4): 644-650. (査読あり)
2. 坂西清, 久保野勝男, 杉山貴大, 山倉貴大, 柴田真由美, 増子弘明, 高橋良光, 森田邦恵, 長濱大輔, 藤井豊. SARS-CoV-2株の違いによるSARS-CoV2迅速抗原キットの検出感度の検証. 生物試料分析 (JCR・協力学術団体). 2022; vol.45(5): 224-230. (査読あり)
  3. 池上喜久夫, 渡辺萌花, 渡邊博昭, 森田邦恵. 非医療系学生男女における子宮頸癌の予防知識. CAMPUS HEALTH, 2023; 60(2) 印刷中. (査読あり)
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本臨床検査学会, 日本再生医療学会, 日本臨床検査教育協議会, 新潟医療福祉学会, 細胞小胞学会
  - 4 その他の教育研究活動
    - 1) 学外兼務講師等
      1. 新潟大学脳研究所附属動物資源開発分野非常勤研究員, 2022.4.1-2023.3.31.
  - 5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員・連携基礎ゼミ部会, メンタルヘルス支援委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会

**氏名：涌井 杏奈**

- 1 研究題目 使用済みマスクおよびスマートフォン画面に付着・生息する微生物のプロファイリング, 哺乳瓶乳首を介して授乳する前後の搾乳母乳の微生物叢解析, ペットボトル飲料物の保管に関する食品科学的・微生物学的研究
- 2 著書
  1. 涌井杏奈, 佐藤拓一; 全国歯科衛生士教育協議会監修. 歯科衛生学用語辞典. 第1版第2刷. 京都: 永末書店; 2023: 36語句 (pp.14-15, 38, 60, 65, 75, 79, 80, 86, 88, 99, 106, 108, 191, 194, 221-222, 252, 255, 296, 297, 307, 308, 326, 334, 335, 342, 343, 350, 365, 371, 376, 388, 410, 415)
- 3 論文
  1. Sano H\*, Wakui A\* (\*Co-first authors), Kawachi M, Maruyama S, Moriyama S, Nishikata M, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Sakashita R, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota of breast milk before and after feeding with an artificial nipple. Journal of Oral Biosciences (JCR) 2022; 64: 431-436. (review)
  2. Kawachi M\*, Wakui A\* (\*Co-first authors), Takahashi N, Kaku N, Maruyama S, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota in the remaining sports drink and orange juice in plastic bottles after direct drinking. Journal of Oral Biosciences (JCR) 2022; 64: 437-444. (review)
  3. Maruyama S, Sano H, Wakui A, Kawachi M, Kaku N, Takahashi N, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Microbiota profiles on the surface of non-woven fabric masks after wearing. Journal of Oral Biosciences (JCR) 2022;64: 376-379. (review)
- 4 学会等研究発表
  1. 涌井杏奈, 佐野拓人, 河内美帆, 丸山伸吾, 佐藤拓一. 搾乳母乳と新生児口腔細菌叢との関連: 網羅的・分子生物学的解析. 第40回日本臨床化学会甲信越支部総会(協力学術団体)(オンライン), 2022.7.9.
  2. 涌井杏奈, 佐野拓人, 河内美帆, 丸山伸吾, 佐藤拓一. 母乳と新生児口腔内細菌叢との関連: 網羅的・分子生物学的プロファイリング. 第16回日本臨床検査学教育学会学術大会(埼玉), 2022.8.18.
  3. Wakui A, Kawachi M, Takahashi N, Kaku N, Maruyama S, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Washio J, Takahashi N, Sato T. Profiling of microbiota in the remaining green tea in plastic bottles after direct drinking. The Update Symposium in the 64th Annual Meeting of Japanese Association for Oral Biology (協力学術団体)(オンライン), 2022.9.18. 【シンポジウム】

4. 涌井杏奈, 河内美帆, 佐野拓人, 丸山伸吾, 佐藤拓一. 母乳と新生児口腔細菌叢との関連: 網羅的培養による細菌学的アプローチ. 第75回日本細菌学会関西支部総会(協力学術団体)(京都), 2022.11.19,
5. 涌井杏奈, 佐野拓人, 河内美帆, 丸山伸吾, 安彦友希, 鷺尾純平, 高橋信博, 佐藤拓一. 母乳と新生児口腔内細菌叢との関連. 第12回口腔保健用機能性食品研究会(新潟), 2023.2.19,
6. Wakui A, Kawachi M, Sano H, Nishikata M, Washio J, Sakashita R, Sato T. Bacterial characterization of breast milk before/after with artificial nipple feeding. The 52nd Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR (Portland, Oregon, USA), 2023.3.18.
7. 涌井杏奈: 母乳の細菌学的探索: 保管方法に関する新たな提案の試み. 令和4年度新潟大学大学院保健学研究科研究奨励金・研究成果発表会(オンライン), 2023.3.23.
8. 高橋七瀬, 賀来ながら, 丸山伸吾, 涌井杏奈, 河内美帆, 佐藤拓一. エタノール消毒前後の手指およびスマホ画面から検出される細菌の分子生物学的解析. 第16回日本臨床検査学教育学会学術大会(埼玉), 2022.8.18.
9. 賀来ながら, 河内美帆, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 丸山伸吾, 佐藤拓一. 緑茶のペットボトル飲料を飲んだ際の口腔からの逆流について: 残留・生存細菌の解析. 第16回日本臨床検査学教育学会学術大会(埼玉), 2022.8.18.
10. 河内美帆, 賀来ながら, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 佐藤拓一. 飲みかけの緑茶ペットボトルから検出される細菌のプロファイリング. 第59回日本細菌学会中部支部総会(協力学術団体)(オンライン), 2022.9.16.
11. 賀来ながら, 河内美帆, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 佐藤拓一. 飲みかけのペットボトル飲料物(緑茶)から検出された細菌の量および構成の解析. 第62回日本臨床化学会年次学術集会(協力学術団体)(オンライン), 2022.9.30-10.2.
12. 高橋七瀬, 賀来ながら, 涌井杏奈, 河内美帆, 佐藤拓一. 手指およびスマートフォンの画面に付着・生息する細菌の分子生物学的プロファイリング. 第62回日本臨床化学会年次学術集会(協力学術団体)(オンライン), 2022.9.30-10.2.
13. 高橋七瀬, 涌井杏奈, 河内美帆, 賀来ながら, 丸山伸吾, 佐藤拓一. スマートフォン画面およびエタノール消毒後の手指から検出される細菌の分子生物学的プロファイリング. 第75回日本細菌学会関西支部総会(協力学術団体)(京都), 2022.11.19.
14. 河内美帆, 賀来ながら, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 佐藤遥菜, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 丸山伸吾, 佐藤拓一: ペットボトル飲料物の保管に関する食品科学的・細菌学的研究: 分子生物学的プロファイリング. 第75回日本細菌学会関西支部総会(協力学術団体)(京都), 2022.11.19.
15. 加藤優希, 宮沢美里, 河内美帆, 涌井杏奈, 賀来ながら, 高橋七瀬, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 佐藤遥菜, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 丸山伸吾, 佐藤拓一. 飲みかけの緑茶ペットボトルの細菌のプロファイリング. 新潟大学院生会2022年度第2回研究発表会(新潟), 2022.11.20.
16. 今井真奈美, 佐藤遥菜, 河内美帆, 賀来ながら, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 丸山伸吾, 佐野拓人, 樋口真由, 安彦友希, 鷺尾純平, 高橋信博, 佐藤拓一. 飲みかけの緑茶ペットボトルの細菌について. 第12回口腔保健用機能性食品研究会(新潟), 2023.2.19.
17. Kawachi M, Wakui A, Kaku N, Takahashi N, Maruyama S, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Imai M, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Washio J, Sato T. Bacteria in remaining green tea in plastic bottles after direct-drinking. The 52nd Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR (Portland, Oregon, USA), 2023.3.16.
18. Takahashi N, Wakui A, Kawachi M, Kaku N, Maruyama S, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Washio J, Sato T. Molecular microbiological profiling of microbiota on fingers and touchscreens. The 52nd Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR (Portland, Oregon, USA), 2023.3.18.



## 5 学会活動

1) 所属学会 日本臨床化学会, 歯科基礎医学会, 口腔衛生学会, IADR (国際歯科研究学会), 大学女性協会

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度 高大連携による取り組み, 進路探求型総合学習, 講師, 新潟南高校, 高1 (360名), オンライン, 2022.7.29.
2. 令和4年度 大学訪問, 同心会活動, 講師, 新潟大学附属長岡小学校5年生同心会 (PTA), 小5 (68名) および保護者 (約20名), 長岡市, 2022.11.24.
3. 令和4年度 新潟大学・ジェンダーダイバーシティ推進部局応援プロジェクト, 女子学生の博士後期課程への進学プロモーション, 講師, 新潟大学大学院保健学研究科臨床化学研究室, 女子大学院生・学部生 (総勢18名), 新潟市, 2023.2.18.

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

大学女性協会第73回新潟支部奨学賞 (2022.12.3), 博士 (保健学) (2023.3.23), 新潟大学大学院保健学研究科研究奨励金・研究成果発表会優秀賞 (2023.3.23)

### 2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部保健学科, 一般検査科学, 2022.7.14.
2. 新潟大学医学部保健学科, 医学検査機器概論, 2022.11.4.
3. 新潟大学医学部保健学科, 分析系検査管理論, 2023.2.13.

**氏名：齋藤 幸**

報告事項なし

**氏名：村木 理絵子**

報告事項なし

**氏名：吉田 香織**

報告事項なし

(2) 視機能科学科

**氏名：前田 史篤**

- 1 研究題目 瞳孔視野計による他覚的視野測定法の開発, メラノプシン含有網膜神経節細胞の機能評価, 眼精疲労の他覚評価, スポーツビジョンの実践的研究
- 2 論文
  1. Tatara S, Masuda O, Maeda F. Spectral transmittance and luminance factor of the binocular separation glasses for stereotests using random-dot stereograms. *Optical Review* 29: 2022, 354-356. (review)
  2. 岸哲志, 前田史篤, 奥村俊通, 生方北斗, 多々良俊哉, 田内雅規, 田淵昭雄. コロナ禍における視覚障害者の同行援護サービスに関する実態調査. *眼臨紀* 15: 2022, 525-531. (査読あり)
  3. 前田史篤. 瞳孔と調節. *眼科* 64: 2022, 621-625.
- 3 学会等研究発表
  1. Tatara S, Handa T, Maeda F. Difference between fixation target and fixation point during convergence and divergence eye movements recorded using eye tracking, ARVO 2022 Annual Meeting (Denver). 2022.5.1-5.5.
  2. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 八百枝潔, 半田知也. 手持式と据置式ケラトメータの機種間比較, 第37回JSCRS学術総会(京都), 2022.6.24-6.26.
  3. 石飛直史, 前田史篤, 田邊真生, 野口三太郎, 長澤利彦, 田淵仁志, 内藤毅. アフリカモザンビーク人の眼球生体計測値. 第58回日本眼光学学会総会(旭川市), 2022.9.3-9.4.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本神経眼科学会(評議員)(編集委員), 日本眼光学学会(編集委員), 日本眼科学会, 日本視野画像学会, 日本視能訓練士協会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本ロービジョン学会, 日本糖尿病眼学会, 日本近視学会, 日本眼科AI学会, 日本老視学会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第60回日本神経眼科学会, 招待講演, 座長, 倉敷市, 2022.11.11-11.12.
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
    2. 2022年度, 受託研究費, オートレフ測定値の安定性について, 研究代表者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 眼疾病学II, 2022.4.1-6.3.
    2. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 神経眼科学, 2022.10.1-11.22.
    3. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 視能矯正学各論II, 2022.10.1-2023.3.31.
    4. 福岡国際医療福祉大学視能訓練士学科, 視能検査学II, 2022.10.1-2023.3.31.
    5. 札幌看護医療専門学校視能訓練士学科, 視覚生理学I, 2022.4.1-2023.3.15.
- 6 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・自己評価委員会, 教員選考・評価委員会, 大学院入試広報委員会(委員長), SHAINプロジェクト

**氏名：阿部 春樹**

報告事項なし

**氏名：石井 雅子**

- 1 研究題目 視覚障害者のQOL向上に関する研究(ロービジョン医学), 視覚障害児の学習支援(特別支援教育), 視的環境と視覚機能に関する研究(眼科学)

## 2 論文

1. 涌井和沙, 石井雅子: 眼育 (めいく) さばえの取り組み-子どもの視覚機能と眼鏡に対する知識と理解の必要性-. 保育と保健 29: 2023 36-40. (査読有)
2. 旭香代子, 石井雅子, 多々良俊哉, 野神麗子: 弥彦村の3歳児視覚健診プログラムの改定前後の実態調査. 日視会誌 52: 2022 85-91. (査読有)

## 3 報告書

1. 石井雅子, 米嶋美智子. 基盤研究C, 子どもの視力低下のメカニズムを解明-近視抑制法の探索-, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者

## 4 学会等研究発表

1. 石井雅子, 林豊彦, 山口史明: 視覚障害者情報支援アプリ (アンサーワン) 第1次実証実験結果の検討. 第23回日本ロービジョン学会学術総会 (鹿児島市), 2022.5.20-5.22.
2. 石井雅子, 中島望月, 松井千洋: Spot™ Vision Screener による幼児の近視化の評価. 第61回日本生体医工学会大会 2022 (新潟市)
3. 石井雅子: 視覚障害者手帳のサービス, 2022年度新潟県視能訓練士会研修会, 新潟市, 2022.5.29.
4. 清野成美, 石井雅子, 市村美香, 福地健郎: 2021年度のロービジョン外来のまとめ, 第130回新潟眼科集談会, 2022.6.19.
5. 松井千洋, 石井雅子: COVID-19蔓延と幼児の眼屈折. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市) 2022.10.
6. 石井雅子: 幼児の眼鏡による視能訓練の問題点-テキストマイニングによる分析-. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市) 2022.10.
7. 清野成美, 石井雅子, 市村美香, 張替涼子, 福地健郎: 高齢視覚障害者のロービジョンケア-2012年と2021年の比較-, 第63回日本視能矯正学会, 2022.10.22.
8. 市村美香, 石井雅子, 清野成美, 山口俊光, 張替涼子, 福地健郎: ICTサポートを継続中の高齢視覚障害者2例, 第63回日本視能矯正学会, 2022.10.22.
9. 市村美香, 石井雅子, 清野成美, 山口俊光, 張替涼子, 福地健郎: 中間型アウトリーチ支援によるITサポート-高齢視覚障害者への対応-, 第131回新潟眼科集談会, 2022.12.17.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼科学会, 日本ロービジョン学会 (理事), 日本視能訓練士協会, 日本緑内障学会, 日本小児眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本学校保健学会, 視覚障害リハビリテーション協会, 新潟県視能訓練士会 (会長), 中途視覚障害者の復職を考える会 (タートルの会), JRPS 網膜色素変性症協会, 日本特殊教育学会, 日本保育保健協議会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 2022年度新潟県視能訓練士会研修会, 実行委員長, 新潟, 2022.5.29.
  2. 視覚障害に関する法律勉強会 in 新潟, 実行委員長, 新潟, 2023.2.5.
  3. 第61回日本生体医工学会大会, 実行委員, 新潟, 2022.6.28-6.30.
  4. 2022年度第15回全国視能訓練士学校協会教員研修会, 実行委員長, 新潟 (オンライン), 2022.11.23-2023.1.15.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本ロービジョン学会誌編集委員
  2. 日本ロービジョン学会財務担当
  3. 第23回日本ロービジョン学会学術総会, 一般口演2 教育・就労・その他, 座長, 鹿児島, 2022.5.21.
  4. 2022年度新潟県視能訓練士会研修会, 緑内障患者へのアイフレイル調査, 座長, 新潟, 2023.5.29.
  5. 第61回日本生体医工学会大会, 特別講演 アスリートの反応制御機能, 座長, 新潟, 2022.6.29.
  6. 全国視能訓練士学校協会第15回教員研修会, 特別講演 視能訓練士に期待するロービジョンケア, 座長, 新潟 (オンライン (オンデマンド型)) 2022.11.23-2023.1.15.

7. 視覚障害に関する法律勉強会 in 新潟, 新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の解説, 座長, 新潟, 2023.2.5.

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 目や見え方に関する教育相談会, 教育講演と個別相談, 講師, 新潟県教育庁, 市民, 上越市, 2022.11.7.
2. 令和4年度乳幼児の目や見え方に関する研修会, 講師, 新潟県立新潟よつば学園, 市民・教職員, 新潟市, 2022.10.5.
3. 日常業務に役立つロービジョンケア&コンタクトセミナー2022 in 新潟, 講師, ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社ビジョンケアカンパニー, 医療従事者・特別支援教育関係者, 新潟市 (オンライン (オンデマンド型)), 2022.10.20-11.20.
4. めがねのまちさばえ眼育講習会, 講師, 市民, 鯖江市 (オンライン (オンデマンド型)), 2022.4.1-2023.3.31.
5. 2022年度研修会, 高齢者によくみられる眼疾患の理解, 講師, 新発田市東地域包括支援センター, 医療・福祉・介護職員, 新発田市 (オンライン (オンデマンド型)), 2022.5.9-6.8.
6. 令和4年度同行援護養成研修, 疾病・障害の理解, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 市民, 新潟市, 2022.6.10.
7. 新潟県令和4年度母子保健従事者研修会, 3歳児視覚健診実技講習, 講師, 新潟県福祉保健部, 保健師および医療従事者, 長岡市, 2023.2.20.
8. 新潟県令和4年度母子保健従事者研修会, 3歳児視覚健診実技講習, 講師, 新潟県福祉保健部, 保健師および医療従事者, 新潟市, 2023.2.23.
9. 新潟県令和4年度母子保健従事者研修会, 視力検査及び屈折検査の意義と早期発見支援, 講師, 新潟県福祉保健部, 保健師および医療従事者, 新潟県 (オンライン (オンデマンド型)), 2023.2.6-2.28.
10. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 講座6見えにくい方への支援～ロービジョンを考える～講師, 市民, 新潟市 (オンライン (オンデマンド型)), 2022.9.1-2023.3.31.
11. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 講座20子どもの眼の健康－眼育(めいく)－講師, 市民, 新潟市 (オンライン (オンデマンド型)), 2022.4.1-2023.3.31.
12. 2022年度視覚障害学習支援セミナー―夏の会―, 実行委員, 新潟市 (オンライン), 2022.9.4.
13. 眼育(めいく)沖の永良部島WEB講習, 子どもの眼の健康, 講師, 養護教諭, 和泊町教育委員会 (オンライン (オンデマンド型)), 2021.11.20-12.24.
14. 障害者自立支援機器にかかわるニーズ・シーズマッチング地域交流会, 視覚障害者情報支援アプリ「アンサーワン」の検証実験, 講師, テクノエイド協会, 市民, 新潟市, 2022.9.17.
15. 基礎教育プログラムⅡ, 高齢者とロービジョンケア, 講師, 日本視能訓練士協会, 視能訓練士, 東京都 (オンライン), 2023.9.19.
16. 基礎教育プログラムⅢ, 視能障害ケーススタディ, 講師, 日本視能訓練士協会, 視能訓練士, 東京都 (オンライン), 2023.2.4.

### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 福井新聞, 近視や遠視 早期発見へ, 2022.9.11.
2. 福井新聞, 鯖江・就学前屈折検査 論説, 2022.9.20.
3. 福井新聞, スマホは時間を決めて園児に使い方を指導, 2022.12.21.
4. 新潟日報, 3歳児健診に眼科検査, 2023.1.24.
5. 福井新聞, 眼の健康に貢献 大学生に感謝状, 2023.3.2.
6. にいがた経済新聞, 新潟医療福祉大学の松井千洋さんが福井県鯖江市から感謝状, 眼の健康づくりに尽力, 2023.2.28.

### 3) 社会活動への参加協力

1. ビジョンサポート Study Group, 青空眼の健康講習, 指導, 新潟医療福祉大学, 2022.4.28.
  2. ビジョンサポート Study Group, 青空眼の健康講習, 指導, 光華保育園 (新潟市), 2022.5.17.
  3. ビジョンサポート Study Group, 青空眼の健康講習, 指導, 光華保育園 (新潟市), 2022.6.1.
  4. 五泉市こども課, 3歳児健診, 視覚健診担当, 五泉市, 2022.4.20-2023.3.1 (全12回)
  5. 燕市保健センター, 3歳児健診, 視覚健診担当, 燕市, 2022.6.14.
  6. 燕市保健センター, 3歳児健診, 視覚健診担当, 燕市, 2022.8.2.
  7. 燕市保健センター, 3歳児健診, 視覚健診担当, 燕市, 2023.3.7.
  8. ビジョンサポート Study Group, 視覚健診補助, 指導, 清心保育園 (魚沼市), 2022.12.27.
  9. ビジョンサポート Study Group, 英語で眼育, 指導, 鯖江市, 2022.6.1.
  10. 鯖江市教育委員会, 就学前視覚健診, 視覚健診担当, 鯖江市, 2022.9.10-9.11.
  11. 弥彦村教育委員会, 就学前視覚健診, 視覚健診担当, 弥彦村, 2022.9.27.
  12. ビジョンサポート Study Group, 新潟県ブラインドサッカー協会主催練習会, 指導, 聖籠町, 2022.10.1.
  13. ビジョンサポート Study Group, 視覚健診補助, 指導, あたごともとこども園 (新潟市), 2023.2.28.
  14. ビジョンサポート Study Group, 視覚健診補助, 指導, あたごともとこども園 (新潟市), 2023.3.2.
  15. ビジョンサポート Study Group, 英語でメイク, 指導, 中河保育所 (鯖江市), 2023.2.28.
  16. ビジョンサポート Study Group, 眼の健康推進活動, 指導, 吉川保育所 (鯖江市), 2023.3.22.
- 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員  
日本視能訓練士協会 (専門視能訓練士審議員), 新潟県アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業視覚障害者情報支援アプリの開発 (コンソーシアムメンバー), 新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク (委員), 新潟県教育庁 (こどもの目の相談員)
- 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
新潟県視能訓練士会 (会長), 日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅡ指導者, 日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅢ指導者, 全国視能訓練士学校協会教員研修WG (代表), 視覚障害リハビリテーション協会高齢リハビリテーション分科会委員, 日本ロービジョン学会学会誌編集委員, 日本ロービジョン学会学会財務担当理事
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 日本学術振興会科学研究助成 (基盤研究 (C) : 21K02392) 子どもの視力低下のメカニズムを解明ー近視抑制法の探索ー, 研究代表者
    2. 日本学術振興会科学研究助成 (基盤研究 (C) : 22K030092) 幼稚園から大学まで一貫したデータサイエンスを活用した健康リテラシー教育手法の開発, 研究分担者
    3. 2022年度, めがねのまちさばえ「眼育」推進事業受託, 代表者
    4. 2022年度, 五泉市3歳児視覚健診事業受託, 代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
第23回日本ロービジョン学会学術総会優秀ポスター賞
  - 3) 学内部活動の実績
    1. NUHW ビジョンサポートサークル, 令和5年度めがねのまちさばえ眼育推進活動, 市長表彰, 鯖江市, 2023.2.28. (監督)
  - 4) 学外兼務講師等
    1. 新潟大学医学部, 眼科臨床実習, 2022.4-2023.3.
- 8 学内委員会活動 FD・SD推進委員会, 社会連携推進センター運営委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

**氏名：金子 弘**

1 研究題目 快適な眼鏡装用に関する研究

2 論文

1. 金子弘, 眼鏡レンズの種類. 特集 眼鏡の基本と処方上の注意点. 眼科. 2022年; 64巻 (5号): 419-426.

3 学会等研究発表

1. 尾身悠斗, 坂井鮎渚, 石月啓介, 志賀木綿子, 金子弘. 片眼遮閉下と両眼開放下の屈折値の違いについて. 第22回新潟医療福祉学会. (新潟市), 2022.10.29.
2. 伏江真奈, 幡本琴音, 志賀木綿子, 金子弘. 遮光眼鏡が視力およびコントラスト感度に与える影響について. 第22回新潟医療福祉学会. (新潟市), 2022.10.29.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼光学学会, 日本眼鏡学会, 日本実験力学会, 新潟医療福祉学会 (評議員), NPO法人安全と安心心のまなびば (理事)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 新潟医療福祉学会誌, 和文誌編集委員
  2. 日本眼鏡学会誌「眼鏡学ジャーナル」編集委員

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 東北生活文化大学高校, オンライン講義, 「近視・乱視とメガネ・コンタクトレンズの役割」, 高校生, 2022.11.4.
2. 日本文理高校, 出張講義, 「脳にかけるメガネ」メガネ・コンタクトレンズの効果, 高校生, 新潟市, 2022.11.10.
3. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 高齢者の見え方と遠近両用メガネについて, 講演, とよさか中高年教養大学, 中高齢者, 新潟市北区葛塚コミュニティセンター, 2022.11.24.

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学付属医療技術専門学校 視能訓練士科 (物理学, 生理光学), 2022.4-2023.3.
2. 川崎医療福祉大学 視能療法学科 (生理光学実習), 2022.5-7.

7 学内委員会活動 学術委員会, 学会誌編集委員会, 広報委員会, 図書館・学習支援委員会

**氏名：戸田 春男**

1 研究題目 教育に伴うストレス, ICTを用いた教育の改善, 視線解析装置を用いた視力の評価

2 論文

1. Toda H, Shiga Y, Ubukata H. Feasibility of online psychophysical practice for a department of Certified Orthoptics. Niigata Journal of Health and Welfare 21(2) 112-122 2022 査読あり
2. 生方北斗, 戸田春男, 八百枝潔, 小林昭子, 可児一孝, 前田史篤, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いた視野の定量評価. 視覚の科学 43(1) 8-16 2022 査読あり

3 学会等研究発表

1. Sonoda M, Aimi H, Kawasaki K, Toda H, Hirai S, Horie M, Meguro R, Okado H, Kameyama S, Yamamoto T, Hasegawa I. Transient cognitive dysfunction associated with Hypothalamic Hamartoma Syndrome is caused by epileptic discharges propagating to the thalamic mediodorsal nucleus in a time-specific manner. 2022 Annual meeting of American Epilepsy Society (Nashville), 2-6 Dec. 2022.
2. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による迅速な他覚的視力測定. 第78回日本弱視斜視学会総会 (栃木県総合文化センター) 2022.6.18.
3. Murata N, Toda H, Ubukata H, Sonobe T, Hasegawa A. Automatic Visual Acuity Measurement by Using a Calibration-free Eye Tracking System. 2022 annual meeting of the Association for Research

in Vision And Ophthalmology (Denver)

4 学会活動

1) 所属学会 日本生理学会 (評議員), 日本神経科学会, 日本自律神経学会, 日本神経眼科学会, Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第61回日本生体医工学会大会 (「一般演題 (口頭発表) O1-5-3 循環器 3」), 座長, 新潟市, 2022.6.28 (火)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019-2022, 基盤研究 (C), ループリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, 代表

2. 2021-2023, 基盤研究 (B), 弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の自動測定システムの創生, 分担

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部医学科, 生理学・生理学実習, 2022.4.1-2023.3.31.

2. 悠久山栄養調理専門学校, 運動生理学, 2022.4.1-2023.3.31.

6 学内委員会活動 入試委員会, 入試問題検討部会, 就職センター運営委員会, 高等教育推進センター運営委員会

**氏名: 増田 修**

1 研究題目 偽造防止技術, 質感知覚, 色覚に関する研究 (視覚心理物理学)

2 著書

1. 増田修; 日本視覚学会 (編). 時間特性. In: 図説 視覚の辞典. 東京: 朝倉書店; 2022: 28-32.

3 論文

1. Ishiuchi J, Kai S, Murase H, Masuda O, Furukawa T, Design and development of a smart fashion accessory - Communicating positive facial expressions hidden by face masks. International Journal of Affective Engineering (JCR). 2023; 22(1): 35-46. (review)

2. Tatara S, Masuda O, Maeda F. Spectral transmittance and luminance factor of the binocular separation glasses for stereotests using random-dot stereograms. Optical Review (JCR). 2022; 29: 354-356. (review)

4 学会等研究発表

1. 鈴木雅洋, 中枝武弘, 増田修, 内川恵二. まぶしさ知覚へ及ぼす要因の解明. 日本視覚学会 2022年夏季大会 (金沢市), 2022.9.5-9.7.

2. 鈴木雅洋, 中枝武弘, 増田修, 内川恵二. ipRGC応答はまぶしさ知覚へ寄与するか? 映像情報メディア学会 ヒューマンインフォメーション研究会 (東大阪市), 2022.11.25-11.26.

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視覚学会, 映像情報メディア学会, 日本色彩学会, 日本眼光学学会, 日本照明委員会, 視覚科学技術コンソーシアム, Optical Society of America

2) 学会等でのその他の活動

1. Optics Express, 査読

2. Optical Review, 査読

6 社会活動

1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人 日本照明工業会 国際照明委員会 (CIE) 第1部会「視覚と色」国内小委員会 委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2017年度，科研費基盤研究（C），変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明，研究代表者
2. 2020年度，科研費基盤研究（C），変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明，研究代表者
3. 2019年度，科研費基盤研究（B），色覚異常における未知の色差知覚特性に立脚した色変換技術の開発，研究分担者

**氏名：岸 哲志**

- 1 研究題目 視覚障害児・者の歩行訓練，屋内用視覚障害者誘導路のニーズと可能性について，岡山県における同行援護の実施状況の調査
- 2 論文
  1. 岸哲志，前田史篤，奥村俊通，生方北斗，多々良俊哉，田内雅規，田淵昭雄. コロナ禍における視覚障害者の同行援護サービスに関する実態調査. 眼科臨床紀要. 2022；15(8)：525-531.（査読あり）
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本ロービジョン学会，日本特殊教育学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 鳥取盲学校寄宿舎指導員研修会，講師，鳥取県立鳥取盲学校，鳥取盲学校寄宿舎指導員，鳥取市，2023.2.17.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 岡山県立岡山盲学校，学校運営協議会，学校運営協議会委員，岡山市，2022.11.1，2023.2.7.
    2. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター，理事会，理事，岡山市，2022.4.29.
    3. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター，同行援護従事者認定講習会，講師，岡山市，2022.8.28，9.18，9.19，9.25-9.28，10.23-10.25，11.19-11.23，11.26，12.17-12.20，2023.2.25，2.26.
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等
    1. 川崎医療福祉大学，ロービジョン学，2022.7.15，7.22.
    2. 新見公立大学，視覚障害者教育概論，2022.12.22，12.23，2023.1.17，1.18，1.25，1.26.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会

**氏名：村田 憲章**

- 1 研究題目 視線解析装置の眼科臨床への応用に関する研究（視覚科学），緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析（眼科学）
- 2 学会等研究発表
  1. Murata N, Toda H, Ubukata H, Sonobe T, Hasegawa A. Automatic visual acuity measurement using the Calibration-Free Eye Tracking System. ARVO 2022 (Denver・USA), 2022.5.1-5.5.
  2. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による迅速な他覚的視力測定. 第78回日本弱視斜視学会総会（宇都宮市），2022.6.17-6.18.
  3. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力測定システムの構築. 第22回新潟医療福祉学会（新潟市），2022.10.29.
  4. 村田憲章, 藤井豊, 松井由美子, 栗原桂. リモート実施となった連携教育科目「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（新潟市），2022.11.13.
  5. 村田憲章. Data Processingと視線解析. CREAS In Web Session 2023, 2023.2.19.【特別講演】
- 3 学会活動



- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本緑内障学会, 日本斜視弱視学会, 日本ロービジョン学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本保健医療福祉連携教育学会, 第15回日本保健医療福祉連携教育学会, 実行委員, 新潟市, 2022.11.13.
  2. 視能訓練士画像研究会 (CREAS), CREAS In Web Session 2023, 実行委員・北信越ブロック長, オンライン, 2023.2.19.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 第15回日本医療福祉連携教育学会, ワークショップ IPE推進委員会企画プログラム, 座長, 新潟市, 2022.11.13.
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2022.8.25.
    2. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2022.8.26.
    3. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 上越市, 2022.9.13.
    4. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 長岡市, 2022.9.14.
  - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育制度新人教育プログラム (両眼視) 実技日程 (指導者), 全国視能訓練士学校協会 国家試験不適切問題検討ワーキンググループ (グループリーダー)
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費基盤研究 (B), 弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生 (研究代表者)
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 第78回日本弱視斜視学会 国内学会若手支援プログラム賞 (2022.6.17), 第22回新潟医療福祉学会学術集会 奨励賞 (2022.10.29)
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟医療技術専門学校, 視能検査学各論, 2022.4.11-8.1.
    2. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学総論II, 2022.4.11-8.1.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 科研費対策委員会, SHAINプロジェクト

**氏名: 生方 北斗**

- 1 研究題目 眼科検査技能の定量評価および視能訓練士教育
- 2 著書
  1. 生方北斗. 眼科ケア. 大阪: メディカ出版; 2022: 14-19.
- 3 論文
  1. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 志賀木綿子, 八百枝潔, 半田知也. 据え置き式および手持ち式ケラトメータの測定光配置の違いが角膜屈折力に与える影響. 視覚の科学. (印刷中). (査読あり)
- 4 報告書
  1. 生方北斗. 若手研究, Goldmann 視野計を用いた動的視野検査の技能評価システムの開発, 研究成果報告

書, 2019-2021年度, 研究代表者

## 5 学会等研究発表

1. Murata N, Toda H, Ubukata H, Sonobe T, Hasegawa A. Automatic Visual Acuity Measurement by Using a Calibration-free Eye Tracking System. Association for Research in Visual Science and Ophthalmology Annual Meeting 2022 (COLORADO), 2022.5.1-5.5.
2. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による迅速な他覚的視力測定. 第78回日本弱視斜視学会総会 (宇都宮市), 2022.6.17-6.18.
3. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 八百枝潔, 半田知也. 手持式と据置式ケラトメータの機種間比較. 第37回日本白内障屈折矯正手術学会 (京都市), 2022.6.24-6.26.
4. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力測定システムの構築. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.
5. 宅井さやか, 生方北斗, 小栗妙子, 間宮靖幸. 大学生を対象に事例を通して多職種連携教育を行った学習効果と今後の課題について. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会 (会員), 日本眼光学学会 (会員), 日本視野画像学会 (会員), 日本神経眼科学会 (会員), 日本眼鏡学会 (会員), 日本メガネ協会 (会員), 日本眼鏡技術者協会 (会員), 新潟医療福祉学会 (会員), 新潟県視能訓練士会 (会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 新潟医療福祉学会誌, 査読

## 7 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. ネットインタビュー記事, コンタクトメディアHP (株式会社 Contact), 【眼鏡作製技能士と視能訓練士のダブルライセンスが可能!】新潟医療福祉大学の魅力に迫る!, 2022.10.17.
  2. ネットインタビュー記事, コンタクトメディアHP (株式会社 Contact), 「眼鏡作製技能士とは?」詳細と新潟医療福祉大学で取得するメリット, 2022.11.21.

## 8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, 研究分担者
    2. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生, 研究分担者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
一級眼鏡作製技能士国家検定資格 (2023.11.16)
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 国際メディカル専門学校看護学科, 病態学Ⅶ, 2022.11.8-2023.1.27.
- 9 学内委員会活動 広報委員会, 図書館・学習支援委員会, 学生委員会, 交通安全委員会, SHAINプロジェクト

## 氏名: 志賀 木綿子

- 1 研究題目 日常視力に関する研究 (眼光学), 視能訓練士学生への教育に関する研究 (視覚科学)
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼光学学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 教務委員会, 入試委員会

**氏名：多々良 俊哉**

- 1 研究題目 小児の弱視予防に関する研究（予防医学）
- 2 論文
  1. Tatara S, Masuda O, Maeda F: Spectral transmittance and luminance factor of the binocular separation glasses for stereotests using random-dot stereograms. *Optical Review* 29: 2022, 354-356.
  2. 岸哲志, 前田史篤, 奥村俊通, 生方北斗, 多々良俊哉, 田内雅規, 田淵昭雄: コロナ禍における視覚障害者の同行援護サービスに関する実態調査. *眼科臨床紀要* 15: 2022, 525-531.
  3. 旭香代子, 石井雅子, 多々良俊哉, 野神麗子: 弥彦村の3歳児視覚健診プログラムの改定前後の実態調査. *日本視能訓練士協会誌* 52: 2022, 85-91.
- 3 報告書
  1. 多々良俊哉, 研究開発助成, 一流のバレーボール選手が感覚的に体得している視線移動の可視化とトレーニングへの応用, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 多々良俊哉, 半田知也: 視線解析技術を応用した周辺視野に提示された視標への反応時間の計測, 第61回日本生体医工学会（新潟）, 2022.6.28-6.30.
  2. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 八百枝潔, 半田知也: 手持式と据置式ケラトメータの機種間比較, 第37回JSCRS学術総会（京都）, 2022.6.24-6.26.
  3. Tatara S, Handa T, Maeda F: Difference between fixation target and fixation point during convergence and divergence eye movements recorded using eye tracking, ARVO2022 Annual Meeting (Denver). 2022.5.1-5.5.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（会員）, 日本能訓練士協会（会員）, 日本眼科学会（会員）, 日本弱視斜視学会（会員）, 日本小児眼科学会（会員）, 日本眼科学会（会員）, JSCRS（会員）, 日本近視学会（会員）, The Association for Research in Vision and Ophthalmology（Member）
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. Scientific Reports, 査読
- 6 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 燕市3歳児健康診査, 健診, 燕市保健センター（燕市）, 2022.4.26, 8.30, 9.13, 10.25.
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費 基盤研究C, 視線解析法を用いた客観的眼位検査の開発および小児を対象とした健康診査への応用, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, メンタルヘルス支援委員, SHAINプロジェクト

(3) 救急救命学科

氏名：竹井 豊

1 研究題目 救急隊員の身体負担軽減策の検討，効果的な救急医療システムに関する研究

2 著書

1. 安田康晴, 山本弘二, 竹井豊, 佐々木広一. 改訂第2版 救急資器材マニュアル. 東京都：ぱーそん書房：2022.4. p1-137.

3 論文

1. Takei Y, Eiji S, Koichi S, Yoko T, Kouji Y, Yasuharu Y. Use of the Airstretcher with dragging may reduce rescuers' physical burden when transporting patients down stairs. PLoS One. 2022; 17(9): e0274604-e0274604. (査読あり)
2. 大松健太郎, 竹井豊. 拡張現実 (AR) 技術を用いた心肺蘇生訓練用スマートフォンアプリ「心肺蘇生AR」の開発. プレホスピタル・ケア；36巻(1)：67-69. (査読あり)
3. Takei Y, Hiroki Y, Megumi H, Tetsuhiro A, Gen T, Taiki N, Kentaro O. Developing a hospital contact training tool for emergency medical technicians and verifying its effectiveness. 蘇生. 2022年；41巻(1)：31-37. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. Takei Y, Toyama G, Omatsu K. Factors associated with prolonged on-scene time during prehospital care: A nationwide observational study in Japan. 欧州蘇生協会：EMS Congress 2022 (スコットランド・WEB開催併用), 2022.5.5.
2. Takei Y, Toyama G, Omatsu K, Ohwada H. P011 Identification of risky places in the house related to poor survival in out-of-hospital cardiac arrest: A nationwide retrospective cohort study. 欧州蘇生協会：ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
3. Takei Y, Inaba H, Omatsu K, Toyama G, Ohwada H, Hasegawa M, Adachi T. P012 Association of a bathroom with an adjacent dressing room with neurologically unfavourable outcomes of at-home out-of-hospital cardiac arrest: a propensity score matching analysis of a nation-wide cohort. 欧州蘇生協会：ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
4. Ohwada H, Inaba H, Iwasaki T, Takei Y. P045 Advantage of bystander-performed conventional cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest presumed to be caused by drowning: A propensity score matching analysis using extended nationwide database. ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
5. Omatsu K, Inaba H, Kamikura T, Ohwada H, Takei Y. P054 Epidemiology and characteristics of infant out-of-hospital cardiac arrest and factors associated with outcome. 欧州蘇生協会：ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
6. Omatsu K, Inaba H, Iwasaki T, Takei Y. P066 Seasonal variations of bystander- and EMS-performed prehospital defibrillation. 欧州蘇生協会：ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
7. Kamikura T, Inaba H, Iwasaki T, Takei Y. P098 Characteristics and outcomes of out-of-hospital cardiac arrest in home and public toilet rooms: An analysis using extended nationwide database. 欧州蘇生協会：ERC Congress 2022 (ベルギー・WEB開催併用), 2022.6.18.
8. 竹井豊, 大松健太郎, 外山元, 大和田均, 安達哲浩. 救急現場活動時間延伸の要因 (全国救急搬送データの分析). 第25回日本臨床救急医学会学術集会 (大阪府), 2022.5.25.
9. 竹井豊, 大和田均, 大松健太郎. 積雪凍結路面上における電動・手動式ストレッチャー曳航時の安全性・身体負荷の比較検証. 第41回日本蘇生学会学術集会 (熊本県), 2022.11.5.
10. 竹井豊, 大松健太郎, 神藏貴久, 大和田均. 住宅浴室と公衆浴場で発生した院外心停止の予後に影響を与える因子の分析. 第41回日本蘇生学会学術集会 (熊本県), 2022.11.5.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床救急医学会（評議員），新潟医療福祉学会（理事長，評議員，英文誌編集委員長）
- 2) 学術集会の主催
  1. 新潟医療福祉学会，第22回新潟医療福祉学会学術集会，大会長，新潟市，2022.10.29.
  2. 日本保健医療福祉連携教育学会，第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会，実行委員長，新潟市，2022.11.13.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本臨床救急医学会，救急隊活動におけるパフォーマンス向上検討小委員会，委員，2021.10-現在まで
  2. 日本臨床救急医学会，第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会，公募演題査読委員
- 6 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新発田市，令和4年度飯豊連峰を囲む三県山岳遭難対策合同会議，講師，新発田市生涯教育センター，2023.2.14.
  - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. 新聞，新潟日報，飯豊連峰囲む本県・山形・福島山岳救助注意点を確認，2023.2.22.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 石川県消防学校，救急救命士生涯教育課程講義，講義担当，石川県金沢市・石川県消防学校，2022.12.21.
    2. 石川県消防学校，救急課程講義，講義担当，石川県金沢市・石川県消防学校，2023.3.3.
    3. 一般財団法人救急医療財団，医療機関に所属する救急救命士に対する研修整備事業講習会，講師，東京都・会議室，2023.2.9.
  - 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
 一般財団法人救急医療財団・厚生労働省（救急救命士国家試験試験委員）
  - 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
 米国救急医協会・ITLS日本支部（世話人）
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2021年度，日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究©，VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作，研究代表者 安達哲浩・研究分担者 竹井豊・大松健太郎・大和田均
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 広島国際大学，救急統計学，2022.4.1-2023.3.31.
- 8 学内委員会活動 学術委員会（委員長），図書館・学習支援委員会（委員長），広報委員会（委員）

**氏名：稲葉 英夫**

報告事項なし

**氏名：川上 一岳**

報告事項なし

**氏名：神藏 貴久**

報告事項なし

**氏名：安達 哲浩**

- 1 研究題目 多数傷病者発生時の研究（災害医療），心肺蘇生法教育の普及効果に関する研究（救急医療）
- 2 学会活動

- 1) 所属学会 日本災害医学会（MCLS管理世話人），日本臨床救急医学会，東北救急医学会，新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 新潟医療福祉学会，学会誌作成，主任，新潟市，2022.9.1-10.29.
  2. 新潟医療福祉学会，特別講演講師補助，パネラー打合せ，新潟市，2022.10.28-2023.10.29.
  3. 新潟医療福祉学会，運営補助，新潟市，2023.10.29.
- 3 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟PUSH 心肺蘇生法講習会，インストラクター，新潟市北区アファス豊栄，2022.10.7.
    2. 新潟PUSH 心肺蘇生法講習会，インストラクター，新潟市北区アファス豊栄，2022.12.11.
    3. 新潟PUSH 心肺蘇生法講習会，インストラクター，新潟市立葛塚中学校，2023.1.17.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟シティマラソン，救護主任，新潟市陸上競技場，2022.10.9.
    2. 新潟ハーフマラソン，モバイルAED隊主任，新潟市デンカビッグスワン，2023.3.19.
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2021年度，基盤研究（C）（一般），VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の制作，安達哲浩・竹井豊・大松健太郎・大和田均
- 5 学内委員会活動 広報委員会，高等教育推進センター運営委員会，同初年次教育部会，同窓会・生涯学習連携推進委員会，就職センター運営委員会

**氏名：大松 健太郎**

- 1 研究題目 AR（拡張現実）技術を用いた教育プログラムに関する研究（医学教育学），救急救命士の働き方の多様化に関する研究（医療社会学），学校管理下の救急事故に関する研究（医療社会学）
- 2 論文
  1. Yamada E, Sakai S, Uchiyama M, Hansani M Abeywickrama, Inoue M, Maeda K, Kikuchi Y, Omatsu K, Koyama Y. Compliance of Static Stretching and the Effect on Blood Pressure and Arteriosclerosis Index in Hypertensive Patients.2022; Clinics and practice 12(3): 306-317. (review)
  2. 大和田均，竹井豊，神藏貴久，山内一，大松健太郎，岩崎隆，田中秀治. 暑熱環境下での救急活動時における手部冷却効果の検討. 日本臨床救急医学会雑誌. 2022; 25(6): 930-934. (査読あり)
  3. 大松健太郎，竹井豊. 拡張現実（AR）技術を用いた心肺蘇生訓練用スマートフォンアプリ「心肺蘇生AR」の開発. プレホスピタル・ケア. 2023; 36(1): 67-69.
- 3 学会等研究発表
  1. Omatsu K, Inaba H, Iwasaki T, Takei Y. Seasonal variations of bystander- and EMS-performed prehospital defibrillation. ERC Congress 2022, Antwerp. 2022.6.16.
  2. Omatsu K, Inaba H, Kamikura T, Owada H, Takei Y. Epidemiology and characteristics of infant out-of-hospital cardiac arrest and factors associated with outcome. ERC Congress 2022, Antwerp. 2022.6.16.
  3. 大松健太郎，竹井豊. Augmented Reality（AR）技術を用いた心肺蘇生訓練スマホアプリ開発の試み. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会，大阪. 2022.5.26.
  4. 大松健太郎，小山諭. 全域豪雪地帯県における病院外心停止に対する救急隊の応答時間と予後に関する検討. 第50回日本救急医学会総会・学術集会，東京. 2022.10.12.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会（評議員），日本救急医学会，日本蘇生学会，日本バーチャルリアリティ学会，新潟医療福祉学会

- 2) 学会等でのその他の活動
  - 1. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会公募演題査読委員
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    - 1. アメリカ心臓協会BLSプロバイダーコース, インストラクター, IEMA-ITC, スポーツ指導者等, 長岡, 2022.8.28.
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    - 1. 雑誌 (オンライン), 週刊アスキー (角川アスキー総合研究所), Gugenka, 非対面でも心肺蘇生の訓練ができるスマホアプリ「心肺蘇生AR」を開発, 2022.5.26.
  - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
    - 一般社団法人国際救命救急協会 (副理事長)
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    - 1. 2019年度, 科研費若手研究, AR (拡張現実) 技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発, 代表研究者
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 人権委員会, 個人情報保護委員会

**氏名 : 大和田 均**

- 1 研究題目 救急現場滞在時間の短縮に関する研究, 救急隊員の暑熱環境下での活動に関する研究
- 2 論文
  - 1. 大和田均, 竹井豊, 神藏貴久, 山内一, 大松健太郎, 岩崎隆, 田中秀治. 暑熱環境下での救急活動時における手部冷却効果の検討. 日本臨床救急医学会雑誌. 2022; 25(6) 90-94. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  - 1. 大和田均, 竹井豊, 神藏貴久, 山内一, 大松健太郎, 田中秀治. ポケットフェイスマスクを用いた人工呼吸による感染のリスクの検証. 第25回日本臨床急医学会 (大阪府), 2022.5.25-5.26.
  - 2. Owada H, Inaba H, Kamikura T. Advantage of bystander-performed conventional cardiopulmonary resuscitation in pre-school pediatric out-of-hospital cardiac arrest. European Resuscitation Congress 2022 (Belgium), 2022.6.16-6.17.
  - 3. 大和田均, 稲葉英夫, 竹井豊, 神藏貴久, 大松健太郎, 山内一, 田中秀治. 咳嗽による飛沫発生に対するポケットフェイスマスクの効果 -心肺蘇生に伴う COVID-19感染対策の予備研究-. 日本蘇生学会第41回大会 (熊本県), 2022.11.4-5.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本蘇生学会, 日本臨床救急医学会, 日本集団災害医学会, 日本病院前救急救命学会
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    - 1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作, 共同研究者
- 6 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流センター運営委員会, メンタルヘルス委員会

**氏名 : 岩崎 隆**

報告事項なし

**氏名 : 田村 一好**

報告事項なし

氏名：長谷川 恵  
報告事項なし



(4) 診療放射線学科

**氏名：笠原 敏文**

- 1 研究題目 放射線治療技術の精度に関する研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技師教育学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
  - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟県診療放射線技師会(監事), 新潟放射線治療技術懇話会(世話人), 放射線治療あすなろ会(監事)

**氏名：児玉 直樹**

- 1 研究題目 認知症の早期発見と予防に関する研究, 軽度認知障害から認知症への進行予測に関する研究, 在宅で利用可能な認知症スクリーニングシステムの開発
- 2 論文
  1. Takahashi S, Sakurai N, Kasai S, Kodama N. Stress Evaluation by Hemoglobin Concentration Change Using Mobile NIRS. Brain Sci (JCR). 2022; 12(4): 488. (査読あり)
  2. Kobayashi R, Sakurai N, Nagasaka K, Kasai S, Kodama N. Relationship between Tactile Sensation, Motor Activity, and Differential Brain Activity in Young Individuals. Brain Sci (JCR). 2022; 12(7): 924. (査読あり)
  3. Takahashi S, Tomita Y, Tanaka S, Sakurai N, Kodama N. Prefrontal Cerebral Oxygenated Hemoglobin Concentration during the Category Fluency and Finger-Tapping Tasks in Adults with and without Mild Cognitive Impairment: A Near-Infrared Spectroscopy Study. Brain Sci (JCR). 2022; 12(12): 1636. (査読あり)
  4. Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. Brain function effects of autonomous sensory meridian response (ASMR) video viewing. Front Neurosci (JCR). 2023; 17: 1025745. (査読あり)
  5. 福原麻希, 児玉直樹, 真壁昇, 森兼啓太, 当麻哲哉. 急性期病院における栄養サポートチームメンバーの意識と行動に関する実態調査から明らかになった充実感を持つチームの条件. 学会誌JSPEN(協力学術団体). 2023; 5(1): 11-20. (査読あり)
  6. 児玉直樹. 医師・歯科医師から診療放射線技師へシフトする業務の概要. 医療放射線防護Newsletter. 2022; 87: 5-13.
  7. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアに対するJARTの取り組みと診療放射線技師のさらなる活用について. 日本診療放射線技師会誌. 2022; 69(4): 411-417.
- 3 報告書
  1. 児玉直樹, 浦上克哉, 中村匡秀, 小杉尚子. 基盤研究C, 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正に伴う告示研修の現状報告. 第78回日本放射線技術学会総会学術大会(横浜市), 2022.4.16. 【講演】
  2. 児玉直樹. 医療専門職の法令改正による業務拡大と今後の対応. 令和4年度秋田県診療放射線技師会総会(秋田市), 2022.5.21. 【特別講演】
  3. 児玉直樹. 告示研修の実施状況. 第38回日本診療放射線技師学術大会(神戸市), 2022.9.17. 【シンポジウム】
  4. 児玉直樹. 認知症予防専門士の取り組み. 第11回日本認知症予防学会学術集会(福岡市), 2022.9.23. 【シンポジウム】
  5. 児玉直樹. 認知症予防と診断に必要なとなる検査法. 第11回日本認知症予防学会学術集会(福岡市),

2022.9.25. 【講演】

6. 児玉直樹. 変化にそなえる～タスクシェアに向けて～. 第18回中四国放射線医療技術フォーラム (松江市), 2022.10.16. 【シンポジウム】
7. 児玉直樹. 遠隔画像診断の現状と課題. 第26回日本遠隔医療学会学術大会 (さいたま市), 2022.10.28. 【シンポジウム】
8. Kodama N. Practice expanded due to revision of the Radiological Technologist Act. The 29th East Asia Conference of Radiological Technologists (Seoul, KOREA), 2022.11.5.
9. 児玉直樹. 画像診断報告書管理体制と管理者研修. 日本画像医療システム工業会 画像診断報告書管理体制セミナー (東京都), 2022.12.2. 【講演】
10. Kodama N. Revision of the Radiological Technologist Act and Expansion of Practice in Japan. The 22nd ISRRRT World Congress (BangKok, Thailand), 2022.12.16. 【招待講演】
11. 児玉直樹. 診療放射線技師の業務範囲拡大による告示研修の現状と今後. 令和4年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (大津市), 2023.2.12. 【シンポジウム】
12. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正に伴う告示研修について. 令和4年度新潟県診療放射線技師会上越地区会 (上越市), 2023.2.18. 【講演】
13. 児玉直樹. 告示研修受講者の拡大に向けた取り組み. 秋田県診療放射線技師会マネジメント研修会 (秋田市), 2023.2.4. 【講演】
14. 児玉直樹. 研究倫理について. 福岡県診療放射線技師会役員研修会 (福岡市), 2023.3.11. 【講演】

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師教育学会 (副会長), 日本認知症予防学会 (理事, 認知症予防専門士制度委員会委員長, 認定試験委員会委員長), 日本老年精神医学会, 日本認知症学会, 日本遠隔医療学会 (運営委員), 日本診療放射線学教育学会 (理事), 電子情報通信学会, 電気学会, 日本放射線技術学会, 日本データベース学会, ITヘルスケア学会, 日本老年社会学会, 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会新潟県支部 (世話人)
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本診療放射線技師会, 第38回日本診療放射線技師学術大会, プログラム委員, 実行委員, 神戸市, 2022.9.16-9.18.
  2. 日本認知症予防学会, 第12回日本認知症予防学会学術講演会, 実行委員, 東京都, 2022.2.19.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 編集委員長
  2. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 査読委員
  3. 日本診療放射線技師会, 日本診療放射線技師会誌, 査読委員
  4. 日本臨床衛生検査技師会, 認定認知症領域検査技師制度試験WG, 試験委員
  5. 世界放射線技師会 (ISRRRT), Artificial Intelligence Working Group, 専門委員
  6. 日本認知症予防学会, 第11回日本認知症予防学会学術集会, 座長, 福岡市, 2022.9.24.
  7. 日本データベース学会, 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2023), コメンテータ, 岐阜市, 2023.3.4.

## 6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関係法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.6.18.
  2. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関係法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.7.9.
  3. 認知症予防専門士スキルアップセミナー, 認知症予防専門士に期待される役割, 講師, 一般社団法人日本認知症予防学会, 認知症予防専門士, 米子市, 2022.7.10.

4. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症予防フレンドについて, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2022.7.13.
  5. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.8.6.
  6. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.9.10.
  7. 認知症予防専門士養成講座, 認知症予防と診断に必要なとなる検査法, 講師, 一般社団法人日本認知症予防学会, 一般市民, 広島市, 2022.10.2.
  8. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.10.8.
  9. 介護セミナー, 介護保険制度の概要, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2022.10.19.
  10. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.12.24.
  11. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症予防フレンドについて, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2023.2.14.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員  
診療放射線技師国家試験委員会（委員）
- 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員  
日本診療放射線技師会（副会長, 国際委員会委員, 倫理委員会委員, 学術教育委員会委員, 臨床実習指導教育委員会委員, 告示研修実施運営委員会委員, 認定資格委員会委員, 国際認定資格委員会委員, 教育委員会委員）, 新潟県診療放射線技師会（理事, 表彰委員会委員）, 世界放射線技師会（アジア地域理事）, 国際専門放射線技師認定機構（理事）, チーム医療推進協議会（理事, 教育WG委員）, 日本臨床衛生検査技師会（認定認知症領域臨床検査技師試験委員会委員）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2020-2022年度, 基盤研究（C）, 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究代表者
    2. 2021-2024年度, 国際共同研究強化（B）, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究代表者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科, 生体物性工学, 医学総論Ⅱ, 2022.4.1-9.30.
- 8 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構（研究・産官学連携支援部長）, 知的財産委員会（委員長）, 利益相反マネジメント委員会（委員長）, 科研費対策委員会（委員）, 運動機能医科学研究所（所員）, 新潟QOLサポートコンソーシアム（委員）, SHAINプロジェクト（委員）

**氏名：笠井 聡**

- 1 研究題目 医用画像およびデータを用いたAIに関する研究
- 2 著書
  1. 笠井聡, 藤田広志, 勝又明敏編. 学びはじめ歯科医療AIの世界：医歯薬出版株式会社 2023：44-49.
- 3 論文
  1. Takahashi S, Sakurai N, Kasai S, Kodama N. Stress Evaluation by Hemoglobin Concentration Change Using Mobile NIRS, Brain Sci. 12, 488 2022: 1-9 (Review)
  2. Kobayashi R, Sakurai N, Nagasaka K, Kasai S, And Kodama N. Relationship between tactile sensation, motor activity, and differential brain activity, Brain Sci. 12, 924 2022: 1-10 (Review)

3. Nakashima M, Uchiyama Y, Minami H, [Kasai S](#). Journal of Medical Radiation Sciences, J Med Radiat Sci70 2023: 13-20 (Review)
4. Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, [Kasai S](#), Onishi H, Kodama N. Brain function effects of Autonomous Sensory Meridian Response (ASMR) video viewing, Front. Neurosci. 17: 1025745, 2022: 1-8 (Review)
5. Chinedu Innocent Nwoye, Tong Yu, Saurav Sharma, Aditya Murali, Deepak Alapatt, Armine Vardazaryan, Kun Yuan, Jonas Hajek, Wolfgang Reiter, Amine Yamlahi, Finn-Henri Smidt, Xiaoyang Zou, Guoyan Zheng, Bruno Oliveira, Helena R. Torres, Satoshi Kondo, [Kasai S](#), Felix Holm, Ege Özsoy, Shuangchun Gui, Han Li, Sista Raviteja, Rachana Sathish, Pranav Poudel, Binod Bhattarai, Ziheng Wang, Guo Rui, Melanie Schellenberg, João L. Vilaça, Tobias Czempiel, Zhenkun Wang, Debdoot Sheet, Shrawan Kumar Thapa, Max Berniker, Patrick Godau, Pedro Morais, Sudarshan Regmi, Thuy Nuong Tran, Jaime Fonseca, Jan-Hinrich Nölke, Estevão Lima, Eduard Vazquez, Lena Maier-Hein, Nassir Navab, Pietro Mascagni, Barbara Seeliger, Cristians Gonzalez, Didier Mutter, Nicolas Padoy, CholecTriplet2022: Show me a tool and tell me the triplet -- an endoscopic vision challenge for surgical action triplet detection, arXiv:2302.06294:2022.
6. Coen de Vente, Koenraad A. Vermeer, Nicolas Jaccard, He Wang, Hongyi Sun, Firas Khader, Daniel Truhn, Temirgali Aimyshev, Yerkebulan Zhanibekuly, Tien-Dung Le, Adrian Galdran, Miguel Ángel González Ballester, Gustavo Carneiro, Devika R G, Hrishikesh P S, Densen Puthussery, Hong Liu, Zekang Yang, Kondo S, [Kasai S](#), Edward Wang, Ashritha Durvasula, Jónathan Heras, Miguel Ángel Zapata, Teresa Araújo, Guilherme Aresta, Hrvoje Bogunović, Mustafa Arikian, Yeong Chan Lee, Hyun Bin Cho, Yoon Ho Choi, Abdul Qayyum, Imran Razzak, Bram van Ginneken, Hans G. Lemij, Clara I. Sánchez, AIROGS: Artificial Intelligence for RObust Glaucoma Screening Challenge, arXiv:2302.01738:2022.
7. Kondo S, [Kasai S](#). Multi-Modality Abdominal Multi-Organ Segmentation with Deep Supervised 3D Segmentation Model, arXiv:2208.12041:2022.
8. Kondo S, [Kasai S](#), Hirasawa K. A Two Step Approach for Whole Slide Image Registration, arXiv:2208.12635:2022.
9. Kondo S, [Kasai S](#). Unsupervised Domain Adaptation for MRI Volume Segmentation and Classification Using Image-to-Image Translation, arXiv 2302.08016:2023.
10. S. Graham, Q. D. Vu, M. Jahanifar, M. Weigert, U. Schmidt, W. Zhang, J. Zhang, S. Yang, J. Xiang, X. Wang, J. L. Rumberger, E. Baumann, P. Hirsch, L. Liu, C. Hong, A. I. Aviles-Rivero, A. Jain, H. Ahn, Y. Hong, H. Azzuni, M. Xu, M. Yaqub, M. Blache, B. Piégu, B. Vernay, T. Scherr, M. Böhlend, K. Löffler, J. Li, W. Ying, C. Wang, D. Kainmueller, C. Schönlieb, S. Liu, D. Talsania, Y. Meda, P. Mishra, M. Ridzuan, O. Neumann, M. P. Schilling, M. Reischl, R. Mikut, B. Huang, H. Chien, C. Wang, C. Lee, H. Lin, Z. Liu, X. Pan, C. Han, J. Cheng, M. Dawood, S. Deshpande, R. M. S. Bashir, A. Shephard, P. Costa, J. D. Nunes, A. Campilho, J. S. Cardoso, H. P. S, D. Puthussery, D. R. G, J. C. V, Y. Zhang, Z. Fang, Z. Lin, Y. Zhang, C. Lin, L. Zhang, L. Mao, M. Wu, V. T. Vo, S. Kim, T. Lee, Kondo S, [Kasai S](#), P. Dumbhare, V. Phuse, Y. Dubey, A. Jamthikar, T. T. L. Vuong, J. T. Kwak, D. Ziaei, H. Jung, T. Miao, D. Snead, S. E. A. Raza, F. Minhas, N. M. Rajpoot, CoNIC Challenge: Pushing the Frontiers of Nuclear Detection, Segmentation, Classification and Counting, arXiv:2303.06274:2022.
11. Kondo S, [Kasai S](#), Hirasawa K. Automated Lesion Segmentation in Whole-Body FDG-PET/CT with Multi-modality Deep Neural Networks, bioRxiv 2022.08.23.50505:2022.

#### 4 報告書

1. [笠井聡](#). 研究活動スタート支援, 胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者

## 5 学会等研究発表

1. Kasai S, Kai C, Numata K, Ishizuka S, Sakurai N, Kodama N. A Study on the Influence of Image Processing on Physicians' Subjective Evaluation and an Application for Breast Density Analysis, European Society of Radiology 2022, July 13th

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本医用画像工学会（代議員）、日本放射線技術学会（英語論文誌編集委員）、新潟医療福祉学会、日本認知症予防学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本放射線技術学会（英語論文誌編集委員）

## 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 藤田医科大、メディカルAI時代の研究と企業における社会実装、名古屋、2023.1.31.
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 厚生労働省委託事業「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」、非常勤サポーター、2022年度

## 8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
  1. 2021-2022, 研究活動スタート支援, 胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現, 研究代表者
  2. 2021-2024, 国際共同研究加速基金, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究分担者
  3. 2022, 共同研究（トイイツ）
  4. 2022, 共同研究（コニカミノルタ）
- 9 学内委員会活動 入試委員会, AO入試作問部会, 倫理委員会, 大学院放射線情報分野分野長, 大学院入試・広報・教務委員

## 氏名：安達 登志樹

- 1 研究題目 デジタル胸部X線画像の正規化画像値による画像評価に関する研究, X線検査の被ばくの実態に関する研究（新潟県内のDRLs）、SINETを利用した遠隔仮想画像医学授業の基礎的研究
- 2 学会等研究発表
  1. 安達登志樹, 田中雅人, 上坂秀樹, 笠原敏文, 吉田皓文, 橋本薫, 大垣内多徳, 児玉直樹, 木村浩彦. SINETを利用した仮想画像医学授業に向けた基礎研究. 日本診療放射線学教育学会・第16回日本診療放射線学教育学術集会（東京）、2022.8.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 新潟医療福祉学会, 日本磁気共鳴医学会, 医用画像情報学会, 日本診療放射線学教育学会, 日本診療放射線技師会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 令和4年度チューリップの会・学術研修会, 特別講演, 診療放射線技師のキャリアデザイン, 発表者, (公) 社団法人富山県診療放射線技師会, 診療放射線技師, 富山市公会堂, 2022.10.22.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. (公) 社団法人全国労働衛生団体連合会・胸部X線検査専門委員会, 第1回専門委員会, 審査委員, 横浜市・ナビオス横浜, 2022.4.15.
    2. (公) 社団法人全国労働衛生団体連合会・胸部X線検査専門委員会, 令和4年度胸部X線検査精度管理調査, 審査委員, 東京・三田NNホール, 2022.11.12-11.13.
    3. (公) 社団法人全国労働衛生団体連合会・労働衛生サービス機能評価事業, 労働衛生サービス機能評

価調査, 評価委員, 東京 (Web調査), 2022.2.3, 2.10, 3.6.

## 5 学内委員会活動 就職支援センター運営委員会

**氏名：大徳 尚司**

報告事項なし

**氏名：前島 偉**

1 研究題目 放射線治療（陽子線治療）における呼吸管理の研究, 放射線治療計画装置におけるAI治療支援装置の開発, BNCTに関する研究

2 学会等研究発表

1. 今津玲香, 前島偉, リニアックの基準ビームデータ測定における, 検出器の違いの検証－PDDについて－, 新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.

3 学会活動

所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会, 長野県診療放射線技師会 (副会長), 日本放射線腫瘍学会, 日本医学物理学会, 日本粒子線臨床研究会, 長野県放射線治療技術研究会, 日本粒子線治療技術研究会, 日本中性子捕捉療法学会, ESTRO (European Society for Radiotherapy and Oncology), ASTRO (American Society for Radiotherapy and Oncology), PTCOG (Particle Therapy Co-Operative Group)

1) 学術集会の主催

1. 信州放射線治療勉強会2022, 勉強会, 世話人代表, web研究会, 2022.7.23.
2. 令和4年度 長野県放射線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2022.12.10.
3. 第3回日本粒子線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2023.1.28.

2) 学会等でのその他の活動

1. 第12回東北放射線医療技術学術大会, 実行委員役員, 新潟市, 2022.11.19-11.20.
2. 令和4年度 長野県診療放射線技師学術大会, 実行委員, 講演座長, 長野市, 2022.11.6.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 長野県診療放射線技師会北信支部, 講演会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修－長野県の進め方－促進活動, 講師, 長野県南信支部WEB開催, 2022.5.14.
2. 長野県診療放射線技師会中信支部学術会議, 講演会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修－長野県の今後について－促進活動, 講師, 長野県東信支部WEB開催, 2022.9.28.
3. 長野県診療放射線技師会中信支部学術会議, 講演会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修タスクシフト/シェア, 促進活動, 講師, 長野県中信支部WEB開催, 2023.3.11.

2) 社会活動への参加協力

1. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2022.4.29.
2. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2022.7.24.
3. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2022.10.2.
4. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2022.11.27.
5. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2022.12.4.
6. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者,

松本市, 2023.2.19.

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

一般社団法人 長野県診療放射線技師会 副会長, 公益社団法人 日本診療放射線技師会 学術委員, 公益社団法人 日本診療放射線技師会 総会運営委員

5 学内委員会活動 入試委員会, 学術委員会

**氏名：吉田 秀義**

報告事項なし

**氏名：鷺見 和幸**

1 研究題目 脳機能画像解析を用いたゲーム障害の特異的な病態解明, 超音波検査に関する膵臓描出能の向上, CTCにおけるDRL設定に向けた取り組み

2 学会等研究発表

1. 鷺見和幸. 大腸CTのDRL設定に向けたパイロットスタディ. 日本CT検診学会・第30回日本CT検診学会学術集会(熊本), 2022.2.17-2.18.

3 学会活動

1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本診療放射線技師会・第2回超音波実技講習会, 腹部領域, 講師, 江藤芳浩, 診療放射線技師, 日本教育会館, 2022.11.5.

2. 日本診療放射線技師会・第3回超音波実技講習会, 血管領域, 講師, 江藤芳浩, 診療放射線技師, 日本教育会館, 2022.11.6.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本診療放射線技師会・告示研修実施運営委員会(委員), 日本診療放射線技師会・国際委員会(委員), 日本診療放射線技師会・国際認定資格委員会(委員), 全国労働衛生連合会 胃X線検査専門委員会(委員), 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 医療被ばく研究情報ネットワーク診断参考レベルワーキング 診断用透視プロジェクト(委員)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2023年度, 臨床心理学関連, 脳機能画像解析を用いたゲーム障害の特異的な病態解明, 鷺見和幸・児玉直樹・笠井聡

6 学内委員会活動 国際交流委員会(主担当)

**氏名：関本 道治**

1 研究題目 医療放射線線量評価に関する研究(放射線計測学), 環境放射線の研究(放射線計測学), 放射線機器管理に関する研究(放射線機器学, 放射線管理学), 多職種連携医療専門職教育の研究(医学教育)

2 論文

1. Miyata K\*, Aita Y\*, Nakajima S\*, Sekimoto M, Sekata Y, Tagoya Y, Aoyama T, Maeno T, Monma M, Tomita K, Ninomiya H. (\* Co-first authors). Effectiveness of a case-based digital learning interprofessional workshop involving undergraduates in medical technology, radiological science, and physical therapy: A pre-post intervention study. PLOS ONE (<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0270864>). 2022年. (査読あり)

2. 前田賢, 関本道治(共同筆頭者). JIS T 61331-1診断用X線に対する防護用具-第1部:材料の減弱特性の決定方法(改定). 日本放射線技術学会雑誌. 2022年. Vol.78(12), pp.1516-1518. (査読なし)

### 3 学会等研究発表

1. 関本道治. JIS T 61331-1改定による特性評価. 第78回日本放射線技術学会総会学術大会第25回標準化フォーラム(横浜), 2022.4.16. 【シンポジウム】
2. 関本道治. マンモグラフィにおける放射線計測および防護. 日本放射線技術学会第12回デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー(WEB), 2022.9.23. 【教育講演】
3. 関本道治. X線診療室の漏えいX線量の測定. 第5回東京都立病院放射線技師会学術部勉強会(WEB), 2022.10.4. 【教育講演】
4. 関本道治. 一般撮影領域の線量測定における現状と課題. 第50回日本放射線技術学会秋季学術大会計測部会(東京), 2022.10.8. 【シンポジウム】
5. 黒滝夢, 関本道治, 高埜愛菜. 性能評価ファントムを用いた乳房撮影用X線装置間の画質と線量の評価. 第22回新潟医療福祉学会(WEB), 2022.10.29.
6. 大倉明浩, 関本道治. モンテカルロシミュレーションを用いた異なる規格による鉛当量の比較. 第22回新潟医療福祉学会(WEB), 2022.10.29.
7. 関本道治. 測定値から入射皮膚線量への導出. 日本放射線技術学会計測部会第1回線量計測定WEBセミナー(WEB), 2022.11.12. 【教育講演】

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会(専門部会委員, 診断領域線量標準センター委員), 日本核医学技術学会(電子情報委員), The Asian Society of Nuclear Medicine Technology (HP management), 日本核医学専門技師認定機構(教育委員), 日本診療放射線学教育学会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技術学会東北支部, 日本放射線技術学会東京支部(専門委員会委員), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本放射線技術学会, 第12回簡易線量計作製セミナー, プログラム運営, 東京, 2022.9.10-9.11.
  2. 日本放射線技術学会, 第3回サーベイメータ活用セミナー, プログラム運営および司会, 京都, 2022.9.25.
  3. 日本放射線技術学会, 第50回秋季学術大会, プログラム委員, 熊本市, 2021.6.1-10.9.
  4. 日本放射線技術学会, 第79回総会学術大会, プログラム委員, 横浜市, 2021.11.1-4.16.
  5. 核医学専門技師認定機構, 第14回核医学専門技師養成講座, プログラム委員, WEB, 2022.11.1-5.30.
  6. 核医学専門技師認定機構, 第16回核医学専門技師研修セミナー, プログラム委員, WEB, 2022.11.1-5.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本放射線技術学会, 第78回総会学術大会, 座長, 横浜市, 2022.4.17.
  2. 日本放射線技術学会, 第50回秋季学術大会, 座長, 東京都墨田区, 2022.10.8.
  3. 日本放射線技術学会誌, 査読

### 5 社会活動

- 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
厚生労働省・診療放射線技師国家試験作成委員会(一般委員)
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
日本核医学専門技師認定機構(教育委員), 日本工業標準調査委員会(原案作成分科会委員)

### 6 学内委員会活動 教務委員会(委員), 調査委員会(委員)

### 氏名: 橋本 薫

- 1 研究題目 根拠に基づいた認知症ケアのための医療と介護の連携手法に関する研究
- 2 社会活動



1) 公開講座・講演会等

1. 2022年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会, “伝える” アナログからデジタルへ, そして…, 教育講演, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 群馬県高崎市, 2022.6.26.
2. 令和4年度長野県診療放射線技師学術大会, “伝える” アナログからデジタルへ, そして…, 講師, 長野県診療放射線技師会, 診療放射線技師, 長野県長野市, 2022.11.6.
3. 令和4年度 男性の生き方(定年期)講座, 認知症 男性(あなた)はどれだけ理解していますか?, 講師, 新潟市男女共同参画推進センター, 市民, 新潟市, 2023.1.19.

2) 社会活動への参加協力

1. 長岡市, すこやか・ともしびまつり2022, 骨密度測定, 長岡市・アオーレ長岡, 2022.9.17-9.18.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県診療放射線技師会(理事), 新潟県認知症ケア専門士会(役員)

**氏名: 長谷川 晃**

- 1 研究題目 虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 超音波画像からの膀胱検出支援システムの開発

2 論文

1. 長谷川晃, 吉田皓文, 児玉直樹. 冠動脈CT画像における石灰化とステントの高精度な自動分類を目的とした深層学習改良の試み. 日本診療放射線技師会誌. 2022; 69(834): 29-35. (査読あり)
2. Hasegawa A, Ichikawa K, Morioka Y, Kawashima H. A tin filter's dose reduction effect revisited: Using the detectability index in low-dose computed tomography for the chest. Physica Medica. 2022; 99: 61-67. (review)
3. 長谷川晃. Deep learningを用いたCCTAの自動解析システムの開発. Precision Medicine. 2022; 5(9): 68-71.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技術学会(中部支部CT研究会世話人), 日本診療放射線技師会, 医用画像情報学会, 日本CT技術学会, 富山県CT研究会(世話人), 日本医用画像工学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本放射線学会中部支部, 北陸CT night seminar(定例研究会), 世話人, (オンライン), 2022.6.15.
2. 日本放射線技術学会(日本CT技術学会共催), CT technical boot camp, 世話人, 富山市, 2022.8.27-8.28.
3. 富山県CT研究会, ボトムアップセミナー, 世話人, (オンライン), 2022.9.29.
4. 富山県CT研究会, スキルアップセミナー, 世話人, (オンライン), 2023.2.22.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本CT技術学会, CT technical boot camp, ハンズオンセミナーチューター, 富山市, 2022.8.27.
2. 日本放射線技術学会, 中部支部セミナーCT technical boot camp, 基礎講演座長, 富山市, 2022.8.28.
3. 富山県CT研究会, スキルアップセミナー, 一般講演座長, (オンライン), 2023.2.22.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. (公社)日本診療放射線技師会診療放射線技師基礎講習基礎技術コース「一般撮影」(中日本地域), 腹部・骨盤, 講師, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 富山県民会館611号室(富山県富山市), 2022.10.29.
2. 第55回新潟ぐるぐる臨床画像検討会, ステップアップセミナー腹部CTの画質評価~本当にCNRで良いの?~, 講師, 新潟CTテクノロジー研究会, 診療放射線技師, (オンライン), 2022.12.2.

5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 若手研究 (B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 研究代表者
2. 2020年度, 若手研究, 虚血性心疾患CADシステム開発のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
博士号 (保健学) (2022.9.26)
- 3) 学外兼務講師等  
1. 新潟医療技術専門学校臨床検査学科2年, 画像検査学, 2022.10.1-2023.3.31.
- 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会

**氏名: 大野 健**

- 1 研究題目 磁気共鳴学, 磁気共鳴を用いた脳機能の解明
- 2 論文  
1. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study Cerebral cortex. 20; 33(5): 2001-2010. (review)
- 3 報告書  
1. 大野健, 若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表  
1. 大野健, 計良妙, 大久保真樹, 渡辺将樹, 松田豪, 五十嵐博中. グリシンCEST-MRイメージング法の開発とアルツハイマー病モデルマウスへの応用. 第50回日本磁気共鳴医学会 (名古屋市), 2022.9.10-9.11.  
2. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. 若年層による表情認識と脳機能メカニズムの解明. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2022.10.29.  
3. 大石美鈴, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. fMRIを用いた顔の視認範囲がもたらす表情認知効果への影響. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2022.10.29.
- 5 学会活動  
1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本脳循環代謝学会, 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会
- 6 社会活動  
1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
新潟県核医学技術研究会 幹事
- 7 その他の教育研究活動  
1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容  
1. 2020年度, 若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等  
1. 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター (非常勤研究員)
- 8 学内委員会活動 学生委員, 交通安全委員, 同窓会・生涯学習連携推進委員, 運動機能医科学研究所 (研究員)

**氏名: 織部 祐介**

報告事項なし

**氏名: 甲斐 千遥**

- 1 研究題目 マンモグラムを用いた乳がんの成長予測を行うAI開発と評価

## 2 著書

1. 笠井聡, 甲斐千遥, 藤田広志. 学びはじめ歯科医療AIの世界. 第56巻 第2号. 医歯薬出版株式会社; 2023.3.20: P.44-49.

## 3 論文

1. 櫻井典子, 甲斐千遥, 長和弘, 近藤敏志, 児玉直樹, 笠井聡. 乳房X線画像における乳房構成解析 (Breast Density Assessment) ソフトウェアの有用性, 日本診療放射線技師会誌 (協力学術研究団体), (印刷中) (査読あり)

## 4 学会等研究発表

1. 甲斐千遥, 笠井聡. マンモグラムを用いた識別型と回帰型DCNNを組み合わせた乳房構成解析システムの開発. 医用画像情報学会 (広島), 2022.6.4.
2. 甲斐千遥, 石塚紗智, 櫻井典子, 二村仁, 児玉直樹, 笠井聡. 複数システムのマンモグラフィ画像を用いた乳腺含有率を推定する回帰型DCNNによる乳房構成解析システムの開発. 第38回 日本診療放射線技師学術大会 (神戸), 2022.9.17.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 日本認知症予防学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 告示研修 (運営スタッフ), 新潟, 2022.6.18.
  2. 告示研修 (運営スタッフ), 新潟, 2022.6.19.

## 6 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. Voicy, 大学広報の新潟医療福祉大学健康ラジオに出演, 日本人女性の9人に1人が発症する乳がんとは?, 10.14.
  2. Voicy, 大学広報の新潟医療福祉大学健康ラジオに出演, 乳がんを早期発見・治療するための4つのポイント, 10.28.
  3. Voicy, 大学広報の新潟医療福祉大学健康ラジオに出演, 乳がん検診でAI (人工知能) を駆使する診療放射線技師, 11.11.

## 7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 令和4年度, 研究活動スタート支援, マンモグラムを用いた乳がんの成長予測による検診の受診勧奨および早期発見の実現, 研究代表者
  2. 令和5年度, 基盤研究 (C), 繰り返し受診マンモグラムを用いたがんの予兆予測AIの開発, 研究代表者

## 8 学内委員会活動 広報委員, 新潟連携教育研究センター運営委員会 (連携基礎ゼミ実行部会)

### 氏名: 櫻井 典子

- 1 研究題目 機能的MRIによる脳内メカニズムの研究, 画像診断部門におけるコンピュータ支援診断システム (CAD) の研究

## 2 論文

1. Takahashi S, Sakurai N, Kasai S, Kodama N. Stress evaluation by hemoglobin concentration change using mobile NIRS. Brain Sciences. 2022; 12(4), 488. (review)
2. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. Cerebral Cortex. 2022; 1-10. (review)
3. Kobayashi R, Sakurai N, Nagasaka K, Kasai S, Kodama N. Relationship between Tactile Sensation, Motor Activity, and Differential Brain Activity in Young Individuals. Brain Sciences. 2022; 12, 924.

(review)

4. Takahashi S, Tomita Y, Tanaka S, Sakurai N, Kodama N. Prefrontal Cerebral Oxygenated Hemoglobin Concentration during the Category Fluency and Finger-Tapping Tasks in Adults with and without Mild Cognitive Impairment: A Near-Infrared Spectroscopy Study. *Brain Sciences*. 2022; 12, 1636. (review)
  5. Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. Brain function effects of Autonomous Sensory Meridian Response (ASMR) video viewing. *Frontiers in Neuroscience*. 2023; 17: 1025745. (review)
- 3 学会等研究発表
1. 櫻井典子, 児玉直樹. 機能的MRIを用いたASMRによる脳機能メカニズム. 第77回新潟県診療放射線技師会学術集会 (新潟市), 2022.5.22.
  2. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. 機能的MRIを用いた若年層による表情認知の検討第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技師教育学会, 日本認知症予防学会
- 5 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
    1. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2022.6.17.
    2. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2022.6.18.
    3. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟大学医学部大講堂, 2023.1.21.
    4. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟大学医学部大講堂, 2023.1.22.
    5. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2022.8.6-8.7.
    6. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2022.9.10-9.11.
    7. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2022.10.8-10.9.
    8. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2022.12.24-12.25.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得  
博士 (保健学) (2023.3.31)
- 7 学内委員会活動 広報委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 人権委員会 (2か月間), 運動機能医科学研究所

**氏名 : 吉田 皓文**

- 1 研究題目 深層学習手法を用いた小児CTにおける心臓自動認識手法の開発
- 2 論文
  1. Yoshida A, Kondo Y, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. U-Net-based image segmentation of the whole heart and four chambers on pediatric X-ray computed tomography. *Radiological Physics and Technology*. 2022; 15, 156-169. (review)

2. 長谷川晃, 吉田皓文, 児玉直樹. 冠動脈CT画像における石灰化とステントの高精度な自動分類を目的とした深層学習改良の試み. 日本診療放射線技師会誌. 2022; 69(834): 29-35. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. 吉田皓文, 大地邦彦, 小林祐貴, 近藤敏志, 笠井聡. 胸部X線画像から呼吸機能を推定するAIの開発. 医用画像情報学会 令和4年度秋季(194回)大会(仙台市), 2022.10.1.
  2. Yoshida A, Kasai S, Oochi K, Kobayashi Y. Feasibility of artificial-intelligence-based prediction for respiratory function using chest radiograph. RSNA2022, 108th Scientific Assembly and Annual Meeting (Chicago), 2022.11.27-12.1.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本医学物理学会, 日本医用画像工学会, 医用画像情報学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. Journal of Radiological Technologies and Physics, 査読
    2. Journal of Radiological Technologies and Physics, 査読
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 告示研修(実技研修), スタッフ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2022.6.18-6.19.
    2. 告示研修(実技研修), 実技研修ファシリテータ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟大学医療人育成センター, 2023.1.21-1.22.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 科研費基盤研究(B), 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者
    2. 2021年度, 科研費国際共同研究強化B, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究分担者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
博士(保健学)(2023.3.22)
- 7 学内委員会活動 教務委員会, FD・SD推進委員会

#### 4) 健康科学部

##### (1) 健康栄養学科

##### 氏名：永井 徹

- 1 研究題目 地域高齢者のサルコペニア予防と栄養支援に関する研究，回復期リハビリテーション患者の栄養アセスメントに関する研究
- 2 論文
  1. 永井徹，寺尾幸子，片野佑美. 地域在住の前期高齢女性と後期高齢女性におけるサルコペニアリスクの検討. *Geriatric Medicine*. 61 (1) : 2023, 85-89. (査読あり)
  2. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，稲葉洋美，岩森大，永井徹，澁谷顕一，田村典子，増田紘之，海和美咲，能村友紀，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書，2022.4-2023.3，分担者
  3. Sato N, Kanda M, Takano K, Konishi I, Kobayashi R, Kinoshita N, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Uchiyama W, Ishigami K. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese) -Classifying into Different Age Groups. *Journal of Community Medicine & Public Health(JCR)*. 2022; 6: 252. DOI: 10.29011/2577-2228.100252.(review)
- 3 学会等研究発表
  1. 永井徹，齋藤泰晴，堂井真里，石月公美子，坂井邦彦，遠藤沙保里，山石理恵，笠原純子，北林紘，野崎彰子. 後期高齢者のサルコペニア発生要因には低栄養リスクと舌圧の低下が関連する. 第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会（横浜市），2022.5.31-6.1.
  2. Nagai T, Saito Y, Sakai K. Sarcopenia: a concern in the community-dwelling late-age elderly. The 8th Asian Congress of Dietetics（横浜市），2022.8.19-8.21.
  3. 永井徹，増田紘之. 地域在住後期高齢者におけるBMIとサルコペニアリスクとの関係性. 第69回日本栄養改善学会学術集会（倉敷市），2022.9.16-9.18.
  4. 永井徹，岩森大，伊藤加代子. 前期高齢者と後期高齢者におけるサルコペニアリスクと口腔状態の検討. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会（千葉市），2022.9.23-9.24.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本臨床栄養代謝学会（学術評議員），日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本栄養改善学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. そのき市民学級，新潟市公民館事業，サルコペニア予防を学ぶ，新潟市曾野木地区公民館，高齢者，新潟市，2022.8.3.
    2. むらかみ長寿大学10月特別講座，サルコペニア予防，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2022.10.4.
    3. いまさら聞けない？しろね塾，新潟市公民館事業，フレイル予防講座，新潟市白根地区公民館，高齢者，新潟市，2023.3.7.
    4. いきいきセミナー，新潟市公民館事業，フレイル予防の食事を学ぶ，新潟市横越地区公民館，高齢者，新潟市，2023.3.10.
    5. むらかみ長寿大学特別健康講座，嚥下機能維持とサルコペニア予防，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2023.3.20.
  - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. 新聞，新潟日報，食事と運動で飲む力維持，2022.9.10.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長，新潟市，2022.4.1-2023.3.31.

- 4) 職能団体（協会、士会等）の委員  
新潟県栄養士会理事
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2021年度、科研費基盤研究（C）、サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究、研究代表者
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会（委員長）、栄養科学研究センター、ロコモティブ症候群予防研究センター（新潟県介護予防連携事業に係る栄養業務）

**氏名：稲葉 洋美**

- 1 研究題目 共食に関する研究、高校生の食と健康に関する研究、スポーツ栄養
- 2 論文
  1. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study, *Healthcare*, 10, 663, 2022（査読あり）
  2. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Remote dining is more delicious than solitary eating, *Jpn Pharmacol Ther*, 50, 9, 1623-1628, 2022（査読あり）
  3. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Is food more delicious when eaten alone or when via the internet? *日本食育学会*, 17, 2, 81-89, 2023（査読あり）
  4. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善を目指した食事提供とその効果, *地域ケアリング*, 24, 5, 69-74, 2022（査読あり）
  5. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直之, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書, 2023年3月発行
- 3 学会等研究発表
  1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kseniia Potapova, Marina Rzuiankina, Ishigami K. Comparison of the health status of 15-year-old schoolchildren in Khabarovsk and Niigata city in the context of the coronavirus pandemic, 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
  2. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Shibuya R, Tsurumaki Y, Watanabe N, Kaiwa M, Ishigami K. Thoughts about Body Shape and Eating Habits Influencing Adolescents' Body Perception Using the Health Behavior of School-age Children Questionnaire in Niigata Prefecture, Japan, 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo, Yokohama, Tokyo, 2022.12.6-12.9.
  3. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪, ユース年代男子サッカー選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況, 第33回日本臨床スポーツ医学会, 札幌, 2022.11.11-11.13.
  4. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Does the Quality of Food Differ when Eating with Others Verse Eating Together Virtually? 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
  5. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes, 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
  6. Ishikawa H, Yamada M, Yuki D, Kondo A, Hoshino H, Inaba H. Influence of the name of the green tea production area as auditory information on taste perception, 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo, Yokohama, Tokyo, 2022.12.6-12.9.
  7. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況, 第33回日本臨床スポーツ医学会, 札幌, 2022.11.11-11.13.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本家政学会, 日本食生活学会, 日本栄養・食糧学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定, 栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟ガールズ選手と保護者, オンライン, 2023.3.24.
2. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定, 栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟U18選手, オンライン, 2023.3.25.
3. 女性アスリート支援プロジェクト (スポーツ庁), フィードバックセミナー, 講師, 女性アスリート, オンライン, 2023.3.1.

### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. ヘルスケアレストラン, スポーツ栄養の実践から健康寿命の延伸へ, 2023, 3月号

### 3) 社会活動への参加協力

1. 南浜中学校, 総合の時間, 授業協力, 2022.7.8.

### 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員

## 6 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 新潟県連携事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究代表者: 佐藤成登志, 研究分担者: 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 瀧谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉
2. 2022年度, 基盤研究 (C), 小学生のやせ願望・やせ行動の要因解明と教育プログラムの構築, 研究分担者
3. 2022年度, 基盤研究 (C), 女子アスリートの鉄欠乏, 貧血に対する新たな診断法の検証とメカニズムの究明, 研究分担者

### 2) 学外兼務講師等

1. 放送大学, 食と健康, 2022.12.17-12.18.

## 7 学内委員会活動 広報委員会, 大学院入試広報委員会, プロジェクト研究センター運営委員, SHAINプロジェクト, アスリートサポート研究センター, 栄養科学研究センター (センター長)

## 氏名: 遠藤 和男

- 1 研究題目 医療福祉分野における統計学の応用についての研究, 胆道がんの成因に関する疫学的研究, 健康学習・健康教育の評価に関する研究

### 2 学会等研究発表

1. Endoh K, Kumudesh Mishra, Tsuchiya Y, Ikoma T, Vinay K Kapoor. Risk factors for gallbladder cancer in northern India: A gallstones-matched, case-control study. 2nd Jaipur Surgical Festival (Jaipur, INDIA). 12.2-12.4.

### 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会 (理事), 日本病態栄養学会 (評議員), 日本産業衛生学会 (地方会理事), 日本公衆衛生学会, 日本衛生学会, 日本疫学会, 日本医学教育学会, 日本健康教育学会, 新潟医学会, 新潟医療福祉学会

### 4 社会活動

#### 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県環境影響評価審査会 (会長), 新潟県生活習慣病対策協議会循環器等検診部会 (委員), 新潟県脳卒中情報システム委員会 (委員), データ管理取扱委員会 (がん登録情報について, 委員), 新潟県教育庁安全



衛生委員会（委員，産業医），新潟産業保健推進センター（独法）相談員会議（委員）

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県産業保健研究会（監事）

5 学内委員会活動 健康管理委員会（委員，学校医），安全衛生委員会（委員，産業医），新潟連携教育研究センター運営委員会（委員）

**氏名：森泉 哲也**

1 研究題目 幼・小・中・高等学校における食育の教育課程作成及び具体的な指導法等に関する研究（健康教育）

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度ときわ会健康教育サークル（栄養教諭部会）研修会，教科等における食に関する指導のポイント，講師，ときわ会，栄養教諭・学校栄養職員，新潟市江南区文化会館，2022.7.2.
2. 京都市 令和4年食育研修講座，学校教育全体で行う食育を扱うための全体計画の考え方，講師，京都市教育委員会，小中学校管理職・栄養教諭・給食主任，2022.10.11.（オンライン）
3. 第73回全国学校給食研究協議大会（オンライン），学校経営に食育を位置付け栄養教諭を中心として推進するための方策，分科会指導者，文部科学省，管理職・教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・学校給食調理員・保護者・行政食育担当者，国立オリンピック記念青少年総合センター，2022.10.13・10.14.
4. 新潟大学附属新潟小学校初等教育研究会，共通の食の課題から焦点化された食の課題に導く食育指導，分科会指導者，新潟大学附属新潟小学校，管理職・教諭・栄養教諭・学校栄養職員，新潟大学附属新潟小学校，2022.10.15.（対面）・2023.2.4.（オンライン）
5. 令和4年度 職能選択研修（栄養教諭・学校栄養職員），学校全体で取り組む食育の進め方，講師，宮崎県教育委員会，栄養教諭・学校栄養職員，宮崎県教育研修センター，2022.10.18.（オンライン）
6. 聖籠町食育推進検討会，聖籠町の食育の推進における課題，指導助言者，聖籠町教育委員会，園・小中学校の管理職・給食主任・保護者代表・栄養教諭・管理栄養士・行政の食育担当者，聖籠町役場，2022.10.31.
7. 教職実践演習特別講義，学習指導案作成の基本，講師，新潟県立大学，学生（3年生）・教職担当教員，新潟市，2022.11.18.
8. 食育指導者養成オンライン研修，食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方，講師，独立行政法人教職員支援機構，指導主事・栄養教諭・栄養職員・管理職・教諭，つくば中央研修センター，2022.12.1.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

文部科学省文部科学大臣表彰学校給食表彰審査会委員長，独立行政法人教職員支援機構食育指導者養成研修カリキュラム検討委員，新潟市教育委員会新潟市立荻川小学校学校運営協議会委員

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

特定非営利活動法人21世紀構想研究会学校給食甲子園実行委員

4 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（副委員長）

**氏名：鈴木 一恵**

1 研究題目 地域の減塩活動に関する研究，災害食に関する研究，地域高齢者の低栄養予防に関する研究（公衆栄養学）

2 学会等研究発表

1. [Suzuki K](#), Takeuchi M, Watanabe Y, Kojima M. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents in the working-age population: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. ACD2022・Japan, 2022.8.20.
  2. Watanabe Y, Ishizawa S, [Suzuki K](#), Saito T. Subjective Health Status Related to the Frequency of Consuming Meals Combining Grain Dishes, Fish/Meat Dishes, and Vegetable Dishes in University Students Living Alone in Japan. ACD2022・Japan, 2022.8.20.
  3. [鈴木一恵](#), 竹内瑞希, 小島美世. 地域高齢者の食事パターンと食事中的ナトリウム／カリウム比率との関連. 新潟医療福祉学会・新潟市. 2022.10.29.
  4. 小黒遥音, 佐藤寧々, 佐藤日彩, 中川真希, 竹内瑞希, [鈴木一恵](#). A市の働く世代を対象とした塩分チェックリストの結果～男女差に着目して～. 新潟医療福祉学会・新潟市. 2022.10.28.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本栄養改善学会（評議員）、日本循環器病予防学会、日本公衆衛生学会、日本災害食学会、新潟医療福祉学会、新潟栄養・食生活学会
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. とよさか中高年教養大学, 健康長寿は減塩から, 講師, 豊栄公民館, 地域住民, 新潟市, 2022.6.23.
    2. 出張講座, 新潟県の減塩活動, 講師, 高田北城高校, 高校生, 上越市, 2022.7.26.
    3. 五泉市食育推進計画研修会, 五泉市の食育で目指すこと, 講師, 五泉市学校教育課, 学校関係者, オンライン, 2022.8.2.
    4. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講座, 朝食の必要性, 学生指導, 五泉市健康福祉課, 村松高校の学生, 2022.10.4.
    5. 健康経営推進セミナー, 働く世代の健康と食生活, 講師, 新潟県健康づくり支援課, 県内企業, オンライン, 2022.10.20.
    6. 新潟県栄養士会教育研究事業部研修会, 地域連携を通じた各養成校の取り組みについて, 事例発表, 新潟県栄養士会, 会員（教育研究事業部）, オンライン, 2022.10.22.
    7. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講座, 朝食の必要性, 学生指導, 五泉市健康福祉課, 五泉高校の学生, 2022.11.14.
    8. 県央地域 昼食（サラ飯）充実事業検討会, 健康な食事で期待できる効果, 講師, 三条地域振興局健康福祉環境部, 市町村, 配達弁当業者, オンライン 2023.3.9.
    9. 地域高齢者等の「食」のサポート研修会, 通いの場での低栄養予防モデル事業の結果と今後の取組の方向性, 講師, 長岡地域振興局健康福祉環境部, 長岡市（オンライン）, 2023.2.20.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟市食と花の推進課, 食育の日協力店とのコラボ事業（レシピ提供）, 市との調整, 新潟市・スーパー・直売所, 2022.9.19-10.18.
    2. 新潟市食と花の推進課, 食育の日協力店とのコラボ事業（弁当考案）, 市との調整・学生指導, 新潟市・スーパー・直売所, 2022.3.18-4.7.
    3. 食の新潟国際賞財団, 「にいがた食と農の未来学生」ビジョンコンテスト, 学生指導（ビジョン作成等）, 新潟市・開志専門職大学（決勝大会）, 2022.6.1-11.15.
    4. 三条地域振興局健康福祉環境部, 県央地域 昼食（サラ飯）充実事業, 学生指導（献立考案・健康情報作成）, 三条市・三条地域振興局健康福祉環境部, 2022.6.10-10.28.
    5. 長岡地域振興局健康福祉環境部, 地域高齢者等の「食」のサポート研修会, 通いの場での低栄養予防モデル事業の結果と今後の取組の方向性, 研究報告書 p55-60.（研究代表：鈴木一恵, 竹内瑞希, 渡辺優奈）, 長岡市, 2022.4.1-2023.3.31.
    6. 五泉市健康福祉課, 地域高齢者を対象とした随時尿中ナトリウム／カリウム比率と食品摂取多様性との関連, 研究報告, 2022.5.25-2023.2.9.

7. 五泉市健康福祉課, 働く世代を対象とした塩分チェックリストの結果～男女差に着目して～, 研究報告, 2022.5.25-2023.2.9.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
五泉市食育推進委員会(食育推進事業アドバイザー), 五泉市食育推進検討委員会(食育推進事業アドバイザー), 柏崎市地産地消推進会議(副議長), 柏崎市食育推進会議(副議長), 新潟県健康に配慮した中食検討会議(委員), 出雲崎町栄養業務検討会(委員), 南魚沼市統合給食センター整備検討委員会(委員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
日本栄養改善学会(評議員), 日本栄養改善学会関東・甲信越支部(幹事), 健康ビジネス協議会(おもいやり災害食認定制度事業審査委員会・委員)
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科研費基盤研究(c), 地域在住の自立高齢者の低栄養の実態と関連要因～食意識・食行動に着目して～, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
新潟医療福祉学会賞(奨励賞・2022.5.11)
- 6 学内委員会活動 国試対策委員会, 社会連携推進センター運営委員会

**氏名: 田村 典子**

- 1 研究題目 血小板血栓のメカニズムの研究, ポリフェノールが血小板血栓形成におよぼす効果, 高血糖が血小板血栓形成におよぼす影響
- 2 学会等研究発表
  1. 田村典子, 阿部拓也, 藤井豊. ラットの動脈血と静脈血による血流条件下コラーゲン繊維上に形成される血小板血栓の成長 第45回日本バイオレオロジー学会(平塚市) 2022.6.4.
  2. 王月粟, 田村典子. 高血糖が健常成人の血小板血栓形成におよぼす影響. 第22回新潟医療福祉学会総会(新潟市) 2022.10.1.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本血栓止血学会(代議員)
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第45回日本バイオレオロジー学会 座長(平塚市, 東海大学) 2022.6.4.
    2. Journal of Biorheology 査読
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. JMAC定例会 特別講演 血小板血栓のリアルタイムイメージング, 講演, オンライン, 特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム 2022.10.27.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 栄養科学研究センター, 新潟県介護予防 高齢者の低栄養に関する調査, 学生の引率, 出雲崎, 2022.7.27.
    2. 栄養科学研究センター, 新潟県介護予防 高齢者の低栄養に関する調査, 学生の引率, 村上市, 2022.9.2.
    3. 栄養科学研究センター, 新潟県介護予防 高齢者の低栄養に関する調査, 学生の引率, 島見町, 2022.9.26.
- 5 学内委員会活動 図書館学習支援委員会, 国際交流専門委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, メンタルヘルス支援委員, 栄養科学研究センター

**氏名：澁谷 顕一**

- 1 研究題目 筋出力時の脳活動に関する研究（運動生理学），咀嚼による認知機能の改善に関する研究（認知科学）
- 2 論文
  1. Miyamoto M, Hanatani Y, Shibuya K. Increased vitamin D intake may reduce psychological anxiety and the incidence of menstrual irregularities in female athletes. PeerJ (JCR), 2022, 10:e14456.. (査読あり)
  2. Sato N, Miyamoto M, Santa R, Homma C, Shibuya K. The effect of background music tempo on eating speed and food intake volume within in healthy women. Nutrition and Health. 2023 Feb 19:2601060231158234. doi: 10.1177/02601060231158234. Epub ahead of print. PMID: 36802995. (査読あり)
  3. Sato N, Miyamoto M, Santa R, Sasaki A, Shibuya K. Cross-modal and subliminal effects of smell and color. PeerJ (JCR). 2023 Feb 17; 11:e14874. doi: 10.7717/peerj.14874. PMID: 36814960; PMCID: PMC9940644. (査読あり)
  4. 佐藤直人, 宮本真菜, 三田梨沙, 澁谷顕一. 体型判断におけるベイズ統合の影響. 山形県立米沢栄養大学紀要. 9: 5-10, 2023 (査読あり)
  5. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善を目指した食事提供とその効果. 地域ケアリング. 24 (5): 69-73, 2022 (査読あり)
  6. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善したテイクアウトメニューの検証と喫食時に及ぼす影響. 地域ケアリング. 24 (1): 62-66, 2022 (査読あり)
  7. 岩森大, 澁谷顕一, 永井徹, 稲葉洋美. 嚥下障害予防に向けた固定食へのとろみ付与効果. アクリバイオ 6: 49-53, 2022 (査読あり)
  8. 介護予防における大学との連携事業, 2022年度報告書 (分担)
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (副理事長), 日本生理人類学会, 日本人類働態学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. PeerJ (JCR), Academic Editor
    2. PLOS ONE (JCR), Academic Editor
- 4 社会活動
  - 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員  
スポーツ庁 J-Star プロジェクト評価責任者
  - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
公益財団法人日本オリンピック委員会 (強化スタッフ), 公益財団法人日本オリンピック委員会エリートアカデミー (サポートスタッフ), 公益社団法人日本ローイング協会強化委員会 (委員), 公益社団法人日本ローイング協会医科学委員会 (スタッフ), 公益社団法人日本ローイング協会 U23・タレントマネジメント連携事業 (プロジェクトマネージャーアシスタント), 独立行政法人日本スポーツ振興センター J-Star プロジェクト (サポートスタッフ), 独立行政法人日本スポーツ振興センター「課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム」担当者
- 5 学内委員会活動 学術委員会, 大学院教務委員会, 栄養科学研究センター (研究員)

**氏名：山崎 貴子**

- 1 研究題目 調理加工・保存等における食品成分およびテクスチャーの変化
- 2 著書
  1. 坂本寛, 郡司尚子, 小長井ちづる, 高岡素子, 飯村裕子, 山崎貴子, 大久保剛, 渡辺敏郎: 下橋淳子 編著, 3章1 肉類 食肉加工品, 食べ物と健康Ⅱ [食品学各論]. 東京: 八千代出版; 2022: 65-74.

### 3 学会等研究発表

1. 山崎貴子, 寺尾幸子, 竹内瑞希, 星野美美, 石澤幸江. 小規模調理, 大量調理を行った和え物のカリウム, ナトリウム量について. 日本調理科学会2022年度大会(姫路市), 2022.9.2-9.3.
2. 小杉ひかる, 山崎貴子. 調理前後における料理のビタミンC含量の変化と食品成分表計算値との比較. 日本調理科学会2022年度大会(姫路市), 2022.9.2-9.3.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 日本栄養食糧学会, 新潟医療福祉学会

### 5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築:調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究代表者

### 6 学内委員会活動 教務委員会(副委員長), 毒物・劇物管理委員会

## 氏名: 岩森 大

### 1 研究題目 高齢者の食事形態と食品のテクスチャに関する研究

### 2 著書

1. 岩森大, 飯田文子, 松月弘恵, 石原三妃, 伊藤美穂, 木村靖子, 小島佐紀子, 高橋敦子, 中島敬子, 平井智美, 星野亜由美, 増田邦子, 水野智春, 山崎絵里. あすの健康と調理~食生活の彩りを豊かに~, 初版, 東京, アイケイコーポレーション; 2023年3月; 82-97, 156-162.

### 3 論文

1. 岩森大, 澁谷顕一, 永井徹, 稲葉洋美. 嚥下障害予防に向けた固形食へのとろみ付与効果, アグリバイオ, 6, 2, 139-144, 2022(査読あり)
2. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善を目指した食事提供とその効果, 地域ケアリング, 24, 5, 69-74, 2022(査読あり)

### 4 報告書

1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2022, 研究代表者
2. 永井徹, 岩森大, 宮岡洋三, 伊藤加代子. 科研基盤研究(C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2022, 研究分担者

### 5 学会等研究発表

1. 岩森大, 真柄仁, 板離子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上誠. 炭酸飲料における刺激とテクスチャの違いが随意嚥下活動に及ぼす影響. 新潟歯学会(新潟市) 2022.11.12.
2. 岩森大, 真柄仁, 板離子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上誠. 炭酸飲料へのとろみ付与がもたらす随意嚥下運動の変調, 日本嚥下歯学会(名古屋市) 2023.3.3.

### 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本調理科学会(総務), 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本官能評価学会, 日本口腔リハビリテーション学会, 日本嚥下歯学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 新潟歯学会, 新潟栄養食生活学会, 新潟医療福祉学会

### 2) 学会等でのその他の活動

1. 日本調理科学会誌, 査読
2. An Interdisciplinary Journal, 査読
3. 日本調理科学会誌, 査読

### 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 公開講座, フレイル予防講座1, フレイル予防と栄養, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.7.26.
  2. 公開講座, フレイル予防講座2, サルコペニアとタンパク質, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.8.23.
  3. 公開講座, フレイル予防講座3, タンパク質含有量と効果的な摂取方法, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.9.27.
  4. 講演会, みんなが知っていそうで知らない油の豆知識, 油と調理～食感への効果～, 講義, 日本油科学会, 一般参加者, 新潟市コープシティ花園ガレッジホール, 2022.10.8.
  5. 講習会, 女子運動部(球技)における栄養と食事, 講義・演習, 村上桜ヶ丘高校, 高校生, 村上桜ヶ丘高校, 2022.12.7.
- 2) 社会活動への参加協力
1. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟(通年)
  2. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 運営委員(通年)
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟県栄養士会(広報委員)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 科研基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究代表者
    2. 科研基盤研究(C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 研究分担者
    3. 古泉記念財団, ゼリー炭酸飲料が随意嚥下活動に及ぼす影響, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
歯学博士(2023.3.21)新潟大学
- 9 学内委員会活動 学生委員会(副委員長), 交通安全委員会(副委員長), 高等教育推進センター運営委員会(副委員長), 栄養科学研究センター(副センター長)

**氏名: 川上 心也**

- 1 研究題目 個体の栄養状態が卵子に与える影響についての研究, 卵子の成熟機序の研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本卵子学会, 新潟医療福祉学会, 北信越畜産学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 新潟医療福祉学会誌, 査読(2件)
- 3 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 基盤研究(C), 個体のエネルギー摂取不足は卵子の発育に影響するのか?, 研究代表者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 放送大学新潟学習センター, 脱初心者のためのパソコン実践, 2022.4.23-4.24.
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, FD・SD推進委員会

**氏名: 星野 美美**

- 1 研究題目 アスリートの食習慣・睡眠の実態とそれらがコンディションやパフォーマンスに与える影響について, 児童のやせ願望とその実態について, 高校生の睡眠時間と健康について
- 2 論文
  1. [Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study. Healthcare \(Basel\). 2022](#)

Apr 1; 10(4): 663. (査読あり)

### 3 学会等研究発表

1. Hoshino E, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes. The 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama · Japan), 2022.8.19-8.21.
2. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌), 2022.11.12-11.13.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本栄養食糧学会, 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本給食経営管理学会, 日本臨床スポーツ医学会

### 5 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. アルビレックス新潟アカデミーU18栄養調査, セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミーU18, 新潟市, 2022.6.17.
2. アルビレックス新潟ガールズ栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟ガールズ, 新潟市, 2023.3.23.
3. アルビレックス新潟アカデミー男子栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミー男子, 新潟市, 2023.3.25.
4. 新潟骨を守る会・福祉・介護・健康フェア参加, 体験ブース (骨量測定), 栄養相談, 新潟日報社, 一般市民, 新潟市, 2022.11.26.
5. 第3回日本スポーツ外傷・障害予防研究会, 栄養セミナー, 講師, 一般社団法人日本スポーツ外傷・障害予防協会, 選手・指導者・保護者・トレーナー, 新潟市, 2022.12.18.

#### 2) 社会活動への参加協力

1. 公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部・役員会議, 役員, 新潟市, 2022.4-2023.3.
2. 日本栄養士連盟・新潟支部役員会議, 幹事長, 新潟市, 2022.4-2023.3.
3. 新潟骨を守る会・役員会議, 幹事, 新潟市, 2022.4-2023.3.
4. アルビレックス新潟・栄養関連会議, 役員, 新潟市, 2022.4-2023.3.

#### 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部 (幹事), 新潟骨を守る会 (幹事), 日本栄養士連盟新潟支部 (幹事長)

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 基盤研究 (C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 山崎貴子・寺尾幸子・竹内瑞希・星野美美.

### 7 学内委員会活動 同窓会・生涯学習連携推進委員会 (委員), 入試委員会 (委員), アスリートサポート研究センター (研究員)

## 氏名: 中村 純子

### 1 研究題目 中学生へのCKD普及啓発とその効果, ジュニアアスリートへの栄養教育

### 2 学会等研究発表

1. Nakamura J, Maruyama Y, Kawakami N, Imai Y, Tanabe A, Takano A. An Evaluation of the Mental Health of Parents of Infants and Toddlers and the Diversity in Parenting Support during the COVID-19 Pandemic. The 8th Asian Congress of Dietetics (Japan), 2022.8.20.
2. 平田一希, 竹鼻千尋, 生田優妃, 久保田涼香, 竹内瑞希, 中村純子. 高校生男子サッカー部員の体組成と食事摂取状況, 今後の課題について. 新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29. (ゼミ生発表)

3. 中村純子, 田辺藍子, 丸山庸子, 今井由貴, 川上紀子, 高野綾子, 五十嵐恭子, 篠田有華. コロナ禍でも保護者が笑顔で育児ができる多職種連携の母子事業. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会(新潟), 2022.11.13.
  4. 中村純子, 竹内瑞希, 鈴木優也, 倅田亮平. 中学校3年生とその保護者を対象としたCKD認知度親子アンケート調査について. 第26回日本病態栄養学会年次学会(京都), 2023.1.13.
  5. \* Takeuchi M, Nakamura J, Saito Y Nakano T, Ito T. Beneficial Effects of Synbiotics in Hemodialysis Patients with Poor Defecation Control. 8th Asian Congress of Dietetics (Japan), 2022.8.20.
  6. Suzuki Y, Kaseda R, Takeuchi M, Nakamura J, Nakagawa Y, Wakasugi M, Narita I. The importance of promoting health literacy of CKD to the younger generation ~ The data from Niigata Prefectural Health and Nutrition Survey and questionnaire survey to high school students in Japan ~. American Society of Nephrology (Orlando), 2022.11.4.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本栄養士会, 日本病態栄養学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本腎臓学会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 日本保健医療福祉連携教育学会, 演題査読, 新潟, 2022.11.13.
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 講習会, 栄養教室, 演者, 新潟北サッカーコミュニティMINAMIHAMA, 中学生とその保護者, 新潟市, 2022.6.5.
    2. 公開講座, 市民公開セミナーin新潟CKD, 演者, 協和キリン・新潟県, 新潟県民, 新潟市, 2022.11.13.
    3. 研修会, 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)腎疾患対策検討会報告書に基づくCKD対策推進に資する研究(研究代表 岡田浩一)腎臓病療養指導士勉強会, CKDに対する取り組みと高校生への認知度調査, 新潟大学医歯学総合病院腎膠原病内科・新潟県腎臓病療養指導士, 新潟市, 2022.6.17.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 燕市健康福祉部健康づくり課, 離乳食相談・栄養相談, 燕市保健センター, 2022.6.4.
    2. 東京学館新潟高等学校サッカー部, 栄養サポート(食事相談, 体組成計測), 東京学館新潟高等学校, 2022年度
    3. 菜の花こども園, 離乳食相談, 菜の花こども園, 2022.9.30.
    4. ふくちゃ部, 食育, 村上市まちづくり協議会集いの場・あらほつ, 2022.9.18.
  - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市学校運営協議会・梨の花部会(新潟市学校運営協議委員)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得  
新潟医療福祉学会奨励賞(2022.10.29), \* The 8th Asian Congress of Dietetics ACD2022 Excellent Poster Award(2022.8.20)
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 木崎小学校, 総合学習(弁当の日), 2022年度計4回
    2. 南浜中学校, 保健体育(CKD), 2022.10.4.
- 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名: 増田 紘之

- 1 研究題目 運動中の活動筋疲労について, トレーニングによる骨格筋代謝適応効果について(運動生理生化学)



## 2 報告書

1. 増田紘之. 科学研究費基金基盤研究 (C), 代謝物質としての乳酸から見えてきた, 活動筋-交感神経フィードバック神経回路, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者

## 3 学会等研究発表

1. Masuda H. The 8th Asian Congress of Dietetics (アジア栄養士会議) (東京). Aug 19-21, 2022.
2. Nagai T, Masuda H. 第69回日本栄養改善学会, 2022.9.

## 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体力医学会, 日本運動生理学会

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 介護予防講演会, サルコペニア予防のための運動, 演者, 中高年者, 白根公民館, 2023.3.7.
2. 地域高齢者サルコペニア予防プログラム, 撮影, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2022.4.1-2023.3.31.
3. 介護予防講演会, サルコペニア予防のための運動, 演者, 中高年者, ビッグスワン, 2023.3.25.

## 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
  1. 2022年度, 基盤研究 (C), 代謝物質としての乳酸から見えてきた, 活動筋-交感神経フィードバック神経回路, 研究代表
- 2) 学外兼務講師等
  1. 中央大学保健体育研究所 トレーニング・コーチング研究班 (客員研究員), 2022.4.1-2023.3.31.
  2. 中央大学保健体育研究所 ヒューマンパフォーマンス研究班 (客員研究員), 2022.4.1-2023.3.31.
- 7 学内委員会活動 動物実験委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, ロコモティブ症候群予防研究センター, 栄養科学研究センター

## 氏名: 寺尾 幸子

- 1 研究題目 動画を用いた包丁技術教育の効果と課題
- 2 論文
  1. 永井徹, 寺尾幸子, 片野祐美. 地域在住の前期高齢女性と後期高齢女性におけるサルコペニアリスクの検討. Geriatric Medicine (老年医学). 2023; 61(1): 85-89. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. Terao S, Iwamori H. Using Videos to Improve Knife Skills among University Students in Dietitian Training Courses. The 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama Japan), 8.19-8.21.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本病態栄養学会, 日本調理科学会, 日本栄養学教育学会, 調理技術教育学会, 新潟栄養・食生活学会 (幹事), 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. 新潟骨を守る会, NEWS LETTER 第74号, 2022.6.28.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 分担研究者
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 健康管理センター運営委員会

## 氏名: 竹内 瑞希

- 1 研究題目 透析患者の栄養管理, 栄養教育に関する研究, 栄養に関する知識 Database の活用について

## 2 学会等研究発表

1. Takeuchi M, Horikawa C, Hatta M, Fujihara K, Araki A, Sone H. Combined effects of fruit and vegetable intake on obesity in Japanese patients with type 2 diabetes. 82th American Diabetes Association, 2022, June 3-7.
2. Takeuchi M, Nakamura J, Saito Y, Nakano T, Ito T. Beneficial Effects of Synbiotics in Hemodialysis Patients with Poor Defecation Control. 8th Asian Congress of Dietetics, 2022, August 20.
3. Suzuki K, Takeuchi M, Watanabe Y, Kojima M. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents in the working-age population: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey 8th Asian Congress of Dietetics, 2022, August 20.
4. Suzuki Y, Kaseda R, Takeuchi M, Nakamura J, Nakagawa Y, Wakasugi M, Narita I. The importance of promoting health literacy of CKD to the younger generation ~ The data from Niigata Prefectural Health and Nutrition Survey and questionnaire survey to high school students in Japan ~ American Society of Nephrology, 2022, November 4.
5. 小黒遥音, 佐藤寧々, 佐藤日彩, 中川真希, 竹内瑞希, 鈴木一恵. A市の働く世代を対象とした塩分チェックリストの結果～男女差に着目して～新潟医療福祉学会, 2022.10.29.
6. 鈴木一恵, 竹内瑞希, 小島美世. 地域高齢者の食事パターンと食事中的ナトリウム/カリウム比率との関連 新潟医療福祉学会, 2022.10.29.
7. 中村純子, 竹内瑞希, 生田優妃, 久保田涼香, 竹鼻千尋, 平田一希, 鈴木優也, 俣田亮平. 中学校3年生とその保護者を対象としたCKD認知度親子アンケート調査について 日本病態栄養学会学術集会, 2023.1.13.
8. 平田一希, 竹鼻千尋, 生田優妃, 久保田涼香, 竹内瑞希, 中村純子. 高校生男子サッカー部員の体組成と食事摂取状況, 今後の課題について 新潟医療福祉学会, 2022.10.29.

## 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本病態栄養学会, 日本静脈経腸栄養学会, 日本栄養改善学会, 新潟栄養・食生活学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 公益社団法人 新潟県栄養士会 新潟栄養・食生活学会学会誌投稿規定 投稿規定校閲 新潟市 2022.10-11.

## 4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 西地区公民館事業, ～食べ物の「なぜ」を探ろう!～フワフワどら焼きのヒミツ!?, 赤塚小学校, 2022.11.5.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 新聞掲載, 新潟日報, 加齢に伴う筋肉量減少サルコペニアおいしく予防, 2023.3.18.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 五泉市健康福祉保健課, 研究活動(健診時の随時尿中Na/K比と食行動との関連), データ解析, 2022.6.9-2023.2.9.
  2. いきいきセミナー 調理講座「サルコペニア予防に向けて」運営補助, 新潟市横越地区公民館, 55歳以上の市民, 新潟市, 2022.8.22.
  3. 三条地域振興局健康福祉環境部, 県央地域 昼食(サラ飯)充実事業, 学生指導(献立考案・健康情報作成), 三条市・三条地域振興局健康福祉環境部, 2022.6.10-10.28.
  4. 新潟市立南浜中学校「夢・未来・南浜プロジェクト」, 食品ロスや販売する商品についての助言・指導, 新潟市・南浜中学校, 2022.9-10.
  5. 公益社団法人 新潟県栄養士会 2021年度在宅訪問栄養食事相談事業, 事業データ分析・報告, 新潟市・オンライン, 2022.3-6.

6. 食の新潟国際賞財団, 「にいがた食と農の未来学生」ビジョンコンテスト, 学生指導 (ビジョン作成等), 新潟市・開志専門職大学 (決勝大会), 2022.6.1-11.15.
  7. 長岡地域振興局健康福祉環境部, 地域高齢者等の「食」のサポート研修会, 通いの場での低栄養予防モデル事業の結果と今後の取組の方向性, 研究報告書p55-60., 長岡市, 2022.4.1-2023.3.31.
  8. 五泉市健康福祉課, 地域高齢者を対象とした随時尿中ナトリウム/カリウム比率と食品摂取多様性との関連, データ分析・研究報告, 2022.4-2023.3.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究分担者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 

The 8th Asian Congress of Dietetics ACD2022 Excellent Poster Award 受賞 (2022.8.21)
- 6 学内委員会活動 教務委員

**氏名: 渡辺 優奈**

報告事項なし

**氏名: 宮本 真菜**

- 1 研究題目 女子選手の栄養摂取状態とスポーツパフォーマンスに関する研究 (運動生理学, スポーツ栄養学)
- 2 論文
  1. Miyamoto M, Hanatani Y, Shibuya K. Increased vitamin D intake may reduce psychological anxiety and the incidence of menstrual irregularities in female athletes. PeerJ, 2022, 10:e14456. (JCR) (査読あり)
  2. Sato N, Miyamoto M, Santa R, Homma C, Shibuya K. The effect of background music tempo on eating speed and food intake volume within in healthy women. Nutrition and Health. 2023 Feb 19:2601060231158234. doi: 10.1177/02601060231158234. Epub ahead of print. PMID: 36802995. (査読あり)
  3. Sato N, Miyamoto M, Santa R, Sasaki A, Shibuya K. Cross-modal and subliminal effects of smell and color. PeerJ. 2023 Feb 17;11:e14874. doi: 10.7717/peerj.14874. PMID: 36814960; PMCID: PMC9940644. (JCR) (査読あり)
  4. 佐藤直人, 宮本真菜, 三田梨沙, 澁谷顕一. 体型判断におけるベイズ統合の影響. 山形県立米沢栄養大学紀要. 9: 5-10, 2023 (査読あり)
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 

公益財団法人日本オリンピック委員会 (強化スタッフ)
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 古泉財団研究助成金, 女性アスリートの月経障害発生リスクの検討及び食事療法の開発, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 

大学女性協会ホームズ賞 (受賞・2023.1.16)
- 6 学内委員会活動 広報委員会

氏名：石川 陽希

報告事項なし

(2) 健康スポーツ学科

氏名：西原 康行

1 研究題目 Embodied Knowledge, Human Resource Management

2 著書

1. 西原康行. 指導者としての地域スポーツクラブ活動. 東京：ぎょうせい；2022：1-19.

3 論文

1. Nishihara Y, Uchiyama W. Characteristics and Differences in the Verbal Responses of Expert and Novice Basketball Coaches Elicited by Cognition of Fixed Camera Images and VR Images. International Journal of Sport and Health Science (協力学術研究団体). 2022, 20: 181-192. (review)

4 報告書

1. 生田孝至, 姫野完治, 西原康行. 基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 2018-2022, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. 21th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >), 2022.8.20-8.21.

2. Nishihara Y. What are the competencies of PE teachers and coaches in Japan?. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2022.9.10. 【教育講演】

3. 西原康行. 新しい地域スポーツ活動とは：スポーツ庁部 活動の地域移行の骨子. 第12回地域スポーツフォーラム研究集会 (新潟：長岡市), 2022.10.15. 【シンポジウム】

4. 西原康行. トップアスリート育成に関するIPW. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会 (新潟：新潟医療福祉大学 (オンライン)), 2022.11.13. 【シンポジウム】

6 学会活動

1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会 (代議員), 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツ教育学会, 新潟医療福祉学会, 日本教育工学会, 日本教育実践学会, Federation International d Education Physique (FIEP), North American Society for Sport Management (NASSM), European College of Sports Science (ECSS), International Association for Development of the Information Society (IADIA)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
2. 体育学研究 査読委員
3. 日本教育工学会論文誌 査読委員
4. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
5. スポーツ産業学研究 査読委員
6. Educational Technology Research, Peer Reviewer
7. ECNSI Journal of Education, Editorial Board

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2022.4.16.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2021.6.30.
3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.7.16-7.17.
4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.8.20-8.21.
5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.9.2-9.3.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom,

2022.9.10-9.11.

7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2022.9.17.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2022.10.21.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行に向けて, 2022.6.25. 【囲み記事】
2. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行, 2022.8.18.
3. 新聞, 新潟日報, 休日部活動 どう対応?, 2022.9.17.
4. 新聞, 読売新聞 (全国誌), 部活動改革と子ども, 2022.10.18.
5. TV, UX: スーパーJにいがた, 部活動の地域移行の取り組み, 2022.5.10. 【座長取材】
6. TV, NHK: ニュース610, 新潟県部活動改革委員会, 2022.8.20. 【座長取材】
7. TV, BSN: ゆうナビ, 部活動と教員の働き方改革, 2022.10.11. 【座長取材】
8. TV, NHK: ニュース610, 部活動改革の取り組み (燕市), 2023.1.21.
9. TV, NHK: イブニング信州, 部活動改革協議会発足 (長野県), 2023.2.22.
10. TV, NST: Newsタッチ, なぜ部活動を地域に, 2022.12.8. 【座長取材】

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
3. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
4. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
6. J1アルビレックス新潟, コンプライアンス委員会, 委員, 2022.4.1-2023.3.31.

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

スポーツ庁全国高等学校総合体育大会【インターハイ】実行委員会 (監査役), 新潟県スポーツ推進審議会 (会長), 新潟県スポーツ推進プラン実行会議 (委員長), 新潟県部活動改革委員会 (委員長), 新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会 (委員), 新潟県スポーツ協会 (評議員), 新潟文化・スポーツコミッション (委員長), 新潟市スポーツ推進審議会 (会長), 新潟市スポーツ推進計画策定会議 (委員長), 新潟シティマラソン事業者選定委員会 (委員長), 新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会 (委員長), 新潟市総合計画策定会議 (部会長), 燕市部活動のあり方委員会 (委員長), 村上市部活動のあり方委員会 (委員長), 見附市部活動のあり方検討委員会 (委員長), 弥彦村部活動あり方検討委員会 (委員長), 長野県部活動改革委員会 (部会長)

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本スポーツ協会 (コーチデベロッパー), 新潟県スポーツ協会 (評議員), 全国体育系大学連絡会 (研究幹事)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
2. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
3. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 女子バスケットボール部, 部長, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 剣道部部長, 2022.4.1-2023.3.31.

### 3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, スポーツ経営学, 2022.4.1-2023.3.31.
  2. 事業創造大学院大学, スポーツビジネス特論, 2022.10.1-2023.3.31.
  3. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (スポーツマネジメント), 2021.4.1-2022.3.31.
  4. 日本体育施設協会, 体育施設管理士養成講師 (スポーツ施設のマネジメント), 2021.4.1-2022.3.31.
  5. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (コーチング), 2021.4.1-2022.3.31.
- 9 学内委員会活動 総務会, 社会連携・同窓会・生涯学習推進機構 (機構長), アスレティックデパートメント推進機構 (機構長), 同窓会・生涯学習推進委員会 (委員長), 強化指定クラブ運営委員会 (委員長), 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考・評価委員会, シチズンシップ教育研究センター (センター長), 身体教育研究センター (センター長)

### 氏名 : 佐藤 敏郎

- 1 研究題目 中高年者の運動による健康づくり, 大学生の体力水準と学業成績と生活状況との関係, 高齢者における転倒予防, 習慣的運動実施による健康状態・体力水準の変化
- 2 学会等研究発表
  1. 浮田咲子, 出村慎一, 佐藤敏郎, 長澤吉則. 小学校1年から3年生男子児童の立位姿勢時における足裏形態値の比較. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育測定評価学会 (理事), 日本教育医学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 濁川茶話会, 健康管理について, 講師, 濁川コミュニティ協議会, 一般市民, 新潟市, 2022.7.7.
    2. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市民, 三条市, 2022.9.15.
    3. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市民, 三条市, 2022.10.7.
    4. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市民, 三条市, 2022.12.8.
    5. 生活習慣病予防講演会, 体力を維持するための正しい運動のしかた, 講師, 新潟県健康づくり財団, 阿賀町民, 阿賀町, 2022.11.3.
    6. にいがた健康経営企業向け6分野オンラインセミナー, 身体活動・運動, 講師, 新潟県福祉保健部健康づくり支援課, にいがた健康経営推進企業, 新潟市, 2022.10.20.
    7. にいがた元気プラスにいがた健康学にいがた健活講座, カラダを動かし健康増進, 講師, 新潟日报社, 一般市民, 新潟市, 2022.10.16.
    8. フレイル予防講演会, 体力を維持するための正しい運動のしかた, 講師, 新潟県健康づくり財団, 燕市民, 燕市, 2022.10.8.
    9. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, セントラル観光, 三条市, 2022.11.11.
    10. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 株式会社明治, 三条市, 2022.12.10.
    11. 楽山会記念講演会, 健康登山で人生豊かに (高齢者の運動による健康づくりと転倒予防について), 講師, 新潟楽山会, 会員, 2023.2.5.
    12. シニアカレッジ新潟卒業後の地域活動・交流促進事業, イキイキ100年時代こことからだの健康, 講師, 新潟県社会福祉協議会, シニアカレッジ新潟卒業生, 新潟市, 2022.11.7.

13. 「健康経営」健康づくり講演動画，健康経営のための健康づくりについて，講師，株式会社北都，全国健康保険協会新潟支部加入の事業所，新潟市，2023.2.3.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
  1. BSNテレビ，にいがたケンジュプロジェクト「おうちでケンジュ」監修，2022.4.2-5.7（計6日）
  2. 新聞，新潟日報，にいがた健活講座（開催告知），2022.9.10.
  3. 新聞，新潟日報，にいがた健活講座（開催告知），2022.9.16.
  4. 新聞，新潟日報，にいがた健活講座（開催告知），2022.9.29.
  5. 新聞，新潟日報，にいがた健活講座（開催告知），2022.10.2.
  6. 海ごみゼロ新潟プロジェクト実行委員会HP，ウォーキング×ゴミ拾いで健康増進を目指す実証実験，2022.10.1.
  7. 新聞，新潟日報，にいがた健活講座（開催報告），2022.11.9.
  8. 新潟日报社HP，にいがた健活講座「カラダを動かし健康増進」2022.11.9.
  9. 新聞，新潟日報，健康フェスティバル阿賀，2022.10.28.
  10. BSNラジオ，にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ，運動，2023.1.23.
  11. BSNラジオ，にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ，運動，2023.1.30.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団，定期評議員会，評議員，新潟市・新潟県医師会館，2022.6.27.
  2. 新潟県立長岡屋内総合プール指定管理者審査委員会，現地視察，長岡市・新潟屋内総合プール，2022.6.30.
  3. 新潟県立長岡屋内総合プール指定管理者審査委員会，審査委員会，新潟市・新潟県庁警察庁舎，2022.7.6.
  4. 第1回企業参加型働く世代の運動促進のための検討会，検討会，委員，新潟市・新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，2022.6.29.
  5. 第1回企業参加型働く世代の運動促進のための検討会，検討会，委員，新潟市・新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，2022.7.27.
  6. 健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議，健康立県プロモーション事業，委員，新潟市・新潟県自治会館，2022.6.27.
  7. 日本健康運動指導士会新潟県支部，2022年度第1回研修会，企画運営，新潟市・新潟日报社メディアシップ，2022.6.26.
  8. 第10回スポーツ健康系学科長協議会，協会，学科長，オンライン，2022.7.16.
  9. 新潟県立長岡屋内総合プール指定管理者審査委員会，審査委員会，新潟市・新潟県自治会館，2022.10.6.
  10. 新潟県フライングディスク協会，第4回新潟オープンアルティメット大会，企画運営，聖籠町・新潟聖籠スポーツセンターアルビレッジ，2022.10.23.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
 

新潟県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議（委員），新潟県働く世代の運動促進のための検討会（委員），新潟県立長岡屋内総合プール指定管理者審査委員会（委員）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
 

日本健康運動指導士会新潟県支部（支部長），新潟県フライングディスク協会（会長），公益財団法人新潟県健康づくり財団（評議員），新潟骨を守る会（監事），関甲新学生野球連盟（理事）
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2020年度，科研費基盤研究（C），運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態，履物，関節痛との関係，研究代表者
  - 2) 学外兼務講師等



1. 石川県立大学, スポーツ実技Ⅳ, 2.26-2.28.
- 6 学内委員会活動 総務会, アスレチックデパートメント推進機構, 教員選考・評価委員会

**氏名：大森 豪**

- 1 研究題目 変形性膝関節症の病態解明に関する疫学研究 (予防医学), 変形性膝関節症に対する筋力訓練の効果に関する研究 (臨床医学), 膝関節の3次元歩行運動解析 (生体工学), 成長期骨折発生に関する疫学研究 (公衆衛生学, 予防医学), 膝前十字靭帯発症メカニズムに関する運動学的研究 (生体工学, 臨床医学), スポーツにおける疲労骨折発生予防の調査研究 (予防医学, 臨床医学), 健康スポーツ用装具の開発 (臨床医学, スポーツ医学)
- 2 著書
  1. 大森豪, ナーシンググラフィカ, 第7版, 大阪:メディカ出版:2023年:296-297.
  2. 大森豪, 看護のための臨床病態学, 第5版, 東京:南山堂:2023年:641-696.
- 3 論文
  1. Sato A, Sato S, Omori G, Koshinaka K. Effects of Thiamin Restriction on Exercise-Associated Glycogen Metabolism and AMPK Activation Level in Skeletal Muscle. *Nutrients*, 2022; 14(3): 710-724. (査読あり)
  2. Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Watanabe S, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Platelet polyphosphate and energy metabolism in professional male athletes (soccer players): A cross-sectional pilot study. *Physiological Reports* 2022; 10:e15409, DOI: 10.14814/phy2.15409. (査読あり)
  3. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Murayama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study. *Healthcare* 2022, 1;10(4): 663. doi: 10.3390/healthcare10040663. PMID: 35455840, PMCID: PMC9028006. (査読あり)
  4. Tanifuji O, Mochizuki T, Sato T, Watanabe S, Omori G, Kawashima H. Mobile medial pivot (lateral slide) type total knee arthroplasty exhibits a medial pivot pattern: three-dimensional motion analysis using cadaveric knees. *J Exp Orthop*. 2022 Dec;9(1):122. doi: 10.1186/s40634-022-00558-9. PMID: 36520362. (査読あり)
  5. Tanifuji O, Mochizuki T, Sato T, Watanabe S, Omori G, Kawashima H. Mobile medial pivot (lateral slide) type total knee arthroplasty exhibits a medial pivot pattern: three-dimensional motion analysis using cadaveric knees. *J Exp Orthop*. 2022 Dec;9(1):122. doi: 10.1186/s40634-022-00558-9. PMID: 36520362. (査読あり)
  6. 菅原大和, 小林公一, 佐藤卓, 渡邊聡, 大溪一孝, 坂本信, 大森豪, 古賀良生. 近位脛骨関節面半自動推定法についての研究. *臨床バイオメカニクス* 233-237 43, 2022. (査読あり)
  7. 渡邊博史, 田中正栄, 西野勝敏, 森隆裕, 古賀寛, 望月友晴, 坂上勇太, 森清友亮, 高根沢佑斗, 坂本信, 田邊裕治, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症におけるX線進行度評価の経年角度変化の検討-松代膝検診の縦断疫学調査. *臨床バイオメカニクス* 239-245 43, 2022. (査読あり)
  8. 田中正栄, 渡邊博史, 西野勝敏, 森隆裕, 坂上勇太, 古賀寛, 望月友晴, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症X線定量評価による進行度別の縦断的検討-松代膝検診による解析-. *臨床バイオメカニクス* 247-252 43, 2022. (査読あり)
  9. 鈴木秀和, 西野勝敏, 田中正栄, 上松大輔, 大森豪. 前十字靭帯再建術から競技復帰を果たした女子選手の非予測カッティング動作時における下肢関節運動と膝外傷と変形性膝関節評価点数 (KOOS) の健患差. *日本臨床スポーツ医学会誌* 2023; 31, 100-108. (査読あり)
  10. 富山泰行, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉, 谷藤理, 望月友晴. スポーツ選手に対する Cannulated Cancellous Screw による膝蓋骨疲労骨折の治療経験. *日本臨床スポーツ医学会誌*, 2023; 31(1): 180-186. (査読あり)

11. 大森豪, 膝関節痛の診断・検査の進め方, 月刊 臨床と研究 別冊 2022; 99(12): 54(1460)-59(1465).
12. 大森豪, 機能解剖. 整形外科看護 2022; vol.27(No.3): 10-20.

#### 4 報告書

1. 大森豪, 古賀寛, 田邊祐治, 小林公一, 坂本信. 研究基盤 (C), 変形性膝関節症の病態解明－長期疫学及び新しい運動学的アプローチ, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者.

#### 5 学会等研究発表

1. 大森豪, スポーツ外傷・障害のメカニズムと学校での対応. 令和4年度新潟県養護教員研究協議会 (新潟市, 日本), 2022.8.4. 【特別講演】
2. 大森豪, 地方におけるスポーツ医学活動の取り組み, 奈良県医師会スポーツ医学部会講演会 (橿原市, 日本), 2022.12.24. 【教育研修講演】
3. 大森豪, スポーツにおける疲労骨折の診断と治療－ESWTの有用性－集束型, 新潟県AT部会北信越ブロック研究会 (新潟市, 日本), 2023.2.26. 【特別講演】
4. 望月友晴, 古賀寛, 谷藤理, 大森豪, 西野勝敏, 土方啓生, 前田圭祐, 古賀良生, 川島寛之. 3次元歩行解析によるスラスト現象の分析～2019年松代検診～. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (弘前市, 日本), 2022.11.4-11.5.
5. 渡邊博史, 田中正栄, 森隆弘, 森清友亮, 大森豪, 遠藤和男, 望月友晴, 古賀寛, 古賀良生. 変形性膝関節症X線進行度定量評価の経時的関連についての検討. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (弘前市, 日本), 2022.11.4-11.5.
6. 田中正栄, 森隆弘, 渡邊博史, 坂上勇太, 森清友亮, 西野勝敏, 遠藤和男, 古賀寛, 望月友晴, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症X線進行度定量評価の大腿脛骨間位置変化 (回旋と外方化指標). 第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (弘前市, 日本), 2022.11.4-11.5.
7. 森清友亮, 大森豪, 高根沢佑斗, 坂上勇太, 田邊裕治, 坂本信, 望月友晴, 古賀寛, 古賀良生. 変形性膝関節症立位膝X線定量評価としての関節面開き角と脛骨外方化指標の精度検証. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (弘前市, 日本), 2022.11.4-11.5.
8. 小林公一, 坂本信, 森清友亮, 田邊裕治, 佐藤卓, 渡邊聡, 望月友晴, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. OA膝におけるアライメントと力学負荷の解析. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会 (弘前市, 日本), 2022.11.4-11.5.
9. 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舎川真侑, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
10. 舎川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林怜, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
11. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. 内側広筋の出力低下が膝蓋大腿関節ストレスに与える影響—数理モデルを用いたシミュレーションによる検討—. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
12. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. ユース年代男子サッカー選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況, 第33回日本臨床スポーツ医学会, 札幌, 2022.11.11-11.13.
13. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes, 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
14. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況, 第33回日本臨床スポーツ医学会, 札幌, 2022.11.11-11.13.
15. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 小林真里奈, 若月弘久, 大森豪. バスケットボール選手の片脚着地時における足長に対するCOP軌跡の検証. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.

16. 望月友晴, 谷藤理, 前田圭祐, 土方啓生, 富山泰行, 山本智章, 大森豪, 川島寛之. 当院における膝関節疾患のSSI予防と治療戦略. 第119回東北整形災害外科学会, 仙台市, 2022.6.3-6.4.
17. 望月友晴, 谷藤理, 大森豪, 佐藤卓, 土方啓生, 富山泰行, 前田圭祐, 山本智章, 川島寛之. イメージレスロボット支援人工膝関節置換術の現状と課題. 第50回日本関節病学会, 新潟市, 2022.10.21-10.22. 【シンポジウム】

## 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本整形外科学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (評議員), 日本臨床スポーツ医学会 (理事), 日本整形外科スポーツ医学会 (評議員), 日本臨床バイオメカニクス学会 (評議員), 日本人工関節学会 (評議員), 日本運動器科学会 (評議員), ISAKOS (国際関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会), 東北整形災害外科学会, 膝OAと運動・装具療法研究会 (代表世話人), 日本運動器shock wave研究会 (幹事), スポーツ傷害フォーラム (幹事), 膝フォーラム (世話人), TKAフォーラム (幹事), 新潟スポーツ傷害フォーラム (代表世話人), 日本Knee Osteotomy and Preservation学会 (代表世話人), 関節鏡手術セミナー (代表世話人), 北信越Knee Osteotomy研究会 (顧問), 新潟医療福祉学会

### 2) 学術集会の主催

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 2022年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会 (共催:新潟市中体連部活指導者研修会), 会長, 新潟市, 2022.7.29.
2. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第10回新潟スポーツ傷害フォーラム, 会長, 新潟市, 2022.10.29.
3. 日本スポーツ外傷・障害予防研究会, 第3回研究会, 会長, 新潟市, 2022.12.18.
4. 膝OAと運動・装具療法研究会, 第17回膝OAと運動・装具療法セミナー, 学会会長, オンライン開催, 2023.2.24.
5. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市, 2023.3.25.

### 3) 学会等でのその他の活動

1. JOSKAS-JOSSM2022, 教育研修講演, 座長, 札幌市, 2022.6.16-6.18.
2. JOSKAS-JOSSM2022, 一般演題, 座長, 札幌市, 2022.6.16-6.18.
3. 第33回日本運動器科学会, 一般演題, 座長, 札幌市, 2022.7.9-7.10.
4. Shock Wave Japan 2022, 一般演題, 座長, 東京都, 2022.9.11.
5. 第2回日本Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会, 一般演題, 座長, 東京都, 2022.10.1-10.2.
6. 第10回新潟スポーツ傷害フォーラム, 教育講演, 座長, 新潟市, 2022.10.29.
7. 第39回日本臨床バイオメカニクス学会, シンポジウム, 座長, 弘前市, 2022.11.4-11.5.
8. 第33回日本臨床スポーツ医学会, シンポジウム, 座長, 札幌市, 2022.11.12-11.13.
9. 第37回日本整形外科学会基礎学術集会, シンポジウム, 座長, 宮崎市, 2022.10.13-10.14.
10. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員, 総務委員会委員
11. 日本整形外科学会英文誌 (J orthop Sci) 査読委員
12. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員
13. 日本整形外科学会, 変形性膝関節症ガイドライン作成委員会委員
14. 日本整形外科スポーツ医学会, 学会誌査読委員
15. 日本運動器shock wave 研究会, 監事
16. 日本人工関節学会, 専門医制度認定委員会委員
17. 日本運動器科学会, 学会誌査読委員
18. 日本臨床バイオメカニクス学会, 将来構想委員会委員長, 学会誌査読委員

## 7 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 2022年度新潟県スポーツ協会AT部会総会, スポーツにおける疲労骨折の診断と治療-ESWTの有効性. 講師 (基調講演), 新潟県スポーツ協会AT部会, 新潟県のアスレチックトレーナー (AT), 新潟市,

2022.6.3.

2. 2022年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会（新潟市中体連部活指導者研修会），成長期のスポーツ傷害－成長痛，講師，新潟スポーツ傷害フォーラム，中学校部活指導者，新潟市，2022.7.29.
3. 令和4年度新潟県教育委員会中堅教諭資質向上研修，子供の成長とスポーツ傷害，講師，新潟県教育委員会，養護教員，新潟市，2022.6.30.
4. とよさか中高年教養大学，齢を取ると膝や腰が痛くなる理由－ロコモティブシンドローム，講師，とよさか中高年教養大学，笹川勝夫，新潟市，2022.7.28.
5. 令和4年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会，中高年者と運動（整形外科系），講師，日本スポーツ協会，スポーツドクター，東京都，2022.10.8.

## 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学，新潟リハビリテーション病院，NSG，3者連携プロジェクト，新潟医療福祉大学の委員，2022年度通年
2. 新潟医療福祉大学，新型コロナワクチン職域摂取，医事協力（問診医師），新潟医療福祉大学，2022.5.28.
3. 新潟県十日町市松代地区住民健診（膝検診），膝関節検診，膝関節検診責任者，新潟県十日町市松代地区，2022.7.6-7.8.
4. 日本スポーツ協会，栃木国体ドクターズミーティング，新潟県選手団医師として参加，オンライン開催，2022.9.17.
5. 新潟市陸上競技連盟，新潟ハーフマラソン，会場医師，新潟市，2023.2.19.

## 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県スポーツ推進審議会（委員）

## 4) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県サッカー協会（医学委員），新潟県スポーツドクター協会（会長），新潟県医師会（健康スポーツ委員会・委員），新潟市スポーツ協会（理事），新潟県スポーツ協会（AT部会顧問）

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研基盤研究（C），変形性膝関節症の病態解明－長期疫学調査及び新しい運動学的アプローチ，研究代表者，継続
2. 2019年度，科研基盤研究（B），下肢関節力学モデルの構築に関する研究，分担研究者，継続
3. 2020年度，共同研究（YONEX），スポーツ用具機能の健康増進と競技パフォーマンス向上への有効性の研究，研究代表者，延長継続
4. 2022年度，スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」，産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成，研究代表者・分担者.

### 9 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（委員），安全衛生委員会（委員），アスリートサポート研究センター（センター長），Sports & Health先端研究センター（委員）

## 氏名：佐熊 裕和

### 1 研究題目 サッカー指導実践，サッカーコーチング論

### 2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

### 3 社会活動

- 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 新聞 新潟日報 天皇杯開幕22日にJ3八戸戦（2022.5.22）
2. 新聞 新潟日報 天皇杯1回戦 新潟医療福祉大学がJ3八戸に1-0で勝利（2022.5.22）

3. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大学, J1鹿島アントラーズに1-2で敗退 (2022.6.1)
4. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大学 オナイウ情滋がJ2仙台加入へ (2022.7.12)
5. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大学 FW小森飛絢, J2千葉へ (2022.7.18)
6. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大学の小森飛絢が特別指定選手に (2022.7.18)
7. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大2選手, Jクラブ加入で抱負 (2022.12.2)
8. 新聞 新潟日報 インカレ8強の壁突破に闘志 (2022.12.7)
9. 新聞 新潟日報 全日本選手権, 新潟医療福祉大が2回戦へ (2022.12.8)
10. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大のDF沼田皇海, 二階堂正哉 J3 YS横浜への加入内定 (2022.12.10)
11. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大が初の8強 (2022.12.11)
12. 新聞 新潟日報 インカレサッカー新潟医療福祉大初の4強入目指し中京大と対戦 (2022.12.17)
13. 新聞 新潟日報 インカレサッカー新潟医療福祉大初の4強り, 中京大とのPK戦制す (2022.12.18)
14. 新聞 新潟日報 終了間際の同点弾, 新潟医療福祉大の4年野開ディラン (2022.12.18)
15. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大, 25日国士館大と準決勝 (2022.12.23)
16. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大が初の決勝進出, 元旦に桐蔭横浜大と対戦 (2022.12.25)
17. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大, 泥臭く攻守でチームが持ち味発揮 (2022.12.25)
18. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大, 大学ナンバーワンをかけ強豪・桐蔭横浜大と元旦決戦 (2022.12.31)
19. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大学北信越で初の準優勝 (2023.1.1)
20. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大 3年生大で大舞台で得た自信と経験「来年は優勝を目標に」 (2023.1.1)
21. 新聞 新潟日報 新潟医療福祉大 サッカー部主将二階堂正哉, 大学日本一逃すも刻んだ新たな1ページ (2023.1.1)
22. 新聞 新潟日報 佐熊裕和監督「地方大学でも何か一つ結果を残した」 (2023.1.1)
23. 新聞 日刊スポーツ オナイウ情滋の来季加入内定「兄のように地道に努力し世界から注目される選手に」 (2022.7.11)
24. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大FW小森飛絢, J2千葉への来季加入内定「プロ1年目からスタメン奪う」 (2022.7.18)
25. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大ねー小森飛絢, オナイウ情滋今日大学日韓定期戦 (2022.9.17)
26. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大J加入内定選手の小森飛絢, オナイウ情滋「4年後のWハイ杯狙っていく」 (2022.12.2)
27. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大 坂岸寛大1ゴール1アシストで勝利に貢献 8強越えへ好スタート (2022.12.9)
28. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大 二階堂正哉&沼田皇海DFコンビがJ3 YS横浜へ加入内定 (2022.12.9)
29. 新聞 日刊スポーツ YS横浜入団コンビ 二階堂正哉・沼田皇海 11日全日本サッカー選手権2回戦 (2022.12.10)
30. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大7度目の挑戦で初の8強 エース小森飛絢が2得点 (2022.12.12)
31. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大 4強入りかけて今日中京大と対戦 二階堂正哉「攻守で激しく」 (2022.12.18)
32. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大, 初の4強 後半ロスタイム 野開同点弾, PK戦全員成功 (2022.12.19)
33. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大が国立かけて準決勝 夏の総理大臣杯王者 国士館大に挑む (2022.12.25)

34. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大が初の全国決勝 田中翔太「もらった」確信V弾 国士館大を撃破 (2022.12.26)
35. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大, 北信越初Vならず 2点リードも後半ロスタイム決勝点奪われる (2023.1.1)
36. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大準V, 桐蔭横浜大に逆転負け, 後半終了間際に決勝点献上「またこの場に」佐熊監督 (2023.1.2)
37. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大, 新チーム全国制覇へ始動 坂岸寛大キーマン自覚「得点にかかわるプレー繰り返す」(2023.1.20)
38. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大が準V報告会 国立経験し今後へ期待 (2023.1.21)
39. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大・佐熊監督「地方だからこそ結果にこだわる」高いレベルの物差しを基準に (2023.2.12)
40. 新聞 日刊スポーツ 新潟医療福祉大・坂岸寛大が全日本大学選抜に選出「力を最大限に発揮する」(2023.3.20)
41. 新聞 スポニチ 新潟医療福祉大小森が加入内定 天皇杯鹿島戦でゴールの点取り屋 (2022.7.18)
42. 新聞 スポニチ 中村俊輔の恩師・佐熊裕和が手記「挫折して力をつけては上がってくる人間力のある選手でした」(2022.10.18)
43. 新聞 スポニチ 俊輔引退に恩師・佐熊裕和氏「人の3倍の努力をしてきた。本当にお疲れ様」(2022.10.19)
44. 新聞 日経産業新聞 名将にみるマネジメント術1 (新潟医療福祉大学 サッカー部監督 佐熊裕和氏) (2023.4.26)
45. 新聞 日経産業新聞 名将にみるマネジメント術2 (新潟医療福祉大学 サッカー部監督 佐熊裕和氏) (2023.4.27)
46. 雑誌 ゲキサカ ベガルタ仙台, 新潟医療福祉大 MFオナイウ情滋の来季加入内定発表 (2022.7.11)
47. 雑誌 ゲキサカ 千葉, 新潟医療福祉大 FW小森飛絢の来季加入発表 (2022.7.18)
48. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大FW小森飛絢貫禄のJ内定ストライカー 全国初戦で2ゴール (2022.8.20)
49. 雑誌 ゲキサカ J内定アタッカー新潟医療福祉大 MFオナイウ情滋 大臣杯敗退に「100点中40点」仙台デビューも振り返る (2022.8.26)
50. 雑誌 ゲキサカ 大会中は21人中21番手の選手 チャンスをつかんだ新潟医療福祉大DF坂岸寛大は大臣杯でさらなる成長へ (2022.8.26)
51. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大のDF沼田皇海&DF二階堂正哉が来季YS横浜内定 (2022.12.9)
52. 雑誌 ゲキサカ インカレ4強が決定 新潟医療福祉大は全国大会初のベスト4 (2022.12.18)
53. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大 初のベスト4 中京大とのPK戦制す 佐熊監督「チームが一つにまとまった」(2022.12.18)
54. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大全国初の4強に導く (2022.12.19)
55. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大が初の日本一に王手 インカレ準決勝で大臣杯王者・国士館大を撃破 (2022.12.25)
56. 雑誌 ゲキサカ 新潟医療福祉大ハーFW田中翔太(3年) 大学日本一に王手をかける決勝点 (2022.12.25)
57. 雑誌 ゲキサカ インカレで輝いた武器 新潟医療福祉大の仙台内定オナイウ情滋はベストMF受賞 (2023.1.1)
58. 雑誌 ゲキサカ インカレ準V新潟医療福祉大が来季入部予定選手を発表 (2023.1.12)
59. 雑誌 高校サッカードットコム 新潟医療福祉大佐熊裕和監督「社会に出て必要なのは人間力。そこを身に付けさせることは重要」(2022.8.8)
60. 雑誌 高校サッカードットコム 新潟医療福祉大佐熊裕和監督「各選手の伸びしろを最大限に生かす

トレーニング」(2022.8.10)

61. 雑誌 高校サッカードットコム 新潟医療福祉大佐熊裕和監督「観ている人に面白いと思ってもらえるサッカーを指導」(2022.8.12)
62. 雑誌 高校サッカードットコム 新潟医療福祉大佐熊裕和監督「俊輔は真剣に上手くなりたいという気持ちを全面に出していた」(2022.8.15)

## 2) 社会活動への参加協力

1. 村上市豪雨災害ボランティア 会場村上市(2022.8.25-8.26)
2. 新潟市子ども創作活動ボランティア 会場 新潟市子ども創作活動館(2023.3.17)
3. アルビレックス新潟運営補助(ボールパーソン・担架要員)会場 デンカビックスワン(2022.6.1, 7.6, 9.10)
4. サッカースクール 会場 南万代小学校 約50人参加(2023.2.26)

## 4 その他の教育研究活動

### 1) 学内部活動の実績

1. 男子サッカー部 第50回北信越大学サッカーリーグ1部全勝優勝(6連覇) 監督 2022.4-11. 監督
2. 男子サッカー部 新潟日報杯・共同通信杯第27回新潟県サッカー選手権大会(天皇杯予選)優勝(7年連続7回目) 2022.4-5. 監督
3. 男子サッカー部 2022年度北信越大学サッカー選手権大会兼第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会優勝 4大会連続6回目 監督
4. 男子サッカー部 第1回全日本大学サッカー新人戦北信越大会優勝 監督
5. 男子サッカー部 2022年度インディペンデンスリーグ北信越大会優勝 監督
6. 2022年度第46回総理大臣杯全国大会ベスト8 8.18-8.25(日) 開催都市石巻市 監督
7. 男子サッカー部 天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会2回戦進出 1回戦ヴァンナーレ八戸(1-0勝利) 青森県八戸市5.22. 2回戦鹿島アントラーズ(1-2負) 茨城県鹿島市6.1. 監督
8. 男子サッカー部 MCCスポーツPresents 第71回全日本大学サッカー(インカレ)準優勝(12.8-1.1) 東京都 国立競技場他 監督
9. 男子サッカー部 アットホームカップ2022 第20回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカー第三位(11.29-12.1) 埼玉県清瀬市 監督
10. 男子サッカー部 第6回全日本大学サッカー新人戦大会出場 グループリーグ敗退(12.19-12.21) 千葉県 監督
11. プロ選手輩出・小森飛絢(J2/ジェフユナイテッド市原・千葉)・オナイウ情滋(J2/ベガルタ仙台)・沼田皇海(J3/YS横浜)・二階堂正哉(J3/YS横浜)

## 氏名：佐藤 和也

### 1 研究題目 野球のコーチング

### 2 著書

1. 佐藤和也. 砂地に種をまいて、花が咲く－高校野球名將が挑んだ大学野球の10年の軌跡－. ベースボールマガジン社. 2023.2.

### 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 新潟医療福祉学会

### 4 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 野球が育む人間力～笑顔と信頼～, 講師, 新潟中央ロータリークラブ, 秋葉区文化会館ホール, 2022.5.27.
2. 職業倫理に関する講義について, 講師, 新潟県警察学校, 初任補修科第50期生, 初任科第391期生,

- 任科第392期生，新潟県警察学校講堂，2022.7.15.
3. 小千谷市野球教室，講師，小千谷市，小千谷市小中学生，白山球場，2022.8.6.
  4. 大学・社会人野球交流試合&野球教室in広神野球場，野球教室，講師，奥只見道光高原リゾート株式会社，中学生，広神野球場，2022.8.20-8.21.
  5. 生徒との向き合い方～教育の根幹となる教師の思い～，講師，山形学院高等学校，山形学院高等学校教職員，山形学院高等学校チャペル，2022.10.3.
  6. 南魚沼市指導者講習会，小中学生指導法について，講師，株式会社ベースボールマガジン社，南魚沼市小中学校野球指導者，大原運動公園ペーマガSTADIAM，2022.11.3.
  7. 令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会専門科目講習会，講師，公益財団法人全日本軟式野球連盟，榎原運動公園屋根付運動場，2022.11.12.
  8. 日本スポーツ協会公認コーチ1（軟式野球）養成講習会，講師，一般社団法人新潟県野球連盟，軟式野球関係者，HARD OFF ECOスタジアム新潟，2022.11.26.
  9. とちぎ野球フェスタ2022講演会，講師，栃木県野球協議会，学童野球指導者及び協議会役員，栃木県総合運動公園カンセキスタジアム，2022.12.4.
  10. 令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会専門科目講習会，講師，公益財団法人全日本軟式野球連盟，榎原運動公園屋根付運動場，奈良県，2022.11.12.
  11. 令和3年度砺波市・南砺市内中学生・砺波市内高校生野球教室，講師，砺波市野球連盟，砺波市内中高野球部員，砺波市，2022.12.10.
  12. 指導者技術講習会，講師，日本リトルシニア中学硬式野球協会信越連盟新潟ブロック，中学硬式野球指導者，長岡グランドホテル，2002.12.17.
  13. 令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会専門科目講習会，講師，公益財団法人全日本軟式野球連盟，佐藤薬品工業株式会社，奈良県，2023.1.8.
  14. 令和4年度柏崎刈羽地区野球協議会野球教室，講師，柏崎刈羽地区野球協議会，柏崎市・刈羽村競技者・指導者，柏崎総合高等学校体育館，2023.1.15.
  15. はがくれスポーツセミナー講演会，講師，はがくれ勉強会／中外製薬株式会社，マリターレ創生佐賀，2023.1.21.
  16. 指導者講習会，講師，新発田市青少年野球協議会，新発田市内野球指導者，新潟医療福祉大学室内練習場，2023.1.28.
  17. 2022年度全国所長会北海道・東北・新潟大会，講師，ソニー生命保険株式会社，プレミアムホテルTSUBAKI，2023.2.25.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. UXテレビ21，SJにいがた「夏の甲子園展望」，2022.6.23.
  2. UXテレビ21，ブログ「佐藤和也総監督のまなざし」，2022.6.24-8.9.
  3. FMニイガタ，Jin's RADIO SHOW，2022.7.20.
  4. バーチャル高校野球，全国高等学校野球選手権新潟大会準々決勝解説，2022.7.24.
  5. UXテレビ21，全国高等学校野球選手権新潟大会決勝解説，2022.7.28.
  6. スポーツニッポン新聞社（新潟県版），コラム「和也スコープ」，2022.7.28-8.9.
  7. 新潟日報，新潟医療福祉大学硬式野球部勝利へのプロセス10年，2022.11.16-11.18.
  8. スポーツニッポン新聞社（新潟県版），新潟医療福祉大学佐藤総監督の著書2月1日発売，2023.1.23.
  9. 新潟日報，部の歩み育成法をつづる，2023.1.23.
  10. ベースボールマガジン社・Baseball Clinic3月号，「砂地に種をまいて，花が咲く」出版案内，2023.2.17.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
- UX新潟テレビ21スポーツコメンテーター，スポーツコーチーズネット長岡アドバイザー，新潟県野球連盟副会長



**氏名：佐藤 大輔**

1 研究題目 神経可塑性と運動学習・記憶に関する研究

2 著書

1. 佐藤大輔. 第七章 物理・科学・環境 2. 高圧・潜水・水圧. 人間の許容・適応限界辞典. 第1版. 東京：朝倉書店；2022：417-420.

3 論文

1. Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N.. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cerebral Cortex (JCR)*. 2023; 33(5): 2001-2010. (review)
2. Ochi G, Kuwamizu R, Fujimoto T, Ikarashi K, Yamashiro K, Sato D. Does acute virtual reality exergaming enhance mood and executive function?: An exploratory crossover trial. *JMIR Serious Games (JCR)*. 2022; 10(3): e38200. (review)
3. Aoki M, Yamazaki Y, Otsuka J, Okamoto Y, Takada S, Shirai N, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K, Sato D, Amano T. Influence of heat exposure on motor control performance and learning as well as physiological responses to visuomotor accuracy tracking task. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2022; 19(19): 12328. (review)
4. Dat LC, Sato D\*, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K. Effect of whole-hand water flow stimulation on the neural balance between excitation and inhibition in the primary somatosensory cortex. *Frontiers in Human Neuroscience (JCR)*. 2022; 16: 962936. (review)
5. Ikarashi K, Sato D\*, Ochi G, Fujimoto T, Yamashiro K. Action postponing and restraint varies among sensory modalities. *Brain Sciences (JCR)*. 2022; 12(11): 1530. (review)
6. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee laxity in the menstrual cycle after anterior cruciate ligament reconstruction. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023; 20(3): 2277. (review)
7. Yamashiro K, Ikarashi K, Makibuchi T, Anazawa S, Baba Y, FUjimoto T, Ochi G, Sato D. Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities. *Scientific Reports (JCR)*. 2023; 13(1): 3014. (review)
8. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual cycle changes joint laxity in females-Differences between eumenorrhea and oligomenorrhea. *Journal of Clinical Medicine (JCR)*. 2022; 11(11): 3222. (review)

4 学会等研究発表

1. 佐藤大輔. 感覚入力と反応抑制機能－アスリートの可塑的变化－. 第61回日本生体医工学会大会2022 (新潟県新潟市), 2022.6.28-6.30.

5 学会活動

1) 所属学会 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本介護福祉・健康づくり学会 (学術委員), Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本介護予防・健康づくり学会誌 学術委員
2. 日本水泳・水中運動学会誌 査読委員
3. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 査読委員
4. *Frontiers in Public Health Aging and Public Health* 査読委員
5. 新潟医療福祉学会誌 査読委員
6. *Frontiers in Human Neuroscience* 査読委員

7. Frontiers in Psychology 編集委員
  8. 介護予防健康づくり研究 査読委員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 指導者スキルアップ講座, 運動指導者・支援者として知っておきたい脳のこと, 講師, 一般社団法人三条まちづくり会社, 健康運動指導士, 他運動指導者, 新潟県, 2022.11.27.
    2. 介護予防における県・市町・大学の連携事業, 体力測定, 新潟県, 新発田市上本田地区在住高齢者, 新潟県, 2022.11.14.
    3. 介護予防における県・市町・大学の連携事業, 体力測定, 新潟県, 新発田市上鉄旭地区在住高齢者, 新潟県, 2022.11.28.
    4. 新元島町運動教室, 運動プログラム提供・指導, 新元島町, 地域住民, 新元島公民館, 2022.4-2023.3. (全20回)
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. スポーツ栄養WEB, 暑熱環境下では視覚追従運動のコントロールが悪化することを始めて実証, 2022.12.16.
    2. 新潟日報, 体操刺激 お年寄り元気 (新発田市講演内容紹介), 2023.3.11.
  - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟県水泳連盟指導者委員会(委員)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費基盤研究(B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 研究代表者
    2. 2021年度, トップラン・フォームズ株式会社共同研究, 月経周期による体温変化と人の神経機能に関する研究, 研究代表者
  - 8 学内委員会活動 副学長等連絡会, 総務会, 大学院委員会, 研究科委員会, 研究・産官学連携推進機構運営委員会, 大学院教育研究支援部会, 危機管理対策委員会, IR戦略委員会, 運動機能医科学研究所

**氏名：下山 好充**

- 1 研究題目 水泳競技におけるパフォーマンス向上に関する研究
- 2 論文
  1. Ikeda Y, Nara R, Baba Y, Yamashiro S, Hisamitsu T, Shimoyama Y. Relationship between dry-land upper-limb power and underwater stroke power using medicine ball overhead slam as a predictor of swimming speed by upper limbs only. Scientific Journal of Sport and Performance (SJSP). 2022; 1(3): 146-161. (review)
  2. 下山好充. 世界選手権で感じたこと. スイミングライフ. 2022年8月号: 28-31.
  3. 下山好充. 水沼尚輝選手の世界選手権銀メダルへの戦略. スイミングライフ. 2022年10月号: 32-35.
- 3 報告書
  1. 市川浩, 下門洋文, 下山好充. 基盤研究(C), クロール泳の上肢ストロークと下肢キックの相乗効果, 2022年度実施報告書, 2022.4-2025.3, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
  1. 池田祐介, 奈良梨央, 馬場康博, 久光哲也, 山城昌一郎, 下山好充. 水平および鉛直方向の跳躍動作における下肢キネティクスと台上スタート動作の関係. 日本水泳・水中運動学会(東京都), 2022.10.8-10.9.
  2. 千葉海勝, 久光哲也, 吉澤大河, 遠山宜志, 星川慎吾, 下門洋文, 下山好充. 男子大学競泳選手の水水平泳キック中の足部流体力の特徴. 日本水泳・水中運動学会(東京都), 2022.10.8-10.9.
  3. 須崎友馬, 山城昌一郎, 下山好充, 下門洋文. フィン使用前後における身体感覚と泳パフォーマンスの変

化. 日本水泳・水中運動学会（東京都），2022.10.8-10.9.

4. 山城昌一朗，中村雅俊，三瀬貴生，下門洋文，下山好充，キックスタートパフォーマンスと足関節等尺性筋力との関係. 日本水泳・水中運動学会（東京都），2022.10.8-10.9.
5. 星川慎吾，遠山宜志，吉澤大河，久光哲也，千葉海勝，山城昌一朗，下門洋文，下山好充，リレー種目において台上動作でレースタイムは短縮可能か？. 日本水泳・水中運動学会（東京都），2022.10.8-10.9.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会，日本体力医学会，トレーニング科学会，日本水泳水中運動学会，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 公益財団法人日本水泳連盟水泳コーチ4養成講習会，ナショナルコーチによる指導技術，講師，日本水泳連盟，日本水泳連盟コーチ4資格取得申請者，オンライン，2022.10.10.
2. 公益財団法人日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会デベロップメントワークショップ，世界選手権メダル獲得への戦略，講師，日本水泳連盟，日本水泳連盟コーチ資格保有者，東京，2022.10.9.
3. 公益財団法人日本水泳連盟水泳教師委員会 2022水泳指導者スキルアップセミナー東京，日本水泳連盟，新潟からトップアスリートを生んだトレーニング方法，講師，日本水泳連盟水泳教師資格保有者，東京，2023.2.5.
4. 長岡市三島郡小中総合支援学校長会連絡協議会研修会，ゼロからのチームづくり～新潟から世界への挑戦～，講師，長岡市三島郡小中総合支援学校長会長岡市内の小中学校校長，長岡市，2023.1.23.
5. 茨城県水泳連盟コーチ研修会，東京オリンピック・世界選手権報告，バタフライの指導，講師，茨城県水泳連盟茨城県内の水泳コーチ，つくば市，2022.12.18.
6. 長岡市三島郡学校教育研究協議会保健体育教育研究会講演会，新潟から世界へのチャレンジ，講師，長岡市三島郡学校教育研究協議会，長岡市内の高校教員，長岡市，2022.11.29.
7. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会シンポジウム，トップアスリート育成に関するIPW～コーチの役割～，シンポジスト，日本保健医療福祉連携教育学会学会員，新潟市，2022.11.13.
8. 岐阜県水泳連盟講演会，地方からの挑戦～オリンピック出場・世界選手権メダル獲得への道のり～，講師，岐阜県水泳連盟，岐阜県内水泳コーチ，岐阜市，2022.10.2.

### 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 新聞，新潟日報，競泳の国際大会日本代表選手選考会の結果について紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員）が100mバタフライで日本新記録を更新して優勝したことが掲載された. 2022.4.3.
2. 新聞，新潟日報，日本水泳連盟が2021年度の優秀選手を発表したことについて紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員）が選出されたことが掲載された. 2022.4.15.
3. テレビ，5社（UX新潟テレビ，NHK新潟テレビ，TeNYテレビ新潟，NST新潟総合テレビ，BSN新潟）水泳部がメディア向けに練習を公開したことについて紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員）や津田 萌咲 選手（健スポ4年），下山 好充 監督などのコメントが放映された. 2022.4.20.
4. WEB，7社（日本経済新聞，共同通信，日刊スポーツ，YAHOOニュース，東京新聞，exciteニュース，BIGLOBEニュース），水泳部がメディア向けに練習を公開したことについて紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員），下山 好充 監督のコメントや写真などが記載された. 2022.4.20.
5. 新聞，新潟日報，水泳部がメディア向けに練習を公開したことについて紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員），下山 好充 監督のコメントや写真などが記載された. 2022.4.21.
6. 新聞，読売新聞（新潟県版），水泳部がメディア向けに練習を公開したことについて紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員），下山 好充 監督のコメントや写真などが記載された. 2022.4.21.
7. WEB，日刊スポーツ，ワールドユニバーシティゲームズに出場する津田 萌咲 選手（健スポ4年）と山崎 光 選手（同）について紹介され，コメントや写真などが掲載された. 2022.4.21.
8. WEB，8社（共同通信社，日本経済新聞，時事通信社，朝日新聞，産経新聞，デイリー，サンスポ，

- YAHOO ニュース), 競泳 日本選手権が開幕したことについて紹介され, 田中 優弥 選手 (本学職員) が50m バタフライで23秒19で優勝したことが写真とともに掲載された. 2022.4.28.
9. 新聞, 読売新聞 (全国紙), 競泳 日本選手権が開幕したことについて紹介され, 田中 優弥 選手 (本学職員) が50m バタフライで23秒19で優勝したことが写真とともに掲載された. 2022.4.29.
  10. 新聞, 新潟日報, 競泳 日本選手権が開幕したことについて紹介され, 田中 優弥 選手 (本学職員) が50m バタフライで23秒19で優勝したことが写真とともに掲載された. 2022.4.29.
  11. WEB, 12社 (YAHOO ニュース, 時事通信, msn, 読売新聞, NHK新潟, 産経新聞, 日本経済新聞, TeNYテレビ新潟, 産経新聞, 日刊スポーツ, Sportsnavi, 下野新聞), 競泳 日本選手権の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が100m バタフライで51秒23で優勝したことが掲載された. 2022.5.1.
  12. 新聞, 読売新聞 (全国紙), 競泳 日本選手権の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が100m バタフライで51秒23で優勝したことが掲載された. 2022.5.1.
  13. 新聞, 新潟日報, 競泳 日本選手権の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が100m バタフライで51秒23で優勝したことが写真と共に掲載された. 2022.5.1.
  14. 新聞, 読売新聞 (全国紙), 9月に行われるアジア大会の代表選手について紹介され, 田中 優弥 選手 (本学職員) が選出されたことが掲載された. 2022.5.3.
  15. 新聞, 新潟日報, 9月に行われるアジア大会の代表選手について紹介され, 田中 優弥 選手 (本学職員) が選出されたことが掲載された. 2022.5.3.
  16. WEB, 4社 (サンスポ, 産経新聞, 新潟日報デジタルプラス, 日刊スポーツ) 欧州グランプリ (カネ) に出場した水沼 尚輝 選手 (本学職員) が男子100m バタフライで優勝したことが掲載された. 2022.5.30.
  17. テレビ, テレビ朝日 (全国放送), FINA世界水泳選手権 (ブダペスト大会) の様子が紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が男子100m バタフライ決勝に出場し, 銀メダルを獲得したことが放映された. 2022.6.25.
  18. WEB, 18社 (YAHOO ニュース, デイリー, スポニチ, 日刊スポーツ, TeNYテレビ新潟, BSN新潟放送, NST新潟総合テレビ, 日刊スポーツ, 東スポ, JIJI.COM, スポニチ, 共同通信, スポーツ報知, 産経新聞, サンスポ, 読売新聞, 中日スポーツ, UX新潟総合テレビ,) FINA世界水泳選手権 (ブダペスト大会) の様子が紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が男子100m バタフライ決勝に出場し, 銀メダルを獲得したことが写真とともに掲載された. 2022.6.25-6.28.
  19. 新聞, 新潟日報, 日本学生選手権の結果について紹介され, 津田 萌咲 選手 (健スポ4年) が女子100m バタフライで2位に入賞したことが掲載された. 2022.8.31.
  20. 新聞, 新潟日報, 日本学生選手権の結果について紹介され, 山崎 光 選手 (健スポ4年) が女子100m 背泳ぎで2位に入賞したことが掲載された. 2022.9.1.
  21. 新聞, 日本経済新聞, 特集「競泳ニッポンの潜在力②」にて本学水泳部について紹介され, 本学の練習内容や下山 好充 監督のコメントなどが写真とともに掲載された. 2022.9.9.
  22. WEB, 6社 (YAHOO ニュース, 共同通信, 時事通信社, スポニチ, 新潟日報, 下野新聞), 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」競泳競技の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が男子100m バタフライで優勝したことが掲載された.
  23. テレビ, 日本テレビ (news zero), 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が毎年, 記録を更新し世界選手権で銀メダルを獲得したことについて紹介され, インタビューや練習の様子が5分程度放映された. 2022.10.18.
  24. 新聞, 新潟日報, 本学水泳部の強化体制について紹介され, 下山 好充 監督, 奈良 梨央 コーチ, 水沼 尚輝 選手 (本学職員), 熊澤 将大 選手 (健スポ3年) のコメントや写真が掲載された. 2022.11.19.
  25. 新聞, 新潟日報, 本学水泳部について紹介され, 下山 好充 監督のこれまでの経歴や, 松井 浩亮 選手 (水泳部OB), 佐藤 綾 選手 (水泳部OG) が過去にユニバーシアードに出場したことなどが写真とと

もに掲載された。2022.11.19.

26. 新聞, 新潟日報, ジャパンオープンの結果について紹介され, 女子50mバタフライで津田 萌咲 選手 (健スポ4年) が26秒32で2位だったことなどが掲載された。2022.12.2.
27. WEB, 9社 (YAHOOニュース, サンケイスポーツ, スポニチ, 日刊スポーツ, 産経新聞, msn, 時事ドットコム, スポニチ, TeNYテレビ新潟), ジャパンオープンの結果について紹介され, 男子100mバタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が51秒58で優勝したことが掲載された。2022.12.5.
28. WEB, 2社 (YAHOOニュース, NST新潟総合テレビ), ジャパンオープンで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が優勝したことが紹介され, 下山 好充 監督とのインタビューが掲載された。2022.12.12.
29. WEB, 2社 (FNNプライムオンライン, YAHOOニュース), 水沼 尚輝 選手 (本学職員) の今年の活躍について紹介され, 下山 好充 監督とのインタビューや写真などが掲載された。2022.12.27.

### 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益財団法人日本水泳連盟競泳委員, 公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ (コーチングスタッフ)

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発, 研究代表者

### 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

(公財) 新潟県スポーツ協会 令和4年度スポーツ栄光賞・2023.3, (一財) 新潟県水泳連盟最優秀指導者賞・2022.5, (公財) 国際水泳殿堂・アジアコーチ奨励賞・2022.11.6.

### 3) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ優勝, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
2. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 男子50mバタフライ5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
3. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
4. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 男子50mバタフライ優勝, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
5. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 男子50m自由形3位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
6. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ4位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
7. 水泳部, 第98回 日本選手権水泳競技大会, 女子50mバタフライ5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (監督)
8. 水泳部, 世界選手権, 男子100mバタフライ2位, ブタペスト, 2022.6.18-6.25. (日本代表コーチ)
9. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ2位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)
10. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ2位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)
11. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m自由形4位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)
12. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m自由形5位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)
13. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー5位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)
14. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー7位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (監督)

15. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督)
  16. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督): 日本学生新記録樹立, 世界選手権 (25M) 日本代表内定
  17. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m 背泳ぎ 2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督)
  18. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m 自由形 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督): 世界選手権 (25M) 日本代表内定
  19. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m バタフライ 2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督)
  20. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督): 世界選手権 (25M) 日本代表内定
  21. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100m 平泳ぎ 2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (監督): 世界選手権 (25M) 日本代表内定
  22. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m) 女子100m 平泳ぎ 3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  23. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 男子50m バタフライ 3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  24. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 女子50m バタフライ 2位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  25. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 男子50m バタフライ 6位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  26. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 男子50m 自由形 4位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  27. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 男子100m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  28. 水泳部, ジャパンオープン2022 (50m), 男子100m バタフライ 3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (監督)
  29. 水泳部, 世界選手権 (25m), 女子4×50m メドレーリレー 7位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
  30. 水泳部, 世界選手権 (25m), 女子100m 平泳ぎ 7位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
  31. 水泳部, 世界選手権 (25m), 男子4×50m フリーリレー 4位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
  32. 水泳部, 世界選手権 (25m), 4×50m ミックスフリーリレー 5位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
  33. 水泳部, 世界選手権 (25m), 4×50m ミックスメドレーリレー 6位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
  34. 水泳部, 世界選手権 (25m), 男子4×50m メドレーリレー 4位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (監督)
- 8 学内委員会活動 アクアヘルス推進プロジェクト研究センター (センター長)

**氏名: 杉崎 弘周**

1 研究題目 学校保健, 保健科教育

2 論文

1. Nagaoka T, Okayama M, Sugisaki K. Impact of cancer education class for cancer awareness and knowledge among Japanese junior high school students. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 22(1): 51-62. (review)
2. 杉崎弘周. がん教育. 令和4年度版 学校保健の動向. 東京: 公益財団法人日本学校保健会. 2022年: 181.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会 (代議員), 日本保健科教育学会 (副会長), 日本体育・スポーツ・健康学会 (編集委員), 日本教育保健学会 (理事, 副編集委員長), 新潟県体育学会 (理事), 日本小児科学会, 新潟医学会, 日本スポーツ心理学会, American School Health Association

## 2) 学術集会の主催

1. 日本スポーツ心理学会, 第49回大会, 実行委員, 新潟市, 2022.9.30-10.2.
2. 日本保健科教育学会, 第6回研究大会, 実行委員, 東京都品川区, 2022.12.4.

## 3) 学会等でのその他の活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会, 体育学研究, 編集委員
2. 日本教育保健学会, 日本教育保健学会年報, 編集委員
3. 新潟県体育学会, 会報にいがた, 編集担当
4. 日本保健科教育学会, 保健科教育研究, 査読
5. 日本教育保健学会, 日本教育保健学会誌, 査読
6. 新潟県体育学会, 新潟体育学研究, 査読
7. 新潟医療福祉学会, 新潟医療福祉学会誌, 査読
8. 日本スポーツ心理学会, スポーツ心理学研究, 査読
9. SAGE Open, 査読
10. Health Education Journal, 査読
11. PEDIATRICS INTERNATIONAL, 査読

## 4 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 保健教育実践講座, 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2022.6.27.
2. 保健教育実践講座, 保健教育における主体的・対話的で深い学び, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2022.9.22.
3. がん教育実践校授業実践会議, 学習指導要領を踏まえたがん教育の進め方, 研修会講師, 北海道教育委員会, 受講者, オンライン, 2022.9.30.
4. がん教育指導者・外部講師研修会, がん教育の研究と実践, 研修会講師, 山形県教育委員会, 受講者, オンライン, 2022.10.4.
5. 養護教諭研修会, 学校における保健教育の在り方, 研修会講師, 新潟市教育委員会, 受講者, 新潟市総合教育センター, 2022.10.28.
6. 健康講話, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 三条市瑞穂学園, 児童生徒, 三条市立本成寺中学校, 2022.10.31.
7. がん教育に関する研修会, がん教育の授業実践について, 研修会講師, 兵庫県教育委員会, 受講者, 兵庫県民会館, 2022.12.7.
8. がん教育指導者研修会, 小・中・高校におけるがん教育実践のための要点解説, 研修会講師, 新潟県教育委員会, 受講者, 見附市文化ホール, 受講者, 2022.12.9.
9. 兵庫県がん教育研究発表会, がん教育シンポジウム, シンポジウムコーディネーター, 兵庫県教育委員会, 受講者, 神戸市教育会館, 2023.2.3.
10. がん教育講演会, がんについて知ろう, 研修会講師, 新潟市立高志中等教育学校, 高校生, 新潟市, 2023.2.22.

### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. オンライン, @DIME, がん検診受診率と教育歴, 経済状況, がんの家族歴などに関連性, 新潟医療福祉大学研究チーム報告, 2022.4.20.
2. オンライン, DIAMOND online, 子育て世代のがん検診, 受診率が低い「所得・年齢・教育歴」の組み合わせは?, 2022.4.24.
3. オンライン, Care Net, がん検診を受ける人と受けない人の違いは何?—日本の子育て世代での検討, 2022.5.4.
4. 新聞, 新潟日報, 効果的「がん教育」探る, 2022.11.29.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新発田市立第一中学校学校評議員会（学校評議員）、胎内市立乙中学校学校運営協議会（委員）、日本学校保健会児童生徒の健康管理・健康づくり推進委員会（副委員長）、聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会（委員長）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，科研費基盤研究（B），がん教育の発展に関する実証的研究，研究代表者
2. 2021年度，科研費挑戦的研究（萌芽），ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価，研究代表者
3. 2021年度，科研費基盤研究（C），学校医の資源ネットワークマップによる地域・学校保健連携促進モデルの開発，研究分担者
4. 2021年度，科研費基盤研究（C），教員の保健・安全の資質・能力育成に関するデジタル学習教材の開発，研究分担者
5. 2021年度，科研費基盤研究（C），子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用，研究分担者
6. 2021年度，科研費基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究分担者
7. 2021年度，科研費基盤研究（C），「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部，公衆衛生学（学校保健），2022年度前期
2. 新潟大学教育学部，体育科教育法（保健），2022年度前期・後期
3. 豊岡短期大学通信教育部，こどもの指導法「健康」，2022年度集中講義

6 学内委員会活動 広報委員会（委員長），身体教育推進センター

**氏名：塙 晴雄**

- 1 研究題目 アスリートの貧血・鉄欠乏の研究（医学），慢性炎症による貧血のメカニズムに関する研究（医学）
- 2 論文
  1. 森田邦恵，阿部拓也，藤井豊，塙晴雄，血漿からエクソソームRNA抽出試薬の比較・検討 CD9 RT-qPCR法にて．医学検査 2022; 71(4): 644-650.
- 3 学会等研究発表
  1. 塙晴雄，江玉睦明 他．本学強化クラブ女子部員の貧血，鉄欠乏の検討．新潟医療福祉学会（新潟），2022.10.29.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本内科学会，日本循環器学会，日本心不全学会（代議員），日本心臓病学会（FJCC），国際心臓研究会，日本遺伝子診療学会，新潟医学会，新潟医療福祉学会，日本臨床スポーツ医学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座，新潟市中学校体育連盟，新潟市中学校保健体育，部活動指導者，新潟市，2022.7.29.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 一般財団法人新潟陸上競技協会，競技会の救護支援，医科学部長，新潟，2022.4-2023.3.
    2. Denka Athletics Challenge Cup, 救護，新潟市，2022.10.1-10.2.



3. 新潟ハーフマラソン2023, 救護支援, 総務員 救護, 新潟市, 2023.3.19.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 基盤研究©, 組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討, 研究分担者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 新潟薬科大学 非常勤講師, 循環器内科学, 2022.5.25.
- 7 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会(委員長), 安全衛生委員会, 危機管理対策委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

**氏名: 山崎 史恵**

報告事項なし

**氏名: 吉田 重和**

- 1 研究題目 オランダの公教育制度に関する質的研究(比較・国際教育学), オルタナティブ教育に関する国際比較研究(比較・国際教育学), シティズンシップ教育に関する国際比較研究(比較・国際教育学), 教員養成・教員研修に関する質的研究(教師教育), 健康スポーツ学分野における初年次教育の在り方に関する実践的研究(初年次教育)
- 2 著書
  1. 吉田重和. オランダの学校-「教育の自由」原則の学校;二宮皓編著. 世界の学校-グローバル化する教育と学校生活のリアル:東京:学事出版;2023:38-43.
- 3 論文
  1. 佐藤裕紀, 杵渕洋美, 吉田重和, 脇野哲郎. 総合的な学習の時間の指導で教員が抱える困難性, 課題に関する研究-X市の小学校教諭, 中学校教諭へのインタビューの分析から. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022;6:15-25.
  2. 吉田重和, 若月弘久. 新潟市教育委員会・新潟県内私立大学 教員養成連絡協議会 開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022;6:60-61.
  3. 吉田重和. 自己点検の達成状況と残された課題. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022;6:66-68.
  4. 吉田重和, 杵渕洋美, 渡辺優奈, 高田大輔. 教職支援センター運営委員会の総括. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022;6:69-70.
  5. 吉田重和. コロナ禍での経験をとおして見る教員のしごと・役割:オランダの事例. 比較教育学研究. 2023;66:24-41. (査読あり)
- 4 報告書
  1. 長島啓記, 鴨川明子, 佐藤裕紀, 谷口利律, 日暮トモ子, 古阪肇, 吉田重和. 基盤研究(B), 初任者教員の育成と支援に関する国政比較研究, 研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者.
- 5 学会等研究発表
  1. 吉田重和. 課題研究I 学校における教員の役割・しごとを問い直す:コロナ禍での経験をとおして見えてきたこと オランダの事例. 日本比較教育学会 第58回大会(オンライン開催), 2022.6.26. 【特別公演】
- 6 学会活動
  - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 新潟医療福祉学会, 世界比較教育学会, アジア比較教育学会
- 7 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟西高等学校 大学講義体験, 日本の教育と世界の教育, 講師, 新潟西高等学校, 新潟西高等学校2学年 40名, 新潟市, 2022.10.18.
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 文部科学教育通信, 「世界の大学」執筆担当, 2022.4.1-2023.3.31.
  2. 公益財団法人教科書研究センター, 「海外教科書制度調査研究報告書」執筆担当, 2022.4.1-2023.3.31.
- 8 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 比較教育研究におけるISCED活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者
    2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究（B）, 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 強化女子バレーボール部, 令和4年度 第70回秋季北信越大学バレーボール選手権大会, バレーボール, 優勝, 富山県, 2022.10.29-10.30. (部長)
    2. 強化女子バレーボール部, 令和4年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 北信越ブロックラウンドBグループ, バレーボール, 優勝, 新潟県, 2022.9.24-9.25. (部長)
    3. 強化女子バレーボール部, 令和4年度 第69回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会 (全日本インカレ), バレーボール, ベスト32, 東京都, 2022.11.28-12.4. (部長)
    4. 強化女子バレーボール部, 令和4年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ファイナルラウンド, バレーボール, 出場, 東京都, 2022.12.9-12.18. (部長)
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟薬科大学応用生命科学部 (教育制度・行政), 2022.9.1-2023.3.31.
    2. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校 (教育学), 2022.9.1-2023.3.31.
- 9 学内委員会活動 教育・学生支援機構, 教育開発推進部 (部長), 高等教育推進センター運営委員会 (委員長・教育システム改革部会長), 教職支援センター運営委員会 (委員長・教職課程長・教職支援センター長), シティズンシップ教育実践研究センター

**氏名：脇野 哲郎**

- 1 研究題目 教員養成段階学生における実践的指導力の育成 (体育科教育学), 体づくり運動の授業改善 (体育科教育学), 現代の課題に応える学校体育経営 (体育経営学)
- 2 著書
  1. 杵渕洋美, 脇野哲郎, 佐藤裕紀. 「総合的な学習の時間の指導法」の充実に向けて—「総合的な学習の時間」学習実態調査から—. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022; 6; 1-14.
  2. 佐藤裕紀, 杵渕洋美, 吉田重和, 脇野哲郎. 総合的な学習の時間の指導で教員が抱える困難性, 課題に関する研究—x市の小学校教諭, 中学校教諭へのインタビューの分析から—. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022; 6; 15-25.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本保健科教育学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県体育学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 関川村保健体育教育研究会, 指導者, 関川村教育委員会, 教職員, 関川村, 2022.9.5.
    2. 新潟県中学校研究会保健体育研究研修会, 指導者, 新潟県教育委員会, 教職員, 村上市, 2022.10.6.
    3. 関川小学校授業研究会, 指導者, 関川村教育委員会, 教職員, 関川村, 2022.10.13.
    4. 新潟大学教育学部附属新潟小学校初等教育研究会, 指導者, 新潟大学, 教職員, 新潟市, 2022.10.15.

5. 新潟教育会教育研究発表会, 指導者, 新潟教育会, 教職員, 新潟市, 2022.11.3.
6. 沼垂小学校体育授業研究会, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2022.12.9.
- 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市放課後子どもプラン推進委員会委員長, 新潟市がん教育推進委員, 胎内市いじめ問題対策委員会委員, 聖籠町幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上教科事業有識者会議委員長, 聖籠町放課後子ども教室の在り方検討委員会委員長, 教育公益財団法人新潟教育会理事, 新潟市立葛塚小学校・浜浦小学校・濁川小学校・濁川中学校・南浜小学校・太夫浜小学校・下山・光晴中学校 学校運営委員
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 学内部活動の実績
    1. ダンス部, 第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸), 創作コンクール部門, 神戸市, 2022.8.10-8.13. (部長)
    2. ダンス部, 第41回あきた全国舞踊祭秋田モダンダンスコンクール, 総合3位・群舞部門あきたこまち賞, 秋田市, 2022.12.10-12.11. (部長)
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 新潟大学教育学部, 保健体育教育法Ⅳ, 2022.12.1-12.15.
    2. アップルスポーツカレッジ, スポーツ経営学, 2022.4.15-6.17.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

**氏名: 秋山 隆之**

- 1 研究題目 サッカーにおける各種制約が状況判断能力に及ぼす影響に関する研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本フットボール学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 全日本大学女子サッカー連盟, 2022全日本大学女子サッカー連盟評議員会, 東京都他, 2022.6.27.
    2. 新潟県サッカー協会, 新潟県社会人サッカー連盟, 2022第27回新潟県サッカー選手権大会, 新発田市他, 2022.5.8.
  - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟県三条市スポーツ推進審議会(委員)
  - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
一般社団法人全日本大学女子サッカー連盟(評議員), 一般社団法人新潟県サッカー協会社会人サッカー連盟(理事), 一般社団法人新潟県サッカー協会資格規律フェアプレー委員会(委員)一般社団法人新潟県サッカー協会広報委員(委員)
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 学内部活動の実績
    1. 男子サッカー部, 天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権, 鹿嶋市, 2回戦敗退, 2022.6.1. (部長)
    2. 男子サッカー部, 第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント, 非公開, 3回戦敗退(ベスト8), 2022.8.2. (部長)
    3. 男子サッカー部, 第71回全日本大学サッカー選手権大会, 東京都他, 決勝戦敗退(準優勝), 2023.1.1. (部長)
    4. 女子サッカー部, 第31回全日本大学女子サッカー選手権大会, 東京都他, 1回戦敗退, 2022.12.24. (部長)
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校(看護学科, 歯科衛生士学科), 健康と運動, 保健体育, 2022.10.1-2023.3.31.

- 5 学内委員会活動 FD・SD推進委員会（委員），アスレティックデパートメント推進委員会（社会・地域活動推進部会，部会長）

**氏名：池田 祐介**

報告事項なし

**氏名：久保 晃**

報告事項なし

**氏名：越中 敬一**

- 1 研究題目 身体のエネルギー代謝調節機構の解明
- 2 著書
  1. 越中敬一. 運動生理学. 1版. 岐阜：みらい；越中敬一編. 骨格筋の筋収縮と運動能力. 10-20.
  2. 越中敬一. 運動生理学. 1版. 岐阜：みらい；越中敬一編. エネルギー代謝. 22-43.
  3. 越中敬一. 運動生理学. 1版. 岐阜：みらい；越中敬一編. 運動と栄養. 44-59.
  4. 越中敬一. 運動生理学. 1版. 岐阜：みらい；越中敬一編. 運動とホルモン. 78-91.
- 3 報告書
  1. 越中敬一. 研究基盤（C），組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討，研究成果報告書，2019-2022，研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 越中敬一，中澤翔，埴晴雄，高橋英幸，大浦拓徳，佐藤晶子. 血漿LECT2濃度に及ぼす運動習慣と温熱刺激の影響. 第77回日本体力医学会大会（栃木），2022.9.21-9.23.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，運動生理学会，日本体力医学会（評議員）
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. Nutrients, 査読
    2. IJERPH, 査読
    3. Nutrients, 査読
    4. Biology, 査読
    5. Metabolites, 査読
    6. Arch Physiol Biochem, 査読
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，研究基盤（C），一過性の身体運動による骨格筋インスリン作用の亢進における水分子動態の関与，越中敬一（研究代表）
- 7 学内委員会活動 動物実験委員会，劇毒物管理委員会，科研費対策委員会

**氏名：佐近 慎平**

- 1 研究題目 こども学，福祉教育，レクリエーション
- 2 論文
  1. 佐近慎平，中曾根裕，本多 理紗，橋浦孝明，金子勝司. 幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成. 自由時間研究. 2023；48：13-18.
  2. 本多理紗，金子勝司，中曾根裕，橋浦孝明，佐近慎平. 健康体操教室の参加者を行うニュースポーツのアレンジの研究～活動を通じたコミュニティの醸成～. 自由時間研究. 2023；48：35-45.
  3. 中曾根裕，金子勝司，本多理紗，橋浦孝明，佐近慎平. 幼児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツ

に親しむ資質に与える影響～保育者志望学生の身体的有能さの認知に着目して～. 自由時間研究. 2023 ; 48 : 54-63.

4. 佐近慎平. 2022年度村上市幼児の体力向上事業報告書. 2023.3.31.
5. 佐近慎平. 2022年度新発田市パラスポーツ出前講座実施報告書. 2023.3.31.

### 3 報告書

1. 佐近慎平, 西原康行, 杉崎弘周, 市川浩. 研究基盤 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者

### 4 学会等研究発表

1. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士, 金子勝司. 幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び環境の構成要素の研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.
2. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平. 積雪期における健康体操教室の継続要因の検証 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.

### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本教育工学会, 日本保育学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 新潟医療福祉学会ほか
- 2) 学術集会の主催
  1. 公益財団法人日本レクリエーション協会, 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議, 特任幹事, 姫路, 2022.9.18.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 公益財団法人日本レクリエーション協会公認養成課程認定校会議関東・甲信越ブロック研修会 レクリエーション研究, みんな, どうやってるの? 講師 公益財団法人日本レクリエーション協会 公益財団法人日本レクリエーション協会公認養成課程認定校 東京 3.3.

### 6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 新潟県村上市幼児の体力向上事業 幼児の体力向上事業報告会 講師 新潟県村上市 村上市保育園保育士, 総合型スポーツクラブコーチ 村上市生涯学習推進センター 4.28.
  2. 新潟県弥彦村体力向上事業 弥彦保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 弥彦保育園園児, 及び保育士 弥彦保育園 6.16, 7.12, 10.5, 12.13. (計4回)
  3. 新潟県弥彦村体力向上事業 二松保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 二松保育園保育園園児, 及び保育士 二松保育園 6.24, 10.21, 11.17, 12.20. (計4回)
  4. 新潟県弥彦村体力向上事業 ひかり保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 ひかり保育園園児, 及び保育士 ひかり保育園 6.30, 10.27, 11.24, 12.27. (計4回)
  5. 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園体育指導 講師 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園園児, 及び保育士 川通りどれみ保育園 12.27.
  6. パラスポーツ出前講座 パラスポーツ出前講座 講師 新発田市 新発田市小中学校 新発田市小中学校 (7校) 10.4, 10.11, 10.18, 11.1.
  7. 令和4年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業 地域専門人材養成研修 講師 新潟県 新潟県民 (保育士, 総合型スポーツクラブ等職員) 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 11.13.
  8. 令和4年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業 地域専門人材養成研修成果検討会 アドバイザー 新潟県 新潟県民 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 2.21.
  9. スペシャルオリンピックスナショナルゲームス ユニファイドサッカー全国大会 運営委員 スペシャルオリンピックス日本 日本国民 広島市 11.5-11.6.
  10. 令和4年度2区合同研修会 (運動遊び) 明日から実践できる幼児 への楽しさが先導する運動指導方法 講師 新潟市北区東区保育課 北区東区保育園保育士 新潟市 10.25.
  11. 燕市ファミリー・サポートセンター研修会 子供の成長と身体の発達 講師 燕市 燕市民 燕市 9.29.

12. 鳥屋野地区公民館 令和4年度 幼児期家庭教育学級 講師 新潟市 新潟市民 新潟市 10.1.
13. 総合学習 パラスポーツ出前講座 講師 木崎小学校 木崎小学校児童 木崎小学校 11.22.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
  - 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業（アドバイザー），村上市幼児の体力向上事業（アドバイザー），弥彦村幼児の体力向上事業（アドバイザー），新発田市パラスポーツ出前講座（アドバイザー）
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
  - 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（特任幹事）
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，科研費基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究代表者
    2. 2022年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成，研究代表者
    3. 2022年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，康体操教室の参加者と行うニュースポーツのアレンジの研究，研究分担者
    4. 2022年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツに親しむ資質に与える影響，研究分担者
    5. 2022年度，村上市幼児の体力向上事業，研究委託，研究代表者
    6. 2022年度，弥彦村幼児の体力向上事業，研究委託，研究代表者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 国際こども・福祉カレッジこども福祉教育学科・児童教育学科，こどもと体育，2022.4.1-2023.3.31.
- 8 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会，身体教育研究センター（副センター長），人権委員会（調査委員）

**氏名：佐藤 晶子**

- 1 研究題目 短期的なチアミン（ビタミンB1）の摂取制限がエネルギー代謝に及ぼす影響
- 2 著書
  1. 井川聡子，斎藤トシ子，廣田直子編著，鈴木薫子，島田尚子，石川祐一，永井徹，鈴木久恵，本多真理子，齊藤公二，佐藤晶子，小林泉江，高橋洋平，北林紘共著．改訂 実践に役立つ栄養指導事例集．東京：理工図書；2018：105-116.
  2. 田口素子編著，高田和子，浜野純，石橋彩，石津達野，松本恵，佐藤晶子，鈴木いづみ，村田浩子，御所園実花共著．スポーツ栄養学—理論と実践—．東京：市村出版；2022：100-113.
  3. 越中敬一編著，越智元太，川田裕樹，木田哲夫，佐藤晶子，澤野千春，高橋英明，高橋英幸，田巻弘之，土橋康平，藤本知臣，山代幸哉共著．運動生理学．岐阜：株式会社みらい；2022：60-76.
- 3 報告書
  1. 佐藤晶子．基盤研究（C）（一般），短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響，科学研究費助成事業 研究成果報告書，2019-2021，研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 越中敬一，中澤翔，塙晴雄，高橋英幸，大浦拓徳，佐藤晶子．血漿LECT2濃度に及ぼす運動習慣と温熱刺激の影響．第77回日本体力医学会大会（完全オンライン開催），2022.9.21-9.23.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本栄養改善学会，日本スポーツ栄養学会（評議員），日本体力医学会，新潟医療福祉学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. The 8th Asian Congress of Dietitians 2022，プログラム委員会ポスター検討グループリーダー，横浜市，2022.8.19-8.21・2020.6-

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県アーチェリー協会強化育成事業 栄養講習会, 競技者の食事の基本, 講習会講師, 新潟県アーチェリー協会, 新潟県アーチェリー協会強化指定選手とその保護者, 長岡市・まちなかキャンパス長岡, 2022.11.3.

### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 一般雑誌, スイミングライフ (株式会社インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学」～科学を学んで速く泳げるようになろう!～「大学生の選手に対する初年度の栄養教育の重要性, 2022.11.5.

### 3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県教育庁保健体育課, 地域スポーツ活動の指導者育成研修, 動画コンテンツの作成, 2022.9-10.

### 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人全日本アーチェリー連盟強化部科学委員, 日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ), 新潟県陸上協会専門部 (医科学部)

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 基盤研究 (C), 短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響, 研究代表者

## 8 学内委員会活動 教務委員会, SHAINプロジェクト, JICA草の根支援事業 (ハイズオン氏の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり)

## 氏名: 山代 幸哉

### 1 研究題目 脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出

### 2 著書

1. 越中敬一, 藤本知臣, 越智元太, 佐藤晶子, 高橋英明, 山代幸哉, 運動生理学, 初版, 未来出版:2022年: 1-216.

### 3 論文

1. Yamashiro K, Ikarashi K, Makibuchi T, Anazawa S, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Sato D, Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities, Scientific Reports, 2023.
2. Aoki M, Yamazaki Y, Otsuka J, Okamoto Y, Takeda S, Shirai N, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K, Sato D, Amano T. Influence of heat exposure on motor control performance and learning as well as physiological responses to visuomotor accuracy tracking task, International Journal of Environmental Research and Public Health, 2022.
3. Dat LC, Sato D, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K. Effect of whole-hand water flow stimulation on the neural balance between excitation and inhibition in the primary somatosensory cortex Frontiers in Human Neuroscience, 2022.
4. Ochi G, Kuwamizu R, Fujimoto T, Ikarashi K, Yamashiro K, Sato D. The Effects of Acute Virtual Reality Exergaming on Mood and Executive Function: Exploratory Crossover Trial JMIR Serious Games, 2022.
5. Ikarashi K, Sato D, Ochi G, Fujimoto T, Yamashiro K. Action Postponing and Restraint Varies among Sensory Modalities Brain Sciences, 2022.

### 4 学会等研究発表

1. 山代幸哉. 運動生理学を学ぶコーチ研究者からみる北海道スプリンターの強さの秘密, 日本運動生理学会 (北海道), 2022.8.25-8.26.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本生体磁気学会（評議員）、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本体育スポーツ学会、日本臨床神経生理学会

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学記録会, 4.2.
2. 新潟医療福祉大学記録会, 6.4.
3. 新潟医療福祉大学記録会, 8.11.
4. 新潟医療福祉大学記録会, 9.23.
5. 新潟医療福祉大学記録会, 10.29.
6. おおまき小学校教育講演, 脳科学から見るメディア, 8.31.
7. 塩沢小学校教育講演, メディアと上手に付き合う, 12.9.

### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. NST, 八千代コスター, 10.22.

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費基盤研究（B）, 脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出, 研究代表者
2. 2021年度, 科研費基盤研究（B）, 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 研究分担者
3. 2019年度, 科研費基盤研究（A）, 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者

## 8 学内委員会活動 大学院教育研究環境委員会（委員長）、URA推進室、アドミッションオフィス室員

### 氏名：若月 弘久

報告事項なし

### 氏名：伊藤 篤司

- 1 研究題目 VR映像を用いたバスケットボール審判の力量を高めるシステムの開発, 大学強化部学生における鉄欠乏性貧血と鉄代謝関連ホルモンの関する研究, 立位と坐位による下肢血流に対する弾性ストッキングの有用性の研究, 閉塞性動脈硬化症ASOにおける運動療法の新しい取り組み

## 2 論文

1. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual cycle changes joint laxity in females -Differences between eumenorrhea and oligomenorrhea. Journal of Clinical Medicine (JCR). 2022; 11(11): 3222. (review)

## 3 学会等研究発表

1. 大徳尚司, 伊藤篤司. 超音波診断装置を用いた弾性ストッキング着用前後の膝窩動静脈形態の検討, 第22回新潟医療福祉学会学術集会, (新潟市), 2022.10.29.
2. 埴晴雄, 江玉陸明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 大島めぐみ, 伊藤篤司, 小林真里奈, 濱野礼奈, 大森豪. 本学における強化クラブ女子部員（バスケットボール, バレーボール, サッカー, 陸上長距離）の貧血および鉄欠乏の頻度, 血中ヘプシジン濃度, 鉄剤内服治療の効果について検討した. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, (新潟市), 2022.10.29.

## 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会, 日本スポーツ心理学会

## 5 社会活動



1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. YAHOO!ニュース (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツのヘッドコーチに就任紹介と, コメントや写真など掲載. 2022.4.1.
2. BASKETBALL KING (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツのヘッドコーチに就任紹介と, コメントや写真などの掲載. 2022.4.1.
3. 日刊スポーツ (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツのヘッドコーチに就任紹介と, コメントや写真などの掲載. 2022.4.1.
4. スポニチ (新潟県版), 新潟アルビレックスBBラビッツのヘッドコーチに就任紹介と, コメントや写真などの掲載. 2022.4.1.
5. 新潟日報 (新聞), 新潟アルビレックスBBラビッツのヘッドコーチに就任紹介と, コメントや写真などの掲載. 2022.4.1.
6. YAHOO!ニュース (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツの新体制会見が行われたことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.10.
7. 日刊スポーツ (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツの新体制会見が行われたことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.10.
8. msn (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツの新体制会見が行われたことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.10.
9. 新潟日報 (新聞), 新潟アルビレックスBBラビッツの新体制会見が行われたことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.11.
10. TeNY新潟一番ニュース (TV), 新潟アルビレックスBBラビッツの新体制会見が行われた内容の放送. 2022.5.11.
11. YAHOO!ニュース (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツが初のチーム全体練習を行ったことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.14.
12. 日刊スポーツ (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツが初のチーム全体練習を行ったことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.14.
13. グノシー (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツが初のチーム全体練習を行ったことについて紹介され, 写真やコメントなどが掲載. 2022.5.14.
14. 新潟日報 (新聞), Wリーグに参戦する新潟アルビレックスBBラビッツについて紹介され, 写真や経歴などが掲載. 2022.10.19.

2) 社会活動への参加協力

1. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 紫竹山小学校, 2022.5.7.
2. 新潟アルビレックスBBラビッツ, 車いすバスケットでの交流会, 障がい者へのバスケットボール指導, 指導者, 新潟ふれ愛プラザ新潟県障がい者交流センター体育館, 2022.6.5.
3. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 豊栄南小学校, 2022.6.1.
4. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 内野小学校, 2022.6.1.
5. 新潟アルビレックスBBラビッツ, バスケットボール指導, 指導者, 共栄大学, 2022.6.12.
6. 新潟アルビレックスBBラビッツ, バスケットボール指導, 指導者, 清心女子中学校, 2022.7.9.
7. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 秋葉区新関小学校, 2022.7.10.
8. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 秋葉区新関小学校, 2022.7.10.
9. 新潟県主催, ゆめづくりスポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, デイスポーツ南魚沼, 2022.7.23.
10. Denka株式会社, バスケットボール指導, 指導者, 南魚沼市立浦佐小学校, 2022.7.23.
11. 新潟県主催, ゆめづくりスポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, 津川体育館, 2022.8.6.
12. 新潟アルビレックスBBラビッツ, バスケットボール指導, 指導者, 燕市分水総合体育館, 2022.8.11.
13. 阿賀野市主催, バスケットボール指導, 指導者, 阿賀野市水原総合体育館, 2022.8.23.

14. 阿賀野市主催, バスケットボール指導, 指導者, 京ヶ瀬体育館, 2022.8.25.
  15. 日本スポーツ協会主催, 指導者講習会, コーチデベロッパー, オンライン開催, 2022.8.20.
  16. 日本スポーツ協会主催, 指導者講習会, コーチデベロッパー, オンライン開催, 2022.8.21.
  17. 日本スポーツ協会主催, 指導者講習会, コーチデベロッパー, オンライン開催, 2022.8.27.
  18. 新潟県主催, ゆめづくりスポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, 阿賀野市水原総合体育館, 2022.8.30.
  19. 阿賀野市主催, バスケットボール指導, 指導者, 笹神体育館, 2022.9.9.
  20. NSS主催, バスケットボール指導, 指導者, 小千谷市総合体育館, 2023.1.8.
  21. 新潟市西区主催, バスケットボール指導, 指導者, 新潟市西区総合スポーツセンター, 2023.2.12.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
日本スポーツ協会(コーチデベロッパー)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 学内部活動の実績
    1. 女子バスケットボール部, ディレクター, 2022.4.1-2023.3.31.
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 新潟大学, 球技C, 2022.4.1-2023.3.31.
- 7 学内委員会活動 アスレチックデパートメント推進委員会(委員長)

**氏名: 鶴瀬 亮一**

- 1 研究題目 野球競技のコーチング, 熟達指導者研究
- 2 報告書
  1. 鶴瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
  1. 鶴瀬亮一, 内山渉, 大矢真史, 西原康行. VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球コーチの力量の顕在化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会(オンライン開催), 2022.10.29.
  2. 大室康平, 鶴瀬亮一. 入団・卒団のアンケートからみた野球部員の期待と学び. 日本コーチング学会第34回学会大会. 2023.3.1.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本教育工学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟医療福祉大学野球教室, 小学生93名指導, 講師, 南魚沼市, 2022.7.2.
    2. 令和4年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業野球教室, 小学生40名・中学生48名, 講師, 小千谷市, 2022.8.6.
    3. 魚沼市野球教室, 中学生43名, 講師, 魚沼市, 2022.8.21.
    4. JABA新潟県野球連盟審判部審判員・記録放送員育成研修会, 審判員40名参加, 試合演者, 長岡市, 2022.10.30.
    5. 南魚沼市指導者講習会, 南魚沼地区指導者15名, 講師, 南魚沼市, 2022.11.3.
    6. 長岡市未経験者野球教室, 野球未経験者小学生50名, 講師, 長岡市ニュータウン公園多目的場, 2022.11.12.
    7. 長岡市指導者講習会, 長岡地区指導者40名, 講師, 長岡市ニュータウン公園室内練習場, 2022.11.12.
    8. 長岡市野球教室, 小学生80名, 講師, 長岡市ニュータウン公園ソフトボール場, 2022.11.12.
    9. 日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球)陽性講習会, 指導者34名, 講師, ハードオフエコスタジアム, 2022.11.26.

10. 十日町中学校野球指導, 十日町中学校部員 10名 指導者 2名, 講師, 本学グラウンド, 2022.11.27.
  11. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.1.
  12. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.2.
  13. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.6.
  14. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 陸上競技部 15名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.9.
  15. 砺波市内中学生野球教室, 砺波市内中学生 36名 指導者, 講師, 出町中学校体育館, 2022.12.10.
  16. 砺波市内高校生野球教室, 砺波高校・砺波工業高校部員 23名 指導者, 講師, 砺波工業高校, 2022.12.10.
  17. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.15.
  18. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.16.
  19. 柏崎刈羽地区野球協議会講演会, 中学生 68名 保護者 23名, 講師, 柏崎総合高校, 2023.1.15.
  20. 柏崎刈羽地区野球協議会野球教室, 中学生 68名 指導者 30名, 柏崎総合高校体育館, 2023.1.15.
  21. 中学生野球指導, 中学生(長岡シニア) 8名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.1.21.
  22. 新発田市指導者講習会, 新発田市指導者 56名, 講師, 本学室内練習場, 2023.1.28.
  23. 中学生野球指導, 中学生(長岡シニア) 8名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.4.
  24. 高校生野球指導, 小諸商業高校野球部員 9名 指導者 2名, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.11.
  25. 十日町南中学校野球指導, 十日町南中学校野球部員 14名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.12.
  26. 小学生野球指導, 長岡市内小学生 15名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.12.
  27. 小学生野球指導, 新潟市小学生 20名, 講師, 新潟市こども創作活動館, 2023.2.17.
  28. 高校生野球指導, 延岡学園高校野球部員 12名 指導者 2名, 講師, 西階総合運動公園野球場, 2023.2.26.
  29. 高校生野球指導, 砺波工業高校野球部員 18名 指導者 2名, 講師, 本学野球場, 2023.3.28.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 毎日新聞(東北・北関東・長野・山梨版)強さと楽しさ伝える, 2022.4.1.
  2. 雑誌, スタンダード新潟 第2の故郷・新潟へ 甲子園からエールを送る, 2022.春号
  3. 新聞, スポーツニッポン新潟版 桐敷・渡辺・椎野・笠原県関連4投手が奮投, 2022.4.5.
  4. 新聞, スポーツニッポン新潟版 春季リーグ直前山本選手特集記事, 2022.4.6.
  5. 新聞, 新潟日報 新天地でも挑戦続く 本県関係有力選手の進路, 2022.4.6.
  6. 新聞, 新潟日報 関甲新リーグ開幕前特集記事, 2022.4.7.
  7. 新聞&Web, 日刊スポーツ 新潟医療福祉大・南隼人「防御率のタイトル狙いたい」関甲新学生野球春季1部リーグ, 2022.4.8.
  8. 新聞, 新潟日報 新潟医福大が大勝発進, 2022.4.10.
  9. Web&新聞, 日刊スポーツWeb版・新潟版【関甲新学生】新潟医療福祉大が1部残留 引退試合の今井颯大3打点「みんなとできて良かった」, 2022.5.9.
  10. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大1部残留記事, 2022.5.10.
  11. 新聞, 新潟日報 医福大1部残留記事, 2022.5.10.
  12. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大 秋巻き返しへチーム内競争で底上げ図る, 2022.5.23.
  13. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新人戦開幕3年ぶりの頂点へ, 2022.5.27.
  14. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新人戦初戦山梨大勝利に関する記事, 2022.5.30.
  15. 新聞, スポーツニッポン新潟版 大久保新主将に関する記事, 2022.6.15.
  16. 新聞, スポーツニッポン新潟版 坂井さん夢は「甲子園で主審」, 2022.7.22.
  17. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説, 2022.7.24. 東京学館新潟高校×帝京長岡高校

18. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説, 2022.7.26. 中越高校×帝京長岡高校
19. 新聞&Web, 日刊スポーツ 来月3日関甲新学生野球開幕, 2022.8.29.
20. 新聞, スポーツニッポン新潟版 秋季リーグ開幕前特集記事, 2022.8.30.
21. 新聞, 新潟日報 関甲新学生野球秋季L今日開幕, 2022.9.3.
22. Web, 日刊スポーツ NGT48真下華穂 後輩とのいい関係築くための秘けつ学びました, 2022.9.10.
23. 新聞, スポーツニッポン新潟版 2年ぶり新潟開催前特集記事, 2022.9.17.
24. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新潟開催初戦対山梨学院大学戦記事, 2022.9.18.
25. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新潟開催対上武大学戦記事, 9.19.
26. 新聞, 新潟日報 秋季リーグ戦新潟開催対上武大学戦記事, 9.19.
27. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<上>, 11.16.
28. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<下>, 11.17.
29. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<番外編>, 11.18.
30. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大林独立リーグ富山入り, 2022.12.14.
31. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大大久保主将上武大撃破&タイトル奪取, 2023.1.6.
32. Web, 日刊スポーツ新潟版 日本文理 昨夏甲子園主力3選手, 次の舞台へ頂点へ, 2023.1.9.
33. 新聞, スポーツニッポン新潟版 桐敷「球の質」で初勝利, 2023.1.12.
34. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大出身阪神桐敷先発で初勝利狙う, 2023.1.16.
35. 新聞, スポーツニッポン新潟版 野球部とダンス部共催の野球教室に関する記事, 2023.2.7.
36. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大・滝沢フォーム改良で次代のエースに, 2023.2.21.
37. 新聞, スポーツニッポン新潟版 坂井翔太選手口キテクノ富山内定記事, 2023.2.23.
38. 新聞, スポーツニッポン新潟版 山田監督「選手と一緒に成長できたら」医福大野球部1期生「新潟愛」も人一倍, 2023.2.24.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

関甲新学生野球連盟（理事），新潟県野球協議会（理事）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，若手研究，VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み，研究代表者

**氏名：越智 元太**

- 1 研究題目 パフォーマンスを高めるコンディショニング法の開発，運動が認知機能に与える影響とその神経基盤，運動による脳疲労の機構と対処法の解明
- 2 著書
  1. 越中敬一，高橋英幸，佐藤晶子，澤野千春，高橋英明，田巻弘之，藤本知臣，土橋康平，山代幸哉，木田哲夫，越智元太，川田祐樹，越中敬一編．運動生理学．日本：みらい；2022：189-203.
- 3 論文
  1. Fukuie T, Suwabe K, Kawase S, Shimizu T, Ochi G, Kuwamizu R, Sakairi Y, Soya H. Groove rhythm stimulates prefrontal cortex function in groove enjoyers. Scientific Reports. 2022; 12(1): 7377. (review)
  2. Ochi G, Kuwamizu R, Suwabe K, Fukuie T, Hyodo K, Soya H. Cognitive fatigue due to exercise under normobaric hypoxia is related to hypoxemia during exercise. Scientific Reports. 2022; 12(1): 9835. (review)
  3. Kuwamizu R, Yamazaki Y, Aoike N, Ochi G, Suwabe K, Soya H. Pupil-linked arousal with very light exercise: pattern of pupil dilation during graded exercise. The Journal of Physiological Sciences. 2022; 72(1): 23-23.(review)
  4. Ochi G, Kuwamizu R, Fujimoto T, Ikarashi K, Yamashiro K, Sato D. The Effects of Acute Virtual Reality Exergaming on Mood and Executive Function: Exploratory Crossover Trial. JMIR Serious

Games. 2022; 10(3): e38200. (review)

5. Aoki M, Yamazaki Y, Otsuka J, Okamoto Y, Takada S, Shirai N, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K, Sato D, Amano T. Influence of heat exposure on motor control performance and learning as well as physiological responses to visuomotor accuracy tracking task. International Journal of Environmental Research and Public Health. 2022; 19(19): 12328 (review)
6. Le C. Dat, Sato D, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K. Effect of whole-hand water flow stimulation on the neural balance between excitation and inhibition in the primary somatosensory cortex. Frontiers in Human Neuroscience. 2022; 16: 962936. (review)
7. Ikarashi K, Sato D, Ochi G, Fujimoto T, Yamashiro K. Action Postponing and Restraint Varies among Sensory Modalities. Brain Sciences. 2022; 12(11): 1530-1530. (review)
8. Yamashiro K, Ikarashi K, Makibuchi T, Anazawa S, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities. Scientific reports. 2022; 13(1): 3014. (review)
9. Matsuura Y, Ochi G. The Potential of Heart Rate Variability Monitoring for Mental Health Assessment in Top Wheel Gymnastics Athletes: A Single Case Design. Applied Psychophysiology and Biofeedback. 2022. (review)

#### 4 報告書

1. 越智元太. 若手研究, 運動による認知疲労の生理機構解明とそれを抑制するトレーニング法開発, 研究成果報告書, 2019-2021.

#### 5 学会等研究発表

1. 松井崇, 高橋史穂, 峰勇仁, 安田駿, 松岡弘樹, 吉武誠二, 越智元太. 長時間の一過性eスポーツトレーニングが引き起こす認知疲労は主観的疲労感よりも瞳孔径と関連する. NEURO2022 (沖縄・日本), 2022.7.2.
2. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 越智元太, 藤本知臣, 山代幸哉. Proactive inhibition (順行性抑制) は感覚モダリティによって異なる. Motor Control 研究会 (東京・日本), 2022.8.26.
3. 越智元太, 桑水隆多, 青池直樹, 征矢英昭. 認知疲労に運動時過換気応答が関わるか: 漸増負荷運動による検討. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
4. 山崎雄大, 李東旻, 諏訪部和也, 越智元太, 青池直樹, 桑水隆多, 征矢英昭. 軽度低酸素による海馬機能変化はSpO2低下に依存する. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
5. 藤本知臣, 山代幸哉, 穴澤沙也可, 卷淵泰輝, 五十嵐小雪, 越智元太, 佐藤大輔. 皮膚へのメントール塗布が温度刺激時の感覚処理に及ぼす影響. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
6. 木立朱珠, 佐藤大輔, 五十嵐小雪, 藤本知臣, 越智元太, 山代幸哉. 体性感覚における刺激反応適合性効果とその神経活動. 体性感覚における刺激反応適合性効果とその神経活動. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
7. Le Cong Dat, 佐藤大輔, 五十嵐小雪, 藤本知臣, 越智元太, 山代幸哉. 水流刺激が一次体性感覚野の興奮性に及ぼす影響. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
8. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 江玉睦明, 藤本知臣, 越智元太, 山代幸哉. 月経周期によって微細運動機能は変化しない. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン・日本), 2022.9.21.
9. 越智元太. 運動環境が認知機能向上効果に与える影響. 運動と脳の勉強会 (オンライン・日本), 2023.3.10.

#### 6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事, 学会誌編集委員), 日本体力医学会, 日本トレーニング科学会, 新潟県体育学会, 日本スポーツ栄養学会, 北米神経科学会, 欧州スポーツ科学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 水泳水中運動学会 査読

2. clocks&sleep 査読
3. International Journal of Environmental Research and Public Health 査読

## 7 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 2022年度研修会，認知障害予防のための運動療法，講師，日本健康運動指導士会 新潟県支部，健康運動指導士など，新潟市，2022.6.26.
2. 静岡県高等学校説明会，VRスポーツ教室，講師，静岡県立新居口頭学校，中学生とその保護者，浜松市，2022.10.30.
3. 模擬授業，運動が脳機能に与える影響，講師，新潟県立六日町高等学校，南魚沼市，2022.11.4.
4. 令和4年度 スポーツ庁「地域運動部活動推進事業」指導者育成プログラム研修会，体力とトレーニング，講師，NPO法人希楽々・新潟県村上市教育委員会，村上市，2022.11.7.
5. 模擬授業，運動が脳機能に与える影響，講師，私立小松大谷高等学校，オンライン，2023.3.10.

### 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. Webサイト，日本の研究.com，激しい運動による脳疲労に低酸素血が関与，筑波大学と新潟医療福祉大学が実証，対処法開発に期待～，2022.6.28.
2. Webサイト，大学ジャーナルONLINE，激しい運動による脳疲労に低酸素血が関与，筑波大学と新潟医療福祉大学が実証，2022.7.9.
3. Webサイト，PR TIMES，【新潟医療福祉大学】VRエクササイズは気分と認知機能をともに高める新たな運動処方となりうるか！？本学研究グループによる研究論文が，国際誌（9月28日付）に公開されました！，2022.9.29.
4. Webサイト，Beauty Post，【新潟医療福祉大学】VRエクササイズは気分と認知機能をともに高める新たな運動処方となりうるか！？本学研究グループによる研究論文が，国際誌（9月28日付）に公開されました！，2022.9.29.
5. Webサイト，糖尿病リソースガイド，仮想現実で運動する「VRエクササイズ」で運動好意度が向上運動嫌いの人も気分を高められる可能性，2022.10.12.
6. Webサイト，保健指導リソースガイド，仮想現実で運動する「VRエクササイズ」で運動が楽しくなる運動嫌いの人も気分を高められる，2022.10.17.
7. Webサイト，日本健康運動研究所，仮想現実で運動する「VRエクササイズ」で運動が楽しくなる運動嫌いの人も気分を高められる，2022.10.19.
8. Webサイト，日本くすり教育研究所，仮想現実で運動する「VRエクササイズ」で運動が楽しくなる運動嫌いの人も気分を高められる，2022.11.9.

### 3) 社会活動への参加協力

1. 第34回全国高等学校選抜ボート大会実行委員会，審判・記録，運営委員，浜松市天竜ボート場，2023.3.18-3.21.

### 4) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益社団法人全国大学体育連合関東支部（運営委員）

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022，若手研究，運動による認知疲労の発生機序：キヌレニン代謝仮説の検証，研究代表者
2. 2022，基盤研究（B），脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出，研究分担者

### 9 学内委員会活動 運動機能医科学研究所（研究員），学術委員会（委員），利益相反マネジメント委員会（委員），知的財産委員会（委員），動物実験委員会（委員）

## 氏名：杵淵 洋美

- 1 研究題目 資格枠組みに関する研究（比較・国際教育学）介護福祉分野における教育プログラム開発，介護

## 分野における人材還流のあり方研究

### 2 論文

1. 柁渕洋美, 脇野哲郎, 佐藤裕紀. 「総合的な学習の時間の指導法」の充実に向けて—「総合的な学習の時間」学習実態調査から—. 新潟医療福祉大学 教職支援センター年報. 2022; 6: 1-14.
2. 佐藤裕紀, 柁渕洋美, 吉田重和, 脇野哲郎. 総合的な学習の時間の指導で教員が抱える困難性, 課題に関する研究—X市の小学校教諭, 中学校教諭へのインタビューの分析から—. 新潟医療福祉大学 教職支援センター年報. 2022; 6: 15-25.
3. 吉田重和, 柁渕洋美, 渡辺優奈, 高田大輔. 教職支援センター運営委員会の総括. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022; 6: 69-70.
4. 柁渕洋美. 高齢者の理解と関わり方に関する授業・活動の実態と課題—小・中学校教員対象全国調査から—. 関東教育学会紀要. 2022; 49: 37-48. (査読あり)

### 3 学会等研究発表

1. 柁渕洋美. インドネシアにおける介護職養成の動向—ケアギバー養成カリキュラムをてがかりとして—. アジア教育学会・アジア教育学会第34回研究例会(オンライン), 2023.3.4.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本比較教育学会, 関東教育学会, 日本カリキュラム学会, 日本職業教育学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, アジア教育学会, 日本老年社会科学会, 日本ホリスティック教育/ケア学会, 新潟医療福祉学会

### 5 社会活動

#### 1) 社会活動への参加協力

1. 北区「ひと・まち」づくり推進事業, ボランティア活動運営, 新潟市北区, 2022.4.1-2023.3.31.

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用, 研究代表者
2. FY2021-2022, Economic Research Institute for ASEAN and East Asia, "Resilient Long-term Care for the Elderly under COVID-19 Pandemic", 研究分担者

#### 2) 学内部活動の実績

1. 強化卓球部, 第69回春季北信越学生卓球選手権大会, 男子団体1部3位/女子団体3位, 新潟県, 2022.5.6-5.8. (部長)
2. 強化卓球部, 第88回全日本大学総合卓球選手権大会出場, 男子個人シングルス, 滋賀県, 2022.10.20-10.23. (部長)

### 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(養成部会部会長), 社会連携推進センター運営委員会(委員)

## 氏名: 熊崎 昌

### 1 研究題目 スポーツ関連脳振盪の発生状況や機能評価に関する研究

### 2 著書

1. 熊崎昌(分担執筆). アスレティックトレーナー専門科目テキスト第2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防. 第1版. 東京: 文光堂; 2022年: 142-145.
2. 熊崎昌(分担執筆). アスレティックトレーナー専門科目テキスト第5巻 救急対応. 第1版. 東京: 文光堂; 2022年: 82-89.

### 3 学会等研究発表

1. 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 江玉睦明, 菊元孝則, 平林怜, 大森豪. 大学運動部活動を対象とした脳振盪ベースライン測定取り組み. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会(北海道), 2022.11.11-11.13.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会 (編集委員)
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本アスレティックトレーニング学会, 査読
  2. 日本アスレティックトレーニング学会, 編集委員, 2022年度

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 部活動指導者に知ってもらいたいアタマの怪我とその対応, 講師, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育・部活動指導者, 新潟県新潟市, 2022.7.29.
2. 第3回日本スポーツ外傷・障害予防研究会, アスリートのアタマを守る, 講師, 一般社団法人日本スポーツ外傷・障害予防協会, アスレティックトレーナーおよび医療従事者, 新潟県新潟市, 2022.12.18.
3. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 「見る」「応援する」スポーツの楽しみ方, 講師, 新潟県立生涯学習推進センター, 北区住民, 新潟市北区, 2022.10.27.

##### 2) 社会活動への参加協力

1. 日本ラグビーフットボール協会, 第3回TIDユースキャンプ, トレーナー, 大阪府堺市J-Green堺, 2022.9.9-9.11.
2. 北信越ラグビー専門部, ラグビーU17北信越ブロックトライアウト帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2022.6.24-6.26.
3. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17コベルコカップ北信越代表チーム帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2022.7.28-7.31.
4. 新潟工業高校ラグビー部, 北信越大会における大会帯同, トレーナー, 長野県菅平高原, 2022.6.17-6.19.

##### 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会 (幹事)

#### 6 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費若手研究, 衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発 (研究代表者)

#### 7 学内委員会活動 国際交流委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

#### 氏名: 小林 志郎

##### 1 研究題目 陸上競技投擲種目のトレーニング, 指導法

##### 2 学会活動

- 1) 所属学会 陸上競技研究, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会

##### 3 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度新潟県競技水準向上対策事業国体強化事業による強化練習会 投擲選手のトレーニング実践 講師 公益財団法人新潟県スポーツ協会 新潟陸上競技協会強化指定選手, 参加する中学校, 高校指導者 新潟医療福祉大学陸上競技場 2022.12.11.
2. 令和4年度日本陸上競技連盟U19強化研修合宿 (北信越地区) 参加選手への指導 円盤投担当コーチ 富山県総合運動公園陸上競技場 2022.12.25-12.28.



#### 4 その他の教育研究活動

##### 1) 学内部活動の実績

1. 陸上競技部 天皇賜杯第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子やり投 優勝 京都・たけびしスタジアム 2022.9.9-9.11. (監督)
2. 陸上競技部 天皇賜杯第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子円盤投 4位 京都・たけびしスタジアム 2022.9.9-9.11. (監督)

##### 5 学内委員会活動 就職センター運営委員会, AD推進委員会 (スカウト部会部会長)

#### 氏名：佐藤 裕紀

##### 1 研究題目 デンマークの生涯学習政策に関する研究 (比較・国際教育学), 社会的包摂と社会教育, 生涯学習に関する研究 (生涯学習), 地域づくりにおける子どもと若者の参画に関する研究

##### 2 著書

1. 佐藤裕紀; 矢野拓洋, 松浦早希, 松永佳世, 真庭伸吾, 一般社団法人IFAS編著. フォルケホイスコーレのすすめ: デンマークの大人の学校に学ぶ: 東京: 花伝社; 2022: 54-60.
2. 佐藤裕紀; 異文化間教育学会編. 異文化間教育事典: 東京: 明石書店; 2022: 245-246.
3. 佐藤裕紀; 坂口緑, 佐藤裕紀, 原田亜紀子, 原義彦, 和気尚美著. デンマーク式 生涯学習社会の仕組み: 北海道; 2022: 85-147, 299-309.

##### 3 論文

1. 佐藤裕紀, 杵渕洋美, 吉田重和, 脇野哲郎. 総合的な学習の時間の指導で教員が抱える困難性, 課題に関する研究—X市の小学校教諭, 中学校教諭へのインタビューの分析から—. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報, 2022; 6: 15-25.
2. 杵渕洋美, 脇野哲郎, 佐藤裕紀. 総合的な学習の時間の指導法の充実に向けて: 『総合的な学習の時間』学習実態調査から. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報, 2022; 6: 1-14.
3. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 全国学力テストを廃止し新テストに デンマーク. 教育新聞. 2022. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20220806/>)
4. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 レゴ社と市が協働する子ども中心の街づくり. 教育新聞. 2022. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20220917/>)
5. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 デンマークの学校給食論争 背後に貧困問題. 教育新聞. 2022. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20221112/>)
6. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 苦しむ初任者教員を救え! デンマーク. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20230204/>)
7. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 北欧で広がる民主主義のお祭り. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20230318/>)

##### 4 報告書

1. 長島啓記, 鴨川明子, 佐藤裕紀, 谷口利律, 日暮トモ子, 古阪肇, 吉田重和. 基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国政比較研究, 研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者.

##### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本生涯教育学会 (常任理事), 日本ヒューマンライブラリー学会 (理事), 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 日本教育政策学会, 日本学習社会学会, アジア比較教育学会, 異文化間教育学会, 新潟医療福祉学会

##### 2) 学術集会の主催

1. 日本生涯教育学会, 第43回大会, 大会運営副委員長, 東京, 2022.11.26-11.27.

##### 3) 学会等でのその他の活動

1. 日本生涯教育学会総務委員
2. 北欧教育研究会事務局

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度基礎研修会，地域づくりにおける社会教育の果たすべき役割：若者・マイノリティの社会教育への参加・参画が鍵を握る，講師，新潟県立生涯学習推進センター，社会教育・生涯学習関係職員，新潟市，2022.4.28.
2. 16周年特別授業，今わたしたちが考えたい6つのこと 第1回，コメンテーター，特定非営利活動法人シブヤ大学，一般市民，オンライン，2022.10.22.
3. 令和4年度新潟市公民館全職員研修会，地域づくりにおける公民館が果たすべき役割，講師，新潟市中央公民館，新潟市公民館全職員，新潟市，2022.11.11.
4. 令和4年度新潟市公民館全職員研修会，地域づくりにおける公民館が果たすべき役割，講師，新潟市中央公民館，新潟市公民館全職員，新潟市，2022.11.15.
5. 第22回新潟県社会教育研究大会三条大会 第61回中越地区社会教育研究集会三条大会，総評，新潟県社会教育委員連絡協議会，社会教育委員，一般市民，三条市，2022.11.16.
6. 16周年特別授業，今わたしたちが考えたい6つのこと 第2回，コメンテーター，特定非営利活動法人シブヤ大学，一般市民，オンライン，2022.11.18.
7. 16周年特別授業，今わたしたちが考えたい6つのこと 第3回，コメンテーター，特定非営利活動法人シブヤ大学，一般市民，オンライン，2022.12.19.

### 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市社会教育委員会（副議長）

### 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県生涯学習協会未来創造委員会（委員），ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風（スーパーバイザー）

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研費若手研究，デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究（B），初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究，研究分担者
3. 2021年度，科研費基盤研究（B），北欧諸国における教科書の中の多様性（ダイバーシティ）の実相に関する研究，研究分担者

### 2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学，特別活動の指導法，2022.10.6-12.1.
2. 新潟県立吉田病院付属看護専門学校，教育学，2022.9.2-9.9.

### 8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（委員），入試委員会（委員），シティズンシップ教育実践研究センター（研究員）

## 氏名：下門 洋文

### 1 研究題目 水中環境におけるヒトの動作解析とそれによって起きる泳者周りの流れの可視化，大学生の体力に関する疫学研究，運動中のヒトが抱く身体感覚

### 2 論文

1. Kobayashi Yamakawa K, Shimojo H, Takagi H, Sengoku Y. Changes in Kinematics and Muscle Activity With Increasing Velocity During Underwater Undulatory Swimming. *Frontiers in Sports and Active Living (JCR)*. 2022; 4. doi: 10.3389/fspor.2022.829618（査読あり）

### 3 報告書

1. 高木英樹，角川隆明，中島求，仙石泰雄，下門洋文．基盤研究（B），水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明，2021年度実施報告書，2020.4-2024.3，研究分担者

2. 市川浩, 下門洋文, 下山好充. 基盤研究 (C), クロール泳の上肢ストロークと下肢キックの相乗効果, 2022年度実施報告書, 2022.4-2025.3, 研究分担者

#### 4 学会等研究発表

1. 中園優作, 下門洋文, 高木英樹, 仙石泰雄, 角川隆明. PIV法を用いた水中ドルフィンキックの泳動作と水の流れ場の解析. 2022年慧ひろば (バイオメカニクス研究会) (滋賀), 2022.6.18.
2. 山城昌一郎, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. キックスタートパフォーマンスと足関節等尺性筋力との関係. 2022年日本水泳・水中運動学会年次大会 (東京), 2022.10.8-10.9.
3. 千葉海勝, 久光哲也, 吉澤大河, 遠山宜志, 星川慎吾, 下門洋文, 下山好充. 男子大学競泳選手の水の中泳ぎキック中の足部流体力の特徴. 2022年日本水泳・水中運動学会年次大会 (東京), 2022.10.8-10.9.
4. 星川慎吾, 遠山宜志, 吉澤大河, 久光哲也, 千葉海勝, 山城昌一郎, 下門洋文, 下山好充. リレー種目において台上動作でレースタイムは短縮可能か? 2022年日本水泳・水中運動学会年次大会 (東京), 2022.10.8-10.9.
5. 須崎友馬, 山城昌一郎, 下山好充, 下門洋文. フィン使用前後における身体感覚と泳パフォーマンスの変化. 2022年日本水泳・水中運動学会年次大会 (東京), 2022.10.8-10.9.
6. 吉澤大河, 下門洋文. やり投げを対象とした屋外でのモーションキャプチャシステムの設置法の検討. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2022.10.29.
7. 遠山宜志, 市川浩, 下門洋文. 陸上スタート動作分析における姿勢推定AI“OpenPose”の実用性. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.
8. Nakazono Y, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H, Tsunokawa T. Analysis of three-dimensional water flow using the PIV method to clarify the relationship between kinematics and water flow in undulatory underwater swimming. ARIHHP Human High Performance Forum (つくば市), 2022.2.19.
9. Shimojo H, Nakazono Y, Koga D, Tsunokawa T, Sengoku Y, Takagi H. The distribution of pressure pattern around foot and wake flow fields during kick swimming. ARIHHP Human High Performance Forum (つくば市), 2023.2.19.

#### 5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会 (総務), 日本運動疫学会, European College of Sport Science, 可視化情報学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本水泳・水中運動学会, 2022年度日本水泳・水中運動学会年次大会, 学会事務局, 2022.10.8-10.9.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2022.7.1.
  2. 2022年度日本水泳・水中運動学会総会, 運営委員会, 東京都国立市, 2022.10.8-10.9.
  3. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2023.2.23.
  4. Journal of Sports Sciences 査読委員
  5. International Journal of Environmental Research and Public Health 査読委員
  6. Frontiers in Sports and Active Living 査読委員
  7. Sports Medicine 査読委員

#### 6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 健康運動実践指導者実技試験審査員, 長野市, 専門高校生, 2022.11.29.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 Vol18. スイマーの身体感覚と注意, 2023.4.

- 3) 社会活動への参加協力
  1. アクシーひがし・科学サポート, 水泳動作分析のフィードバック, 統括, 新潟市東区, 2022.11.16.
  2. アクシーひがし・科学サポート, 水泳動作分析のフィードバック, 統括, 新潟市東区, 2022.11.24.
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 科学研究費 基盤研究 (B), 水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明, 研究分担者
    2. 2022年度, 科学研究費 基盤研究 (C), クロール泳の上肢ストロークと下肢キックの相乗効果, 研究分担者
  - 2) 学内部活動の実績
    1. 水泳部, 科学サポートスタッフ
- 8 学内委員会活動 教務委員会, 大学院教務委員

**氏名：奈良 梨央**

- 1 研究題目 背泳ぎスタートに関する研究
- 2 論文
  1. Ikeda Y, Nara R, Baba Y, Yamashiro S, Hisamitsu T, Shimoyama Y. Relationship between dry-land upper-limb power and underwater stroke power using medicine ball overhead slam as a predictor of swimming speed by upper limbs only. Scientific Journal of Sport and Performance (SJSP). 2022; 1(3): 146-161. (review)
- 3 報告書
  1. 奈良梨央. 若手研究, 背泳ぎスタートパフォーマンス向上のためのフィードバックシステムの構築, 研究成果報告書, 2020-2022. 研究代表者
- 4 学会等研究発表
  1. 池田祐介, 奈良梨央, 馬場康博, 久光哲也, 山城昌一郎, 下山好充. 水平および鉛直方向の跳躍動作における下肢キネティクスと台上スタート動作の関係. 日本水泳・水中運動学会(東京都), 2022.10.8-10.9.
  2. 奈良梨央. コーチと紐解く女性アスリートのコンディショニング. 「女性スポーツフォーラム2023～女性アスリートのWell-being～」オンライン, 2023.2.4. パネリスト
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会, NPO法人ジュース
- 6 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 世界短水路日本代表合宿, 日本代表コーチ, 日本水泳連盟, 2022.12.5-12.12.
    2. 世界短水路日本代表遠征, 日本代表コーチ, 日本水泳連盟, 2022.12.13-12.18.
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. 日本テレビ, 新潟一番, 水沼尚輝の世界水泳に向けてのインタビュー, 2022.6.27.
    2. 雑誌, Sports Japan (日本スポーツ協会), 学び続けるコーチ –私の成長計画– 自分がめざすべき「共助コーチング」が明確になった講習会, 2022.9-10.
    3. 新聞, 新潟日報おとなプラス (新潟日報), 新潟から世界の頂点へ, 2022.11.19.
    4. 一般雑誌, スイミングライフ (株式会社インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つ「スポーツ科学」～科学を学んで速く泳げるようになろう!～「背泳ぎスタートに関する研究の紹介」. 2022.4.5.
    5. 2.一般雑誌, スイミングライフ (株式会社インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つ「スポーツ科学」～科学を学んで速く泳げるようになろう!～「けのびパフォーマンスに関する研究の

紹介」. 2023.3.5.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟・競泳ナショナルチーム, 世界水泳 (25m) 日本代表合宿, コーチ, 国立スポーツ科学センター, 2022.12.5-12.12.
2. 日本水泳連盟・競泳ナショナルチーム, 世界水泳 (25m) 日本代表遠征, コーチ, メルボルン, 2022.12.13-12.18.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科学研究費 若手研究, 背泳ぎスタートパフォーマンス向上のためのフィードバックシステムの構築, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

水泳コーチ 4 (2022.10.1)

3) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100m バタフライ優勝, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
2. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m バタフライ 5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
3. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100m バタフライ 5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
4. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m バタフライ優勝, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
5. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m 自由形 3位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
6. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m 背泳ぎ 4位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
7. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m バタフライ 5位, 神奈川県, 2022.4.28-5.1. (コーチ)
8. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m 背泳ぎ 2位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
9. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m バタフライ 2位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
10. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m 自由形 4位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
11. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m 自由形 5位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
12. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4 × 100m フリーリレー 5位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
13. 水泳部, 第98回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4 × 100m メドレーリレー 7位, 東京都, 2022.8.28-8.31. (コーチ)
14. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
15. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m バタフライ 優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
16. 水泳部, 第64回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m 背泳ぎ 2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)

17. 水泳部, 第64回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
  18. 水泳部, 第64回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
  19. 水泳部, 第64回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ優勝, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
  20. 水泳部, 第64回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2022.10.22-10.23. (コーチ)
  21. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 女子100m平泳ぎ3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  22. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 男子50mバタフライ3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  23. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 女子50mバタフライ2位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  24. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 男子50mバタフライ6位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  25. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 男子50m自由形4位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  26. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 男子100mバタフライ優勝, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  27. 水泳部, ジャパンオープン2022(50m), 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2022.12.1-12.4. (コーチ)
  28. 水泳部, 世界選手権(25m), 女子4×50mメドレーリレー7位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
  29. 水泳部, 世界選手権(25m), 女子100m平泳ぎ7位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
  30. 水泳部, 世界選手権(25m), 男子4×50mフリーリレー4位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
  31. 水泳部, 世界選手権(25m), 4×50mミックスフリーリレー5位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
  32. 水泳部, 世界選手権(25m), 4×50mミックスメドレーリレー6位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
  33. 水泳部, 世界選手権(25m), 男子4×50mメドレーリレー4位, メルボルン, 2022.12.13-12.18. (日本代表コーチ)
- 8 学内委員会活動 教務委員会, 同窓会ピアサポーター

**氏名：馬場 康博**

- 1 研究題目 慣性センサを利用したオープンウォータースイミング評価法の開発に関する研究(コーチング学)
- 2 論文
  1. Yamashiro K, Ikarashi K, Makibuchi Y, Anazawa S, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities. Scientific Reports. 2023.2. 13: 3014. (review)
  2. Ikeda Y, Nara R, Baba Y, Yamashiro S, Hisamitsu T, Shimoyama Y. Relationship between dry-land upper-limb power and underwater stroke power using medicine ball overhead slam as a predictor of swimming speed by upper limbs only Scientific Journal of Sport and Performance. 2022.7. 3(1): 146-161. (review)
  3. 原怜来, 馬場康博, 上野広治, 鈴木典. オープンウォータースイミング選手の生理学的特性について. ス

ポーツ科学研究, 2023.3. (査読有り)

### 3 学会等研究発表

1. 池田祐介, 奈良梨央, 馬場康博, 久光哲也, 山城昌一郎, 下山好充. 水平および鉛直方向の跳躍動作における下肢キネティクスと台上スタート動作の関係, 日本水泳・水中運動学会, 東京, 2022.10.8.
2. 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. ウェットスーツ着用がオープンウォータースイミングのトレーニング中の体温動態に及ぼす影響～ウェットスーツを用いたトレーニングの安全性検証～, 日本水泳・水中運動学会, 東京, 2022.10.8.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 European College of Sport Science, Sports Medicine Australia, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本コーチング学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会

### 5 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県水泳連盟, 常務理事会, 理事会・評議委員会, 理事, 長岡市, 計6回. 2022.4-2023.3.
2. コーチ養成講習会, OWSバイオメカニクス・各種目の力学, 日本水泳連盟, オープンウォータースイミングコーチ, オンライン, 2022.10.

#### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 オープンウォータースイミング (OWS) をはじめよう, 2022.3.5.
2. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 競技的なオープンウォータースイミング, 2023.1.5.
3. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 競技的なオープンウォータースイミング, 2023.1.6.

#### 3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 東御市, 2022.1.16-1.24.
2. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング, 2021年度新潟県水泳連盟OWS委員会, 委員長, Web開催, 2022.2.21.

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 世界ジュニア選手権 日本代表 1名 男子10km 本山空 (9位), セーシェル諸島 2022.9.17. (コーチ)
2. 水泳部, FINA マラソンスイミングワールドシリーズ エイラート大会 日本代表 1名, 男子10km 本山空 (44位), エイラート, 2022.11. (コーチ)
3. 水泳部, 第98回日本選手権水泳競技大会 競泳 (50m), 男子1500m自由形 本山空 (7位) 2022.4.29. (コーチ)
4. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2022, 男子10km 本山空 (6位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
5. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2022, 男子10km 綿貫慶吾 (8位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
6. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2022, 女子10km 永尾美友 (8位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
7. 水泳部, OWS カレッジカップ2022, 男子10km 本山空 (2位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
8. 水泳部, OWS カレッジカップ2022, 男子10km 綿貫慶吾 (4位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
9. 水泳部, OWS カレッジカップ2022, 女子10km 永尾美友 (3位), 館山, 2022.6.12. (コーチ)
10. 水泳部, 第98回日本学生選手権水泳競技大会 競泳, 男子1500m自由形 本山空 (2位) 2022.8.31. (コーチ)
11. 水泳部, 第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技, 男子10km 本山空 (3位), 館山, 2022.10.15. (コーチ)

12. 水泳部, 第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技, 女子10km 永尾美友 (8位), 館山, 2022.10.15. (コーチ)
  13. 水泳部, 第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技, 男子5km 本山空 (3位), 館山, 2022.10.16. (コーチ)
  14. 水泳部, 第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技, 女子5km 永尾美友 (4位), 館山, 2022.10.16. (コーチ)
- 7 学内委員会活動 入試委員会, アスレティックスポーツデパートメント推進委員会 修学・生活支援部会 (部長)

**氏名：濱野 礼奈**

- 1 研究題目 バレーボールの指導法に関する研究 (コーチング学)
- 2 論文
  1. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual cycle Changes joint laxity in females -differences between eumenorrhea and oligomenorrhea-. Journal of Clinical Medicine. J. Clin. Med. 2022; 11(11), : 3222. (査読あり)
  2. 皆川璃子, 波塚飛鳥, 濱野礼奈, 富山順子, 木下直彦, 瀧口徹, 石上和男. 新潟県内における COVID-19 オミクロン株流行時 (第6波) の感染者の集団発生状況. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23(2): (査読あり) (印刷中)
- 3 学会等研究発表
  1. 埜晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 大島めぐみ, 伊藤篤司, 小林真理奈, 濱野礼奈, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏の検討. 第22回新潟医療福祉学会 (オンライン開催), 2022.10.29.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本バレーボール学会, 日本コーチング学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本体育学会, 日本運動生理学会, 日本靴医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. ヤングクラブチーム (チームK) バレーボール指導, 2019- (継続)
    2. 長岡商業高校バレーボール指導, 2019- (継続)
    3. JOC新潟県選抜バレーボール指導, 2014- (継続)
    4. 第15回新潟医療福祉大学バレーボール教室, バレーボール指導, 新潟医療福祉大学女子バレーボール部, 小学生104人, 新潟医療福祉大学, 2022.10.2.
    5. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室 (指導者対象講習会), 講師, ジュニア指導者, 新潟医療福祉大学, 2022.11.5.
    6. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室, バレーボール指導, 小学生, 新潟医療福祉大学, 2022.11.5.
    7. 佐渡バレーボール教室, バレーボール指導, 新潟医療福祉大学, 中学生64人小学生42人, 新潟医療福祉大学, 2023.1.14, 1.15.
    8. 第16回新潟医療福祉大学バレーボール教室, バレーボール指導, 新潟医療福祉大学女子バレーボール部, 小学生167人, 新潟医療福祉大学, 2023.2.23.
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. 新聞, スポーツニッポン, 医福大黒鳥&本山Vリーグ入り, 2022.11.19.
    2. 新聞, 新潟日報, 黒鳥と本山Vリーグへ, 2022.11.22.
    3. 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医福大創部初8強が目標, 2022.11.24.



4. 新聞, スポーツニッポン, 医福大速攻で8強, 2022.11.29.
  5. 新聞, 新潟日報, バレー女子インカレ新潟医福大きょう初戦 戦力充実初の8強へ, 2022.11.29.
  6. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大女子バレー部小学生対象に教室, 2023.1.17.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 第43回北信越国民体育大会, バレーボール競技成年女子新潟県監督, 金沢市, コロナ感染によりチーム辞退, 2022.8.20, 8.21.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県バレーボール協会(常任理事), 北信越大学バレーボール連盟(副会長), 信越大学バレーボール連盟(理事長), 新潟県大学バレーボール連盟(理事長)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 学内部活動の実績
1. 女子バレーボール部, 第53回春季北信越大学バレーボール選手権大会, 優勝, 福井県, 2022.5.19-5.22. (監督)
  2. 女子バレーボール部, 第70回秋季北信越大学バレーボール選手権大会, 優勝, 富山県, 2022.10.29-10.30. (監督)
  3. 女子バレーボール部, 第69回全日本バレーボール大学女子選手権大会(全日本インカレ), 出場, 東京都, 2022.11.29-12.1. (監督)
  4. 女子バレーボール部, 令和4年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンド, 出場, 東京都, 2022.12.8-12.9. (監督)
  5. ルートインプリリアントアリーズ・大野石油広島オイラーズ(Vリーグ)入団
- 7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会

**氏名: 藤本 知臣**

- 1 研究題目 寒冷環境下での体温調節反応とその調節メカニズムに関する研究, オープンウォータースイミング競技の安全性およびパフォーマンス向上のための生理学的研究, 暑熱環境下における体温上昇時のヒトのパフォーマンスに関する研究
- 2 著書
  1. 越中敬一(編) - 藤本知臣(第7, 8, 9章著), 運動生理学, 第1版, 日本, 株式会社みらい, 2023年, p111-157.
- 3 論文
  1. Cao Y, Fujii N, Fujimoto T, Lai YF, Ogawa T, Hiroyama T, Enomoto Y, Nishiyasu T. CO<sub>2</sub>-Enriched Air Inhalation Modulates the Ventilatory and Metabolic Responses of Endurance Runners During Incremental Running in Hypobaric Hypoxia. High Alt Med Biol. 23(2): 125-134, 2022. doi: 10.1089/ham.2021.0114. (査読あり)
  2. Ochi G, Kuwamizu R, Fujimoto T, Ikarashi K, Yamashiro K, Sato D. The Effects of Acute Virtual Reality Exergaming on Mood and Executive Function: Exploratory Crossover Trial. JMIR Serious Games. 10(3): e38200, 2022. doi: 10.2196/38200. (査読あり)
  3. Dobashi K, Ichinose M, Fujii N, Fujimoto T, Nishiyasu T. Effects of Pre-Exercise Voluntary Hyperventilation on Metabolic and Cardiovascular Responses During and After Intense Exercise. Res Q Exerc Sport. 1-12, 2022 doi: 10.1080/02701367.2022.2121371. Online ahead of print. (査読あり)
  4. Aoki M, Yamazaki Y, Otsuka J, Okamoto Y, Takada S, Shirai N, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K, Sato D, Amano T. Influence of Heat Exposure on Motor Control Performance and Learning as Well as Physiological Responses to Visuomotor Accuracy Tracking Task. Int J Environ Res Public Health. 19(19): 12328, 2022 doi: 10.3390/ijerph191912328. (査読あり)
  5. Le Cong D, Sato D, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K. Effect of whole-hand water flow

stimulation on the neural balance between excitation and inhibition in the primary somatosensory cortex. *Front Hum Neurosci.* 16: 962936, 2022. doi: 10.3389/fnhum.2022.962936. (査読あり)

6. Ikarashi K, Sato D, Ochi G, Fujimoto T, Yamashiro K. Action Postponing and Restraint Varies among Sensory Modalities. *Brain Sci.* 12(11): 1530, 2022 doi: 10.3390/brainsci12111530. (査読あり)
7. Fujimoto T, Dobashi K, Fujii N, Matsutake R, Nishiyasu T. Hypocapnia attenuates local skin thermal perception to innocuous warm and cool stimuli in normothermic resting humans. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol.* 324(1): R120-R127, 2023 doi: 10.1152/ajpregu.00126.2022. (査読あり)
8. Yamashiro K, Ikarashi K, Makibuchi T, Anazawa S, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities. *Sci Rep.* 13(1): 3014. doi: 10.1038/s41598-023-30261-3. (査読あり)

#### 4 報告書

1. 藤本知臣. 科研費 若手研究, 研究成果報告書, 2020-2022年度, 研究代表者

#### 5 学会等研究発表

1. Fujimoto T, Kataoka T, Kenny GP, Lloyd AB, Arnold JT, Bailey SJ, Amano T, Watanabe K, Nishiyasu T, Fujii N. TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans. International Conference on Environmental Ergonomics (Niagara falls, Canada), 2022.9.6-9.10.
2. Fujimoto T, Miura A, Kita J, Matsushita M, Maeda T, Kameya T, Saito M, Wakabayashi H. Relationship between human brown adipose tissue activity and thermogenesis induced by menthol skin application. International Conference on Environmental Ergonomics (Niagara falls, Canada), 2022.9.6-9.10.
3. 藤本知臣, 山代幸哉, 穴澤沙也可, 卷渕泰輝, 五十嵐小雪, 越智元太, 佐藤大輔. 皮膚へのメントール塗布が温度刺激時の感覚処理に及ぼす影響. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
4. 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. ウェットスーツ着用がオープンウォータースイミングのトレーニング中の体温動体に及ぼす影響～ウェットスーツを用いたトレーニングの安全性検証～. 日本水泳・水中運動学会2022年次大会, 2022.10.8-10.9.

#### 6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本スポーツパフォーマンス学会, 米国生理学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本水泳水中運動学会, 総務, 2022.10.9-現在に至る
  2. 日本水泳水中運動学会, 学会運営委員会, 2023.2.20-現在に至る

#### 7 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 一般雑誌, スイミングライフ5月号 (インターナショナルスイミングスクール), 「選手・コーチに役立つスポーツ科学」～科学を学んで速く泳げるようになろう!～ テーマ: 水泳における生理学とトレーニング現場での応用法, 2022.5.
  2. 一般雑誌, スイミングマガジン1月号 (ベースボール・マガジン社), 「学んで生かす運動生理学」, 「運動生理学かんたんQ&A」, 2022.12.
  3. 一般雑誌, スイミングマガジン2月号 (ベースボール・マガジン社), 「学んで生かす運動生理学」, テーマ: 運動に必要なエネルギーの作り方① 無酸素性エネルギー代謝と乳酸, 2023.1.
  4. 一般雑誌, スイミングマガジン3月号 (ベースボール・マガジン社), 「学んで生かす運動生理学」, テーマ: 運動に必要なエネルギーの作り方② 有酸素性エネルギー代謝と持久力, 2023.2.
  5. 一般雑誌, スイミングマガジン4月号 (ベースボール・マガジン社), 「学んで生かす運動生理学」, テー

マ：トレーニングの種類とその目的① 持久的トレーニングと高強度インターバルトレーニング，2023.3.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会，OWS日本代表科学サポート，生理データ測定およびフィードバック，千葉県館山市，2022.6.11-6.12.
2. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会，OWS世界ジュニア選手権日本代表科学サポート，生理データ測定およびフィードバック，セーシエル・セーシエル，2022.9.16-9.18.
3. 株式会社ウェザーニューズ，「自転車競技者の低体温症の発症リスクを可視化 アスリート向け気象ウェブサービス「MiCATA」で「低体温リスク」を提供開始 コース上の低体温リスクを4段階で予測，低体温症に備える2種類の補償サービスも」Webページ監修 (<https://jp.weathernews.com/news/42193/>)，2022.10.24-12.21.
4. 株式会社ウェザーニューズ，「「MiCATA」低体温症の対策 低体温症にならないための対策編」Webページ監修 (<https://spoten-staging.n2jk-apps.com/hypothermia/measures?locale=ja>)，2022.10.24-12.21.
5. 日本水泳連盟，オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議メンバー，2022.11.7-現在に至る
6. 日本水泳連盟，第20回世界水泳選手権大会に向けた研修事業，講師，Zoom開催，2023.3.3.

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020-2022年度，科学研究費 若手研究，低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明－皮膚温度受容器の役割に着目して，研究代表者
2. 2022年度，筑波大学 ARIHHP 共同利用・共同研究公募事業，寒冷負荷時の末梢血管収縮に対する温度感受性TRPチャネルの役割の解明，研究代表者
3. 2022年度，公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団 課題学術研究，オープンウォータースイマーの皮膚温度感覚特性とウェットスーツ普及のための基礎的研究，研究代表者
4. 2022年度，公益財団法人 カシオ科学振興財団 基本テーマ，寒冷誘発性血管収縮の新規メカニズム解明－塩素イオンチャネルTMEM16Aに着目して－，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

日本水泳水中運動学会2022年次大会（2022.10.8-10.9），奨励賞

9 学内委員会活動 広報委員会，運動機能医科学研究所（所員・広報担当），学内奨励金審査委員

**氏名：松浦 由生子**

1 研究題目 アスリートの外傷・障害予防に関する研究，スイマーズショルダーの発生メカニズムに関する研究

2 論文

1. Matsuura Y, Matsunaga N, Akuzawa H, Kojima T, Oshikawa T, Iizuka S, Okuno K, Kaneoka K: 2022.9, 「Difference in muscle synergies of the butterfly technique with and without swimmer's shoulder」, Scientific Reports, 2022; 12, Article number: 14546; p.1-9, (査読あり)
2. 松浦由生子, 金岡恒治. 胸郭と体幹・上肢のシナジー. 臨床スポーツ医学. 2022; 39(10): 1030頁-1034頁
3. 金岡恒治, 松浦由生子, 松永直人, 押川智貴: 医工連携と腰痛 アスリートの腰痛と筋協調性の関連－モーターコントロールエクササイズの開発・普及に向けて. 2022; 脊椎脊髄ジャーナル. 35(5), 333頁-341頁

3 学会等研究発表

1. 松浦由生子. 「水泳競技における Injury prevention」. 第9回スポーツ理学療法学会学術大会（東京・日本），2022.12.10. 【シンポジウム】

2. 松浦由生子. 「トップアスリート育成に関するIPW」. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (オンライン), 2022.11.13. 【シンポジウム】
3. 松浦由生子. 「水泳におけるスポーツ障害予防」. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道・日本), 2022.11.13. 【シンポジウム】
4. 松浦由生子, 松永直人, 阿久澤弘, 大森豪, 金岡恒治. エリート競泳選手のクロール泳時の筋シナジー解析 スイマーズショルダーの有無による違い有無による違い. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道・日本), 2022.11.12.
5. Matsuura Y. 「Swimmer's shoulder」. XIVth Symposium for Biomechanics & Medicine in Swimming (オンライン・ドイツ), 2022.9.22. 【シンポジウム】
6. 松浦由生子, 松永直人, 阿久澤弘, 小島毅, 奥野景介, 金岡恒治. エリート競泳選手のクロール泳と背泳ぎ泳の筋シナジー～スイマーズショルダーの有無による比較～. 日本水泳・水中運動学会2022年次大会 (東京・日本), 2022.10.9.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本理学療法士協会, 日本スポーツ理学療法学会 (研究推進委員会 委員), 日本水泳・水中運動学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 新潟県体育学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本理学療法学会 日本スポーツ理学療法学会 研究支援セミナーの企画, 2022.4-2023.3.
  2. 日本スポーツ理学療法学会 第1回臨床研究支援セミナー, 座長, 2023.2.19.

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 2022年度水泳コーチ4 必修研修会, メディカルコンディショニング, 講師, 日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会, 水泳コーチ, オンデマンド, 2022.10.1-11.30.
2. 新潟県教育庁保健体育課 地域スポーツ指導者の研修コンテンツ スポーツ医科学 体の仕組みと動き, 講師, 地域スポーツ指導者, オンデマンド 2022.10.6.
3. 村上市地域スポーツ指導者講習会, スポーツ医学Ⅰ 体の仕組みと動き, 講師, 村上市スポーツ協会, 村上市, 2022.11.1.
4. 新潟県教育庁保健体育課 地域スポーツ指導者の研修コンテンツ スポーツ医科学 スポーツ活動中に多い怪我と予防, 講師, 地域スポーツ指導者, オンデマンド 2022.9.26.
5. 日本スポーツ協会/日本水泳連盟 公認水泳コーチ4 競泳 必修研修会, 日本水泳連盟, トレーナーの知識, 講師, オンライン, 2022.11.27.
6. 日本水泳連盟 下部組織 日本水泳トレーナー会議 基礎講習会, 水泳選手におけるテーピング, 講師, 日本水泳トレーナー会議, 日本水泳トレーナー会議会員, オンデマンド, 2023.2.1-2.14.
7. 燕市地域スポーツ指導者講習会, スポーツ医学Ⅰ 体の仕組みと動き, 講師, 燕市スポーツ協会, 燕市, 2023.3.18.

##### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 読売新聞「世界水泳100バタ・水沼選手「銀の次は金」」医福大で報告会, 2022.7.16.
2. 新聞, 読売新聞オンライン「世界水泳100バタ・水沼選手「銀の次は金」」医福大で報告会, 2022.7.20.
3. 新聞, にいがた経済新聞「メダルを獲れたことはゴールではない」, 2022.7.15.
4. 新聞, 新潟日報電子版 水沼「次のメダル意欲」, 2020.7.16.
5. 新聞, 新潟日報「世界水泳100バタ「銀」」, 2020.7.16.
6. 雑誌, Komachi web, 「メダルを獲れたことはゴールではない」新潟医療福祉大学の水沼尚輝選手が世界水泳選手権を報告, 2020.7.15.
7. UX新潟テレビ21, にいがたチャンネル, 2020.7.15.

### 3) 社会活動への参加協力

1. ワールドユニバーシティーゲームズ競泳日本代表強化合宿, メディカルチェック, 東京都北区, 2022.4.1-4.2.
2. 世界水泳日本代表強化合宿, メディカルチェック, 東京都北区, 2022.5.1-5.2.
3. 富山県水泳連盟強化合宿, トレーニング指導, 富山市, 2022.5.3.
4. 世界水泳ハンガリー強化合宿, 日本代表トレーナー, ホードメゼーヴァーシャーレハイ, 2022.6.7-6.16.
5. 19th FINA World Championships, トレーナー, ブダペスト, 2022.6.17-6.30.
6. 国民体育大会, 富山県代表トレーナー, 宇都宮市, 2022.9.16-9.19.
7. 中学生ジュニアナショナル合宿, メディカルチェック, 東京都北区, 2022.10.28-10.30.
8. 日本水泳連盟下部組織日本水泳ドクター・トレーナー会議 水泳メディカルサポートミーティング, 帯同報告, 品川区, 2022.11.6.
9. ジュニアナショナル合宿, コンディショニング指導, オーストラリア, 2023.1.7-1.24.
10. 高校生ジュニアナショナル合宿, メディカルチェック, 東京都北区, 2023.1.28-1.29.

### 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員

日本水泳連盟 医事委員, 日本水泳連盟 科学委員, 日本水泳トレーナー会議（副代表）, 日本水泳連盟 Women's Health Project for Japanese Swimmers 委員

### 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員

日本スポーツ理学療法学会 研究推進委員会 委員

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 若手研究, 研究代表者, 競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明, 研究代表者

#### 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本水泳水中運動学会 研究奨励賞 (2023.10.9)

### 7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, 国家試験資格対策委員会, アスリートサポート研究センター, AD推進機構運営委員会

## 氏名：三瀬 貴生

### 1 研究題目 成長期アスリートの運動器障害に関する研究, トレーナー教育に関する研究

### 2 著書

1. 三瀬貴生; 砂川憲彦 編. 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応：泳動作, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第2巻, 文光堂, 2022, 352-359.
2. 三瀬貴生; 小林寛和 編. 筋・筋膜性腰痛後, 腰椎椎間板ヘルニア後, 腰椎分離症後2：体幹の可動性獲得を目的として, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻, 文光堂, 2022, 144-151.
3. 三瀬貴生; 小林寛和 編. スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング：泳動作, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻, 文光堂, 2022, 292-298.

### 3 論文

1. 三瀬貴生. 体幹における胸郭のバイオメカニクス, 臨床スポーツ医学, 39 (10), 1024-1028, 2022.
2. 三瀬貴生. 泳動作, 臨床スポーツ医学, 40 (2), 172-176, 2023.
3. 鈴木雄太, 奥田鉄人, 三瀬貴生, 國分裕一, 栗木明裕, 高山弘幹, 前田慶明, 浦辺幸夫. ジュニア競泳選手の柔軟性および関節弛緩性の年代による違い, 日本臨床スポーツ医学会誌 (協力学術団体), 31 (1), 122-129, 2023. (査読あり)
4. 松村優輝, 三瀬貴生, 渡辺輝也. バレーボールにおけるアタック動作の習得過程に関する縦断的検討—

12年間の競技経験をもつ1名の女性アタッカーを対象として一、スポーツ運動学研究（協力学術団体）、35、39-58、2022。（査読あり）

#### 4 報告書

1. 三瀬貴生. 若手研究（2020-2022）「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」令和3年度実施状況報告書

#### 5 学会等研究発表

1. 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 毛利早希. 若年競泳選手における身体特性の経時的変化一年間身長増加量の違いによる比較一. 第24回水と健康医学研究会（東京都）, 2022.6.2.
2. 川本光希, 三瀬貴生. 大学サッカー選手における手指関節の運動制限がパフォーマンスに及ぼす影響. 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会（つくば市, オンライン）, 2022.7.
3. 三瀬貴生, 松浦由生子, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 熊崎昌, 江玉睦明, 大森豪. 成長期競泳選手におけるScapular Dyskinesis保有者の特性—身体成熟度による比較—. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術大会（札幌市）, 2022.11.12.
4. 山城昌一郎, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. 成人男性競泳選手における競泳スタート様式の違いがキックスタートパフォーマンスに及ぼす影響. 日本水泳水中運動学会 2022年次大会（東京都）, 2022.10.8.

#### 6 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本柔道整復接骨医学会, 日本体育学会, 日本水泳・水中運動学会（事務局）, 新潟医療福祉学会, 日本陸上競技学会, スポーツ運動学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本アスレティックトレーニング学会, 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会実行委員, 会場担当, つくば市, 2021.11-2022.7.
  2. Asian Society of Kinesiology, the13th Asian Conference on Kinesiology, 学術担当, つくば市, 2022.12.1-2023.9.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 日本アスレティックトレーニング学会誌（協力学術研究団体）, 査読
  2. 日本アスレティックトレーニング学会誌（協力学術研究団体）, 査読
  3. 日本水泳・水中運動学会, 事務局, 会計

#### 7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 2022年度新潟県水泳連盟 更新研修会, 水泳肩になりやすいジュニアスイマーの特徴と見分け方, 講師, 新潟県水泳連盟, 2022.8.21.（開催中止）
- 2) 社会活動への参加協力
  1. 競泳・京都代表チームの国体合宿帯同, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.9.8-9.11.
  2. 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体 競泳・京都代表チームの大会帯同, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.9.15-9.19.
  3. 競泳・京都ジュニア合宿におけるトレーニング指導, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.12.4.
  4. アクシーひがしスイミングスクールにおけるフィットネスチェック, アスレティックトレーナー, 株式会社アクアシガータ, 2022.10.8.
  5. アクシーひがしスイミングスクールにおけるパフォーマンス分析, アスレティックトレーナー, 株式会社アクアシガータ, 2022.11.23.
  6. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習の動画教材作成, アスレティックトレーナー, 日本スポーツ協会, 2023.1-4.

- 7. アクシーひがしスイミングスクール, ドライランドトレーニング指導, 新潟市, 2022.4-2023.3.
- 8. 森ノ宮医療学園校友会, 代議員, 大阪市, 2022.4.1-2023.3.31.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
  - 公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ/水泳競技), 一般社団法人 新潟陸上競技協会 専門部委員会医科学部部員
- 8 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    - 1. 2020年度-2022年度, 科学研究費助成事業 若手研究, 「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」, 三瀬貴生
  - 2) 学外兼務講師等
    - 1. 国際メディカル専門学校 臨床工学技士科, 体育実習, 2022.10.1-2023.1.31.
- 9 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

**氏名：森下 義隆**

- 1 研究題目 優れたスポーツパフォーマンスを生み出す身体・用具の運動メカニズムに関する研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本バイオメカニクス学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本トレーニング科学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会, 新潟県体育学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    - 1. Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読
- 3 社会活動
  - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    - 1. TV, NHK BS1・球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～, ハーフスイングについて解説, 2023.2.26放送
    - 2. TV, NHK BS1・球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～, ハーフスイングについて解説, 2023.3.6再放送
    - 3. TV, NHK BS1・球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～, スタンスについて解説, 2023.2.12再放送
    - 4. TV, NHK BS1・球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～, スタンスについて解説, 2023.2.20再放送
  - 2) 社会活動への参加協力
    - 1. スポーツトレーナー交歓会実行委員会, 野球の打撃指導に関する科学的知見の提供, 講師, オンライン, 2022.12.3.
    - 2. 日本福祉大学, 野球のスポーツ統計について, 講師, 愛知・日本福祉大学, 2022.12.16.
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    - 1. 2020年度, 科研費若手研究, 野球打撃におけるスイング速度と正確性の調整スキルの解明, 研究代表者
    - 2. 2022年度, 科研費基盤研究(C), 子どもの打撃動作の定量化と運動発達を考慮した質的評価テストの開発, 研究代表者
- 5 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 運動機能医科学研究所

**氏名：上田 純平**

- 1 研究題目 児童青年を対象とした心の健康教育の開発・実践, ト라우マに対するメンタルヘルスリテラシーに関する研究, 心理アセスメント尺度に関する研究

## 2 論文

1. 瀧井美緒, 上田純平. ト라우マ体験後の身体症状尺度の信頼性・妥当性に関する検討－身体症状と外傷後ストレス反応の関連－. 岩手県立大学社会福祉学部紀要, 2022; 25: 105-112.

## 3 学会等研究発表

1. 瀧井美緒, 上田純平. COVID-19感染拡大下における子育ての困難感と育児不安の関連. 日本不安症学会第14回学術大会(東京), 2022.5.
2. 上田純平, 瀧井美緒. 青年期のDSRS-Cにおける性差DIF(特異項目機能)の検討. 第19回日本うつ病学会(大分), 2022.7.
3. 瀧井美緒, 植村真美, 丸山美菜, 上田純平. 恋愛に関する対人ストレスイベント尺度(LISES)の作成. 日本認知・行動療法学会第48回大会(宮崎), 2022.10.
4. 丸山美菜, 長門万央, 上田純平, 瀧井美緒. 気晴らしの活動内容, 個人的・対人的気晴らしの違いと, 気晴らし中・気晴らし後の気分変化の関連. 日本認知・行動療法学会第48回大会(宮崎), 2022.10.
5. 長門万央, 丸山美菜, 上田純平, 瀧井美緒. 登校回避感情を持つ中学生の睡眠問題と学校ストレス, コーピングの関連. 日本認知・行動療法学会第48回大会(宮崎), 2022.10.
6. 上田純平, 瀧井美緒. 青年期におけるSNSトラブル経験頻度と抑うつ症状の関連. 日本ストレスマネジメント学会第20回学術大会(福岡), 2022.11.
7. 瀧井美緒, 上田純平. COVID-19感染拡大下における未就学児の保護者の育児不安と援助要請行動に影響を与える要因－岩手県を対象とした調査－. 日本ストレスマネジメント学会第20回学術大会(福岡), 2022.11.

## 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本認知・行動療法学会, 日本認知療法・認知行動療法学会, 日本うつ病学会, 日本不安症学会, 日本トラウマティック・ストレス学会, 日本ストレスマネジメント学会, 新潟県公認心理師会, 新潟医療福祉学会

## 5 社会活動

### 1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県教育庁, 公立学校スクールカウンセラー, 2022.4.1-2023.3.31.
2. にじっこサマーキャンプ, キャンプカウンセラー, 2022.8.5-8.7: 2022.10.15.
3. 柏崎市立鯨波小学校, 保護者講演会, 2022.9.2.
4. 新潟県立三条高等学校, PTA研修会, 2022.9.22.
5. 岩手県立大学, 福祉心理学, 外部講師, 2022.11.25.
6. 岩手県立大学大学院, 臨床心理面接特論Ⅱ, 外部講師, 2023.1.17.

### 6 その他の教育研究活動

#### 1) 学外兼務講師等

1. 関西福祉大学, 青年期の発達心理, 2022.8.22-8.24.
2. 新潟県立吉田看護専門学校, 教育学, 2022.9.13.
3. 開志専門職大学, 心理学概論, 2022.9.28-2023.2.10.

### 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(委員), 人権委員会(委員), 個人情報保護委員会(委員)

## 氏名: 小林 真里奈

- 1 研究題目 バスケットボール競技の競技動作に関する研究, バスケットボール競技のコーチングについての研究

## 2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会

## 3 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等



1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー，スポーツ障害の防止と成長期スポーツ選手のセルフチェック等，講師，新潟市中体連，中学校部活動指導者，新潟市，2022.8.29.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
  1. 新聞，日刊スポーツ，女子新潟医療福祉大学3日開幕全日本大学バスケ，2022.12.1.
  2. 新聞，新潟日報，あすからバスケインカレ，2022.12.2.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 新潟市立松浜中学校，バスケットボール競技の技術指導，講師，新潟市，2022.5.16，7.4，8.1.
  2. 新潟中央ヤクルト販売（株）プレゼンツ小学生ミニバスケットボールクリニック，バスケットボール指導と栄養指導，講師，新潟中央ヤクルト販売（株），新潟医療福祉大学第3体育館，2023.2.23.
  3. 学生たちが運営・指導するバスケットボール教室，学生補助，豊栄バスケットボール協会共催，小・中学生，新潟医療福祉大学第3体育館，毎月2回開催.
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
 

北信越大学バスケットボール連盟（理事），新潟県バスケットボール協会（成年女子監督）
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 学内部活動の実績
    1. 第89回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 1次ラウンド出場，大阪府，2022.9.17-9.18.（監督）
    2. 女子バスケットボール部，第73回全日本大学選手権（インカレ）出場，東京，2022.12.3-12.5.（監督）

**氏名：柴田 篤志**

- 1 研究題目 助走を用いた片脚跳躍における踏切の評価に関する研究・跳躍競技者の競技発達に関する研究
- 2 学会等研究発表
  1. 伊藤信之，柴田篤志，木越清信，杉浦澄美. 女子三段跳における助走速度および各歩の跳躍距離の簡易的な計測法. 日本陸上競技学会第21回大会（東京都），2023.2.22-2.23.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会，日本バイオメカニクス学会，日本陸上競技学会，International Society of Biomechanics in Sports，新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 日本陸上競技連盟科学委員会，第105回日本選手権における科学サポート，協力スタッフ，ヤンマースタジアム長居，2022.6.9-6.12.
    2. 日本陸上競技連盟科学委員会，日本グランプリシリーズAthletics Challenge Cup 2022における科学サポート，協力スタッフ，デンカビックスワンスタジアム，2022.10.1-10.2.
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，科研費基盤研究（C），児童期での助走を用いた片脚跳躍における踏切能力の発達過程の解明，研究代表者

**氏名：下窪 拓也**

報告事項なし

**氏名：高田 大輔**

- 1 研究題目 体育授業における指導スタイルに関する研究，教職志望学生における実践的指導力の育成に関する研究，大学体育における車椅子バスケットボールの教育的効果の検討
- 2 学会等研究発表

1. 高田大輔, 菅原智昭, 針谷美智子. 小学校体育授業における児童の思考を促す学習指導に関する事例的検討. 新潟県体育学会令和4年度大会(新潟市, オンライン), 2022.10.29.
  2. 高田大輔, 三本雄樹. 小学校6年生「マット運動」における運動感覚に焦点をあてた授業研究. 第26回体育授業研究会新潟大会(新潟市, オンライン), 2022.8.18-8.20.
  3. 高田大輔, 井上明人. 体育科の見方・考え方を追究する「ベースボール型ゲーム:セレクトベースボール」. 令和4年度体育授業研究会冬の研修会(東京), 2022.12.24.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 日本教育工学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 体育授業研究会, 第26回体育授業研究会新潟大会, 副実行委員長, 2022.8.18-8.20.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 大学体育スポーツ学研究, 編集委員
    2. 大学体育スポーツ学研究, 査読
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 小学校中堅教諭等資質向上研修 教科指導研修 体育, 運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント, 講師(講義・演習), 福島県教育センター, 小学校教員, 福島市(オンライン), 2022.6.20.
    2. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年におけるゴール型ボール運動の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2022.8.25.
    3. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会, 小中交流レクリエーション活動, 講師(指導), 弥彦村立弥彦中学校, 児童・生徒, 弥彦村, 2022.9.29.
    4. 地域スポーツ活動指導者育成研修会, スポーツ教育指導法 目標・指導計画・内容・評価の立て方, 講師, 新潟県教育庁保健体育課, 地域のスポーツ指導者, 新潟県(オンデマンド), 2022.10.
    5. 令和4年度指導者プログラム実践研修会(スポーツ庁「地域運動部活動推進事業」), スポーツ教育指導法Ⅰ スポーツの種目特性:種目特性と指導(教材・教具づくり)のポイント, 講師(講義・演習), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2022.10.11.
    6. 親子で楽しむ運動教室, 身体発達を促す楽しいボール遊び, 講師(実技指導), 新潟市立桜が丘小学校, 児童・保護者, 新潟市, 2022.10.13.
    7. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年におけるゴール型ボール運動(アルティメット系教材)の授業づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2022.11.18.
    8. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2022, 思考力を促す体育の授業づくりーよく考える児童の育成ー, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2022.12.9.
  - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員(研究サポート)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 科学研究費基盤研究(C), 体育科における子供の問題発見・解決能力, 言語能力を育む指導方法の検討, 研究代表者
    2. 2022年度, 科学研究費基盤研究(C), 個別最適な学びと協働的な学びの一体化による思考力を高める学習モデルの研究, 研究分担者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 国際メディカル専門学校看護学科, 保健体育, 2022.9.1-2023.3.19.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(企画・研究部会部会長), 身体教育研究センター

**氏名：中島 郁子**

- 1 研究題目 アスリートのスポーツカウンセリング事例（臨床スポーツ心理学）、剣道と人間形成（臨床スポーツ心理学）、剣道競技者の風景構成法（臨床心理学）
- 2 学会等研究発表
  1. 中島郁子. グループによる相互描画表現でアプローチしたチームのスポーツカウンセリング過程. 日本臨床心理身体運動学会第24回大会. 佐賀県. 2022.12.3.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本臨床心理身体運動学会（理事・研修委員）, 日本スポーツ心理学会, 日本箱庭療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本武道学会, 日本体育学会, 日本心理学会, 日本スポーツ精神医学会, 身体運動文化学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. グランセナフットボールクラブメンタル講習会, サッカー競技力パフォーマンス向上のためのスポーツ心理学, 講師, グランセナフットボールクラブU13（ジュニアユース）, 新発田市, 2022.8.4.
    2. 庄川中学校剣道部強化事業, 中学生アスリートの心の発達, 講師, 庄川中学校剣道部生徒・監督・保護者, 砺波市, 2022.9.4.
    3. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, スポーツ指導に関する心理学, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2022.11.7.
    4. 胎内市スポーツ協会令和4年度スポーツ指導者・競技者研修会, アスリートを育てる魔法のキーワード, 講師, 胎内市スポーツ協会, スポーツ指導者・競技者, 胎内市, 2023.1.22.
  - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
    1. 新潟県剣道連盟公式HP, 全国教職員剣道大会, 大会結果, 2022.7.12.
    2. 月刊「剣窓」, 全日本剣道連盟発行, 第12回女子剣道指導法講習会, 2022.7.1.
    3. 月刊「剣窓」, 全日本剣道連盟発行, 剣道指導員中級指導者資格の合格, 2022.8.1.
    4. 月刊「剣窓」, 全日本剣道連盟発行, 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の選手一覧, 2022.8.1.
    5. 新潟県剣道連盟公式HP, 全国都道府県対抗剣道優勝大会, 予選結果, 2023.2.26.
    6. 柏崎市スポーツ協会公式HP, 令和4年度指導者講習会のご案内, 2022.8.2.
    7. 柏崎市スポーツ協会公式HP, 令和4年度指導者講習会のご案内（第2段）, 2022.10.12.
    8. 柏崎市スポーツ協会公式HP, 令和4年度指導者講習会の報告, 2022.11.17.
    9. 胎内市スポーツ協会公式HP, 令和4年度指導者・競技者研修会, 2022.12.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 第73回新潟県高等学校総合体育大会, 競技役員（審判員）, 新潟市, 鳥屋野総合体育館, 2022.6.3.
    2. 令和4年度新潟市中学校体育大会, 競技役員（審判員）, 新潟市, 2022.6.20.
    3. 令和4年度北信越学生剣道選手権大会, 大会参与, 富山市, 2022.5.15.
    4. 令和4年度北信越学生剣道優勝大会, 大会参与, 新潟市, 2022.9.18.
    5. 第60回北信越学生剣道新人大会, 大会参与, 福井市, 2022.11.27.
    6. 日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第3者相談・調査委員会, 特別委員会議, 特別委員, 東京都港区, 2022.10.21.
    7. 新潟県臨床心理士会多重債務者相談会, 臨床心理士相談員, 加茂市, 2022.12.7.
    8. 新潟県臨床心理士会多重債務者相談会, 臨床心理士相談員, 聖籠町, 2022.12.18.
    9. 北区剣道大会, 大会役員, 新潟市, 2022.10.9.
    10. 第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会, 新潟県代表選手派遣, 千代田区, 2022.7.10.
    11. 第64回全国教職員剣道大会, 新潟県代表選手派遣, 長野市, 2022.8.11.
  - 4) 職能団体（協会, 士会等）の委員  
日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第3者相談・調査委員会（特別委員）

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本スポーツ協会 剣道コーチ2 (2022.8.19), 全日本剣道連盟公認 社会体育中級指導員 (2022.5.22)

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (コミュニケーション技法) 2022.5.1-9.15.

2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (心理学) 2022.9.22-2023.2.9.

6 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター (相談員)

**氏名 : 針谷 美智子**

1 研究題目 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究, 小学校体育授業における運動技能水準下位児童に関する事例的研究

2 学会等研究発表

1. 針谷美智子, 小学校体育授業における鉄棒運動の逆上がりに関する学習指導方略の検討—小学校中学年の授業実践を通して—, 日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会 (千葉県), 2022.9.2.

3 学会活動

1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会 (若手研究者委員会委員), 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育授業研究会 (編集委員), 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, 第3回日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会セミナー, 実行委員会, 2022.10.1-2023.3.31.

2. 体育授業研究会, 第26回体育授業研究会新潟大会, 実行委員会, 新潟県, 2023.5.29-8.21.

3) 学会等でのその他の活動

1. 体育授業研究会, 第26回体育授業研究会新潟大会一般発表, 座長, 新潟県, 2023.8.21.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県体操協会, 令和4年度体操競技2・3種審判講習会, 講師, 新潟県体操協会女子審判部, 新潟市立白南中学校, 2023.3.12.

2) 社会活動への参加協力

1. 第37回東日本体操競技グループ選手権大会, 審判員, 北海道江別市, 北海道立野幌総合運動公園総合体育館, 4.16-4.17.

2. 体操天皇杯 第76回全日本体操個人総合選手権, 審判員, 東京都渋谷区, 東京体育館, 4.22-4.24.

3. 第61回NHK杯, 審判員, 東京都渋谷区, 東京体育館, 5.14-5.15.

4. 第55回東日本学生体操競技選手権, 審判員, 群馬県高崎市, 高崎アリーナ, 5.19-5.21.

5. 令和4年度東京都体操競技兼第77回国民体育大会体操競技東京都予選会, 審判長, 東京都多摩市, 国士舘大学多摩キャンパス, 5.22.

6. 第76回全日本体操種目別選手権, 審判員, 東京都渋谷区, 東京体育館, 6.18-6.19.

7. 第77回国民体育大会関東ブロック大会, 審判長, 東京都世田谷区, 駒沢オリンピック公園体育館, 7.9-7.10.

8. 令和4年度高等学校総合体育大会 (体操競技), 審判員, 愛知県松山市, 愛媛県総合運動公園体育館, 8.7-8.9.

9. 第53回全国中学校体育大会 (体操競技), 審判員, 宮城県宮城郡, 宮城県総合運動公園総合体育館, 8.15-8.17.

10. 第77回国民体育大会, 審判員, 栃木県宇都宮市, 日環アリーナ栃木, 9.10-9.13.

11. 2022ジュニアナショナル (U-15) トライアウト, 審判員, 福井県鯖江市, 福井県立鯖江高等学校丹波キャンパス, 11.26-11.27.

12. 第2回世界ジュニア体操競技選手権大会日本代表決定競技会, 審判員, 福井県鯖江市, サンドーム福井, 12.8-12.9.
  13. 第76回全日本体操団体選手権, 審判員, 福井県鯖江市, サンドーム福井, 12.10-12.11.
  14. 第77回全日本体操個人総合選手権トライアウト(女子), 審判員, 福井県鯖江市, 立待体育館, 3.18-3.19.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
公益財団法人日本体操協会審判委員会(体操競技女子審判部員), 東京都体操協会(役員)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 若手研究, ICT機器を活用した鉄棒運動の学習指導プログラムの構築: 逆上がりに着目して, 研究代表者
    - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
浅田学術奨励賞(浅教 第13号, 2022.8.31)
    - 3) 学外兼務講師等
      1. 新潟大学教育学部, 小学校体育, 2022.4.12-7.12.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 学生・交通安全委員会

**氏名: 森清 友亮**

- 1 研究題目 変形性膝関節症の進行に伴う3次元アライメント変化に関する研究, 超音波エラストグラフィを用いた軟組織剛性評価に関する研究, 超音波画像を用いた軟骨3次元形状モデル構築に関する研究, CBCTを用いた歯列評価および顎運動に関する研究
- 2 論文
  1. 渡邊博史, 田中正栄, 西野勝敏, 森隆裕, 古賀寛, 望月友晴, 坂上勇太, 森清友亮, 高根沢佑斗, 坂本信, 田邊裕治, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症におけるX線進行度評価の経年的角度変化についての検討-松代膝検診の縦断的疫学調査-. 臨床バイオメカニクス(協力学術団体). 2022; 43: 239-245. (査読あり)
  2. 高根沢佑斗, 森清友亮, 坂上勇太, 森隆裕, 古賀良生, 望月友晴, 古賀寛, 坂本信, 小林公一, 田邊裕治, 佐々木朋裕. 膝前後X線像による皮質骨幅測定の精度検証. 臨床バイオメカニクス(協力学術団体). 2022; 43: 253-257. (査読あり)
  3. 石井義人, 坂本信, 坂上勇太, 亀田剛, 森清友亮, 小林公一, 坂井幸子, 遠藤英昭, 平元和彦. コーンビームCTを用いた上下顎歯の三次元歯軸角度の特徴. 臨床バイオメカニクス(協力学術団体). 2022; 43: 339-344. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. 太田航介, 坂本信, 森清友亮, 小林公一, 高根沢佑斗, 佐々木朋裕, 平元和彦. 超音波エラストグラフィによる棘上筋腱の剛性測定. M&M2022材料力学カンファレンス(弘前市), 2022.9.26-9.28.
  2. 菅原拓也, 坂本信, 森清友亮, 小林公一, 高根沢佑斗, 佐々木朋裕, 平元和彦. 超音波エラストグラフィを用いた肘尺側副韌帯前斜走線維束の生体内剛性評価. M&M2022材料力学カンファレンス(弘前市), 2022.9.26-9.28.
  3. 渡邊博史, 田中正栄, 森隆裕, 森清友亮, 大森豪, 遠藤和男, 望月友晴, 古賀寛, 古賀良生. 変形性膝関節症X線進行度定量評価の経時的関連についての検討. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
  4. 田中正栄, 森隆裕, 渡邊博史, 坂上勇太, 森清友亮, 西野勝敏, 遠藤和男, 古賀寛, 望月友晴, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症X線進行度定量評価の大腿脛骨間位置変化(回旋と外方化指標)の検討. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
  5. 森隆裕, 田中正栄, 渡邊博史, 坂上勇太, 森清友亮, 坂本信, 田邊裕治, 望月友晴, 古賀良生. 変形性膝

関節症のX線進行度評価における大腿骨-脛骨間側方移動指標と測定精度の検証. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.

6. 森清友亮, 大森豪, 高根沢佑斗, 坂上勇太, 田邊裕治, 坂本信, 望月友晴, 古賀寛, 古賀良生. 変形性膝関節症立位膝X線定量評価としての関節面開き角と脛骨外方化指標の精度検証. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
7. 坂上勇太, 森清友亮, 高根沢佑斗, 田邊裕治, 坂本信, 小林公一, 谷藤理, 望月友晴, 古賀良生. 三次元下肢アライメントと皮質骨幅変化の三次元評価法開発. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
8. 高根沢佑斗, 坂上勇太, 森清友亮, 田邊裕治, 坂本信, 小林公一, 谷藤理, 望月友晴, 古賀良生, 佐々木朋裕. 膝関節症進行にともなう三次元下肢アライメントと皮質骨幅変化との関連. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
9. 小林公一, 坂本信, 森清友亮, 田邊裕治, 佐藤卓, 渡邊聡, 望月友晴, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. OA膝におけるアライメントと力学負荷の解析. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.
10. 石井義人, 坂本信, 亀田剛, 坂上勇太, 森清友亮, 小林公一, 坂井幸子, 遠藤英昭, 平本和彦. CBCTを用いた上下顎間の歯列形態. 第49回日本臨床バイオメカニクス学会(弘前市), 2022.11.4-11.5.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本機械学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本実験力学学会, 日本生体医工学会

#### 5 社会活動

##### 1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県アーチェリー協会, 理事, 競技副部長, 競技会運営, 審判, 普及活動等, 新潟県, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 新潟市アーチェリー協会, 理事長, 競技会運営, 審判, 普及活動等, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.

#### 氏名: 山本 悦史

- 1 研究題目 経済価値と社会価値の同時実現に向けたプロスポーツクラブ経営に関する研究(スポーツ経営学), ソーシャルガバナンスの形成過程におけるスポーツ組織の役割に関する研究(スポーツ社会学)

#### 2 著書

1. 山本悦史. スポーツの近現代 その診断と批判. 初版. 京都: ナカニシヤ出版; 2023: 423-445.

#### 3 論文

1. 山本悦史, 本間崇教, 中西純司. プロスポーツ成熟市場におけるスポーツ観戦者の特性把握: アルビレックス新潟の事例を手掛かりとして. スポーツ産業学研究(協力学術研究団体). 2022; 32(3): 315-332 (査読あり).
2. 本間崇教, 山本悦史. 国内野球独立リーグの観戦者に関する調査研究: 新潟アルビレックスBCを事例として. 松本大学研究紀要. 2022; 21: 107-113.

#### 4 学会等研究発表

1. 山本悦史. 経済価値と社会価値の同時実現を可能にするプロスポーツ・マネジメント手法の検討 ~Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相を手掛かりとして~. 日本体育・スポーツ経営学会・若手研究者による研究報告会 (online), 2022.12.12.
2. 山本悦史. Jリーグクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の同時追求. 日本経営診断学会・2023年度第2回関東東北部会(東京), 2023.2.18.
3. 山本悦史. スポーツ・ビジネスのマネジメントと診断-倫理マネジメント問題を踏まえて-. 日本経営診断学会・2023年度第2回関東東北部会(東京), 2023.2.18. 【シンポジウム】

#### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ経営学会（理事），日本体育・スポーツ・健康学会，日本スポーツ産業学会，日本スポーツマネジメント学会，日本経営診断学会，組織学会，新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本体育・スポーツ経営学会，査読
  2. 日本スポーツ産業学会，査読
  3. 日本体育・スポーツ経営学会第46回大会，一般発表，座長，東京，2023.3.19.
- 6 社会活動
  - 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. Web, SPORTS BUSINESS ONLINE, プロスポーツ成熟市場におけるスポーツ観戦者の特性把握：アルビレックス新潟の事例を手掛かりとして，2022.8.1.
    2. 新聞，北海道新聞，組織統治問われる実効性「専任代理店方式」排除せず，2023.2.11.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟アルビレックスBC，観戦者調査，調査員，HARDOFF ECO スタジアム新潟，2022.9.4.
- 7 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，科研費基盤研究（C），プロスポーツにおけるCSV経営の普及に向けた包括的研究，研究代表者
  - 2) 受賞，学位取得，資格取得
 

全能連マネジメント・アワード2022 アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー（2023.1.27）
- 8 学内委員会活動 就職センター運営委員会，アスレティックデパートメント推進委員会（ブランド力向上部会），シティズンシップ教育実践研究センター

**氏名：若井 由梨**

- 1 研究題目 イメージや動きの言語化を促すダンス指導の在り方，ダンスコーチング
- 2 社会活動
  - 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. 新聞掲載，新潟日報，拉致問題を取り上げた創作ダンスコンクール作品について，2022.8.12.
    2. 新聞掲載，スポーツニッポン新聞，ダンス部の活動について，2023.2.8.
    3. 新聞掲載，新潟日報，4年ぶりのダンス部公演開催について，2023.3.17.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. （公社）日本女子体育連盟・全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸），参加発表部門における作品コメンテーター，神戸市・神戸文化ホール，2022.8.10-8.13.
    2. 新潟県女子体育連盟・研修会，企画運営，新潟市・健康医科学センター，2023.2.
  - 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
 

新潟県女子体育連盟（理事長兼事務局）
- 3 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，科研費若手研究，「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導プログラムの考案，研究代表者
  - 2) 学内部活動の実績
    1. ダンス部，第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）大学創作コンクール部門，入選，神戸市，2022.8.10-8.13，監督
    2. ダンス部，Artistic Movement in TOYAMA（全国大学創作ダンスコンクール），北日本新聞社賞，高岡市，2022.9.17-9.19，監督
    3. ダンス部，第41回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール，群舞部門，入賞1位（総合3位），秋

田市, 2022.12.10-12.11, 監督

3) 学外兼務講師等

1. 豊岡短期大学通信教育部 (非常勤), 子どもとリズム表現, 2022.12-2023.3.
2. 国際調理製菓専門学校 (非常勤), トレーニング実技, 2022.4-2023.2.

**氏名 : 山城 昌一朗**

1 研究題目 競泳スタートに関する研究

2 著書

1. Ikeda Y, Nara R, Baba Y, Yamashiro S, Hisamitsu T, Shimoyama Y. Relationship between dry-land upper-limb power and underwater stroke power using medicine ball overhead slam as a predictor of swimming speed by upper limbs only. *Spain: Scientific Journal of Sport and Performance*; 2022: 146-161.

3 学会等研究発表

1. 山城昌一朗, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. キックスタートパフォーマンスと足関節等尺性筋力との関係. 日本水泳水中運動学会 (東京都), 2022.10.8-10.9.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第98回日本学生選手権水泳競技大会, 女子総合8位, 東京都・東京辰巳国際水泳場, 2022.8.28-8.31. (アシスタントコーチ)



## 5) 看護学部

### (1) 看護学科

#### 氏名：宇田 優子

- 1 研究題目 難病患者の災害への備え行動促進に関する要因など災害看護学，地域包括ケアシステム構築に関する公衆衛生看護及び地域看護活動の課題と検討
- 2 著書
  1. 酒井明子，増野園恵編集 宇田優子分担. 看護学テキスト災害看護 改訂第4版. 東京都：南江堂；2023.2：334.
- 3 論文
  1. 尾崎昌宣，長友孝文，石田和子，酒井禎子，宇田優子. 医療領域における次世代型「臨床薬理学教育」への提案 疾患から薬物を選択肢学習する. 応用薬理. 2022；102（5-6）：75-80.（査読有）
  2. 河原宣子，立垣祐子，太田晴美，宇田優子，窪田直美，酒井彰久. 日本災害看護学会ネットワーク活動委員会報告 - 第8期（令和元年9月-令和3年6月）における活動-. 日本災害看護学会誌. 2022；23（3）：77-83.
  3. 岡本菜穂子，宇田優子，錦戸典子，神崎由紀，山口智美，鈴木大地，三橋祐子，和田直子. 南関東，北関東，甲信越ブロック活動報告. 保健師教育. 2022；6（1）：64.
  4. 播本雅津子，大西真由美，宇田優子，大谷喜美江，齋藤公彦，関美雪. 保健師国家試験に関する諸問題に関する検討. 2022；6（1）：55-56.
- 4 報告書
  1. 宇田優子，稲垣千文，木下直彦，石塚敏子，桶谷涼子，土田千歳. 日本学術振興会科学研究助成事業-外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発-. 研究実施状況報告書. 2022；1-5.（代表）
- 5 学会等研究発表
  1. 宇田優子，和田直子. 保健師基礎教育課程における地域診断の教育方法に関する文献検討 2012年1月～2021年12月発表分. 新潟医療福祉学会（新潟・WEB），2022.10.29.
  2. 石塚敏子，宇田優子，稲垣千文，木下直彦. 災害の自己チェックシート作成のための基礎調査. 日本災害看護学会（高知・WEB），2022.9.3.
- 6 学会活動
  - 1) 所属学会 日本災害看護学会（代議員），日本難病看護学会（代議員，編集委員会委員兼任），日本公衆衛生学会（認定専門家），日本地域看護学会，日本公衆衛生看護学会，日本看護科学学会，新潟医療福祉学会，世界災害看護学会（理事）
  - 2) 学術集会の主催
    1. 第28回日本難病看護学会大会長（2023.9.30-10.1.開催に向けた企画運営・準備）
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 第27回日本難病看護学会学術集会，座長，東京（WEB），2022.8.20.
    2. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会，座長，新潟市，2022.11.13.
- 7 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 令和4年度保健師専門研修V，講師，新潟県福祉保健部，新潟県内行政保健師，新潟市・新潟県庁，2022.8.18，2023.3.1.
    2. 全国保健師教育機関協議会総会，運営兼議長，全国保健師教育機関協議会，会員校，WEB会議，2022.6.4.
    3. 全国保健師教育機関協議会北関東，甲信越ブロック会議，主催者，全国保健師教育機関協議会甲信越ブロック理事，会員校，WEB会議，2023.1.24.
    4. 北区妊娠・子育てほっとステーション情報交換会，ファシリテーター，新潟市北区役所，北区関係者，2022.10.31，11.30.

2) 社会活動への参加協力

1. 全国パーキンソン病友の会新潟県支部運動会，支援者，新潟市・ふれ愛プラザ，2023.3.26.
2. 新潟県大学災害支援連携協議会，2022年村上地域豪雨災害支援，救護・避難者支援活動，関川村役場，2022.8.6.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市医療計画三分野合同会議委員，新潟県国民保護協議会委員

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

全国保健師教育機関協議会の社員（理事・国家試験委員会委員・推薦委員），日本私立看護系大学協議会の正会員，日本看護系大学協議会正会員（災害連携教員），新潟県大学災害支援連携協議会メンバー，新潟県看護系大学等実習連絡協議会メンバー，全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員，日本ALS協会新潟県支部会員

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020-2023年度，基盤C，外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象－，研究代表者
2. 2022-2024年度，基盤C，子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ支援方策の開発－子育てと仕事の両立実現のために，分担者

9 学内委員会活動 総務会

**氏名：天賀谷 隆**

報告事項なし

**氏名：石綿 啓子**

1 研究題目 看護技術に関する研究，訪問看護師に関する研究

2 学会等研究発表

1. 石綿啓子，鈴木明美. 訪問看護師の継続教育に関する研究の動向と課題，日本看護学教育学会第32回学術集会（神戸），2022.8.6-8.7.
2. 石綿啓子，鈴木明美. CURRENT STATUS AND ISSUES OF RESEARCH ON THE DIFFICULTIES OF JAPANESE VISITING NURSES 日本人訪問看護師の困難に関する研究の現状と課題，7th international Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (TAIWAN)，2022.10.20-10.21.
3. 鈴木明美，石綿啓子. Literature review of factors affecting exercise habit building and continuation 運動習慣構築と継続に影響をおよぼす要因に関する文献検討，7th international Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (TAIWAN)，2022.10.20-10.21.
4. 大沼沙穂，石綿啓子，土田千歳. 重症心身障がい児の介護者を対象としたレスパイトケアの支援内容に関する文献検討，第22回新潟医療福祉学会・学術集会（新潟），2022.10.29.
5. 加藤沙弥，石綿啓子，土田千歳. 乳がん患者の就労への心理過程に関する文献検討，第22回新潟医療福祉学会・学術集会（新潟），2022.10.29.
6. 田代麻衣，石綿啓子，土田千歳. ダウン症児の母が持つ不安と求めている支援に関する研究，第22回新潟医療福祉学会・学術集会（新潟），2022.10.29.
7. 星綾乃，石綿啓子，土田千歳. 高齢者を対象とした身体拘束に伴う苦痛を最小限にする看護介入の検討，第22回新潟医療福祉学会・学術集会（新潟），2022.10.29.
8. 八幡成美，石綿啓子，土田千歳. 認知症高齢者の退院に向けた支援に関する研究，第22回新潟医療福祉学会・学術集会（新潟），2022.10.29.
9. 石綿啓子，鈴木明美. 訪問看護師の職務継続に関する研究の動向と課題，第42回日本看護科学学会学術

集会（広島，オンライン），2022.12.3-12.4.

10. 石綿啓子，鈴木明美. Examination of methods for first-year nursing students to understand people with disabilities 看護大学1年生が障害者を理解する方法の検討，EAFONS2022 :26th EAST ASISN FORUM of NURSING SCHOLARSPhilippines（東京），2023.3.10-3.11.

11. 鈴木明美，石綿啓子. Students' reaction to "cancer experience" in palliative care class, 緩和ケア授業における「がんの罹患体験」による大切なものの認知，EAFONS2022: 26th EAST ASISN FORUM of NURSING SCHOLARSPhilippines（東京），2023.3.10-3.11.

### 3 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 三重県立総合医療センター看護職員30名を対象に「倫理的配慮を意識した看護記録をしよう」の研修講師，2021.10.9.
2. 日本診療放射線技師会基礎研修「看護学」講師，2022.4-2026.3.
3. 新潟県看護教員養成講習会「看護教育方法論③－臨地実習における指導方法－」講師，2022.6-8.
4. 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程 院生2名の副指導教員 2022.4-2023.3.

#### 4 その他の教育研究活動

##### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度 新潟医療福祉大学研究奨励金スタート支援研究費，プラチナナースを訪問看護ステーション就業につなぐシステムの構築. 研究代表者石綿啓子，分担者宇田優子，佐々木沙織

**氏名：小山 千加代**

報告事項なし

**氏名：下山 博子**

1 研究題目 看護職のワーク・エンゲイジメントに関する研究，セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスケアに関する研究

#### 2 学会等研究発表

1. 菊地真由，真保加奈子，下山博子. 看護系大学生の月経前随伴症状と大学生生活のQOLおよび睡眠時間との関連. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン），2022.10.29.

#### 3 学会活動

1) 所属学会 日本助産学会，日本母性衛生学会，日本母性看護学会，日本看護科学学会，日本看護学教育学会，日本家族看護学会，日本健康教育学会，日本小児保健協会，新潟医療福祉学会

##### 2) 学術集会の主催

1. 日本保健医療福祉連携教育学会，第15回学術集会，実行委員・座長，オンライン，2022.11.13.

#### 4 社会活動

##### 1) 社会活動への参加協力

1. 公益社団法人新潟県看護協会，WLB推進事業研修会，実行委員，新潟市・新潟看護研修センター，2022.8.19.
2. 新潟県医療勤務環境改善センター，医療従事者のWLB推進ワークショップ，看護協会アドバイザー，長岡市・長岡中央総合病院，2022.9.30.
3. 新潟市北区健康福祉課，北区妊娠・子育てほっとステーション情報交換会，アドバイザー，新潟市・北区文化会館，2022.10.31.
4. 新潟市北区健康福祉課，北区妊娠・子育てほっとステーション事例検討会，アドバイザー，新潟市・北区文化会館，2022.11.30.
5. 公益社団法人新潟県看護協会，WLB推進事業研修会，実行委員，新潟市・新潟看護研修センター，2022.12.1.

6. 新潟県医療勤務環境改善センター，医療従事者のWLB推進成果発表ワークショップ，看護協会アドバイザー，新潟市・新潟県医師会館，2023.2.28.
- 2) 職能団体（協会，士会等）の委員  
公益社団法人新潟県看護協会（労働環境改善推進委員）
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2018年度，科研費基盤研究（C），助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発，研究代表者
    2. 2022年度，科研費基盤研究（C），高齢がんサバイバーがより安全に安心して生活するためのリソース・モデルの開発，研究分担者
  - 2) 学外兼務講師等
    1. 国際メディカル専門学校看護学科，母性看護学，2022.4.1-9.30.
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会（委員長），入試委員会

**氏名：杉本 洋**

- 1 研究題目 当事者活動，地域保健，メンタルヘルスの社会学
- 2 論文
  1. 杉本洋，紅林佑介. 広がりをもせる病気イベントを通じた無力からの生成—豊かな「健康」観の構築に向けた検討. *メンタルヘルスの社会学*. 2022；28：17-22.（査読あり）
  2. 和田直子，小林房代，佐々木沙織，杉本洋. 子育てと仕事の両立における課題—産業看護職への調査を通して新たに見えてくるもの. *日本ウーマンズヘルス学会誌*. 2023；21(2)：11-20.（査読あり）
- 3 学会等研究発表
  1. Sugimoto H, Teramoto K. Proposals for Public Health Policy Based on Performance Activities by People with Mental Illness. The 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Tokyo), 2023.3.10-3.11.
  2. Sugimoto H, Igarashi N. Dialogue on Death in Tojisha Communities. The 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Tokyo), 2023.3.10-3.11.
  3. Sugimoto H, Igarashi N. "Mitori" Amid the COVID-19 Pandemic: Cross-Cultural Perspective on Death and Dying Between Japanese and Chinese. *Anthropology of Japan in Japan (AJJ) Annual Meeting 2022 (Kyoto)*, 2022.12.3-12.4.
  4. 杉本洋，和田直子. 地域で活動する専門職の自律性についての考察. 第19回日本ヘルスプロモーション学会合同学術集会第11回日本産業看護学会合同学術大会（北九州市），2022.11.26-11.27.
  5. 杉本洋，五十嵐紀子. 当事者活動における死者とのつながり. 第27回日本臨床死生学会年次大会（東京），2022.9.17-9.18.
  6. 杉本洋，五十嵐紀子. 当事者活動における脆弱性の表現による組織の更新. 第36回保健医療行動科学会（Web開催），2022.6.18-6.19.
  7. 杉本洋. 複数の組織がかかわる当事者活動における弱さからの生成. 日本文化人類学会大第55回研究大会（東京），2022.6.4-6.5.
  8. 五十嵐紀子，杉本洋. 異なる文化背景を持つメンバーとの対話をもたらす連携の学び—コロナ禍での看取りについて考える. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会（新潟市），2022.11.13.
  9. 五十嵐紀子，杉本洋. 当事者活動が脆弱であることの意味. 第13回ヘルスコミュニケーション学会学術集会（広島市），2022.10.3.
  10. 和田直子，小林房代，杉本洋. 未就学児をもつ女性労働者の現状—職場満足感と悩みに着目して. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2022.10.29.
  11. 彭金山，杉本洋. 中国における男性の抑うつ程度とライフイベントとの関連. 第28回日本精神保健社

会学会学術大会（オンライン），2022.10.3.

12. 五十嵐紀子，杉本洋．死者とのつながりを創る対話．日本仏教看護・ビハーラ学会 第18回学術大会（仙台市），2022.6.18-6.19.
13. Wada N, Sugimoto H. Necessary Abilities for Balancing Work and Childcare: Japanese Women's Perceptions. The 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Taipei), 2022.4.3-4.4.
14. 和田直子，杉本洋．どうしたら未就学児を抱えながら仕事をしている女性の職場満足感が高まるのか？第81回日本公衆衛生学会総会（甲府市），2022.10.7-10.9.
15. 和田直子，杉本洋．祖父母同居と核家族の母親では，子育てと仕事を両立する力の認識は違うのか？第32回日本産業衛生学会全国協議会（札幌市），2022.9.29-10.1.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本保健医療行動科学学会，日本精神保健社会学会，共創学会，日本文化人類学会，日本保健医療社会学会，日本健康教育学会，文化看護学会，日本ヘルスプロモーション学会，アートミーツケア学会，日本仏教看護・ビハーラ学会，IUAES，日本臨床死生学会，日本ウーマンズヘルス学会，日本公衆衛生学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本仏教看護・ビハーラ学会，第19回年次大会実行委員，2022.11-2023.6.
  2. 第53回（2022年度）日本看護学会学術集会 抄録選考委員，2022.3-2023.11.
  3. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
  4. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）

#### 5 社会活動

- 1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員  
新潟市介護保険事業等運営委員会（委員）

- 6 学内委員会活動 教務委員会，大学院教育研究環境委員会，シティズンシップ教育実践研究センター

**氏名：松井 由美子**

報告事項なし

**氏名：石塚 敏子**

- 1 研究題目 災害看護，シミュレーショントレーニング，看護学実習，反省的実践，看護技術教育
- 2 報告書
  1. 宇田優子，石塚敏子，木下直彦．外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象 日本学術振興会研究成果報告書，2019-2023，研究分担者
- 3 学会等研究発表
  1. 石塚敏子，宇田優子，木下直彦．災害の備えチェックシート開発のための基礎調査，第24回日本災害看護学会（高知県）2022.8.26-9.22.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本看護教育学会，日本看護研究学会，日本看護技術学会，日本災害看護学会，日本看護シミュレーション学会，日本難病看護学会，日本看護学会，新潟医療福祉学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 日本難病看護学会，第28回日本難病看護学会学術集会，実行委員長，新潟市，2023.9.30-10.1.
- 5 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 新潟県看護系大学等災害支援協議会委員，上越市，2022.9.1，2023.3.2.
    2. 全国パーキンソン病友の会新潟県支部集会，運営補助，新潟市，2022.1.15.
- 6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度、科研費基盤（C）看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病対象、研究分担者

7 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会・初年次教育部会、同窓会・生涯学習連携推進委員会

**氏名：小林 千穂**

報告事項なし

**氏名：山口 典子**

- 1 研究題目 ART（生殖補助医療）における諸問題に関する研究，男女の妊孕性に関する研究，PCC・RLPに関する研究，女性のライフステージ各期における諸問題に対する予防行動に関する研究

2 学会等研究発表

1. 小出陽子，時間大起，大塚瑞稀，佐藤郁美，山口典子，挙児希望のある不妊症夫婦への多職種連携支援，第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（新潟市+オンライン），2022.11.13.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本母性看護学会，日本助産学会，日本生殖医学会，日本女性医学学会，日本看護科学学会，日本母性衛生学会，日本生殖心理学会，日本がん・生殖医療学会，日本不妊カウンセリング学会，日本生殖看護学会，日本メンズヘルス医学会，日本遺伝看護学会，北日本看護学会，新潟母性衛生学会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会，実行委員（査読委員），2022.11.15・2022.7-2023.3.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本助産学会誌，査読委員，2022.4.1-2023.3.31.
2. 日本母性看護学会誌，査読委員，2022.4.1-2023.3.31.
3. 新潟医療福祉学会誌，査読委員，2022.4.1-2023.3.31.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和4年度女性の生き方講座，女性ホルモンから紐解く私の生理とココロとカラダ，改めて知っておきたい！～女性ホルモンについて～，講師，新潟市内居住女性，2022.10.18.
2. 令和4年度女性の生き方講座，女性ホルモンから紐解く私の生理とココロとカラダ，今！知っておきたい～生理にまつわるエトセトラ～，講師，新潟市内居住女性，2022.10.25.
3. 令和4年度看護学生公衆衛生・在宅・母性看護学実習指導者研修会，実習指導の実際（母性看護学・助産学），講師，新潟県保健福祉部主催，新潟県内産婦人科勤務の助産師・看護師，Zoomでのオンライン開催，2022.11.10.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県助産師会（教育委員）・妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会，研修会，zoom，2022.7.23-7.24.
2. 新潟県助産師会（教育委員）・母乳育児支援学習会，研修会，zoom，2022.10.29.
3. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・周産期領域における意思決定支援研修，研修会（CLOCMiP申請更新対応研修），zoom，2022.10.6.
4. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・妊娠出産育児のための地域包括ケアシステム～行政・病院それぞれの現場での取り組みより～，研修会，zoom，2022.12.8.
5. 不妊カウンセラー（日本不妊カウンセリング学会認定）相談活動（2022.4-2023.3）

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県助産師会（教育委員）2022.4-2023.3，新潟県看護協会（助産師職能委員）2022.4-2023.3.

## 5 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，科研費基盤研究（C），男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態（研究代表者）

### 2) 受賞，学位取得，資格取得

理事長賞・日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（2022.11.15），不妊症・不育症サポーター（厚生労働省委託事業日本助産師会）2022.12.4.

### 3) 学内部活動の実績

1. ピアエデュケーション部，2022.4-2023.3.

### 4) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校看護学科，母性看護学概論，2022.4.1-9.30.

## 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会，学術委員会，新潟医療福祉学会誌和文誌編集委員会，新潟医療福祉学会評議員

## 氏名：渡邊 千春

### 1 研究題目 がんサバイバー支援に関する研究，終末期・エンド・オブ・ライフケアに関する研究

### 2 学会等研究発表

1. 渡邊千春，小栗妙子，桶谷涼子，若月亜希子. 看護基礎教育におけるエンド・オブ・ライフケアシミュレーション教育プログラムの実践報告. 第37回日本がん看護学会学術集会（横浜市），2023.2.25-2.26.
2. 桶谷涼子，渡邊千春，神藏貴久，若月亜希子，志田佑佳子. 看護学科・救急救命学科協働によるプレホスピタルケアのイメージ化を目的とした動画作成報告. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（新潟市），2022.11.30.
3. 小栗妙子，桶谷涼子，渡邊千春，コロナ禍におけるハイブリッド型成人急性期看護学（周術期）実習の現状と課題. 第33回日本医学看護学教育学会学術集会（豊橋市），2023.3.11.

### 3 学会活動

#### 1) 所属学会 日本がん看護学会（査読委員），日本看護研究学会，日本医学看護学教育学会，新潟医療福祉学会

#### 2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会，第22回新潟医療福祉学会学術集会，座長，新潟市，2022.10.29.
2. 第37回日本がん看護学会学術集会，査読委員，横浜市，2023.2.25-2.26.

### 4 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. ELNEC-J 新潟県立がんセンター新潟病院，モジュール1 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護，モジュール7 喪失・悲嘆・死別，講師・ファシリテーター，新潟県立がんセンター新潟病院，オンライン，2022.8.27-8.28.

#### 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

令和4年度新潟県看護教員養成講習会運委員

## 5 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科学研究費補助金基盤C，通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力の解明，研究代表者
2. 2022年度，科学研究費補助金基盤C，外来薬物療法をうけるがん患者のニーズに即した電話相談アルゴリズムの開発，研究代表者

### 2) 学外兼務講師等

1. 令和4年度新潟県看護教員養成講習会，看護教育評価演習，2022.11.8-12.15.

## 6 学内委員会活動 教務委員

### 氏名：井澤 玲奈

- 1 研究題目 高齢者看護学に関する研究
- 2 著書
  1. 小山千加代, 菊永淳, 井澤玲奈, 田口めぐみ, 清水詩子, 鈴木健太郎, 宅井さやか, 小山諭, 原沢のぞみ, 坂井志麻, 青木菰子, 平工淳子, 岩佐有華, 千田睦美. [改訂] 老年看護学講義ノート, 編集工房球; 改訂版, 東京, 2022, 50-58, 174-186.
- 3 学会等研究発表
  1. 小林千穂, 清水詩子, 小山千加代, 井澤玲奈, 小山諭, 坂井邦彦. GOLD group Bに該当するCOPD患者の呼吸困難マネジメントと身体活動量の特徴, 第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部学術集会(新潟市), 2022.6.18.
  2. 宅井さやか, 井澤玲奈, 小林千穂, 小山千加代. 高齢者のインスリン療法継続とその人らしく暮らすために必要な多職種連携における支援の課題—文献レビューを通して—, 第27回日本臨床死生学会年次大会(東京都), 2022.9.17-9.18.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本老年看護学会, 日本看護科学学会, 東京女子医科大学看護学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟県看護協会看護学会 発表予定論文指導, 講師, 公益社団法人新潟県看護協会, 看護師, 新潟市, 2022.6.1-8.30.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. とよさか中高年教養大学, 「健康長寿学」講座, 葛塚コミュニティーセンター, 2022.4.28, 5.26, 12.22.
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 社会連携推進センター運営委員会

### 氏名：佐藤 真由美

- 1 研究題目 保育施設における保育者の感染防止スキル支援の検討, 乳幼児を持つ家族の感染予防の認知と実施状況, インドネシアの子どもの感染予防教育プログラム開発～ポストコロナ社会に向けて～, 看護学生の実習活用を目指したルーブリック評価の有用性
- 2 論文
  1. 佐藤真由美, 斎藤瑠華. 看護学生の実習活用を目指したルーブリック評価の有用性 新潟医療福祉学会 2022年; 第22巻第2号: 33-39.
- 3 学会等研究発表
  1. 渡邊亜美, 佐藤真由美. 新型コロナウイルス感染症流行前後のスマホ使用と依存状況 新潟医療福祉学会 2022.10.
  2. 加藤名奈, 佐藤真由美. ヤングケアラーの経験を持つ大学生を対象としたインタビュー調査から考える支援の在り方 新潟医療福祉学会 2022.10.
  3. 佐藤真由美, 荒木恵子, 松井由美子. コロナ禍における小児看護学実習での『子どもと養育する母親との連携による』オンライン双方向によるPBL効果 日本保健医療連携教育学会 2022.11.
  4. 2022年 有岡航, 佐藤有優美, 五十嵐紅春, 佐藤真由美, 荒木恵子, 谷麻美, 松井由美子. 卒後多職種連携に向けた連携総合ゼミでの学び 日本保健医療連携教育学会 2022.11.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本環境感染学会, 看護教育研究学会, 日本看護研究学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療連携教育学会, 新潟小児看護研究会(役員)



2) 学術集会の主催

1. 新潟小児看護研究会, 地域で生活する医療的ケア児と家族の支援を考えよう!, 会計, 新潟市, 10.15, 2022.4-10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟小児看護研究会, 会計, 委員会幹事, 新潟市, 10.15, 2022.4-2023.3.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公開講座, 夢ナビ講座, コロナ禍で揺れる! 正しく感染症対策を行う難しさ, 教育講演, 株式会社 フロムページ, 高校生, WEB掲載, 2022.7.

**氏名：中澤 紀代子**

1 研究題目 母性看護学・助産学に関する研究, 助産師教育に関する研究, シミュレーション教育に関する研究

2 学会等研究発表

1. 中澤紀代子, 高島葉子, 定方美恵子. 助産実践能力習熟段階レベルI助産師が分娩後出血に対する助産実践能力を獲得するプロセス(第1報). 第63回日本母性衛生学会総会・学術集会(神戸市), 2022.9.9-9.10.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本シミュレーション医療教育学会, 日本看護シミュレーションラーニング学会(代議員), 日本遺伝看護学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本看護シミュレーションラーニング学会 代議員
2. 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会 役員

4 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
新潟県看護協会看護学会発表予定論文の指導

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科学研究費助成金事業 基盤C, 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. ICM国際メディカル専門学科 看護学科, 母性看護学概論, 2022.5.17-9.30.

6 学内委員会活動 図書館・学習支援委員, ハラスメント相談員

**氏名：外間 直樹**

1 研究題目 精神障害者のピアサポート活動の現状と課題

2 論文

1. 外間直樹. 障害児を受け入れる一保育所長の認識～日々の保育実践に対する～インタビュー調査より～. 日本健康医学会雑誌. 2022; 31(4): 493-500. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 外間直樹. 一般科入院患者の自殺に遭遇した看護師を支援した一主任看護師の認識とかわり～インタビュー調査より～. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.
2. 外間直樹, 井村紀代子, 天賀谷隆. 入退院を繰り返す統合失調症患者に対する支援～他大学の学生を交えた連携総合ゼミを終えて～. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会, 2022.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本健康医学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本精神衛生学会, 新潟医療福祉学会, 日本精神保健看護学会, 日本看護協会, 日本精神看護協会, 新潟精神看護研究会, 沖縄県精神看護研究会

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学講座テーマ「中高年者のこころの健康」, 2022.

##### 2) 社会活動への参加協力

1. 本学社会連携・地域貢献オンラインセミナー3弾「こころの健康について」, 2022.

##### 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

- 日本精神看護協会, 施設代表. 2022.4.1-2023.3.31.

#### 6 その他の教育研究活動

##### 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 介護教員免許, 2022.

##### 2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校, 精神看護学, 2022.9-2023.3.31.

#### 7 学内委員会活動 人権保護委員会, 個人情報保護委員会, メンタルヘルス委員.

### 氏名: 丸山 幸恵

#### 1 研究題目 保健室における健康支援活動, ストレス軽減への支援, 養護教諭が行う健康教育に関する研究

#### 2 学会等研究発表

1. 丸山幸恵, 笠巻純一. 「養護教諭のコーディネーション行動の属性別検討ー校種, 経験年数, 学校規模に焦点を当ててー」, 第68回日本学校保健学会, 2022.11.4-11.6.

#### 3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会, 日本養護教諭教育学会, 日本教育保健学会

#### 4 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 新採用養護教諭研修, 「養護教諭の職務Ⅱ 保健管理」, 講師, 新潟県教育委員会, 新採用養護教諭, 新潟市, 2022.6.1.

##### 2) 社会活動への参加協力

1. 養護教諭研修「ほけんしつ」, 参加協力, 上越市, 2022.4.1-2023.3.31.
2. ハローアルソン, 活動紹介企画, 新潟市, 2022.10.27.

#### 5 学内委員会活動 入試委員, 教職支援センター

### 氏名: 和田 直子

#### 1 研究題目 子育てと仕事の両立支援に関する研究, 産業看護職の能力に関する研究

#### 2 論文

1. 和田直子, 小林房代, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育てと仕事の両立における課題ー産業看護職への調査を通して新たに見えてくるものー. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 2023; 21(2), 1-10. (査読あり)
2. 和田直子. 研究活動スタート支援, 子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明ー新たな支援モデルの提唱にむけて, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表
3. 宇田優子, 岡本菜穂子, 神崎由紀, 錦戸典子, 山口智美, 鈴木大地, 三橋祐子, 和田直子. 北関東・甲信越・南関東ブロック活動報告, 保健師教育, 2023; 7(1): 63.

#### 3 学会等研究発表

1. Wada N, Sugimoto H. Necessary abilities for balancing work and childcare: Japanese women's perceptions. EAFONS (Taipei), 2022.4.21-4.22.

2. 和田直子, 杉本洋. 祖父母同居と核家族の母親では, 子育てと仕事を両立する力の認識は違うのか?. 第32回日本産業衛生学会全国協議会(札幌市), 2022.9.29-10.1.
  3. 和田直子, 杉本洋. どうしたら未就学児を抱えながら仕事をしている女性の職場満足感が高まるのか?. 第81回日本公衆衛生学会総会(甲府市), 2022.10.7-10.9.
  4. 小出陽子, 佐々木沙織, 和田直子. 新型コロナウイルス感染症の感染予防行動に対する意識に関する研究－テキストマイニングを用いた分析－. 第22回新潟医療福祉学会(新潟市), 2022.10.29.
  5. 田中真緒, 佐々木沙織, 和田直子. 看護学生におけるコロナ禍前後のストレス要因の変化に関する研究. 第22回新潟医療福祉学会(新潟市), 2022.10.29.
  6. 和田直子, 小林房代, 杉本洋. 未就学児をもつ女性労働者の現状－職場満足感と悩みに着眼して－. 第22回新潟医療福祉学会(新潟市), 2022.10.29.
  7. 宇田優子, 和田直子. 保健師基礎教育課程における地域診断の教育方法に関する文献検討－2012年1月～2021年12月発表分－. 第22回新潟医療福祉学会(新潟市), 2022.10.29.
  8. 杉本洋, 和田直子. 地域で活動する専門職の自律性についての考察. 第19回日本ヘルスプロモーション学会(福岡市), 2022.11.26-11.27.
  9. Wada N. The Ability to Balance Work and Child Rearing: A Survey of Female Workers Raising Children in Japan. EAFONS (Tokyo), 2023.3.10-3.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本産業衛生学会, 日本産業衛生学会産業保健看護部会, 日本産業看護学会(研究編集委員), 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 新潟県産業看護部会, 新潟医療福祉学会, 日本ウーマンズヘルス学会, 日本子育て学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 日本産業看護学会 研究編集委員
- 5 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
    1. 新潟産業保健総合支援センター, 労働者の健康支援, 登録保健師, 新潟市, 2022.4-9.
    2. 日本産業看護学, 産業看護体系化ワーキンググループメンバー
  - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 

全国保健師教育機関協議会, 北関東甲信越ブロック会計担当
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟市北区役所, 北区妊娠・子育てほっとステーション情報交換会, 講師, 2022.10-11.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 研究活動スタート支援, 子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明－新たな支援モデルの提唱にむけて, 研究代表
    2. 2022年度, 子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ支援方策の開発－子育てと仕事の両立実現のために, 研究代表
- 7 学内委員会活動 健康管理センター運営委員, 就職支援センター運営委員

**氏名：阿部 文絵**

- 1 研究題目 サブサハラ以南における母子保健, 在留外国人の受診行動
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 国際医療保健学会, 日本渡航医学会

**氏名：荒木 恵子**

- 1 研究題目 小児看護に関する研究, 小児シミュレーション教育に関する研究, 臨地実習に関する研究

## 2 学会等研究発表

1. 有岡航, 佐藤有優美, 五十嵐紅春, 佐藤真由美, 荒木恵子, 谷麻美, 松井由美子. 卒後多職種連携に向けた連携総合ゼミでの学び (理学療法学科 作業療法学科 健康栄養学科学生による検討). 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (新潟市), 2022.11.13.
2. 佐藤真由美, 荒木恵子, 松井由美子. コロナ禍における小児看護学実習での『子どもと養育する母親との連携による』オンライン双方向によるPBL効果. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2022.10.29.

## 3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 看護科学学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会

**氏名：岩野 千尋**

報告事項なし

**氏名：小栗 妙子**

- 1 研究題目 シミュレーション教育, ハイブリット型実習の工夫と課題, 看護基礎教育と卒後教育の繋がり
- 2 論文
  1. 小栗妙子, 佐藤智彦. 異学年交流による終末期看護ロールプレイ演習における学生の学びの分析, 看護教育研究学会誌 (印刷中) (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. 元田貴子, 貝瀬雅弘, 寺田由紀子, 小栗妙子, 草間賢介, 高田恵理, 磨田百合子. 看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える, 第31回日本看護学教育学会, オンライン開催, 2022.8.7.
  2. 宅井さやか, 生方北斗, 小栗妙子, 間宮靖幸. 大学生を対象に事例を通して多職種連携教育を行った学習効果と今後の課題について, 第15回日本保健医療福祉連携学会, オンライン開催, 2022.11.13.
  3. 渡邊千春, 小栗妙子, 桶谷涼子. 看護基礎教育におけるエンド・オブ・ライフケアシミュレーション教育プログラムの実践報告, 第37回日本がん看護学会 (横浜市), 2023.2.25-2.26.
  4. 小栗妙子, 桶谷涼子, 渡邊千春. コロナ禍におけるハイブリット型成人急性期看護学 (周術期) 実習の現状と課題, 第33回日本医学看護学教育学会学術集会 (豊橋市), 2023.3.11.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本看護シミュレーション教育学会, 看護研究教育学会, 日本医学看護教育学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟県看護協会 西支部, 人生の最終段階における意思決定支援研修会, 運営役員, 新潟県看護協会, 看護協会員, 新潟市, 2022.6.14.
    2. 新潟県看護協会 通常集会, 運営役員, 新潟県看護協会, 看護協会員, 新潟市, 2022.6.14.
  - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員  
新潟県看護協会 新潟西支部, 看護師職能 I (幹事), 2022.4.1-6.14.

**氏名：桶谷 涼子**

- 1 研究題目 がん患者の妊孕性温存, 妊娠・子育て支援, 救急看護・クリティカルケア看護領域の看護基礎教育
- 2 論文
  1. 桶谷涼子, 角山裕美子, 藤田勇, 板山稔. 新潟県内の特別養護老人ホームに勤務する介護・看護職のCOVID-19に関連した職務体験とストレスとの関連. 日本災害看護学会誌. 2023; 24 (3): 36-47.

(review) (in press)

### 3 学会等研究発表

1. 桶谷涼子, 渡邊千春, 神藏貴久, 若月亜希子, 志田佑佳子. 看護学科・救急救命学科協働によるプレホスピタルケアのイメージ化を目的とした動画作成報告, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会, 2022.11.
2. 渡邊千春, 小栗妙子, 桶谷涼子, 若月亜希子. 看護基礎教育におけるエンド・オブ・ライフケアコミュニケーション教育プログラムの実践報告, 第37回日本がん看護学会, 2023.2.
3. 小栗妙子, 桶谷涼子, 渡邊千春. コロナ禍におけるハイブリッド型成人急性期看護学(周術期)実習の課題と現状, 第33回日本医学看護学教育学会学術学会, 2023.3.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本がん看護学科(会員), 日本災害看護学会(会員), 日本難病看護学会(会員), 日本看護科学学会(会員), 日本保健医療福祉連携学会(会員), 医療福祉学会(会員)
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本難病看護学会, 第28回学術集会, 学内実行委員・企画委員, 新潟市(新潟医療福祉大学), 2022.6.1-2024.3.31.

### 5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
  1. 2020年, 基盤研究(C), 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象 -, 研究分担者

### 6 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会(委員)

#### 氏名: 後藤 千恵

- 1 研究題目 妊娠糖尿病に関する研究, 周産期における意思決定支援に関する研究
- 2 論文
  1. 有森直子, 堀内成子, 稲葉一人, 後藤千恵, 大賀有佳子. 産科施設における多職種による共有意思決定支援の実際-質的研究-. 聖路加看護学会誌, (2022-01) 25(2),3-9. (査読あり)
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 日本母性看護学会, 聖路加看護学会, 新潟看護ケア学会
- 4 その他教育研究活動
  - 1) 学外兼務講師等 国際メディカル専門学校 母性看護学概論 2022年4月1日から9月30日

#### 氏名: 小林 房代

報告事項なし

#### 氏名: 佐藤 郁美

- 1 研究題目 周産期メンタルヘルス, 父親のうつ, 乳児応急手当
- 2 報告書
  1. 佐藤郁美, 神藏貴久, 谷健太郎. 研究基盤(C) 出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
  1. 廣野悠太, 佐藤郁美, 笠井聡. AIを用いた胎児心拍推定の予備検討. 第22回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2022.10.29.
  2. 井上清夏, 佐藤郁美. 妊娠中の妻を持つ夫に対する効果的な支援の文献検討. 第22回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2022.10.29.
  3. 小出陽子, 時間大起, 大塚瑞稀, 佐藤郁美, 山口典子. 挙児希望のある不妊症夫婦への多職種連携支援. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会(新潟), 2022.11.13.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本助産学会, 日本周産期メンタルヘルス学会, 日本母性衛生学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会

## 5 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 「令和3年厚生労働省告示第273号研修」, 講師, 公益社団法人日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2022.3.5-3.6.

## 6 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 基盤研究C, 出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証, 研究代表者
2. 2022年度, 基盤研究C, Apple Watch用胸骨圧迫フィードバックアプリの開発とその効果の検証, 研究分担者

### 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 理事長賞(2022.10.29), 第22回新潟医療福祉学会学術集会賞(2022.10.29)

### 3) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校, 母性看護学概論, 2022.6.14, 6.21, 6.28, 7.5.

## 7 学内委員会活動 広報委員会(委員), URA推進室(委員)

### 氏名: 宅井 さやか

#### 1 研究題目 病いとともに生きる経験

#### 2 著書

1. 小山千加代(編著), 菊永淳, 井澤玲奈, 田口めぐみ, 清水詩子, 鈴木健太郎, 宅井さやか, 小山諭, 原沢のぞみ, 坂井志麻, 青木菫子, 平工淳子, 岩佐有華, 千田睦美. 改訂老年看護学講義ノート. 改訂版. 東京: 編集工房 球; 2022: 109-116.

#### 3 論文

1. 宅井さやか. インスリン使用高齢2型糖尿病透析患者の病と共に生きる経験. 日本慢性看護学会誌. 2023; (査読あり) (印刷中)

#### 4 学会等研究発表

1. 宅井さやか, 小山千加代, 井澤玲奈, 小林千穂. 第27回日本臨床死生学会年次大会. (東京), 2022.9.17-9.18.
2. 宅井さやか, 生方北斗, 小栗妙子, 間宮靖幸. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会. オンライン, 2022.11.13.
3. 佐藤健, 田中真緒, 中出愛里, 森巨世, 宅井さやか. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会. オンライン, 2022.11.13.

## 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床死生学会, 一般社団法人日本老年看護学会, 日本糖尿病教育看護学会, 日本慢性看護学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会

## 6 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」, 「高齢者の生活習慣病について」, 講師, 対象とよさか市民, 会場葛塚コミュニティセンター12.22, 13:30~15:30

### 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県看護系大学等災害支援連携協議会, 豪雨災害時の看護支援, 被災者の健康状態確認, 新潟県関川村, 8.6.

## 7 その他の教育研究活動

### 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 第15回日本保健医療福祉連携教育学会 理事長賞受賞 2022.12.6.

### 氏名: 諸田 葉子

報告事項なし

**氏名：若月 亜希子**

報告事項なし

**氏名：井村 紀代子**

- 1 研究題目 精神科看護師の倫理的行動に関する研究, 精神障害者の就労支援に関する研究, 精神看護学教育に関する研究
- 2 学会等研究発表
  1. 井村紀代子, 和田由紀子. 精神科看護師の倫理的行動との関連要因. 新潟医療福祉大学学術集会, 2022.
  2. 外間直樹, 天賀谷隆, 井村紀代子. 新潟医療福祉大学連携総合ゼミ報告. 日本保健医療福祉教育学術集会, 2022.11.5.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉教育学会, 日本看護管理学会, 日本看護協会, 日本精神科看護協会, 新潟精神看護研究会 (役員)
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟精神看護研究会, 研修企画「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」, 役員, 新潟市総合福祉会館, 2023.3.4.
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得  
JADP 認定メンタル心理カウンセラー資格 (2022.7.27)

**氏名：佐々木 沙織**

- 1 研究題目 定年前後にある行政保健師の定年後活動とその背景
- 2 論文
  1. 和田直子, 小林房代, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育てと仕事の両立における課題～産業看護職への調査を通して新たに見えてくるもの～. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 2023; 21 (2): 1-10.
- 3 学会等研究発表
  1. 小出陽子, 佐々木沙織, 和田直子. 新型コロナウイルス感染症の感染予防行動に対する意識に関する研究－テキストマイニングを用いた分析－. 第22回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2022.10.29.
  2. 田中真緒, 佐々木沙織, 和田直子. 看護学生におけるコロナ禍前後のストレス要因の変化に関する研究, 第22回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2022.10.29.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本公衆衛生看護学会, 新潟医療福祉学会, 日本ウーマンズヘルス学会
- 5 社会活動
  - 1) 社会活動への参加協力
    1. 新潟県大学災害支援連携協議会, 災害支援 (被災者健康状況調査), 新潟県岩船郡関川村, 2022.8.6.

**氏名：志田 佑佳子**

- 1 研究題目 ウィメンズヘルスに関する研究, 父親の育児に関する研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本ウーマンズヘルス学会

**氏名：真保 加奈子**

- 1 研究題目 20代女性における「いつか望む妊娠をする／しない」ための避妊をふくむ月経セルフマネジメント－ウェブ調査による実態研究－

## 2 学会等研究発表

1. 真保加奈子, 関島香代子 V20代女性における「いつか望む妊娠をする」ための主体的な避妊をふくむ月経セルフマネジメントの実態. 日本母性衛生学術集会発表 (神戸), 2022.
2. 菊地真由, 下山博子, 真保加奈子. 看護系大学生の月経前随伴症状と大学生生活のQOLおよび睡眠時間との関連. 新潟医療福祉学会発表, 2022.

## 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 日本難病看護学会 第28回学術集会, 実行委員, 新潟, 2023.2-10.
- 3) 学会等でのその他の活動
  1. 新潟母性看護学・助産学・遺伝学研究会 第1回研究会, 役員 2023.3-

## 4 その他の教育研究活動

- 1) 学外兼務講師等
  1. 国際メディカル専門学校, 母性看護学概論, 2022.4.1-9.30.

### 氏名：太刀川 有美香

- 1 研究題目 新人助産師に関する研究, 災害看護に関する研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本助産学会 (会員), 日本災害看護学会 (会員), 新潟医療福祉学会 (会員)

### 氏名：土田 千歳

- 1 研究題目 ドミニカ共和国の母子保健とリプロダクティブヘルスについての研究
- 2 学会等研究発表
  1. 土田千歳, 松井由美子, 瀧口徹. ドミニカ共和国農村部の避妊の実態と避妊自己効力感を用いた避妊行動の因子分析. 第37回日本国際保健医療学会学術集会. 2022.11.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本国際保健医療学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第28回日本難病看護学会学術集会, 学術集会実行委員, 会計担当, 新潟市, 2023.9.30・10.1.
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象 -, 研究分担者

### 氏名：花矢 鮎美

- 1 研究題目 認知症高齢者が在宅・施設でよりよい生活を送るための支援について
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 日本老年看護学会 日本臨床死生学会

### 氏名：本間 規晃

報告事項なし



## 6) 社会福祉学部

### (1) 社会福祉学科

氏名：渡邊 敏文

1 研究題目 地域保健福祉における住民参加，介護福祉士養成教育における倫理教育

#### 2 著書

1. 渡邊敏文，丸田秋男，荒川大靖，渡辺恵，原口彩子，渡邊恵司，大屋未輝，國兼明嗣，永井，内山，入倉，平川，小林，小島；新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第8号 にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践（1），新潟：アサヒ印刷クリエイティブ；2021.12.31.
2. 渡邊敏文，星紀恵子．創作リクレーション～利用者主体の視点から～，新潟：株式会社ウィザップ；2023.1.31.

#### 3 論文

1. 渡邊敏文．北区特色ある区づくり事業大学生による家庭介護セミナー事業，令和4年度北区区づくり事業大学生による家庭介護セミナー事業実施報告書，2023.1.4-3.31，研究代表
2. 渡邊敏文，丸田秋男，河野聖夫，佐藤洋，青木茂，渡邊豊，中井良育，渡辺恵．2022年度新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務実績報告書，2022.4-2023.3，研究分担
3. 渡邊敏文，丸田秋男，寺田貴美代，青木茂，中井良育，渡邊恵司，佐久間由紀，大坪美香．2022年度新潟水保病関連情報発信事業報告書（DVD），2022.4-2023.3，研究代表
4. 渡邊敏文．日本地域政策研究第29号 特集 地域政策における地域福祉計画の課題と展望 巻頭言 地域政策と地域福祉計画をめぐる展開，2022.9.25，1-1.

#### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会，日本地域福祉学会（新潟地方委員），日本地域政策学会（常任理事，研究推進委員長，学術専攻委員会副委員長，甲信越・北陸支部副支部長），日本介護福祉教育学会，日本介護福祉学会，日本在宅ケア学会，日本精神保健福祉学会，日本保健医療社会学会，日本保健福祉学会，日本保健医療福祉連携教育学会，日本ケアマネジマント学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会（特任理事），日本社会福祉士会，日本介護福祉士会，日本精神保健福祉士協会，日本介護支援専門員協会，新潟医療福祉学会，北新潟地域づくり学会（はまなす学会）（副会長），新潟地域福祉実践研究会（会長）

#### 2) 学術集会の主催

1. 日本地域政策学会，日本地域政策学会第22回全国研究宮城大会，第8分科会（地域福祉計画分科会），地域福祉計画分科会の総括と今後の展望（地域福祉計画部会），全国研究大会分科会設置担当，総括・企画，石巻専修大学 Web 開催，2022.6.26-6.27.
2. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会第29回新潟大会，大会長，開催準備活動，新潟市，2023.11.4-11.5.開催予定，2022.6-2023.3.

#### 3) 学会等でのその他の活動

1. 日本保健医療福祉連携教育学会，第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会「ポストコロナを見据えたIPL・IPW—すべては助けを必要とする人のために—」，シンポジウム座長：テーマ「慢性呼吸器疾患をめぐるIPW」，新潟市，2022.11.13.

#### 5 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 第35回社会福祉士国家試験対策講座，高齢者に対する支援と介護保険制度，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会，社会福祉士国家資格取得希望社会人，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2022.8.7.
2. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域・木崎地区ケア会議，認知症を身近なもの捉え，早期発見・早期相談につなげるために，それぞれの立場でできることを考えよう，アドバイザー，新潟市，2022.8.25.
3. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域・早通地区ケア会議，認知症を身近なもの捉

え、早期発見・早期相談につなげるために、それぞれの立場でできることを考えよう、アドバイザー、新潟市、2022.8.30.

4. 新潟市社会福祉協議会北区社会福祉協議会、令和4年度自治・町内会長地域福祉研修会、基調説明およびディスカッションコーディネーター・総評、新潟市北区自治・町内会長および役員、新潟市・新潟市北区文化会館、2022.9.13.
  5. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討事業報告会、ケアプラン検討会の評価と検討課題（新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会検討事業中間報告）、報告者、新潟市地域包括支援センター、新潟市、2022.9.22.
  6. 新潟水俣病ケアガイド研修（Web開催、オンデマンド型）、対象者の理解とその支援について－新潟水俣病患者の視点から－、講師、新潟県福祉保健部生活衛生課・新潟市保健衛生総務課、社会福祉専門職、2022.10.6.
  7. 新潟市地域包括支援センター上土地亀、長浦圏域ケア会議「認知症があってもこの地域で幸せに暮らすために」、アドバイザー、新潟市長浦コミュニティセンター、2023.3.8.
  8. 新潟市地域包括支援センター上土地亀、岡方圏域ケア会議「認知症があってもこの地域で幸せに暮らすために」、アドバイザー、新潟市岡方コミュニティセンター、2023.3.14.
  9. 新潟県「盲ろう者」向け通訳・介助員現任研修、認知機能の低下に対する基本的な対応について、研修講師、社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会新潟県聴覚障害者情報センター、新潟県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業登録通訳・介助員、新潟ふれ愛プラザ（新潟市）、2023.3.4.
- 2) TV出演、ラジオ出演、新聞掲載、一般雑誌掲載等
1. 長野県地方自治研究センター『信州自治研』2022年8月号（長野県地方自治研究センター）、「地域包括ケアシステムの現状と今後のあり方について」、2022.8.発行
  2. 日本地域政策学会ニュースNo.239、地域政策について一言、「住民主体の地域政策の必要性について」、2022.7.1.発信
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟市北区南浜地区青少年育成協議会、クリスマスの集い、事業運営、新潟市・新潟医療福祉大学、2022.12.18.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員
- 新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長、日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議座長、五泉市高齢者保健福祉市民会議委員、新潟県介護人材確保対策会議委員、新潟市介護人材確保対策協議会委員、新潟市北区南浜地区青少年育成協議会理事、新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員、新潟市指定管理者第三者評価会議委員、新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員）、新潟市北区高齢者ケア会議構成委員、新潟市北区社会福祉協議会監事、日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員・新潟県社会福祉現場実習等養成校連絡会会員、日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会運営委員、日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会教学マネジメントと介護福祉士教育新潟県代表、日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会代表、日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会国家試験対策部会（分科会）・調査研究部会（分科会）委員、新潟市共同募金委員会北区分会監査人、新潟市共同募金委員会北区分会推進委員会委員、新潟県農福連携推進連絡会議委員・幹事、新潟県優良農業経営体等表彰事業選考委員会委員農福連携の部審査委員、新潟県福祉サービス運営適正化委員会副委員長（利用援助調査委員会委員、苦情解決小委員会委員）、新潟市立松浜小学校学校運営協議会会長、新潟市コミュニティ・スクール学校運営協議会構成委員、新潟県老人福祉施設協議会理事、新潟県福祉人材センター運営委員会委員、新潟県社会福祉協議会社会福祉研修事業運営委員会委員長、社会福祉法人皆幸希福祉会理事、児童厚員養成課程連絡協議会事務局長、介護福祉士養成大学連絡協議会理事（国家試験対策委員・研究倫理審査委員）
- 5) 職能団体（協会、士会等）の委員
- 新潟県社会福祉士会人材育成・スーパービジョン支援班運営委員会委員、新潟県社会福祉士会地域密着型

サービス外部評価審査委員会委員

## 6 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：渡邊豊
2. 2022年度，新潟水俣病関連情報発信事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：佐藤洋・丸田秋男・寺田貴美代・青木茂・中井良育・渡辺恵・渡邊恵司・佐久間由紀
3. 2022年度，大学生による家庭介護セミナー事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：渡辺洋子
4. 2022年度，新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務（共同研究），研究代表者：丸田秋男，研究分担者：渡邊敏文・河野聖夫・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・渡辺恵，中井良育

### 2) 学外兼務講師等

1. 開志専門職大学事業創造学部事業創造学科（地域産業研究Ⅱ（医療福祉）），非常勤講師，2022.4-9.
2. 新潟県立大学人間生活学部こども学科（社会福祉のニーズと政策），非常勤講師，2022.4-9.

## 氏名：青木 茂

- 1 研究題目 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定プロセスに関する研究，社会福祉協議会の組織・運営に関する研究，民生委員・児童委員活動に関する研究，コミュニティソーシャルワーク機能に関する研究，福祉教育・ボランティア学習に関する研究

### 2 論文

1. 青木茂，「地域福祉計画の策定プロセスの現状と課題－地域共生社会の実現に向けた地域福祉計画部会の取組」．日本地域政策学会．日本地域政策研究．2022．第29号．4-11.
2. 青木茂，「新潟県豊栄市のコミュニティ政策と地域福祉－合併前の社会福祉協議会を起点として」．新潟大学大学院現代社会文化研究．2022．第76号．47-62.

### 3 学会等研究発表

1. 青木茂，丸田秋男，藤沢直子，荒川大靖．児童館の果たすソーシャルワーク機能に関する実証的研究．第22回新潟医療福祉学会学術集会動画発表．2022.10.29.
2. 青木茂，市町村の視点からの総括と今後の展望，第21回日本地域政策学会全国研究【宮城】大会地域福祉計画分科会，宮城県石巻市（オンライン），2022.6.26.

### 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会，日本地域政策学会（理事兼北陸・甲信越支部事務局長），日本地域福祉学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本福祉文化学会，新潟医療福祉学会

### 5 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市東区地域福祉推進フォーラム，パネルディスカッションコーディネーター，新潟市東区社会福祉協議会，新潟市東区民，新潟市東区，2022.5.17.
2. 新潟市地域包括支援センター新任職員研修，地域包括支援センターに求められる役割と機能，講師，新潟市（地域包括ケア推進課），地域包括支援センター職員，新潟市中央区，2022.6.15.
3. 新潟市2層生活支援コーディネーター研修，2層SCの役割と寄せられる期待，講師，新潟市社会福祉協議会支え合いのしくみづくり推進員，新潟市中央区，2022.6.20.
4. 新潟市南区福祉教育講座，なぜ福祉を学ぶのか，講師，新潟市南区社会福祉協議会，新潟市南区民，新潟市南区，2022.6.21，8.10.
5. 新潟市民生委員児童委員協議会連合会中堅研修，地域共生社会の実現と民生委員・児童委員活動，講師，新潟市民生委員児童委員協議会連合会，民生委員・児童委員，新潟市中央区，2022.6.28.
6. 豊島区民社協に学ぶCSWセミナー2022，アドバイザー，新潟市西区社会福祉協議会，新潟市社会福

祉協議会職員ほか，新潟市西区，2022.8.30.

7. 新潟市秋葉区地域福祉推進会議，アドバイザー，新潟市秋葉区社会福祉協議会，新潟市秋葉区民，新潟市秋葉区，2022.9.8.
  8. 認定社会福祉士「基礎研修Ⅲ」，地域における福祉活動，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士，新潟市中央区，2022.9.17，10.8.
  9. 新潟県介護福祉士会ファーストステップ研修，家族や地域の支援力の活用と強化，講師，新潟県介護福祉士会，介護福祉士，新潟市中央区，2022.10.16.
  10. 上越市大島区民生委員児童委員協議会研修，指定民児協に係るまとめ，講師，上越市，民生委員・児童委員，上越市，2022.10.21.
  11. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業，低所得者に対する支援と生活保護制度，地域福祉の理論と方法，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士試験受験予定者，新潟市中央区，2022.10.23，11.27.
  12. 福祉教育推進セミナー，福祉教育とは，講師・グループワークファシリテーター，新潟県社会福祉協議会，新潟県内社会福祉協議会職員，村上市（基礎コース）2022.10.28，上越市（実践コース）2022.11.4.
  13. 新潟市秋葉区地域福祉推進フォーラム，シンポジウムコーディネーター，新潟市秋葉区社会福祉協議会，新潟市秋葉区民，新潟市秋葉区，2022.12.3.
  14. CSW実践報告会，コーディネーター，新潟市社会福祉協議会，新潟市職員，新潟市社協職員ほか，新潟市中央区，2023.1.14.
  15. 上越市民生委員児童委員全体研修会，地域共生社会の実現と民生委員・児童委員活動，講師，上越市福祉課，民生委員・児童委員，主任児童委員，上越市，2023.1.31.
  16. 新発田市民生委員児童委員協議会児童部会研修会，主任児童委員の基本的な考え方と求められる役割，講師，新発田市社会福祉協議会，主任児童委員，新発田市，2023.2.1.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
    1. 新聞，新潟日報，民生委員やりがいの一方で負担感，2022.10.21.
  - 3) 社会活動への参加協力
    1. 新潟市北区太田コミュニティ協議会，外出支援サービス検討委員会，アドバイザー，新潟市北区，2021-現在
  - 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員  
上越市地域福祉計画策定委員会（委員長），上越市地域福祉計画評価委員会（委員長），村上市第2期地域福祉計画策定委員会（委員長），村上市地域福祉計画審議会（委員長），新潟市南区地域福祉アクションプラン検討委員会（委員長），新潟市南区高齢者ケア会議（議長），柏崎市福祉有償運送運営協議会（委員長），新潟市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーク推進事業（スーパーバイザー），新潟市東区社会福祉協議会（理事），湯沢町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会（委員長），新潟県社会福祉協議会福祉教育推進会議（アドバイザー），聖籠町社会福祉協議会評議員選任解任委員会（委員長），聖籠町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会（委員長），聖籠町社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会（委員長），社会福祉法人新潟太陽福祉会（評議員）
- 6 その他の教育研究活動
    - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
      1. 2020年度，科研費基盤研究（C），地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するか－政令指定都市の検証から－，研究分担者.
      2. 2019年度，新潟市多職種合同による介護予防ケアプラン検討会，研究分担者.
      3. 2019年度，新潟県民生委員児童委員協議会アドバイザー派遣事業，研究分担者.
  - 7 学内委員会活動 交通安全委員会（委員長），学生委員会

**氏名：青柳 親房**

報告事項なし

**氏名：河野 聖夫**

- 1 研究題目 対人援助スーパービジョンと人材育成，スーパービジョン実践者（指導者）の育成・訓練プログラム，医療ソーシャルワーカーのキャリア形成教育，非対面型・ハイブリット型のスーパービジョン実践方法の検証
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本ケアマネジメント学会，日本医療社会事業学会（日本医療ソーシャルワーカー協会），大正大学社会福祉学会，山梨社会福祉実践学会
- 3 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 対人援助技術勉強会，スーパービジョン・スーパーバイザー養成研修，講師，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，協会員受講修了者，新潟市，2022.4.23，7.2，9.17，10.8，11，15，2023.1.21，3.11.
    2. GSV未来（スーパービジョンの会），定例学習会，講師，未来（自主グループ），介護支援専門員・社会福祉士ほか，上田市，2022.4.10，6.18，8.21，10.16，12.18，2023.2.19.
    3. 令和4年度香川県医療ソーシャルワーカー協会記念講演，ソーシャルワークの新たな展開～専門職と実践力～，講師，香川県医療ソーシャルワーカー協会，医療ソーシャルワーカー（協会員），香川県（オンライン），2022.5.15.
    4. 令和4年度相談技法研修会，身近な相談相手をつなげるあなた自身のための対策～相談員のためのメンタルヘルスケア～，講義，講師，新潟県民生委員児童委員協議会，民生委員児童委員，新潟市（オンデマンド），2022.7.6-11.30.（2022.5.20.収録）
    5. 指導力UP学習会，人材育成の理論と方法，講義，講師，新潟県医療ソーシャルワーカー協会会員役員有志，医療ソーシャルワーカー，新潟市，2022.5.31，8.8，10.28，12.9，2023.1.12，2.1，3.1.
    6. 下越MSW学習会，対人援助技術とスーパービジョン，講師，新潟県厚生連下越地区MSW部会，医療ソーシャルワーカー（職員），新潟市（オンライン），2022.6.23，7.29，8.4，10.7，11.4，12.16，2023.1.20.
    7. グループスーパービジョン学習会，スーパービジョンと臨床像，講師，いいらの会，介護支援専門員，静岡（オンライン），2022.7.15，9.4，11.6.
    8. 社会福祉士受験対策講座，相談援助の基盤と専門職，講義，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業，社会福祉士国家試験受験予定者等，新潟市，2022.7.23.
    9. 新潟市地域包括支援センター阿賀北（新潟市北区）困難事例検討会，何かひっかかりのある事例検討，事例検討，講師・助言者，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，新潟市，2022.8.16.
    10. ケアマネジメント研修会（飯綱町地域包括支援センター），アセスメントの視点，講義・事例演習，講師，飯綱町（オンライン），2022.8.23.
    11. 介護支援専門員研修会，スーパービジョン研修，講義・事例演習，講師，須坂市地域包括支援センター地域支援係・小布施町地域包括支援センター共催，地域包括支援センター職員，介護支援専門員，小布施町，2022.8.26.
    12. 講演会，医療ソーシャルワーカーに求められるアセスメントの視点，講師，富山県医療ソーシャルワーカー協会，医療ソーシャルワーカー（協会員），富山県（オンライン），2022.9.4.
    13. 「えひめKUMAの会」定例会，OGSV実践・臨床像を描く，事例検討，講師，えひめKUMAの会，介護支援専門員・社会福祉士等（会員），久万高原町，2022.9.10-9.11.
    14. 地域連携課課内研修，スーパービジョン，講師，甲州リハビリテーション病院，社会福祉士，山梨県甲州市（オンライン），2022.10.21，12.2，2023.1.20，2.17，3.10.
    15. 社会福祉士受験対策講座，相談援助の理論と方法，講義，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・

新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業，社会福祉士国家試験受験予定者等，新潟市，2022.10.23.

16. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会中堅フォローアップ研修，スーパービジョン，講師，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，医療ソーシャルワーカー協会，新潟市，2022.10.29.
17. 介護老人保健施設支援相談員研修，語り合うことで手に入れる問題解決法，研修アドバイザー・ファシリテーター（講師），新潟県医療ソーシャルワーカー協会，支援相談員，新潟市（ハイブリット），2022.11.18.
18. 主任介護支援専門員向け研修，スーパービジョン・人材育成，講師，葛飾区内地域包括支援センター（合同開催），主任介護支援専門員，東京都（オンライン），2022.11.22.
19. （株）はあとふるあたご職場研修，スーパービジョン・事例演習，スーパーバイザー，はあとふるあたご人事部，新潟市（オンライン），2022.11.25，2023.3.14.
20. 医療ソーシャルワーカー新人研修／スーパービジョン研修，講義・グループスーパービジョン，講師・スーパーバイザー，新潟県医療ソーシャルワーカー協会，医療ソーシャルワーカー，新潟市，2022.12.3-12.4.
21. 安曇野市社会福祉協議会（居宅介護支援事業所）職員研修，スーパービジョン，安曇野市社会福祉協議会（居宅介護支援事業所），介護支援専門員，安曇野市，2022.12.10，2023.2.25.
22. 千葉県介護支援専門員協議会，主任介護支援専門員研修ファシリテーター講習，指導者，千葉市（オンライン），2022.12.19.
23. 千葉県主任介護支援専門員研修，対人援助者監督指導，講義・演習，講師，千葉県介護支援専門員協議会，千葉市（オンライン），2022.12.19，2023.1.22，1.23，1.24.
24. 相談援助職者養成一般研修，地域貢献事業・講師，企画・指導，小布施町地域包括支援センター，役員職員，介護支援専門員，地域包括支援センター職員，町内福祉専門職等，小布施町，2022.12.22.
25. 介護支援専門員スキルアップ研修，講義「OGSVとは何か」「ポジショニングと臨床像」演習「OGSV実際Ⅰ」「OGSV実際Ⅱ」，講師，久万高原町地域包括支援センター，介護支援専門員，久万高原町，2023.2.10-2.11.
26. 「えひめKUMAの会」定例会，OGSV実践・臨床像を描く，事例検討，講師，えひめKUMAの会，介護支援専門員・社会福祉士等（会員），久万高原町，2023.2.12.

## 2) 社会活動への参加協力

1. スーパービジョン実践研究会，スーパーバイザー養成講座・伝承，指導者，新潟市，2022.5，2022.7，2022.12，2023.2.
2. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会，司会者／意見交換会進行，2021.6-2022.3。（司会6，全体進行・打ち合わせ8）
3. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会研修アドバイザー，新潟市，2022.4-2023.3.
4. 小布施町地域包括支援センター，スーパービジョン，スーパーバイザー，小布施町，2022.4-2023.3.

## 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県医療ソーシャルワーカー協会（運営委員）

## 4 学内委員会活動 人権委員会（委員長），個人情報保護委員会

## 氏名：佐藤 洋

1 研究題目 市町村保健師が行う子ども虐待支援のプロセスに関する研究，子どもの貧困に関する研究

## 2 学会活動

1) 所属学会 日本子ども虐待防止学会，中部M-GTA研究会

## 3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県児童委員研修会，生活困窮者世帯，ひとり親家庭への施策・支援活動と児童委員活動，講師，新潟県民生委員児童委員協議会，児童委員，オンデマンド

2. 社会福祉士国家試験受験対策講座，障害者に対する支援と自立支援制度，講師，新潟県社会福祉士会，同時双方向メディア，2022.7.22.
  3. 長岡市山本地区民生委員児童委員協議会，社会的孤立の状態にある世帯への支援について，講師，長岡市民生委員児童委員等，2022.11.16.
  4. 長岡市四郎丸地区民生委員児童委員協議会，高齢化した住宅街における住民との関わりと支援について，講師，長岡市民生委員児童委員等，2022.9.8.
  5. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会，司会等，介護事業に従事する専門職等，各区役所等，2022.4.1-2023.3.31.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員  
新潟県子どもの貧困対策推進計画検討委員会（委員），新潟市いきいき西区ささえあいプラン推進委員会（委員長），上越市いじめ問題再調査委員会（委員），新潟県コロニーにいがた第三者委員会（委員）
- 4 学内委員会活動 国家試験資格試験対策委員会，社会連携推進委員会

**氏名：寺田 貴美代**

- 1 研究題目 外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築
- 2 著書
  1. 寺田貴美代，米林喜男，丸田秋男，渡邊敏文，河野聖夫，五十嵐紀子，中井良育．社会福祉の可能性—教育・研究の発信—．初版．新潟：アサヒクリエイティブ；2022：pp.57-68.
- 3 報告書
  1. 寺田貴美代，研究基盤（C），外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築，2022年度科学研究費補助金研究成果報告書，2022.4.1-2023.3.31.（研究代表者）
  2. 寺田貴美代，研究基盤（C），多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発，2019-21年度科学研究費補助金研究成果報告書，2019.4.1-2022.3.31.（研究代表者）
- 4 学会等研究発表
  1. 渡辺恵，寺田貴美代，中井良育，鈴木昭．母子生活支援施設における継続調査から．新潟医療福祉学会・第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市・日本），2022.10.29.
  2. 荒川大靖，寺田貴美代，渡邊恵司．児童館が行う移動児童館活動の基礎調査—実態の把握とコロナ禍での影響の検討．新潟医療福祉学会・第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市・日本），2022.10.29.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 福祉社会学会（理事），福祉社会学会（副事務局長），福祉社会学会（財務委員），福祉社会学会（20周年記念事業委員），日本社会福祉学会（査読委員），日本社会福祉学会（関東部会 運営委員），日本社会福祉学会（関東部会 編集委員），日本社会学会（会員），日本地域福祉学会（会員）
  - 2) 学術集会の主催
    1. 福祉社会学会，福祉社会学会第20回大会，学術大会運営，オンライン，2022.7.2-7.3.
    2. 日本社会福祉学会関東部会，2022年度研究大会，学術大会運営，オンライン，2023.3.19.
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 福祉社会学会シンポジウム，福祉制度と非正規公務員，実施運営，京都市，2022.7.3.
    2. 日本社会福祉学会関東部会シンポジウム，生活困窮者に対する制度・支援の新たな展開，実施運営，オンライン，2023.3.19.
    3. 新潟水俣病関連情報発信事業，3大学合同フォーラム，報告学生の発表指導，新潟市，2023.3.18.
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 2022年度，基盤C，外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築，研究代表者
  - 2) 受賞，学位取得，資格取得

2022年 新潟医療福祉学会賞 会頭賞（渡辺恵・寺田貴美代・中井良育・鈴木昭「自治体職員から見たDV  
／児童虐待被害母子の母子生活支援施設入所を阻害する要因」2022.10.29.）

- 7 学内委員会活動 自己点検・評価委員会, FD・SD推進委員会, 大学院教育研究環境推進委員会, 新潟医療福祉学20周年記念事業委員会

**氏名：丸田 秋男**

報告事項なし

**氏名：横山 豊治**

報告事項なし

**氏名：松本 京介**

- 1 研究題目 精神分析学, 力動的的心理療法, 夢の心理学的研究, 臨床心理的地域援助（精神科デイケア, スクールカウンセリング）, 喪の仕事
- 2 論文
  1. 松本京介, 治療構造論を学ぶなかでの「憎しみ」と「感謝」, 横浜国立大学教育相談・支援総合センター研究論集, 2022: 22(1): 29-32.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本心理劇学会, 日本精神衛生学会, 日本質的心理学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. スーパービジョン研修, 対人援助を行うコーディネーターの資質向上のための個人スーパービジョン, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 新潟市社会福祉協議会職員, 新潟ユニオンプラザ, 2023.3.23.
    2. 新潟県児童厚生員等基礎研修会, 子どものこころの発達（児童の発達理論）, 講師, 新潟県児童館・児童クラブ連絡協議会, 児童厚生施設職員・放課後児童クラブ支援員等, 柏崎市文化会館アルフォーレマルチホール, 2022.11.6.
    3. ストレスマネジメント研修, ストレス及びメンタルヘルスの理解, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 社会福祉施設・事業所に勤務する福祉関係職員, 新潟ユニオンプラザ, 2022.11.25.
    4. 第34回社会福祉士国家試験対策講座, 心理学理論と心理的支援, 講師, 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 市民, 新潟ユニオンプラザ, 2022.11.27.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 市ヶ谷ひもろぎクリニック, 音楽プログラムに関する業務, 音楽プログラム担当者, 東京都・市ヶ谷ひもろぎクリニック精神科デイケア, 2022.11.12.
    2. にいがた母の会, 心理カウンセリング業務, 心理カウンセラー, 新潟市・にいがた母の会, 2022.4.1-2023.3.31.
  - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員  
新潟市精神保健福祉審議会（委員）
- 5 学内委員会活動 大学院委員会, 科研費対策委員会

**氏名：渡邊 豊**

- 1 研究題目 共に生きる地域社会づくりに関する研究
- 2 学会等研究発表
  1. 渡邊豊, 「感染症禍における新しい「福祉文化現場セミナー」の創造part2」, 日本福祉文化学会・日本福祉文化学会全国大会（オンライン）, 2022.10.23.



### 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本福祉文化学会理事
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本福祉文化学会『福祉文化研究』査読者

### 4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
  1. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業「権利擁護と成年後見制度」, 講師, 新潟県社会福祉士会他, 社会福祉士国家試験受験者, オンライン, 2022.9.10.
  2. 第14回新潟市南区社会福祉大会「共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム」パネルディスカッションコーディネーター, 新潟市南区社会福祉協議会, ボランティア, 福祉関係者, 一般, 新潟市, 2022.12.3.
  3. ボランティア大交流会, 講師, グループワーク講評, 柏崎市社会福祉協議会, ボランティア, 福祉関係者, 一般, 柏崎市, 2023.3.11.
  4. 長岡市寺泊地区民生委員児童委員協議会研修会「ヤングケアラーの現状と支援について」, 講師, 長岡市寺泊地区民生委員児童委員協議会, 民生委員, 長岡市, 2022.12.2.

- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 新聞, 柏崎日報, 柏崎市社会福祉協議会ボランティア大交流会, 2023.2.28.

- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟県社会福祉協議会第三者委員, 新潟県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会委員, 新潟市福祉有償運送運営協議会委員, 新潟市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員, 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会委員, 新潟みずほ福祉会第三者委員会副委員長

### 5 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

### 氏名: 大屋 未輝

- 1 研究題目 医療観察法における保護者である家族の研究
- 2 著書
  1. 丸田秋男, 鈴木昭, 佐藤洋, 渡邊敏文, 渡辺雅裕, 江部健幸, 大屋未輝. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第7号, にいがたの障害福祉とソーシャルワーク: アサヒ印刷クリエイティブ; 54-63.
- 3 学会等研究発表
  1. 大屋未輝. 医療観察法における保護者である家族が抱える負担に関する研究. 日本犯罪被害者学会・第32回学術大会(慶応大学), 2022.6.4. 【自由報告・口頭発表】
  2. 大屋未輝. 医療観察法における保護者である家族が抱える負担の事例報告. 日本更生保護学会・第11回大会(立命館大学), 2022.12.14. 【自由報告・口頭発表】
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 公益社団日本精神保健福祉士協会(会員), 日本被害者学会(会員), 日本更生保護学会(会員)
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 法務省主唱第72回社会を明るくする運動ミニ集会, 基調講演者, 犯罪被害者者のメンタルヘルスとその支援, 市民講座, 新潟市中央図書館ほんぽと, 2022.7.15.
    2. 新潟県社会福祉協議会令和4年度相談面接技術研修会, 相談支援従事者研修会の講師, 新潟市ユニゾンプラザ, 2022.7.22.
    3. NPO法人Colorfuru map, 「加害者支援」「被害者支援」について語り合う, 基調講演者・パネリスト, 2022.10.23.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟市東区保護課, 精神障害に対応した生保CWスーパービジョン研修会の講師, 新潟市東区役所,

2022.7.1.

2. 青森保護観察所, 東青森地域・青森市医療観察制度地域連絡協議会の研修講師, 青森法務合同庁舎, 2022.11.11.
3. 新潟県新潟地域振興局健康福祉部, 令和4年度新潟圏域精神障害者地域移行・定着支援従事者研修会の講師, 新津保健所新津地域福祉事務所, 2023.3.9.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市精神障がい者の地域生活を考える会(検討委員), 厚生労働省関東信越厚生局(令和4年度精神保健参与員), 新潟地方裁判所(令和4年度心神喪失等医療観察法関係研究協議会(協議員))
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
公益社団法人日本精神保健福祉士協会新潟県支部(顧問), 新潟中央区保護司会(犯罪被害者担当保護司)
- 6 学内委員会活動 就職センター運営委員会(委員), 新潟連携教育研究センター運営委員会(委員)

## 氏名: 中井 良育

- 1 研究題目 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保・定着策, 介護予防に対する効果的な支援のあり方
- 2 論文
  1. 中井良育. 高齢者・障害者福祉施設に従事する対人援助職の人材育成策と職場定着策のあり方に関する検討－対人コミュニケーション・スキルと職場ストレスの関係から－. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 22(2), pp. 19-32.
- 3 学会等研究発表
  1. 中井良育, 阿部行宏, 丸田秋男他. 要支援高齢者の重度化予防に関する研究－「質」が保証されたケアマネジメントモデルの構築に向けて－. 新潟市医師会・令和3年度新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟市), 2023.1.28.
  2. 中井良育, 阿部行宏, 丸田秋男他. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会報告会. 新潟医療福祉大学社会福祉学部(新潟市), 2022.10.24.
  3. 中井良育. 対人コミュニケーション・スキルが中核的職務特性に与える影響－社会福祉施設に従事する対人援助職の人材育成のあり方－. 日本社会福祉学会・日本社会福祉学会第70回秋季大会(大阪府), 2022.10.15.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本社会福祉学会(会員), 日本地域政策学会(会員), 日本ケアマネジメント学会(会員), 日本介護福祉学会(会員), 新潟医療福祉学会(会員)
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会調査の基礎, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2022年度(第35回)社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.9.10.
    2. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会理論と社会システム, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2022年度(第35回)社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.11.27.
    3. 社会福祉施設職場研修担当職員研修, これからの福祉人材育成と推進方法等, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.11.30-12.1.
  - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員  
日本社会福祉士会(会員)
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2022年度, 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 研究分担者
    2. 2022年度, 新潟市医師会地域医療研究助成事業, 要支援高齢者の重度化予防に関する研究－「質」が

保証されたケアマネジメントモデルの構築に向けてー, 研究代表者

3. 2021年度, 科学研究費補助金 若手研究, 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保に関する研究, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
専門社会調査士 (2022.10.1)
  - 3) 学外兼務講師等  
1. 事業創造大学院大学, 福祉ビジネス特講, 2022.10.1-2023.3.31.
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 大学院教務委員会

**氏名：原口 彩子**

- 1 研究題目 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 精神障害者の農業起業の可能性
- 2 学会等研究発表  
1. 原口彩子. 自己覚知を促進する「雑草自分語り」の実践. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会 2022年度合同大会 (淡路市), 2022.11.12-11.13.
- 3 社会活動  
1) 公開講座・講演会等  
1. 市民ゲートキーパー講座, 村瀬嘉代子講演会「無力の畏れとともにそばにということ」振り返り, 講師, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市・豊栄地区公民館, 一般市民, 2022.7.16.  
2. 市民ゲートキーパー講座, 村瀬嘉代子・原口彩子対談「ゲートキーパーとして死を考える人と出会う時」, 企画・講師, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市・豊栄地区公民館, 一般市民, 2022.10.30.  
3. 三市北蒲原郡教育委員会連合協議会研修会, 共生教育∞農福連携ー等しく地球の生き物であることを実感する場ー, 講師, 新発田市, イクネスしばた, 教委員, 2022.11.7.  
4. 市民ゲートキーパー講座, 村瀬嘉代子講演会「生きられた時間」を見つめること…振り返り, 講師, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市・豊栄地区公民館, 一般市民, 2023.1.21.  
5. 新発田市自殺対策事業: 市民ゲートキーパー養成講座「弱音を吐くのは恥ずかしいことじゃない」, 講師, 新発田市, 新発田市・菅谷コミュニティセンター, 一般市民, 2023.3.4.
- 2) 社会活動への参加協力  
1. ももかわ桃源郷倶楽部, 村上かみはやし地区町おこしイベント, ボランティア (ゼミ生とともに), 村上市桃川地内, 2021.10.10.
- 4 その他の教育研究活動  
1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容  
1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者
- 5 学内委員会活動 メンタルヘルス支援室, 教務委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会, シティズンシップ教育実践研究センター (Citizenship education practical research center)

**氏名：渡邊 恵司**

- 1 研究題目 精神科病院からの地域移行支援・地域定着支援に関する研究, ピアサポーターとの共同に関する研究
- 2 学会等研究発表  
1. 渡邊恵司. 「次世代を担う人材育成と活力あるまちづくりに関する一考察ー新潟市北区における「地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業」の取り組みからー. 日本地域政策学会甲信越・北陸支部総会及び研究会 (オンライン開催), 2022.6.12.
- 3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本病院・地域精神医学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会, 日本精神保健福祉士協会, 新潟県精神保健福祉士協会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会
- 2) 学会等でのその他の活動
  1. 日本地域政策学会第21回全国研究大会. 地域福祉計画分科会「地域福祉計画分科会の総括と今後の展望」. 討論者. 石巻専修大学オンライン開催. 2022.6.26.
- 4 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 社会福祉職員スタートアップ研修, 「社会福祉のあゆみと社会福祉政策の動向－福祉従事者が大切にしなければいけないことの再考－」, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟市, 2022.8.18.
    2. 第35回社会福祉士国家試験受験対策講座, 「福祉行財政と福祉計画」, 講師, 新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会, 新潟市, 2022.9.10.
    3. 第35回社会福祉士国家試験受験対策講座, 「社会保障」, 講師, 新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会, 新潟市, 2022.9.10.
    4. 2022年度 青い鳥研修会「意思決定支援～人へのかかわりで大切にしなければいけないことの再考～」, 講師 合同会社リリック 施設職員, マナボーテ村上, 2023.3.10.
  - 2) 社会活動への参加協力
    1. 新潟県水俣病情報発信事業, 4大学フォーラム, オンライン開催, 2023.3.18.
    2. 新潟県水俣病情報発信事業, 報告会, 新潟東映ホテル, 2023.3.25.
    3. 合同会社リリックスーパーバイザー, 2023.11.1-2025.3.31.
- 5 学内委員会活動 広報委員会

**氏名：渡辺 恵**

- 1 研究題目 DV／児童虐待被害母子への支援
- 2 報告書
  1. 渡辺恵, 社会学及びその関連分野, DV／児童虐待被害母子への効果的支援とはなにか. 母子生活支援施設入所からの検討, 研究成果報告書「DV／児童虐待被害母子への支援に関する調査」. 令和3年度～令和4年度, 渡辺恵
- 3 学会等研究発表
  1. 渡辺恵, 寺田貴美代, 中井良育, 鈴木昭. 自治体職員から見たDV／児童虐待被害母子の母子生活支援施設入所を阻害する要因. 新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本地域政策学会, 日本子ども虐待防止学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
  - 1) 公開講座・講演会等
    1. 新人・後輩職員の育成・指導研修, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.5.25.
    2. シニアカレッジ新潟「生きがい探しと地域づくり」講師, 新潟県社会福祉協議会, アトリウム長岡, 2022.8.22.
    3. DV相談窓口調整会議「二次被害を発生させない窓口対応」講師, 新潟市役所, 2022.11.7.
    4. 新潟県消防学校教育訓練講師, 新潟県消防学校, 2022.11.26, 2023.1.24,
  - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
 豊栄地区公民館運営審議会委員, 豊栄図書館協議会委員
- 6 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    1. 令和3（2021）年度, 研究活動スタート支援, DV／児童虐待被害母子への効果的支援とは何か, 母

- 子生活支援施設からの検討，研究代表者
- 令和4年度新潟市医師会地域医療研究助成（丸田秋男，渡邊敏文，佐藤洋，河野聖夫，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，中井良育，渡辺恵）
  - 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会1,606万円×1/9（丸田秋男，渡邊敏文，佐藤洋，河野聖夫，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，中井良育，渡辺恵）＝178万円
- 2) 受賞，学位取得，資格取得  
第22回新潟医療福祉学会学術集會会頭賞

**氏名：渡辺 洋子**

- 研究題目 特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究
- 報告書
  - 渡辺洋子，若手研究，特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究，令和4年度科学研究費助成事業実施報告書，令和3～令和6年度，研究代表者
- 学会活動
  - 所属学会 新潟医療福祉学会，日本認知症予防学会，日本社会福祉学会，日本介護福祉学会，日本老年社会科学会
  - 学会等でのその他の活動
    - 第11回日本認知症予防学会学術集會における一般演題評価員
- 社会活動
  - 公開講座・講演会等
    - 令和4年度高齢者虐待対応研修会，養護者による高齢者虐待対応の基本的な考え方を理解する，魚沼市役所，2022.12，共同企画
  - 社会活動への参加協力
    - 介護福祉士養成協会 関東信越ブロック協議会 新潟支部における総会等，定例会議に出席し，事業計画等への情報共有，意見交換した。また会計監査校として2022年度会計報告に対して，決算報告に相違ないことを報告した。
- その他の教育研究活動
  - 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
    - 2021（令和3）年度，若手研究，特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究，研究代表者
- 学内委員会活動 学生委員会，学術委員会

**氏名：荒川 大靖**

- 研究題目 地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究，児童厚生員の質的向上及び人材育成に関する研究
- 学会等研究発表
  - 荒川大靖，寺田貴美代，渡邊恵司，移動児童館活動に関する基礎調査－新型コロナウイルス感染症が与えた影響に注目して－，新潟医療福祉学会・第22回学術集會，2022.10.29.
- 学会活動
  - 所属学会 日本ソーシャルワーク学会，日本地域政策学会，こども学会 ※いずれも会員
- 社会活動
  - 公開講座・講演会等
    - 2022年度社会福祉士国家試験受験対策講座，「就労支援サービス」，講師，新潟県社会福祉士会，オンライン，2022.8.7.
    - 令和4年度シニアカレッジ新潟，「生きがい探しと地域づくり」，講師，新潟県社会福祉協議会，高陽荘，

2022.8.26.

3. 新任職員スタートアップ研修, 「実践現場における不安や戸惑いから考える利用者支援」, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 2022.8.18.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. BSN, ゆうなび, 児童館の現状と課題, 2022.3.15.
- 3) 社会活動への参加協力
  1. 第22回全国障害者スポーツ大会, 新潟県選手団役員, 競技者の介助や介助学生の補助, 栃木県, 2022.10.29-10.31.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
社会福祉法人七穂会中長期計画策定委員会(副委員長)
- 5 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
    1. 2021年度(2022年度継続), 基盤研究(C), 地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究, 荒川大靖・山口智・渡邊恵司
  - 2) 学内部活動の実績
    1. レクア.コム部顧問
    2. 学生ボランティアセンター顧問
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 同窓会・生涯学習推進委員会

**氏名: 國兼 明嗣**

報告事項なし

**氏名: 佐久間 由紀**

- 1 研究題目 1. 世代間における郷土食の喫食状況と食文化の継承に関する研究, 2. 過疎高齢化地域における地域活性化と共生社会に関する研究

**氏名: 林 修己**

報告事項なし

**氏名: 森田 裕之**

報告事項なし

**氏名: 山崎 美夏**

- 1 研究題目 女性介護職の労働環境に関する研究, 介護福祉士養成教育, 介護福祉教育学
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本生活支援学会, 日本介護福祉教育学会

## 7) 医療経営管理学部

### (1) 医療情報管理学科

#### 氏名：柴山 純一

- 1 研究題目 病院の経営診断・改善手法の研究，早期治癒体制を目指した病院の部門別業務体制と経済性の評価，病院部門効率化方策の研究
- 2 著書
  1. 柴山純一，加見谷将人，酒井順哉，中田精三，佐藤譲，小泉和夫，粕田晴之，松田和久，北野達也，宇佐美光司，飯田隆太郎，石黒克典．医療機器安全実践必携ガイド（第6版）医療概論編．編集 柴山純一．東京：エム・イー振興協会；2022.
- 3 学会等研究発表
  1. 柴山純一．新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響．第97回日本医療機器学会大会（横浜市），2022.6.2.
  2. 柴山純一，保坂賢吾，小出彩夏，保科沙雪，関崎真琴，五十嵐紅葉．病院の建物，器械・備品投資が経営に与える影響．第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2022.10.29.
  3. 柴山純一，齋藤結，小島万奈，下村美晴，中川七海，桑原隼人．病院経営の黒字・赤字の要因に関する研究．第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2022.10.29.
  4. 柴山純一．医療を取り巻く環境指標の経時的相違，日本医療機器学会2021年度更新ポイント取得セミナー（Web.），2022.4.2.
  5. 柴山純一．新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響，日本医療機器学会2022年度更新ポイント取得セミナー（東京都千代田区），2023.3.18.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 日本手術医学会（評議員），日本医療機器学会，日本診療情報管理学会，日本医療・病院管理学会，日本医療情報学会，日本医療マネジメント学会，医療の質・安全学会，病院経営管理士会，新潟医療福祉学会
  - 2) 学会等でのその他の活動
    1. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会，シンポジウム1 座長，新潟市，2022.11.13.
- 5 学内委員会活動 総務会，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，広報委員会，同窓会・生涯学習連携推進委員会

#### 氏名：石浦 章一

- 1 研究題目 アルツハイマー病出現のメカニズムと食物ワクチンによる治療
- 2 著書
  1. 石浦章一．日本人はなぜ科学より感情で動くのか．東京：朝日新聞出版社；2022：1-260.
  2. 石浦章一．理数探究の考え方．東京：ちくま新書；2022：1-238.
  3. 石浦章一．サイエンスライティング超入門．東京：東京化学同人；2022：1-134.
  4. 石浦章一．小説みたいに楽しく読める生命科学講義．韓国語版，2022：1-291.
  5. 石浦章一（監修）：『運動・からだ図解 脳・神経のしくみ』韓国語版，2022：1-243.
- 3 論文
  1. 石浦章一．教科「理数」の目指すもの．遺伝．2022；76：005.
  2. 石浦章一．難病の治療薬への希望．現代化学．2022；612：51-53.
  3. 石浦章一．異なる見方の重要性．現代化学．2022；614：58-59.
  4. 石浦章一．なぜワクチンを嫌うのか．現代化学．2022；615：58-59.
  5. 石浦章一．アウトリーチ雑感．現代化学，2022；616：52-53.
  6. 石浦章一．オリジナルな研究の意義を子どもたちに伝えるには．現代化学．2023；621：42-43.
  7. 石浦章一．若々しく生きるための模索．「健康長寿」の科学．サンジェイ・グプタ著 東京：扶桑社；

2023：解説251-254.

#### 4 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. 黒沢尻北高校 大学の学びの原点は中高の探究から, 高校1, 2年生, 2022.4.27.
2. 福岡大濠高校 大学での学び方 高校1年生, 2022.7.16.
3. 岡山県私学教育研修会 新しい教育の方向と理数探究, 高校教員, 2022.7.28.
4. 巣鴨高校 大学での学びとは, 高校1年生, 2022.10.29.
5. 逗子開成高校 大学で新しく学ぶこと, 高校1年生, 2023.1.19.

##### 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本学術振興会・国際事業委員会(委員長)

#### 5 その他の教育研究活動

##### 1) 学外兼務講師等

1. 東京大学, 文系生命科学, 2022.10.4-11.15.
2. 京都先端科学大学V未来展望科学(リモート), 2022.4.1-2023.1.30.
3. 同志社大学, サイエンスナウ7, 2022.10.31.

#### 6 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会(オブザーバー)

### 氏名：石上 和男

#### 1 研究題目 保健・医療・福祉の政策評価(行政における政策, 介護予防事業, 特定健診・特定保健指導, がん検診・がん登録)

#### 2 論文

1. Sato N, Kanda M, Takano K, Konishi I, Kobayashi R, Kinoshita N, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Uchiyama W, Ishigami K. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese)-Classifying into Different Age Groups. *Journal of Community Medicine*. 2022; 6(3): 1-7.
2. 前田理歩, 木下直彦, 高野晃輔, 皆川璃子, 鈴木健司, 石上和男, 柴山純一, 瀧口徹. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生(大学院生)の学習意欲等に及ぼしている影響. *新潟医療福祉学会誌*. 2022; 22(2): 7-18.
3. 土田直美, 波多野誠, 石上和男. 一般市民の食品の備蓄状況と知識・意識・行動との関連. *日本災害食学会誌*. 2022; 10(1): 1-9.
4. 皆川璃子, 木下直彦, 工藤由紀子, 前田理歩, 小林房代, 度會裕子, Tran Thi Thanh Huyen, Luong Thi Hai Ye, 波塚飛鳥, 長部千尋, 大星波輝, 遠藤栞, 小泉早希, 佐藤舞, 鈴木舞有, 新野渚, 石上和男, 瀧口徹. 身体状況と健康食品利用attitude(認識と行動)との関連分析. *新潟医療福祉学会誌*. 2023; 22(3): 54-70.
5. 度會裕子, 長谷部義信, 小林房代, 木下直彦, 鈴木健司, 石上和男, 伊藤嘉高, 瀧口徹. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者を扱う病院看護職はどのような差別あるいは激励を受けたか. *新潟医療福祉学会誌*. 2023; 22(3): 91-101.
6. 佐藤隆子, 栗原桂, 石上和男, 聾学校に在籍する人工内耳装用児の聴取能力と言語力の関係. *ろう教育科学*. 2021.2; 63(3):1-12.
7. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2022; 21(2): 64-81.

#### 3 報告書

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 海和美和, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大



4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本口腔衛生学会, 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟歯学会, 日本災害食学会, 老年歯科医学会, 日本診療情報管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本地理学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. シニアカレッジ新潟公開講座「若者（大学生）と高齢者（同窓生）の活動紹介・交流」シニアカレッジ新潟学長として基調講演と報告会司会, 2022.12.6.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報おとなプラス2023.1.5.「来いて!地域の茶の間」
2. 福祉にいがた 833号掲載「シニアカレッジ卒業生, 若者と交流試み」
3. オアシス21(新潟県社会福祉協議会総合情報誌) No.100 2022年8月号 No.101 2022年12月号

3) 社会活動への参加協力

1. シニアカレッジ新潟学長
2. NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議監事
3. NPO法人聞こえエール新潟監事

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

シニアカレッジ新潟学長, 新潟県社会福祉協議会理事, 新潟県高齢者記念品選定委員会委員長, 南浜地区コミュニティ協議会健康福祉住民大学長

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟県立看護大学非常勤講師

7 学内委員会活動 国際交流委員会オブザーバー委員

**氏名: 鈴木 健司**

1 研究題目 COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明

2 論文

1. Thanh HTT, Hai YLT, Tanikawa N, Saito S, Takiguchi T, Suzuki K. Factors associated with non-response in a nationwide follow-up web-based study for mental health of non-permanent workers during the COVID-19 pandemic in Japan. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 22: 69-79. (review)
2. 前田理歩, 木下直彦, 高野晃輔, 皆川璃子, 鈴木健司, 石上和男, 柴山純一, 瀧口徹. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生(大学院生)の学習意欲などに及ぼしている影響. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(2): 7-18. (査読あり)

3 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費基盤研究(C), COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明, 研究代表者

**氏名: 瀧口 徹**

1 研究題目 1 研究題目I.地理疫学研究 1) 新型コロナウイルス感染症の全国自治体感染パターン分析 2) 高齢者医療費の全国都道府県単位, 市区町村単位の偏在性分析 3) 新型コロナウイルス感染症治療機関(病院)の医療従事者に対する地域住民の偏見・差別もしくは激励等の意識に関する研究 4) 公衆衛生対策(各種ワクチン, フッ化物利用によるう蝕予防)の受け入れ状況の国際比較

2 著書

1. 監修：瀧口徹，木下直彦，藤谷克己，著者：瀧口徹，木下直彦，藤谷克己，石上和男，柴山純一，鈴木健司，坂井さなえ，森脇健介，川口規子，本間美知子，深井穂博，平田幸夫，小林房代，度會裕子，伊藤嘉高，田口円裕，波塚飛鳥，前田里歩，書名：アクティブ「公衆衛生学」ラーニング別冊医療福祉関係職種国家試験・資格試験対策用問題集，2022，WeNet社，新潟市

### 3 論文

1. 前田理歩，木下直彦，高野晃輔，皆川璃子，鈴木健司，石上和男，柴山純一，瀧口徹. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生（大学院生）の学習意欲等に及ぼしている影響新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(2): 7-18. (査読あり)
2. 皆川璃子，木下直彦，工藤由紀子，前田理歩，小林房代，度會裕子，Tran Thi Thanh Huyen, Luong Thi Hai Yen, 波塚飛鳥，長谷部千寿，大星波輝，遠藤栞，小泉早希，佐藤舞，鈴木舞有，新野渚，石上和男，瀧口徹. 身体状況と健康食品利用attitude（認識と行動）との関連分析. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 22(3): 54-70. (査読あり)
3. 度會裕子，長谷部好信，小林房代，木下直彦，鈴木健司，石上和男，伊藤嘉高，瀧口徹. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者を扱う病院看護職はどのような差別あるいは激励を受けたか. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 22(3): 91-101. (査読あり)
4. 小林房代，木下直彦，度會裕子，谷川奈々，Luong Thi Hai Yen, 宇田優子，柴山純一，瀧口徹. 介護保険施行20年の時点における関連情報知識の現状と課題. 新潟医療福祉学会誌. 2022 ; 22(3): 78-90. (査読あり)
5. 波塚飛鳥，木下直彦，瀧口徹. 就学前児童家庭と義務教育家庭が重視する子育て居住地環境条件はどう違うか. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(3): 102-113, (査読あり)
6. Thi Thanh TH, Luong Thi HY, Tanikawa N, Saito S, Takiguchi T, Suzuki K. 1, Niigata University of Health and Welfare, Niigata. 2022; 22(2): 69-79. (review)

### 4 報告書

1. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，小林量作，稲葉洋美，岩森大，永井徹，澁谷顕一，田村典子，増田紘之，海和美和，能村友紀，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 介護予防における大学との連携事業 2022年度報告書，研究代表者・佐藤成登志

### 5 学会等研究発表

1. 関東甲信越10都県の全市町村の各種生活関連インフラ・施設の地理疫学的分布 渡辺夏樹，青木翔太，筒井里帆，藤間遼，波多野瑠菜，瀧口徹. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1) : 85.
2. 谷川奈々，Tran Thi Thanh Huyen, 瀧口徹，阿部薫，神田賢，鈴木健司. 装具使用者を対象とした患者立脚型アウトカム評価に関する文献研究. 新潟医療福祉学会誌. 2022, 22(1) : 40, 2022.
3. Tran Thi Thanh Huyen, Luong Thi Hai Yen, 谷川奈々，瀧口徹，鈴木健司. COVID-19パンデミックが非正規雇用労働者のメンタルヘルスに与えた影響に関する追跡調査・脱落による標本特性の変化. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1) : 87.
4. 渡辺大輔，前田理歩，瀧口徹，木下直彦. 大学生視点から見たメディア授業の評価法に関する問題点の分類. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1) : 86.
5. 皆川璃子，富山順子，木下直彦，瀧口徹，石上和男. 新潟県におけるCOVID-19クラスター対策の検証－結果をどのように生かすか－. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1) : 72.

### 6 学会活動

- 1) 所属学会 所属学会新潟医療福祉学会（理事），日本公衆衛生学会，日本口腔衛生学会（名誉会員），日本診療情報管理学会，日本老年医学会，日本老年歯科学会，日本国際医療保健学会，日本公衆衛生看護学会，日本災害看護学会，日本精神看護学会，日本健康教育学会

### 7 社会活動

- 1) 職能団体（協会，士会等）の委員  
社会福祉法人 鴻鵠の会（さいたま市）（理事）

## 8 その他の教育研究活動

### 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度（2022年度継続）基盤研究（C） 歯の保存状況と生命予後にに関する地域住民を対象とした30年コホート研究. 研究分担者
2. 2022年度 基盤研究（C） 3種類の国際的疾患に対する特異的予防法に関する国際意識調査. 研究代表者

### 2) 学外兼務講師等

1. 神奈川歯科大学（客員教授），疫学統計，2022.10-2023.1.
2. 新潟県立看護大学大学院博士課程（非常勤講師），公衆衛生政策論，2025.5-7.

## 9 学内委員会活動 学術委員会（委員）

### 氏名：塚本 徹雄

#### 1 研究題目 医療職偏在の要因の分析，赤白血病発症に関わる因子の解析，AIDS病態生理の研究

#### 2 論文

1. Tsukamoto T. HIV accelerates clonal hematopoiesis and cardiovascular aging. AIDS 2022, 36(11), 1599-1601. DOI: 10.1097/QAD.0000000000003330 (editorial comment, 単著)
2. Tsukamoto S, Hakata Y, Tsuji-Kawahara S, Enya T, Tsukamoto T, Mizuno S, Takahashi S, Nakao S, Miyazawa M. Distinctive high expression of antiretroviral APOBEC3 protein in mouse germinal center B cells. Viruses, 14(4), 832(1-18). (英語原著論文, 共著)
3. 塚本徹雄, 宮澤正顕, 岡田斉, 中山隆志. 赤血球産生機構とマウスフレンドウイルス誘発赤白血病幹細胞維持機構との関連の解明. 近畿大学学内研究助成金研究報告書（2021）, 2022.9.30発行, 研究期間：2021.4-2022.3, 研究代表者. [https://kindai.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_uri&item\\_id=23191&file\\_id=40&file\\_no=1](https://kindai.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=23191&file_id=40&file_no=1) (研究報告書, 共著)

#### 3 報告書

1. 宮澤正顕, 博多義之, 塚本徹雄. 基盤研究B. レトロウイルス中和抗体産生制御遺伝子の実体と作用機序の解明. 科学研究費助成事業 研究成果報告書, 2019-2021年度, 研究分担者.
2. 塚本徹雄, 宮澤正顕. 基盤研究C. フレンドウイルス感染マウスモデルを用いた白血病発症機構の解明. 科学研究費助成事業 研究成果報告書, 2019-2021年度, 研究代表者.

#### 4 学会等研究発表

1. Tsukamoto T. Erythroid progenitors in Galectin-9 knockout mice show diminished expression of mTOR and AMPK. 第45回日本分子生物学会年会（千葉市）, 2022.12.1.
2. 塚本徹雄. 地域別医師事務作業補助者比率の解析. 第22回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2022.10.29.

#### 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本エイズ学会, 日本ウイルス学会, 日本医師事務作業補助者協会, 日本診療情報管理学会, American Society for Microbiology, 新潟医療福祉学会

### 氏名：西尾 正輝

#### 1 研究題目 ディサースリアの臨床技術の開発，摂食嚥下障害の臨床技術の開発

#### 2 著書

1. 西尾正輝. ノドトレ. 1版. 東京：Gakken；2022：1-143.
2. 西尾正輝. ディサースリア臨床標準テキスト. 2版. 東京：医歯薬出版；2022：1-253.
3. 西尾正輝. ディサースリア臨床標準テキスト完全対応ワークブック. 1版. 東京：医歯薬出版；2022：1-69.
4. 西尾正輝. スピーチリハビリテーション 4巻写真集編. 3版. 東京：インテルナ出版；2023：1-225.

### 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本音声言語医学会（評議員）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）、日本言語聴覚士協会、日本ディサースリア臨床研究会（会長）、International Association of Logopedics and Phoniatrics (IALP)、Academic Society for Quality of Life (Director of the Review Board Committee)、Journal of Communication Disorders (Editor for the Editorial System)、日本高次脳機能障害学会、新潟医療福祉学会

### 4 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
  1. 新聞, 新潟日報, ノドトレ 喉を鍛えて元気に長生き, 2023.3.30. (囲み記事)

#### 氏名：福島 正巳

報告事項なし

#### 氏名：井上 弘樹

- 1 研究題目 医療の判断と意思決定に関する研究（医学統計学・計算数学・保健経済学）、健康影響ならびに医療の質の評価と仮説探索ならびに仮説検証に関する研究（疫学）、薬剤有害事象のシグナル検出に関する研究（薬剤疫学）、医療情報のデータマネージメントに関する研究（医療情報学）、ベイズ統計学的手法を視覚化した医学判断ツールの開発（医学統計学・医学判断学）
- 2 著書
  1. 井上弘樹, 伊藤嘉高；診療情報管理士になりたい人のために－基礎科目（臨床医学）解説付き問題集－. 1版. 新潟：ウイネット；2022：4-473.
- 3 論文
  1. Uchiyama H, Uchiumi C, Inoue H. Psychosocial Factors and Change in Time Spent Studying by Students in Japan during the COVID-19 Pandemic. JAILA Journal. 2023; 9: 44-55. (review)
- 4 学会等研究発表
  1. Uchiyama H, Uchiumi C, Inoue H. Recurrent education, life satisfaction, and anxiety in Japan during the COVID 19 pandemic. The 11th Annual Meeting of the Japan Association of International Liberal Arts (京都市, 一部オンライン開催), 2022.2.18.
  2. 井上弘樹, 内山八郎. Julia言語向け統計解析マクロ実行ツールへの, コクラン・マンテル・ヘンチェル推定とメタアナリシス機能の追加実装報告. 第27回日本薬剤疫学会学術総会 (神戸市, ハイブリッド開催), 2022.11.17-11.19.
  3. 井上弘樹, 内山八郎. B.I.T.の機能追加実装とリリースの報告－第2報－. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市, オンライン及び抄録集の併用による開催), 2022.10.29.
  4. 井上弘樹, 内山八郎. Julia言語の統計解析マクロ実行ツールへの生存時間解析の追加実装報告. 第81回日本公衆衛生学会総会 (甲府市, ハイブリッド開催), 2021.10.7-10.9.
- 5 学会活動
  - 1) 所属学会 日本ソフトウェア科学会, 日本臨床検査医学会, 日本薬剤疫学会, 日本疫学会, 日本内科学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本消化器病学会, 日本公衆衛生学会, 日本社会薬学会, 日本医療情報学会, 日本国際教養学会, 新潟医療福祉学会, 信州公衆衛生学会
- 6 学内委員会活動 入試委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会, メンタルヘルス支援室委員

#### 氏名：寺島 和浩

- 1 研究題目 3次元運動解析のための解析システムの開発, 情報リテラシー教育に関する研究, データサイエンスリテラシーレベルに関する研究
- 2 学会活動

- 1) 所属学会 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本生体医工学会, 日本ロボット学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 高等教育推進センター運営委員会

**氏名：木下 直彦**

- 1 研究題目 質量分析計を用いたプロテオーム解析研究, 機械学習によるシミュレーション研究, 日本語の形態素解析に関する研究, ITスキルに関連する研究
- 2 著書
  1. 監修：瀧口徹, 木下直彦, 藤谷克己, 著者：瀧口徹, 木下直彦, 藤谷克己, 石上和男, 柴山純一, 鈴木健司, 坂井さなえ, 森脇健介, 川口規子, 本間美知子, 深井稜博, 平田幸夫, 小林房代, 度會裕子, 伊藤嘉高, 田口円裕, 波塚飛鳥, 前田里歩, 書名：アクティブ「公衆衛生学」ラーニング別冊医療福祉関係職種国家試験・資格試験対策用問題集, 2022, WeNet社, 新潟市
- 3 論文
  1. 前田理歩, 木下直彦, 高野晃輔, 皆川璃子, 鈴木健司, 石上和男, 柴山純一, 瀧口徹. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生（大学院生）の学習意欲等に及ぼしている影響新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(2): 7-18. (査読あり)
  2. 皆川璃子, 木下直彦, 工藤由紀子, 前田理歩, 小林房代, 度會裕子, Tran Thi Thanh Huyen, Luong Thi Hai Yen, 波塚飛鳥, 長谷部千寿, 大星波輝, 遠藤栞, 小泉早希, 佐藤舞, 鈴木舞有, 新野渚, 石上和男, 瀧口徹. 況と健康食品利用 attitude (認識と行動) との関連分析. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 22(3): 54-70. (査読あり)
  3. 度會裕子, 長谷部好信, 小林房代, 木下直彦, 鈴木健司, 石上和男, 伊藤嘉高, 瀧口徹. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者を扱う病院看護職はどのような差別あるいは激励を受けたか. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 22(3): 91-101. (査読あり)
  4. 小林房代, 木下直彦, 度會裕子, 谷川奈々, Luong Thi Hai Yen, 宇田優子, 柴山純一, 瀧口徹. 介護保険施行20年の時点における関連情報知識の現状と課題, 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(3): 78-90. (査読あり)
  5. 波塚飛鳥, 木下直彦, 瀧口徹. 就学前児童家庭と義務教育家庭が重視する子育て居住地環境条件はどう違うか, 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(3): 102-113, (査読あり)
- 4 報告書
  1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田絃之, 海和美和, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業 2022年度報告書, 研究代表者・佐藤成登志
- 5 学会等研究発表
  1. 渡辺大輔, 前田理歩, 瀧口徹, 木下直彦. 大学生視点から見たメディア授業の評価法に関する問題点の分類, 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1): 86.
  2. 皆川璃子, 富山順子, 木下直彦, 瀧口徹, 石上和男. 新潟県における COVID-19 クラスター対策の検証 - 結果をどのように生かすか -, 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(1): 72.

**氏名：坂井 さなえ**

- 1 研究題目 診療情報 (録) 管理士の関連学術活動についての現状調査
- 2 学会等研究発表
  1. 坂井さなえ, 丸山晃仁, 笠原大維, 松村桃花, 吉川颯哉, 黒井綾乃, 山崎広裕. RE視点で見るインシデントにおける医療従事者たちの対応力. 日本診療情報管理学会. 10.14-11.13. (オンデマンド配信)
  2. 坂井さなえ, 里野真美侑, 大橋七瀬, 伊藤美乃里, 國分佑斗, 土橋永遠, 丸山夏穂. 若年層の献血の現状と課題. 新潟医療福祉学会学術集会. 10.29.

### 3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療情報管理学会, 日本診療情報管理士学会

4 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 図書館・学習支援委員会

#### 氏名：平井 克之

1 研究題目 学術情報を用いた計量的研究

2 学会等研究発表

1. 平井克之, 木下直彦, 金子知樹, 岩本泰知, 須藤優斗, 平出晴也, 山田圭一郎. 大学教育におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) の取組事例の分析. 情報処理学会第85回全国大会 (東京都調布市), 2023.3.2.
2. 相蘇春菜, 平井克之. 木質科学・林産学分野における科学計量的分析のためのデータセットの構築. 第73回日本木材学会大会 (福岡県福岡市), 2023.3.14.
3. 馬場良子, 西村勇也, 宮下哲, 磯野靖子, 平井克之. 一見多様なリサーチ・アドミニストレーションに共通する〇〇とは. リサーチ・アドミニストレーション協議会 第8回年次大会 (宮城県仙台市), 2022.8.31.
4. 平井克之. 研究力分析勉強会の取り組みについて (K-1: テーマ別勉強会2021 (試行) 成果報告と今後の展望). リサーチ・アドミニストレーション協議会 第8回年次大会 (宮城県仙台市), 2022.8.31.
5. 矢吹命大, 平井克之. 研究力を測ることに向き合う. 情報科学技術協会情報プロフェッショナルシンポジウム2022 (東京都千代田区), 2022.7.8.
6. 久間木寧子, 平井克之. 「部局訪問」による研究力分析情報の学内共有ー 共感される研究力分析データとは?ー. 情報科学技術協会情報プロフェッショナルシンポジウム2022 (東京都千代田区), 2022.7.8.

### 3 学会活動

1) 所属学会 情報処理学会, 言語処理学会, 情報科学技術協会 (シンポジウム実行委員), 研究・イノベーション学会, リサーチ・アドミニストレーション協議会

4 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

基本情報技術者試験 (2022.11), 情報セキュリティマネジメント試験 (2022.12), ITパスポート試験 (2023.1)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学 研究推進機構 客員研究員 (2022.4.1-現在)
2. 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 客員研究員 (2022.4.1-2023.3.31)
3. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 大学経営手法に関する共同プロジェクト技術的事項等検討会 協力者 (2023.2.13)

5 学内委員会活動 科研費対策委員会, URA推進室

#### 氏名：川口 規子

報告事項なし

#### 氏名：築取 萌

1 研究題目 プロフェッショナルリズムとマネジメントの関係性に関する研究

2 論文

1. 築取萌, 酒井健. 組織化するプロフェッショナルリズム: 病院組織の比較事例分析. 組織科学 (協力学術研究団体). 2023: 56 (3): 46-62. (査読あり)

3 学会活動

1) 所属学会 組織学会, 日本医療・病院管理学会, 一橋商学会

#### 4 学内委員会活動 広報委員会

##### 氏名：谷 賢太郎

- 1 研究題目 視覚障がい者向けの救急救命支援アプリケーションの開発, 災害避難シミュレーション, 視覚障がい者向け入力デバイスの開発
- 2 学会等研究発表
  1. 谷賢太郎, 神藏貴久, 前田義信. 視覚障がい者向けの一次救命処置支援アプリケーション開発の試み. 第61回日本生体医工学会 (新潟・日本), 2022.6.28-6.30.
  2. 谷賢太郎, 亀井政英, 久保田雅也, 清野開, 田中聖也, 三木太志. 六点入力方式を利用したスマートフォン向け新型入力デバイス開発の試み. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン開催), 2022.10.29.
  3. 近藤秀憲, 谷賢太郎, 田中恒彦, 山崎達也, 神藏貴久, 穴沢幸二, 前田義信. ピーク・エンドの法則を考慮した人工学級ゲームの開発の試み. 回路とシステム研究会 (高知・新潟), 2022.11.17.
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会
- 4 その他の教育研究活動
  - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
    1. 2021年度, 科研費若手研究, 六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発, 研究代表者
  - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得  
G検定 (2023.3.4)
  - 3) 学外兼務講師等
    1. 新潟国際情報大学 (情報処理演習1), 2022.4.1-9.31.
    2. 新潟国際情報大学 (情報処理演習2), 2022.10.1-2023.3.31.
- 5 学内委員会活動 教務委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

##### 氏名：波多野 誠

- 1 研究題目 障害者福祉に関する研究, 災害食に関する研究, Na/Kに関する研究, 大学生アルバイトに関する研究
- 2 論文
  1. 土田直美, 波多野誠, 磯部澄枝, 鈴木一恵, 瀧口徹, 石上和男. 一般市民の食品の備蓄状況と知識・意識・行動との関連, 日本災害食学会誌, 2023, 10(1): 1-9. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
  1. 波多野誠, 高橋沙友里, 長谷川雅, 平原大雅, 吉村美範. 大学生アルバイトにおけるストレス-職業性ストレス簡易調査票を用いて-, 新潟医療福祉学会誌, 22 (1): 84, 2022.
- 4 学会活動
  - 1) 所属学会 障害学会, 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本栄養改善学会, 日本災害食学会, 新潟医療福祉学会
- 5 学内委員会活動 入試委員会, 社会連携推進センター運営委員会

##### 氏名：市川 明弘

報告事項なし

##### 氏名：高野 晃輔

- 1 研究題目 テキストデータの解析による研究動向分析, 通いの場の介護予防効果・コミュニティ構造分析

## 2 論文

1. 前田理歩, 木下直彦, 高野晃輔, 皆川璃子, 鈴木健司, 石上和男, 柴山純一, 瀧口徹. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生(大学院生)の学習意欲等に及ぼしている影響. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 22(2): 7-18. (査読あり)
2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書. 2023;

## 3 学会等研究発表

1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Ishigami K. COVID-19 Changes in adolescent health and eating habits due to the expansion of the pandemic: Niigata Prefecture, Japan. Scientific and Practical Conference with International Participation <Schoolchildren's Health> (Khabarovsk, Russia), 2022.4.12.
2. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Marina Rziankine, Isigami K. Comparison of the health status of 15-year-old schoolchildren in Khabarovsk and Niigata city in the context of the coronavirus pandemic. The 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama, Japan), 2022.8.18-8.21.

## 4 学会活動

- 1) 所属学会 言語処理学会, 情報処理学会, 日本公衆衛生学会, 日本診療情報管理学会, 日本遠隔医療学会, 新潟医療福祉学会

## 5 社会活動

- 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員  
新潟市北区・海辺の森交流拡大委員会(アドバイザー)

## 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
  1. 2021年度~2023年度, 新潟県受託事業, 介護予防における大学との連携事業, ロコモティブ症候群予防研究センター(研究分担者)

## 7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会, 教務委員会



## 8) プロジェクト研究センター

### (1) 言語発達支援センター (Language development center)

#### ①研究テーマ

1. 言語聴覚障害症例に対する具体的訓練法の開発－訓練症例集－
2. 口唇口蓋裂の言語管理に関する研究

#### ②センター名簿

センター長 : 吉岡 豊, 言語聴覚学科, 教授  
副センター長: 石本 豪, 言語聴覚学科, 准教授  
研究員 : 榎原 桂, 言語聴覚学科, 准教授  
研究員 : 大湊 麗, 言語聴覚学科, 講師  
研究員 : 谷 麻美, 言語聴覚学科, 助手

#### ③主な活動内容

##### 1. 著書

1. 吉岡豊, 大庭重治, 吉利宗久, 境原三津夫, 葉石光一, 八島猛, 小林優子, 池田吉史, 佐藤将朗, 第10章 言語障害児の理解と支援. 特別支援教育の探究, 1版, 京都, ミネルヴァ書房; 2022年: 178-196.

##### 2. 論文

1. 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤功, 高木律男, 富原圭. 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討－口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて－. 日本口蓋裂学会雑誌, 2022; 47 (2): 20-29.
2. 結城龍太郎, 児玉泰光, Salazar ARE, 大湊麗, 永井孝宏, 山田茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男. 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の5 year olds' indexでの評価－軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響－. 日本口蓋裂学会雑誌, 2022; 47 (3): 200-209.
3. Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Kobayashi R, Ichikawa K, Nihara J, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R. Occulusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: A comparison between three different surgical protocol. Cleft palate craniofac J, 2022.

##### 3. 学会等研究発表

1. 谷麻美, 吉岡豊. 新潟医療福祉大学言語発達支援センターの利用児・者の統計的観察. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
2. 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 濃野要, 飯田明彦, 高木律男, 富原圭. 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と幼児期前期の言語機能の関連. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
3. 竹内涼子, 大湊麗, 新美奏恵, 丹原惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤功, 小林正治. 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と構音機能に及ぼす影響の検討. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
4. 児玉泰光, 結城龍太郎, 小林亮太, 山田茜, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原惇, 齋藤功, 富原圭. 三次元デジタル画像を用いた片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価に関する予備的研究. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島市), 2022.5.26-5.27.
5. Ominato R, Ono K, Nohno K, Kodama Y, Iida A, Takagi R, Tomihara K. The relationship between backed articulation and the posterior edge of the residual cleft in two-stage palatoplasty. CLEFT2022 (Edinburgh), 2022.7.11-7.15.
6. Takauchi R, Ominato R, Niimi K, Nihara J, Takeyama M, Saito I, Kobayashi T. Impact of

orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. KAMPRS2022 (Seoul), 2022.10.28-10.29.

#### 4. 学会活動

1. 大湊麗, 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 優秀ポスター賞, 2022.5.26-5.27.

#### 5. 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, にこにこ相談室, 2023.3.27.

- 2) 社会活動への参加協力

1. 阿賀町 言葉の相談会, 言語指導者, 阿賀町役場, 3歳から就学前まで, 阿賀町, 2022年度に6回開催 (5.24, 7.2, 9.10, 11.12, 12.3, 3.4)

2. 言葉の相談会, 言語指導者, 新潟県立精神医療センター, 幼児・学童児, 長岡市, 2022年度に4回開催 (12月~3月)

#### 6. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2019年度, 科研費若手研究, 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討-長期言語成績による分析-, 大湊麗, 研究代表者.

### (2) 医療経済・QOL研究センター (Center for Health Economics & QOL Research)

#### ①研究テーマ

1. 国内の薬剤, 医療技術に関する費用対効果の研究
2. 費用効用分析に用いるモデリングの研究
3. 種々の疾患や健康状態に対する健康関連QOL, とくに効用値の測定
4. 国内における費用効果比や効用値に関するデータベースの構築

#### ②センター名簿

センター長: 能登真一, 作業療法学科

客員研究員: 森脇健介, 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット (CHEERS) 准教授

客員研究員: 泉 良太, 聖隷クリストファー大学 作業療法学科 教授

#### ③主な活動内容

##### 1. 論文

1. Noto S, Wake M, Mishiro I, Hammer-Helmich L, Ren H, Moriguchi Y, Fujikawa K, Fernandez J. Health-Related Quality of Life Over 6 Months in Patients With Major Depressive Disorder Who Started Antidepressant Monotherapy. Value Health Reg Issues. 2022; 30: 127-133. (review)
2. Watanabe T, Noto S, Natsumeda M, Kimura S, Tabata S, Ikarashi F, Takano M, Tsukamoto Y, Oishi M. Characteristics of health-related quality of life and related factors in patients with brain tumors treated with rehabilitation therapy. J Patient Rep Outcomes. 2022 Sep 6; 6(1): 94. (review)
3. Izumi S, Hagiwara Y, Matsuyama Y, Shirowa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Impacts of the preceding cancer-specific health-related quality of life instruments on the responses to the subsequent EQ-5D-5L. Health Qual Life Outcomes. 2023 Jan 17; 21(1): 3. (review)
4. Hagiwara Y, Shirowa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Gradient Boosted Tree Approaches for Mapping European Organization for Research and Treatment of Cancer Quality of Life Questionnaire Core 30 Onto 5-Level Version of EQ-5D Index for Patients With Cancer. Value Health. 2023 Feb; 26(2): 269-279. (review)
5. Koto Y, Narita A, Noto S, Ono M, Hamada AL, Sakai N. Qualitative analysis of patient interviews

- on the burden of neuronopathic Gaucher disease in Japan. *Orphanet J Rare Dis.* 2022 Jul 19; 17(1): 280. (review)
6. Ito T, Kamei K, Yuasa A, Matsumoto F, Hoshi Y, Okada M, Noto S. Health-related quality of life in patients with alopecia areata: Results of a Japanese survey with norm-based comparisons. *J Dermatol.* 2022; 49(6): 584-593. (review)
  7. Mo X, Moriwaki K, Morimoto K, Shimozuma K. Cost-Effectiveness of First-Line Nivolumab Plus Ipilimumab Combination Therapy in Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer in Japan. *Clin Drug Investig.* 2022 Jul; 42(7): 599-609.
  8. Komaba H, Hamano T, Fujii N, Moriwaki K, Wada A, Masakane I, Nitta K, Fukagawa M. Parathyroidectomy vs Cinacalcet Among Patients Undergoing Hemodialysis. *J Clin Endocrinol Metab.* 2022 Jun 16; 107(7): 2016-2025.
  9. Haryono A, Ikeda K, Nugroho DB, Ogata T, Tsuji Y, Matoba S, Moriwaki K, Kitagawa H, Igarashi M, Hirata KI, Emoto N. ChGn-2 Plays a Cardioprotective Role in Heart Failure Caused by Acute Pressure Overload. *J Am Heart Assoc.* 2022 Apr 5; 11(7): e023401.
  10. Hoshino E, Konomura K, Obatake M, Moriwaki K, Sakai M, Urayama KY, Shimozuma K. Direct health care cost of treatment and medication of biliary atresia patients using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups. *Pediatr Surg Int.* 2022 Apr; 38(4): 547-554.
  11. Hoshino E, Moriwaki K, Morimoto K, Sakai K, Shimohata N, Konomura K, Urayama KY, Suzuki M, Shimozuma K. Cost-Effectiveness Analysis of Universal Screening for Biliary Atresia in Japan. *J Pediatr.* 2023 Feb; 253: 101-106.e2.
  12. 能登真一. 作業療法とQOL. 石川県作業療法学会誌. 2022 ; 31 : 1-5.
  13. 佐野哲也, 泉良太, 佐野真裕子. 医療療養型病床の特徴と健康関連QOLとの関係－単施設における予備的研究－. *リハビリテーション科学ジャーナル* 2022 ; 18 : 31-38.
2. 学会等研究発表
1. Noto S, Murata T, Saito S, Kobayashi M. Patient preferences for stroke rehabilitation: a discrete choice experiment. *ISPOR EUROPE (ウィーン)*. 7-9 Nov 2022.
  2. Noto S, Ono M, Koto Y, Narita A, Hamada AL, Sakai N. Qualitative Analysis of Patient Characters, Interviews on the Burden of Neuronopathic Gaucher Disease in Japan. *ISPOR EUROPE (ウィーン)*. 7-9 Nov 2022.
  3. Ono M, Noto S, Koto Y, Narita A, Okada M, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of Gaucher disease-specific patient-reported outcome measurement in Japan. *ISPOR EUROPE (ウィーン)*. 7-9 Nov 2022.
  4. Koto Y, Narita A, Noto S, Hamada AL, Sakai N. Qualitative analysis of patient burden with neuronopathic Gaucher disease collected via interviews. *JSIMD 2022. (熊本)*. 2022.11.24.
  5. Ono M, Noto S, Koto Y, Narita A, Okada M, Sagara R, Sakai N. Assessing the burden on caregivers of patients with Gaucher disease in Japan. *WORLD Symposium 2023 (オランダ)*. 13 Feb 2023.
  6. Izumi R, Sano T, Hirofumi N, Noto S, Yukako Y, Takizawa H. Elucidation of changes in health-related QOL and the MCID in motor disorders. *International society of quality of life research 29th annual conference (プラハ)*. 2022.10.19-10.22.
3. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2022年度, 科研費基盤研究 (B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 能登真一・研究代表者
  2. 2022年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーショ

ン技術の開発, 能登真一・研究代表者

3. 2022年度, 科研費基盤研究 (A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 能登真一・研究分担者
4. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 泉良太・研究代表者, 能登真一・研究分担者
5. 2022年度, 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医薬品・医療機器の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究, 能登真一, 森脇健介・研究分担者
6. 2022年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金, 能登真一・研究代表者
7. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 二次性MRに対するカテーテル修復術のレスポンス同定と費用対効果分析, 森脇健介・研究分担者
8. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 費用対効果を含む多様な価値基準を統合した新たな医療政策意思決定支援システムの開発, 森脇健介・研究分担者

### (3) ロコモティブ症候群予防研究センター (Research Center for Locomotive Syndrome Prevention)

#### ①研究テーマ

1. 県内市町村, 新潟市北区住民へのロコモ予防に貢献するために支援システムの研究, 実践を行う。
2. 運動器慢性疼痛における諸因子の調査研究を行う。
3. 産業保健における運動器慢性疼痛予防についての支援システムの研究・実践を行う。

#### ②センター名簿

センター長 : 佐藤成登志 義肢装具自立支援学科 教授  
副センター長: 山本智章 新潟リハビリテーション病院 院長  
研究員 : 古西 勇 理学療法学科 教授  
研究員 : 神田 賢 義肢装具自立支援学科 講師  
研究員 : 立石 学 新潟田リハビリテーション病院 技士長  
研究員 : 高野義隆 新潟リハビリテーション病院 部長  
客員研究員 : 小林量作 新潟リハビリテーション大学  
客員研究員 : 北村拓也 新潟リハビリテーション大学

#### ③主な活動内容

##### 1. 論文

1. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 脊柱後弯変形を有する慢性腰痛患者の労作性腰痛の病態. *Medical Science Digest*. 48(5), 157-159, 2022 (査読あり)
2. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法を中心とした理学療法効果と改善が期待できる患者特性. *Journal of Spine Research*. vol13(6), 881-889, 2022 (査読あり)
3. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. *Journal of Spine Research*. 2022; 13: 860-867 (査読あり)
4. Naritoshi S, Masaru K, Kosuke T, Isamu K, et al. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese) Classifying into Different Age Groups. *Journal of Community Medicine & Public Health*. vol6(3), 1-7, 2022 (review)
5. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. The Intramuscular Circulation Is Affected by Neck and Shoulder Pain. *Oxygen Transport to Tissue XLIII*.: 399-403, 2022 (review)

6. Kanda M, Kitamura T, Suzuki Y, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular Circulation of the Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions on Standing. Oxygen Transport to Tissue XLIII.: 405-9, 2022 (review)

## 2. 報告書

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究分担者
2. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
3. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷颯一, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書, 2022, 研究代表者

## 3. 学会等研究発表

1. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 通いの場に参加する女性高齢者の身体的特徴および身体機能の関連および比較—異なる年齢層による特徴に着目して—. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン) (新潟), 2022.10.29.
2. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木), 2022.11.19.
3. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化—腰痛の有無での比較—第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
4. 佐藤成登志, 神田賢, 古西勇, 他. 介護予防における大学との連携事業～新潟版介護予防支援プラットフォーム～. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.10-12.11.
5. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 地域在住高齢者の身体的特徴および身体機能の比較—通いの場の女性参加者に着目して—. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.10-12.11.
6. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on standing-Comparison between subjects with and without LBP-8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
7. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Yamamoto N, Watanabe K. Effect of Exercise Therapy with Education for Elderly Patients with Adult Spinal Deformity -Pain and numbness improve.8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
8. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 重度成人脊柱変形患者における自覚症状別の運動療法効果—教育・管理から自己ケアへ—. 第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
9. 北村拓也, 金子巧, 若菜翔哉, 湊屋卓望, 神田賢, 佐藤成登志. 6分間歩行テストにおけるコース長の違い—30mと10m比較—. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.11.

## 4. 学会活動

1. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 通いの場に参加する女性高齢者の身体的特徴および身体機能の関連および比較—異なる年齢層による特徴に着目して—. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン) (新潟), 2022.10.29.
2. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. Covid-19下での遠隔授業が大学生の身体におよぼす影響. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木), 2022.11.19.
3. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化—腰痛の有無での比較—第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
4. 神田賢, 古西勇, 佐藤成登志, 他. 地域在住高齢者の身体的特徴および身体機能の比較—通いの場の女性参加者に着目して—. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.10-

12.11.

5. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on standing-Comparison between subjects with and without LBP-8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
6. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Yamamoto N, Watanabe K. Effect of Exercise Therapy with Education for Elderly Patients with Adult Spinal Deformity -Pain and numbness improve. 8th. ISSLS. (USA Boston BMCP), 2022.5.12.
7. 北村拓也. 脊柱変形を有する慢性腰痛に関する最新の病態と理学療法. 第10回日本運動器理学療法学会. トピックセミナー (オンライン), 2022.9.25.
8. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 重度成人脊柱変形患者における自覚症状別の運動療法効果-教育・管理から自己ケアへ-. 第30回日本腰痛学会 (岩手), 2022.10.21.
9. 北村拓也, 木村慎二, 大鶴直史, 細井昌子, 柴伸昌, 柳澤義和, 中島陽平, 御手洗七海, 田村友則. 慢性疼痛に対するいきいきリハビリノートを用いた認知行動療法に基づく運動促進法の効果検証-ランダム化比較試験による多施設研究-. 第15回日本運動器疼痛学会 (栃木), 2022.11.19.
10. 北村拓也. 心理的問題を抱えた右下肢CRPSの一例. 厚生労働省委託事業慢性疼痛患者の心理社会的評価と心理療法講演会. 招聘講演 (オンライン), 2022.12.8.
11. 佐藤成登志, 神田賢, 古西勇, 他. 介護予防における大学との連携事業~新潟版介護予防支援プラットフォーム~. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.10-12.11.
12. 北村拓也, 金子巧, 若菜翔哉, 湊屋卓望, 神田賢, 佐藤成登志. 6分間歩行テストにおけるコース長の違い-30mと10m比較-. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 (新潟), 2022.12.11.

## 5. 社会活動

### 1) 公開講座・講演会等

1. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, シンポジウム: 地域共生社会実現に向けた新潟県のリハビリテーション~高齢者の介護予防活動を通して~, シンポジスト, 新潟県リハビリテーション専門職協議会, 協議会会員, 新潟市, 2022.12.10-12.11.
2. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2022.9.17-9.18.
3. とよさか中高年教養大学 (健康長寿学), 腰痛と上手く付き合う方法, 講師, 葛塚コミュニティー協議会, 北区住民, 新潟市北区, 2022.5.8.
4. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 新発田労働基準協会, 新発田労働基準協会の企業, 新発田市, 2022.6.17.
5. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための腰痛の方法と実践, 講師, BSNアイネット, 社員, 新潟市, 2022.7.22.
6. 三重県理学療法士会研修会, 職業性腰痛の特徴と教育・管理, 講師, 三重県理学療法士会, 理学療法士, Web, 2022.7.31.
7. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 黒崎白土工業, 社員, 新発田市, 2022.8.30.
8. 介護予防講演会, 膝痛の予防, 講師, 新発田市, 住民, 新発田市, 2022.9.13.
9. 腰痛予防のセルフマネジメント講座, 講師, 日本曹達株式会社, 社員, 上越市, 2022.10.24.
10. 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 十日町シルバー人材センター, 会員, 十日町市, 2022.11.2.
11. 肩・腰・膝の痛み予防・改善研修会, 講師, 五泉市, 住民, 十日町市総合会館, 2022.11.13.
12. 柏崎シルバー人材センターセミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, 柏崎シルバー人材センター, 会員, 柏崎ワークプラザ, 2022.11.15.

13. 新潟整形外科研究会, 腰曲がりの慢性腰痛に対する運動療法, 講師, 新潟県整形外科医師会, 会員, Web, 2022.11.20.
  14. 三条地域振興局セミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, 三和運輸, 社員, 燕市中央公民館, 2022.11.19.
  15. 豪雨災害支援: 不活発病予防, 講師, 村上市, 住民, 荒川公民館, 2022.11.25.
  16. 非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2022.12.3-12.4.
  17. スポーツ指導者講習会, 非特異的腰痛について, 講師, 新潟市開発公社スポーツプロモーション課, スポーツ指導者, 新潟市, 2022.12.16.
  18. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, Web, 2022.12.17-12.18.
  19. 安全管理研修会, 安心・安全に働くための転倒・腰痛・膝痛予防の方法と実践, 講師, 長岡労働基準協会, 長岡市, 2023.1.12.
  20. たんぽぽの会(変形性股関節症)講演会, いつまでも元気で過ごせる予防法～転倒・関節痛予防～, 講師, たんぽぽの会, 新発田市, 2023.3.19.
  21. 高齢者労働支援講習会, 職業性腰痛について, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2023.3.25.
  22. 三重県介護予防従事者確保事業, 高齢者の就労・社会参加に向けた安全と体力づくり支援-職業性腰痛について-, 講師, 三重県理学療法士会, リハビリ関係者, Web, 2023.2.19.
  23. 臨床実習指導者講習会, 世話人, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 看護リハビリ新潟保健医療専門学校(新潟市), 2022.5.7-5.8.
  24. 臨床実習指導者講習会, 世話人, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟リハビリテーション大学(村上市), 2023.3.4-3.5.
  25. 厚生労働省慢性疼痛事業第1回新潟県慢性疼痛研修会, ファシリテータ, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2022.7.31.
  26. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会, 講師, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2023.1.29.
  27. 厚生労働省慢性疼痛事業第1回新潟県慢性疼痛研修会, 講師, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2022.7.31.
  28. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会, ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2023.1.29.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 村上新聞, 教授ブログ, 2022.8.
- 3) 社会活動への参加協力
1. (公社)日本理学療法士協会・組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2022.4-2023.3. (3回)
  2. (公社)日本理学療法士協会・士会支援事業, 協会選出, web, 2022.4-2023.3. (6回)
  3. (公社)日本理学療法士協会・懲戒委員会, 協会選出, Web, 2022.4-2023.3. (2回)
  4. (公社)新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2022.6.19.
  5. (公社)新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (6回)
  6. (公社)新潟県理学療法士会・関連会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (22回)
  7. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 準備委員(PT士会代表), 新潟・朱鷺メッセ, 2022.12.10-12.11.
  8. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2022.4-2023.3. (2回)

9. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (8回)
10. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2022.4-2023.3. (6回)
11. (公社)新潟県理学療法士会, 広報部員
12. (公社)新潟県理学療法士会, 学術誌部員
13. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 胎内市, 2022.12.8.
14. 新潟市秋葉区役所健康福祉課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市秋葉区, 2022.12.14.
15. 糸魚川市福祉事務所, 介護予防における大学との連携事業・調査, 糸魚川市, 2022.2. (2回)
16. 新潟県高齢者保健福祉推進協議会 (委員)
17. 新潟市北区自治協議会 (委員)
6. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況
  1. 2019年度 (継続), 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究分担者
  2. 2022年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究代表者
  3. 2020年度 (継続), 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究代表者

#### (4) シティズンシップ教育実践研究センター (Citizenship Education Practical Research Center)

##### ①研究テーマ

1. QOLサポーター育成に必要なシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
2. 地域資源を活用したシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
3. 上記教育プログラムの開発, 実践に伴う調査

##### ②センター名簿

センター長：西原康行, 健康スポーツ学科, 教授  
 研究員：吉田重和, 健康スポーツ学科, 教授  
 研究員：佐藤裕紀, 健康スポーツ学科, 講師  
 研究員：山本悦史, 健康スポーツ学科, 助教  
 研究員：五十嵐紀子, 作業療法学科, 准教授  
 研究員：原口彩子, 社会福祉学科, 准教授  
 研究員：杉本 洋, 看護学科, 准教授

##### ③主な活動内容

###### 1. 著書

1. 佐藤裕紀; 矢野拓洋, 松浦早希, 松永佳世, 真庭伸吾, 一般社団法人IFAS編著. フォルケホイスコーレのすすめ: デンマークの大人の学校に学ぶ: 東京: 花伝社; 2022: 54-60.
2. 佐藤裕紀; 異文化間教育学会編. 異文化間教育事典: 東京: 明石書店; 2022: 245-246.
3. 佐藤裕紀; 坂口緑, 佐藤裕紀, 原田亜紀子, 原義彦, 和気尚美著. デンマーク式 生涯学習社会の仕組み: 北海道; 2022: 85-147, 299-309.
4. 山本悦史. Jクラブによる地域貢献活動の新展開—ソーシャルガバナンス論からのアプローチ—. 有賀郁敏編著 スポーツの近現代 その診断と批判. ナカニシヤ出版. 2023: 423-445.
5. 吉田重和. オランダの学校—「教育の自由」原則の学校; 二宮皓編著. 世界の学校: グローバル化する教育と学校生活のリアル: 東京: 学事出版; 2023: 38-43.

###### 2. 論文

1. 佐藤裕紀, 杵渕洋美, 吉田重和, 脇野哲郎. 総合的な学習の時間の指導で教員が抱える困難性, 課題に関する研究—X市の小学校教諭, 中学校教諭へのインタビューの分析から—. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022; 6: 15-25.



2. 杵渕洋美, 脇野哲郎, 佐藤裕紀. 総合的な学習の時間の指導法の充実に向けて:『総合的な学習の時間』学習実態調査から. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2022; 6: 1-14.
  3. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 全国学力テストを廃止し新テストに デンマーク. 教育新聞. 2022. (参考URL: <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20220806/>)
  4. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 レゴ社と市が協働する子ども中心の街づくり. 教育新聞. 2022. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20220917/>)
  5. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 デンマークの学校給食論争 背後に貧困問題. 教育新聞. 2022. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20221112/>)
  6. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 苦しむ初任者教員を救え! デンマーク. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20230204/>)
  7. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 北欧で広がる民主主義のお祭り. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20230318/>)
  8. Nishihara Y, Uchiyama W. Characteristics and Differences in the Verbal Responses of Expert and Novice Basketball Coaches Elicited by Cognition of Fixed Camera Images and VR Images. International Journal of Sport and Health Science (協力学術研究団体). 2022, 0: 181-192. (review)
  9. 杉本洋, 紅林佑介. 広がりをもせる病気イベントを通じた無力からの生成—豊かな「健康」観の構築に向けた検討. メンタルヘルスの社会学. 2022; 28: 17-22.
  10. 山本悦史, 本間崇教, 中西純司. プロスポーツ成熟市場におけるスポーツ観戦者の特性把握: アルビレックス新潟の事例を手掛かりとして. スポーツ産業学研究 (協力学術研究団体). 2022; 32(3): 315-332.
  11. 本間崇教, 山本悦史. 国内野球独立リーグの観戦者に関する調査研究: 新潟アルビレックスBCを事例として. 松本大学研究紀要. 2022; 21: 107-113.
  12. 吉田重和. コロナ禍での経験をとおして見る教員のしごと・役割: オランダの事例. 比較教育学研究. 2023; 66: 24-41.
3. 報告書
1. 長島啓記, 鴨川明子, 佐藤裕紀, 谷口利律, 日暮トモ子, 古阪肇, 吉田重和. 基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国政比較研究, 研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者.
  2. 生田孝至, 姫野完治, 西原康行. 基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 2018-2022, 研究分担者
4. 学会等研究発表
1. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. 21th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2022.8.20-8.21.
  2. 西原康行. トップアスリート育成に関するIPW. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会 (新潟: 新潟医療福祉大学 (オンライン)), 2022.11.13. 【シンポジウム】
  3. Sugimoto H, Teramoto K. Proposals for Public Health Policy Based on Performance Activities by People with Mental Illness. The 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Tokyo), 2023.3.10-3.11.
  4. Sugimoto H, Igarashi N. Dialogue on Death in Tojisha Communities. The 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Tokyo), 2023.3.10-3.11.
  5. Sugimoto H, Igarashi N. "Mitori" Amid the COVID-19 Pandemic: Cross-Cultural Perspective on Death and Dying Between Japanese and Chinese. Anthropology of Japan in Japan (AJJ) Annual Meeting 2022 (Kyoto), 2022.12.3-12.4.
  6. 杉本洋, 和田直子. 地域で活動する専門職の自律性についての考察. 第19回日本ヘルスプロモーション学会合同学術集会第11回日本産業看護学会合同学術大会 (北九州市), 2022.11.26-11.27.

7. 杉本洋, 五十嵐紀子. 当事者活動における死者とのつながり. 第27回日本臨床死生学会年次大会(東京), 2022.9.17-9.18.
  8. 杉本洋, 五十嵐紀子. 当事者活動における脆弱性の表現による組織の更新. 第36回保健医療行動科学会(Web開催), 2022.6.18-6.19.
  9. 杉本洋. 複数の組織がかかわる当事者活動における弱さからの生成. 日本文化人類学会大第55回研究大会(東京), 2022.6.4-6.5.
  10. 五十嵐紀子, 杉本洋. 異なる文化背景を持つメンバーとの対話をもたらす連携の学び: コロナ禍での看取りについて考える. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会(新潟市), 2022.11.13.
  11. 五十嵐紀子, 杉本洋. 当事者活動が脆弱であることの意味. 第13回ヘルスコミュニケーション学会学術集会(広島市), 2022.10.3.
  12. 五十嵐紀子, 杉本洋. 死者とのつながりを創る対話. 日本仏教看護・ビハーラ学会第18回年次大会(オンライン), 2022.6.19.
  13. 原口彩子. 自己覚知を促進する「雑草自分語り」の実践. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会2022年度合同大会(淡路市), 2022.11.12-11.13.
  14. 山本悦史. 経済価値と社会価値の同時実現を可能にするプロスポーツ・マネジメント手法の検討～Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相を手掛かりとして～. 日本体育・スポーツ経営学会 若手研究者による研究報告会(online), 2022.12.12.
  15. 山本悦史. Jリーグクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の同時追求. 日本経営診断学会2023年度第2回(第231回)関東・東北部会, 2023.2.18.
  16. 山本悦史. スポーツ・ビジネスのマネジメントと診断-倫理マネジメント問題を踏まえて-. 日本経営診断学会2023年度第2回(第231回)関東・東北部会, 2023.2.18. 【シンポジウム】
  17. 吉田重和. 学校における教員の役割・しごとを問い直す: コロナ禍での経験をとおして見えてきたこと. 日本比較教育学会 第58回大会(オンライン開催), 2022.6.26. 【課題研究I(パネリスト)】
5. 学会活動
1. 日本生涯教育学会総務委員
  2. 北欧教育研究会事務局
  3. 日本生涯教育学会, 第43回大会, 大会運営副委員長, 東京, 2022.11.26-11.27.
  4. 体育学研究 査読委員
  5. 日本教育工学会論文誌 査読委員
  6. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
  7. 日本体育・スポーツ経営学会 査読委員
  8. 日本スポーツ産業学会 査読委員
  9. 日本コミュニケーション学会東北支部, 学会運営, 支部役員
  10. ヘルスコミュニケーション学関連学会機構, 学会運営, 代議員
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 令和4年度基礎研修会, 地域づくりにおける社会教育の果たすべき役割: 若者・マイノリティの社会教育への参加・参画が鍵を握る, 講師, 新潟県立生涯学習推進センター, 社会教育・生涯学習関係職員, 新潟市, 2022.4.28.
    2. 16周年特別授業, 今わたしたちが考えたい6つのこと 第1回, コメンテーター, 特定非営利活動法人シブヤ大学, 一般市民, オンライン, 2022.10.22.
    3. 令和4年度新潟市公民館全職員研修会, 地域づくりにおける 公民館が果たすべき役割, 講師, 新潟市中央公民館, 新潟市公民館全職員, 新潟市, 2022.11.11.
    4. 令和4年度新潟市公民館全職員研修会, 地域づくりにおける 公民館が果たすべき役割, 講師, 新潟市中央公民館, 新潟市公民館全職員, 新潟市, 2022.11.15.

5. 第22回 新潟県社会教育研究大会三条大会 第61回 中越地区社会教育研究集会三条大会, 総評, 新潟県社会教育委員連絡協議会, 社会教育委員, 一般市民, 三条市, 2022.11.16.
6. 16周年特別授業, 今わたしたちが考えたい6つのこと 第2回, コメンテーター, 特定非営利活動法人シブヤ大学, 一般市民, オンライン, 2022.11.18.
7. 16周年特別授業, 今わたしたちが考えたい6つのこと 第3回, コメンテーター, 特定非営利活動法人シブヤ大学, 一般市民, オンライン, 2022.12.19.
8. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2022.4.16.
9. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 燕市, 2022.6.30.
10. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2022.7.16-7.17.
11. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2022.8.20-8.21.
12. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2022.9.2-9.3.
13. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2022.9.10-9.11.
14. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市(新潟県教育庁), 2022.9.17.
15. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市(新潟県教育庁), 2022.10.21.
16. 市民ゲートキーパー講座, 村瀬嘉代子講演会「無力の畏れとともにそばにいるということ」, 企画・インタビュー, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市・新潟市北区文化会館ホール, 一般市民, 2022.3.27.
17. 市民ゲートキーパー講座, 村瀬嘉代子・原口彩子対談「ゲートキーパーとして死を考える人と出会う時」, 企画・講師, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市・豊栄地区公民館, 一般市民, 2022.10.30.
18. 新発田市自殺対策事業: 市民ゲートキーパー養成講座「弱音を吐くのは恥ずかしいことじゃない」, 講師, 新発田市, 新発田市・菅谷コミュニティセンター, 一般市民, 2023.3.4.
19. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査員, HARDOFF ECOスタジアム新潟, ホームゲーム観戦者, 2022.9.4.
20. 第33回日教組栄養教職員研究集会記念講演, “わたしの”働き方改革, 講師, 日本教職員組合, 栄養教諭, Zoom, 2022.7.31.
21. 特別講演, キャンサーギフトという生き方: 乳がんになったコミュニケーション研究者にとっての“キャンサーギフト”とは①, 講師, 横浜商科大学・青森中央学院大学, 学生・教職員, Zoom, 2022.6.17.
22. 特別講演, キャンサーギフトという生き方: 乳がんになったコミュニケーション研究者にとっての“キャンサーギフト”とは②, 講師, 横浜商科大学・青森中央学院大学, 学生・教職員, Zoom, 2022.6.24.
23. 介護福祉士ファーストステップ研修, コミュニケーション技術の応用的な展開①, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護福祉士, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.7.17.
24. 介護福祉士ファーストステップ研修, コミュニケーション技術の応用的な展開②, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護福祉士, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.8.7.
25. 令和4年度シニアカレッジ新潟基礎応用過程地域活動, 生きがい探しと地域づくり, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 一般市民, 新潟ユニゾンプラザ, 2022.9.7.
26. キャリア形成訪問指導派遣事業, コミュニケーション研修, 講師, 新潟県介護福祉士会, 有限会社カエツ従業員, Zoom, 2022.11.6.
27. FDSDセミナー, 新潟医療福祉大学のFDSD活動の取り組み, 講師, 新潟食料農業大学, 新潟食料農業大学教職員, Teams, 2022.11.30.

28. 新潟西高等学校, 大学講義体験, 日本の教育と世界の教育, 講師, 新潟西高等学校, 新潟西高等学校 2 学年 40 名, 新潟市, 2022.10.18.
- 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行に向けて, 2022.6.25. 【囲み記事】
  2. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行, 2022.8.18.
  3. 新聞, 新潟日報, 休日部活動 どう対応?, 2022.9.17.
  4. 新聞, 北海道新聞, 組織統治 問われる実効性「専任代理店方式」排除せず, 2022.2.11.
  5. 雑誌, 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2022-23, 介護専門科コラム・介護事業所レポート, 2022.9.30.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
  2. 総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
  3. J1 アルビレックス新潟, コンプライアンス委員会, 委員, 2022.4.1-2023.3.31.
  4. 日本対がん協会リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた, がん征圧がん患者支援活動, 副実行委員長, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
  5. 新潟はっぴー乳ライフ, 乳がん検診の啓発, 委員, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
  6. 新潟市動物愛護協会ねこ委員会, 猫の殺処分ゼロに向けた各種啓発活動, 委員, 新潟市, 2022.4.1-2023.3.31.
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018 年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究代表者
  2. 2019 年度, 科研費基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
  3. 2021 年度, 科研費基盤研究 (B), 北欧諸国における教科書の中の多様性 (ダイバーシティ) の実相に関する研究, 研究分担者
  4. 2018 年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
  5. 2018 年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援する VR 映像プラットフォームの構築, 研究分担者
  6. 2019 年度, 科研費基盤研究 (B), VR 技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
  7. 2021 年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者
  8. 2022 年度, 科研費基盤研究 (C), プロスポーツにおける CSV 経営の普及に向けた包括的研究, 研究代表者
  9. 2022 年度, 科研費基盤研究 (C), 比較教育研究における ISCED 活用の可能性 - 日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者
8. その他の活動
- 1) 2024 年度からの北区と連携した「シティズンシップ教育入門」の実践内容に関する検討
  - 2) 全能連マネジメント・アワード 2022. アカデミックフェロー・オブ・ザ・イヤー受賞

(5) スポーツカウンセリング研究センター  
報告事項なし

(6) アスリートサポート研究センター (Athlete Support Research Center)

①研究テーマ

1. 本学強化クラブにおける外傷・障害状況調査とデータベース構築
2. 本学女子強化クラブ選手の障害, 栄養, 睡眠状況, 貧血調査とサポート体制の構築
3. 第5中足骨骨折予防のための超音波検診
4. 脳震盪の病態解明と発症予防に関する研究
5. 前十靭帯発症予防の積極的介入研究
6. 新潟医療福祉大学, 新潟リハビリテーション病院, NSGの3者連携プロジェクト (栄養サポート)
7. スポーツ庁研究事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」
8. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」

②センター名簿

- センター長 : 大森 豪, 健康スポーツ学科, 教授  
副センター長 : 江玉睦明, 理学療法学科, 教授  
研究員 : 稲葉洋美, 健康栄養学科, 教授  
研究員 : 埴 晴雄, 臨床技術学科, 教授  
研究員 : 菊元孝則, 理学療法学科, 講師  
研究員 : 熊崎 昌, 健康スポーツ学科, 講師  
研究員 : 三瀬貴生, 健康スポーツ学科, 講師  
研究員 : 松浦由生子, 健康スポーツ学科, 講師  
研究員 : 平林 怜, 理学療法学科, 講師  
研究員 : 星野美美, 健康栄養学科, 講師  
研究員 : 横田裕丈, 理学療法学科, 助教  
研究員 : 関根千恵, 理学療法学科, 助教  
研究員 : 阿久澤弘, 理学療法学科, 助教  
研究員 : 石垣智恒, 理学療法学科, 助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 大森豪, ナーシンググラフィカ, 第7版, 大阪:メディカ出版;2023年:296-297.
2. 江玉睦明 (分担). アスレティックトレーナー専門科目テキスト4リコンディショニング「第4章リコンディショニングに必要な組織修復, 治癒過程の知識」: 文光堂;2022年:50-57.
3. 菊元孝則, 金岡恒治, 小林匠, 蒲田和芳. オーバーヘッドスポーツの肩関節疾患治療の科学的基礎. 第1版. 愛知県:株式会社ともあ;2023年:178-185.
4. 三瀬貴生; 砂川憲彦 編. 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応:泳動作, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第2巻, 文光堂, 2022, 352-359.
5. 三瀬貴生; 小林寛和 編. 筋・筋膜性腰痛後, 腰椎椎間板ヘルニア後, 腰椎分離症後2:体幹の可動性獲得を目的として, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻, 文光堂, 2022, 144-151.
6. 三瀬貴生; 小林寛和 編. スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング:泳動作, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻, 文光堂, 2022, 292-298.
7. 石垣智恒, 越野裕太;三木貴弘編. 卒後5年までにマスターすべき運動器障害理学療法(下肢・腰部). 1版. 日本:メジカルビュー社;2022年:150-155.
8. 熊崎昌 (分担執筆). アスレティックトレーナー専門科目テキスト第2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防. 第1版. 東京:文光堂;2022年:142-145.
9. 熊崎昌 (分担執筆). アスレティックトレーナー専門科目テキスト第5巻 救急対応. 第1版. 東京:

文光堂；2022年：82-89.

## 2. 論文

1. Sato A, Sato S, Omori G, Koshinaka K. Effects of Thiamin Restriction on Exercise-Associated Glycogen Metabolism and AMPK Activation Level in Skeletal Muscle. *Nutrients*, 2022; 14(3): 710-724. (査読あり)
2. Edama M, Otsuki T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. *Sci Rep (JCR)*. 2022 May 27; 12(1): 8923. (査読あり)
3. Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between Changes in Foot Arch and Sex Differences during the Menstrual Cycle. *Int J Environ Res Public Health (JCR)*. 2022 Dec 28; 20(1): 509. (査読あり)
4. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo K. Differences in the coordination and its variability among foot joints during running in neutral foot and flatfoot. *Scand J Med Sci Sports (JCR)*. 2023 Mar; 33(3): 235-245. (査読あり)
5. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Tokunaga Y, Kubo M. Influence of sex and knee joint rotation on patellofemoral joint stress. *Acta of Bioengineering and Biomechanics (JCR)*. 2022.11 [accepted].
6. Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Watanabe S, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Platelet polyphosphate and energy metabolism in professional male athletes (soccer players): A cross-sectional pilot study. *Physiological Reports* 2022; 10e15409, DOI: 10.14814/phy2.15409. (査読あり)
7. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study, *Healthcare*, 10, 663, 2022 (査読あり)
8. Kikumoto T, Suzuki S, Takabayashi T, Kubo M. Center of Pressure Deviation during Posture Transition in Athletes with Chronic Ankle Instability. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2023; 20(8): 5506. (査読あり)
9. Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. *Clinical Biomechanics (JCR)*. 2023; 104: 105942. (査読あり)
10. Yamada Y, Hirabayashi R, Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: Focusing on occlusal strength and balance. *Health Sci Rep (JCR)*. 2023 Feb 4; 6(2): e1098. (review)
11. Uchiyama I, Edama M, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical Study of Sites and Surface Area of the Attachment Region of Tibial Posterior Tendon Attachment. *Int J Environ Res Public Health (JCR)*. 2022 Dec 8; 19(24): 16510. (review)
12. Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space with differences in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. *Journal of shoulder and elbow surgery* 31(10) 2011-2016 2022 (査読あり)
13. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual Cycle Changes Joint Laxity in Females-Differences between

- Eumenorrhoea and Oligomenorrhoea. *Journal of clinical medicine* 11(11) 2022 (査読あり)
14. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee Laxity in the Menstrual Cycle after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: A Case Series. *International journal of environmental research and public health* 20(3) 2023 (査読あり)
  15. Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate Effects of Stabilization Exercises on Trunk Muscle Activity during Jump Header Shooting: A Pilot Study. *Healthcare (Switzerland)(JCR)*. 2022; 10(7). (査読あり)
  16. Matsuura Y, Matsunaga N, Akuzawa H, Kojima T, Oshikawa T, Iizuka S, Okuno K, Kaneoka K: 2022.9, 「Difference in muscle synergies of the butterfly technique with and without swimmer's shoulder」, *Scientific Reports*, 2022; 12, Article number: 14546: p.1-9 (査読あり)
  17. Oshikawa T, Adachi G, Akuzawa H, Okubo Y, Kaneoka K. The Influence of Anticipation of Movement Starting Time on Feedforward Activation of Trunk Muscles During Rapid Shoulder Joint Movements, *Journal of Human Kinetics*, 2022; 84(1): 43-52. (査読あり)
  18. Murofushi K, Oshikawa T, Kaneoka K, Akuzawa H, Yamaguchi D, Mitomo S, Furuya H, Hirohata K, Yagishita K. Differences in trunk and lower extremity muscle activity during squatting exercise with and without hammer swing, *Scientific Reports*, 2022; 12(1). (査読あり)
  19. Morito T, Akuzawa H, Okubo Y, Adachi G, Oshikawa T, Kaneoka K. Comparison of abdominal muscle activity with various verbal instructions and onset activity analysis during draw-in maneuver, *Journal of Exercise Rehabilitation*, 2022; 18(4): 264-271. (査読あり)
  20. Murofushi K, Oshikawa T, Akuzawa H, Yamaguchi D, Hirohata K, Furuya H, Mitomo S, Kaneoka K, Yagishita K. Trunk muscle activation in side plank exercises with and without external-focus instruction, *Isokinetics and Exercise Science*, 2023; 31(1): 29-36. (査読あり)
  21. Ishigaki T, Hirokawa M, Ezawa Y, Yamanaka M. Relationship Between Posterior Shoulder Tightness and Lower-Limb Flexibility in College Baseball Players. *Journal of Sport Rehabilitation (JCR)*. (review) (in press)
  22. Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between Joint and Ligament Structures of the Subtalar Joint and Degeneration of the Subtalar Articular Facet. *International journal of environmental research and public health (JCR)*. 2023; 20(4) (review)
  23. 富山泰行, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉, 谷藤理, 望月友晴. スポーツ選手に対する Cannulated Cancellous Screw による膝蓋骨疲労骨折の治療経験. *日本臨床スポーツ医学会誌*, 2023; 31(1): 180-186. (査読あり)
  24. 三瀬貴生. 体幹における胸郭のバイオメカニクス, *臨床スポーツ医学*, 39(10), 1024-1028, 2022. (総説)
  25. 三瀬貴生. 泳動作, *臨床スポーツ医学*, 40(2), 172-176, 2023. (総説)
  26. 鈴木雄太, 奥田鉄人, 三瀬貴生, 國分裕一, 栗木明裕, 高山弘幹, 前田慶明, 浦辺幸夫. ジュニア競泳選手の柔軟性および関節弛緩性の年代による違い, *日本臨床スポーツ医学会誌 (協力学術団体)*, 31(1), 122-129, 2023. (査読あり)
  27. 松村優輝, 三瀬貴生, 渡辺輝也. バレーボールにおけるアタック動作の習得過程に関する縦断的検討—12年間の競技経験をもつ1名の女性アタッカーを対象として—, *スポーツ運動学研究 (協力学術団体)*, 35, 39-58, 2022. (査読あり)
  28. 平林愴, 江玉睦明, 大西秀明. 脳刺激と末梢刺激のニューロモデュレーション: 高齢者の脊髄機能と関節運動による検討. *大和ヘルス財団研究誌 (印刷中)*
  29. 平林愴, 江玉睦明, 大西秀明. 噛みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証.

デサントスポーツ科学 Vol.43 (印刷中)

30. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 江玉睦明. 陸上トラック競技選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 理学療法科学, 2022; 37(5): 495-499. (査読あり)
31. 金岡恒治, 松浦由生子, 松永直人, 押川智貴: 医工連携と腰痛 アスリートの腰痛と筋協調性の関連 - モーターコントロールエクササイズの開発・普及に向けて. 2022; 脊椎脊髄ジャーナル. 35(5), 333頁-341頁 (査読あり)
32. 石垣智恒, 松本尚, 山中正紀. 肩関節疾患患者の理学療法におけるエビデンスの作り方 (株式会社メディカルプレス), 2022年; 39(9): 802-809 (解説)

### 3. 報告書

1. 江玉睦明. 挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発研究成果課題, 2021-2022, 研究代表者.
2. 久保雅義, 高林知也, 須田裕紀, 江玉睦明. 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究分担者.
3. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 大森豪. 科研費 研究基盤 (C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 報告書, 2022-2025, 研究代表者
4. 平林愴. 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者
5. 阿久澤弘. 科研費若手, 新しい視点の動作解析によるシンスプリントのリスクファクター検証, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究代表者

### 4. 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 高林知也. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. JOSKAS-JOSSM2022 (札幌), 2022.6.16-6.18.
2. 江玉睦明, 高林知也. 後脛骨筋腱の付着部位及び領域の検討. JOSKAS-JOSSM2022 (札幌), 2022.6.16-6.18.
3. 江玉睦明, 高林知也. 後脛骨筋腱の付着部位及び領域の検討. 第47回日本足の外科学会 (愛媛), 2022.11.3-11.4.
4. 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舍川真侑, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
5. 舍川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
6. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. 内側広筋の出力低下が膝蓋大腿関節ストレスに与える影響 - 数理モデルを用いたシミュレーションによる検討 -. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
7. 大森豪. スポーツ外傷・障害のメカニズムと学校での対応. 令和4年度新潟県養護教員研究協議会 (新潟市, 日本), 2022.8.4. 【特別講演】
8. 大森豪. 地方におけるスポーツ医学活動の取り組み, 奈良県医師会スポーツ医学部会講演会 (橿原市, 日本), 2022.12.24. 【教育研修講演】
9. 大森豪. スポーツにおける疲労骨折の診断と治療 - ESWTの有用性 - 集束型, 新潟県AT部会北信越ブロック研究会 (新潟市, 日本), 2023.2.26. 【特別講演】
10. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kseniia Potapova, Marina Rzuiankina, Ishigami K. Comparison of the health status of 15-year-old schoolchildren in Khabarovsk and Niigata city in the context of the coronavirus pandemic, 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
11. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Shibuya R, Tsurumaki Y, Watanabe N, Kaiwa M, Ishigami K.



- Thoughts about Body Shape and Eating Habits Influencing Adolescents' Body Perception Using the Health Behavior of School-age Children Questionnaire in Niigata Prefecture, Japan, 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo, Yokohama, Tokyo, 2022.12.6-12.9.
12. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes, 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama, 2022.8.19-8.21.
  13. 埜晴雄, 江玉睦明 他. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏の検討. 新潟医療福祉学会 (新潟), 2022.10.29.
  14. Kikumoto T, Takabayashi T, Kubo M. COP deviation during double leg stance to single leg stance in athletes with chronic ankle instability. International Ankle Symposium 2022 (Osaka), 2022.10.29-10.30.
  15. 菊元孝則, 小林真里奈, 高林知也, 久保雅義. 片脚着地における慢性足関節不安定症例とcoper例との膝関節運動戦略の相違. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (東京都), 2022.12.10-12.11.
  16. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 小林真里奈, 若月弘久, 大森豪. バスケットボール選手の片脚着地時における足長に対するCOP軌跡の検証. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  17. 菊元孝則, 水谷準, 松田孝史, 八子元気, 宮坂大, 岡田洋和, 近良明. バスケットボール選手に対する大規模アンケートによる慢性足関節不安定症の実態調査. 第77回日本体力医学会大会 (オンライン開催), 2022.9.21-9.23.
  18. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  19. 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 毛利早希. 若年競泳選手における身体特性の経時的変化—年間身長増加量の違いによる比較—. 第24回水と健康医学研究会 (東京都), 2022.6.2.
  20. 川本光希, 三瀬貴生. 大学サッカー選手における手指関節の運動制限がパフォーマンスに及ぼす影響. 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (つくば市, オンライン), 2022.7.
  21. 三瀬貴生, 松浦由生子, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 熊崎昌, 江玉睦明, 大森豪. 成長期競泳選手におけるScapular Dyskinesia保有者の特性—身体成熟度による比較—. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (札幌市), 2022.11.12.
  22. 山城昌一郎, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. 成人男性競泳選手における競泳スタート様式の違いがキックスタートパフォーマンスに及ぼす影響. 日本水泳水中運動学会 2022年次大会 (東京都), 2022.10.8.
  23. 平林愴, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 江玉睦明. 咬合による三叉神経入力の中樞機能に及ぼす影響: 瞳孔径と脊髄機能で検討. 第77回日本体力医学会大会 (Web), 2022.9.21-9.23.
  24. 平林愴, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舍川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web), 2022.11.19-11.20.
  25. 平林愴, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右の咬合圧バランスが青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本スポーツ歯科医学会学術大会 (東京都), 2022.12.3-12.4.
  26. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.
  27. 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会 (北海道), 2022.

28. 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林愴, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舍川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  29. 山本真由, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 難易度の異なる Stabilization Exercise における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  30. 鈴木千花子, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌市), 2022.11.12-11.13.
  31. 松浦由生子. 「水泳競技における Injury prevention」. 第9回スポーツ理学療法学会学術大会 (東京・日本), 2022.12.10. 【シンポジウム】
  32. 松浦由生子. 「トップアスリート育成に関する IPW」. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (オンライン), 2022.11.13. 【シンポジウム】
  33. 松浦由生子. 「水泳におけるスポーツ障害予防」. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道・日本), 2022.11.13. 【シンポジウム】
  34. 松浦由生子, 松永直人, 阿久澤弘, 大森豪, 金岡恒治. エリート競泳選手のクロール泳時の筋シナジー解析 スイマーズショルダーの有無による違い有無による違い. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道・日本), 2022.11.12.
  35. Matsuura Y. 「Swimmer's shoulder」. XIVth Symposium for Biomechanics & Medicine in Swimming (オンライン・ドイツ), 2022.9.22. 【シンポジウム】
  36. 松浦由生子, 松永直人, 阿久澤弘, 小島毅, 奥野景介, 金岡恒治. エリート競泳選手のクロール泳と背泳ぎ泳の筋シナジー～スイマーズショルダーの有無による比較～. 日本水泳・水中運動学会2022年次大会 (東京・日本) (2022.10.9)
  37. 阿久澤弘, 熊井司, 金岡恒治. 歩行動作における足部内在筋の機能検証, 第47回日本足の外科学会 (松山), 2022.11.3-11.4.
  38. 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 金岡恒治. Short Foot Exercise と足趾運動時の足部内在筋, 外在筋筋活動比較, 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (札幌), 2022.11.12-11.13.
  39. 石垣智恒, 山中正紀, 江玉睦明, 大森豪. 健常大学野球選手における肩後方タイトネスと下肢柔軟性との関連, 日本臨床スポーツ医学会・第33回学術集会 (札幌市), 2022.11.11-11.12.
  40. 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 江玉睦明, 菊元孝則, 平林愴, 大森豪. 大学運動部活動を対象とした脳振盪ベースライン測定の実施. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道), 2022.11.11-11.13.
5. 学会活動
1. 第9回日本スポーツ理学療法学会, シンポジウム, 座長, 東京, 2022.12.10-12.11. (江玉)
  2. 第10回新潟スポーツ傷害フォーラム, 教育講演, 座長, 新潟市, 2022.10.29. (大森)
  3. 第33回日本臨床スポーツ医学会, シンポジウム, 座長, 札幌市, 2022.11.12-11.13. (大森)
  4. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員, 総務委員会委員 (大森)
  5. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員 (大森)
  6. 日本整形外科スポーツ医学会, 学会誌査読委員 (大森)
  7. Journal of Foot and Ankle Research, 査読 (菊元)
  8. 日本アスレティックトレーニング学会誌 (協力学術研究団体), 査読 (三瀬)
  9. 日本アスレティックトレーニング学会誌 (協力学術研究団体), 査読 (三瀬)
  10. 日本アスレティックトレーニング学会, 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会実行委員, 会場担当, つくば市, 2021.11-2022.7. (三瀬)

11. Experimental Brain Research, 査読 (平林)
  12. Scientific Reports, 査読 (平林)
  13. European Journal of Neuroscience, 査読 (平林)
  14. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読 (平林)
  15. 第27回日本基礎理学療法学会 一般演題, 座長, 大阪市, 2022.10.1. (関根)
  16. 第2回新潟県リハビリテーション専門職学会 一般演題, 座長, 新潟市, 2022.12.10. (関根)
  17. 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読 (関根)
  18. 日本スポーツ理学療法学会 機関紙学術編集委員会, 編集・査読委員, 査読依頼, 2022.7-現在 (阿久澤)
  19. 日本スポーツ理学療法学会 協力学術研究団体申請検討委員会, 日本学術会議協力学術団体申請, 機関紙の発刊状況報告, 2022.9-現在 (阿久澤)
  20. Journal of Athletic Training, 査読 (石垣)
  21. The Physician and Sportsmedicine, 査読 (石垣)
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 第13回名古屋ATミーティング, 『アスレティックトレーナーに必要な足部・足関節の基礎知識』, 講師, アスレティックトレーナー・理学療法士, WEB開催, 2022.5.15. (江玉)
    2. 令和4年度スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」合同キックオフシンポジウム, 講師, r立命館大学, 医師・理学療法士・監督・コーチ・選手, Web開催, 2022.8.29. (江玉)
    3. 第一三株式会社主催 Sports medicine web seminar 基調講演「足部・足関節の解剖学～後足部の謎～」, 講師, 理学療法士・医師, WEB開催, 2022.12.20. (江玉)
    4. 山梨県理学療法士会主催第75回スポーツ理学療法勉強会「足関節の機能解剖とリハビリテーションの実際」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.2.18. (江玉)
    5. 2022年度新潟県スポーツ協会AT部会総会, スポーツにおける疲労骨折の診断と治療－ESWTの有用性. 講師 (基調講演), 新潟県スポーツ協会AT部会, 新潟県のアスレティックトレーナー (AT), 新潟市, 2022.6.3. (大森)
    6. 2022年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会 (新潟市中体連部活指導者研修会), 成長期のスポーツ傷害－成長痛, 講師, 新潟スポーツ傷害フォーラム, 中学校部活指導者, 新潟市, 2022.7.29. (大森)
    7. 令和4年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会, 中高年者と運動 (整形外科系), 講師, 日本スポーツ協会, スポーツドクター, 東京都, 2022.10.8. (大森)
    8. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定, 栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟ガールズ選手と保護者, オンライン, 2023.3.24. (稲葉)
    9. 女性アスリート支援プロジェクト (スポーツ庁), フィードバックセミナー, 講師, 女性アスリート, 講師, オンライン, 2023.3.1. (稲葉)
    10. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育, 部活動指導者, 新潟市, 2022.7.29. (大森, 埴, 菊元)
    11. Sports Science Workshop, Sports Biomechanics, 講師, University of Santo Tomas, University of Santo Tomas College of Rehabilitation Sciences students, オンライン開催, 2022.7.13. (菊元)
    12. 新潟県バスケットボール協会セミナー, スポーツ医科学委員会オンライン研修会, 講師, 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, バスケットボール指導者, オンライン開催, 2022.4.6. (菊元)
    13. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市,

2022.9.17. (平林)

14. 徒手療法と運動学習についてのセミナー, 講師, 小田原市立病院, 理学療法士, 2022.7.22. (横田)
15. 迷走神経刺激による自律神経活動変化と臨床への応用, 講師, 一般社団法人 日本アレルギーリハビリテーション協会, 医療従事者, オンライン, 2023.1.23. (横田)
16. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 部活動指導者に知ってもらいたいアタマの怪我とその対応, 講師, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育・部活動指導者, 新潟県新潟市, 2022.7.29. (熊崎)
17. 第3回日本スポーツ外傷・障害予防研究会, アスリートのアタマを守る, 講師, 一般社団法人日本スポーツ外傷・障害予防協会, アスレティックトレーナーおよび医療従事者, 新潟県新潟市, 2022.12.18. (熊崎)

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. Webサイト, PRTIME, 「【新潟医療福祉大学だから成し得た, 女性アスリートへの支援体制】アスリートサポート研究センター大森豪教授と江玉陸明教授が, 令和4年度スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」に採択!」2022.8.5. (江玉)
2. Webサイト, 新潟日報, 「女性アスリートの健康, 新潟医療福祉大学がサポート 学外でも検診実施, 提携病院に専門外来開設」2023.2.14. (江玉)
3. ヘルスケアレストラン, スポーツ栄養の実践から健康寿命の延伸へ, 2023, 3月号 (稲葉)

3) 社会活動への参加協力

1. 第67回 秩父宮妃賜杯全日本女子バレーボール大学選手権大会, 東京都, メディカルサポート, 2022.11.29-12.2. (江玉)
2. 第53回春季北信越大学女子バレーボール選手権大会, 福井県, メディカルサポート, 2022.5.21-5.22. (江玉)
3. 第70回春季北信越女子大学バレーボール選手権大会, 福井県, メディカルサポート, 2022.10.29-10.30. (江玉)
4. 新潟市陸上競技連盟, 新潟ハーフマラソン, 会場医師, 新潟市, 2023.2.19. (大森, 埜)
5. 日本スポーツ協会, 栃木国体ドクターズミーティング, 新潟県選手団医師として参加, オンライン開催, 2022.9.17. (大森)
6. 一般財団法人新潟陸上競技協会, 競技会の救護支援, 医科学部長, 新潟, 2022.4-2023.3. (埜)
7. Denka Athletics Challenge Cup, 救護, 新潟市, 2022.10.1-10.2. (埜)
8. 日本スポーツ理学療法学会国際委員会 国際認定資格検討部会, 部会長, 新潟市など, 2022.7.12-2023.3.31. (菊元)
9. 一般財団法人 新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市など, 2022.4.1-2023.3.31. (菊元)
10. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, メディカルサポート, アスレティックトレーナー, 胎内市など, 2022.4.1-2023.3.31. (菊元)
11. 競泳・京都代表チームの国体合宿帯同, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.9.8-9.11. (三瀬)
12. 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体 競泳・京都代表チームの大会帯同, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.9.15-9.19. (三瀬)
13. 競泳・京都ジュニア合宿におけるトレーニング指導, アスレティックトレーナー, 京都水泳協会, 2022.12.4. (三瀬)
14. アクシーひがしスイミングスクールにおけるフィットネスチェック, アスレティックトレーナー, 株式会社アクアシガータ, 2022.10.8. (三瀬)
15. アクシーひがしスイミングスクールにおけるパフォーマンス分析, アスレティックトレーナー, 株式会社アクアシガータ, 2022.11.23. (三瀬)

16. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習の動画教材作成, アスレティックトレーナー, 日本スポーツ協会, 2023.1-4. (三瀬)
  17. アクシーひがしスイミングスクール, ドライランドトレーニング指導, 新潟市, 2022.4-2023.3. (三瀬)
  18. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2022.9.17. (平林)
  19. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント北信越大会, 新潟市, 2022.7.3. (平林)
  20. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント, 宮城県, 2022.6.13-6.25. (平林)
  21. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第71回全日本大学サッカー選手権大会, 東京都, 2022.12.8-2023.1.1. (平林)
  22. 陸上競技部, 2022日本学生陸上競技個人選手権大会, メディカルトレーナー, 神奈川, 2022.4.14-4.17. (横田)
  23. 陸上競技部, 天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会, メディカルトレーナー, 埼玉, 2022.8.8-8.11. (横田)
  24. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会, 茨城県, 2022.6.1. (平林)
  25. 19th FINA World Championships, トレーナー, ブダペスト, 2022.6.17-6.30. (松浦)
  26. 日本ラグビーフットボール協会, 第3回TIDユースキャンプ, トレーナー, 大阪府堺市J-Green堺, 2022.9.9-9.11. (熊崎)
  27. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17北信越ブロックトライアウト帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2022.6.24-6.26. (熊崎)
  28. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17コベルコカップ北信越代表チーム帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2022.7.28-7.31. (熊崎)
  29. 新潟工業高校ラグビー部, 北信越大会における大会帯同, トレーナー, 長野県菅平高原, 2022.6.17-6.19. (熊崎)
7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
1. 2022年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト(女性アスリートの課題解決型実践プログラム)」, 産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成, 研究代表者・分担者. (大森, 江玉)
  2. 2022年度, 科研費 研究基盤 (C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 研究代表者 (菊元)
  3. 2022年度, 公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 膝関節伸展位固定を用いた運動連鎖の遮断による慢性足関節不安定症の新たな評価手法の開発, 研究代表者 (菊元)
  4. 2020年度-2022年度, 科学研究費助成事業 若手研究, 「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」, (三瀬)
  5. 2022-2024年度, 基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究代表者 (平林)
  6. 2022年度, 武田科学振興財団 医学系研究助成, 経頭蓋直流電流刺激 (tDCS) と経皮的迷走神経刺激 (tVNS) の同時適用による革新的な慢性疼痛治療法の開発, 研究代表者. (横田)
  7. 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 研究代表者 (関根)
  8. 2020年度, 若手研究, 研究代表者, 競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明, 研究代表者 (松浦)
  9. 2020年度, 若手研究, 腱の温度上昇に着目した腱障害発症メカニズムの解明, 研究代表者 (石垣)

10. 2020年度, 科研費若手研究, 衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発(研究代表者)(熊崎)

8. その他の活動

- 1) メディカルサポートによるアスリート支援: 男子バスケットボール部, 女子バスケットボール部(菊元)  
火曜日(16時30分~19時30分)  
木曜日(16時30分~19時30分)  
金曜日(16時30分~19時30分)
- 2) 競技会の帯同によるメディカルサポート  
対象: 本学の男子バスケットボール部員, 女子バスケットボール部員(菊元)
- 3) 本学水泳部のサポート(松浦)
- 4) 女子サッカー部のメディカルサポート(水曜日)(阿久澤)
- 5) テニス部, 卓球部のメディカルサポート(火曜日, 水曜日)(石垣)
- 6) 女子バレー部のメディカルサポート(江玉)
- 7) 男子サッカー部のメディカルサポート(平林)
- 8) 陸上部のメディカルサポート(横田, 関根)

(7) 身体教育研究センター(Physical Education Research Center)

①研究テーマ

1. ヒトを対象とした運動発達・身体能力向上, 身体教育に関する研究

②センター名簿

センター長 : 西原康行  
副センター長: 佐近慎平  
研究員 : 杉崎弘周  
研究員 : 鶴瀬亮一  
研究員 : 高田大輔

③主な活動内容

1. 論文

1. Nishihara Y, Uchiyama W. Characteristics and Differences in the Verbal Responses of Expert and Novice Basketball Coaches Elicited by Cognition of Fixed Camera Images and VR Images. International Journal of Sport and Health Science (協力学術研究団体). 2022, 20: 181-192. (review)
2. Nagaoka T, Okayama M, Sugisaki K. Impact of cancer education class for cancer awareness and knowledge among Japanese junior high school students. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 22(1): 51-62. (review)
3. 杉崎弘周. がん教育. 令和4年度版 学校保健の動向. 東京: 公益財団法人日本学校保健会. 2022年: 181.
4. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 金子勝司. 幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成. 自由時間研究. 2023; 48: 13-18.
5. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 佐近慎平. 健康体操教室の参加者と行うニュースポーツのアレンジの研究~活動を通じたコミュニティの醸成~. 自由時間研究. 2023; 48: 35-45.
6. 中曽根裕, 金子勝司, 本多理紗, 橋浦孝明, 佐近慎平. 幼児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツに親しむ資質に与える影響~保育者志望学生の身体的有能さの認知に着目して~. 自由時間研究. 2023; 48: 54-63.

2. 報告書

1. 生田孝至, 姫野完治, 西原康行. 基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 2018-2022, 研究分担者
  2. 佐近慎平, 西原康行, 杉崎弘周, 市川浩. 研究基盤 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者
  3. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者
  4. 佐近慎平. 2022年度村上市幼児の体力向上事業報告書. 2023.3.31.
  5. 佐近慎平. 2022年度新発田市パラスポーツ出前講座実施報告書. 2023.3.31.
3. 学会等研究発表
1. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. 21th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2022.8.20-8.21.
  2. Nishihara Y. What are the competencies of PE teachers and coaches in Japan?. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2022.9.10. 【教育講演】
  3. 西原康行. 新しい地域スポーツ活動とは: スポーツ庁部 活動の地域移行の骨子, 第12回地域スポーツフォーラム研究集会 (新潟: 長岡市), 2022.10.15. 【シンポジウム】
  4. 西原康行. トップアスリート育成に関するIPW. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会 (新潟: 新潟医療福祉大学 (オンライン)), 2022.11.13. 【シンポジウム】
  5. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士, 金子勝司. 幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び環境の構成要素の研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.
  6. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平. 積雪期おける健康体操教室の継続要因の検証 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.
  7. 鵜瀬亮一, 内山渉, 大矢真史, 西原康行. VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球コーチの力量の顕在化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン開催), 2022.10.29.
  8. 大室康平, 鵜瀬亮一. 入団・卒団のアンケートからみた野球部員の期待と学び. 日本コーチング学会第34回学会大会. 2023.3.1.
  9. 高田大輔, 菅原智昭, 針谷美智子. 小学校体育授業における児童の思考を促す学習指導に関する事例的検討. 新潟県体育学会令和4年度大会 (新潟市, オンライン), 2022.10.29.
  10. 高田大輔, 三本雄樹. 小学校6年生「マット運動」における運動感覚に焦点をあてた授業研究. 第26回体育授業研究会新潟大会 (新潟市, オンライン), 2022.8.18-8.20.
  11. 高田大輔, 井上明人. 体育科の見方・考え方を追究する「ベースボール型ゲーム:セレクトベースボール」. 令和4年度体育授業研究会冬の研修会 (東京), 2022.12.24.
4. 学会活動
1. 日本スポーツ心理学会, 第49回大会, 実行委員, 新潟市, 2022.9.30-10.2.
  2. 日本保健科教育学会, 第6回研究大会, 実行委員, 東京都品川区, 2022.12.4.
  3. 公益財団法人日本レクリエーション協会, 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議, 特任幹事, 姫路, 2022.9.18.
  4. 体育授業研究会, 第26回体育授業研究会新潟大会, 副実行委員長, 2022.8.18-8.20.
  5. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
  6. 体育学研究 査読委員
  7. 日本教育工学会論文誌 査読委員
  8. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員

9. スポーツ産業学研究 査読委員
  10. Educational Technology Research, Peer Reviewer
  11. ECNSI Journal of Education, Editorial Board
  12. 日本体育・スポーツ・健康学会, 体育学研究, 編集委員
  13. 日本教育保健学会, 日本教育保健学会年報, 編集委員
  14. 新潟県体育学会, 会報にいがた, 編集担当
  15. 日本保健科教育学会, 保健科教育研究, 査読
  16. 日本教育保健学会, 日本教育保健学会誌, 査読
  17. 新潟県体育学会, 新潟体育学研究, 査読
  18. 新潟医療福祉学会, 新潟医療福祉学会誌, 査読
  19. 日本スポーツ心理学会, スポーツ心理学研究, 査読
  20. SAGE Open, 査読
  21. Health Education Journal, 査読
  22. PEDIATRICS INTERNATIONAL, 査読
  23. 大学体育スポーツ学研究, 編集委員
  24. 大学体育スポーツ学研究, 査読
5. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2022.4.16.
    2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2021.6.30.
    3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.7.16-7.17.
    4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.8.20-8.21.
    5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.9.2-9.3.
    6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2022.9.10-9.11.
    7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2022.9.17.
    8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2022.10.21.
    9. 保健教育実践講座, 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2022.6.27.
    10. 保健教育実践講座, 保健教育における主体的・対話的で深い学び, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2022.9.22.
    11. がん教育実践校授業実践会議, 学習指導要領を踏まえたがん教育の進め方, 研修会講師, 北海道教育委員会, 受講者, オンライン, 2022.9.30.
    12. がん教育指導者・外部講師研修会, がん教育の研究と実践, 研修会講師, 山形県教育委員会, 受講者, オンライン, 2022.10.4.
    13. 養護教諭研修会, 学校における保健教育の在り方, 研修会講師, 新潟市教育委員会, 受講者, 新潟市総合教育センター, 2022.10.28.
    14. 健康講話, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 三条市瑞穂学園, 児童生徒, 三条市立本成寺中学校, 2022.10.31.
    15. がん教育に関する研修会, がん教育の授業実践について, 研修会講師, 兵庫県教育委員会, 受講者, 兵庫県民会館, 2022.12.7.
    16. がん教育指導者研修会, 小・中・高校におけるがん教育実践のための要点解説, 研修会講師, 新潟



- 県教育委員会，受講者，見附市文化ホール，受講者，2022.12.9.
17. 兵庫県がん教育研究発表会，がん教育シンポジウム，シンポジウムコーディネーター，兵庫県教育委員会，受講者，神戸市教育会館，2023.2.3.
  18. がん教育講演会，がんについて知ろう，研修会講師，新潟市立高志中等教育学校，高校生，新潟市，2023.2.22.
  19. 新潟県村上市幼児の体力向上事業 幼児の体力向上事業報告会 講師 新潟県村上市 村上市保育園保育士，総合型スポーツクラブコーチ 村上市生涯学習推進センター 4.28.
  20. 新潟県弥彦村体力向上事業 弥彦保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 弥彦保育園園児，及び保育士 弥彦保育園 6.16，7.12，10.5，12.13. (計4回)
  21. 新潟県弥彦村体力向上事業 二松保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 二松保育園園児，及び保育士 二松保育園 6.24，10.21，11.17，12.20. (計4回)
  22. 新潟県弥彦村体力向上事業 ひかり保育園体育指導 講師 新潟県弥彦村 ひかり保育園園児，及び保育士 ひかり保育園 6.30，10.27，11.24，12.27. (計4回)
  23. 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園体育指導 講師 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園園児，及び保育士 川通りどれみ保育園 12.27.
  24. パラスポーツ出前講座 パラスポーツ出前講座 講師 新発田市 新発田市小中学校 新発田市小中学校 (7校) 10.4，10.11，10.18，11.1.
  25. 令和4年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業 地域専門人材養成研修 講師 新潟県 新潟県民 (保育士，総合型スポーツクラブ等職員) 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 11.13.
  26. 令和4年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業 地域専門人材養成研修成果検討会 アドバイザー 新潟県 新潟県民 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 2.21.
  27. スペシャルオリンピックスナショナルゲームス ユニファイドサッカー全国大会 運営委員 スペシャルオリンピックス日本 日本国民 広島市 11.5-11.6.
  28. 令和4年度2区合同研修会 (運動遊び) 明日から実践できる幼児への楽しさが先導する運動指導方法 講師 新潟市北区東区保育課 北区東区保育園保育士 新潟市 10.25.
  29. 燕市ファミリー・サポートセンター研修会 子供の成長と身体の発達 講師 燕市 燕市民 燕市 9.29.
  30. 鳥屋野地区公民館 令和4年度 幼児期家庭教育学級 講師 新潟市 新潟市民 新潟市 10.1.
  31. 総合学習 パラスポーツ出前講座 講師 木崎小学校 木崎小学校児童 木崎小学校 11.22.
  32. 令和4年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業野球教室，小学生40名・中学生48名，講師，小千谷市，2022.8.6.
  33. 魚沼市野球教室，中学生43名，講師，魚沼市，2022.8.21.
  34. JABA新潟県野球連盟審判部審判員・記録放送員育成研修会，審判員40名参加，試合演者，長岡市，2022.10.30.
  35. 南魚沼市指導者講習会，南魚沼地区指導者15名，講師，南魚沼市，2022.11.3.
  36. 長岡市未経験者野球教室，野球未経験者小学生50名，講師，長岡市ニュータウン公園多目的場，2022.11.12.
  37. 長岡市指導者講習会，長岡地区指導者40名，講師，長岡市ニュータウン公園室内練習場，2022.11.12.
  38. 長岡市野球教室，小学生80名，講師，長岡市ニュータウン公園ソフトボール場，2022.11.12.
  39. 日本スポーツ協会公認コーチ1 (軟式野球) 陽性講習会，指導者34名，講師，ハードオフエコスタジアム，2022.11.26.
  40. 十日町中学校野球指導，十日町中学校部員10名 指導者2名，講師，本学グラウンド，2022.11.27.
  41. 木崎中学校野球指導，木崎中学校野球部員5名 指導者，講師，木崎中学校体育館，2022.12.1.
  42. 木崎中学校野球指導，木崎中学校野球部員5名 指導者，講師，木崎中学校体育館，2022.12.2.
  43. 木崎中学校野球指導，木崎中学校野球部員5名 指導者，講師，木崎中学校体育館，2022.12.6.

44. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5 名 陸上競技部 15 名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.9.
  45. 砺波市内中学生野球教室, 砺波市内中学生 36 名 指導者, 講師, 出町中学校体育館, 2022.12.10.
  46. 砺波市内高校生野球教室, 砺波高校・砺波工業高校部員 23 名 指導者, 講師, 砺波工業高校, 2022.12.10.
  47. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5 名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.15.
  48. 木崎中学校野球指導, 木崎中学校野球部員 5 名 指導者, 講師, 木崎中学校体育館, 2022.12.16.
  49. 柏崎刈羽地区野球協議会講演会, 中学生 68 名 保護者 23 名, 講師, 柏崎総合高校, 2023.1.15.
  50. 柏崎刈羽地区野球協議会野球教室, 中学生 68 名 指導者 30 名, 柏崎総合高校体育館, 2023.1.15.
  51. 中学生野球指導, 中学生(長岡シニア) 8 名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.1.21.
  52. 新発田市指導者講習会, 新発田市指導者 56 名, 講師, 本学室内練習場, 2023.1.28.
  53. 中学生野球指導, 中学生(長岡シニア) 8 名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.4.
  54. 高校生野球指導, 小諸商業高校野球部員 9 名 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.11.
  55. 十日町南中学校野球指導, 十日町南中学校野球部員 14 名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.12.
  56. 小学生野球指導, 長岡市内小学生 15 名 指導者, 講師, 本学室内練習場, 2023.2.12.
  57. 小学生野球指導, 新潟市小学生 20 名, 講師, 新潟市こども創作活動館, 2023.2.17.
  58. 高校生野球指導, 延岡学園高校野球部員 12 名 指導者 2 名, 講師, 西階総合運動公園野球場, 2023.2.26.
  59. 高校生野球指導, 砺波工業高校野球部員 18 名 指導者 2 名, 講師, 本学野球場, 2023.3.28.
  60. 小学校中堅教諭等資質向上研修 教科指導研修 体育, 運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント, 講師(講義・演習), 福島県教育センター, 小学校教員, 福島市(オンライン), 2022.6.20.
  61. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年におけるゴール型ボール運動の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2022.8.25.
  62. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会, 小中交流レクリエーション活動, 講師(指導), 弥彦村立弥彦中学校, 児童・生徒, 弥彦村, 2022.9.29.
  63. 地域スポーツ活動指導者育成研修会, スポーツ教育指導法 目標・指導計画・内容・評価の立て方, 講師, 新潟県教育庁保健体育課, 地域のスポーツ指導者, 新潟県(オンデマンド), 2022.10.
  64. 令和4年度指導者プログラム実践研修会(スポーツ庁「地域運動部活動推進事業」), スポーツ教育指導法Ⅰ スポーツの種目特性: 種目特性と指導(教材・教具づくり)のポイント, 講師(講義・演習), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2022.10.11.
  65. 親子で楽しむ運動教室, 身体発達を促す楽しいボール遊び, 講師(実技指導), 新潟市立桜が丘小学校, 児童・保護者, 新潟市, 2022.10.13.
  66. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年におけるゴール型ボール運動(アルティメット系教材)の授業づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2022.11.18.
  67. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2022, 思考力を促す体育の授業づくりーよく考える児童の育成ー, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2022.12.9.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行に向けて, 2022.6.25. 【囲み記事】
  2. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行, 2022.8.18.
  3. 新聞, 新潟日報, 休日部活動 どう対応?, 2022.9.17.
  4. 新聞, 読売新聞(全国誌), 部活動改革と子ども, 2022.10.18.
  5. TV, UX: スーパーJにいがた, 部活動の地域移行の取り組み, 2022.5.10. 【座長取材】

6. TV, NHK: ニュース 610, 新潟県部活動改革委員会, 2022.8.20. 【座長取材】
7. TV, BSN: ゆうナビ, 部活動と教員の働き方改革, 2022.10.11. 【座長取材】
8. TV, NHK: ニュース 610, 部活動改革の取り組み (燕市), 2023.1.21.
9. TV, NHK: イブニング信州, 部活動改革協議会発足 (長野県), 2023.2.22.
10. TV, NST: Newsタッチ, なぜ部活動を地域に, 2022.12.8. 【座長取材】
11. オンライン, @DIME, がん検診受診率と教育歴, 経済状況, がんの家族歴などに関連性, 新潟医療福祉大学研究チーム報告, 2022.4.20.
12. オンライン, DIAMOND online, 子育て世代のがん検診, 受診率が低い「所得・年齢・教育歴」の組み合わせは?, 2022.4.24.
13. オンライン, Care Net, がん検診を受ける人と受けない人の違いは何?—日本の子育て世代での検討, 2022.5.4.
14. 新聞, 新潟日報, 効果的「がん教育」探る, 2022.11.29.
15. 新聞, 毎日新聞 (東北・北関東・長野・山梨版) 強さと楽しさ伝える, 2022.4.1.
16. 雑誌, スタンダード新潟 第2の故郷・新潟へ 甲子園からエールを送る, 2022.春号
17. 新聞, スポーツニッポン新潟版 桐敷・渡辺・椎野・笠原県関連4投手が奮投, 2022.4.5.
18. 新聞, スポーツニッポン新潟版 春季リーグ直前山本選手特集記事, 2022.4.6.
19. 新聞, 新潟日報 新天地でも挑戦続く 本県関係有力選手の進路, 2022.4.6.
20. 新聞, 新潟日報 関甲新リーグ開幕前特集記事, 2022.4.7.
21. 新聞&Web, 日刊スポーツ 新潟医療福祉大・南隼人「防御率のタイトル狙いたい」関甲新学生野球春季1部リーグ, 2022.4.8.
22. 新聞, 新潟日報 新潟医福大が大勝発進, 2022.4.10.
23. Web&新聞, 日刊スポーツ Web版・新潟版【関甲新学生】新潟医療福祉大が1部残留 引退試合の今井颯大3打点「みんなとできて良かった」, 2022.5.9.
24. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大1部残留記事, 2022.5.10.
25. 新聞, 新潟日報 医福大1部残留記事, 2022.5.10.
26. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大 秋巻き返しへチーム内競争で底上げ図る, 2022.5.23.
27. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新人戦開幕3年ぶりの頂点へ, 2022.5.27.
28. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新人戦初戦山梨大勝利に関する記事, 2022.5.30.
29. 新聞, スポーツニッポン新潟版 大久保新主将に関する記事, 2022.6.15.
30. 新聞, スポーツニッポン新潟版 坂井さん夢は「甲子園で主審」, 2022.7.22.
31. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説, 2022.7.24. 東京学館新潟高校×帝京長岡高校
32. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説, 2022.7.26. 中越高校×帝京長岡高校
33. 新聞&Web, 日刊スポーツ 来月3日関甲新学生野球開幕, 2022.8.29.
34. 新聞, スポーツニッポン新潟版 秋季リーグ開幕前特集記事, 2022.8.30.
35. 新聞, 新潟日報 関甲新学生野球秋季L今日開幕, 2022.9.3.
36. Web, 日刊スポーツ NGT48真下華穂 後輩とのいい関係築くための秘けつ学びました, 2022.9.10.
37. 新聞, スポーツニッポン新潟版 2年ぶり新潟開催前特集記事, 2022.9.17.
38. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新潟開催初戦対山梨学院大学戦記事, 2022.9.18.
39. 新聞, スポーツニッポン新潟版 新潟開催対上武大学戦記事, 9.19.
40. 新聞, 新潟日報 秋季リーグ戦新潟開催対上武大学戦記事, 9.19.
41. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<上>, 11.16.
42. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<下>, 11.17.
43. 新聞, 新潟日報 新潟医福大硬式野球部10年 勝利へのプロセス<番外編>, 11.18.

44. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大林独立リーグ富山入り, 2022.12.14.
45. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大大久保主将上武大撃破&タイトル奪取, 2023.1.6.
46. Web, 日刊スポーツ新潟版 日本文理 昨夏甲子園主力3選手, 次の舞台へ頂点へ, 2023.1.9.
47. 新聞, スポーツニッポン新潟版 桐敷「球の質」で初勝利, 2023.1.12.
48. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大出身阪神桐敷先発で初勝利狙う, 2023.1.16.
49. 新聞, スポーツニッポン新潟版 野球部とダンス部共催の野球教室に関する記事, 2023.2.7.
50. 新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大・滝沢フォーム改良で次代のエースに, 2023.2.21.
51. 新聞, スポーツニッポン新潟版 坂井翔太選手ロキテクノ富山内定記事, 2023.2.23.
52. 新聞, スポーツニッポン新潟版 山田監督「選手と一緒に成長できたら」医福大野球部1期生「新潟愛」も人一倍, 2023.2.24.

### 3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
3. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
4. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2022.4.1-2023.3.31.
6. J1アルビレックス新潟, コンプライアンス委員会, 委員, 2022.4.1-2023.3.31.

### 4) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

1. スポーツ庁全国高等学校総合体育大会【インターハイ】実行委員会（監査役）, 新潟県スポーツ推進審議会（会長）, 新潟県スポーツ推進プラン実行会議（委員長）, 新潟県部活動改革委員会（委員長）, 新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会（委員）, 新潟県スポーツ協会（評議員）, 新潟文化・スポーツコミッション（委員長）, 新潟市スポーツ推進審議会（会長）, 新潟市スポーツ推進計画策定会議（委員長）, 新潟シティマラソン事業者選定委員会（委員長）, 新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会（委員長）, 新潟市総合計画策定会議（部会長）, 燕市部活動のあり方委員会（委員長）, 村上市部活動のあり方委員会（委員長）, 見附市部活動のあり方検討委員会（委員長）, 弥彦村部活動あり方検討委員会（委員長）, 長野県部活動改革委員会（部会長）
2. 新発田市立第一中学校学校評議員会（学校評議員）, 胎内市立乙中学校学校運営協議会（委員）, 日本学校保健会児童生徒の健康管理・健康づくり推進委員会（副委員長）, 聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会（委員長）
3. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業（アドバイザー）, 村上市幼児の体力向上事業（アドバイザー）, 弥彦村幼児の体力向上事業（アドバイザー）, 新発田市パラスポーツ出前講座（アドバイザー）
4. 関甲新学生野球連盟（理事）, 新潟県野球協議会（理事）
5. 新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員（研究サポート）

### 5) 職能団体（協会、士会等）の委員

1. 日本スポーツ協会（コーチデベロッパ）, 新潟県スポーツ協会（評議員）, 全国体育系大学連絡会（研究幹事）
2. 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（特任幹事）

### 6. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2018年度, 科研費基盤研究（C）, 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
2. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
3. 2019年度, 科研費基盤研究（B）, VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステ

- ムの開発, 研究代表者
4. 2022年度, 科研費基盤研究 (B), がん教育の発展に関する実証的研究, 研究代表者
  5. 2021年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価, 研究代表者
  6. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 学校医の資源ネットワークマップによる地域・学校保健連携促進モデルの開発, 研究分担者
  7. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 教員の保健・安全の資質・能力育成に関するデジタル学習教材の開発, 研究分担者
  8. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究分担者
  9. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究代表者
  10. 2022年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成, 研究代表者
  11. 2022年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 康体操教室の参加者を行うニュースポーツのアレンジの研究, 研究分担者
  12. 2022年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 児期の運動遊び経験が就学後の運動やスポーツに親しむ資質に与える影響, 研究分担者
  13. 2022年度, 村上市幼児の体力向上事業, 研究委託, 研究代表者
  14. 2022年度, 弥彦村幼児の体力向上事業, 研究委託, 研究代表者
  15. 2020年度, 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究代表者

## (8) 栄養科学研究センター (Center for Nutrition Sciences)

### ①研究テーマ

1. 全世代を対象とした栄養ケア・サポートに関する研究

### ②センター名簿

センター長 : 稲葉洋美, 健康栄養学科, 教授  
 副センター長 : 岩森 大, 健康栄養学科, 講師  
 研究員 : 永井 徹, 健康栄養学科, 教授  
 研究員 : 澁谷顕一, 健康栄養学科, 准教授  
 研究員 : 田村典子, 健康栄養学科, 准教授  
 研究員 : 増田紘之, 健康栄養学科, 助教  
 客員研究員 : 海和美咲, 相模女子大学, 助手

### ③主な活動内容

#### 1. 著書

1. 岩森大, 飯田文子, 松月弘恵, 石原三妃, 伊藤美穂, 木村靖子, 小島佐紀子, 高橋敦子, 中島敬子, 平井智美, 星野亜由美, 増田邦子, 水野智春, 山崎絵里. あすの健康と調理～食生活の彩りを豊かに～, 初版, 東京, アイケイコーポレーション; 2023年3月; 82-97, 156-162.

#### 2. 論文

1. 永井徹, 寺尾幸子, 片野佑美. 地域在住の前期高齢女性と後期高齢女性におけるサルコペニアリスクの検討. *Geriatric Medicine*. 61 (1): 2023, 85-89. (査読あり)
2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2022年度報告書, 2022.4-2023.3, 分担者
3. Sato N, Kanda M, Takano K, Konishi I, Kobayashi R, Kinoshita N, Nomura T, Nagai T, Masuda

H, Sato D, Uchiyama W, Ishigami K. Comparison and Relationship of the Physical Characteristics and Functions of Older Females Participating in Community Salons (Kayoinoba in Japanese) -Classifying into Different Age Groups. *Journal of Community Medicine & Public Health(JCR)*. 2022; 6: 252. DOI: 10.29011/2577-2228.100252. (査読あり)

4. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study, *Healthcare*, 10, 663, 2022. (査読あり)
5. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Remote dining is more delicious than solitary eating, *Jpn Pharmacol Ther*, 50, 9, 1623-1628, 2022. (査読あり)
6. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Is food more delicious when eaten alone or when via the internet? *日本食育学会*, 17, 2, 81-89, 2023. (査読あり)
7. 岩森大, 澁谷颯一, 稲葉洋美. テクスチャ改善を目指した食事提供とその効果, *地域ケアリング*, 24, 5, 69-74, 2022. (査読あり)

### 3. 報告書

1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2022, 研究代表者
2. 永井徹, 岩森大, 宮岡洋三, 伊藤加代子. 科研基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2022, 研究分担者

### 4. 学会等研究発表

1. 永井徹, 齋藤泰晴, 堂井真里, 石月公美子, 坂井邦彦, 遠藤沙保里, 山石理恵, 笠原純子, 北林紘, 野崎彰子. 後期高齢者のサルコペニア発生要因には低栄養リスクと舌圧の低下が関連する. 第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (横浜市), 2022.5.31-6.1.
2. Toru N, Yasuharu S, Kunihiro S. Sarcopenia: a concern in the community-dwelling late-age elderly. The 8th Asian Congress of Dietetics, (横浜市), 2022.8.19-8.21.
3. 永井徹, 増田紘之. 地域在住後期高齢者におけるBMIとサルコペニアリスクとの関係性. 第69回日本栄養改善学会学術集会 (倉敷市), 2022.9.16-9.18.
4. 永井徹, 岩森大, 伊藤加代子. 前期高齢者と後期高齢者におけるサルコペニアリスクと口腔状態の検討. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 (千葉市), 2022.9.23-9.24.
5. 田村典子, 阿部拓也, 藤井豊. ラットの動脈血と静脈血による血流条件下コラーゲン繊維上に形成される血小板血栓の成長 第45回日本バイオレオロジー学会, (平塚市), 2022.6.4.
6. 王月粟, 田村典子. 高血糖が健常成人の血小板血栓形成におよぼす影響, 第22回新潟医療福祉学会総会 (新潟市), 2022.10.1.
7. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kseniia Potapova, Marina Rzuiankina, Ishigami K. Comparison of the health status of 15-year-old schoolchildren in Khabarovsk and Niigata city in the context of the coronavirus pandemic. 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama), 2022.8.19-8.21.
8. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Shibuya R, Tsurumaki Y, Watanabe N, Kaiwa M, Ishigami K. Thoughts about Body Shape and Eating Habits Influencing Adolescents' Body Perception Using the Health Behavior of School-age Children Questionnaire in Niigata Prefecture. Japan, 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo (Yokohama), Tokyo, 2022.12.6-12.9.
9. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. ユース年代男子サッカー選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.11-11.13.
10. Kaiwa M, Kinoshita N, Inaba H. Does the Quality of Food Differ when Eating with Others Verse Eating Together Virtually? 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama), 2022.8.19-8.21.
11. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes. 8th Asian Congress of Dietetics (Yokohama),

2022.8.19-8.21.

12. Ishikawa H, Yamada M, Yuki D, Kondo A, Hoshino F, Inaba H. Influence of the name of the green tea production area as auditory information on taste perception. 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo (Tokyo), 2022.12.6-12.9.
13. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会 (札幌), 2022.11.11-11.13.
14. 岩森大, 真柄仁, 板離子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上誠. 炭酸飲料における刺激とテクスチャの違いが随意嚥下活動に及ぼす影響. 新潟歯学会 (新潟市), 2022.11.12.
15. 岩森大, 真柄仁, 板離子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上誠. 炭酸飲料へのとろみ付与がもたらす随意嚥下運動の変調. 日本嚥下歯学会 (名古屋市), 2023.3.3.

#### 5. 学会活動

1. 第45回日本バイオレオロジー学会 座長 (平塚市, 東海大学) 2022.6.4.
2. Journal of Biorheology 査読

#### 6. 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

1. そのき市民学級, 新潟市公民館事業, サルコペニア予防を学ぶ, 新潟市曾野木地区公民館, 高齢者, 新潟市, 2022.8.3.
2. むらかみ長寿大学10月特別講座, サルコペニア予防, 村上市教育委員会長寿大学, 高齢者, 村上市, 2022.10.4.
3. いまさら聞けない? しろね塾, 新潟市公民館事業, フレイル予防講座, 新潟市白根地区公民館, 高齢者, 新潟市, 2023.3.7.
4. いきいきセミナー, 新潟市公民館事業, フレイル予防の食事を学ぶ, 新潟市横越地区公民館, 高齢者, 新潟市, 2023.3.10.
5. むらかみ長寿大学特別健康講座, 嚥下機能維持とサルコペニア予防, 村上市教育委員会長寿大学, 高齢者, 村上市, 2023.3.20.
6. JMAC定例会 特別講演 血小板血栓のリアルタイムイメージング, 講演, オンライン, 特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム 2022.10.27.
7. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定, 栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟ガールズ選手と保護者, オンライン, 2023.3.24.
8. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定, 栄養・睡眠セミナー, 講師, アルビレックス新潟U18選手, オンライン, 2023.3.25.
9. 女性アスリート支援プロジェクト (スポーツ庁), フィードバックセミナー, 講師, 女性アスリート, 講師, オンライン, 2023.3.1.
10. 公開講座, フレイル予防講座1, フレイル予防と栄養, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.7.26.
11. 公開講座, フレイル予防講座2, サルコペニアとタンパク質, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.8.23.
12. 公開講座, フレイル予防講座3, タンパク質含有量と効果的な摂取方法, 講義・演習, ウェルシア薬局, 地域高齢者, 新潟市関屋コミュニティセンター, 2022.9.27.
13. 講演会, みんなが知っていそうで知らない油の豆知識, 油と調理～食感への効果～, 講義, 日本油科学会, 一般参加者, 新潟市コープシティ花園ガレッジホール, 2022.10.8.
14. 講習会, 女子運動部 (球技) における栄養と食事, 講義・演習, 村上桜ヶ丘高校, 高校生, 村上桜ヶ丘高校, 2022.12.7.

##### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 食事と運動で飲む力維持, 2022.9.10.

2. ヘルスケアレストラン, スポーツ栄養の実践から健康寿命の延伸へ, 2023, 3月号

3) 社会活動への参加協力

1. 南浜中学校, 総合の時間, 授業協力, 2022.7.8.
2. 新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員 (通年)
3. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟 (通年)
4. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 運営委員 (通年)

7. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 研究代表者
2. 科研費基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究代表者
3. 科研費基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 研究分担者
4. 古泉記念財団, ゼリー炭酸飲料が随意嚥下活動に及ぼす影響, 研究代表者

(9) 脳卒中リハビリテーション研究センター (Stroke Rehabilitation Research Center)

①研究テーマ

1. 脳卒中患者の歩行障害に関わる因子の解明と有効な理学療法プログラムの開発

②センター名簿

センター長 : 犬飼康人, 理学療法学科, 准教授

副センター長 : 小股 整, 新潟リハビリテーション病院, 医師

研究員 : 大西秀明, 理学療法学科, 教授

研究員 : 椿 淳裕, 理学療法学科, 教授

研究員 : 芝田純也, 理学療法学科, 教授

研究員 : 齊藤 慧, 理学療法学科, 講師

研究員 : 小島 翔, 理学療法学科, 講師

研究員 : 渡邊慎平, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法学科

研究員 : 諏佐貴大, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法学科

客員研究員 : 川上紗輝, 新潟医療福祉大学大学院 博士後期課程

③主な活動内容

1. 著書

1. 阿部浩明, 信迫悟志, 石田和人, 松尾篤, 犬飼康人, 生野公貴, 森岡周, 山口智史, 松木明好, 高村優作, 関口雄介, 脇田正徳, 大住倫弘, 野添匡史, 中村潤二, 石垣智也, 岡田洋平, 板東杏太, 寄本恵輔, 岩田健太郎, 佐藤剛介, 長谷川隆史, 有地祐人. 標準理学療法学神経学療法学第3版. 医学書院; 2022: 98-110.
2. 阿部浩明, 信迫悟志, 石田和人, 松尾篤, 犬飼康人, 生野公貴, 森岡周, 山口智史, 松木明好, 高村優作, 関口雄介, 脇田正徳, 大住倫弘, 野添匡史, 中村潤二, 石垣智也, 岡田洋平, 板東杏太, 寄本恵輔, 岩田健太郎, 佐藤剛介, 長谷川隆史, 有地祐人. 標準理学療法学神経学療法学第3版. 医学書院; 2022: 220-224.

2. 論文

1. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. J Clin Neurosci. 2022 Jun; 100: 59-65. (査読あり)
2. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of Transcranial Electrical Stimulation over the Posterior Parietal Cortex on Tactile Spatial



Discrimination Performance. Neuroscience. 2022 Jul 1; 494: 94-103. (査読あり)

3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. Behav Brain Res. 2023 Feb 2; 437: 114110. (査読あり)
4. Pham MV, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. Front Neurosci. 2022 Sep 20; 16: 794173. (査読あり)
5. 犬飼康人. ニューロモデュレーション技術を用いた姿勢制御アプローチ (解説). 理学療法ジャーナル 57 (3) : 313-318.

### 3. 学会活動

1. 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第20回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪), 2022.10.15-10.16, 教育講演

### 4. 社会活動

#### 1) 公開講座・講演会等

1. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用, 主催・講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.7.9.
2. 福井神経理学療法研究会 特別研修会, 脳卒中患者のバランス機能と理学療法, 講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.11.19.
3. 認定理学療法士臨床認定カリキュラム研修, ニューロモデュレーションの実際, 枚方市理学療法士会, 理学療法士, オンデマンド開催, 2023.2.1-2.28.
4. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 脳卒中患者の運動麻痺の病態理解と非侵襲的脳刺激法の基礎と臨床応用, 主催・講師, 医療従事者, オンライン開催, 2022.12.17.

#### 5. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2020年度, 若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響, 犬飼康人, 研究代表者
2. 2019年度, 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 大西秀明, 研究代表者
3. 2020年度, 挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化, 大西秀明, 研究代表者
4. 2020年度, 基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕, 研究代表者
5. 2021年度, 若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者
6. 2020年度, 基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 齊藤慧, 研究代表者
7. 2021年度, 基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 小島翔, 研究代表者

## (10) 次世代デジタルリハビリテーション研究センター (Frontier Research Center for Digital Rehabilitation)

### ①研究テーマ

1. VR・AR・MR技術を駆使した心身機能に関する研究
2. 非侵襲的脳刺激手法およびシミュレーション技術を用いた脳機能に関する研究
3. 慢性疼痛患者に対する遠隔サポートに関する効果判定

## ②センター名簿

- センター長 : 大鶴直史, 理学療法学科, 教授  
副センター長 : 芝田純也, 理学療法学科, 教授  
研究員 : 大西秀明, 理学療法学科, 教授  
研究員 : 山代幸哉, 健康スポーツ学科, 准教授  
研究員 : 宮口翔太, 理学療法学科, 講師  
客員研究員 : 栗田雄一, 広島大学, 教授  
客員研究員 : 原 正之, 埼玉大学, 准教授  
客員研究員 : 金山範明, 産業技術総合研究所, 主任研究員

## ③主な活動内容

### 1. 論文

1. Hara M, Sugata H, Otsuru N, Takasaki M, Ishino Y, Mizuno T, Miki M, Kanayama N. Effect of a body part action on body perception of the other inactive body part. *IEEE Trans Cogn Dev Syst*. 2022; 1-1. (査読有)
2. Yoshino A, Otsuru N, Doi M, Maekawa T, Sasaoka T, Yamawaki S. Interoceptive accuracy is related to the psychological mechanisms of the burning mouth syndrome: a cross-sectional study. *BMC Oral Health*. 2022; 22(1): 297. (査読有)
3. Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of transcranial electrical stimulation over the posterior parietal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Neuroscience*. 2022; 494: 94-103. (査読有)
4. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. *J Clin Neurosci*. 2022; 100: 59-65. (査読有)
5. Shibata S, Watanabe T, Otsuru N, Onishi H, Mima T. Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans. *Brain Stimul*. 2023; 16(2): 442-4. (査読有)

### 2. 学会等研究発表

1. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流による鎮痛効果の検討. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
2. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果－電界シミュレーションによる検討－. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
3. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激による脳活動と運動学習の関連性. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
4. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習および脳活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.

### 3. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究(B), 慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略, 研究代表者
2. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦, 研究代表者

3. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (A), 内受容感覚を利用した身体感覚の自然な“脱着”, 研究分担者
4. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (開拓), 運動感覚変化による着身体・脱身体現象の誘発とリハビリ応用, 研究分担者
5. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 慢性疼痛に対する簡易型オンライン集団CBTの開発ならびに治療同盟に関する検証, 研究分担者
6. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 情動触に影響する生理・神経科学的個人差の検討, 研究分担者

(11) 3D技術研究開発センター (3D Technology Prosthetics and Orthotics Research and Development Center)

①研究テーマ

1. 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した最先端義肢装具製作適合技術の実用化研究

②センター名簿

センター長 : 東江由起夫  
 副センター長 : 須田裕紀  
 研究員 : 前田 雄  
 研究員 : 村山 稔  
 研究員 : 郷 貴博  
 研究員 : 佐藤 未希  
 研究員 : 田山文子  
 研究員 : 神田 賢

③主な活動内容

1. 著書

1. 東江由起夫, 須田裕紀. 義肢装具の製作の進化. CLINICAL REHABILITATION 臨時増刊号第31巻7号, 医歯薬出版株式会社; 2022.6: 718-724.

2. 論文

1. Go T, Agarie Y, Suda H, Maeda Y, Katsuhira J, Ehara Y. Effect of trim line on stiffness in dorsiflexion and plantarflexion of posterior leaf spring ankle-foot orthoses. Journal of physical therapy science. 2022; 34(4): 284-289 (review)
2. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘. 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉学会誌. 2023.11.; 第23巻第2号: 現在印刷中 (受理日 2023.2.20) (査読有)

3. 報告書

1. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 村山稔, 前田雄, 郷貴博, 佐藤未希. 令和4年度 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究 —義肢装具製作における3D技術の応用, 従来製法と3D技術を用いた製作方法の比較—. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業) 報告書
2. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, 補装具製作における3次元デジタル造形技術の運用に関する実態調査, (令和) 4年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者

4. 学会活動

1. 東江由起夫, 村山稔, 秋場周, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 他. 3Dスキャナー・プリンターを活用した膝義足ソケットの製作適合. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.

2. 佐藤未希, 郷貴博, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 東江由起夫, 他. 3D デジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み－第2報 スキャニングから身体適合についての報告－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  3. 前田雄, 中村隆, 須田裕紀, 郷貴博, 村山稔, 佐藤未希, 東江由起夫, 飛松好子. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究－1報 従来製法と3D製法におけるPO業務－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  4. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄, 村山稔, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究－2報 従来製法と3D製法における作業時間の比較－. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  5. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 補装具製作における3次元デジタル造形技術に関する実態調査. 第28回日本義肢装具士協会学術大会 (岡山市), 2022.7.9-7.10.
  6. 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博. 3Dプリンタ製短下肢装具の実用化に向けた臨床評価. LIFE2022 (札幌), 2022.8.19-8.21.
  7. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 村山稔, 佐藤未希. 3D デジタル機器を用いた義肢装具製作演習科目の取り組み－学生アンケートによる3D製作法の利点と課題－. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 2022.10.8-10.9.
  8. 大久保美里, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 前田雄, 東江由起夫. トポロジー最適化を適用した短下肢装具装着時の歩行評価. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
  9. 須田裕紀, 久保田健介, 中村隆, 徳井亜加根, 浅見豊子. 義肢装具業界における3D技術の導入の可能性と動向. 第38回日本義肢装具学会学術大会, 2022.10.8-10.9. 【シンポジウム】
  10. 大徳尚司, 佐藤未希, 東江由起夫. 下肢切断者の義足装着時の歩行と脱着による大腿動脈血流機能の検討. 第63回日本脈管学会 (横浜市), 2022.10.27-10.29.
  11. 大徳尚司, 吉田秀義, 佐藤未希. 喫煙による手指及び四肢への影響. 第16回日本禁煙学会学術総会 (大阪市), 2022.10.29-10.30.
  12. 橋本詩温, 角田綸, 松下祥大, 八代瑞歩, 佐藤楓恋, 郷貴博, 佐藤未希, 東江由起夫, 大徳尚司. 立位による弾性ストッキングの影響. 第38回日本義肢装具学会学術大会 (新潟市), 2022.10.8-10.9.
5. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況
1. 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 須田裕紀, 研究代表者
  2. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 郷貴博, 研究代表者
  3. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 3D・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究, 東江由起夫, 研究代表者
  4. 2022年度, 若手・女性研究者奨励金, 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量の解明と要因分析, 佐藤未希, 研究代表者
  5. 2022年度, ニッポー株式会社共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具の実用化に向けた研究, 東江由起夫, 研究代表者
  6. 2022年度, 厚生労働行政推進調査事業 (障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, 須田裕紀, 研究分担者
  7. 2022年度, ナブテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 前田雄, 研究代表者

## 9) 運動機能医科学研究所

### ①研究テーマ

1. 感覚運動機能連関の神経基盤の解明
2. 運動制御および感覚運動学習過程に関する研究
3. 膜性疼痛の生理・病態・心理・治療に関する研究
4. 運動刺激による神経-筋-骨格系の機能的変化に関する研究
5. 運動と呼吸循環応答および脳循環応答に関する研究
6. 運動機能障害に対するリハビリテーションに関する研究と開発
7. 身体運動分析及び行動分析に関する研究
8. アスリート脳に関する研究
9. 健康増進のための運動プログラムの開発
10. サルコペニアやフレイルに対する栄養リハビリテーションに関する研究

### ②研究員

所長	佐藤大輔	健康科学部健康スポーツ学科／教授（運営委員・研究員）
副所長	大鶴直史	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	大西秀明	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	久保雅義	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	椿 淳裕	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	大山峰生	リハビリテーション学部作業療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	能村友紀	リハビリテーション学部作業療法学科／教授（研究員）
所員	山本智章	新潟リハビリテーション病院／院長（運営委員・研究員）
所員	田口 徹	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	相馬俊雄	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	江玉陸明	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	児玉直樹	医療技術学部診療放射線学科／教授（研究員）
所員	芝田純也	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	八坂敏一	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	齋藤 憲	医療技術学部臨床技術学科／教授（研究員）
所員	山代幸哉	健康科学部健康スポーツ学科／准教授（研究員）
所員	犬飼康人	リハビリテーション学部理学療法学科／准教授（研究員）
所員	圓純一郎	リハビリテーション学部作業療法学科／准教授（研究員）
所員	藤井 豊	医療技術学部臨床技術学科／准教授（研究員）
所員	中山憲司	医療技術学部臨床技術学科／准教授（研究員）
所員	菊元孝則	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	高橋英明	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	須田裕紀	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科／講師（研究員）
所員	下門洋文	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	熊崎 昌	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	三瀬貴生	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	森下義隆	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	越智元太	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	藤本知臣	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	齋藤 慧	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	玉越敬悟	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	小島 翔	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）

所員 : 井上達朗 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 高林知也 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 宮口翔太 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 横田裕丈 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 太田大樹 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 平林 怜 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 長坂和明 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 徳永亮太 リハビリテーション学部理学療法学科／講師 (研究員)  
 所員 : 関根千恵 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 北谷亮輔 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 田宮 創 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 池上 諒 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 阿久澤弘 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 石垣智恒 リハビリテーション学部理学療法学科／助教 (研究員)  
 所員 : 大野 健 医療技術学部診療放射線学科／助教 (研究員)  
 所員 : 櫻井典子 医療技術学部診療放射線学科／助教 (研究員／D2)  
 所員 : 星 春輝 リハビリテーション学部理学療法学科／助手 (研究員)  
 大学院生 : 小島 将 医療福祉学専攻 (D3／椿)  
 大学院生 : 佐藤 成 医療福祉学専攻 (D2／久保)  
 大学院生 : 渡邊 拓 医療福祉学専攻 (D2／大西)  
 大学院生 : 五十嵐小雪 医療福祉学専攻 (D2／佐藤)  
 大学院生 : Le Cong Dat 医療福祉学専攻 (D1／佐藤)  
 大学院生 : 五十嵐眸実 医療福祉学専攻 (D1／大鶴)  
 大学院生 : 川上沙輝 医療福祉学専攻 (D1／犬飼)  
 大学院生 : Anthony Laigo 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／久保)  
 大学院生 : 堺 大輝 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／大鶴)  
 大学院生 : 神居 寧 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／大西)  
 大学院生 : 大倉百合絵 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／大西)  
 大学院生 : 鈴木孝昇 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／大西)  
 大学院生 : 井上創太 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／大西)  
 大学院生 : 舎川真侑 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／江玉)  
 大学院生 : 山田勇輝 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／江玉)  
 大学院生 : 富樫亮弥 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／江玉)  
 大学院生 : 渡邊貴博 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／久保)  
 大学院生 : 高見澤怜 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／椿)  
 大学院生 : 一杉直樹 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／椿)  
 大学院生 : 松橋日和 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／椿)  
 大学院生 : 吉田麗玖 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／久保)  
 大学院生 : 菊地雄大 保健学専攻 理学療法学分野 (M2／久保)  
 大学院生 : 志賀恭介 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／大西)  
 大学院生 : 高橋ひろな 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／大西)  
 大学院生 : 田邊かこ 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／大西)  
 大学院生 : 丸山雄基 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／大西)  
 大学院生 : 鈴木駿佑 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／高林)  
 大学院生 : 平塚 栞 保健学専攻 理学療法学分野 (M1／高林)

大学院生：笠原一希 保健学専攻 理学療法学分野 (M1/久保)  
大学院生：村上優太 保健学専攻 理学療法学分野 (M1/久保)  
大学院生：佐々木啓 保健学専攻 放射線情報学分野 (M1/児玉)  
大学院生：巻瀨泰輝 健康科学専攻 健康スポーツ学分野 (M1/山代)  
大学院生：湯口志捺 保健学専攻 放射線情報学分野 (M1/児玉)

### ③主な活動内容

#### 1. 著書

1. 三瀬貴生, 体幹における胸郭のバイオメカニクス, 臨床スポーツ医学, 第39巻10号: 文光堂; 2022: 1024-1028.
2. 田口徹, 筋・筋膜性疼痛の特徴とメカニズム, ペインクリニック, 43(5):真興交易(株)医書出版部; 2022: 505-513.
3. 田口徹, 太田大樹, 水村和枝, 遅発性筋痛の機構をめぐる最新知見, 特集:「疼痛基礎科学アップデート」, 日本運動器疼痛学会誌, 14(3):日本運動器疼痛学会; 2022: 194-202.
4. 石垣智恒, 越野裕太, アキレス腱障害の病態・評価・介入, 卒後5年までにマスターすべき運動器障害理学療法(下肢・腰部), 1:メジカルビュー社; 2022: 150-155.
5. 北谷亮輔, 脳卒中後患者における異常歩行と下肢筋活動の変化, バイオメカニズム学会誌, 46(4): バイオメカニズム学会; 2022: 228-234.
6. 佐藤大輔, 第七章 物理・科学・環境 2. 高圧・潜水・水圧, 人間の許容・適応限界辞典, 1:朝倉書店; 2022: 417-420.
7. 石垣智恒, 松本尚, 山中正紀, 肩関節疾患患者の理学療法におけるエビデンスの作り方, 理学療法ジャーナル, 39(9):メディカルプレス; 2022: 802-809.
8. 井上達朗, 回復期リハビリテーション病棟におけるサルコペニア・フレイル, 理学療法ジャーナル, 56(6):医学書院; 2022: 683-689.
9. 井上達朗, 運動と栄養のコンビネーション, 臨床雑誌 内科, 130(2):南江堂; 2022: 279-282.
10. 井上達朗, 回復期リハビリテーション医療最前線 -エビデンスと未来展望- 「大腿骨近位部骨折」, CLINICAL REHABILITATION, 31(13):医歯薬出版; 2022: 1270-1276.
11. 井上達朗, リハビリテーション診療における体組成評価, 臨床栄養, 医歯薬出版; 2022: 印刷中
12. 井上達朗, 栄養と理学療法のポイントを考える, 理学療法学, 日本理学療法士協会; 2022: 印刷中
13. 椿淳裕, 身体活動/不活動による脳の変化と近赤外線分光法による計測, 新潟医療福祉学会誌, 22(2):新潟医療福祉学会; 2022: 445-498.
14. 芝田純也, 経頭蓋静磁場刺激による脳機能調節, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (リハビリテーション医学), 59:三輪書店; 2022: 478-483.
15. Inoue T, Nutrition and Daily Activities in Older Patients After Gastrectomy, Physical Therapy and Research in Patients with Cancer, 1: Springer Singapore; 2023: 397-416.
16. 井上達朗, サルコペニア, リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎, 第3版:医歯薬出版株式会社; 2022. (印刷中)
17. 井上達朗, 関節リウマチ, リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎, 第3版:医歯薬出版株式会社; 2022. (印刷中)
18. 井上達朗, 栄養と理学療法オーバービュー, 理学療法学, 第50巻第1号:一般社団法人日本理学療法学会連合; 2023: 17-23頁.
19. 江玉陸明, 理学療法士の日「理学療法士が考えるアキレス腱障害」, 足の保存療法, 第1版:文光堂; 2023: 2216-21.
20. 江玉陸明, リコンディショニングに必要な組織修復, 治癒過程の知識, アスレティックトレーナー専門科目, 第1版:日本スポーツ協会; 2022: 50-57.
21. 田口徹, ストレス誘発性疼痛の末梢神経・脊髄機構, ペインクリニック, 43(12):真興交易医書出版

部；2022：1319-1327.

22. 山代幸哉. 第10章「脳と脊髄」, 第11章「運動時の脳と神経筋制御」. みらいスポーツライブラリー運動生理学. 第1版：株式会社みらい；2023：159-187.
23. 越智元太. 第12章「加齢と身体変化」, 第13章「運動と健康」. みらいスポーツライブラリー運動生理学. 第1版：株式会社みらい；2023：188-205.
24. 藤本知臣. 第7章「運動と循環」, 第8章「運動と呼吸」, 第9章「運動と体温」. みらいスポーツライブラリー運動生理学. 第1版：株式会社みらい；2023：110-157.

## 2. 論文

### 1) 国際誌

- (1) Takahashi S, Tomita Y, Tanaka S, Sakurai N, Kodama N. Prefrontal cerebral oxygenated hemoglobin concentration during the category fluency and finger-tapping tasks in adults with and without mild cognitive impairment: A near-infrared spectroscopy study. *Brain Sci(JCR)*. 2022; 12(12): 1636.
- (2) Kawashima A, Kiriya M, En J, Tanigawa K, Nakamura Y, Fujiwara Y, Luo Y, Maruyama K, Watanabe S, Goto M, Suzuki K. Genome-wide screening identified SEC61A1 as an essential factor for mycolactone-dependent apoptosis in human premonocytic THP-1 cells. *PLoS Negl Trop Dis(JCR)*. 2022; 16(8): e0010672.
- (3) Kambe Y, Nguyen TT, Yasaka T, Nguyen TT, Sameshima Y, Hashiguchi K, Shintani N, Hashimoto H, Kurihara T, Miyata A. The pivotal role of neuropeptide crosstalk from ventromedial-PACAP to dorsomedial-galanin in the appetite regulation in the mouse hypothalamus. *Mol Neurobiol(JCR)*. 2023; 60(1): 171-82.
- (4) Kobayashi R, Sakurai N, Nagasaka K, Kasai S, Kodama N. Relationship between tactile sensation, motor activity, and differential brain activity in young individuals. *Brain Sci(JCR)*. 2022; 12(7).
- (5) Akatsuka K, Mitsuzono R, Yamashiro K. Effects of acute aerobic exercise on the motor inhibitory process in the go/no-go task in humans: a functional near-infrared spectroscopy study. *Neuroreport(JCR)*. 2023; 34(4): 209-13.
- (6) Aoki M, Yamazaki Y, Otsuka J, Okamoto Y, Takada S, Shirai N, Fujimoto T, Ochi G, Yamashiro K, Sato D, Amano T. Influence of heat exposure on motor control performance and learning as well as physiological responses to visuomotor accuracy tracking task. *Int J Environ Res Public Health(JCR)*. 2022; 19(19): 12328.
- (7) Yamakawa KK, Shimojo H, Takagi H, Sengoku Y. Changes in kinematics and muscle activity with increasing velocity during underwater undulatory swimming. *Front Sports Act Living(JCR)*. 2022; 4: 829618.
- (8) Kuwamizu R, Yamazaki Y, Aoike N, Ochi G, Suwabe K, Soya H. Pupil-linked arousal with very light exercise: pattern of pupil dilation during graded exercise. *J Physiol Sci*. 2022; 72(1): 23.
- (9) Fukuie T, Suwabe K, Kawase S, Shimizu T, Ochi G, Kuwamizu R, Sakairi Y, Soya H. Groove rhythm stimulates prefrontal cortex function in groove enjoyers. *Sci Rep(JCR)*. 2022; 12(1): 7377.
- (10) Fujisaki T, Saito K, Kikuchi T, Kondo E. The prolyl hydroxylase OGFOD1 promotes cancer cell proliferation by regulating the expression of cell cycle regulators. *FEBS Lett(JCR)*. 2023; 597(8): 1073-85.
- (11) Sakurai N, Nagasaka K, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. Brain function effects of autonomous sensory meridian response (ASMR) video viewing. *Front Neurosci(JCR)*. 2023; 17: 1025745.



- (12) [Fujimoto T](#), Dobashi K, Fujii N, Matsutake R, Nishiyasu T. Hypocapnia attenuates local skin thermal perception to innocuous warm and cool stimuli in normothermic resting humans. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol(JCR)*. 2023; 324(1): R120-7.
- (13) [Yamashiro K](#), [Ikarashi K](#), Makibuchi T, Anazawa S, Baba Y, [Fujimoto T](#), [Ochi G](#), [Sato D](#). Transcranial high-frequency random noise stimulation does not modulate Nogo N2 and Go/Nogo reaction times in somatosensory and auditory modalities. *Sci Rep(JCR)*. 2023; 13(1): 3014.
- (14) [Ochi G](#), Kuwamizu R, Suwabe K, Fukuie T, Hyodo K, Soya H. Cognitive fatigue due to exercise under normobaric hypoxia is related to hypoxemia during exercise. *Sci Rep(JCR)*. 2022; 12(1): 9835.
- (15) [Ochi G](#), Kuwamizu R, [Fujimoto T](#), [Ikarashi K](#), [Yamashiro K](#), [Sato D](#). The effects of acute virtual reality exergaming on mood and executive function: Exploratory crossover trial. *JMIR Serious Games(JCR)*. 2022; 10(3): e38200.
- (16) Matsuura Y, [Ochi G](#). The potential of heart rate variability monitoring for mental health assessment in top wheel gymnastics athletes: A single case design. *Appl Psychophysiol Biofeedback(JCR)*. 2023. (in press)
- (17) [Sato S](#), [Yoshida R](#), Murakoshi F, Sasaki Y, Yahata K, [Kasahara K](#), Nunes JP, Nosaka K, Nakamura M. Comparison between concentric-only, eccentric-only, and concentric-eccentric resistance training of the elbow flexors for their effects on muscle strength and hypertrophy. *Eur J Appl Physiol(JCR)*. 2022; 122(12): 2607-14.
- (18) [Ikarashi K](#), [Sato D](#), [Ochi G](#), [Fujimoto T](#), [Yamashiro K](#). Action postponing and restraint varies among sensory modalities. *Brain Sci(JCR)*. 2022; 12(11): 1530.
- (19) [Le Cong D](#), [Sato D](#), [Ikarashi K](#), [Fujimoto T](#), [Ochi G](#), [Yamashiro K](#). Effect of whole-hand water flow stimulation on the neural balance between excitation and inhibition in the primary somatosensory cortex. *Front Hum Neurosci(JCR)*. 2022; 16: 962936.
- (20) [Ejiri Y](#), Uta D, Ota H, Mizumura K, [Taguchi T](#). Nociceptive chemical hypersensitivity in the spinal cord of a rat reserpine-induced fibromyalgia model. *Neurosci Res(JCR)*. 2022; 181: 87-94.
- (21) [Shibata S](#), Watanabe T, [Otsuru N](#), [Onishi H](#), Mima T. Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans. *Brain Stimul(JCR)*. 2023; 16(2): 442-4.
- (22) [Tamakoshi K](#), Meguro K, Takahashi Y, Oshimi R, Iwasaki N. Comparison of motor function recovery and brain changes in intracerebral hemorrhagic and ischemic rats with similar brain damage. *Neuroreport*. 2023; 34(6): 332-7.
- (23) Watanabe Y, Dezawa S, Takei H, [Nagasaka K](#), Takashima I. Hippocampal-prefrontal long-term potentiation-like plasticity with transcranial direct current stimulation in rats. *Neurobiol Learn Mem(JCR)*. 2023; 107750.
- (24) Matsuda K, [Nagasaka K](#), Kato J, Takashima I, Higo N. Structural plasticity of motor cortices assessed by voxel-based morphometry and immunohistochemical analysis following internal capsular infarcts in macaque monkeys. *Cereb Cortex Commun*. 2022; 3(4): tgac046.
- (25) Yoshino A, [Otsuru N](#), Doi M, Maekawa T, Sasaoka T, Yamawaki S. Interoceptive accuracy is related to the psychological mechanisms of the burning mouth syndrome: a cross-sectional study. *BMC Oral Health(JCR)*. 2022; 22(1): 297.
- (26) Hara M, Sugata H, [Otsuru N](#), Takasaki M, Ishino Y, Mizuno T, Miki M, Kanayama N. Effect of a body part action on body perception of the other inactive body part. *IEEE Trans Cogn Dev*

Syst. 2022; 1-1.

- (27) Sasaki R, Watanabe H, [Onishi H](#). Therapeutic benefits of noninvasive somatosensory cortex stimulation on cortical plasticity and somatosensory function: A systematic review. *Eur J Neurosci(JCR)*. 2022; 56(5): 4669-98.
- (28) Murofushi K, Oshikawa T, Kaneoka K, [Akuzawa H](#), Yamaguchi D, Mitomo S, Furuya H, Hirohata K, Yagishita K. Differences in trunk and lower extremity muscle activity during squatting exercise with and without hammer swing. *Sci Rep(JCR)*. 2022; 12(1): 13387.
- (29) Oshikawa T, Adachi G, [Akuzawa H](#), Okubo Y, Kaneoka K. The influence of anticipation of movement starting time on feedforward activation of trunk muscles during rapid shoulder joint movements. *J Hum Kinet(JCR)*. 2022; 84(1): 43-52.
- (30) Morito T, [Akuzawa H](#), Okubo Y, Adachi G, Oshikawa T, Kaneoka K. Comparison of abdominal muscle activity with various verbal instructions and onset activity analysis during draw-in maneuver. *J Exerc Rehabil(JCR)*. 2022; 18(4): 264-71.
- (31) Tamura Y, Takahashi H, Sakai D, Tsurumi T, [Tamiya H](#), Ueno A, Kawamoto S, Shimoyama M, Yasu T. Decreased physical and daily living activities in patients with peripheral arterial disease on hemodialysis. *J Clin Med Res(JCR)*. 2022; 12(1): 135.
- (32) Tsurumi T, Tamura Y, Nakatani Y, Furuya T, [Tamiya H](#), Terashima M, Tomoe T, Ueno A, Shimoyama M, Yasu T. Neuromuscular electrical stimulation during hemodialysis suppresses postprandial hyperglycemia in patients with end-stage diabetic kidney disease: A crossover controlled trial. *J Clin Med Res(JCR)*. 2022; 11(21): 6239.
- (33) Morishita S, [Tsubaki A](#), Hotta K, [Inoue T](#), [Kojima S](#), Qin W, [Sato D](#), Shirayama A, Ito Y, [Onishi H](#). Perceived exertion correlates with multiple physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *Adv Exp Med Biol(JCR)*. 2022; 1395: 423-7.
- (34) Morishita S, Kasahara R, Yamamoto Y, Jinbo R, Takano A, Yasuda M, [Tsubaki A](#), Aoki O, Fu JB, Tsuji T. Differences in the relationships between muscle strength, muscle mass, balance function, and quality of life for middle-aged and older breast cancer survivors. *Integr Cancer Ther(JCR)*. 2022; 21: 15347354221138574.
- (35) Takeda T, [Tsubaki A](#), Ikeda Y, Kato R, Hotta K, [Inoue T](#), [Kojima S](#), Kanai R, Terazaki Y, Uchida R, Makita S. The impacts of preoperative frailty on readmission after cardiac implantable electrical device implantation. *PLoS One(JCR)*. 2022; 17(11): e0277115.
- (36) Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, [Tsubaki A](#), Morishita S, Narita I. Dysfunction in dynamic, but not static balance is associated with risk of accidental falls in hemodialysis patients: a prospective cohort study. *BMC Nephrol(JCR)*. 2022; 23(1): 237.
- (37) Oyanagi H, Usui N, [Tsubaki A](#), Ando S, Saithoh M, [Kojima S](#), Inatsu A, Hisadome H, Ota S, Uehata A. An equation to predict peak heart rate for prescribing exercise intensity in middle-aged to older patients requiring hemodialysis. *Eur J Appl Physiol(JCR)*. 2022; 122(10): 2233-41.
- (38) Shimizu A, [Inoue T](#), Maeda K. Impact of sarcopenic obesity on functional outcomes. *Aging(JCR)*. 2023; 15(4): 882-3.
- (39) Kondo S, [Inoue T](#), Saito T, Fujikawa T, Kamada M, Inoue S, Fujiwara S, Goto M, Sato N, Ono R, Akisue T, Katoh S, Takizawa H, Matsuura T. Impact of postoperative physical activity on the development of pneumonia in the subacute phase after esophagectomy in patients with esophageal cancer: A retrospective cohort study. *Eur J Oncol Nurs(JCR)*. 2023; 62(102270): 102270.
- (40) Nozoe M, [Inoue T](#), Ishida M, Yamamoto K, Kanai M. Malnutrition on admission is associated

- with trunk function recovery but not with lower limb muscle strength recovery in patients with acute stroke: an observational cohort study. *Nutrition(JCR)*. 2023; 109(111971): 111971.
- (41) Nagano A, Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, Inoue T, Murotani K, Ishida Y, Mori N. Predictive value of temporal muscle thickness for sarcopenia after acute stroke in older patients. *Nutrients(JCR)*. 2022; 14(23): 5048.
  - (42) Shimizu A, Maeda K, Inoue T, Mori N, Momosaki R. Early physical rehabilitation effectiveness in frail older patients hospitalized for community-acquired pneumonia: analysis of a nationwide database in Japan. *Aging Clin Exp Res(JCR)*. 2022; 35(2): 341-8.
  - (43) Okamura M, Inoue T, Ogawa M, Shirado K, Shirai N, Yagi T, Momosaki R, Kokura Y. Rehabilitation nutrition in patients with chronic kidney disease and cachexia. *Nutrients(JCR)*. 2022; 14(22): 4722.
  - (44) Fujikawa T, Kondo S, Saito T, Inoue T, Otake K, Misu S, Sakai H, Ono R, Tomioka H. Impact of sarcopenia defined by carina-level skeletal muscle mass on the long-term prognosis of patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *Respir Med(JCR)*. 2022; 82(100965): 100965.
  - (45) Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, Inoue T, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagano A, Kayashita J, Mori N, Fujishima I. Prevalence of sarcopenic obesity based on newly proposed diagnostic criteria and functional outcomes in older adults undergoing rehabilitation. *Mech Ageing Dev(JCR)*. 2022; 208(111728): 111728.
  - (46) Nagano A, Ueshima J, Tsutsumiuchi K, Inoue T, Shimizu A, Mori N, Maeda K. Effect of tongue strength on clinical outcomes of patients: A systematic review. *Arch Gerontol Geriatr(JCR)*. 2022; 102(104749): 104749.
  - (47) Kondo S, Inoue T, Saito T, Kawamura Y, Katayama A, Nakamura M, Sumitani R, Takahashi M, Oura M, Sogabe K, Harada T, Fujii S, Nakamura S, Miki H, Kagawa K, Sato N, Ono R, Abe M, Katoh S. Allogeneic haematopoietic stem cell transplantation and patient falls: impact of lower extremity muscle strength. *BMJ Support Palliat Care(JCR)*. 2022; bmjspcare - 2022-003582.
  - (48) Ishida Y, Maeda K, Inoue T, Satake S, Mori N. Decreased diversity of gut Microbiota is associated with decreased muscle mass and function in older adults residing in a nursing home. *J Nutr Health Aging(JCR)*. 2022; 26(5): 537-8.
  - (49) Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, Inoue T, Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Association between food texture levels consumed and the prevalence of malnutrition and sarcopenia in older patients after stroke. *Eur J Clin Nutr(JCR)*. 2022; 76(11): 1576-82.
  - (50) Nashimoto S, Inoue T, Hotta K, Sugito Y, Iida S, Tsubaki A. The safety of exercise for older patients with severe aortic stenosis undergoing conservative management: A narrative review. *Physiol Rep(JCR)*. 2022; 10(8).
  - (51) Sato K, Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Ueshima J, Ishida Y, Ogawa T, Suenaga M. Undernutrition at admission suppresses post-stroke recovery of trunk function. *J Stroke Cerebrovasc Dis(JCR)*. 2022; 31(4): 106354.
  - (52) Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. *Clin Biomech(JCR)*. 2023; 104(105942): 105942.
  - (53) Kitatani R, Furukawa K, Sakaue D, Otsuru N, Onishi H. Influences of different cognitive loads on central common neural drives to the ankle muscles during dual-task walking. *Neurosci*

- Lett(JCR). 2023; 804(137214): 137214.
- (54) Shibata S, Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Horinouchi T, Kirimoto H, Zhang J, Wang H, Wu J, Onishi H, Mima T. Triple tSMS system (“SHIN jiba”) for non-invasive deep brain stimulation: a validation study in healthy subjects. *J Neuroeng Rehabil(JCR)*. 2022; 19(1): 129.
  - (55) Kitatani R, Umehara J, Hirono T, Yamada S. Rhythmic auditory stimulation during gait adaptation enhances learning aftereffects and savings by reducing common neural drives to lower limb muscles. *J Neurophysiol(JCR)*. 2022; 128(5): 1324-36.
  - (56) Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the right intraparietal sulcus improves response inhibition. *Behav Brain Res*. 2023; 437(114110): 114110.
  - (57) Van Pham M, Saito K, Miyaguchi S, Watanabe H, Ikarashi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Changes in excitability and GABAergic neuronal activity of the primary somatosensory cortex after motor learning. *Front Neurosci(JCR)*. 2022; 16: 794173.
  - (58) Kamii Y, Kojima S, Onishi H. Transcranial direct current stimulation over the posterior parietal cortex improves visuomotor performance and proprioception in the lower extremities. *Front Hum Neurosci(JCR)*. 2022; 16: 876083.
  - (59) Nagasaka K, Takashima I, Matsuda K, Higo N. Pharmacological inactivation of the primate posterior insular/secondary somatosensory cortices attenuates thermal hyperalgesia. *Eur J Pain(JCR)*. 2022; 26(8): 1723-31.
  - (60) Saito K, Otsuru N, Inukai Y, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Onishi H. Effect of transcranial electrical stimulation over the posterior parietal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Neuroscience(JCR)*. 2022; 494: 94-103.
  - (61) Onishi H, Nagasaka K, Yokota H, Kojima S, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Otsuru N. Association between somatosensory sensitivity and regional gray matter volume in healthy young volunteers: a voxel-based morphometry study. *Cereb Cortex(JCR)*. 2023; 33(5): 2001-10.
  - (62) Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. *J Clin Neurosci*. 2022; 100: 59-65.
  - (63) Nara T. The negative legacy of human evolution. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2023; 22(2): 63-8.
  - (64) Tamiya H, Tamura Y, Nagashima Y, Tsurumi T, Terashima M, Ochiai K, Ehara K, Furuya T, Banba N, Nakatani Y, Hoshiai M, Ueno A, Tomoe T, Kawabe A, Sugiyama T, Kawamoto S, Yasu T. Long-term tailor-made exercise intervention reduces the risk of developing cardiovascular diseases and all-cause mortality in patients with diabetic kidney disease. *J Clin Med Res(JCR)*. 2023; 12(2): 691.
  - (65) Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Usui N, Tsubaki A. Temporal changes in cortical oxygenation in the motor-related areas and bilateral prefrontal cortex based on exercise intensity and respiratory metabolism during incremental exercise in male subjects: A near-Infrared spectroscopy study. *Front Physiol*. 2022; 13: 794473.
  - (66) Inoue T, Ueshima J, Kawase F, Kobayashi H, Nagano A, Murotani K, Saino Y, Maeda K. Trajectories of the prevalence of sarcopenia in the pre- and post-stroke periods: A systematic review. *Nutrients(JCR)*. 2022; 15(1): 113.
  - (67) Inoue T, Shimizu A, Murotani K, Satake S, Matsui Y, Arai H, Maeda K. Exploring biomarkers

- of osteosarcopenia in older adults attending a frailty clinic. *Exp Gerontol(JCR)*. 2023; 172(112047): 112047.
- (68) Inoue T, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Nagano A, Ishida Y, Kinoshita K, Iizuka Y, Satake S, Matsui Y, Arai H, Maeda K. Diet-induced inflammation is associated with sarcopenia and muscle strength in older adults who visit a frailty clinic. *Aging Clin Exp Res*. 2022; 34(10): 2525-32.
- (69) Shirai N, Inoue T, Ogawa M, Okamura M, Morishita S, Suguru Y, Tsubaki A. Relationship between nutrition-related problems and falls in hemodialysis patients: A narrative review. *Nutrients(JCR)*. 2022; 14(15): 3225.
- (70) Kobayashi H, Inoue T, Ogawa M, Abe T, Tanaka T, Kakiuchi M. Malnutrition diagnosed by the Global Leadership Initiative on Malnutrition criteria as a predictor of gait ability in patients with hip fracture. *Injury(JCR)*. 2022; 53(10): 3394-400.
- (71) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Koizumi R, Sato S, Ye X, Thomas E, Nakamura M. Comparison of the prolonged effects of foam rolling and vibration foam rolling interventions on passive properties of knee extensors. *J Sports Sci Med*. 2022; 21(4): 580-5.
- (72) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Sato S, Koizumi R, G Behm D, Nakamura M. The comparison between foam rolling either combined with static or dynamic stretching on knee extensors' function and structure. *Biol Sport(JCR)*. 2023;
- (73) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Sato S, Aizawa K, Koizumi R, Thomas E, Nakamura M. Comparison between 6-week foam rolling intervention program with and without vibration on rolling and non-rolling sides. *Eur J Appl Physiol(JCR)*. 2022; 122(9): 2061-70.
- (74) Yoshida R, Kasahara K, Murakami Y, Sato S, Nosaka K, Nakamura M. Less fatiguability in eccentric than concentric repetitive maximal muscle contractions. *Eur J Appl Physiol(JCR)*. 2023;
- (75) Yoshida R, Sato S, Kasahara K, Murakami Y, Murakoshi F, Aizawa K, Koizumi R, Nosaka K, Nakamura M. Greater effects by performing a small number of eccentric contractions daily than a larger number of them once a week. *Scand J Med Sci Sports*. 2022; 32(11): 1602-14.
- (76) Ishiyama H, Takabayashi T, Hiratsuka S, Ito W, Kikumoto T, Kubo M. Effect of arch height flexibility in individuals with flatfoot on abductor hallucis muscle activity and medial longitudinal arch angle during short foot exercises. *J Foot Ankle Surg(JCR)*. 2023; 62(1): 168-72.
- (77) Inai T, Takabayashi T. Estimation of lower-limb sagittal joint moments during gait using vertical ground reaction force. *J Biomech(JCR)*. 2022; 145(111389): 111389.
- (78) Watanabe T, Takabayashi T, Watabe T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Kubo M. Coper has altered foot joint coordination pattern compared to individuals with chronic ankle instability during running. *Gait Posture(JCR)*. 2022; 98: 173-9.
- (79) Takabayashi T, Edama M, Inai T, Tokunaga Y, Kubo M. Influence of sex and knee joint rotation on patellofemoral joint stress. *Acta Bioeng Biomech(JCR)*. 2022; 24(3).
- (80) Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Differences in the coordination and its variability among foot joints during running in neutral foot and flatfoot. *Scand J Med Sci Sports(JCR)*. 2023; 33(3): 235-45.
- (81) Sekine C, Saisu K, Hirabayashi R, Yokota H, Hayashi H, Takabayashi T, Edama M. Immediate effects of stabilization exercises on trunk muscle activity during jump header shooting: A pilot study. *Healthcare (Basel)(JCR)*. 2022; 10(7): 1272.

- (82) Yokota H, Edama M, Hirabayashi R, Sekine C, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of stimulus frequency, intensity, and sex on the autonomic response to transcutaneous vagus nerve stimulation. *Brain Sci(JCR)*. 2022; 12(8): 1038.
- (83) Edama M, Ohya T, Maruyama S, Shagawa M, Sekine C, Hirabayashi R, Yokota H, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Takabayashi T. Relationship between changes in foot arch and sex differences during the menstrual cycle. *Int J Environ Res Public Health(JCR)*. 2022; 20(1): 509.
- (84) Togashi R, Edama M, Shagawa M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between joint and ligament structures of the subtalar joint and degeneration of the subtalar articular facet. *Int J Environ Res Public Health(JCR)*. 2023; 20(4).
- (85) Edama M, Otsuki T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Kageyama I. Morphological characteristics of the infrapatellar fat pad. *Sci Rep(JCR)*. 2022; 12(1): 8923.
- (86) Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Sato D, Edama M. Knee laxity in the menstrual cycle after anterior cruciate ligament reconstruction: A case series. *Int J Environ Res Public Health(JCR)*. 2023; 20(3): 2277.
- (87) Yamada Y, Hirabayashi R, Okada Y, Yokota H, Sekine C, Edama M. Effects of remote facilitation on ankle joint movement: Focusing on occlusal strength and balance. *Health Sci Rep(JCR)*. 2023; 6(2): e1098.
- (88) Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi R, Yamada Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual cycle changes joint laxity in females-differences between eumenorrhea and oligomenorrhea. *J Clin Med Res(JCR)*. 2022; 11(11): 3222.
- (89) Uchiyama I, Edama M, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Kageyama I. Anatomical study of sites and surface area of the attachment region of tibial posterior tendon attachment. *Int J Environ Res Public Health*. 2022; 19(24): 16510.
- (90) Hanada K, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Pressure pain threshold map of thoracolumbar paraspinal muscles after lengthening contractions in young male asymptomatic volunteers. *Sci Rep(JCR)*. 2022; 12(1): 15825.

## 2) 国内誌

- (1) 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. 足関節捻挫後に慢性足関節不安定症に移行した者と、移行していない「coper」におけるランニング時の後足部と前足部間の協調性. *バイオメカニクス研究*. 2022; 26: 52-61.
- (2) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋における TACAN 発現変化の部位差. *PAIN RESEARCH*. 2022; 37(3): 153-156.
- (3) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者と捻挫の再発をしていない Coper における歩行中の前・中・後足部間の協調性パターン. *バイオメカニクス* 26. in-press
- (4) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 鈴木駿佑, 平塚栞, 久保雅義. 慢性足関節不安定症を有する者と再捻挫していない Coper における modified Star Excursion Balance Test 中の母趾外転筋筋活動量の違い. *理学療法新潟*. in-press
- (5) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットでは侵害刺激に対する脊髄後角表層ニューロンの興奮性が増大する. *基礎理学療法*. 2022; 25(1): 35-42.
- (6) 鈴木雄太, 奥田鉄人, 三瀬貴生, 國分裕一, 栗木明裕, 高山弘幹, 前田慶明, 浦辺幸夫. ジュニア競泳選手の柔軟性および関節弛緩性の年代による違い. *日本臨床スポーツ医学会誌*. In-press.
- (7) 宮原謙一郎, 若月康次, 坪島功幸, 太田大樹, 片野坂公明, 水村和枝, 西条寿夫, 田口徹. レセ

ルピン投与による線維筋痛症モデルラットにおける骨格筋の組織学的変化. 理学療法学. 2022; 49(4): 306-312.

- (8) 関川清一, 瀬崎学, 馬屋原康高, 椿淳裕, 對東俊介, 沖侑太郎, 高橋祐介, 阿部夏音, 岩崎円, 寺澤知哲, 佐々木康介. 呼吸障害に対する理学療法アウトカム評価法の文献調査—日本版理学療法ガイドライン第2版の検証—. 呼吸理学療法学. 2022; 1(1): 33-47.
- (9) 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林愔, 江玉陸明. 陸上トラック競技選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 理学療法科学. 2022; 37(5): 495-499.
- (10) 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. 44. サルコペニアは回復期リハビリテーション病棟での実績指数に影響する. 理学療法学. 2022; 49(3): 204-211.
- (11) 稲井卓真, 高林知也. 変形性股関節症のリスクファクターと歩行特徴. 整形外科. in-press.
- (12) 阿部弘之, 丹羽孝仁, 溝口佳宏, 大塚博史, 太田大樹. 栃木県内市町における介護予防・日常生活支援総合事業への柔道整復師参入の現状とその背景—栃木県柔道整復師会への訪問面接調査から—. 社会医療研究. 2023; 21, in-press.

### 3. 学会等研究発表

#### 1) 国際学会・筆頭

- (1) Ota H, Tsuboshima K, Yokota I, Okada K, Hanamatsu H, Furukawa J, Kanagawa M, Taguchi T. Intramuscular injection of hyaluronic acid prevents the development of muscle pain after exercise. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology, 2023.3.22-3.23.
- (2) Taguchi T, Katanosaka Y, Ota H, Katanosaka K. TRPV2-deficient mice exhibit decreased mechanical sensitivity of nociceptors in the skin. International Symposium on Mechanobiology for Human Health: 8 years progress in The AMED-CREST/PRIME project on mechanobiology, 2023.3.22-3.23.
- (3) Tsubaki A, Danni Qu, Weixiang Qin, Tokunaga Y, Kojima S, Matsuhashi H, Morishita S, Hotta K, Tamiya H, Inoue T, Ikegami R. Acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation alternations. SPIE BiOS, 2023.1.28-2.2.

#### 2) 国際学会・共同

- (1) Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Comparison of Sleep Quality and Eating Habits between College Female Athletes and Non-athletes. 2022 アジア栄養士会議, 2022.8.19-8.21.

#### 3) 国内学会・筆頭

- (1) 川本光希, 三瀬貴生. 大学サッカー選手における手指関節の運動制限がパフォーマンスに及ぼす影響. 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会, 2022.7.17-8.7.
- (2) 馬場啓貴, 松橋日和, 宮島大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕. 反復する急性の血圧低下がもたらす内頸動脈の血管径の変化. 日本心臓リハビリテーション学会第7回関東甲信越支部地方会, 2022.10.8.
- (3) 杉本袖華, 横田裕丈, 高杉梨紗, 殿広亜未, 山内勇平, 平林愔, 関根千恵, 江玉陸明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が月経周期における自律神経活動変化に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.3.
- (4) 山本真由, 関根千恵, 平林愔, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉陸明. 難易度の異なる Stabilization Exercise における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.12-12.23.
- (5) 鈴木千花子, 関根千恵, 平林愔, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉陸明. フィールドホッケーの異なるヒット動作における体幹筋活動の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.12-12.23.

- (6) 殿広亜未, 横田裕丈, 杉本柚華, 高杉梨紗, 山内勇平, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 経頭蓋直流電気刺激が膝関節伸展の単純反応時間に与える影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.21.
- (7) 高橋萌々香, 高林知也, 上條肇, 菊元孝則, 久保雅義. 5km ランニングにおける繰り返しの負荷が足圧に与える影響. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2022.12.10-12.11.
- (8) 中島早紀, 平林愴, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 足関節底屈筋群に対する動的ストレッチングの効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (9) 大河内偉琉, 平林愴, 中島早紀, 阿部明日香, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 反復他動運動の視覚的運動感覚錯覚による脊髄興奮性への影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (10) 阿部明日香, 平林愴, 岡田芳幸, 山田勇輝, 中島早紀, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 咬合強度・左右の咬合圧バランスが着地動作に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (11) 西口ほのか, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いがアキレス腱張力に与える影響. 第35回ランニング学会, 2023.3.4-3.5.
- (12) 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激による脳活動と運動学習の関連性. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (13) 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習および脳活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (14) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 電界シミュレーションを用いた経頭蓋交流電流による鎮痛効果の検討. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (15) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激による鎮痛効果-電界シミュレーションによる検討-. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (16) 渡邊拓, 松村真裕美, 井上大聖, 坪川操, 高久直子, 嶋田誠一郎. 発症後早期からの積極的な運動療法により連続歩行距離は延長したが, 低栄養状態が遷延した皮膚筋炎・間質性肺炎合併患者の一例. 第26回福井県理学療法学会学術大会, 2022.5.28-5.29.
- (17) 渡邊拓, 久保田雅史, 井上大聖, 松村真裕美, 坪川操, 松尾英明. 脳幹梗塞によりBody Lateropulsionを呈した症例における立位足圧中心の位置および側方移動速度の特徴. 第20回日本神経理学療法学会学術大会, 2022.10.15-10.16.
- (18) 鈴木駿祐, 菊元孝則, 高林知也, 久保雅義. 足関節捻挫を繰り返さないCoperにおける着地前下肢筋活動の同時収縮指数の検証. 第11回アスレティックトレーニング学会, 2022.7.17-8.7.
- (19) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperにおける歩行中の前・中・後足部間の協調性パターン. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム, 2022.8.30-9.1.
- (20) 菊地雄大, 高林知也, 菊元孝則, 渡邊貴博, 久保雅義. 股関節内旋可動域はクロスオーバーカッピング時の足圧中心を予測する因子になり得るか. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム, 2022.8.30-9.1.
- (21) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. The effects of tonic locus coeruleus output on forepaw-evoked response of the primary somatosensory cortex in anesthetized rats. 第45回日本神経科学大会, 2022.6.30-7.3.



- (22) 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いがActive Touch介入効果に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (23) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 1.0Hzのラット青斑核電気刺激は一次体性感覚野の活動を増大させる. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会, 2022.9.1-9.23.
- (24) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核への電気刺激が一次体性感覚野の神経活動へ与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (25) 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (26) 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤愴, 田宮創, 井上達朗, 椿淳裕. アスコルビン酸が敗血症モデルラットの筋収縮時の骨格筋酸素動態に与える影響. 第6回日本循環器理学療法学会学術大会, 2022.9.3-9.4.
- (27) 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤愴, 椿淳裕. ラットの敗血症が骨格筋酸素動態と筋発揮力に与える影響. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- (28) 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤愴, 田宮創, 井上達郎, 椿淳裕. アスコルビン酸は敗血症モデルラットにおける筋収縮後の骨格筋酸素分圧の回復を遅延させる. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (29) 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (30) 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂皮質に対する経頭蓋電流刺激が下肢の視覚追従課題および固有受容覚に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (31) 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 課題難易度の異なる運動練習が下肢の皮質脊髄路興奮性および抑制性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (32) 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 刺激様式の異なる触圧覚刺激介入が触圧覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (33) 高見澤愴, 堀田一樹, 池上諒, 一杉直樹, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性糖尿病が骨格筋収縮時における酸素圧勾配に与える影響. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (34) 高見澤愴, 堀田一樹, 池上諒, 一杉直樹, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性糖尿病が骨格筋収縮および弛緩特性に与える影響. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- (35) 高見澤愴, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 一杉直樹, 井上達朗, 田宮創, 椿淳裕. ストレプトゾシン誘発性の糖尿病がラット骨格筋収縮時における酸素圧勾配と筋張力に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (36) 佐々木啓, 櫻井典子, 児玉直樹. パズルゲームによる認知症予防の可能性. 第11回日本認知症予防学会学術集会, 2022.9.23-9.25.
- (37) 井上創太, 貝沼利矩, 太田大樹, 田口徹. 持続ストレス負荷モデルラットのホルマリンテストにおける侵害受容感作. 第45回日本神経科学大会, 2022.6.30-7.3.
- (38) 平塚栞, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. 正常足者と扁平足者におけるランニング時の足関節内がえし/外がえしと膝関節内反/外反の運動連鎖. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (39) 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症を有する者とcoperにおけるランニング立脚期の後足部と中足部間, 中足部と前足部間の協調性パターンの違い. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (40) 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperのランニングおよび歩行時の後足部と中足部間, 中足部と前足部間のcoordination variability.

第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.

- (41) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な1.0Hz電気刺激は一次体性感覚野の活動を増大させる－麻醉下動物実験による検証－. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (42) 吉田麗玖, 笠原一希, 村上優太, 佐藤成, 久保雅義, 野坂和則, 中村雅俊. 5回の最大随意伸張性収縮は週2回の低頻度でも筋力増加, 筋肥大を誘発する. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.3.
- (43) 吉田麗玖, 笠原一希, 村上優太, 野坂和則, 中村雅俊. 肘関節最大伸張性収縮筋力は最大等尺性収縮筋力においても推定可能である. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (44) 吉田麗玖, 笠原一希, 村上優太, 佐藤成, 野坂和則, 中村雅俊. 従来のレジスタンストレーニングにおける短縮性収縮局面は筋疲労を促進させる. 第24回日本体力医学会北海道地方会大会, 2022.4.16.
- (45) 村上優太, 吉田麗玖, 笠原一希, 佐藤成, 中村雅俊. スタティックストレッチが関節位置覚に与える効果の検討. 第24回日本体力医学会北海道地方会大会, 2022.4.16.
- (46) 村上優太, 吉田麗玖, 笠原一希, 佐藤成, 久保雅義, 中村雅俊. スタティックストレッチが関節位置覚に与える効果の検討. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (47) 村上優太, 吉田麗玖, 笠原一希, 佐藤成, 小泉亮馬, 中村雅俊. スタティックストレッチが関節位置覚の経時的変化の検討. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (48) 笠原一希, 吉田麗玖, 村上優太, 佐藤成, 中村雅俊. 6週間のFoam Roller介入とVibration Foam Roller介入が足関節底屈筋群に与える影響の比較. 第24回日本体力医学会北海道地方会大会, 2022.4.16.
- (49) 笠原一希, 吉田麗玖, 村上優太, 佐藤成, 久保雅義, Andreas Konrad, David G Behm, 中村雅俊. Foam Rollingと静的・動的ストレッチの併用効果および介入順序が膝関節伸展筋群に与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.3.
- (50) 笠原一希, Andreas Konrad, 吉田麗玖, 村上優太, 佐藤成, 小泉亮馬, David G Behm, 中村雅俊. 膝関節伸展筋群の機能に及ぼす短時間のstatic stretchとfoam rollingの単独および併用効果の比較・検討. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (51) 一杉直樹, 堀田一樹, 池上諒, 高見澤愔, 田宮創, 井上達朗, 椿淳裕. アスコルビン酸が敗血症ラットの骨格筋酸素動態と筋発揮張力に与える影響. 第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 2022.11.11-11.12.
- (52) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 鈴木駿佑, 平塚栞, 久保雅義. 慢性足関節不安定症を有する者とcoperにおけるmodified Star Excursion Balance Test中の母趾外転筋筋活動量の違い. 第2回リハビリテーション専門職学術大会, 2022.12.10.
- (53) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 久保雅義. 慢性足関節不安定症者とcoperにおける歩行立脚期の後・中・前足部間のcoordination variability. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2022.12.10-12.11.
- (54) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 菊地雄大, 平塚栞, 鈴木駿佑, 久保雅義. ランニング時の母趾外転筋筋活動量と足部内協調性パターンとの関連性. 第35回ランニング学会, 2023.3.4-3.5.
- (55) 平塚栞, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. 正常足者と扁平足者におけるランニング中の股関節運動の違い. 第35回ランニング学会, 2023.3.4-3.5.
- (56) 平塚栞, 高林知也, 渡邊貴博, 菊元孝則, 久保雅義. 階層的クラスタリングを用いたランニング中の下肢関節間の運動連鎖パターンの分類. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2022.12.10-12.11.
- (57) 高林知也, 江玉睦明. 男女における膝関節回旋肢位の違いが膝蓋大腿関節ストレスに与える影響. 第14回JOSKAS-JOSSM, 2022.6.16-18.

- (58) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 総合討論：扁平足者におけるランニング中の足部内キネマティクスとキネティクス. 第27回バイオメカニズム・シンポジウム, 2022.8.30-9.1.
- (59) 越智元太, 桑水隆多, 青池直樹, 征矢英昭. 認知疲労に運動時過換気応答が関わるか：漸増負荷運動による検討. 第77回日本体力医学会, 2022.9.21-9.23.
- (60) 三瀬貴生, 三富陽輔, 井上喜智, 高山弘幹, 毛利早希. 若年競泳選手における身体特性の経時的変化一年間身長増加量の違いによる比較一. 第24回水と健康医学研究会, 2022.6.2.
- (61) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 運動および炎症後の骨格筋におけるTmem120aおよびTmem120b mRNAの発現. 第45回日本神経科学大会, 2022.6.30-7.3.
- (62) 太田大樹, 坪島功幸, 片野坂公明, 金川基, 田口徹. 運動の繰り返し効果における糖鎖ヒアルロン酸の役割. 第8回日本筋学会学術大会, 2022.8.5-8.6.
- (63) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋・筋膜におけるTACAN mRNAの発現変化. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- (64) 藤本知臣, 山代幸哉, 穴澤沙也可, 巻渕泰輝, 五十嵐小雪, 越智元太, 佐藤大輔. 皮膚へのメントール塗布が温度刺激時の感覚処理に及ぼす影響. 第77回日本体力医学会, 2022.9.21-9.23.
- (65) 齊藤慧, 大鶴直史, 小池康太郎, 竹内皓太, 大西秀明. 背外側前頭前野への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (66) 櫻井典子, 児玉直樹. 機能的MRIを用いたASMRによる脳機能メカニズム. 第77回新潟県診療放射線技師会学術大会, 2022.5.22.
- (67) Shibata S, Mima T, Onishi H. A brand-new transcranial static magnetic field stimulation (triple tSMS) of human motor cortex. 第45回日本神経科学大会, 2022.6.30-7.3.
- (68) 芝田純也, 大西秀明, 美馬達哉. シン磁場刺激 (triple tSMS) がもたらす皮質内興奮性調節機構への影響. 第16回Motor Control研究会, 2022.8.25-8.27.
- (69) 芝田純也, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激 (tSMS, transcranial static magnetic field stimulation) の基礎とその可能性. 第61回日本生体医工学会大会, 2022.6.28-6.30.
- (70) 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 伴場信之, 中谷祐己, 星合愛, 安隆則. 長期的な運動指導介入は, 糖尿病性腎臓病患者における心大血管疾患の発症および全死亡リスクを抑制する. 第一回日本老年療法学会学術, 2022.10.1-10.2.
- (71) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および末梢神経におけるTmem120A, Bの発現定量. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (72) 椿淳裕, クタンニ, 松橋日和, 秦偉翔, 徳永由太, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 高見澤愔, 一杉直樹. 両大腿部の駆血-解放によって生じる血圧低下と脳酸素化ヘモグロビンの変化. 第6回日本循環器理学療法学会学術大会, 2022.9.3-9.4.
- (73) 椿淳裕. 運動時の脳計測とリハビリテーション領域での利用の可能性. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (74) 宮嶋大貴, 松橋日和, 馬場啓貴, 中田舞絢, 井上達郎, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 急性の血圧低下を繰り返すことによる平均血圧と脳の酸素化動態の変化. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (75) 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 伸張性収縮後の筋力低下に対する細胞外マトリクス糖鎖の予防効果. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- (76) 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 胸腰部への伸張性収縮負荷による筋圧痛閾値ヒートマップの作製. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (77) 大野健, 計良妙, 大久保真樹, 渡辺将樹, 松田豪, 五十嵐博中. グリシンCEST-MRイメージング法の開発とアルツハイマー病モデルマウスへの応用. 第50回日本磁気共鳴医学会大会, 2022.9.9-9.11.

- (78) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の足部内モーメントに与える影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (79) 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. ウェットスーツ着用がオープンウォータースイミングのトレーニング中の体温動態に及ぼす影響～ウェットスーツを用いたトレーニングの安全性検証～. 日本水泳・水中運動学会2022年次大会, 2022.10.8-10.9.
- (80) 江玉睦明, 高林知也. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. JOSKAS-JOSSM2022, 2022.6.16-6.18.
- (81) 江玉睦明, 高林知也. 後脛骨筋腱の付着部位及び領域の検討. JOSKAS-JOSSM2023, 2022.6.16-6.18.
- (82) 宮口翔太. 経頭蓋交流電流刺激を用いた運動学習プログラムの検討. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (83) 江玉睦明. 臨床における理学療法士の超音波画像装置の使用について. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.3.
- (84) 長坂和明. 脳卒中後疼痛の発症メカニズムと神経モジュレーションによる除痛機序の解明 - 動物モデルを用いた研究 -. 第20回日本神経理学療法学会学術大会, 2022.10.15-10.16.
- (85) 長坂和明, 高島一郎, 松田圭司, 肥後範行. 後部高皮質・二次体性感覚野の薬理的抑制は温熱刺激に対する痛覚過敏を減弱させる - 脳卒中後疼痛サルモデルを対象とした検証 -. 第28回脳機能とりハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (86) 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる電流強度による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (87) 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexとランニング中の足底腱膜張力の関連性. 第47回日本足の外科学会, 2022.11.3-11.4.
- (88) 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. 内側広筋の出力低下が膝蓋大腿関節ストレスに与える影響—数値モデルを用いたシミュレーションによる検討—. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (89) 田宮創. 多職種で協働し“見える化”を取り入れた糖尿病性腎臓病患者への重症化予防. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.
- (90) 関根千恵, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林愴, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舎川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 女子バレーボール選手における腰痛既往の有無による体幹筋の筋厚と筋輝度の比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.13.
- (91) 佐藤大輔. 感覚入力と反応抑制機能—アスリートの可塑的变化—. 第61回日本生体医工学会, 2022.6.29.
- (92) 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 舎川真侑, 富樫亮弥, 山田勇輝, 大森豪. 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響とその男女差. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (93) 椿淳裕. 理学療法士の関わりとIPW. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.
- (94) 石垣智恒, 山中正紀, 江玉睦明, 大森豪. 健常大学野球選手における肩後方タイトネスと下肢柔軟性との関連. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-21.
- (95) 井上達朗. 医療機関でのサルコペニアに対するエビデンスと栄養理学療法の役割. 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2022.9.9-9.10.
- (96) 井上達朗, 清水昭雄, 佐竹昭介, 松井康素, 上島順子, 室谷健太, 荒井秀典, 前田圭介. オステオサルコペニアと認知的フレイルは関連する. 第64回日本老年医学会学術集会, 2022.6.4.

- (97) 井上達朗. オステオサルコペニアのバイオマーカーの探索. 第1回日本老年療法学会学術大会, 2022.10.1.
- (98) 田口徹, 太田大樹. 遅発性筋痛の発症予防における細胞外マトリクス糖鎖の役割: 筋侵害受容器の単一神経記録による電気生理学的解析. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (99) 田口徹, 坪島功幸, 太田大樹. 細胞外マトリクス糖鎖の筋内投与による遅発性筋痛の軽減効果. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (100) 田口徹, 貝沼利矩, 太田大樹. 繰り返し寒冷ストレスモデルラットにおける脊髄後角ニューロンの興奮性増大. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (101) 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 炎症性および非炎症性筋痛モデルラットの筋においてTACANの発現は増大する. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (102) 太田大樹, 田口徹. カラゲニン誘発性筋炎モデルの筋におけるTmem120Bの発現増大. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (103) 太田大樹, 田口徹. 伸張性収縮による細胞外マトリクス糖鎖の増大: 免疫組織化学による定量化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (104) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける神経成長因子の発現増大に対する細胞外マトリクス糖鎖の効果検証. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (105) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Foot posture indexとランニング中の足部内モーメントの関連性. 第9回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2022.12.10-12.11.
- (106) 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 糖鎖ヒアルロン酸による遅発性筋痛の発症予防効果. 第44回日本疼痛学会, 2022.12.2-12.3.
- (107) 山代幸哉. なぜ北海道からトップスプリンターが輩出されるのか?. 第30回日本運動生理学会, 2022.8.25-8.26.
- (108) 平林愴, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 江玉睦明. 咬合による三叉神経入力が中枢機能に及ぼす影響: 瞳孔径と脊髄機能で検討. 第77回日本体力医学会大会, 2022.9.21-9.23.
- (109) 平林愴, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 横田裕丈, 関根千恵, 舎川真侑, 富樫亮弥, 大森豪. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (110) 平林愴, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右の咬合圧バランスが青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第33回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2022.12.3-12.4.
- (111) 平林愴, 江玉睦明, 岡田芳幸, 山田勇輝, 阿部明日香, 大河内偉琉, 中島早紀, 横田裕丈, 関根千恵, 大西秀明. 咬合圧バランスによる遠隔促通効果が青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (112) 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける糖鎖ヒアルロン酸による筋痛予防効果. 2022年度生理学研究所研究会, 2023.1.19-1.20.
- (113) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Arch height flexibilityとランニング中の足底腱膜張力は関連する. 第35回ランニング学会, 2023.3.4-3.5.
- (114) 太田大樹, 坪島功幸, 田口徹. 運動後に筋で発現増大するヒアルロン酸による遅発性筋痛発症予防効果. 日本生理学会第100回記念大会, 2023.3.14-3.16.
- (115) 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 大久保雄, 金岡恒治. 局所振動刺激による運動錯覚性の重心位置変化に対する筋反応. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (116) 阿久澤弘, 熊井司, 金岡恒治. 歩行動作における足部内在筋の機能検証. 第47回日本足の外科学会, 2022.11.3-11.4.
- (117) 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 金岡恒治. Short Foot Exerciseと足趾運動時の足部内在筋, 外在筋筋活動比較. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.12-12.23.

- (118) 江玉睦明, アキレス腱断裂を機能解剖学から見る. 第47回日本足の外科学会, 2022.11.3-11.4.
- (119) 田口徹, 花田亘平, 太田大樹. 伸張性収縮負荷による実験的ヒト腰痛モデルの作製. 第44回日本疼痛学会, 2022.12.2-12.3.
- (120) Taguchi T, Kainuma R, Ota H. Increased pain-related behaviors and neuronal activation of the spinal dorsal horn in a rat repeated cold stress-induced pain model. 第100回日本生理学会, 2023.3.14-3.16.

4) 国内学会・共同

- (1) 松澤寛大, 江玉睦明. 浅指屈筋における各指の起始部構造について. 第12回JOSKAS, 2020.12.17-12.19.
- (2) 田村由馬, 田宮創, 安隆則. 心腎リスクに配慮した運動療法の実践. 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2022.6.11-6.12.
- (3) 山崎雄大, 李東旻, 諏訪部和也, 越智元太, 青池直樹, 桑水隆多, 征矢英昭. 軽度低酸素による海馬機能変化はSpO<sub>2</sub>低下に依存する. 第77回日本体力医学会, 2022.9.21-9.23.
- (4) 三木陽菜乃, 齊藤慧, 平賀大河, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 脳由来神経栄養因子が抹消電気刺激の刺激効果にもたらす影響～触覚方位弁別課題を用いた検証～. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (5) 松本卓也, 伊藤佳奈実, 石田晴輝, 堀之内峻之, 柚木啓輔, 芝田純也, 美馬達哉, 砂川融, 桐本光. 両側運動前野に対する複合型静磁場刺激(シン磁場刺激)が選択反応課題の精度に及ぼす影響. 第37回日本生体磁気学会大会, 2022.6.14-6.15.
- (6) 下村亮太, 芝田純也, 小金丸聡子, 水口雅俊, 市村幸盛, 美馬達哉. 脳卒中片麻痺患者に対する経頭蓋静磁場刺激の臨床応用について. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2022.6.23-6.25.
- (7) 松本卓也, 芝田純也, 美馬達哉, 砂川融, 桐本光. 両側運動前野に対する経頭蓋静磁場刺激が視覚刺激選択反応課題の精度に及ぼす影響. 第56回日本作業療法学会, 2022.9.16-9.18.
- (8) 今井遼太, 椿淳裕, 阿部貴文, 山口征吾. 集中治療室入室患者における離床時の脳酸素化反応とバイタルサインの経時的変化の比較～敗血症患者と心不全患者での比較～. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (9) 鷲澤玲央, 岩田健太郎, 滝本龍矢, 稲垣優太, 前川侑宏, 佐藤大地, 生田智也, 椿淳裕. 冠動脈バイパス術後患者における心肺運動負荷試験中の前頭前野での脳酸素飽和度変化の一例. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (10) 齋藤寛代, 内山祈, 小澤祐治, 新山祐貴, 平田萌々花, 小澤哲也, 佐藤隆一, 堀田一樹, 椿淳裕, 鈴木良介, 霜田直史, 井上達朗. 近赤外分光法を用いたSTA-MCAバイパス術後離床時の過灌注評価. 第28回医用近赤外線分光法研究会・第26回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会, 2022.10.1-10.2.
- (11) 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. ラット足関節背屈筋群の収縮力発生における下腿筋膜の役割. 第77回日本体力医学会, 2022.9.21-9.23.
- (12) 森彰平, 橋本浩平, 藤井豊, 加藤大喜, 柴崎隆正, 仲田健男, 矢部三男, 松平秀樹, 平野純, 大塚崇. 重症肺炎に対するVV-ECMO体外循環回路にサイトカイン吸着カラムを組み込むラットでのプレクリニカルモデルの開発. 第39回日本呼吸器外科学会学術集会, 2022.5.20-5.21.
- (13) 坂西清, 長濱大輔, 杉山貴大, 山倉貴大, 柴田真由美, 久保野勝男, 藤井豊. 臨床検体をを用いた株の違いによるCOVID-19抗原検出キットの検出感度の検証. 第71回日本医学検査学会, 2022.5.21-5.22.
- (14) 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤投与1日後における主要臓器に及ぼす影響. 第71回日本医学検査学会, 2022.5.21-5.22.
- (15) 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭, 長濱大輔. Sonazoid投与により誘導される遺伝子マーカー

- 発現の推移－小動物を用いた検討－. 第47回日本超音波検査学会学術集会, 2022.5.27-5.29.
- (16) 田村典子, 阿部拓也, 藤井豊. ラットの動脈血および静脈血によるコラーゲン繊維上の血小板血栓の成長. 第45回日本バイオレオロジー学会年会, 2022.6.4-6.5.
- (17) 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体外側基底核の電気刺激によって誘発される後部島皮質の神経活動応答－脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした計測. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (18) 松田滉平, 長坂和明, 加藤隼平, 高島一郎, 肥後範行. マカクサル内包梗塞後における脳灰白質の可塑的構造変化. 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2022.9.1-9.23.
- (19) 芝田純也, 大鶴直史, 大西秀明, 美馬達哉. 運動関連脳電位と随意運動との因果関係－運動関連脳電位を模した経頭蓋電気刺激は随意運動を誘発できるか?－. 日本臨床神経生理学会第52回学術大会, 2022.11.24-11.26.
- (20) 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧変化にともなうヒトの自覚的感覚強度. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (21) 坪島功幸, 太田大樹, 田口徹. 細胞外マトリクス糖鎖による運動後の筋力低下の発症予防効果. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (22) 笹木来亜, 太田大樹, 田口徹. 外耳内圧刺激にともなう心拍数の変化. 第22回新潟医療福祉学会学術集会, 2022.10.29.
- (23) 阿部拓也, 埜晴雄, 藤井豊. 小動物体外循環における主要臓器での炎症評価～リアルタイムPCRによる検討～. 生体医工学シンポジウム2022, 2022.11.13.
- (24) 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の炎症性サイトカイン遺伝子の発現の推移. 第10回日本臨床衛生検査技師学会 北日本支部医学検査学会, 2022.11.13.
- (25) 村田憲章, 藤井豊, 松井由美子, 栗原桂. リモート実施となった連携教育科目「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.13.
- (26) 栗原桂, 松井由美子, 村田憲章, 藤井豊. 連携教育と国際交流：新潟医療福祉大学の連携総合ゼミの取組を学生のリフレクションシートから振り返る. 第15回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2022.11.19.
- (27) 溝口貴之, 藤井豊, 荒倉真風, 源田卓郎, 加藤直道, 中田正悟, 小田款文, 宮本伸二, 穴井博文. 大動物モデルを用いた人工心肺中のDUFが酸化ストレスに与える影響についての検討. 第47回日本体外循環技術医学会大会, 2022.12.17.
- (28) 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤起因の腎傷害の推移 小動物造影超音波検査モデルを用いた検討. 第95回新潟県臨床検査学会, 2022.12.17.
- (29) 坂西清, 山倉貴大, 杉山貴大, 柴田真由美, 久保野勝男, 長濱大輔, 藤井豊. 株の違いによるCOVID-19抗原検出キットにおける最小検出感度の検証. 第95回新潟県臨床検査学会, 2022.12.17.
- (30) 小黒凌輔, 阿部拓也, 渡邊博昭, 藤井豊. 血漿中サイトカインと酸化ストレスとの相関性評価. 第95回新潟県臨床検査学会, 2022.12.17.
- (31) 吉田結梨子, 山口久穂, 平林愔, 岡田幸幸. 胸腔内圧がヒラメ筋H反射の遠隔促通に与える影響. 第33回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2022.12.3-12.4.
- (32) 稲井卓真, 高林知也. 歩行中の身体部位の加速度を用いた下肢関節モーメントの推定－機械学習による検証－. 第27回日本基礎理学療法学術大会, 2022.10.1-10.2.
- (33) 稲井卓真, 高林知也. 降段動作の速度は股関節内・外転モーメントインパルスに影響を与えるか?. 第10回日本運動器理学療法学会学術大会, 2022.7.4.
- (34) 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. Neural response in the posterior insular cortex evoked by stimulation of the basolateral amygdala in central post-stroke pain model rats. 第100回日本生理学会, 2023.3.14.

- (35) 河野健太, 山口智志, 木村青兎, 三上行雄, 中嶋啓文, 吉本夕里子, 渡邊翔太郎, 佐粧孝久, 江玉睦明, 大鳥精司. 前距腓靭帯フットプリントの定量評価. 第47回日本足の外科学会, 2022.11.3-11.4.
- (36) 齋藤梨奈, 江玉睦明, 舎川真侑, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 大森豪. 月経周期における大腿部および下腿部の筋・腱の力学的特性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (37) 舎川真侑, 江玉睦明, 関根千恵, 平林愴, 横田裕丈, 阿久澤弘, 石垣智恒, 富樫亮弥, 山田勇輝, 長南晴樹, 佐藤大輔, 大森豪. 膝前十字靭帯再建術後の女性の月経周期における関節弛緩性の変化. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (38) 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. ユース年代男子サッカー選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (39) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠状況と食生活状況. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2022.11.19-11.20.
- (40) 山本智章, 菊池達哉, 土方啓生, 島倉剛俊, 高橋栄明, 田邊春美, 川島寛之, 奥村剛, 大森豪, 埴晴雄, 江玉睦明. 各世代におけるビタミンD充足状況の検討. 第41回 東北骨代謝・骨粗鬆症研究会, 2023.2.1.
- (41) 富樫亮弥, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 鳥海拓, 影山幾男. 距骨下関節の関節・靭帯構造と距骨下関節の変性との関係. 第128回日本解剖学会全国学術集会, 2023.3.17-3.19.
- (42) 安隆則, 上野明日香, 川本進也, 鶴見知己, 高橋もも, 高橋治憲, 田宮創, 田村由馬. 循環器合併症を考慮したリハビリテーション. 第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.3.18-3.19.
- (43) 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 水村和枝, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角ニューロンの機械的刺激に対する反応の増強. 第96回日本薬理学会年会, 2022.11.30-12.3.
- (44) 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫, 水村和枝, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角表層細胞の機械感受性増大. 日本薬学会第143年会, 2023.3.25-3.28.

#### 4. 学会活動

- (1) Diagnostics, 査読
- (2) 日本スポーツ理学療法学会, 機関誌学術編集委員・査読部門
- (3) 日本スポーツ理学療法学会, 国際認定資格検討委員
- (4) 足の構造と機能研究会, 理事
- (5) 新潟県理学療法士会, 東ブロックネットワーク事務局
- (6) 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (7) International Journal of Sports and Exercise Medicine, 査読
- (8) Journal of Biomechanics, 査読
- (9) 日本アスレティックトレーニング学会, 査読
- (10) 第11回日本アスレティックトレーニング学会, 会場(学術)担当
- (11) 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (12) Pain, 査読
- (13) 第27回日本基礎理学療法学会, 座長(ポスターセッション)
- (14) Scientific Reports, 査読
- (15) Physical Therapy Research, 査読
- (16) 理学療法学, 査読
- (17) Frontiers in Physiology, 査読
- (18) 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読



- (19) 第27回日本基礎理学療法学会, 座長 (一般演題)
- (20) 新潟県理学療法士会・議会, 議長
- (21) Brain stimulation, 査読
- (22) Brain stimulation, 査読
- (23) 日本運動器疼痛学会, 査読
- (24) 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (25) 第15回日本運動器疼痛学会, 演題査読
- (26) 第27回日本基礎理学療法学会, プログラム編集委員 (理工学)
- (27) Cortex, 査読
- (28) Experimental Neurology, 査読
- (29) (一社) 日本スポーツ理学療法学会, 評議員
- (30) (一社) 日本スポーツ理学療法学会, 情報戦略・IR委員会 委員
- (31) (一社) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (32) (一社) 日本基礎理学療法学会, 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会 委員長
- (33) (一社) 日本基礎理学療法学会, 人体解剖学実習検討委員会 委員
- (34) (公社) 人日本理学療法士協会, 運動器分野問題作成部会 部員
- (35) (一社) 体表解剖学研究会, 講師
- (36) 足の構造と機能研究会, 会長
- (37) (一社) 新潟県サッカー協会, 医科学委員
- (38) 新潟スポーツ理学療法研究会, 副会長
- (39) 新潟スポーツ障害フォーラム, 理事
- (40) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (41) Nutrients, 査読
- (42) Biomedicines, 査読
- (43) Biomedicines, 査読
- (44) Journal of Biomechanics, 査読
- (45) Journal of Clinical Medicine, Topic Editor
- (46) 第9回日本スポーツ理学療法学会, 査読
- (47) 新潟医療福祉学会誌, 編集委員
- (48) 水泳水中運動科学, 査読
- (49) Journal of Biomechanics, 査読
- (50) Journal of Rehabilitation Neurosciences, 編集委員
- (51) 第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 大会企画部長
- (52) 理学療法学, 編集委員
- (53) Journal of Rehabilitation Neurosciences, 査読
- (54) 脳機能とリハビリテーション研究会, 理事
- (55) Nature communications, 査読
- (56) 日本基礎理学療法学会, 超音波画像診断装置使用に関する検討委員
- (57) World Journal of Clinical Cases, 査読
- (58) Journal of Athletic Training, 査読
- (59) 日本基礎理学療法学会, 学術局教育部
- (60) Journal of Integrative Neuroscience, 査読
- (61) 日本栄養・嚥下理学療法研究会, 理事
- (62) 日本老年療法学会, 理事, 広報委員長

- (63) 日本リハビリテーション栄養学会, 代議員, 学術雑誌編集委員, 教育委員会委員, 論文賞選考委員会委員, 国際委員会委員, 理学療法士部会役員
- (64) 日本臨床栄養代謝学会, 学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人
- (65) 日本骨粗鬆症学会, 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
- (66) 日本転倒予防学会, 学術委員
- (67) 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドライン, ガイドライン作成委員
- (68) サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン, ガイドライン作成委員
- (69) 第8回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 実行委員長
- (70) Clocks & Sleep, 査読
- (71) Scientific Reports, 査読
- (72) International Journal of Clinical and Health Psychology, 査読
- (73) Brain sciences, 査読
- (74) Foot, 査読
- (75) PeerJ, 査読
- (76) Scientific Reports, 査読
- (77) Experimental Brain Research, 査読
- (78) Scientific Reports, 査読
- (79) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (80) Brain Sciences, 査読
- (81) 日本糖尿病理学療法雑誌, 査読
- (82) Gait&Posture, 査読
- (83) 新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 座長 (一般演題)
- (84) 全国大学理学療法教育学会, 理事選挙管理委員長
- (85) Frontiers in Pain Research, 査読
- (86) 第4回 足の構造と機能研究会 学術集会, 大会実行委員
- (87) Journal of Biomechanics, 査読
- (88) PLOS ONE, 査読
- (89) 徒手理学療法, 査読
- (90) 足の構造と機能研究会, 理事
- (91) 第4回 足の構造と機能研究会 学術集会, 理事
- (92) 日本スポーツ理学療法学会, 機関誌学術編集委員・査読部門
- (93) 日本スポーツ理学療法学会, 協力学術研究団体申請検討委員会 委員
- (94) 運動器理学療法学会標準化検討委員会, ガイドライン部会 委員
- (95) 第10回日本筋骨格系徒手理学療法研究会学術大会, 演題担当
- (96) 理学療法科学・Physical Therapy Science 優秀論文選考委員会, 優秀論文選考委員会 委員
- (97) 新潟医療福祉学会誌, 査読
- (98) Scientific Reports, 査読
- (99) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (100) スポーツ庁健康スポーツ課技術審査委員会, 技術審査専門員
- (101) 新潟リハビリテーションスポーツ医学総合診療センター拡大運営委員会, 委員
- (102) 第4回 足の構造と機能研究会 学術集会, 大会長
- (103) JPTA, 査読
- (104) Journal of Pain Research, 査読

- (105) Applied Sciences, 査読
  - (106) Current Rheumatology Reviews, 査読
  - (107) Scientific Reports, 査読
  - (108) Current Alzheimer Research, 査読
  - (109) International Journal of Molecular Sciences, 査読
  - (110) Recent Advances in Inflammation & Allergy Drug Discovery, 査読
  - (111) Current Stem Cell Research & Therapy, 査読
  - (112) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
  - (113) Frontiers in Bioengineering and Biotechnology, 査読
  - (114) Frontiers in Pharmacology, 査読
  - (115) Biomedicines, 査読
  - (116) The Open Pain Journal, 査読
  - (117) Frontiers in Pain Research, 査読
  - (118) Current Diabetes Reviews, 査読
  - (119) Cells, 査読
  - (120) New Emirates Medical Journal, 査読
  - (121) Frontiers in Bioscience-Scholar, 査読
  - (122) Animals, 査読
  - (123) The Open Dentistry Journal, 査読
  - (124) Current Pharmaceutical Biotechnology, 査読
  - (125) Journal of Clinical Medicine, 査読
  - (126) Reviews on Recent Clinical Trials, 査読
  - (127) Current Pharmaceutical Design, 査読
  - (128) Journal of Novel Physiotherapy and Rehabilitation, 査読
  - (129) Life, 査読
  - (130) CNS & Neurological Disorders-Drug Targets, 査読
  - (131) Open Journal of Pain Medicine, 査読
  - (132) European Jopurnal of Pharmacology, 査読
  - (133) The Korean Journal of Pain, 査読
  - (134) Bioengineering, 査読
  - (135) Pain Reports, 査読
  - (136) Journal of Rehabilitation Therapy, 査読
  - (137) Medical Science Monitor, 査読
  - (138) Current Drug Therapy, 査読
  - (139) Annals of Translational Medicine, 査読
  - (140) Pharmaceutics, 査読
  - (141) Frontiers In Pain Research, 査読
  - (142) European Jopurnal of Pharmacology, 査読
  - (143) 第27回日本基礎理学療法学会, 査読
  - (144) Frontiers In Pain Research, Review Editor
  - (145) 第27回日本基礎理学療法学会, 座長 (一般演題)
5. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
    - (1) Zoomセミナー, 第1回プログラミングによるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, PT, スポーツトレーナー, オンライン, 2022.4.23.

- (2) Zoomセミナー，第2回プログラミングによるスポーツ統計学セミナー，講師，アルクラボ，PT，スポーツトレーナー，オンライン，2022.5.14.
- (3) 第12回足の病気の専門家webセミナー，扁平足って本当に悪なの？，パネリスト，日本足の外科学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.4.13.
- (4) Zoomセミナー，ランニング障害UPDATE，講師，副島整形外科クリニック，PT，オンライン，2022.7.27.
- (5) 研修会，足部バイオメカニクス，講師，城東整形外科，PT，秋田市，2022.7.8.
- (6) 研修会，認知障害予防のための運動療法，講師，日本健康運動指導士会新潟支部，健康運動指導士，新潟市，2022.6.26.
- (7) 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会，循環器疾患の理学療法は脳に何をもちこたすのか？，講師，関東甲信越ブロック理学療法士協議会，理学療法士，東京都，2022.9.11.
- (8) 大分体外循環セミナー2022，人工心肺中のPO2管理 基礎研究の立場から，講師，大分大学，株式会社テルモ，臨床工学技士，医療機器メーカー，大分市，2022.4.9.
- (9) 第40回日本体外循環技術医学会近畿地方大会，臨床工学技士の未来を設計する - 体外循環関連研究の未来 -，講師，日本体外循環技術医学会 近畿支部，臨床工学技士，吹田市，2022.5.22.
- (10) 第30回千葉県臨床工学技士会勉強会 第2部，論文の書き方 その1「論文構造の解説と作成までの準備」，講師，千葉県臨床工学技士会，臨床工学技士，オンライン，2022.6.20-7.10.
- (11) 第30回千葉県臨床工学技士会勉強会 第3部，論文の書き方 その2「実例を交えた，論文作成のポイント」，講師，千葉県臨床工学技士会，臨床工学技士，オンライン，2022.6.20-7.10.
- (12) 令和4年度 独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ医療職(二)スキルアップ研修，科学論文の読み解き方のポイント，講師，独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ，臨床工学技士，オンライン，2022.12.6.
- (13) 岡山大学病院 臨床工学センター セミナー，臨床工学技士と基礎研究，講師，岡山大学病院 臨床工学センター，医師，臨床工学技士，大学職員，岡山市，2022.12.15.
- (14) 新潟市公民館事業「いきいきセミナー」，正しい歩き方講座，講師，新潟市横越地区公民館，地域住民，新潟市，2022.10.7.
- (15) 社会連携・地域貢献オンラインセミナー，足部変形とランニング障害の関係，講師，新潟医療福祉大学，地域住民，オンライン，2022.10.6.
- (16) 厚生労働省慢性疼痛体制構築モデル事業 新潟県慢性疼痛診療研修会，痛みの多面的評価( ICD-11を含む)を知ろう，講師，新潟大学，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.7.31.
- (17) 第12回足の病気の専門家webセミナー，扁平足って本当に悪なの？，座長，日本足の外科学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.4.13.
- (18) 副島整形外科病院・クリニック勉強会，膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学，講師，副島整形外科病院・クリニック，PT，オンライン，2022.4.27.
- (19) encounter オンラインセミナー，下腿三頭筋の肉離れ～解剖～，講師，株式会社encounter，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.5.13.
- (20) 第13回名古屋ATミーティング，アスレティックトレーナーに必要な足部・足関節の基礎知識，講師，第13回名古屋AT協議会，PT，AT，オンライン，2022.5.15.
- (21) 副島整形外科病院・クリニック勉強会，膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学，講師，副島整形外科病院・クリニック，PT，オンライン，2022.5.25.
- (22) 副島整形外科病院・クリニック勉強会，肘関節の屈曲制限に対する機能解剖学，講師，副島整形外科病院・クリニック，PT，オンライン，2022.6.29.
- (23) 第1回体表解剖学研究会 オンライン講演会，足関節の背屈可動域制限の追求 ～解剖学・体表解剖学の知識・技術の応用～，講師，一般社団法人体表解剖学研究会，医師，PT，他コメディカ

- ルスタッフ，オンライン，2022.7.17.
- (24) 第20回日本神経理学療法学会学術大会，中枢性疼痛の脳内メカニズムとリハビリテーション，オーガナイザー，日本神経理学療法学会，PT，大阪市，2022.10.15.
- (25) encounter オンラインセミナー，下腿三頭筋の肉離れ～リハビリテーション～，講師，株式会社 encounter，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.7.29.
- (26) WoW Factor & Co オンラインセミナー，セラピストが知っておくべきシンスプリントの診方・考え方～解剖学的視点から～，講師，WoW Factor & Co，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.8.29.
- (27) セラピストフォーライフ研修会，膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学①，講師，株式会社セラピストフォーライフ，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.9.18.
- (28) セラピストフォーライフ研修会，膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学②，講師，株式会社セラピストフォーライフ，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.9.25.
- (29) セラピストフォーライフ研修会，肘関節の屈曲制限に対する機能解剖学，講師，株式会社セラピストフォーライフ，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.10.9.
- (30) 第27回日本基礎理学療法学会学術大会，臨床における理学療法士の超音波画像装置の使用について，座長，日本基礎理学療法学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，大阪府，2022.10.2.
- (31) 第20回日本神経理学療法学会学術大会，脳卒中後疼痛の発症メカニズムと神経モジュレーションによる除痛機序の解明－動物モデルを用いた研究－，講師，日本神経理学療法学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，大阪市，2022.10.15.
- (32) みとスポーツ医科学研究会オンラインセミナー，脳と痛み 基礎研究によって根拠に基づく体系化された評価・治療技術確立に挑む，講師，みとスポーツ医科学研究会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.8.24.
- (33) 脳卒中リハビリテーション研究センター【脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用】，脳卒中リハビリテーションに必要な画像評価の基礎知識，講師，脳卒中リハビリテーション研究センター，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.7.9.
- (34) 第40回脳機能とリハビリテーション研究会勉強会，視床感覚核の基礎研究と視床痛，講師，脳機能とリハビリテーション研究会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，オンライン，2022.5.25.
- (35) 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会，運動器慢性疼痛に対するリハビリテーション医療の問題点と今後の展望，講師，日本リハビリテーション医学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，岡山市，2022.11.4.
- (36) 第15回日本運動器疼痛学会，いきいきリハビリノート講習会，講師，日本運動器疼痛学会，医師，PT，他コメディカルスタッフ，栃木県，2022.11.19.
- (37) 指導者スキルアップ講座，運動指導者・支援者として知っておきたい脳のこと，講師，一般社団法人三条まちづくり会社，健康運動指導士，他運動指導者，新潟県，2022.11.27.
- (38) 介護予防における県・市町・大学の連携事業，体力測定，新潟県，新発田市上本田地区在住高齢者，新潟県，2022.11.14.
- (39) 介護予防における県・市町・大学の連携事業，体力測定，新潟県，新発田市上鉄旭地区在住高齢者，新潟県，2022.11.28.
- (40) スポーツ庁「地域運動部活動推進事業」指導者育成プログラム研修会，体力とトレーニング，講師，NPO法人希楽々，村上市教育委員会，融合型部活動指導者（必須），スポ少指導者，体協会員，総合型クラブ職員 学校部活動顧問，外部指導者 他，村上市，2022.11.7.
- (41) 第15回理学療法特別講演会，脳卒中急性期リハビリテーションを語ろう，講師，畿央大学畿桜会，医療関係者，オンライン，2022.10.21.
- (42) 日本老年療学会 学術研修会，高齢入院患者に対する栄養サポートチームにおける療法士（PT）の役割，講師，日本老年療学会，医療従事者，オンライン，2022.4.23.

- (43) 大塚製薬工場 社内研修会, 栄養と理学療法, 講師, 大塚製薬工場, 製薬会社社員, オンライン, 2022.4.28.
- (44) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度講演会, 全身性のサルコペニアからみた嚥下障害と身体的リハビリテーション, 講師, にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 医療従事者, オンライン, 2022.5.14.
- (45) 令和3年度新潟県フレイル克服プロジェクト 事業実施報告会, 運動機能と認知機能の測定会—トキめき会活動報告—, 報告者, 新潟県健康づくり財団, 医療従事者, 新潟県職員, 新潟県, 2022.6.9.
- (46) みどり病院 講演会, 回復期リハ病棟でのリハ栄養の実践, 講師, みどり病院, 医療従事者, オンライン, 2022.6.13.
- (47) 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, サルコペニア・フレイル予防のための運動指導の実際～指導方法及び留意点～, 講師, 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 健康運動指導士, オンライン, 2022.6.26.
- (48) トキめき会, 地域住民の測定会, 運動機能・認知機能測定, 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, 地域住民, 新潟県, 2022.9.10-9.11.
- (49) リハ栄養フォーラム2022, リハ栄養の運動機能評価と運動介入, 講師, 株式会社クリニコ, 医療従事者, 東京都, 2022.8.28.
- (50) 村上市介護予防事業, サルコペニアが原因の嚥下障害について, 講師, 新潟医療福祉大学健康栄養学科, 地域住民, 新潟県, 2022.8.12.
- (51) 第8回新潟高齢者の栄養と摂食を支える会研究会, サルコペニアの摂食・嚥下障害の予防・治療・ケアについて, 講師, 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会研究会, 医療従事者, 新潟県, 2022.10.22.
- (52) 信州訪問リハビリテーションネットワーク研修会, 在宅に必要な栄養問題の知識とリハビリテーション栄養, 講師, 信州訪問リハビリテーションネットワーク, 医療従事者, オンライン, 2022.11.1.
- (53) Otsuka 栄養セミナーin三条, 理学療法と栄養管理, 講師, 大塚製薬工場, 医療従事者, 新潟県, 2022.11.16.
- (54) 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 粟生津地区協議会 講演会, フレイルとは, 講師, 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 粟生津地区協議会, 地域住民, 新潟県, 2022.10.7.
- (55) トキめき会, 地域住民の測定会, 運動機能・認知機能測定, 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, 地域住民, 新潟県, 2022.10.28-10.29.
- (56) 新潟市社会福祉協議会 高齢者福祉大学, 運動と栄養で伸ばそう健康寿命, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 地域住民, 新潟県, 2022.11.8.
- (57) 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会・教育講演, 糖尿病性腎臓病患者に対する理学療法士による運動指導介入の効果, 講師, 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会, 医療従事者, オンライン, 2022.9.27.
- (58) 研修会, バイオメカニクスを用いてスポーツ外傷・障害を考える会, 講師, 北里大学, PT, 大学院生, オンライン, 2022.1.18.
- (59) にいがた在宅診療所 研修会, 多職種で取り組む在宅医療とは, 講師, にいがた在宅診療所, 医療従事者, オンライン, 2022.12.16.
- (60) 日本物理療法研究会第5回SIGカンファレンス, 痙縮運動障害に対する理学療法の最前線, 講師, 日本物理療法研究会, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2023.1.14.
- (61) 日本足の外科学会・第20回足の病気の専門家Webセミナー, 扁平足って本当に悪なの?～しつこく深ぼりしてみます!～Part II, 講師, 日本足の外科学会, 医師, PT, オンライン, 2023.2.22.
- (62) リハテックリンクスWebセミナー: 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション, 足関節の

- 構造と機能, 講師, リハテックリンクス, PT, オンライン, 2023.2.14.
- (63) リハテックリンクス: 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション, 足関節捻挫, 司会, リハテックリンクス, PT, オンライン, 2023.2.28.
- (64) 日本神経理学療法学会 第27回サテライトカンファレンス, 中枢性疼痛の病態メカニズム-脳卒中後疼痛を中心に-, 講師, 日本神経理学療法学会, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, 企業スタッフ, 奈良県, 2023.2.11.
- (65) 人間情報インタラクション研究部門シンポジウム 2022 ~脳の変化~, 脳卒中後の病的な痛みのメカニズム解明とその克服に向けて, 講師, 産業技術総合研究所, 医師, コメディカルスタッフ, 企業スタッフ, 研究者, オンライン, 2023.2.18.
- (66) 日本理学療法士教員協議会, 日本理学療法士教員協議会, 運営, 日本理学療法士協会, PT, オンライン, 2023.2.18.
- (67) 日本理学療法士教員協議会, 日本理学療法士教員協議会, 運営, 日本理学療法士協会, PT, オンライン, 2023.2.18.
- (68) 日本物理療法合同学会大会2023, 一般演題4 神経・筋制御, 座長, 一般社団法人 日本物理療法学会, 医療従事者, 東京都, 2023.2.28-2.19.
- (69) トキめき会, 地域住民の測定会, 運動機能・認知機能測定, 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 東京大学, 新潟医療福祉大学, 地域住民, 新潟県, 2023.2.17-2.18.
- (70) 日本物理療法合同学会大会2023, 疼痛の評価と治療, 講師, 一般社団法人 日本物理療法学会, 医療従事者, 東京都, 2023.2.18-2.19.
- (71) 日本ペインクリニック学会第3回北関東・甲信越支部学会, 疼痛治療と多職種連携, 講師, 日本ペインクリニック学会, 医療従事者, 千葉市, 2023.2.25.
- (72) 新潟県理学療法士会 第3回領域別研修会(心血管理学療法), 栄養からみた循環器理学療法, 講師, 新潟県理学療法士会, 医療従事者, 新潟県, 2023.2.24.
- (73) 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 医療機関でのサルコペニアに対するエビデンスと栄養理学療法の役割, 教育講演, 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 医療従事者, オンライン, 2022.9.9-9.10.
- (74) 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, オステオサルコペニアの基礎と研究の動向, 教育講演, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, 医療従事者, 熊本県, 2023.1.22.
- (75) 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, 臨床研究のスタート, シンポジウム, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, 医療従事者, 熊本県, 2023.1.22.
- (76) 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, Sarcopenia and Physical rehabilitation: Nutritional physical therapy for sarcopenia, シンポジウム, 第12回日本リハビリテーション栄養学会学会, 医療従事者, 熊本県, 2023.1.22.
- (77) 第4回 埼玉体外循環技術交流会, Perfusionistの研究, 教育講演, 第4回 埼玉体外循環技術交流会, 医療従事者, さいたま市, 2023.2.25.
- (78) セラピストフォーライフ研修会, 足関節の可動域制限に対する機能解剖学, 講師, 株式会社セラピストフォーライフ, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2022.12.4.
- (79) 第3回スポーツ外傷・障害予防研究研修会, 第3回スポーツ外傷・障害予防研究研修会, 企画・運営, スポーツ外傷・障害予防研究研修会, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, 新潟市, 2022.12.18.
- (80) Sports medicine web seminar, 足部・足関節の解剖学 ~後足部の謎~, 講師, 第一三共株式会社, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2022.12.20.
- (81) 75回スポーツ理学療法勉強会, 足関節の機能解剖とリハビリテーションの実際, 講師, 山梨県理学療法士会, PT, オンライン, 2023.2.18.
- (82) 第1回研究推進セミナー, 足関節のスポーツ理学療法に関連した研究, 講師, 日本スポーツPT学

- 会, PT, オンライン, 2023.2.19.
- (83) 第20回足の病気の専門家Webセミナー, 扁平足ってホントに悪なの? part II ~しつこく深ぼりしてみます!~, パネリスト, 日本足の外科学会, 医師, PT, オンライン, 2023.2.22.
- (84) Aruck lab 研修会, 膝関節における急性期理学療法を考える, 講師, Aruck lab, PT, オンライン, 2023.2.25.
- (85) 第26回ナイトセミナーシリーズ企画『腱障害』, 第一弾「腱障害の発生メカニズムについて~解剖学的・運動力学的観点から~, 講師, 運動器リハ部, PT, オンライン, 2023.3.2.
- (86) リハテックリンクスWebセミナー: 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション, 慢性足関節不安定症, 司会, リハテックリンクス, PT, オンライン, 2023.3.14.
- (87) リハテックリンクスWebセミナー: 足部・足関節の構造・機能とリハビリテーション, アキレス腱障害, 講師, リハテックリンクス, PT, オンライン, 2023.3.29.
- (88) 第9回日本スポーツ理学療法学会, シンポジウム「Performance Enhancement」, 座長, 日本スポーツ理学療法学会, PT, 東京都, 2022.12.10-12.11.
- (89) 第61回日本生体医工学会大会, 一般講演, 座長, 日本生体医工学会大会, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, 新潟県, 2022.6.28-6.30.
- (90) 2022年度健康長寿学講座, ガマンは禁物?! 知っておきたいカラダの痛みとココロの痛み, 講師, 健康長寿学講座, 新潟市北区の高齢者, 新潟市, 2023.2.9.
- (91) 第20回世界水泳選手権大会に向けた研修事業, 高水温下で生じる生理応答とハイパフォーマンス発揮のための暑熱順化, 講師, 日本水泳連盟OWS強化委員会, 第20回世界水泳選手権 OWS代表選手, コーチおよびOWS強化委員会, オンライン, 2023.3.3.
6. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
- (1) 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 大西秀明, 研究代表者.
- (2) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕, 研究代表者.
- (3) 2021年度, 科研費基盤研究(B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 佐藤大輔, 研究代表者.
- (4) 2021年度, 科研費基盤研究(B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 小島翔, 研究代表者.
- (5) 2022年度, 科研費基盤研究(B), 脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出, 山代幸哉, 研究代表者.
- (6) 2022年度, 科研費基盤研究(B), 慢性疼痛における非治療反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略, 大鶴直史, 研究代表者.
- (7) 2022年度, 科研費基盤研究(B), ストレス誘発性疼痛の中核機構解明と理学療法効果の実証, 田口徹, 研究代表者.
- (8) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発, 能村友紀, 研究代表者.
- (9) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 齊藤慧, 研究代表者.
- (10) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明, 太田大樹, 研究代表者.
- (11) 2021年度, 科研費基盤研究(C), 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 久保雅義, 研究代表者.
- (12) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明, 相馬俊雄, 研究代表者.



- (13) 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 児玉直樹, 研究代表者.
- (14) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定, 八坂敏一, 研究代表者.
- (15) 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 子どもの打撃動作の定量化と運動発達を考慮した質的評価テストの開発, 森下義隆, 研究代表者.
- (16) 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 平林 怜, 研究代表者.
- (17) 2021年度, 科研費研究活動スタート支援, 座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明, 田宮創, 研究代表者.
- (18) 2021年度, 科研費国際共同研究強化B, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 児玉直樹, 研究代表者.
- (19) 2020年度, 科研費若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立, 長坂和明, 研究代表者.
- (20) 2020年度, 科研費若手研究, 泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用, 三瀬貴生, 研究代表者.
- (21) 2020年度, 科研費若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 大野健, 研究代表者.
- (22) 2020年度, 科研費若手研究, 低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明－皮膚温度受容器の役割に着目して－, 藤本知臣, 研究代表者.
- (23) 2021年度, 科研費若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者.
- (24) 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 関根千恵, 研究代表者.
- (25) 2021年度, 科研費若手研究, 視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案, 北谷亮輔, 研究代表者.
- (26) 2022年度, 科研費若手研究, 長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動とその機序の解明, 田宮創, 研究代表者.
- (27) 2022年度, 科研費若手研究, 運動による認知疲労の発生機序: キヌレニン代謝仮説の検証, 越智元太, 研究代表者.
- (28) 2022年度, 科研費若手研究, 母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発と疾患予後を予測する指標への応用, 井上達朗, 研究代表者.
- (29) 2020年度, 科研費挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化, 大西秀明, 研究代表者.
- (30) 2022年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 江玉睦明, 研究代表者.
- (31) 2022年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), 不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦, 大鶴直史, 研究代表者.
- (32) 2022年度, スポーツ庁, 委託事業, 産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成, 江玉睦明, 研究代表者.
- (33) 2022年度, 武田科学振興財団, 医学系研究助成 (精神・神経・脳領域), 経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) と経皮的迷走神経刺激 (tVNS) の融合による革新的な慢性疼痛治療法の開発, 横田裕文, 研究代表者.
- (34) 2022年度, 日本理学療法学会連合, 理学療法に関わる助成金, 脳卒中超早期リハビリテーションの開始時点を決定する血液バイオマーカーの開発, 玉越敬悟, 研究代表者.

- (35) 2022年度, 大和証券ヘルス財団, 調査研究助成, 脳梗塞超早期リハビリテーションによる梗塞巣拡大機構の解明, 玉越敬悟, 研究代表者.
- (36) 2022年度, 公益社団法人臨床研究奨励基金, コメディカル臨床研究助成, 脳出血超早期リハビリテーションによる機能障害悪化機構の解明, 玉越敬悟, 研究代表者.
- (37) 2022年度, 小林製薬, 共同研究開発費, 電気生理学的手法を用いた筋痙攣モデルの作製と漢方薬の評価, 田口徹, 研究代表者.

## 10) 自然人類学研究所

### ①研究テーマ

1. Homo sapiens 誕生と拡散の解明
2. ネアンデルタール人類の絶滅に関する研究
3. 日本列島の人類史の解明
4. 遺跡から出土する人骨や動物骨の研究法の向上
5. 骨組織形態学的方法を用いた人獣鑑別と種同定
6. 人骨や動物骨の古病理学的研究

### ②研究員

所長 : 奈良貴史 リハビリテーション学部理学療法学科 教授  
副所長 : 澤田純明 リハビリテーション学部理学療法学科 准教授  
所員 : 萩原康雄 リハビリテーション学部理学療法学科 講師  
所員 : 佐伯史子 リハビリテーション学部理学療法学科 助教  
所員 : 佐宗亜衣子 リハビリテーション学部理学療法学科 助教

### ③主な活動内容

#### 1. 著書

1. 澤田純明. 「六日町藤塚遺跡出土焼骨の鑑定結果 (2018年度)」『六日町藤塚遺跡I 第1～3次調査・坂之上遺跡I 第1・2次調査』「新潟県教育委員会・新潟県埋蔵文化財調査事業団」2022 : 86-89.
2. 佐伯史子, 澤田純明. 「西原大塚遺跡出土の動物骨」『西原大塚遺跡第234地点埋蔵文化財発掘調査報告書』「埼玉県志木市教育委員会」2022 : 86, 図版16.
3. 佐伯史子, 平慶子, 辰巳晃司, 波田野悠夏, 鈴木敏彦, 奈良貴史. 「西原大塚遺跡出土人骨の人類学的研究」『西原大塚遺跡第234地点埋蔵文化財発掘調査報告書』「埼玉県志木市教育委員会」2022 : 80-85, 図版15.
4. 奈良貴史, 辰巳晃司. 「長岡藩牧野家藩主の復顔プロジェクト」『新潟県考古学会連絡紙』2022 : 134 : 1.
5. 奈良貴史, 萩原康雄, 佐伯史子. 「長谷堂貝塚群出土人骨の人類学的検討」『岩手県大船渡市長谷堂貝塚群中井貝塚平成30・令和元年度緊急発掘調査報告書』「大船渡市教育委員会」2023 : 82-84, 166.
6. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 「出土焼骨分析／植栗山根A遺跡から出土した縄文時代の動物骨」『植栗山根A遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023 : 153-160.
7. 佐伯史子, 澤田純明. 「下里見天神前遺跡から出土した中近世のウマについて」『下里見天神前遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023 : 211-214.
8. 佐伯史子, 奈良貴史. 「1号中世墓出土人骨の人類学的研究」『明神下遺跡発掘調査報告書』「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター」2023 : 132-133.
9. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 「本郷満行原遺跡から出土した骨の人類学的報告」『本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・本郷大カサ遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷萱原遺跡・本郷鳴上遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023 : 840-841.
10. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 「本郷鶴楽遺跡出土人骨分析」『本郷鶴楽遺跡』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023 : 796-797.
11. 奈良貴史. 人類の負の進化と窒息 救急医学 2023 : 47-3 : 261-267.
12. 近藤修, 佐宗亜衣子 ; 設楽博己, 根岸洋編. 縄文晩期の人類学—晩期縄文人の形質的特徴—. 季刊考古学別冊40 縄文時代の終焉. 東京 : 雄山閣出版 ; 2023 : 148-152.

#### 2. 論文

##### 1) 国際誌

- (1) Nara T. The negative legacy of human evolution, *Niigata Journal of Health and Welfare*, 2023.

##### 2) 国内誌

- (1) 石守晃, 佐伯史子, 奈良貴史. 「松谷松下2遺跡の土壙墓と出土人骨の人類学的検討」『研究紀要』「群馬県埋蔵文化財調査事業団」2023: 215-220.

### 3. 学会等研究発表

#### 1) 国際学会・筆頭

- (1) Sawada J, Uzawa K, Yoneda M, Itahashi Y, Gakuhari T, Kubota S, Liu Bin, Wang Ningyuan, Chen Minghui, Wang Yonglei, Song Shu, Okazaki K, Takamuku H, Tomita H, Hagihara Y, Saeki F, Nara T, Nakamura S. Human bone artifacts from the late Neolithic Liangzhu site complex. SEAA9 (Ninth Worldwide Conference of the Society for East Asian Archaeology) (大邱・韓国), 2022.6.29-7.3.

#### 2) 国内学会・筆頭

- (1) 萩原康雄. 人骨の形態解析に基づく中国文明形跡集団の行動様式の復元. 中国文明起源 公募研究成果発表会 (駒澤大学,) 2022.2.19.
- (2) 佐宗亜衣子. 縄文人のストレスマーカーにおける時期変化. 日本考古学協会第87回総会 (早稲田大学), 2022.5.28-5.29.
- (3) 澤田純明. 文明形成期の良渚に出現した人骨の加工品. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会・自由集会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (4) 澤田純明, 青野友哉. 続縄文時代の人々のエナメル質減形成. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (5) 萩原康雄. 骨形態からみる都市化とヒトの行動. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会・自由集会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (6) 萩原康雄, 村山保, 辰巳晃司, 奈良貴史. 側弯症を呈した江戸時代人骨の一例. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (7) 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 安達登, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した縄文早期人骨. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (8) 佐宗亜衣子, 青野友哉, 米田穰. タフォノミー観察と年代測定からみる廃屋墓人骨の埋葬状況. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会・自由集会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (9) 佐宗亜衣子, 佐々木智彦, 中村凱, 松浦秀治, 諏訪元. 「牛川人骨」について. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (10) 辰巳晃司, 奈良貴史. 「港区湖雲寺の江戸時代武家集団にみる貴族的形質の階層性」『第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会』(京都大学), 2022.9.16-9.19.
- (11) 永野汐音, 萩原康雄, 奈良貴史. 神奈川県長谷小路周辺遺跡から出土した古代幼小児人骨. 第22回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟医療福祉大学), 2022.10.28.
- (12) 澤田純明. 縄文から「エミシ」, アイヌへ」, 基調講演「エミシ」の実体はどこまで明らかになったか? - 自然人類学の近年の成果より -. 北東北歴史懇話会 オンラインシンポジウム (オンライン), 2022.11.12.
- (13) 中村謙伸, 辰巳晃司, 鈴木伸太郎, 佐藤巧庸, 波田野悠夏, 平澤悠, 萩原康雄, 深澤真楠, 澤浦亮平, 佐伯史子, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 渡辺丈彦, 鈴木敏彦, 安達登, 河村善也, 佐藤孝雄, 奈良貴史. 「安部遺跡 (尻労安部洞窟) - 北の石灰岩洞窟に旧石器人骨を追う -」『令和4年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』(青森市), 2022.12.10-12.11.
- (14) 辰巳晃司, 中村謙伸, 鈴木伸太郎, 佐藤巧庸, 波田野悠夏, 平澤悠, 萩原康雄, 深澤真楠, 澤浦亮平, 佐伯史子, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 渡辺丈彦, 鈴木敏彦, 安達登, 河村善也, 佐藤孝雄, 奈良貴史. 「青森県尻労安部洞窟」『第36回東北日本の旧石器文化を語る会』(千歳市), 2022.12.17-12.18.

#### 4. 社会活動

##### 1) 公開講座・講演会等

- (1) 第8回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー，奈良貴史（セミナー主催者，講師）・澤田純明（セミナー事務局，講師）・萩原康雄（セミナー事務局，講師）・佐伯史子（セミナー事務局）・佐宗亜衣子（セミナー事務局），新潟医療福祉大学，2022.8.19-8.23.
- (2) 公益法人福島県文化振興財団，川俣町前田遺跡古環境調査に関する指導・助言，福島県，2022.4.1-2023.3.31.

##### 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

- (1) 新聞，新潟日報，新潟医福大が研究所設置 人骨鑑定を強みに，2022.4.8.
- (2) テレビ，NST新潟総合テレビ，新潟医療福祉大学 研究推進へ“人骨鑑定の研究所”新設 一般への開放も検討，2022.4.8.
- (3) Webサイト，NIKKEI，新潟医療福祉大学（新潟市北区）が遺跡出土人骨や白骨死体の法医鑑定を受託する「自然人類学研究所」を開所，2022.4.9.
- (4) Webサイト，大学ジャーナルONLINE，新潟医療福祉大学に自然人類学研究所，法医鑑定受託へ，2022.4.15.
- (5) 新聞，朝日新聞，長岡の殿様，こんな顔でした 新潟医療福祉大，出土人骨から復顔，2022.7.13.
- (6) テレビ，TeNYテレビ新潟，【殿様はどんな顔立ち？】最新技術を駆使して長岡藩主や正室の顔を再現，2022.7.14.
- (7) 新聞，新潟日報，長岡藩主らの顔復元 4代忠寿，9代忠精，8代と10代の正室 新潟医福大など模型公開 細く面長「貴族的形質」，2022.7.15.
- (8) 新聞，読売新聞，細くて小さい顎・面長・高い鼻，藩主と正室は「殿様顔」…頭蓋骨から復元，2022.8.4.
- (9) テレビ，NST新潟総合テレビ，縄文時代の遺跡から火葬された人骨…土葬が一般的な時代になぜ？，2022.10.28.
- (10) 新聞，新潟日報，縄文後期村上の上野遺跡 焼けた人骨あす公開 県「習俗知る貴重な資料」新潟医福大，2022.10.29.
- (11) テレビ，CBCテレビ，健康カプセル！ゲンキの時間，～お尻が健康寿命を左右する！？～シリ筋を鍛えて老化防止，2023.3.12.

##### 3) 社会活動への参加協力

- (1) 新潟県警・山梨県警・広島県警・北海道警からの法医鑑定および人骨調査依頼への協力
- (2) 新潟県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団からの遺跡出土人骨人類学的調査依頼への協力

#### 5. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

- (1) 2021-2022 学術変革領域研究（A）公募研究 人骨の形態解析に基づく中国文明形成期集団の行動様式の復元 研究代表者萩原康雄
- (2) 2022-2024 若手研究 骨形態から読み解く狩猟採集から農耕への生業転換に伴う日本列島集団の行動様式の変化 研究代表者萩原康雄
- (3) 2020-2024 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明 研究代表者澤田純明
- (4) 2020-2023 基盤B 日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する 研究代表者澤田純明
- (5) 2020-2023 基盤B 縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明 研究代表者佐宗亜衣子
- (6) 2022-2025 基盤C 解剖学的方法に基づく日本列島の各時代人類集団の正確な身長推定 研究代表者佐伯史子
- (7) 2020-2024 基盤B 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討 研究代表者奈良貴史

11) 学内における研究助成金の採択状況

(1) 研究奨励金 採択一覧表

①スタート支援研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	甲斐千遥	診療放射線学科	マンモグラムを用いた乳がんの成長予測を行うAI開発と評価
2	櫻井典子	診療放射線学科	ASMRによる聴覚刺激から得られるリラクセス効果の脳機能メカニズム解明
3	吉田皓文	診療放射線学科	先天性心疾患のコンピュータ画像診断・手術計画支援のための心臓奇形例に対する自動判別・自動部位認識を行うAIアルゴリズムの研究
4	竹内瑞希	健康栄養学科	特定健診受診者を対象とした尿中Na/K比構成別の実態と食行動との関連
5	土田千歳	看護学科	避妊行動のポジティブ・デビエンスードミニカ共和国思春期女性の行動変容に向けて-
6	平井克之	医療情報管理学科	異分野融合研究の創発に向けたScopus収録論文の自然言語処理分析
7	稲葉洋美	健康栄養学科	共食頻度を指標とした若年女性のやせ(低体重)に対する対策に関する研究
8	築取 萌	医療情報管理学科	医療上の便益と費用の適正化が両立する組織的なメカニズムの解明: 2つの大規模病院におけるフィールド調査に基づく質的データ分析
9	山城昌一朗	健康スポーツ学科	競泳キックスタートにおける運動様式と身体特性から導く最適なスタート方法の提案
10	寺尾幸子	健康栄養学科	動作解析を用いた包丁技術教育媒体の構築
11	石綿啓子	看護学科	プラチナナースを訪問看護ステーション就業に繋ぐシステムの構築
12	中村純子	健康栄養学科	高等学校男子サッカー選手におけるスポーツ栄養マネジメントの構築
13	小林真里奈	健康スポーツ学科	バスケットボール競技におけるシュート時の手指動作の再現性とボールの投射条件の関係 -ワンハンドショットとボースハンドショットの比較-

②基盤形成研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	横田裕丈	理学療法学科	「安全かつ早期の社会・競技復帰を可能にする」脳刺激法の融合による革新的リハビリテーション手法の開発
2	藤井 豊	臨床技術学科	体外循環中の水素ガス付加による主要臓器保護効果を証明する -人工心肺離脱モデルを用いた検討-
3	村山 稔	義肢装具自立支援学科	脳卒中片麻痺患者の歩行練習に使用する膝関節伸展補助具の効果 -多施設研究-
4	阿部拓也	臨床技術学科	糖尿病病態に対する超音波診断用造影剤起因の臓器傷害のメカニズム解明
5	中山憲司	臨床技術学科	qShot MALDI解析法の解析プラットフォームの構築
6	埴 晴雄	健康スポーツ学科	大学女子アスリートにおける鉄欠乏のメカニズムの究明と新たな治療の可能性の検証
7	神田 賢	義肢装具自立支援学科	異なる座位姿勢・姿勢保持時間が身体・心理面へおよぼす影響
8	大山峰生	作業療法学科	上肢の効果的な筋再教育法の確立
9	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	義足の適合評価におけるソケット内圧力と内部組織の分析
10	前島 偉	診療放射線学科	がん治療のための放射線治療の高精度AI治療計画支援装置の革新的な開発
11	森田邦恵	臨床技術学科	iPS細胞より分化誘導した神経堤細胞・メラノーマ細胞移植マウスによるメラノーマ早期診断マーカーの探索
12	上田純平	健康スポーツ学科	項目反応理論によるPatient Health Questionnaire for Adolescents (PHQ-A) の計量心理学的特徴の比較検討

③ステップアップ研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	江玉睦明	理学療法学科	アキレス腱の捻れ構造と腱特性の特徴解明に基づく腱障害予防法の開発
2	大西秀明	理学療法学科	中側頭回および下頭頂小葉における灰白質容積の減少が体性感覚機能を向上させる神経基盤の解明
3	大鶴直史	理学療法学科	脳内ネットワークの計測と人為的強化による恐怖記憶の効率的消去
4	高林知也	理学療法学科	MRI情報を融合させた筋骨格有限要素モデルに基づく扁平足のタイプ別での骨・軟部組織負荷の解明
5	佐藤大輔	健康スポーツ学科	「誤った動きの抑制」に関連する神経活動の解明と運動学習法への応用
6	犬飼康人	理学療法学科	足底部への高周波反復感覚刺激が感覚機能とバランス機能に与える影響
7	田口 徹	理学療法学科	運動の繰り返し効果の基盤となる細胞外マトリクス糖鎖の同定
8	越智元太	健康スポーツ学科	低酸素環境での運動による認知疲労の神経基盤：低酸素に対する選択的脆弱性の検証
9	椿 淳裕	理学療法学科	血圧低下に対する脳保護戦略を仮定した大脳皮質毛細血管の応答の解明
10	藤本知臣	健康スポーツ学科	皮膚温度受容器が寒冷刺激時の温度感覚および温度情報処理に及ぼす影響－冷感受性チャネルTRPM8およびTRPA1に着目して－
11	平林 怜	理学療法学科	能動的注意と他動運動のニューロインベーション：脊髄機能と運動機能で検討
12	山代幸哉	健康スポーツ学科	経皮的迷走神経刺激による慢性疼痛およびストレス緩和法の提案
13	井上達朗	理学療法学科	高齢者のサルコペニア診断への応用を目的とした新たな骨格筋量指標の開発研究
14	小島 翔	理学療法学科	脳情報デコーディング技術を用いた「運動の巧みさ」に関連する感覚運動連関の解明
15	相馬俊雄	理学療法学科	脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具と歩行支援装置の併用が歩行中の麻痺側下肢に与える筋緊張抑制効果
16	長坂和明	理学療法学科	除痛効果をもたらす最適な電気刺激パラメーターの特定とその機序の解明－疼痛モデル動物を用いた検証－
17	多々良俊哉	視機能科学科	視線解析装置の技術を応用した客観的立体視検査法の確立
18	萩原康雄	理学療法学科	三次元形態解析で読み解く日本列島集団の頭蓋形態の変化
19	芝田純也	理学療法学科	経頭蓋静磁場刺激がもつ脳内ネットワーク調節作用の神経生理学的解明－TMS-EEG法を用いた神経活動伝播の可視化－
20	菊元孝則	理学療法学科	慢性足関節不安定症の病態に基づいたタイプ分類による競技復帰基準の確立に向けて
21	宮口翔太	理学療法学科	運動上達の“伸びしろ”を向上させる新たな脳刺激トレーニング法の考案～運動成績に合わせた刺激法の確立と神経機序の解明～
22	児玉直樹	診療放射線学科	地域や在宅で活用できる認知症および軽度認知障害の自動スクリーニングシステムの開発
23	齊藤 慧	理学療法学科	触覚機能への介入効果を決定づけている個人の脳構造特性の解明
24	高橋英明	理学療法学科	成長期から高齢期に至るまでの骨格筋内におけるリンパ管の分布動態の解明
25	太田大樹	理学療法学科	遅発性筋痛における新規機械受容チャネルTACAN分子基盤の解明
26	北谷亮輔	理学療法学科	プリズム適応による半側空間無視現象が姿勢制御に作用する神経基盤の解明
27	長谷川晃	診療放射線学科	深層学習を用いた超音波検査における膀胱検出支援システムの開発
28	石垣智恒	理学療法学科	機能的役割の異なる腱における運動後の腱特性の変化とそのメカニズムの解明
29	関根千恵	理学療法学科	仙腸関節性腰痛はなぜ女性に多いのか－性差に着目した発生メカニズム検証－
30	齋藤 憲	臨床技術学科	膠芽腫を治療標的とする次世代ペプチド創薬の開発

## (2) 学長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	募集なし		

## (3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習に及ぼす効果の個人差の解明 - BDNF 遺伝子タイプの違いに着目して -
2	久保雅義	理学療法学科	足関節捻挫を再発していない「Coper」の足部内運動パターンと母趾外転筋活動の関連性
3	大西秀明	理学療法学科	急性期脳卒中患者に対する反復的体性感覚刺激が一次体性感覚野の興奮性および体性感覚機能に及ぼす影響の検証
4	椿 淳裕	理学療法学科	慢性閉塞性肺疾患患者における歩行試験中の低酸素血症が脳の微小循環におよぼす影響を解明する
5	大鶴直史	理学療法学科	脳磁場計測による経頭蓋交流電流刺激に対する鎮痛効果の事前予測戦略
6	小島 翔	理学療法学科	後頭頂葉への経頭蓋電流刺激が運動学習と皮質間ネットワークに与える影響
7	椿 淳裕	理学療法学科	ラットの敗血症発症後早期における筋収縮中の骨格筋酸素分圧動態とその動態に対する酸化ストレスの影響の解明
8	江玉睦明	理学療法学科	筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立～新たな運動療法の開発に向けて～
9	江玉睦明	理学療法学科	月経周期における関節弛緩性の変化の検証～膝前十字靭帯再建術後に着目して～
10	久保雅義	理学療法学科	動作時の股関節内旋可動域と足角が第5中足骨への力学的負荷に与える影響
11	大西秀明	理学療法学科	青斑核への電気刺激による感覚機能向上の試み - 動物を用いた研究 -
12	佐藤大輔	健康スポーツ	月経周期による摂食行動に対する抑制機能の変動とその神経基盤の解明
13	藤井 豊	臨床技術学科	臨床検体を用いた COVID-19 抗原検査キットの変異株の判定および検出感度の検証

## (4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
1	東江由起夫	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 代表 共同研究	日本学術振興会 ニッポー(株)
2	安達哲浩	救急救命学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
3	荒川大靖	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
4	池上 諒	理学療法学科	科研費若手研究 受託研究	日本学術振興会 (株)テクノリンク
5	石井雅子	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 代表 受託事業 共同研究	日本学術振興会 福井県鯖江市 (株)ニデック
6	石垣智恒	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
7	伊藤さゆり	言語聴覚学科	科研費若手研究	日本学術振興会
8	犬飼康人	理学療法学科	科研費若手研究 共同研究	日本学術振興会 パナソニック(株)
9	井上達朗	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
10	今西里佳	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
11	岩崎 隆	救急救命学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
12	岩森 大	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表 研究助成金	日本学術振興会 公益財団法人古泉財団
13	鵜瀬亮一	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
14	宇田優子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
15	内山 信	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会



	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
16	大石如香	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
17	太田大樹	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
18	大鶴直史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
19	大西秀明	理学療法学科	科研費基盤研究 (A) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (開拓) 代表	日本学術振興会
			厚労科研費 分担	厚生労働省
20	大野 健	診療放射線学科	科研費若手研究	日本学術振興会
21	大松健太郎	救急救命学科	科研費若手研究	日本学術振興会
22	大森 豪	健康スポーツ学科	共同研究	ヨネックス(株)
23	越智元太	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
24	笠井 聡	診療放射線学科	科研費研究活動スタート支援	日本学術振興会
			共同研究	コニカミノルタ(株)
			共同研究	トーイツ(株)
			共同研究	クレアボ・テクノロジーズ(株)
25	神藏貴久	救急救命学科	科研費若手研究	日本学術振興会
26	川上心也	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
27	川村宏樹	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
28	菊元孝則	理学療法学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
29	北上守俊	作業療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
30	北谷亮輔	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
31	杵渕洋美	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
32	熊崎 昌	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
33	郷 貴博	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
34	小島 翔	理学療法学科	科研費基盤研究 (B)	日本学術振興会
35	越中敬一	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
36	児玉直樹	診療放射線学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
			科研費国際共同研究加速基金 代表	日本学術振興会
			科研費科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
共同研究	クレアボ・テクノロジーズ(株)			
37	齊藤 慧	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
38	佐伯史子	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
39	佐近慎平	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			受託事業	弥彦村
40	佐宗亜衣子	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
41	佐藤晶子	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
42	佐藤郁美	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
43	佐藤大輔	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			共同研究	トッパン・フォームズ(株)
44	佐藤敏郎	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
45	佐藤成登志	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			受託事業	新潟県
46	佐藤裕紀	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
47	澤田純明	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費国際共同研究加速基金 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			科研費学術変革領域研究 (A) 分担	日本学術振興会
48	柴田篤志	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
49	芝田純也	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
50	杉崎弘周	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
51	鈴木一恵	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
52	鈴木健司	医療情報管理学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
53	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	厚労科研費 分担	厚生労働省
54	関根千恵	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
55	相馬俊雄	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
56	高田大輔	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
57	高橋英明	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
58	田口 徹	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
59	多々良俊哉	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
60	玉越敬悟	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
61	田宮 創	理学療法学科	科研費研究活動スタート支援	日本学術振興会
			科研費若手研究	日本学術振興会
62	田村一好	救急救命学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
63	田村俊暁	言語聴覚学科	科研費若手研究	日本学術振興会
64	椿 淳裕	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
65	寺田貴美代	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
66	中井良育	社会福祉学科	科研費若手研究	日本学術振興会
67	長坂和明	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
68	永井 徹	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
69	奈良貴史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			受託研究	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究	(株)中野技研
			受託研究	逗子市教育委員会
70	奈良梨央	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
71	能登真一	作業療法学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			寄附金	クレコメディカルアセスメント(株)
72	萩原康雄	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
			科研費学術変革領域研究 (A) 分担	日本学術振興会
73	長谷川晃	診療放射線学科	科研費若手研究	日本学術振興会
74	針谷美智子	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
75	平林 怜	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
76	藤本知臣	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
77	前田史篤	視機能科学科	受託研究	(株)ライト製作所
78	前田 雄	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			共同研究	ナプテスコ(株)

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
79	増田 修	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
80	増田紘之	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
81	松浦由生子	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
82	三瀬貴生	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
83	宮口翔太	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
84	宮本真菜	健康栄養学科	研究助成金	公益財団法人古泉財団
85	村田憲章	視機能科学科	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
86	森下義隆	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
87	八坂敏一	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
88	山口典子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
89	山崎貴子	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
90	山本悦史	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
91	山本智章	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
92	吉田重和	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
93	若井由梨	健康スポーツ学科	科研費若手研究	日本学術振興会
94	渡邊千春	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
95	渡邊敏文	社会福祉学科	受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟市
96	渡辺 恵	社会福祉学科	科研費研究活動スタート支援	日本学術振興会
97	渡辺洋子	社会福祉学科	科研費若手研究	日本学術振興会
98	和田直子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会

## 12) 外部資金の獲得状況

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表 (円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2019	2023	基盤研究 (A)	大西秀明	知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー	44,200,000
2	2019	2022	基盤研究 (B)	大鶴直史	慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	17,030,000
3	2019	2022	基盤研究 (C)	寺田貴美代	多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発	4,420,000
4	2019	2022	基盤研究 (C)	戸田春男	ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善	4,290,000
5	2019	2022	基盤研究 (C)	岩森 大	とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究	4,290,000
6	2019	2022	若手研究	大松健太郎	AR(拡張現実)技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発	3,380,000
7	2019	2022	若手研究	大湊 麗	二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討ー長期言語成績による分析ー	4,030,000
8	2020	2023	基盤研究 (B)	澤田純明	日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する	17,550,000
9	2020	2023	基盤研究 (B)	奈良貴史	長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討	17,550,000
10	2020	2023	基盤研究 (B)	佐宗亜衣子	縄文家族論の新展開: 廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明	17,810,000
11	2020	2023	基盤研究 (B)	椿 淳裕	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	17,940,000
12	2020	2022	基盤研究 (C)	吉田重和	比較教育研究におけるISCED活用の可能性ー日蘭の職業教育プログラムを事例として	1,690,000
13	2020	2022	基盤研究 (C)	山口典子	男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態	4,420,000
14	2020	2022	基盤研究 (C)	児玉直樹	地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価	4,160,000
15	2020	2023	基盤研究 (C)	宇田優子	外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発ー神経難病患者対象ー	3,770,000
16	2020	2022	基盤研究 (C)	佐藤成登志	看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証	4,290,000
17	2020	2023	基盤研究 (C)	内山 信	難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討	3,900,000
18	2020	2022	基盤研究 (C)	相馬俊雄	脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明	4,290,000
19	2020	2022	基盤研究 (C)	齊藤 慧	知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発	4,290,000
20	2020	2022	基盤研究 (C)	太田大樹	遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明	4,420,000
21	2020	2022	基盤研究 (C)	玉越敬悟	脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発	4,290,000
22	2020	2022	基盤研究 (C)	能村友紀	非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
23	2020	2023	基盤研究 (C)	佐藤敏郎	運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態、 履物、関節痛との関係	4,160,000
24	2020	2022	基盤研究 (C)	池田祐介	水中ドルフィンキックのための専門的 技術トレーニング法の開発	4,160,000
25	2020	2022	基盤研究 (C)	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」 の質感知覚における脳神経メカニズム の解明	4,290,000
26	2020	2023	挑戦的 研究 (開拓)	大西秀明	小脳の構造・機能・ネットワーク解析 による「研ぎ澄まされた感覚」の可視 化	25,740,000
27	2020	2024	国際共同 研究加速 基金（国 際共同研 究強化 (B)	澤田純明	東南アジア大陸部における後期更新世 人類の環境適応の解明	18,850,000
28	2020	2022	若手研究	鵜瀬亮一	VR技術を用いた大学野球選手および指 導者育成の試み	3,380,000
29	2020	2022	若手研究	大野 健	化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グ リシン動態モニタリング法の開発	3,380,000
30	2020	2022	若手研究	神藏貴久	救命のために努力をしてくれた人を救 える社会に ～損害補償の実態と動向 ～	4,160,000
31	2020	2023	若手研究	田村俊暁	時間的・空間的音響解析法を用いた日 本語話者に適した発話評価課題の開発	4,030,000
32	2020	2023	若手研究	北上守俊	高次脳機能障害者に対する科学的根拠 に基づいた就労支援プログラムの開発	4,160,000
33	2020	2022	若手研究	長坂和明	島皮質の活動をリモート制御する大脳 皮質電気刺激法の確立	3,770,000
34	2020	2022	若手研究	犬飼康人	小脳および前庭器官への電流刺激が小 脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与え る影響	4,160,000
35	2020	2022	若手研究	熊崎 昌	衝突系スポーツ活動中における頭部衝 撃の量的可視化と客観的指標の開発	4,290,000
36	2020	2022	若手研究	三瀬貴生	泳動作中の肩峰下空間距離を推定する 手法の開発と肩障害の発生要因解明へ の応用	4,160,000
37	2020	2022	若手研究	奈良梨央	背泳ぎスタートパフォーマンス向上の ためのフィードバックシステムの構築	3,640,000
38	2020	2022	若手研究	渡辺優奈	妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解 明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に 着目して～	4,160,000
39	2020	2022	若手研究	長谷川晃	虚血性心疾患画像診断支援のための深 層畳み込みニューラルネットワークの 開発	4,160,000
40	2020	2022	若手研究	藤本知臣	低温環境下におけるふるえ発生メカニ ズムの解明-皮膚温度受容器の役割に 着目して-	4,160,000
41	2020	2023	若手研究	松浦由生子	競泳選手の肩関節障害の発生要因の解 明	4,160,000
42	2020	2022	若手研究	石垣智恒	腱の温度上昇に着目した腱障害発症メ カニズムの解明	4,160,000
43	2021	2023	基盤研究 (B)	村田憲章	弱視発見率の向上に関する研究：視線 解析による小児視力の迅速自動測定シ ステムの創生	13,520,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
44	2021	2024	基盤研究 (B)	能登真一	健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究	16,640,000
45	2021	2024	基盤研究 (B)	小島 翔	触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開	17,030,000
46	2021	2024	基盤研究 (B)	佐藤大輔	皮質-基底核ループの抑制機能を高め、技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発	17,680,000
47	2021	2023	基盤研究 (C)	丸田秋男	地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するか-政令指定都市の検証から-	1,430,000
48	2021	2025	基盤研究 (C)	山崎貴子	給食施設での栄養評価のためのデータ構築:調理による成分変化と成分表計算値との比較	4,290,000
49	2021	2023	基盤研究 (C)	杵渕洋美	子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用	4,160,000
50	2021	2025	基盤研究 (C)	荒川大靖	地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究	3,900,000
51	2021	2023	基盤研究 (C)	石井雅子	子どもの視力低下のメカニズムを解明-近視抑制法の探索-研究課題	4,030,000
52	2021	2023	基盤研究 (C)	佐近慎平	幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発	3,900,000
53	2021	2023	基盤研究 (C)	安達哲浩	VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作研究課題	4,160,000
54	2021	2023	基盤研究 (C)	原口彩子	「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討	2,990,000
55	2021	2023	基盤研究 (C)	川村宏樹	多発性骨髄腫患者にて分子標的薬ダラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立	4,160,000
56	2021	2023	基盤研究 (C)	八坂敏一	痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定	4,160,000
57	2021	2023	基盤研究 (C)	鈴木健司	COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明	4,160,000
58	2021	2023	基盤研究 (C)	佐藤郁美	出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証	4,030,000
59	2021	2024	基盤研究 (C)	大石如香	認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明	4,160,000
60	2021	2023	基盤研究 (C)	宮口翔太	マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案	4,160,000
61	2021	2023	基盤研究 (C)	久保雅義	扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明	4,160,000
62	2021	2023	基盤研究 (C)	増田紘之	代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた、活動筋-交感神経フィードバック神経回路	4,160,000
63	2021	2024	基盤研究 (C)	永井 徹	サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究	4,160,000
64	2021	2024	基盤研究 (C)	前田 雄	3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究	4,030,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
65	2021	2024	基盤研究 (C)	郷 貴博	下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立	3,640,000
66	2021	2023	基盤研究 (C)	今西里佳	地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証-介護予防・転倒予防を目指して-	4,160,000
67	2021	2023	基盤研究 (C)	斎藤 憲	PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制デコイペプチドの開発	4,030,000
68	2021	2023	挑戦的 研究 (萌芽)	杉崎弘周	ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価	6,370,000
69	2021	2023	挑戦的 研究 (萌芽)	能登真一	AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発	6,370,000
70	2021	2024	国際共同 研究加速 基金(国際共同 研究強化 (B))	児玉直樹	感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価	19,110,000
71	2021	2023	若手研究	中井良育	医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保に関する研究	2,730,000
72	2021	2024	若手研究	伊藤さゆり	本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発	4,680,000
73	2021	2022	若手研究	関根千恵	競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明	4,680,000
74	2021	2024	若手研究	谷賢太郎	六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発	4,550,000
75	2021	2022	若手研究	高橋良光	透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発	4,550,000
76	2021	2023	若手研究	佐々木一真	透析患者のシャント音を用いたバスキュラアクセス機能評価に関する研究	4,680,000
77	2021	2024	若手研究	渡邊洋子	特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究	2,730,000
78	2021	2023	若手研究	北谷亮輔	視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案	4,680,000
79	2021	2024	若手研究	芝田純也	シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用	4,680,000
80	2021	2022	研究活動 スタート 支援	田宮 創	座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明	3,120,000
81	2021	2022	研究活動 スタート 支援	渡辺 恵	DV児童虐待被害母子への効果的支援とは何か。母子生活支援施設入所からの検討	1,170,000
82	2021	2022	研究活動 スタート 支援	笠井 聡	胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現	2,860,000
83	2022	2024	基盤研究 (B)	杉崎弘周	がん教育の発展に関する実証的研究	16,510,000
84	2022	2024	基盤研究 (B)	田口 徹	ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証	17,420,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
85	2022	2025	基盤研究 (B)	大鶴直史	慢性疼痛における治療非反応性の神経 基盤解明による治療効果向上戦略	17,160,000
86	2022	2025	基盤研究 (B)	山代幸哉	脳内情報を基にした慢性疼痛アスリ ートの評価法と対処法の創出	15,600,000
87	2022	2024	基盤研究 (C)	今井理恵	英語授業を改善する4技能5領域での ジャンル正対課題と教授・学習サイク ルの開発	4,160,000
88	2022	2025	基盤研究 (C)	佐伯史子	解剖学的方法に基づく日本列島の各時 代人類集団の正確な身長推定	3,770,000
89	2022	2024	基盤研究 (C)	寺田貴美代	外国人DV被害者とその子どもへの支 援における国際連携プラットフォーム の構築	4,290,000
90	2022	2024	基盤研究 (C)	鈴木一恵	地域在住の自立高齢者の低栄養の実態 と関連要因～食意識・食行動に着目し て～	4,160,000
91	2022	2025	基盤研究 (C)	多々良俊哉	視線解析法を用いた客観的眼位検査の 開発および小児を対象とした健康診査 への応用	4,160,000
92	2022	2025	基盤研究 (C)	高田大輔	体育科における子供の問題発見・解決 能力、言語能力を育む指導方法の検討	4,160,000
93	2022	2024	基盤研究 (C)	石本 豪	自閉スペクトラム症の大学生に対する 就労支援に関する仮説理論モデルの生 成	1,040,000
94	2022	2024	基盤研究 (C)	乗原 桂	両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を 伸ばす取り組み—LENAシステムの活 用	3,900,000
95	2022	2024	基盤研究 (C)	田村一好	地方都市における#7119の時系列・時 空間分析～その普及方略と効果の検証 ～	4,030,000
96	2022	2024	基盤研究 (C)	塚本康子	高齢がんサバイバーがより安全に安心 して生活するためのリソース・モデル の開発	2,080,000
97	2022	2024	基盤研究 (C)	瀧口 徹	公衆衛生施策（ワクチン、水道水フッ 素化等）に関するヘルスリテラシーの 国家間の違い	4,160,000
98	2022	2024	基盤研究 (C)	岩崎 隆	Apple Watch用胸骨圧迫フィードバッ クアプリの開発とその効果の検証	3,900,000
99	2022	2024	基盤研究 (C)	渡邊千春	外来薬物療法を受けるがん患者のニー ズに即した電話相談アルゴリズムの開 発	2,860,000
100	2022	2024	基盤研究 (C)	和田直子	子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ 支援方策の開発—子育てと仕事の両立 実現のために	1,950,000
101	2022	2024	基盤研究 (C)	高橋英明	SPring-8を利用したアキレス腱着部 の3次元構造変化とその力学的特性の 解明	4,160,000
102	2022	2024	基盤研究 (C)	平林 怜	脳刺激と末梢刺激の融合による相反性 抑制増強法の開発	4,290,000
103	2022	2024	基盤研究 (C)	菊元孝則	大規模調査による慢性足関節不安定症 のタイプ分類と再発リスク因子の解明	4,160,000
104	2022	2024	基盤研究 (C)	山本智章	触圧覚刺激による一次運動野興奮性変 動の神経基盤の解明	4,160,000
105	2022	2024	基盤研究 (C)	佐藤晶子	体内チアミン量の短期的な減少がグリ コーゲンローディングに及ぼす影響	2,470,000



	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
106	2022	2025	基盤研究 (C)	山本悦史	プロスポーツにおけるCSV経営の普及 に向けた包括的研究	4,160,000
107	2022	2024	基盤研究 (C)	越中敬一	一過性の身体運動による骨格筋インス リン作用の亢進における水分子動態の 関与	3,900,000
108	2022	2024	基盤研究 (C)	森下義隆	子どもの打撃動作の定量化と運動発達 を考慮した質的評価テストの開発	3,900,000
109	2022	2024	基盤研究 (C)	柴田篤志	児童期での助走を用いた片脚跳躍にお ける踏切能力の発達過程の解明	4,160,000
110	2022	2026	基盤研究 (C)	川上心也	個体のエネルギー摂取不足は卵子の発 育に影響するのか？	4,030,000
111	2022	2024	基盤研究 (C)	東江由起夫	3Dスキャナ・3Dプリンタを導入した 脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化 研究	4,160,000
112	2022	2024	挑戦的 研究 (萌芽)	大鶴直史	不安定状態の脳内ネットワーク操作に よる恐怖記憶消去への挑戦	6,240,000
113	2022	2024	挑戦的 研究 (萌芽)	江玉睦明	筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確 立と新たな運動療法の開発	6,370,000
114	2022	2025	若手研究	萩原康雄	骨形態から読み解く狩猟採集から農耕 への生業転換に伴う日本列島集団の行 動様式の変化	4,550,000
115	2022	2025	若手研究	井上達朗	母指球筋を用いた新たな筋量指標の開 発と疾患予後を予測する指標への応用	4,680,000
116	2022	2024	若手研究	池上 諒	温熱刺激が骨格筋の糖取り込みを促進 する新規機構の解明と高血糖治療への 応用	4,680,000
117	2022	2023	若手研究	田宮 創	長時間座位がもたらす腎動脈の血流変 動とその機序の解明	4,550,000
118	2022	2024	若手研究	越智元太	運動による認知疲労の発生機序：キヌ レニン代謝仮説の検証	4,680,000
119	2022	2024	若手研究	針谷美智子	ICT機器を活用した鉄棒運動の学習指 導プログラムの構築：逆上がりに着目 して	4,680,000
120	2022	2023	研究活動 スタート 支援	甲斐千遥	マンモグラムを用いた乳がんの成長予 測による検診の受診勧奨および早期発 見の実現	2,860,000

(2) 厚生労働省科学研究費補助金 採択一覧表  
該当なし

(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧

令和4年度

(金額単位：千円)

	大学名	件数	直接費	間接費	合計
1	新潟大学	786	1,378,300	413,490	1,791,790
2	新潟医療福祉大学	129	165,900	49,770	215,670
3	長岡技術科学大学	120	307,700	92,310	400,010
4	上越教育大学	55	69,000	20,700	89,700
5	新潟県立大学	23	20,900	6,270	27,170

	大 学 名	件数	直接費	間接費	合計
6	新潟県立看護大学	17	16,400	4,920	21,320
7	新潟薬科大学	16	19,300	5,790	25,090
8	新潟工科大学	14	14,700	4,410	19,110
9	新潟国際情報大学	8	16,900	5,070	21,970
10	国際大学	8	5,300	1,590	6,890
11	開志専門職大学	7	6,800	2,040	8,840
12	新潟青陵大学	5	3,400	1,020	4,420
13	長岡造形大学	5	4,800	1,440	6,240
14	敬和学園大学	5	3,500	1,050	4,550
15	新潟食料農業大学	4	10,500	3,150	13,650
16	新潟経営大学	3	2,200	660	2,860
17	日本歯科大学新潟短期大学	3	3,100	930	4,030
18	新潟リハビリテーション大学	3	2,700	810	3,510
19	長岡崇徳大学	2	1,100	330	1,430
20	長岡大学	1	600	180	780
21	新潟産業大学	1	600	180	780
22	事業創造大学院大学	1	100	30	130
23	明倫短期大学	1	1,200	360	1,560

### 13) 新潟医療福祉学会

- ・ 会員数と構成 (2023年3月31日現在)

会員数 349名

- ・ 学会誌の発行 (和文誌・英文誌)

2022年10月 新潟医療福祉学会誌・和文誌第22巻第1号 (第22回新潟医療福祉学会学術集会特集)

2022年11月 新潟医療福祉学会誌 (和文誌) 第22巻第2号

Niigata Journal of Health and Welfare (英文誌) 第22巻第1号

2023年3月 新潟医療福祉学会誌 (和文誌) 第22巻第3号

Niigata Journal of Health and Welfare (英文誌) 第22巻第2号

- ・ 学術集会の開催

第21回新潟医療福祉学会学術集会

開催日: 2022年10月29日 (土)

開催方式: Webライブ配信およびオンデマンド開催

大会長: 新潟医療福祉大学医療技術学部救急救命学科長 竹井 豊教授

概要: 主要テーマ「タスク・シフト/シェアに向けた多職種連携教育」

シンポジウムテーマ「タスク・シフトに伴う救急救命士の院内業務の展望」, 一般演題93  
題の研究発表等が行われた。

- ・ 評議委員会, 総会の開催

評議委員会 開催日: 2022年6月22日 (水)

会場: Zoomによるオンライン開催

総会 開催日: 2022年10月29日 (土)

会場: Teamsによるオンライン開催

## 8. 図書館

- 1) 蔵書数※ 144,529点  
 2) 年間受入冊数※ 4,958点  
 3) 利用状況  
 (1) 開館日数 299日  
 (2) 開館時間 3,310時間  
 (3) 入館者数 90,442人  
 (4) 貸出冊数 19,949冊  
 4) データ推移  
 (1) 蔵書データ

	図書			視聴覚 資料	雑誌			電子ジャーナル※※	
	蔵書数	和書	洋書		種数	和雑誌	洋雑誌	種数	うち国外
2016年	111,002	98,519	10,038	2,445	1,389	1,126	263	7,105	5,844
2017年	117,595	104,803	10,251	2,541	1,422	1,157	265	7,191	5,883
2018年	121,749	111,132	10,617	2,593	1,435	1,168	267	8,518	7,068
2019年	129,137	118,292	10,845	2,753	1,448	1,181	267	8,536	7,086
2020年	131,610	120,557	11,053	2,879	1,459	1,192	267	8,732	7,163
2021年	136,802	125,622	11,180	2,972	1,472	1,205	267	7,397	6,122
2022年	141,234	129,509	11,725	3,295	1,499	1,231	268	7,364	5,707

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼	複写受付	学外者 ※※※
	日	人	冊	件	件	人
2016年	290	215,938	38,399	1,158	1,508	899
2017年	310	255,396	39,006	1,099	1,343	756
2018年	306	268,078	42,879	1,088	1,207	1,124
2019年	305	247,326	41,330	922	974	1,054
2020年	234	47,357	13,950	671	613	60
2021年	295	81,302	19,344	764	841	132
2022年	299	90,442	19,949	609	658	414

※視聴覚資料数含む

※※購読契約電子ジャーナル種数

※※※一般学外者の入館者数

## 9. 学生関係

### 1) 収容定員

#### (1) 学部

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	—	480名
	作業療法学科	50名	—	200名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
	義肢装具自立支援学科	40名	—	160名
	鍼灸健康学科	40名	—	40名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	—	400名
	視機能科学科	50名	—	200名
	救急救命学科	55名	—	220名
	診療放射線学科	90名	—	360名
健康科学部	健康栄養学科	40名	—	160名
	健康スポーツ学科	250名	5名	960名
看護学部	看護学科	107名	3名	434名
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	5名	490名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	5名	330名
合 計		1,182名	18名	4,594名

#### (2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	収容定員
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30名	51名
			作業療法学分野		
			言語聴覚学分野		
			義肢装具自立支援学分野		
			医療技術安全管理学分野		
			視覚科学分野		
		救急救命学分野			
		健康科学専攻	健康栄養学分野	16名	26名
			健康スポーツ学分野		
			看護学分野		
	社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	10名	
		保健医療福祉マネジメント学分野			
	医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	8名	
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	20名	40名	
合 計				75名	135名

2023年度収容定員

## 2) 入試広報活動

### (1) 学部

#### オープンキャンパスの開催

期日	内容	
4月24日(日)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 25名参加
4月29日(金)～5月5日(木)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 645名参加
6月11日(土)・12日(日) 18日(土)・19日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 910名参加
6月17日(金)	高校教諭対象来場型説明会	高等学校教諭 18校18名参加
6月19日(日)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 181名参加
6月24日(金)～7月29日(金)	高校教諭対象WEB説明会	高等学校教諭 61校70名参加
7月9日(土)・10日(日) 16日(土)・17日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 984名参加
7月17日(日)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 235名参加
8月6日(土)～10日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 351名参加
8月6日(土)～14日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 1,708名参加
8月18日(木)～31日(水)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 214名参加
9月3日(土)・4日(日) 10日(土)・11日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 760名参加
9月3日(土)・4日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 266名参加
10月8日(土)～10日(月) 15日(土)・16日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 699名参加
10月23日(日)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 171名参加
11月3日(木)～6日(日) 12日(土)・13日(日) 19日(土)・20日(日) 23日(水)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 511名参加
11月5日(土)・6日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 111名参加
12月10日(土)	大学見学・個別相談会	高校生・受験生 36名参加
12月10日(土)・11日(日) 17日(土)・18日(日) 24日(土)・25日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 561名参加
12月10日(土)・11日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 94名参加
1月1日(日)～9日(月) 16日(月)～22日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 643名参加
1月1日(日)～9日(月) 16日(月)～22日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 214名参加
2月11日(土)～19日(日) 23日(木)～26日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 169名参加
2月11日(土)～19日(日) 23日(木)～26日(日)	メタバースオープンキャンパス	高校生・受験生 63名参加
3月18日(土)～26日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 310名参加
3月26日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 542名参加

## (2) 大学院

### ①大学院説明会等の開催

期日	内容	
5月24日(火)	大学院説明会「教えて!大学院①」	学部生, 大学院生 31名参加
6月28日(火)	大学院説明会「教えて!大学院②」	在学生, 大学院生 12名参加
7月24日(日)	大学院夏のオープン・キャンパス	在学生, 社会人等 32名参加
8月4日(木)	大学院説明会「教えて!大学院③」	学部生, 大学院生 63名参加
8月25日(木)	大学院説明会「教えて!大学院④」	学部生, 大学院生 38名参加
9月16日(金)	大学院秋のオープン・キャンパス	在学生, 社会人等 16名参加
11月12日(土)	大学院冬のオープン・キャンパス	在学生, 社会人等 17名参加
1月17日(火)	大学院説明会「教えて!大学院⑥」	学部生, 大学院生 16名参加
3月22日(木)	大学院春のオープン・キャンパス	在学生, 社会人等 23名参加

②大学院説明会 在学生向け大学院説明(教えて!大学院)や, 一般向け大学院説明会(オープン・キャンパス)をオンラインで開催し, 大学院進学の魅力や修士課程学費減免特待生制度等について紹介を行った。その他, 学科からの要望に応じ, 随時個別に大学院概要の説明等を行った。

③学会誌等への広告掲載, ホームページ・SNS等の活用 各種学会誌, 各種団体等の会報誌・ホームページへの大学院広告ならびにバナー広告の掲載を行った。また, 新潟医療福祉大学大学院ホームページ, Twitterで, 大学院イベント情報, 入試情報等の周知を行った。

### 3) 入学者選抜方法

#### (1) 学部

学部	学科	入学定員	選抜区分別募集人員														
			総合型選抜						学校推薦型選抜				社会人等特別選抜	大学入学共通テスト利用選抜		一般選抜	
			A方式 (主体性重視型)	B方式 (基礎教養重視型)	C方式 (スポーツ重視型)		D方式 (基礎学力重視型)	公募制		指定校制	前期日程	後期日程		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程
					前期日程	後期日程		前期日程	後期日程								
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	12名	6名	若干名	—	18名	10名	—	14名	若干名	9名	3名	37名	8名		
	作業療法学科	50名	5名	3名	若干名	—	6名	4名	—	9名	若干名	4名	—	15名	2名		
	言語聴覚学科	40名	7名	2名	—	—	2名	2名	—	10名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	義肢装具自立支援学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	4名	2名	4名	若干名	3名	2名	9名	2名		
	鍼灸健康学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	3名	2名	7名	若干名	2名	2名	8名	2名		
医療技術学部	臨床技術学科	100名	10名	3名	—	—	9名	6名	—	11名	若干名	8名	2名	45名	4名		
	視機能科学科	50名	10名	2名	若干名	—	4名	5名	2名	9名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	救急救命学科	55名	9名	2名	若干名	—	7名	5名	—	8名	若干名	3名	2名	15名	2名		
	診療放射線学科	90名	10名	2名	—	—	9名	6名	—	10名	若干名	6名	2名	41名	2名		
健康科学部	健康栄養学科	40名	5名	3名	—	—	5名	6名	—	6名	若干名	2名	—	10名	2名		
	健康スポーツ学科	250名	40名	15名	75名	10名	5名	10名	—	25名	若干名	20名	3名	40名	5名		
看護学部	看護学科	107名	14名	8名	—	—	8名	13名	—	12名	若干名	4名	2名	41名	3名		
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	22名	7名	若干名	—	3名	8名	2名	30名	若干名	7名	2名	33名	3名		
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	12名	4名	若干名	—	2名	5名	2名	20名	若干名	8名	2名	20名	2名		
合計		1,182名	172名	61名	75名	10名	82名	87名	10名	175名	若干名	80名	26名	334名	41名		

健康スポーツ学科・看護学科・社会福祉学科・医療情報管理学科では、上記に加え3年次編入学選抜を実施。

3年次編入学定員／健康スポーツ学科；5名 看護学科；3名 社会福祉学科；5名 医療情報管理学科；5名

#### (2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	試験区分別募集人員			
					一般	国際貢献活動経験者等	外国人留学生	学内推薦*
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30名	30名			
			作業療法学分野					
			言語聴覚学分野					
			義肢装具自立支援学分野					
			医療技術安全管理学分野					
			視覚科学分野					
			救急救命学分野					
	放射線情報学分野							
	健康科学専攻	健康栄養学分野	16名	16名				
		健康スポーツ学分野						
看護学分野								
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	5名					
	保健医療福祉マネジメント学分野							
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	4名					
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	20名	20名				
合計				75名	75名			

\*学内推薦は修士課程のみ



#### 4) 入学者選抜試験結果

##### (1) 学部

##### ① 1年次入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数 (第1志願)	合格者数 (第2志願)	実質倍率	入学者数
リハビリテーション学部	理学療法学科	120	537	4.5	480	289	—	1.7	142
	作業療法学科	50	118	2.4	109	97	31	1.1	46
	言語聴覚学科	40	71	1.8	65	54	3	1.2	28
	義肢装具 自立支援学科	40	78	2.0	65	63	2	1.0	36
	鍼灸健康学科	40	46	1.2	46	46	3	1.0	23
医療技術学部	臨床技術学科	100	361	3.6	317	250	—	1.3	109
	視機能科学科	50	65	1.3	57	57	19	1.0	36
	救急救命学科	55	235	4.3	215	84	5	2.6	59
	診療放射線学科	90	550	6.1	462	236	—	2.0	100
健康科学部	健康栄養学科	40	208	5.2	190	74	1	2.6	44
	健康スポーツ学科	250	485	1.9	463	407	13	1.1	292
看護学部	看護学科	107	594	5.6	505	296	—	1.7	99
社会福祉学部	社会福祉学科	120	247	2.1	225	224	12	1.0	91
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80	187	2.3	170	169	10	1.0	92
合計		1,182	3,782	3.2	3,369	2346	99	1.4	1,197

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数(第1志願)で算出。

##### ② 3年次編入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
健康科学部	健康スポーツ学科	5	2	0.4	2	2	1.0	2
看護学部	看護学科	3	1	0.3	0	0	0.0	0
社会福祉学部	社会福祉学科	5	0	0.0	0	0	0.0	0
医療経営管理学部	医療情報管理学科	5	0	0.0	0	0	0.0	0
合計		18	3	0.2	2	2	1.0	2

##### (2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30	22	22	22	22
			作業療法学分野		1	1	1	1
			言語聴覚学分野		1	1	1	1
			義肢装具自立支援学分野		5	5	5	5
			医療技術安全管理学分野		2	2	2	2
			視覚科学分野		1	1	1	1
			救急救命学分野		0	0	0	0
			放射線情報学分野		8	8	8	8
			自然人類学分野		1	1	1	1
		健康科学専攻	健康栄養学分野	16	5	5	5	5
			健康スポーツ学分野		6	6	6	6
			看護学分野		2	2	2	2
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5	2	2	2	2
					保健医療福祉マネジメント学分野	1	1	1
	医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理学分野	4	5	5	5	4	
修士課程小計				55	62	62	62	61
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	—	20	29	29	29	29
合計				75	91	91	91	90

5) 在籍学生数 (2023年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
リハビリテーション学部	理学療法学科	130	133	120	131	514
	作業療法学科	51	45	45	43	184
	言語聴覚学科	41	39	43	39	162
	義肢装具自立支援学科	46	40	41	40	167
医療技術学部	理学療法学科				1	1
	臨床技術学科	101	101	96	97	395
	視機能科学科	50	48	46	43	187
	救急救命学科	60	53	50	53	216
	診療放射線学科	90	93	83	94	360
健康科学部	健康栄養学科	43	39	41	41	164
	健康スポーツ学科	254	250	213	212	929
看護学部	看護学科	126	109	100	104	439
社会福祉学部	社会福祉学科	123	110	124	126	483
医療経営管理学部	医療情報管理学科	96	85	88	90	359
合計		1,211	1,145	1,090	1,114	4,560

(2) 大学院

① 修士課程

(人)

専攻	分野	1年生	2年生	合計
保健学専攻	理学療法学分野	17	20	37
	作業療法学分野	3	1	4
	言語聴覚学分野	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	3	1	4
	医療技術安全管理学分野	1	1	2
	視覚科学分野	3	0	3
	救急救命学分野	2	1	3
	放射線情報学分野	4		4
健康科学専攻	健康栄養学分野	3	3	6
	健康スポーツ学分野	11	8	19
	看護学分野	3	4	7
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	0	2	2
	保健医療福祉マネジメント学分野	1	1	2
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	2	4	6
合計		53	46	99

② 博士後期課程

専攻	1年生	2年生	3年生	合計
医療福祉学専攻	16	11	24	51

## 6) 異動学生数 (2023年3月31日現在)

## (1) 学部

(人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
リハビリテー ション学部	理学療法学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	4		1	0	2
		3年生	0	6		4	0	3
		4年生	6	5		1	0	2
	作業療法学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	4		2	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	2
	言語聴覚学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	0	0		1	0	0
		3年生	1	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	義肢装具自立支援 学科	1年生	0	2		0	0	0
2年生		0	1		0	0	0	
3年生		0	2		0	0	1	
4年生		0	1		0	0	1	
医療技術学部	理学療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	1
	臨床技術学科	1年生	0	3		0	0	0
		2年生	0	2		0	0	0
		3年生	1	2		0	0	0
		4年生	0	2		0	1	0
	視機能科学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	救急救命学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	1
診療放射線学科	1年生	0	1		0	0	0	
	2年生	2	0		0	0	1	
	3年生	0	0		0	1	0	
	4年生	2	0		0	0	3	
健康科学部	健康栄養学科	1年生	0	1		0	0	1
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	健康スポーツ学科	1年生	0	5	0	0	0	0
		2年生	1	4	2	0	0	0
		3年生	0	1	2	0	1	1
		4年生	0	5	0	0	0	1
看護学部	看護学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生	0	1		1	0	0
		4年生	0	0		0	2	1
社会福祉学部	社会福祉学科	1年生	0	1	0	0	0	0
		2年生	0	2	0	0	0	1
		3年生	0	0	2	0	0	0
		4年生	0	0	0	0	0	0
医療経営管理 学部	医療情報管理学科	1年生	0	1	0	0	0	0
		2年生	0	1	2	0	0	0
		3年生	0	2	4	0	0	0
		4年生	0	0	0	0	0	0
合計			14	68	12	10	5	22

## (2) 大学院

## ①修士課程

(人)

専攻	分野	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
保健学専攻	理学療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	作業療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	言語聴覚学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	医療技術安全管理分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	視覚科学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	救急救命学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	放射線情報学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
健康科学専攻	健康栄養学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康スポーツ学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
看護学分野	1年生	1	1	0	0	
	2年生	0	0	0	0	
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	保健医療福祉マネジメント学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	0
合計			1	2	0	0

## ②博士後期課程

(人)

専攻	学年	休学者	退学者	満期退学者	除籍者	復学者
医療福祉学専攻	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0
	3年生	0	1	1	0	0
合計		0	1	1	0	0

## 7) 学生生活

### (1) 学生生活に関する指導

学生委員会、交通安全委員会を中心に学内および居住地域での生活マナー・駐車マナー、学内挨拶向上を目的とした標語の募集と表彰、学生の被害防止、危険薬物使用防止等の指導に加え、危機管理委員会および健康管理センターと連携し、新型コロナウイルス感染予防対策の注意喚起を実施。

- ① 駐車場使用指導・・・学内駐車場の安全管理、違反者に対するマナー指導。
- ② 生活指導・・・・・・学内外におけるマナー・生活指導、アパート居住者に対し騒音等に関する注意喚起等。
- ③ 犯罪被害防止・・・警察へ近隣パトロールの依頼、不審者情報の発信。
- ④ 危険薬物使用防止・警察との連携による薬物乱用防止講演会の開催。
- ⑤ 感染予防指導・・・定期的に感染予防情報を発信し理解促進を実施。

### (2) オリエンテーション

各学年に対し就職活動や履修手続等について、WEB形式による全体オリエンテーションを実施した。また、新入生に対しては対面にて学生生活の注意事項や奨学金に関する説明を行った。

### (3) 健康診断

学部生全員と大学院生・研究生の希望者を対象として健康診断を実施した。

### (4) 心理相談

精神科医師（男性）と臨床心理士（男性、女性）による心理相談をWEB形式および管理棟1階の応接室を相談室として週4回行った。

- ① 相談日：月曜日 午前11時10分～午後3時30分  
水曜日 午前11時10分～午後3時30分／第1、第3水曜日 午後4時00分～午後5時00分  
木曜日 午後2時00分～午後5時00分  
金曜日 午後12時10分～午後4時30分
- ② 相談員：精神科医師／臨床心理士
- ③ 相談件数：315件（前期173件、後期142件）

### (5) 奨学金制度（2023年3月31日現在）

#### ① 本学独自の奨学金制度（給付型）

名称	新潟医療福祉大学奨学金	新潟医療福祉大学学資融資奨学金
内容	対象者に奨学金を給付	対象者に教育ローンの利子相当額を給付
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、且つ成績が優秀な学生	経済的な理由により修学が困難である学生
給付金額	25万円（年額）	融資元本300万円を上限とする教育ローンの当該年度の利子相当額
採用人数	30名（2年～4年次）	50名を上限
選考方法	書類審査および面接	書類審査および面接
募集時期	10月	10月
採用者数実績	30名	9名

#### ② 日本学生支援機構奨学金

##### 貸与型

学年	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子※）	合計
1年生	276件	399件	675件
2年生	264件	381件	645件
3年生	237件	427件	664件
4年生	263件	371件	634件
合計	1,040件	1,578件	2,618件

※年利率3%を上限とする変動制

給付型

学年	給付奨学金
1年生	143件
2年生	127件
3年生	122件
4年生	86件
合計	478件

(6) 学生寮

学生寮「N-Village 伍桃」は、2022年4月に5期生257名が入寮し、全体で600名以上が生活をしている。

本寮では、寮生活の満足度向上を達成するため、寮生による学生寮組織「寮友会」が「催事・広報委員会」「衛生委員会」の2つの委員会を運営しながら、寮生自らがイベントを企画・運営している。

寮生は寮内の生活およびイベントを通して、QOLサポーターとして働くための基礎を養っている。

① 顧問

相馬俊雄 理学療法学科 教授  
長谷川陽一 事務局学務部 学生課  
小松祐介 事務局学務部 学生課

② 役員

会長 鈴木菜月 言語聴覚学科  
副会長 大竹史織 言語聴覚学科, 加賀谷響 社会福祉学科  
全体会計 野村成美 理学療法学科, 堀内柚音 理学療法学科  
催事・広報委員長 布川知佳 救急救命学科  
催事・広報副委員長 歌川愛唯 臨床技術学科  
衛生委員長 原 唯人 救急救命学科  
衛生副委員長 清水雄大 社会福祉学科

2022年度 学生寮の主なイベント

4月	入寮式、寮生オリエンテーション（オンライン）
6月	鳥見浜ごみ拾い／前期定期テスト攻略会①
7月	七夕イベント／前期定期テスト攻略会②
10月	寮周辺清掃活動／ハロウィン仮装大賞
12月	クリスマスくじ引き大会／後期定期テスト攻略会
3月	第4期生卒寮式（オンライン）

(7) 学友会

文化活動およびスポーツ活動ならびに地域活動を通じ、会員相互の親睦、資質の向上および健康の増進を図り、大学生生活の充実に貢献することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。大学側とともに定例協議会を実施し、コロナ禍での学友会のあり方や活動方針などを確認した。学友会が中心となりWEB形式による桃迎会（クラブ・サークル勧誘会）や約3年ぶりに対面開催となる伍桃祭（大学祭）の企画・運営を行った。

① 顧問

岩崎隆 救急救命学科 助教  
阿部拓也 臨床技術学科 助教  
針谷美智子 健康スポーツ学科 講師  
倉部崇史 事務局学務部 学生課

② 役員

会長 本間嶺太 診療放射線学科  
副会長 針生美海 臨床技術学科  
会計 角英里香 視機能科学科

(8) 大学祭

十分な感染対策を講じた上、第22回大学祭「伍桃祭」を10月9日(土)・10日(日)に約3年ぶりに対面開催した。一般の方や地域の方を招致し、クラブ・サークル団体発表やカラオケコンテストなど創意工夫したイベントを行い、学生生活の充実や学生満足度向上に貢献した。

(9) クラブ活動

強化指定クラブ12団体

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
1	男子バスケットボール部	石黒 渚 長瀬樹生	山崎史恵(部長)・若月弘久(監督)
2	女子バスケットボール部	山口美佑	西原康行(部長)・伊藤篤司(監督)
3	水泳部	出沼知也 山崎 光	佐藤大輔(部長)・下山好充(監督)
4	陸上競技部	矢坂昇太 エバサカ テレサ	杉崎弘周(部長)・小林志郎(監督)
5	男子サッカー部	二階堂正哉	秋山隆之(部長)・佐熊裕和(監督)
6	女子サッカー部	高山ななか	秋山隆之(部長)・草木克洋(監督)
7	ダンス部	古山夏帆	脇野哲郎(部長)・若井由梨(監督)
8	女子バレーボール部	黒鳥 南	吉田重和(部長)・濱野礼奈(監督)
9	硬式野球部	坂井翔太	佐藤敏郎(部長)・佐藤和也・ 鶴瀬亮一(監督)
10	卓球部	齋藤鳳人	杵渕洋美(部長)・品田穂雄(監督)
11	男子バレーボール部	林健太郎	相馬俊雄(部長)・久保晃(監督)
12	テニス部	岩間太陽	越中敬一(部長)・西海幸頼(監督)

体育系クラブ16団体、文化系クラブ22団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
13	ソフトボール部	本田直也	山崎史恵
14	軟式野球部	馬場大夢	高田大輔
15	アルティメット Scarlet 部	阿部泰知	佐藤敏郎
16	学友会卓球部	佐藤奨真	-
17	ソフトテニスサークル	樋口 貴	山本悦史
18	バトミントン部	高橋未輝斗	佐藤裕紀
19	剣道部	渡邊 樹	中島郁子
20	フットサル部	山田開太	山本悦史
21	ハンドボール部	渡辺飛和	岩森 大
22	ダンスサークル RIZE	落合優花	平林 怜
23	NEXUS	大久保陸	渡邊恵司
24	よさこい部 舞桃会	佐藤 響	江玉睦明
25	園芸部	牧 孝則	阿部 薫
26	茶道部	曾我うらら	五十嵐紀子
27	和太鼓部 彩龍会	真柄 琳	高野晃輔
28	吹奏楽部	若原彩華	高野晃輔
29	手話部	小林慶晃	伊藤さゆり
30	写真部	野崎悠平	山崎貴子
31	レクア. コム部	山本華歩	丸田秋男・荒川大靖
32	軽音楽部	金澤太郎	木下直彦
33	VICON部	大川原礼	江原義弘

34	栄養サポート部	木戸浦涼葉	澁谷顕一
35	Spring Board	岡部咲樹	久保雅義
36	ピアエデュケーション部	岩崎奈美	山口典子
37	音楽サークルMusic Studio	清水志織	石本 豪
38	Edge Fitness	加藤優太	越中敬一
39	クリ紡	小高 樹	高橋良光
40	躰道部	杉山優二郎	相馬俊雄
41	NUHWカーリングサークル	佐久美貴江	木原 亨
42	パラスポーツファンクラブ チーム PRISM	岡部咲樹	郷 貴博
43	車いすバスケットボールサークル	知野光希	左近慎平
44	カバディ部	下地翔宝	前田 雄
45	NUHWビジョンサポート研究会	田中実和	石井雅子
46	Orange Education	大槻京香	小山千加代
47	プログラミングサークル	-	谷賢太郎
48	サブカルチャーサークル	宮川慶大	須田裕紀
49	メディカルサポート部	大河内偉琉	江玉睦明
50	学生ねこ部	針生美海	五十嵐紀子
51	アスレティックトレーナー部	田野口文	熊崎 昌

合計51団体



## (10) 学生表彰

①2022年度学部卒業式において、下記の表彰が行われた

学部：85名 1団体 大学院：6名

賞	所属	氏名	受賞理由
学長賞 (学業成績 優秀)	理学療法学科	杉本 柚華	各学科で最も優秀な成績を修めた
	作業療法学科	田中 須弥子	
	言語聴覚学科	遠藤 有紗	
	義肢装具自立支援学科	岡部 有純	
	臨床技術学科	八島 菜々子	
	視機能科学科	前田 菜名	
	救急救命学科	佐藤 竜	
	診療放射線学科	松田 莉歩	
	健康栄養学科	久保田 涼香	
	健康スポーツ学科	千葉 佳奈絵	
	看護学科	西原 春華	
	社会福祉学科	田中 璃奈	
	医療情報管理学科	居城 美咲	
学長賞 (学業成績 優秀)	医療福祉学専攻	佐藤 成	博士後期課程で最も優秀な成績を修めた
	保健学専攻	吉田 麗玖	修士課程で最も優秀な成績を修めた
学長賞 (課外活動 個人)	水泳部	津田 萌咲	第16回世界選手権(25m)水泳競技大会 女子4×50mメドレーリレー 7位入賞
	女子サッカー部	白井 ひめ乃	WEリーグ アルビレックス新潟レディース入団
学長賞 (課外活動 団体)	男子サッカー部		2022年度第71回全日本大学サッカー選手 権大会 準優勝
優秀賞 (学業成績 優秀)	理学療法学科	殿広 亜未	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	理学療法学科	坂西 美優	
	理学療法学科	福田 菜月	
	理学療法学科	藤原 涼花	
	理学療法学科	齋藤 梨奈	
	理学療法学科	三井田 悠	
	理学療法学科	野原 花菜	
	理学療法学科	堀 真依子	
	作業療法学科	佐藤 佑香	
	作業療法学科	佐藤 瑠海	
	作業療法学科	松澤 宏樹	
	言語聴覚学科	龍田 栞	
	言語聴覚学科	田辺 琴葉	
	義肢装具自立支援学科	佐々木 利紗	
	義肢装具自立支援学科	佐々木 穂果	

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績 優秀)	臨床技術学科	佐藤 帆花	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	臨床技術学科	小林 大起	
	臨床技術学科	高橋 志歩	
	臨床技術学科	武田 桃佳	
	臨床技術学科	池野 愛輝里	
	臨床技術学科	小宮山 紘規	
	臨床技術学科	小埜 菜月	
	視機能科学科	小林 彩佳	
	視機能科学科	小林 李彩	
	視機能科学科	園部 巧真	
	救急救命学科	神田 唯斗	
	救急救命学科	竹中 雅士	
	救急救命学科	山崎 詩織	
	診療放射線学科	目黒 杏里	
	診療放射線学科	仲澤 朝夏	
	診療放射線学科	加藤 滉貴	
	診療放射線学科	佐藤 公紀	
	診療放射線学科	大石 美鈴	
	診療放射線学科	今津 玲香	
	健康栄養学科	清水 瑳羅	
	健康栄養学科	尾崎 小春	
	健康スポーツ学科	酒井 菜々美	
	健康スポーツ学科	埜口 優衣	
	健康スポーツ学科	金森 あい	
	健康スポーツ学科	藤本 浩志	
	健康スポーツ学科	玉澤 竜司	
	健康スポーツ学科	山田 爽真	
	健康スポーツ学科	久保田 翔	
	健康スポーツ学科	樋口 奈那	
	健康スポーツ学科	川下 季恵	
	健康スポーツ学科	金子 千春	
	健康スポーツ学科	桑原 海和	
	健康スポーツ学科	金子 雄輝	
健康スポーツ学科	小柳 碧唯		
健康スポーツ学科	田中 優輝		
看護学科	山住 優菜		
看護学科	比嘉 花蓮		

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績 優秀)	看護学科	前田 小夏	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	看護学科	柏木 芽依	
	看護学科	福田 紬	
	看護学科	森 葉月	
	看護学科	高橋 真白	
	社会福祉学科	池田 奈々美	
	社会福祉学科	高橋 莉乃	
	社会福祉学科	春日 さくら	
	社会福祉学科	渡部 瑛都	
	社会福祉学科	藤原 愛	
	社会福祉学科	小林 莉奈	
	社会福祉学科	中出 愛里	
	社会福祉学科	大熊 柚衣	
	医療情報管理学科	星野 愛花	
	医療情報管理学科	水島 姫華	
	医療情報管理学科	赤石 一晃	
	医療情報管理学科	羽賀 乃々佳	
	医療情報管理学科	黒田 桃子	
	医療福祉学専攻	安中 裕紀	
	医療福祉学専攻	五十嵐 小雪	
保健学専攻	渡邊 貴博		
保健学専攻	神居 寧		

②学部在学学生表彰：24名 1団体

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動 個人)	水泳部	山崎 光	FISUワールドユニバーシティーズゲームズ 女子100m背泳ぎ日本代表選手選出
	水泳部	綿貫 慶吾	OWSオーシャンズカップ2022 男子10km 8位入賞
	水泳部	金森 あい	第98回日本学生選手権水泳競技大会 女子4×100m フリーリレー 5位入賞
	水泳部	笹原 世玲菜	第98回日本学生選手権水泳競技大会 女子4×100m フリーリレー 5位入賞
	水泳部	篠原 明美	第95回日本学生選手権水泳競技大会 女子4×200m フリーリレー 7位入賞
	水泳部	鈴木 海渡	第97回日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100m メドレーリレー 8位入賞
	男子サッカー部	オナイウ 情滋	2022年度第71回全日本大学サッカー選手 権大会 ベストミッドフィールダー賞 J2 ベガルタ仙台 入団 全日本大学選抜選出

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動 個人)	男子サッカー部	小森 飛絢	J2 ジェフユナイテッド市原・千葉 入団 全日本大学選抜選出
	男子サッカー部	二階堂 正哉	J3 Y.S.C.C横浜 入団
	男子サッカー部	沼田 皇海	J3 Y.S.C.C横浜 入団
	男子サッカー部	割田 樹	『UNIVAS AWARDS 2022-23』 サポーティ ングスタッフ・オブ・ザ・イヤー優秀賞受 賞
	陸上競技部	エパサカ テレサ	2022日本学生陸上競技個人選手権大会 女子ハンマー投 3位入賞
	陸上競技部	中村 花菜	第89回日本学生陸上競技対抗選手権 女子4×400mリレー 7位入賞
	女子バレーボール部	黒鳥 南	令和4年度第53回春季北信越大学男女バ レーボール選手権大会 最優秀選手賞/ス パイク賞 令和4年度第70回秋季北信越大学バレー ボール選手権大会 最優秀選手賞(11大 学) V2リーグ ルートインホテルズブリリア ントアリーズ 内定
	女子バレーボール部	本山 晴佳	令和4年度第53回春季北信越大学男女バ レーボール選手権大会 優秀選手賞 V2リーグ 大野石油広島オイラーズ 内 定
	女子サッカー部	大久保 つくし	なでしこ1部リーグ ニッパツ横浜FCシーガルズ 入団
	女子サッカー部	篠原 沙耶	なでしこ1部リーグ 伊賀FCくノ一三重 入団
	女子サッカー部	高山 菜々香	なでしこ1部リーグ 伊賀FCくノ一三重 入団
	女子サッカー部	和田 涼花	なでしこ1部リーグ 伊賀FCくノ一三重 入団
	軟式野球部	渡邊 尚也	第24回全日本大学軟式野球国際親善大会 (TAIWAN) 日本代表主将
優秀賞 (課外活動 団体)	ダンス部		第40回あきた全国舞踊祭モダンダンスコン クール 群舞部門入賞 第5位
優秀賞 (社会活動 個人)	NUHWビジョンサポート 研究会	松井 千洋	本学・鯖江市包括連携事業の眼の健康推進 活動にて鯖江市長より感謝状贈呈
優秀賞 (学術研究 活動個人)	理学療法学科	佐藤 健	日本保健医療福祉連携教育学会 第15回日 本保健医療福祉教育学会学術集会 理事長 賞受賞
優秀賞 (学術研究 活動個人)	義肢装具自立支援学科	叶野 愛羅	日本整形靴技術協会 第17回日本整形靴技 術協会学術大会 最優秀発表賞受賞
	義肢装具自立支援学科	岡部 咲樹	日本整形靴技術協会雑誌第6号 最優秀論 文賞受賞

### (11) 海外研修

#### ①理学療法学科・看護学科 インドネシア研修

研修先 ハサスディン大学  
研修目的 新たな交流協定締結先として、さらなる交流の可能性を探る  
参加者 6名  
3年 五十嵐貫太, 黒崎純暉, 山波克彰 (理学療法学科)  
阿部快樹, 中倉実悠, 根津広大 (看護学科)  
研修日程 2023年2月17日(金)～2月24日(金)

2月	17日	金	新潟市→羽田空港
	18日	土	羽田空港→ジャカルタ→マカッサル
	19日	日	マカッサル市内観光
	20日	月	現地にて研修
	～		
	23日	木	
	24日	金	マカッサル→ジャカルタ→羽田空港

研修概要 i) ハサスディン大学での授業出席  
ii) 医療施設, ヘルスセンター等の見学  
iii) 学生交流

#### ②義肢装具自立支援学科 タイ研修

研修先 マヒドン大学  
研修目的 Exchange Student Programへの参加  
引率者 神田 賢 (義肢装具自立支援学科 講師), 須田裕紀 (義肢装具自立支援学科 講師)  
参加者 3名  
2年 松島衣里, 丸山紗世  
3年 中島涼香  
研修日程 2023年3月25日(土)～4月1日(土)

3月	25日	土	羽田空港→バンコク
	26日	日	バンコク市内観光
	27日	月	現地にて研修
	～		
	31日	金	
4月	1日	土	バンコク→羽田

研修概要 i) マヒドン大学施設見学  
ii) Exchange Student Programへの参加  
iii) 異文化体験・学生交流

### (12) 学習支援センター

数学, 解剖学・生理学, 物理, 化学, 日本語表現を指導する講師および専属の事務兼コーディネーターを配置し, 学習支援業務を行っている。基礎セミナーは従来の専門科目の基礎に加え, 「誰でも・気軽に・受講できる」をコンセプトにした短時間のセミナー「プチセミナー」をオンラインで実施した。e-Campusのサイト上に専門科目の基礎に関する動画を公開し, 学生が必要な時にいつでも学べる環境を提供した。また, 幅広い学力層を対象に, 学生の知的好奇心に応える学習コンテンツとして2021年度末に開設した“デジタルライブラリー”には, 新たなコンテンツを13本追加した。

従来の外部講師と大学院生による個別指導とは別に, 学部生を“学習支援ピアサポーター”として採用し学習支援活動を実施した。全13学科53名を学習支援ピアサポーターに任命し, テスト対策を中心とした学習支

援を行った。利用者は1年生を中心に延べ152名であり、昨年度の4倍以上だった。

新入生を対象に、入学前セミナーと履修登録サポートデスクをオンラインで実施した。入学前セミナーは Remedial Courses のサイト上で学習動画を公開した。履修登録サポートデスクは、在学生88名がボランティアとして参加し、新入生373名が利用した。

- ① 個別指導のべ利用件数・・・2,311件
- ② セミナー受講者数・・・1,413名
- ③ e-Campusの専門科目基礎に関する動画公開数・・・26種43本
- ④ デジタルライブラリー 動画公開数・・・37本
- ⑤ 動画配信による入学前セミナー総視聴回数・・・2,325回

## 8) 強化指定クラブ成績

### 【水泳部】

#### ・第19回FINA世界水泳選手権2022

※水沼尚輝（職員）が日本代表に選出。下山好充監督（HS教授）も代表コーチとして日本代表に選出。

男子	100m バタフライ	2位	※準決勝で50秒81の日本新記録を樹立
混合	4×100m メドレーリレー	6位	

#### ・第16回FINA世界水泳選手権（25m）

※津田萌咲選手（HS4）、深澤 舞（職員）、松井浩亮（職員）、田中優弥（職員）が日本代表に選出。奈良梨央コーチ（HS講師）も代表コーチとして日本代表に選出。

女子	100m 平泳ぎ	7位	（深澤 舞 職員）
男子	4×50m フリーリレー	4位	（松井浩亮 職員）
男子	4×50m メドレーリレー	4位	（田中優弥 職員）
女子	4×50m メドレーリレー	7位	（津田萌咲 HS4）
混合	4×50m フリーリレー	5位	（松井浩亮 職員）
混合	4×50m メドレーリレー	6位	（松井浩亮 職員）

#### ・世界ジュニアOWS（オープンウォータースイミング）選手権大会2022

※本山 空（HS2）が日本代表に選出。

男子	10km	出場	
----	------	----	--

#### ・第98回日本選手権水泳競技大会

男子	50m 自由形	3位	（松井浩亮 職員）
男子	50m バタフライ	5位	（水沼尚輝 職員）
男子	100m バタフライ	優勝	（水沼尚輝 職員）
男子	50m バタフライ	優勝	（田中優弥 職員）
男子	100m バタフライ	5位	（田中優弥 職員）
男子	1500m 自由形	7位	（本山 空 HS2）
女子	50m バタフライ	5位	（津田萌咲 HS4）
女子	50m 背泳ぎ	4位	（山崎 光 HS4）

#### ・ジャパンオープン2022

男子	50m 自由形	4位	（松井浩亮 職員）
男子	50m バタフライ	6位	（水沼尚輝 職員）
男子	100m バタフライ	優勝	（水沼尚輝 職員）
男子	50m バタフライ	3位	（田中優弥 職員）
男子	100m バタフライ	3位	（田中優弥 職員）
女子	100m 平泳ぎ	3位	（深澤 舞 職員）
女子	50m バタフライ	2位	（津田萌咲 HS4）

#### ・第64回日本選手権水泳競技大会（25m）

男子	50m バタフライ	2位	（田中優弥 職員）
男子	100m バタフライ	優勝	（田中優弥 職員）
男子	50m 自由形	優勝	（松井浩亮 職員）
男子	100m バタフライ	8位	（松井浩亮 職員）
女子	50m 自由形	8位	（篠塚聖妃 HS1）
女子	50m 平泳ぎ	7位	（深澤 舞 職員）
女子	100m 平泳ぎ	2位	（深澤 舞 職員）
女子	50m バタフライ	優勝	（津田萌咲 HS4）
女子	100m バタフライ	優勝	（津田萌咲 HS4）

女子 50m背泳ぎ	2位 (山崎 光 HS4)
男子 50m背泳ぎ	5位 (早坂 亮 HS3)
・第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技	
男子 10km	3位 (本山 空 HS2)
・第98回日本学生選手権水泳競技大会	
男子 1500m自由形	2位 (本山 空 HS2)
女子 100m自由形	4位 (篠塚聖妃 HS1)
女子 100mバタフライ	2位 (津田萌咲 HS4)
女子 100m背泳ぎ	2位 (山崎 光 HS4)

#### 【陸上競技部】

- ・第96回北信越学生陸上競技対校選手権大会  
男子総合優勝 12連覇 / 女子総合11連覇
- ・第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会  
男子総合優勝 / 女子総合優勝
- ・2022日本学生個人陸上競技選手権大会  
男子 円盤投 3位 (中町真澄 HS3)  
女子 ハンマー投 3位 (エバサカテレサ HS4)
- ・第91回日本学生陸上競技対校選手権大会  
男子 円盤投 4位 (中町真澄 HS3)  
女子 やり投 優勝 (木村玲奈 PT3)
- ・第106回日本陸上競技選手権大会  
男子 円盤投 7位 (北原博也 HS2)  
女子 やり投 5位 (木村玲奈 PT3)
- ・第38回U20日本陸上競技選手権大会  
女子 3000mSC 5位 (星 美月 HS1)
- ・第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 23位 (清水, 保, 保科, 佐藤, 鈴木, 星)

#### 【男子サッカー部】

- ・新潟日報杯・共同通信杯 第27回新潟県サッカー選手権大会 優勝 (天皇杯新潟県代表)
- ・天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会 2回戦進出
- ・第50回北信越大学サッカーリーグ (1部) 優勝
- ・第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会 優勝
- ・第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会 ベスト8
- ・第71回全日本大学サッカー選手権大会 準優勝
- ・第48回北信越フットボールリーグ (1部) 4位
- ・インディペンデンスリーグ北信越大会 優勝
- ・第19回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル ベスト4

#### 【女子サッカー部】

- ・第31回全日本大学女子サッカー選手権大会 出場
- ・2022北信越女子サッカーリーグ (1部) 優勝

#### 【男子バスケットボール部】

- ・第1回全日本大学バスケットボール新人戦 (プレ大会) ベスト8

#### 【女子バスケットボール部】

- ・第56回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会 3位
- ・第74回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場



### 【男子バレーボール部】

- ・ 第53回春季北信越大学バレーボール選手権大会（2部） 優勝
- ・ 東日本バレーボール大学選手権大会 出場
- ・ 全日本大学バレーボール選手権大会北信越学連推薦チーム  
決定トーナメント戦 2回戦進出

### 【女子バレーボール部】

- ・ 第53回春季北信越大学バレーボール選手権大会 優勝
- ・ 全日本大学バレーボール選手権大会北信越学連推薦チーム  
決定トーナメント戦 優勝
- ・ 第69回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 出場
- ・ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンド 出場

### 【硬式野球部】

- ・ 関甲新学生野球連盟 春季1部リーグ 5位
- ・ 関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ 6位  
(坂井翔太 HS4ベストナイン)

### 【ダンス部】

- ・ 第34回全日本大学ダンスフェスティバル（神戸） 決戦進出
- ・ Artistic Movement in TOYAMA2022 北日本新聞社賞 受賞
- ・ 第41回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール 第3位入賞

### 【卓球部】

- ・ 第69回春季北信越学生卓球選手権大会 1部（団体の部） 男子3位 女子3位
- ・ 第88回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部） 出場（高橋碧斗 SW1）
- ・ 第70回秋季北信越学生卓球選手権大会 1部（団体の部） 男子3位 女子3位

### 【テニス部】

- ・ 北信越学生テニストーナメント大会（男子シングルス） 3位
- ・ 全日本学生テニス選手権大会（男子・女子シングルス，女子ダブルス） 出場
- ・ 北信越大学テニス王座決定試合（団体戦） 男子1部 3位  
女子2部 優勝（1部昇格）
- ・ 北信越学生テニス選手権大会（男子ダブルス） 優勝

9) 国家試験・資格試験結果（2023年5月12日現在）

国家試験等	本 学				全 国	
	受験者数	合格者数	合格率	(前年比)	合格率	(前年比)
理学療法士	117	116	99.1%	(-0.9%)	87.4%	(+7.8%)
作業療法士	37	35	94.6%	(+1.7%)	83.3%	(+2.8%)
言語聴覚士	38	29	80.6%	(-5.9%)	67.4%	(-7.6%)
義肢装具士	32	31	96.9%	(+32.2%)	81.0%	(+12.5%)
臨床検査技師	81	58	71.8%	(+4.7%)	77.6%	(+2.2%)
臨床工学技士	93	80	86.0%	(-2.0%)	85.4%	(+4.9%)
視能訓練士	39	33	84.6%	(-13.2%)	89.3%	(-2.5%)
救急救命士	52	52	100%	(±0%)	93.8%	(+2.5%)
診療放射線技師	79	68	86.1%	(-7.1%)	87.0%	(+0.9%)
管理栄養士	41	38	92.7%	(±0%)	56.6%	(-8.5%)
健康運動指導士	11	7	63.6%	(-39.4%)	(-)	(-)
アスレティックトレーナー理論	7	2	28.6%	(+14.3%)	(-)	(-)
アスレティックトレーナー実技	2	2	100%	(±0%)	(-)	(-)
看護師	100	100	100%	(+1.9%)	90.8%	(-5.7%)
保健師	48	46	95.8%	(+13.1%)	93.7%	(+0.7%)
助産師	3	3	100%	(±0%)	95.6%	(-4.1%)
社会福祉士	116	72	62.1%	(+11.7%)	43.7%	(+13.1%)
精神保健福祉士	12	12	100%	(+7.7%)	71.1%	(+5.5%)
介護福祉士	26	26	100%	(±0%)	84.3%	(+12.0%)
診療情報管理士	20	16	80.0%	(+5.8%)	66.0%	(-0.7%)

10) 就職状況

(1) 就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数
		週当たり	年間		
就職センター	8	5	246	8:45~17:00	5,287

(2) 求人状況

学科	件数	人数
理学療法学科	1,193	3,068
作業療法学科	1,193	3,003
言語聴覚学科	1,013	2,070
義肢装具自立支援学科	200	310
臨床技術学科	878	1,566
視機能科学科	213	301
救急救命学科	39	98
診療放射線学科	305	508

学科	件数	人数
健康栄養学科	327	670
健康スポーツ学科	101	239
看護学科	1,053	3,291
社会福祉学科	2,082	5,381
医療情報管理学科	579	1,396
その他	1,203	3,641
計	10,379	25,542

## (3) 学科別就職状況

学科	卒業者数	就職希望者数	進学者数	就職者数	内定率(%)
理学療法学科	120	99	18	99	100.0%
作業療法学科	37	34	1	34	100.0%
言語聴覚学科	41	32	0	32	100.0%
義肢装具自立支援学科	36	28	2	28	100.0%
臨床技術学科	96	79	2	77	97.5%
視機能科学科	40	37	0	36	97.3%
救急救命学科	52	46	0	46	100.0%
診療放射線学科	79	59	10	58	98.3%
健康栄養学科	41	39	0	39	100.0%
健康スポーツ学科	205	183	8	182	99.5%
看護学科	101	101	0	101	100.0%
社会福祉学科	126	124	0	124	100.0%
医療情報管理学科	90	86	2	84	97.7%
計	1,064	947	42	940	99.3%

※進学者の進学先は大学院，大学，専門学校を含む。

## (4) 都道府県別就職状況

都道府県	就職者数	都道府県	就職者数
北海道	2	山梨県	2
青森県	3	長野県	55
岩手県	4	岐阜県	1
宮城県	18	静岡県	7
秋田県	13	愛知県	5
山形県	28	三重県	3
福島県	51	大阪府	3
茨城県	8	兵庫県	2
栃木県	11	滋賀県	3
群馬県	18	京都府	2
埼玉県	64	奈良県	2
千葉県	16	和歌山県	1
東京都	97	岡山県	1
神奈川県	47	広島県	2
新潟県	421	福岡県	3
富山県	26	佐賀県	1
石川県	20	鹿児島県	1
福井県	3	沖縄県	1

## 10. その他

### 1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園

#### (1) 定員

19名（0歳児4名 1歳児5名 2歳児4名 3歳児4名 4歳児0名 5歳児2名）

#### (2) 園児数

2022年度園児数：15名（従業員枠 6名 地域枠9名）

内訳：0歳児2名（地域枠1名） 1歳児4名（地域枠2名） 2歳児3名（地域枠1名）

3歳児4名（地域枠4名） 4歳児0名（地域枠0名） 5歳児2名（地域枠1名）

#### (3) 2022年度の主な行事

7月 七夕

8月 夏祭り

10月 芋ほり，ハロウィンパレード

11月 親子トマト収穫体験，勤労感謝の日，ミニ運動会

12月 クリスマス会

2月 まめまき集会

3月 ひなまつり，卒園式

#### (4) 大学との連携事業

- ・救急救命学科 保育士向けエビペン講習会，小児コミュニケーション論実習
- ・看護学科 小児看護学実習
- ・健康栄養学科 調理実習
- ・健康スポーツ学科 運動あそび，ダンス遊び
- ・社会福祉学科 児童厚生2級指導員実習
- ・視機能科学科 視力検査，目の大切に紙芝居等

### 2) 新型コロナウイルスワクチン職域接種

#### (1) 実施期間

① 3回目接種：2022年3月18日から2022年5月28日まで

② 4回目接種：2022年12月19日から2022年12月26日，2023年3月9日

※ 4回目接種はオミクロン株（BA.1）対応ワクチン

#### (2) 各回の接種人数

	3回目	4回目	計
学部生	2,460	493	6,141
大学院生	34	17	86
教職員	168	83	383
その他※	1,241	112	1,353
計	3,903	705	4,608

※その他は、非常勤講師，研究生，新潟食料農業大学，事業創造大学院大学，NSGグループ職員，本学取引先業者等

学校法人 新潟総合学園  
新潟医療福祉大学年報

2022（令和 4）年度

発行日 2023年9月1日

編集・発行 新潟医療福祉大学  
〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地  
TEL : 025-257-4455  
FAX : 025-257-4456  
URL : <https://www.nuhw.ac.jp/>

印刷 株式会社ウイザップ